●受付番号　185001345000007001

現在、既に生成 AI を使用したイラストレーターへの業務妨害や自殺示唆、嫌がらせが行われています。
AI 生成物に著作権を認めるならば、今後こういった行為は拡大する恐れがあり不安です。
生成 AI は人が描いたイラストが無いと成り立たないにも関わらず、絵を描く人にとって何のメリットも無いばかりか、こういったデメリットが多すぎます。
また、AI 生成物を利用した「実在しない商品」を販売しているサイトもある様です。
このような事が蔓延る世になったら、通販を安心して利用することもままなりません。

●受付番号　185001345000007002

よくない
何故そうなるのかわからない

●受付番号　185001345000007003

生成物に著作権を付与することは著作権法の趣旨を没却し、自ら文化の担い手の首を絞める最悪の愚策である。過去海外に実力のある技術者が日本を離れて今の経済の悪化を招いた一因を文化、制作物にまで及ぼすつもりなのですか

●受付番号　185001345000007004

反対です。ネットに上がっている絵、写真、音楽その他画像や動画には作成者がおり、全てに著作権が発生しています。生成 AI で学習を良しとすることは本来 AI を使用する際に尊重されるべき人間の権利を侵害しているのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007005

全体を通して法律に則った内容であると解釈しました。
しかしながら現行法の範囲では、創作者の作風が守られないので生成 AI 利用者に非常に有利なものとなっております。その中で AI 生成物に著作権を与えてしまえば日本の創作文化は間違いなく衰退します。
また、絵柄や作風については創作者が活動していく上で、「顔」として商業・非商業問わず非常に重要なものとなっております。
創作者が長年培ってきた絵柄や作風が容易に模倣されては創作者の活動の機会は奪われていき、商業活動者に至っては廃業等も考えられます。
容易に模倣される状況であれば創作者の新規参入者も減少します。
法第 30 条の 4 本文には「当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合」
とありますが AI の生成物に享受目的があった場合としても、現状では第三者からそれを証明するのは難しいため実質あって無いようなものだと感じております。(意図的な情報の隠蔽、手書き発言など)
現行法では絵柄や作風が保護されないのは承知しておりますが、生成 AI に関しては何らかの制限が無いと世の中は粗製乱造の AI 生成物に埋め尽くされ創作文化は衰退していきます。
法改正から手を入れていかないと問題解決は不可能だと感じます。

●受付番号　185001345000007006

個人の趣味としてオリジナルで創作イラストを描いている者です。
0 から何かを産み出すのはとても大変なものだと思います。
丹精込めて時間をかけて描いたイラスト、アイデアを不特定多数の見ず知らずの他人によって AI 生成の材料にされるのはたえられません。
それはプロアマ問わず、創作をしている人達はみんなそう願っていると思います。
AI 生成によってプロアマ全ての創作者の創作意欲を奪わないでください。

●受付番号　185001345000007007

私は印刷所でパートをしながら、仕事は少ないですが漫画やイラストを副業にしています。印刷所のパートで Adobe の Photoshop を使って画像生成を利用したりもしますが、万が一を考えて生成画像の PSD データやもとに利用した画像はすべて保管しています。生成 AI に利用されている画像やイラストの権利者から訴えられる危険を常にはらんでいるからです。
また、創作者として、自分で描いたものは利用範囲を定めたうえで素材として配布するもの、仕事で依頼を受けて描いたもの、趣味で描いたもの、それぞれネット上にあるのですが、仕事でお金をいただいて描いているものが、勝手に第三者に取り込まれ利用されるのは、対価を支払っているお客様に対して失礼に当たりますし、本当に許せない行為です。誰かが買ったものを横から完全にコピーして盗んでいく行為です。
AI 生成画像に著作権を持たせるのであれば、学習元はその AI 生成ソフトの為だけに提供されたクリーンな生成元でなければなりません。無償提供でも、有償提供でも構いませんが、それ以外の他人の財産を勝手に搾取する行為は犯罪であり、それを認めるような考えは否定します。

●受付番号　185001345000007008

私は特定のイラストレーターさんの絵を何枚も AI に取り込ませて、その人の絵が作れる AI を作成した人を SNS 上で何人も見てきました。
これはその人が絵にかけてきた何百何万時間を馬鹿にするようなことだと感じました。
また特定の個人のイラストを学習した AI を作成するだけでなく、それを使用してお金を稼げてしまえば、イラストレーターさんの個性や収入を奪うことになりかねません。
X(旧 Twitter)には一定金額課金することで、収入が得られる制度があります。
つまりこのままであれば、人の絵を奪い楽にお金に変換できてしまいます。
加えて、心労をかけられているイラストレーターさんもいました。
AI が発展したことにより、AI に取り込まれたものと同じような画風の絵を描く方が、あなたの描いた絵は AI で描かれたものではないのか？自分が描いたというなら証明して欲しい というコメントが寄せられているところを何度も見ました。
私はイラストレーターさんの技術、収入、心を守るために、絵を AI に簡単に取り込めないようにさせる法律が必要だと考えています。
もちろん良い方向に使えば、作業時間の短縮等になることも想定できますが、良い活用は悪いやり方をなくしてから考えていただきたいです。
大変長くなってしまい申し訳ありません。
どうか、収入を奪われたり技術を盗まれたり、心労を抱えてしまったりすることで筆を折るイラストレーターさんが少しでも増えないように考えてください。
よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007009

AI の学習については著作権の点からも、無許可、無承諾の学習は制限かけてほしい。
すでに海外 AI による無許可、無承諾の学習によって出力されるイラストなどで、特定の作家の絵柄などを模倣し、金銭をえたり作家の活動範囲を狭められてしまった事例をみかけるため。
学習元になりえる描き手の不利益にならないような運用をねがいたい。
ゼロにしろとはいわないが、AI 学習については学習元になりうるひとたちに許可を得られる機構、ルールの取り決め、あるいは悪意ある模倣をおこない学習元の描き手に及ぶ不利益を生まないためのルール、罰則(登録制を義務にする)など立案、制定してほしい。

●受付番号　185001345000007010

時間をかけて作り上げた作品がAI学習されて一瞬でコピーされる&コピーした人が労せず利益を得るなら作品を自分で作ろうとする気が無くなるのは自明です
漫画やイラストなどの文化で国際的な存在感を築いた日本の原動力は創作意欲です。
それを奪うことは一つの文化かつ国際的な強みを潰すことになります。

●受付番号　185001345000007011

１．はじめに
２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
享受を目的としない行為。それは無感情に AI で生成物を作り続け、無意味にインターネットにアップロードすれば成立する、とも読めました。
AI を利用して迷惑行為を行っている人物は、それを容易に行います。
それは果たして著作権を守れているのでしょうか。
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について
（２）生成 AI に関する新たな技術
（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
AI による制作ツールには、AI 制作物と分かるような情報を組み込む義務が必要だと思います。
４．関係者からの様々な懸念の声について
学習元の著作権保有者から許可したものだけを利用すればいい。
大量にデータを集めるため、無法にするのはいかがでしょうか。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
学習元の著作権保有者から許可したものだけを利用すればいい。
大量にデータを集めるため、無法にするのはいかがでしょうか。
（２）生成・利用段階
学習元の著作権保有者から許可したものだけを利用すればいい。
大量にデータを集めるため、無法にするのはいかがでしょうか。
（３）生成物の著作物性について
いずれ著作物として認める必要がある。ただし今ではない。
学習元の著作権を重視すべきです。
（４）その他の論点について
大量のデータが必要の話。AI は自分で作って自分で大量にデータを作ります。
無法に集める必要はありません。
６．最後に
提案
・AI 利用の免許制度（利用者の治安）
・AI ツールの制作物に AI 利用データ付与の義務化（隠ぺい対策）

・学習元の制限。または著作物に”学習可”という情報を付与、それのみを集める仕組みに義務化

AI の発展のためには、学習元の著作権保有者・AI ツール・AI ツール利用者、この 3 つが必要不可欠です。

厳しくも正しい法改正を期待しております。

●受付番号　185001345000007012

長い年月をかけて作り上げてきた自分にしか描けないものを、努力もしていない方々が無断でAIに学習させて生成する事はとても許せませんしそれでお金を儲けているなんてあってはならないことだと思います。侮辱的な行為です。

●受付番号　185001345000007013

遂に AI 使用者の悪いにより精神を病み、活動を停止してしまった方が出ました。その方の元には、AI 使用者からの被害を受け、声を上げたことを皮切りに殺害予告等も届いていたようです。こんなことがあってもまだ AI は推進すべきだと考えますか?しっかりと現実の問題に向き合ってください。これ以上悪いに晒されて傷付く人が増えていいはずがありません。クリエイターにとって作品とはわが子のような存在です。そんな存在を好き勝手に弄り回されて、侮辱され、耐えられる人がどこにあるでしょうか。それにもはや AI が悪影響を及ぼすのはクリエイターだけにとどまりません。実在する人間の写真を食わせ、悪意ある生成画像をあたかも真実かのように発信される事例も出ています。お願いですから、AI の規制を一刻も早くお願いします。現実を見てください。どれだけの人間が傷付けられているかその目で確かめ、本当に AI を推進すべきかしっかりとご自身の頭で考えてください。お願い致します。

●受付番号　185001345000007014

素案が難しくて読みずらかった。
AI 作品を制作するにあたって、学習元としたデータをリスト化をして、リンクを付けるなどの紐付けをしなければならない、とかなら学習元になっても許せると思う。
ここか自分の作風っぽいとか孫みたいに思えるかもしれない。
そもそも学習元にしていいのは、許可があるもののみで良い。許可のない使用は二次創作にもある暗黙の了解があるけど、それもリスペクトが無ければダメだと思う。

●受付番号　185001345000007015

わたしは絵描きなので、絵に関しての AI と著作権について意見申し上げます。
結論から申しますと、無断での AI 学習と生成した AI に対する著作権の付与に反対します。
絵を描くということは、個人の膨大な努力の上に成り立っています。簡単に身につく技能ではありません。努力と、たくさんの時間を費やして作り上げた作品を勝手に AI 学習に使われ、それで作った AI には著作権で保護するけど元の作品には一切保護しません、なんてそんな馬鹿な事がありますか。
プロにしても、アマチュアにしても、うまかろうが下手だろうが関係ないです。
作品と作り手への配慮、リスペクトが足りません。
また、この手の話になると「お絵描きソフトを使って描いてるんだから AI 生成と同じだろ」とあらぬ方向から反対してくる人がいます。
お絵描きソフトは、ボタンひとつで絵が完成される訳ではありません。
ただ、絵を描くことをサポートしてくれてるだけです。また背景や人のイラストを書くときにサポートしてくれる 3D モデルや、素材など多数ありますが著作権フリーとなっており我々絵描きは著作権を常に意識してその権利の範囲の中で創作しています。
ネットに完成品をアップロードするのは、AI 学習のためではなく一生懸命作った作品を世の人々に見てもらいたい、楽しんでもらいたいからです。その意味を履き違えないでいただきたいです。我々が作ってるのは素材ではなく作品です。
AI 生成物に著作権を与えるということは、我々絵描きの権利と尊厳を踏みにじり、挙句の果てには芸術分野の衰退をも促し得ると考えます。これは絵に限らず、文章やほかの分野に関しても同じです。
文化庁を名乗るなら、公平に作り手の立場に立って考えてください。
私たち創作者に寄り添う立場で居てくれることを願います。

●受付番号　185001345000007016

人生をかけて身につけた技術をあっさりと AI に奪われ、またそれで生計を立てている人たちの生活はどうなるのか。
また、簡単に作成できることでフェイクが大量に出回り、嘘の情報を信じて損害を被る人たちを考えたことはあるのか。
法とマナーが整備されてないのに迂闊すぎる

●受付番号　185001345000007017

人間が人の画風・文章を盗用した場合は法的に罰せられる可能性があるにも関わらず、それが機械になった場合法的に問題ないものとすると、あまりにも法の抜け穴が大きすぎるかと思います。なのでAI利用者に向けた、元の著作者を守るための法を制定する必要があると思います。

●受付番号　185001345000007018

AI 学習を自由に認めさせてはいけないと思います。また、AI が創作したものについては権利等の保障は必要ないと思います。

●受付番号　185001345000007019

生成 AI の学習内容と生成したものの著作権について
生成 AI は様々なサンプルを取り込むことで学習している。現在は主に SNS などに挙げられた画像をしている。そうなるとその学習元の画像には著作権が発生している。個人でその画像を使い、学習させ、出力し個人的に楽しむ分には問題は無いだろう。しかし、SNS などの出力した画像をアップロードできるサービスに投稿した場合には問題が発生する。出力した画像の著作権だ。これには著作権は存在しないと思う。なぜなら、トレスなど画像を写しただけのものには著作権が発生しない。そのため、ただ無作為かつ無断で取り込み出力させただけのものにも著作権は発生しないだろう。
また、生成 AI によって引退する人も多数見受けられる。これは、文化の衰退を意味する。

●受付番号　185001345000007020

ネット上にアップロードされているものは著作権がないというのは、間違いだと思う。発表の場が違うだけで、紙媒体であろうと、ネット媒体であろうと、描かれた作品は描いた本人のものである。

●受付番号　185001345000007021

学習されたくありません。
自分が、自分の意思で書いたものを他人が真似る。それは盗作と何が違うのでしょうか。
作者が感じたこと、経験したこと、学んだことでしか創られないものが作品です。それを学習と言う名で盗用される。
人のものを盗んでおいて自作だと発言できる。そんな環境であれば創作はもうされません。創作している人が筆をおり、新たな作品が生まれなくなるだけです。
生成 AI は反対です。
自分が作ったものに対して、自分のものだと主張する権利がないのはおかしい。
生成 AI は反対です。学習されたくありません。

●受付番号　185001345000007022

趣味で絵を描いているものです。
昨今の生成 AI 技術の進化には驚きを隠せません。文字を打ち込むだけでイラストや文章、音楽と多岐に渡る分野を生成することができることは素晴らしい技術だと思うと同時に、0 から創作するものとして危機感を覚えています。
自分が生み出した絵を他人が無断で許諾していない方法でつかうことは著作権侵害になりますが、親告罪のため被害者である描き手が処罰を求めないと取り締まることはできません。
生成 AI で絵を作るとき誰かが描いた絵を参照(学習)していますが、それらに使用される絵は描き手が許諾していないものばかりであり、AI を通し別のものに昇華されているため絵柄(描き手の特徴)をもっていても著作権侵害として訴えることは難しい現状にあると思います。
かなりの類似性があれば著作権侵害と認められるとのことですが、生成 AI では何人もの絵をまぜこぜにしてしまえるため、どれだけ描き手本人が「その顔の描き方は自分のものだ」と主張しても法の下に「違う」といわれれば泣き寝入りする他ありません。
無いものをあると言われても無いからこそ証明が容易ではないといいますが、出来上がったホットケーキを生成 ai が作ったものだとして、その生地に何を混ぜたかを証明できるのは生成 ai を作った本人だけで、どれだけ元の絵をかいた描き手が味を知ってると騒いだところで権利を認めていただけないのです。そこに権利を付与されれば我々は盗まれていく絵をただ見届けることしかできません。
人の褌で相撲をとるとはよくいったもので、0 から絵を描いているものからすれば生成 AI によって絵を創造されることは、種から自分で生み出し育てた畑の作物を、無断で盗み他の畑からも盗んだ種とで配合させ新しいブランド作物を作られたようなものなのです。ここに一切の許諾もなく、口悪く言うならば盗人が金儲けをするための材料を我々はせっせと作っている状態にあります。
このような事態になっている最中で、生成 AI を用いる 1 部のネットユーザーでは絵を描いた人に対し「素材」と呼んでいる方々も見受けられ、正直にいいますと盗人たちに権利を渡したくはありません。
使ってもいいと許諾された絵だけで生成 AI をやればどうでしょうかね？とも思いますが、数十年かけて自分の手法を鍛錬してきた成果を景気よく渡してくれる人はあまりいないように思います。
我々の創作活動が脅かされることなく、外敵から守られることを祈っています。

●受付番号　185001345000007023

AI が生み出したものの学習元がクリエイターの作品の無断使用であればゼロからイチを生み出すクリエイターにとって大損害にしかなりません。規制が必要だと思います。そうでなければ日本の文化はさらに衰退していくと思います。正しく著作者が守られる法律にして下さい。

●受付番号　185001345000007024

まず、インターネット上で掲載されている創作物は、作成者にのみ著作権をあたえるべきである。他に原作があるものを使用して生成 AI による創作物を作成するという行為は、著作権違反に値する。著作権の侵害というものは、作者の名誉を毀損する行為であると考える。
そもそもの話、インターネット上で創作物を投稿した時点で作者から著作権を剥奪されるのが既に作者の名誉を毀損する行為である。他者の作品を AI 学習に使用したことで、作者の人生を狂わせる行為が起きたとき、あなた方はその責任をとれるのだろうか。
私は自分の創作物の著作権を AI どころか、第三者にすら与えたくない。

●受付番号　185001345000007025

AI の作った物(創作物)に著作権を、というのはあまりにも短絡的である。
それは AI に学習させたデータが著作権フリーもしくは著作者のデータであった場合にのみ与えられるものであり、他者が権利を有する創作物を学習させたものから生成された創作物は著作権が発生しうるものではない。それは単なるコラージュ画像である。
また現在インターネット上にある創作物はほぼ全てに著作権を持っている人間がいるにも関わらずそれらの権利を蔑ろにしてインターネット上にある物に著作権がない事にして AI に学習させよう、著作権法違反ではないようにしよう、という動きがあることには吐き気を催す。
絵や音楽だけでなく写真や写真と見紛うばかりの絵や声についても同様である。
本人の預かり知らぬところで本人ではない誰かが勝手に顔や声を生成し、あなたになりすます事ができる、と聞いたら誰でも不快感を覚えないだろうか？
本人が決して言わないであろう言葉を吐き着ない服を着せられ決して同じ空間にいないであろう相手とにこやかに笑って仲良しです、と言っているあなたではないあなたがいくらでも作り出せるのです。
これと同じ悍ましい加工が AI イラストや音楽の界隈で実際に起きてる、自分がオリジナルであると主張も忘れずに。
これは著作権だけに留まる問題だろうか？人権侵害の域に達していないか？
AI は便利であるがゆえに性善説で運用してはいけない、人間はいくらでも便利で悪い使い方を思いつく生き物だから。
創作するためではなく、ただ気に入らないイラストレーターに嫌がらせをするためだけにそのイラストレーターの絵を AI に学習させ絶対に描かないだろう絵を量産し権利を主張して筆を折らせるような人間がいます。
AI の運用、AI に学習させるデータの取捨選択とデータ元の権利と管理については慎重にかつ厳しくしていくべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007026

既に AI 学習を利用し特定の制作者の意図に反する生成物をあたかもその制作者が作ったかのように振る舞うようなケースも有り、学習自体に歯止めをかけなければ今後制作を行うものが生まれず何も作ることが出来ない世の中になることすら考えられます。
学習されたくなければインターネットに公開しなければいいというような考え方は、営業活動を行う、同じ趣味の人々と交流するなどすらできなくなるということであり、文化庁の規定に満たないものは創作物とみなさず機械学習を認めると言うような考え方は到底受け入れることが出来ません。インターネットに公開するということ自体をもって学習されてもいいとみなすことは不適切であると主張させていただきます。公開して絵や写真を見てもらう、音楽を聞いてもらう、文章を読んでもらうという行為の目的には、それによって人の心を動かし続いてもらいたい場合もあります。しかし、機械による複製物を大量生成されたいわけではなく、その観測した人間の感情や思想を持って、それぞれのオリジナルへとなって欲しいと考えていると個人としては感じています。
少なくとも現状の生成 AI による学習と生成のプロセスは既存の制作物をツギハギしているようなものと大差なく、それに著作権を認めるというようなことは人の手による制作行為の否定にほかならないとすら言えると考えます。

●受付番号　185001345000007027

AI と著作権に関して、意見をさせていただきます。
私は趣味で 17 年程一次創作（イラストの作成や小説の執筆など）を嗜む者です。
去年一昨年辺りから、AI 生成に関する問題を目の当たりにし心を痛めておりました。
AI は確かに、命令入力一つで絵を作成出来るスグレモノであり、便利な利器となり得るかもしれません。
しかしながら、その学習物の大半は「無断転載や盗作（許可なく使用すること）」で成り立っています。
これというのは、所謂花屋の店先から花を勝手に持ち帰り、花束にして売る、万引等と何ら変わりのない窃盗行為です。
素案では、インターネットに上げたものには著作権がない、と読み取れるような文言がございました。
もしもインターネットに上げた創作物が全て「フリー素材」になってしまうのなら、それは創作文化の衰退を招くのではないでしょうか？
衰退を招く理由としては、
・昨今の創作者達は、現実での交流の代わりにインターネットで交流をし、作品を売り買いしている
・この宣伝の為、インターネット上に絵を上げる方も沢山いる（これを「広告」とする）
・AI 生成を使う人間が、その「広告」を無断で使用し、その方の商品と同じような物を無断で作り、それを売って金儲けをする。
・結果、創作の持ち味を盗まれた人々は、AI に客が流れ、それで金銭を稼ぐことができなくなり、創作をする人々が減少。これに担い、AI が学習できるイラストも小説も無くなり、結果として AI も衰退する。
というのが考えられます。
インターネットに上がっている作品はその人の出す商品の「見本」であり、店頭のショーウインドウに並ぶ商品と何ら変わりありません。
それに AI を育てたいのならば、それこそインターネットにある作品を無断で取り込むのではなく、決まりを作って、その決まりに沿った発展をしていく事の方が望ましいのではないでしょうか？
例えば
・AI を使うにあたって、「AI 使用資格」等の資格を作り、その人に持たせても悪事を働かないか判断するテストを行う。
・AI を所持できるのは、絵や小説を描いたことのある個人、もしくは資格を持つ者に限定する。
・自分の絵を AI の素材にしても良いという作家を募り、素材を教材として売り出す。

・AI を使用した場合は「AI 使用」と明記することを徹底し、著作権を製作者と素材元の創作者に付与されるようにする。
・インターネットなど、公共の場や何処かに公開されたことのある画像を使用した場合は窃盗罪、もしくは著作権侵害で禁錮刑か、罰金を取る。
これらを徹底するだけで、今の様な創作者と AI 生成者の対立が少しは和らぐかもしれません。
私達創作を嗜む者が怒っているのは、AI の発展ではなく、自分達の作品を無断使用している点です。
我々の培ってきた文化を破壊するのならば、AI はダイナマイト等と同じく、使う者を限定しなくてはならない道具となるでしょう。
私は、創作に触れたこともないような人間が、勝手に他人の作品を取り込んで、「これが自分の絵だ」などと宣うのが、剰えそれで金銭を稼ぐような輩が存在することが、本当に許せません。
そこには自分の自尊心を満たす感情しかなく、作品への愛が存在しないように思うからです。
もし解りやすく例えるのなら、インターネットはスーパーや商店街、そこに掲載されている作品達は、店頭に並ぶ商品に他ならないでしょう。
万引をした人間は罰を受けるべきなのではないでしょうか？
それを使って何かを作り、売り出したいのなら、金銭を払わせるのは当然なのでは？
他人の権利を侵害する行為を、正しい事だと認識させる様なことはしないでください。
創作者達が心血を注いで作った傑作を、自由に使っていい素材だなんて言葉で貶めないでください。
自由に使っていいのは、フリー素材と明言している方々の素材だけです。
大半の創作者の作品はフリー素材ではありません。
どうか法の整備をお願いします。
最近では、無断で絵を使用した人間が、その使用した創作者を潰して成り代わろうとしたり、創作者を貶めたり、創作者を脅迫したりするようなことも起こっています。
このような物を一般人に預けたままでは、明日自分の作品が何処かに盗まれるかもしれない恐怖をずっと抱えなくてはならず、何を信じていいのかわかりません。
創作者から作品を奪わないでください。
作品は創作者の財産です。
AI を廃止しろとは言いません、ですがせめて AI を使用する物と、使用しない物の区別は作るべきだし、AI に使用するのならきちんと許可を得て使用するべきです。
著作権を管理するのならば、創作者によって世に生み出された作品達を守ってください。
何卒宜しくお願い致します。

●受付番号　185001345000007028

学習 AI に人の手で描かれた作品を取り込んで学習させる事に反対します。
ついこの間もセクシー田中さんの件や旧 Twitter にて AI イラスト生成による無断の作品生成で 1 人のクリエイターさんが筆を折ることになった件もあったのにも関わらず、どうしてこの様な考え方が出来るのでしょうか。
AI 自体に罪がないのは分かりますが、その手段がとてもマズイという認識があまりにも足りていないと思います。丹精込めて時間をかけて、心を込めて手がけた作品を、何も努力もしない人間に AI というものに自身の作品を学習させられ、あまつさえ利益にしようと自作発言等を行い、無断学習したクリエイターを心無い言葉で追い込み、それを見て見ぬふりをするどころか容認しますと言うのはもはや犯罪の片棒を担いでいるようなものではないでしょうか。国民の税金で裏金を使っておいてニュースに取り上げられてもなお動かない警察と同じようなものでは無いでしょうか？
このままイラスト AI の使用を許容する法案を通すとなれば、数多のプロアマ問わずのクリエイター、デザイナーがイラストという媒体を SNS では上げれなくなり、仕事もなくなり、辞めてしまう可能性は考えられないのでしょうか？
厳しい規制と共に、イラスト AI 学習に無断でクリエイターの作品を学習し出力させたものに対しての厳罰化なども考慮して欲しいです。将来、この国がクリエイターに対する尊重などを持たなかった場合、廃れていき海外への流出は免れないのは明白です。宜しくお願いします。

●受付番号　185001345000007029

生成 AI で作品制作すること自体は悪ではないですが、元になった著作者・著作物は何が何でも守るべきです。軽んじるものではありません。
素案の内容では、それらを明らかに軽視して、生成 AI での何もかもを許容・許諾するかのように取れると思いました。
既にそれらに関するもので、実害を被っているクリエイターは多くいて、中には殺害予告までされ、人によってはその筆を折らざるを得ない状況に追い込まれているケースまであります。
使う人のモラルは勿論ですが、それ以上に各位が正しくその機能を十全に使う為の下地が全くと言っていいほど整っていません。
それについて、間違いのないように話が進むことを願います。

●受付番号　185001345000007030

生成物の著作性に対する意見です。
生成した作品に人間的な手を加えればそれは生成した者に著作権が発生するとの事ですが、これはおかしいのではと考えました。
まずAIで生成する以前に学習した他の作品、これらにもそれぞれ作者がおりそこに著作権が発生しているはずです。言い方は悪いですがそんな作品をただツギハギして生成した所に少し加筆などをした程度で著作権が新たに発生するというのは元の作者達に対する著作権の侵害に当たるのではとおもいます。

●受付番号　185001345000007031

悪意のある人間の道具としてしか使われていないことが問題
AI 使用者が著作者に対し使用料を支払い、それでも使う者がいるのであれば創作ツールとしてある意味があると思うが、現状の生成 AI 使用者を見れば、創作として生成 AI を使っていないことは明らかだ
生成 AI による搾取、創作者への嫌がらせは創作全体への害であり、その程度の認識を持てない者はそもそも議論の場に立つ資格がない

●受付番号　185001345000007032

５．各論点について
（１）学習・開発段階
（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
注 31
「AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に、学習に用いられた特定の著作物による学習済モデルへの影響を取り除く措置を請求することは、現時点では、その技術的な実現可能性や、技術的に可能としてもこれに要する時間的・費用的負担の重さ等（例えば特定の学習データを学習用データセットから除去した状態で再度学習済モデルの作成を行う場合、当初の学習と同程度の時間的・費用的負担が生じると考えられる。）から、通常、このような措置の請求は認められないと考えられる。」
技術的に難しい、時間的・費用的負担がかかるからといって、
権利侵害を見逃す理由にはならないと思います。
これが認められてしまえば、法に基づいた命令ですらも「難しいです」の一言で回避できてしまい、法治国家としての秩序を保てなくなってしまうのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007033

生成 AI と著作権に関する考え方について、生成 AI による生成物に著作権を与えることに反対します。
人間が制作するからこそ創作物（著作物）になるのであり、生成 AI が生成した物は科学の産物にしかならないのではないでしょうか。
科学の産物に著作権を与えるのはおかしいと考えます。
5.各論点について、(2) 生成利用段階、　【その他の論争】、　イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作権性との関係について
上記において、AI 生成物を生成するに当たって具体的に示す詳細な指示が創作的寄与があると評価される可能性を高める、とありますが、生成 AI を用いずに創作した場合の方が遥かに創作性が高いことは明らかです。
生成 AI に許可なく学習された著作者や、海賊版の著作物を学習してしまった可能性がある生成 AI に著作権を与えるよりも、生成 AI が学習可能な範囲の設定を定めるべきだと考えます。
現在、クリエイターは SNS に創作物を投稿するのが常であり、それを見た企業がクリエイターと契約を結ぶことも増えています。
そのため、SNS で見つけた著作物を無許可で学習するのではなく、特定のサイト（たとえば文化庁の提出サイトを設定する）に投稿された著作物のみ学習可能とする、という形に決定した方が、生成 AI に学習させる側、生成 AI を利用する側ともに気持ちよく使えるのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007034

ネットにある作品であろうが、リアルにある作品であろうが、著作権は作者にあります。それを自由に使って良いと言うということは文化の発展どころか衰退を促すと思う。AI の発展を促すためには必要と言うのならば、有償で依頼をすればいい。せっかく漫画やイラストが日本の文化となりつつあるのにそれをぶち壊すのはどうかと思う。ただでさえ絵の生成 AI については他の国でも否定的な意見がほとんどだ。そういった事例を見て生成 AI の著作権を主張するのなら、勝手に学習先にさせられているイラストレーターや漫画家の意見を先に聞くべきだ。

●受付番号　185001345000007035

AI 生成物は著作物ではありません。
文化庁の認識としてはウィキペディアのようなイメージなのかもしれませんが、ウィキペディアの記事を丸ごとを「自分が調べてすべてを書きました」と引用元を明らかにせず、論文に載せて提出したら剽窃です。AI 生成物はそれと同様のことを常にやっているのです。
AI 生成物を「自分の作品だ」と言って発表することは剽窃・盗用に他なりません。
AI が世に出回っている無数の作品を盗用し、加工しなおしているだけだからです。
ChatGPT などで素案を作る下書きとして役立てることはあるとしても、その文章を丸写しするのは創作物ではありません。（ですので先日の[redacted]は芥川賞を辞退するべきでしょう。あるいはその作品に著作権を保持してはいけないと思います。）
絵でも文章でも、創作物だと言い張るのであれば、「AI の痕跡が 2 パーセントでも残っていたら創作物と認めない」等、きちんと数字で線引きができる、ルール制定が必要になると思います。
これは日本における日本人による創作物・著作物が、海外の AI 利用者によって盗用・加工されないように守るためでもあります。日本のイラスト・漫画・アニメ・小説などのコンテンツは、世界の東西を問わず、盗用の危機にさらされています。この危険性がさらに AI 利用で、拍車がかかることを食い止めねばならないでしょう。AI 制作著作物という名のもとに、すべてうやむやにされて、著作権は冒涜され、本来ならば日本の財産であり、日本人が受けられる恩恵が、海外に流出してしまってからでは遅いのです。
効率重視で AI の制作物を蔓延させると、文化が根元から腐敗し、絶えてしまいます。数年後には、AI に頼らずにその技術の腕をふるえる人間自体が根絶している可能性すらあります。AI 生成物は、創作界において危険な特定外来生物のようなものなのです。AI 制作物を著作権として認めてはいけません。

●受付番号　185001345000007036

現時点でAI技術を用いての生成データによって人権侵害を受けている方がいる。
この技術は創作を助けるものであるというポジティブかつクリーンなところからスタートされているはずなのに現在、犯罪に利用されている。
なので、しっかりと法としてAI技術利用（生成データ）の用途についての法、著作者を保護するための法、違反者への刑罰など細部に至るまでの法制定を希望します。
そして何より現在AI生成データによって苦しんでいる方をいち早く救済できるようにしてほしいです。
例えば、
・AI学習承諾について、著作者の承認を得ていない利用は違法であることの明文
・AI学習が承認された場合、生成データには著作者名の明記および正規契約を経てコンテンツを作成している旨を明記することを義務付ける
・生成データを利用する個人または事業者に生成データの利用可能範囲を明文化
・違法利用によって権利侵害された著作者への救済や支援措置
・違法利用者への厳重な刑罰
・児童ポルノ生成の禁止
など、公正かつ適正な法の制定および、倫理に基づいた啓蒙活動がなされてほしいと思います。

●受付番号　185001345000007037

生成 AI の諸問題として、以下の内容が挙げられます。
1 現在の生成 AI はクリエイターの手助けにならない。
大前提として、現在の画像生成 AI はその品質を担保するために他者の作品を無断で使用したデータセットを用いて画像生成を行っています。法律上では「研究のための」データセットの作成においては他者の作品の無断使用は禁止されていませんが、私的利用を除き生成された画像には通常の著作権の適応が認められます。
・生成した画像をインターネットで公開する
・生成した画像を用いてコンテンツを作成し公開する
・生成した画像を販売する
等の行為は十分に著作権侵害の問題を孕んでおり、そういった危険な生成画像を通常の作品制作に織り込むというのはリスクが高く用いることはできません。
しかし、それでも現在多くの方が画像生成 AI を用いて作成した画像を公開、またはコンテンツに利用しています。ですがそういった方々の多くは
・そもそも過去イラスト制作などに携わっていないために著作権などの知識が不足している
・画像生成 AI が抱える問題を理解した上で、問題が起きた時に逃亡する準備を整えた上で利用している
・画像生成 AI が抱える問題を理解しているため、画像生成 AI を用いていることを隠している
のいずれかです。この現状は決して健全な状態とは言い難いもので、画像生成 AI では健全にクリエイターが育たないと考えます。
2.データセット内に、著作権以外にも法に違反した画像が含まれている
データセット内の画像データには「実際の性的被害者である未成年の姿が規制無しで映っている児童ポルノ画像」や「殺害された被害者の画像」などが含まれていることが分かっています。そして、それは決して一枚や二枚といった小規模な話ではありません。
なぜなら、ほぼ実写の児童に見える女性のポルノ画像やグロテスクな殺戮シーンの画像が画像生成 AI により作成出来るからです。
画像生成 AI はデータセット内のタグ付けされた画像データを複数枚用いて画像を生成します。逆に言えば「ナアタユランバ(今私が思いついた架空の生物)の画像」のような、データセット内にも存在しない内容の画像を作成しようとしてもデータセット内にその画像に見合ったタグがつけられたデータが存在しないために意味不明な画像が作成されるだけになります。
上記のものは極端な例ですが、例えば画像生成 AI が出回った当初はデータが足りず人間が描いたとは到底思えない画像が多かったことや、「泳ぐ」「箸を持つ」「逆立ちする」と

いったあまりイラストとして用いられない内容のものは参照するデータ量が足りず破綻した画像が生成されやすいという事からもご理解いただけると思います。
つまり、「実写の児童ポルノ画像」画像が生成できるということはそれだけデータセット内に「実写の児童ポルノ画像」が豊富に含まれているということに他ならず、そしてそれら児童ポルノ画像のデータはその他の「児童ポルノ画像を目的としない画像生成」にも用いられる可能性があるということになります。
また、近年の画像生成 AI は生成した画像のクオリティを向上するためにデータセット内の画像データを大きく改変せずに画像生成を行うというパターンが増えてきています。
今までは数え切れないほどの画像から要素を抜き出しモンタージュのように構成し直して生成していた為に破綻した画像が生成されやすい分元の絵が分かりにくいというものが殆どでした。
しかし、現在の画像生成 AI モデルは生成する画像の破綻を抑えるため、モンタージュに使う画像データ一つ一つの比率が大きくなり、画像生成に使われた元の画像が人間の目で判断できるほどに分かりやすくなってしまったパターンが多く存在するのです。
この現在の画像生成 AI モデルと実写の児童ポルノ画像が用いられたデータセットという問題が組み合わさると、「実際の性的被害者の姿をほとんどそのままにした児童ポルノ画像」が生成されかねないということになります。
では、健全な画像生成 AI を作成するために法的にクリーンなデータセットを作成する場合はどうなるのかというと、次の問題が挙げられます。
・画像生成 AI のクオリティを担保するためには、現在の AI のように 53 億という非常に多くの画像が必要になり、それらの画像の著作者全てに許可を取る必要がある。
・イラストなどの作品を利用したコンテンツを著作者個人に許諾を得て作成する場合「利用料」を支払って契約を交わす場合も出てくる為金銭的なコストが無尽蔵にかかる。
・金銭的コスト、利用許諾の問題を最小限に抑えるために画像データの量を抑えると生成される画像のクオリティが担保できない。
これらの問題により、画像生成 AI は現状著作権を与えてまで利用を推進するべきではないと考えます。

●受付番号　185001345000007038

1：「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」はクリエイターではなく盗作者です。他人の作品を大勢から大量に盗みパターン化して画像生成を行っているだけです。
2-（1）-ウ：許諾なく作品を盗むことで生成を可能としている生成 AI はクリエイターの著作権を侵害しています。
3-（2）-2：既に特定のクリエイター作品のみを盗用し AI にパターンとして学習させあたかもそのクリエイターが作ったかのような生成データを作り出し嫌がらせを行っている生成 AI 利用者が多数見受けられます。中には盗用元のクリエイターに対し殺害予告を行っている利用者もいます。
現存する生成 AI はクリエイターが時間と技術をかけて作り上げた作品を盗むことで成り立っていることを忘れないでください。窃盗です。

●受付番号　185001345000007039

原作物には著作権が与えられるべきである。
AI 生成物に著作権が与えられた場合、現在絵を描いて生活している人間や、漫画を描いて生活をしている人間の失業率を大幅に高めるとともに、AI が AI から学ぶ循環が始まり、結果人間文化の失速にもつながる。
AI 生成物が無秩序に誕生したり、無秩序に学習している現状には危機感を覚える。
私は、このままではいつの日か人間による創作性が日本からなくなってしまうのではないかと危惧している。
創作性がなくなった場合、すぐに現れる現象として、広告業界や、ゲーム業界などが衰退の一途を辿ると私は考える。
似たり寄ったりで、誰にでもできる広告など、広告としての価値がなく、誰の目にも止まらない。　同じくして、誰にでも作れるキャラクターには、ゲームとしての引きがない。
このようにして、創作性がなくなることで、業界の競争性が極めて低くなると考えられる。
総じて、この国の創作文化は、守られるべきであり、AI 創作物とは区別して然るべきであると考える。著作権を原作物を無視して与えることは、言語道断であり、この国の文化衰退や経済衰退に大きく繋がる、口を大にして非難すべき判断だ。

●受付番号　185001345000007040

生成 AI による学習、著作権を認めてしまうならば、クリエイターの誰しもがインターネット上に自分の作品を上げることを躊躇するか、やめてしまうと思います。生成 AI ではなく、0 からものを生み出す創作者の権利を重視し、守ってください。

●受付番号　185001345000007041

生成系 AI は誤情報が簡単に生成される可能性が非常に高いため危険である

●受付番号　185001345000007042

生成 AI が画像や文章を生成するためには全体としての機械的な学習なくして成り立たないという基本があり、その学習データは完全に著作権フリーのものからだけ作られていると証明できる手段はない。
このことから生成 AI の著作物は一律に『著作権侵害の疑いが強いもの』と見なし、
『生成 AI には著作権はない』『プロンプトもまた創造性のあるものというよりは「計算式の美しさを競うようなもの」』であるとして著作権を認めない方針を提示します。
現在公開されている『基礎学習済み AI』にはすでに膨大な数の『無断学習によるデータの蓄積』がありそこを起点にしている限り『著作権侵害と無縁』ではいられません。
公開で自由にカスタマイズできる生成 AI は誰がどんなデータを学習させたかも知る術はないといえるほどの数になります。
悪意が混ざる余地がいくらでもあるのです。
また『自ら手がけた作品』、『自らの努力によって得た能力』の『素材』扱いを許すクリエイターはごく僅かであるはずです。
それらの声を聞かずに『生成物にも著作権がある』『インターネットに公開されているものを学習素材として良い』は不粋です。
インターネットは今やフリーランスクリエイターの「アピールの場」です「仕事を求めて掲示した作品やデータ」を無断で素材として学習されるのではフリーランスは生きていく術を奪われるのと同じです。

●受付番号　185001345000007043

ウ 著作物性がないものに対する保護
○ 著作物性がないものであったとしても、判例上、その複製や利用が、営業上の利益を侵害するー
と記載があり、その後に続く対価還元の論点では通常の場合、著作権者の利益を害さないと記載されていました。
なんで営業してるのに利益を害さないと言い切れるんですか？
同じ市場で同じ形態で営業を行っているのであれば、それは既に市場衝突が起こっていますよね。ユーザー層が違うというお話でしょうか？
全て学習元があって存在している以上、既存のユーザー層とかぶらないという主張は机上の空論にしか思えません。
そもそも、享受しないことが前提であるにも関わらず、なぜ「プロンプトを打った、たくさんの枚数から選んだ」だけで著作権の構成要素をみなすとされ、「営業上の利益を侵害する場合に保護」されるんですか？
あまりにひどい矛盾だらけで正直困惑しています。
AI 利用者の利益を黙認し、保護すると言っているも同然ですよね？学習して良いとしている理由の大前提を忘れていませんか？冒頭から読みましたが、前提条件としてどうにか AI を商用利用したい、ただし対価は一ミリも払いたくないというようにしか読み取れませんでした。
自分が文盲の可能性もありますのでどうともいえませんが、このすぐさま矛盾している文章はどう捉えるのが正解なんでしょうか？利益として享受することを認めろということでしょうか？結局利益を得るのはオッケーだと言いたいならはっきり言ったらどうなんですか？できませんよね。それが答えなんじゃないんでしょうか。
法改正するおつもりではなく、あくまで指針としておきながら、違法性の高い抜け穴のようなものをグレーですからとさも正しいように推し進めるのが文化庁がやるべきことですか？法を軽視していらっしゃるとしか思えず、困惑しています。2 回目ですね。ずっと困惑しています。
ダブルスタンダードなことを言っているとご理解いただけているはずです。クールジャパン、アニメを持ち上げながら、その実何一つ守る気はないと断言しているも同然です。ご一考いただければ幸いです。

●受付番号　185001345000007044

生成物の著作物性について
AI 生成物に対して加筆修正をした際にはどの箇所を加筆修正したのかを明記する義務が必要だと思います。

●受付番号　185001345000007045

AI 生成による作品に著作権を与えることに反対いたします。
AI 生成によらない作品が、いわゆるパクリ作品だった場合
著者が AI 生成によって作ったので自分には責任がないと抗弁する可能性が高いです。
そして AI 生成作品に著作権を与えるということは
大手を振ってパクリ作品が横行することになり
創作界隈が壊滅状態になります。
日本のコンテンツが世界中に広まりつつある現在
このような施策を取るのは愚の骨頂だと思います。
どうか「新しいものに乗っかるのが正しい」という既成概念から離れて
せっかくここまで育ってきたジャパンコンテンツを守る方向の政策を取っていただくよう、切に願います。

●受付番号　185001345000007046

AI を使用した作品物について保護される必要はない。
理由としては現状の AI 学習に用いられた作品は無断でインプットされたものが多く、作家の権利が侵害されている中正当に保護されていない状況で、AI 作品を保護対象にする段階ではないため。
まずは AI による盗作被害を解決すべき。

●受付番号　185001345000007047

AI 生成無許可の作品を AI 生成の素材にする行為は、あらゆるクリエイターの筆を踏み躙り壊すと考えられます。
たかがイラスト、たかが文章と思わないで頂きたいです。込めている熱量や想いに個人差は必ずありますが、それでも『自分が作りあげた作品』に対しての誇りがあります。仕事であろうと個人の趣味であろうと、『人の成果を奪う』行為です。
AI 関連でなくともクリエイター間の問題は尽きません。ついこの間も死人が出てしまいました。これ以上の問題で死人を増やさないよう、今回の件についてはよく考え直して頂きたい。

●受付番号　185001345000007048

いかなる場合も他人のイラストを勝手に学習させた生成 AI にて作成されたものに著作権は発生しないと思います。
なぜならＡＩが作成しているのであって、ＡＩを使用している人は一切創作には携わっていないからです。
もともと組み込まれたパーツを組み合わせて一人のアバターを完成させているように、ＡＩ生成をする人は創作しているわけではなく、ただ単に
作業をしているだけだからです。想像性などありません。イラストをまったく描けない人が、他人のイラストを使い、手やちょっとした箇所を修正加筆しただけでその人の著作物になるのですか？他人の写真を切り貼りして１枚の写真を完成させるものです。著作権など与えたら泥棒を賞賛するようなものではないでしょうか。人間が、AI 生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分については、通
常、著作物性が認められると考えられる。とありますが、
どれくらいの過失、修正を加えるかの基準があいまいなのに著作物性が認められるのはありえないと思います。
こちらの基準は決まっているのですか？
自分の知らぬ間に自分の技術が盗まれているにも関わらず、それに多少手を加えればその人の著作物になる？
数学的なものや科学的なものは人類の進歩に大いに役にたつと思います。
しかし、クリエイティブという代えようのない一人一人のアイディアを盗まれていいとこどりだけしてそんなのＡＩ生成をする人だけが得をするような作りにすることは大いに反対です。
日本の漫画文化やゲーム等、特にイラストに関するものはむしろ他の国よりももっと頑丈に守っていかなければならないと思います。
衰退するとしたらこのＡＩ生成のせい以外にありえません。
文化庁の方には１００人のイラストレーター、１００人の漫画家、１００人の編集者。１００人の写真家、１００人の作家、それぞれしっかりとヒアリングをし、
日本の財産を守って頂きたいです。
もう１度言いますが、正直言って世界のトップにある漫画文化、イラストの技術等、
日本のサブカルチャーのおかげで日本に興味を持ってくれる外国人は多く、むしろこれらが発展していなければ衰退していく日本に興味を持ってくれる方は少ないのではないのでしょうか。
これらが侵されることは決してあってはならないと思います。
【他人のイラストを学習させた】ＡＩ生成に著作権は絶対にあってはいけないと思います。

●受付番号　185001345000007049

私たちが持つ権利や著作権を AI に奪われ、創作の自由を失う。そんなことが許されてはいけないと思う。やめて欲しい

●受付番号　185001345000007050

5（3）イ
AIによる生成物に著作権を与えうる内容でしたが、言語道断です。
生成AIから出力されるイラストは、数多のイラストレーターの方々が描かれた作品を無断で学習した上で成り立ったもので、AIを利用した人間の成果物でもありません。
どれだけオリジナリティのある指示文を書いたとしても、その人間が自力で描いたイラストではない以上、いかなる場合においても、著作権を認めるべきではありません。

●受付番号　185001345000007051

AI の技術はすごいですが AI を使う人間が悪意を持っていれば創作をしている人の心が傷つくだけです。
よく SNS で「自分が描いた著作物を無断で AI に学習されている。許可をした覚えも使っていいか聞かれたこともない。」と言っている人が沢山います。AI が絵を生成するためにも人間が描いた絵が必要です。AI は一瞬で絵が作れますが、人間は何年も努力をして絵を描きます。守るべきは人間の尊厳やその人の著作権だと思います。
機械は人間の暮らしを手助けするもの。人間の努力を消すものではありません。ちゃんとルールを決めるべきです。これから先の未来で人間が機械と関わらないは難しいです。だから今を生きる人たちの為にも、未来を生きる人たちの為にも、人間の創作物と AI の生成した物を同等に扱わないで欲しいです。
私も絵を描くのが好きな人間なので、AI が生成したものや、AI で勝手に人の絵を学習させ生成した絵を世に出していたり、それでお金を貰っていたりする人間を見るととても嫌な気持ちになります。お願いだから画家やイラストレーターを目指す人の夢を潰さないでください。人が描くから絵は輝くと私は思います。AI が悪だとは思いません。思いたくないですが、今の AI の現状が続くと沢山の人が AI に対して不満や不信感を抱く世界になってしまいます。第一に一人一人の人間が持つ権利を大切に守って欲しいです。
つたない文章でごめんなさい。自分のこれまでの絵の努力が無駄だと思わないように。そして AI を嫌いにならないように。意見を提出させていただきます。私だけじゃなく沢山の人が今回の件について意見を送ると思います。どうか考えていただけると幸いです。

●受付番号　185001345000007052

イラストレーターをしてる[redacted]と申します。
生成 AI に著作権は不要と考えます。
生成 AI によってデータ元の作者の許可なく作品を盗用され、それにさらに著作権が与えられるなど、盗人のみ得をすることになります。
また昨今の AI の進化によって仕事が奪われること、またその拡大によって業界全体が縮小することを危惧しております。
業界が縮小する理由は、若手が創作意欲を失い将来への不安を募らせていることにあります。
イラストをがんばっても AI に勝手に絵柄を盗まれて、他の絵柄とくっつけられたりする。
絵で食べていけるか不安が AI によって大きくなる。
このような事態が起きていることを大変危惧しております。
生成 AI は何を元のデーターとしたのかをはっきりとさせ、その中に元データの作者の著作権物があるのなら JASRAC のように絵柄を産みだした人に還元があるべきだとかんがえます。
日本が世界のリードを取ってるコンテンツはもはやアニメ・マンガ・ゲーム・車・半導体くらいしかありません。
特にアニメ・ゲーム・マンガは今アメリカの子どもたちに爆発的に普及しています。
しかし生成 AI で未来の作家たちのやる気を消えていき、日本のコンテンツ力が失われ、韓国・中国に抜かれていく可能性があります。
今後 100 年のサブカルチャー文化を左右する大きな決定になります。
クリエーターの未来を潰すことのないものにしてください。

●受付番号　185001345000007053

生成 AI は、法整備がほぼ為されていない現状ではイラストに限らず様々な権利を侵害しており、とても受け入れがたいです。
無断で生成 AI に取り込まれた被害者に更なる被害が及んでいる・生成 AI を用いた者(他者の能力又は情報を盗んだに等しい行為)が悪用に走る例が多い印象です。
そういった問題が今後解決されていく事を望みます。

●受付番号　185001345000007054

生成 AI に著作権を付与するのいうのは正気でしょうか？
ただでさえ現代において人の手で 1 から作られた創作物を無断で学習させ、不当な利益を得ている AI は創作物の敵と言えます。AI の学習元は全くオリジナル性は無く、数多くのクリエイターたちが創ってきた歴史そのものの盗作です。そんな事を法で許せば、クリエイターの不当な迫害は酷くなるばかりです。日本の誇るクールジャパンの文化を衰退させる力が充分ありますし、既に発揮されています。
創作の界隈だけでも AI を推進する事を辞めてください。創作物、著作物は正しく守られてほしいです。生成 AI を推進する案には全て反対します。
生成 AI が全くクリーンなものでは無い事を認識してください。学習元は損しかしていません。生成 AI に著作権を与えないでください。お願いします。これ以上日本で守られてきた創作の歴史が壊されないことを祈ります。

●受付番号　185001345000007055

SNS などに投稿した時点で AI 学習を許可することで生まれるものは一切今後の文化の発展などに良い点がないどころか、その制度の影響でクリエイターが投稿などをしなくなり、有象無象の模倣品しか生まれることが出来ないという悪循環に確実に落ちると思います。その上、今までの規約では無かったものを急に言われ、強制的に無断使用される事実自体が著作権侵害などに当たると私は思います。
そのため、予め AI 学習をして良いというクリエイターの作品投稿サイトなどを新たに作り住み分ける必要があると考えます。

●受付番号　185001345000007056

無差別的に画像の学習をさせるのは現在の権利侵害に当たるのではないでしょうか。
学習させる画像の製作者側にも報酬をきちんと支払い、その上で学習させるのはありかと思いますが、今のままではあまりにも製作者、創作物等に対する敬意がないと感じます。
そしてその学習させたあとの創作物にのみ対価を支払われるのはあまりにも不義理では無いのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007057

各クリエイターによる自己研鑽の賜物である作品を AI が学習し、生成物を出力することで、クリエイターの仕事が奪われることは明白です。市場の混乱、暴落が予想されます。特に日本のコミックやアニメーションは国際的にも高く評価されており、そこにクリエイターからの搾取で成り立つ AI 生成物が混入することは、文化の先細りにも繋がります。技術や知識の搾取ではなく、発展のために AI が活用されることを願います。

●受付番号　185001345000007058

私一個人の意見として、AI を使用して学習、制作された作品には創作物の要とも言える、自己表現、意見、などいった物はないと考えております。
著作権とは個人の独創性、権利を守るためにあるものであり、AI 作品は機械によって生まれたいわばデータの集まり、そこには個人の独創性などないと思われます。
また、AI 作品に対して、著作権が与えられた場合、我が国の産業にも大きな影響を及ぼすとも考えられます。理由として我が国日本の産業の核とも言える部分は個人の独創性によって生まれた、漫画、アニメ等の映像作品等が大きく、それらが産業としての形を成しているのは、人が考えた作品故に海外などで大きな影響を与えているためだと思われます。
もし、AI 作品に著作権が早された場合、心無い人間が、AI によって、それらの作品を模倣し、作品の質が下がり、それと同時に海外での影響力も少なくなり我が国は衰退の一路をたどって行くでしょう。
要約
なに馬鹿なこといってんだ考え直せ

●受付番号　185001345000007059

技術の進歩には規制のバランスは重要かと思いますが、残念ながら現時点で既に無法地帯になっているものに対し、ゆるい規制から入るのでは、技術を悪用している人のみが得をし、クリエイター側は泣き寝入りするほかありません。
読み込みに許諾が不要、となれば特定のクリエイター専用モデルを作り、そのクリエイターの権利を侵害することも是と考えてしまう方もいます(本来、大量データを 1 人のクリエイターが持っていることは無いのですが、できないことではないので)
複数の許諾を得ることが難しいことは理解しますが、その場合もきちんと条文に「但し、個別に禁則事項などが設けられている場合にはそちらが優先される」など、クリエイターが自分で自分を守れる道も残してください。
このままでは、これまで多くの芸術を残してきたクリエイターたちがすべて AI に置き換わり、人間味のない、とても芸術とはいえないものが溢れかえることでしょう。
あらためて、専門家だけではなく、きちんと現場の、クリエイターたちの声も確認してください。

●受付番号　185001345000007060

まれに絵を描いている人間です。
昔ですと象徴派や印象派など、現代日本においては昭和、平成、令和の絵柄というように、その時の「流行りの絵柄、作風」があります。
我々絵描きは自分がインプットしたものから「絵はこういうもの」を学習して何度もアウトプットをして自分の絵柄を確立していきます。
最近では AI による「学習」という名前で、AI 生成が成されていますが、これは学習というよりも盗用に近いという印象を受けております。
人間も AI も同様に流行りの絵柄を意識下ではないにしろ取り込んでいるにも関わらず、受ける印象が違いますのはそのインプットからアウトプットされるまでの過程に描き手の解釈が乗せられているかどうかだと思っております。
そういった意味では人間による他作品のトレースなども同様に「盗用」に近い印象を抱いております。
その盗用に辟易して引退された絵描きを多く見かけました。
自身が何年もかけて積み上げた技術やセンスが、一瞬で AI に横取りされてしまうことに耐えられなかったのであろうと思われます。
特に、趣味ではなく仕事で絵を描いている方にとっては死活問題だと思います。
依頼者にとっては良い作品があれば作者は問わないというケースが多いと思いますが、その場合明らかに人間に依頼するよりも AI 生成のほうが、時間もお金もかからず作品を生み出せるので好都合でしょう。
もちろん AI の発展自体は超高齢社会で働き手の少ない日本では活用すべき場面が増えることが望ましい場面も多いことかと思います。
問題は、言い方が悪いかもしれませんが、第一次生産者である描き手とその作品が尊重されないことだと思います。
このまま AI 生成が主流となり描き手がいなくなれば、AI もすでにある素材を組み合わせるだけなので、人間からも AI からも新しい作品、その時代を象徴する新たな文化が生まれにくくなるでしょう。
AI 生成は決して悪ではありませんが、学習元のクレジット明記することや、AI 学習のための描き手の許可が必要不可欠であることは間違いないと思います。

●受付番号　185001345000007061

イラストレーター志望の学生です。
創作物を何だと思っているのですか？
創作物というのはその人の膨大な時間を費やして手に入れてきたその人だけの立派な技術の塊です。それを無断で、しかも悪用するような輩に使われている現状をおかしいと思わないのでしょうか。
人の努力を踏みにじる行為です。最低です。
本当に利益になるからとでも考えていますか？数多の創作者から盗用したものが万人に受け入れてもらえるとでも思っているのですか？一部の方々は問題ない、というよりどうでもいいと思っているでしょうが本当にそれでいいと思っているのですか？
AI での技術革新自体には賛成しています。
ですが著作物は違うでしょう。人が描いたものを勝手に使って無断で利用しているのだから著作権違反以外の何物でもないでしょう。
馬鹿らしい

●受付番号　185001345000007062

一通り確認しました。率直に伝えるのであれば、あまりよく分かってないのが正直なところです。
しかし、物作りをしてる身として無視できる内容かと言えばそうでは無いので異議があるという数を増やす為に一通送らせていただきます。
少なくとも仮に AI に著作権与えて文化が発展することは考えにくく、出来上がるのは絵が描けない人が人に依頼せず AI になんとかしてもらうような稚拙な広告ぐらいしか思っていません。個人的な意見ではありますが、結局 AI でどう料理するかは人間の手だと考えられます。
しっかり伝えてる人は 2000 文字いっぱいまで書いて送ってる方がいると思うのでその意見に便乗する体でお願いします。

●受付番号　185001345000007063

AI による生成物が人間と同等の権利を有することは極めて受け入れがたいです。
お金稼ぎのために AI を使用し、暴走している人たちを止める政策や法案を考えてくださることを望みます。

●受付番号　185001345000007064

・AI に使用される画像は、全て著作権で守られるべき作品です。AI に使用しても良いかの確認、使用した場合、材料となる元の画像を作成した人への報酬は必須であると考えます。
・AI で生成された画像は実際に人が描いたものではない偽物であると思います。そういったものに、著作権は与えるべきでは無いと思います。また、生成 AI で作成したにも関わらず、それらをまるで自分で一から描いたかのように発表する方もいます。そう言った虚偽に対する法的措置も必要であると考えます。
・昨今、生成 AI を使用する人の著作権無視をネットで見かけます。有名なイラストレーターの絵を無断で取り込み、生成 AI に似たような絵を描かせ、イラストレーターの方の権利を踏みにじる、というものです。生成 AI は人がもつ権利を尽く奪ってまで使用する価値のあるものなのでしょうか。疑問に思います。使用する場合も、事細かに使用可能な範囲を定め、違反した者に対し法的措置をとれるような仕組みを組み立てる必要があると考えます。

●受付番号　185001345000007065

１クリエイターとしての意見です。
政府はクリエイティブ産業への積極的な政策的介入を止め、クリエイター等への税制上の優遇措置やインボイス制度の適用除外等の措置を講じるべきであると思います。
生成 AI に対して有利過ぎる素案であると感じ、危機感を覚えます。
生成 AI は元の著作物ありきで存在するものであり、その大元の著作物、引いては著作者ありきのものです。それらを保護せずして AI の発展はありえません。AI は人ではありません。使用する人間は当然いますが、それを商品化することは反社会組織であったり、玩具のように扱う部類、著作権への認識が甘い人が多いように感じます。そのような層に有利に働き、大元の著作者が大事にされない国であれば、クリエイターは日本には少なくなっていくでしょう。
またクールジャパン政策などの方面で考えても、海外では生成 AI による物は既に規制、排除され始めており、この素案は既に時代遅れになっています。
創作物を作るのも人なら、買うのも人です。人を大事にしない政策は文化を貧しくします。
(本来、クールジャパンと呼ばれているものは、世間の目、他人の目を気にしない、いわゆる「お上には従わない」「反骨的な気概」を含めた姿勢であったりそれを体現したような作品、なおかつそれらを多くの人が受け入れているという文化を含めてのものですので、決められた要項や選別基準のような介入は最低の悪手でしかなく、大衆のイメージしたものを満遍なくデータとして取り入れて均して出力する生成 AI とは真逆の道を行くものです。)

●受付番号　185001345000007066

他人の褌で相撲取るような文化に先はありません。
そもそもゼロから何も生み出せないのであれば、先は短いです。
AI はあくまで『学習して、模倣すること』が中心の技術であり、ゼロから生み出すことには長けておりません。
それを許可するのは悪手だし、一次創作者、二次創作物においての著作権法が守られる事はないでしょう。
とにかく反対します。法整備をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007067

世に出回っている生成 AI の多くは、元の素材の製作者に無断で使用されたものであることが多い。「AI 学習に使わないで」と製作者が明確に書いてある作品を使い、挙げ句の果てに製作者の成りすましをするものもいるとか。
法整備が進んでいないことをいいことに AI を悪用する者は多い。国が保護できていない部分につけ込まれ被害者が生まれていることを理解し、元の製作者の権利を手厚く保護することが先決であると思う。

●受付番号　185001345000007068

広く大衆が見れるような場(SNS 等)で公開した作品に関し、私自身は様々な方の目に作品が触れられ、楽しんでもらえる事を期待して公開したのであって、著作権を放棄し、他者に使われることを容認したことは一度としてありません。まして AI の学習に使われることなど想定してはおりません。クリエイター(絵描きや物書きといった一からクリエイティブを行う方達の総称)の誰しもが一からアイデアを練り、生み出した作品に著作権が発生するのは、時間労力等を鑑みれば当然の権利といえます。クリエイターからすれば、己の作品は子供と同等と言えるでしょう。にもかかわらず、作品をフリー素材のような扱いとされ、学習に使われた挙句、己の作品の一部を吸い上げた生成 AI で作成されたものに対して著作権を発生させる行為は侮辱以外の何物でもありません。私は、生成 AI で生み出されたものに対し、著作権を認める行為を容認できません。

●受付番号　185001345000007069

インターネット上にあがっているイラストや写真、動画などを、許可なく二次利用したAI学習・AI画像・動画生成について、そうした行為への禁止や処罰をするなど取り締まる法の制定を求めます。理由としては、大きく2点ございます。
1点目の理由は、オリジナルでイラストなどの作品を描く人間が減り、その結果アニメや漫画などと言った日本のポップカルチャー・サブカルチャー産業の衰退が見込めるためです。
ネット上にイラスト・漫画などをアップすることで多くの人に見てもらえる可能性が誰でもある、という土台が近年できたことで日本のポップカルチャー、サブカルチャーなどの文化が発展していることはご存知のことかと思います。
数字を伸ばし金銭を得る、という構造は資本主義の根本であると私は認知しております。
クリエイターの方々はアマチュア・プロとわず、その構造に乗っ取り、より良いコンテンツを生成するために、研鑽を積んで作品を生み出しています。
AIの画像生成は、時間をかけて研鑽を積むクリエイターたちへの侮辱行為です。努力をして生み出したクリエイターの作品を許可なく利用し、時間も労力もかけることなく、容易に「一見それっぽい画像を生み出せる」行為は、多くのクリエイターが心を痛めております。
また消費者としては、クリエイターが労力をかけて自分の手で生み出した作品を閲覧したいのにも関わらず、現在のインターネットでは厚顔無恥にもAIによって生成したイラストが多く紛れ込んでおり、真に素晴らしい作品が埋もれてしまって遺憾の意を唱えざるを得ません。
もう少し、AI画像生成に関して、SNSなどでパブリックサーチをしてみてはいかがでしょうか。真に活躍している優秀なクリエイターで、AI画像生成に賛成している方はいないことがわかるはずです。
AIの画像生成が好き勝手をして文化を巣食う現状を放置・許諾するのであれば、クリエイターや日本の文化に理解がないと見なし、優秀なクリエイターは新たに生まれることもなく、現在活躍するクリエイターは海外に渡るなどして、日本のポップカルチャーは廃れていくと見込めます。
端的で感情的な意見になってしまいますが、日本の文化が守れないなら文化庁の存在意義はあるのでしょうか。
以上、カルチャー産業の衰退の懸念という1点目の理由にて、他人のイラストや写真からAI画像生成を行うことを禁止し、処罰する法の制定を求めます。
次に2点目の理由ですが、メディアに顔を公表して活動している方全般が、AIの画像・動画生成によって発言の捏造をされる可能性があるためです。

過去に、著名な政治家が過激な発言をする動画がAI利用により捏造され、SNSにアップされました。 AIによる生成が蔓延り発展してしまうと、今後こうした捏造された情報や虚偽の情報が蔓延する恐れがあります。
文化庁にもメディアに顔を公表されている方はいらっしゃることとぞんじます。そうした方が、仮に「株式会社××はクソだ！」などといった発言をした動画が捏造されSNSで多く拡散されたとします。それが偽物だと後から表明しても、その表明は捏造動画を閲覧した人間に、果たして全員に届けられるでしょうか。
芸能人や政治家の方は大衆の支持が、仕事や活動に大きく関わることと認識しております。そうした方が、「総理大臣を殺害する！」などと言った発言をする捏造動画をAIにより生成され拡散されたと想定します。発言を捏造された方は、全く非がなくとも不利益を蒙りますし、その動画の真偽を解明したり、総理大臣の安全を確保するために対応したりなど、本来いらぬはずだった人員を割く必要が出てきます。
また、著名人でなくともこうした捏造動画を生成されてしまうと、今後の就職活動など人生に大きく損害が出てしまうことが見込めます。
そういった事象を防ぐためにも、インターネット上にあがっているイラストや写真、動画などを、許可なく二次利用したAI学習・AI画像・動画生成について、そうした行為への禁止や処罰をするなど取り締まる法の制定を求めます。
ご検討の程よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007070

現状 AI による画像生成の際には、学習元となる画像素材が必要ですが補佐的なものではなく一から全て AI で生成出来るようになってから明らかに学習元となるイラストレーターや創作者に許可を取らず、それなのに見れば誰も目にも明らかに「◯◯さんの絵に似ている」「系統ではなく、一個人の絵の特徴を意図的に模倣している」が大量発生しています。

丸や四角等の記号的な物やグリッター効果やぼかし等効果的なものなら理解できますが、近年特に一個人の著作権を侵害する目的で許可なく仕事で出されているものから個人的に描いている絵や文を悪意を持って収集し更にはまるでその仕事を受け持った作者自身だと偽って仕事を受けたり、逆に名誉を傷つける為自作発言した上で不適切な振る舞いをして営業妨害をしている人達がいる中。AI が全く規制されておらず又、学習元となる入力に特に規制がなされていない為今後も悪意ある第三者の犯罪行為の巣窟にされる可能性に AI に対して不安しか感じません。

道具を使うなら、どんな風に使ってはいけないかルールがあるように AI にも何らかの法的措置がなければ今後ますます罰せられないのを良いことに犯罪行為は増えていき、泣き寝入りした結果創作する上での技術の衰退にも繋がることも考えられます。

犯罪の抑止力の為にも、早めの AI 規制の法律を強く望みます。

●受付番号　185001345000007071

ネットにあげてるあげてない関係なく、著作権は発生します。勝手なAI学習は著作権の侵害にあたり、文化の衰退を招きます。

●受付番号　185001345000007072

ＳＮＳを通じてイラスト作品発表をし、生計を立てているものです。
この素案は、私のような作家に対する権利の侵害です。ＡＩを利用して他者の著作物を不当に利用し生成するといった行為は、断じて容認できません。
他者の著作物を機械的に飲み込み、ＡＩ生成で作られたものを作品とは呼べません。
著作者の権利とその著作物、文化、人権をしっかり守っていただきたいです。

●受付番号　185001345000007073

生成 AI について著作権に関わる問題なのでもっと深く考えるべき。
現時点では創作物をしている人間が馬鹿を見る

●受付番号　185001345000007074

生成 AI によるクリエイターへのダメージは大きく、他者の創作物を利用した生成 AI 自体の厳重な利用制限や公開の禁止が望まれる。生成 AI は作風の盗用だけでなく、人間が用いることでクリエイターへの精神的業務的な攻撃手段となっている。
作風も作品もクリエイター自身の財産であり、本人の学習で形成されてきたものであるため、著作権しかりクリエイター自身の権利がもっと重視されるべきだと考える
・生成 AI に手を加えたものに著作権を与えるという件に関しても大きな憤りを感じる。全体の一部を加工・修正したとしても、作風が明らかに盗用されているケースはあるし、そういったものに著作権が与えられてしまった場合、生成 AI 者がそうした作風を己のものとして元のクリエイターを訴訟するなどに転じてしまう懸念がある。

●受付番号　185001345000007075

AI 生成作品に関して、原作の学習元から生まれたものであり、いわば子作品のようなものであります。
学習元の作品は様々な AI 利用者によって著作権の有無に関係なく無作為、意識的に学習されたにもかかわらず、子作品である生成作品に著作権が付与されることは、元作品は皆で共有して自由に作り替えることのできるフリー素材のような扱いになってしまいます。
しかし、学習元の原作者は作品を 0 から自力で作り上げています。海外でも有名になり愛される作品も少なくはないです。
この素案は日本の素晴らしい技術者の芽を潰すようなものと読み取りました。
どうか、AI 作品に著作権を認める場合、クリエイターの方々が作り上げた作品には学習の可否を示すことのできる何らかの権利を認めてください。

●受付番号　185001345000007076

プロではありませんが小説やイラストなどを書いています。
時間をかけて推敲したり、感想や意見を聞きながら少しずつ作り上げていく大切な作品です。
同じような趣味嗜好のひとに向けて書いているもので、それを読んでくれた人たちからまた新しい作品が出来上がってきたら嬉しいなと思いながらやっています。
創作する私たちも、過去のさまざまな作品などからインスピレーションを受けたり表現技法を学んだりなどはしてきており、学習することそのものを悪いとは思いません。
けれど、人間の学習速度と AI の学習速度は違いすぎて、比較にならないこと。AI の出した作品がただの既存の文章のトレースやイラストの描き変えではないという保証ができないこと。精査の目が、手が、全く足りていないことを思うと、いまはとても AI による作品を手放しに受け入れることはできません。ましてや著作権などもってのほかだと考えます。
創作というのは文化であり、人の人たる営み、ゆとりであり所以であり、生きる意味であったりします。
人が人らしく生きるための歓び（また苦しみ）を、気軽に奪うようなことを国が行うのは破滅行為だと思います。
もっと創作する人に敬意を払ってほしいです。
たとえお金にならなくとも評価は低くとも、それは私たちが必死に生み出してきた私たちの世界です。この世界を誰かと共有できたとき、産みの苦しみは歓びに変わります。ひとの生きる歓びにもっと目を向けてください。尊厳を大事にしてください。私たち創作する人たちの、作り上げた大切な世界やこどものような存在、宝物を、安易に奪おうとしないでください。

●受付番号　185001345000007077

私は一クリエイターとして、個人(制作者)の制作物の著作権はいかなる場合においても制作者自身に帰属するべきであり、いかなる理由や状況があってもこの権利を他者やそれ以外の存在が侵すことがあってはならないと考えます。 インターネットに作品(制作物)を公開しているからといってその作品を作者に許可なく AI 生成に扱うことを許容することは断固認められません。 草案の改正を強く要求します。

●受付番号　185001345000007078

私は作家としての収入で生活しています。
現在の AI に対する行いで作家の人権や保護について強く危機感を覚えています。
ＡＩの技術がどれほど素晴らしくとも、利用する人間の行為の殆どが悪意によるものだからです。
大半は、絵を描けない人間が楽をしてお金を稼ぐ為に、プロのイラストを無断で使用して利益を得ようとしています。
実際、ＡＩにプロの作風を無断で読み込ませ学習を得て、お金を稼ぐ行為をネット上(X など)で何度もみてきました。
また、プロの作風をＡＩに真似させることで一種の「なりすまし行為」が可能になっています。より悪意のあるものは、プロの作家を装って本来の作家(本人)であれば書かないような絵柄で(性行為やグロテスクな作品等)をわざと公開する場合もありました。
（例えばディズニーの作品で差別的・反社会目的のイラストを生産するようなものです）
これが誰でも簡単に行えてしまい、一見目にしただけではそれがＡＩと区別がつかないほどの状況であることが問題であると思います。
また、実写の女優やモデルを学習させ、ポルノ画像をつくる行為や、実在する名所を災害を装って加工された写真も AI で誰でも簡単につくることができます。
手軽さ以上の被害があまりに大きく、作家やモデルの著作権が守られるのか、法律で証明していただきたいです。
無断で作品を利用し金銭を得る行為は立派な盗作行為であると法で定めてください。
少なくとも作者やモデルの合意が得られない資料を AI に学習させる行為を固く禁ずるべきと思います。

●受付番号　185001345000007079

クリエイターの著作権を侵害するこの案について反対します。
アニメや漫画、創作物といった日本を代表する文化を、クリエイターを、文化庁守らなくてどうするのでしょうか？
また、この案が通ったとして、その場合 SNS 上に上げられている人の写真を使い勝手にフェイクポルノやディープフェイクが作られてしまう可能性は十分にあると思います。
文化庁はそれを助長されるつもりなのでしょうか。
これらについてどのようにお考えなのでしょうか？

●受付番号　185001345000007080

昨今イラストレーターの方の作品をAIを使って改変し商用に利用したり、イラストレーターさんへの嫌がらせに悪用している事件をいくつもみかけます。
個人利用以外の場合の利用方法については厳しく制限する必要があると考えます。

●受付番号　185001345000007081

意図しない著作権侵害を防ぐため、AI クリエイターの懸念払拭のため
・データセットの中身を成分表のように列挙して表示
・使用されている元データの著作者からの使用許諾必須
・利用料、同意書などをもって契約とする
このような決まりがあれば、AI クリエイターは不安を抱かず、また AI クリエイターを支援したいという企業・個人などが契約したクリエイターに優先的に画像等を提供する（スポンサー契約のような形）ことで、他との差別化をはかり、新たな個性の形として盛んになるのではないでしょうか。
これらは、許可をとらない無差別収集により起こりうる、意図せぬ画像（ポルノ・犯罪）を含まないようにすることにも関わります。
また、画像の権利保持者の著作者人格権をより強固に守るため
・許諾外のデータが含まれた際は該当セットと出力物を削除
・違反に罰金をもうける
などの規則も強固とすることで、AI クリエイターとその支援者を守り伸ばしていくことと、創作活動を行うクリエイター本人とその製作物を守ることの両者をかなえることができるのではないでしょうか。
新たな文化・技術を伸ばすことと同時に、これまで培われてきた技術と文化を衰退させないためにも、確固たる制限をもうけ、いかなる場合においても「使用を推奨する権利」と「使用を拒否し守られる権利」が損なわれないような結論に至ることを期待しています。

●受付番号　185001345000007082

第一に、法第 30 条の 4 の対象となる利用行為について、適用範囲の設定が不十分であると思われる。
「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としない行為」には、AI に学習させる媒体として著作物を用いることが含まれているように感じられるが、学習した AI によって出力された作品によって、著作物を創作するための技術や、著作物そのものの価値が陳腐化し、対価回収の機会を損なっている。創作者による特別な思想・感情や技術のために得られていた価値が、AI によって出力された作品があふれかえったために需要と供給のバランスを破壊され、暴落しているのである。
生成 AI の生成・利用段階において、インターネット上で既存の著作物等を含む生成物を生成していること、講習発信していることなどはご承知いただいているとの事だが、もし AI に学習させる媒体として著作物を利用することを、試験や情報解析に供するため、と判断されることがあれば、著作権者の利益を不当に害することになる。そのようなことを防ぐために、適用範囲についてもう少し細かに規定するべきではないか。
第二に、享受の意義について、知的・精神的欲求を満たす効用を得ることにむけられたかどうか、という点においてのみ判断の材料とするのは、「技術革新とこれに伴い著作物等の新たな利用の態様に対応」できていないのではないか。
AI に学習させる媒体として利用される著作物には、思想や感情のために利用される以外にも、著作物を創作するための技術を盗む目的が多分に含まれているようにも思われる。
機械溶接のために熟練の溶接工が解雇される、という話ではなく、日本の独自改良による果物の高級品種を他国籍人が盗んでいき、自国の農園で栽培するようなものだと理解されたい。
つまり、思想又は感情を著作物に「表現する技法」を軽んじており、AI に学習させ技術を盗むことを現状の表記では容認しかねない。創作者がどのような思想や感情を持っていようとも、それらを表現する技術には独自性があり、まったく同じ思想や感情を持っている個人が複数人存在していても、まったく同じ創作が行われるわけではないのである。生成 AI に学習させることは情報解析の用に供するため享受には該当しないと考えられる、とあるが、享受の内容を補足し、著作物の創作者を保護する必要があるのではないか。

●受付番号　185001345000007083

AI 学習に使用してよいかどうかは個々人の意思に基づいて行われるべき。
人の著作物は無許可で勝手に使用されてよいものではないし、
クリエイターが「AI 学習に使用するな」と言っているのに対して画像生成 AI の悪用が後を絶たない今、
文化の発展のためにはまず今のクリエイターの保護を優先すべき。
最近ではイラストレーターの画風を真似たなりすましや脅迫、それによりイラストレーター活動停止に追い込まれた例も発生してしまった。
[redacted]
少なくとも今この段階で推進するべき内容ではない。
せめて法律で厳しく取り締まる体制ができてからにしてほしい。

●受付番号　185001345000007084

1.はじめに
著作権と著作者人格権の侵害はすでに起きており、作風を利用したなりすましが発生している。さらに
2.検討の前提として
(1)従来の著作権法の考え方との整合性について
ウ、例えば画像生成 AI の訓練データは画像を複製しタグ付け→圧縮加工(ファイルデータを小さくし、大量に集める)→プロンプトでタグ付けされた画像を複数呼び出し合成(生成)するので最終的に享受目的である。さらに、その生成された物を公開、販売しているので著作権利者の利益を害しているとも言える。プロンプトによる複数の画像呼び出しの合成は著作者人格権の侵害にあたる。
(2)AI と著作権の関係に関する従来の整理
ア、画像解析を行なって画像生成しているのなら、著作物の本来的利用に該当し、権利者の利益を害している。
イ、美術品を精巧に複製、保護する技術の開発のための 30 条の 4 であって、享受目的で開発された生成 AI に 30 条の 4 は適応されない。そもそも、30 条の 4 を考えた時点では生成 AI の想定ができていないため、この法自体を考え直すべき。
3.生成 AI の技術的な背景について
(1)生成 AI について
イ、大量かつ多様なデータ情報解析の元データとして著作物が使われている(貢献している)のに還元が一切ない。そもそも、学習データに使われたくないのに使われている現状がおかしい、承諾制を導入し、使われたい人使われたくない人誰もが納得するようにすべき。
ウ、文章生成 AI は性質上、大量かつ多様な学習データから次に使われる単語や言葉を予測して選んでいるので切り貼りしていると言える。
画像でも、自作品を集中的に学習されたデータを勝手に作られた作家が、そのデータを解析し自分の作品の一部が削られている事を確認している。削られている部分は他の画像からの切り貼りで補完しているので、生成 AI は学習データの切り貼りであり、著作者人格権の同一性保持権の侵害である。
(2)生成 AI に関する新たな技術
1.生成 AI への指示で学習データに入っていないデータを検索収集するのは権利者の利益を害しているのでは。検索と違い、引用元が表示なく生成 AI に強制的にデータを使われるのはおかしい。
2.該当データセットに強い影響を受けた生成物の生成を可能とする技術は享受目的かつ、権利者の利益を害しているので 30 条の 4 の適応外。著作権の侵害である。

(3)AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
1.最近の生成 AI では特定の作品、作家のプロンプトを入力しなくても著作物が出力されることが確認されている。特定のプロンプトを使用禁止にしたところで、それを突破する利用者もいるので、一般利用を禁止にすべき。
4.関係者からの様々な懸念の声について
5.各論点について
(1)学習・開発段階
ア、(ア)開発が非享受目的であっても、利用段階で享受目的になった場合は 30 条の 4 適応外であるし、商用利用禁止のデータを訓練データセットに使われ販売したら規約違反にもなる。30 条の 4 は穴が空きすぎている、改正するか削除をすべき。
イ、(イ)画像を生成するために画像を画像を学習データに使っているのなら享受目的であり、開発・学習段階であっても 30 条の 4 は適応されない。
エ、(イ)画像にその画像から享受したタグ付けを行い、それを持って画像生成を行なっているのだから、学習データ内に著作物があれば著作権の侵害になる。類似性が認められないことがあるわけがない。
すでに生成 AI によるクリエイターの代替は行われている。海外ではゲーム関連者が AI を理由に解雇されている。国内でも、CD ジャケットや CM に使われている生成 AI によって、クリエイターや俳優が行うはずだった仕事が生成 AI に代替えされている。これを「著作権者の利益を不当に害していない」と言えるわけが無い。
カ，(イ)AI に指示を出しているのは人間である。「特定の表現を集めろ」と人間が指示を出し、AI が集めているのなら明確に著作権侵害を目的とした学習済みモデルであり、これが廃棄請求できないのであれば AI がやったことだと逃げる人間が多発する。責任を誰もとらず、被害者だけが増えていく構造はおかしい。
ク、個人利用の範囲内であれば児童ポルノなどを一時所持し、訓練データに使い、児童ポルノ画像は削除し、生成 AI から個人的に児童ポルノを生成し楽しむのはありなのか。ネットで探し保存した誰かの写真を全裸にする目的で個人的に楽しむのはありなのか。生成 AI は一般に普及している。厳しい法規制が必要。

●受付番号　185001345000007085

私の AI と著作権に関する考え方は以下の三点である。
1)創作物を AI 等を用いらずに創作した著作者(一次創作者)は、AI の学習を拒否する意思表示をした場合、それは認められるべきである。
2)AI 生成物を使用した創作物を創作した生成者(AI 生成者)は、いかなる加筆修正を行った場合であっても、AI 生成物を利用した範囲内において AI 学習に利用された創作物を創作した一次創作者より創作物に対する権利が弱くなければならない。
3)AI 学習に利用された一次創作者の著作権を、AI 生成者が知らぬ間に侵害していた場合、生成者は自分の意思で生成 AI を利用していることから「偶然の一致」と評価するという考えはいかがなものか。

●受付番号　185001345000007086

「著作権者の利益を通常害しないといえる場合を対象とするものである」とありますが、学習段階で著作物をデータとして無断で取り込んだ場合は、データは消去されず参照される恐れがあることから、著作物の学習自体著作者からの明確な許可がない場合は禁止にするべきであると考えます。クリエイターの積み上げた技術を無償で提供することは文化破壊に繋がります。

●受付番号　185001345000007087

漫画を描く者です。絵も漫画も見るのは 1 秒ですが、完成には 1 年、その何倍も掛かる作品もあります。そこに掛けた時間と人生は、他人から無駄の一言で済ませられても自分の宝なので傷は付きません。しかし、それを AI で読み込まれると大変な傷が付きます。同じような無名の他人による作品や、有名な作品、ましてや有害であると世間一般に知られるような画像データと混ぜ合わせられると、感情面だけでなく権利面、倫理面でも作者の意図に反した状態となる為です。計り知れない作者達のデータから善悪問わず第三者が絵を生成して権利を主張する事は、最早競争による切磋琢磨も無い、招かれざる客によって全ての食卓が食い荒らされるようなものだと認識しています。AI 学習による作品の生成は、この上なく作り手を踏み躙るだけでなく、作品の創作意欲・気力を失わせる行為だと考えます。法とは、人間の善性に基づくものではなく、その善性が悪意によって軽んじられない為に在るべきものだと思います。その為、AI 学習には強く反対します。

●受付番号　185001345000007088

AI 文化の発展は大変素晴らしいと考えますが、前提として創作文化の著作権、制作環境の保護をしていただきたく存じます。
素案を拝見した限りでは既存の文化の可能性が潰れかねないものと見ます。今一度文化発展と権利のバランスを見直していただき、改善案の提示を求めます。

●受付番号　185001345000007089

AI 自体は素晴らしい技術であると思う。生成された資料を元に模写をしたり、自分の頭の中にあるものをアウトプットしたり、それを基に自身の手で新たなものを作り出すことも出来る(加筆修正やトレースではなく、あくまで参考資料として)先人達の編み出した技術を共有することも出来る。
ただ、問題なのは使い手側の問題で、無許可で誰かの絵を使ってそれを売り物にし、収入を得ることは明らかにおかしいことであると思う。
誰かが何十時間もかけたものを盗み、一瞬で生成し、我がモノ顔で自作しましたと言うのは普通に考えてもおかしい。
許可されたデータを使用するのはいいと思うが、許可されていないもの、または学習元のデータが知らないうちに勝手に使用されているのは罰されるべきことであると思う。
0 から生み出す大変さを知らず、好き勝手楽することを許すのであれば、学習するデータを提供する方もいなくなり、せっかくの素晴らしい技術が進歩することなく廃れていくと思う。
学習元の提供者を敬うことを忘れなければ、自ずとどうすべきかわかるはず。
しっかりとした法律を基に新たな技術を使うべきだと思う。
違反者には罰を、法の下に使用する人には技術を、無許可で学習させることのないものを期待する。

●受付番号　185001345000007090

著作者の許可なく海賊版の画像等で学習しているとされる現状の生成 AI には規制が必要だと考える。
5(1)イ
特定の画風を簡単に真似できるようになった結果、作家本人のなりすましを行い悪用（攻撃的な発言を行う・作家本人の名誉を損なう）ようなことが既に起きている。
このようなことがこれからも放置されるようでは、表現を発表することを控える人が現れることが想像される。その結果、AI も追加学習ができなるなることや、創作者の減少から日本の漫画ゲーム文化を支える技術が衰退してしまうことが予測されるため、生成 AI には規制が必要だと考える。

●受付番号　185001345000007091

・現状生成 AI は文化の発展には微塵も貢献しておらず、むしろ模倣された原本の価値を無にするための武器でしかない。
・特定個人を攻撃するために殺害予告と併せて扱われている件も見られ、生成 AI を認める事は国が『気に食わない人物を害し、あわよくば死に追いやる』ことを推奨するものであるように見られる。
・文化庁の方針はクリエイターを排除しようとしているようにしか見えない。

●受付番号　185001345000007092

5.各論点について

(2)生成・利用段階

ア、著作権の侵害をしていないかを確かめるために、学習データの開示は必須。生成 AI は性質上、既存の画像をそのまま学習データに使っており、それを出力できる。著作権の侵害をそもそもしていないのなら、学習データの中身を開示できるはずなので、推進するならこの学習データを使っている生成 AI は安心安全で誰が使っても侵害にならないと宣伝すべき。

(3)生成物の著作物性について

イ、具体的なプロンプトを入力し出てきた画像を選んだだけで著作権が発生するとは、創作を馬鹿にしているのだろうか。検索結果に著作権があると言っているようなものである。

試行回数と工夫があれば著作権が発生する意味もわからない。すでに作られているものを選んだら著作権が発生するなんてあっていいはずがない。

(4)その他の論点について

対価還元について、特定作家の作品を集中学習し金銭を得ている生成 AI 利用者もいることから、生成 AI 利用者の身元を特定し、利益を学習元データになったクリエイターに還元すべき。権利者の利益を不当に害しているのに、害されているクリエイターに一切還元できないのであればのこ技術を推進すべきでは無い。

学習済みモデルから特定の学習データを抜けないのなら学習データ全てを棄てるべき。今できないから侵害し続けるなんて、著作物権利者を蔑ろにしすぎ。将来の話ではなく今起こっていることで最悪の状況が起きないよう対処しろ。

6.最後に

学習データに使われたく無い人はどうやって拒否をするか検討すべき。海外ではすでに Glaze, Nightshade と学習を拒否する技術が支持されている。日本では推進ばかりで検討なんてできていない。公平な検討のために生成 AI 拒否、慎重、規制派を呼ぶべき。

●受付番号　185001345000007093

ai 生成物に手を加えたものであっても、一律に著作権を付与するのは不適当と考えます。また、生成物に著作権を付与することは著作権法の趣旨を没却し、自ら文化の担い手を著しく減らす要因になりかねないと危惧します。文化の発展の裾野を広げるためにも著作権は生成物をあまり使用していないものに留めておくべきと考えます。

●受付番号　185001345000007094

広くインターネットからAIの学習を行った生成物に著作権を認めたうえで、学習元に対して
利用料など対価の支払いを必要としないことが法律で規定されたならば今まで広く行われていた
ネットワーク上での自由な交流が著しく阻害されることは言うまでもなく、その結果多様性にあふれた
現在の文化的質量がビッグデータ学習に長けた資金力のある企業などに搾取をされ、その結果
モチベーションを失ったクリエイターは作品をネットワーク上に発表することにも支障をきたすでしょう。
その起きることは本邦の強味であったサブカルチャーは巨大な苗床を喪失し、そして
世界の中に埋没することなると思います。
文化庁として、文化とは一個人が創造しそれを未来につなぐことで維持できているものだということを
真摯に考え、取り組んでもらうことを期待します。

●受付番号　185001345000007095

『AI と著作権に関する考え方について』は、著作権・著作人格権を脅かす要項が多く含まれており、プロ・アマ問わず、創作者の人格や著作物を破壊する可能性は高い。
日本国内の創作者が消え失せるだけでなく、ちょっとした写真のアップロード、編み物や縫い物刺繍などの写真アップロード、日記などのアップロードにも、悪影響を及ぼす。

●受付番号　185001345000007096

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

他人の畑から野菜を盗んでもよい社会において、農業を成立させることはできない。

そのため財産は法によって保護されており、創作物は著作権という知的財産権によって保護されている。

これまで、従来の著作権法によって創作市場は正しく保護され、円滑に働いてきた。

AI の使用は、従来の著作権法を遵守する必要がある。もし AI の利用を促進するという理由で著作権の効力を弱め、創作物が保護されない社会を作るのならば、芸術産業を恒久的に破壊することになる。

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理

著作者の許諾を得ず、イラストを学習した画像生成 AI モデルについて、ここで述べられているように

・画像生成 AI を利用して生成されたイラストを販売・投稿する、モデルの利用をサービスとして提供することは、イラストを他人に享受させる目的で利用している事が明白であり、よって 30 条の 4 に違反する。

よって、こうした目的でイラストを許諾なく利用することは認められず、違法である事を周知し、取り締まりを行う必要がある。

またこれは、学習段階における利用の問題であることから、「特定の作風・作品を模倣するもの」に留まらない。大規模で無作為なスクレイピングによってつくられたモデルであっても、例外化して扱うことは認められない。

こうしたイラストの利用は、著作物の市場に甚大な悪影響を与えるものであり、30 条の 4 の理念に基づいたものである。

５．各論点について

【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】

エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について

（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて

生成 AI は、人間の 1000 倍以上のスピードで生成し、市場の流通そのものを完全に麻痺させることができる。この結果として、特定の作家のみならず、全ての作家、そして現状存在する市場そのものが破壊される事を懸念している。

一人の作家がどれほど創意工夫に富んだものを制作しても、AI によって生成された 1000 倍以上もの数の類似物に埋もれてしまえば、消費者との接点を作ることは不可能である。

こうした状況では、創作物の生産とそれによる対価の還流そのものが成立しなくなる。文化も経済も永久に破壊する行為である事を強く認識すべきである。

●受付番号　185001345000007097

「ＡＩが…」「著作権が…」「範囲内で…」とか並べてますけど、著作を「創作した時」から始まり、著作権が切れるのは作者生存期間から死後５０年なんです。生きた人間のものを勝手に使うのはそれこそ犯罪です。それを国がやるんじゃねえ。何もしないような人間は知らないだろうけど、創作する側からしたら努力して培ったもの、命削って書いた（描いた)、作ったものを勝手に使われるのは胸糞悪い。人の努力を、大切なものを踏みにじるな。勝手に法を決めたら国民の意見を無視したとみなす。ただでさえ国民の意見を蔑ろにしてるのに更にやるんですか。さぞかし楽しいようですね。

●受付番号　185001345000007098

AI を使って生成した作品は「作品」である前に、元になった作品を学習して作られたものなので、著作権を与えるのはやめてほしいです。
元になった作品にも著作権はあります。許諾を得たもの、個人的に楽しむものはともかく、無許可で生成された作品に著作権を与えるのはやめてください。

●受付番号　185001345000007099

AI 作品に使用された元データの確認が出来ないことに関する懸念について。
AI はインターネット上の画像を無差別に学習している為、データ内には児童ポルノなど違法なものや有償で作成された著作物も含まれています。
画像や動画の出力の際にそれらを意図的に抽出し、売買することも可能です。
上記を取締まる為に、学習に制限を掛けて出展元の明記を義務付ける事が必要です。
また、多くの AI 使用者が故意に特定のクリエイターに類似させた画像を出力して、クリエイターへの誹謗中傷や嫌がらせに使用しています。
AI イラストの登場から上記によるストレスで発病し、活動不能になるクリエイターが激増しています。
AI 学習元の権利者を守る法整備をして、上記のような状況から文化とクリエイターを保護しないとアニメ、漫画、イラスト、ゲーム等世界的にも価値のある日本の市場が破壊されるのは明らかです。

●受付番号　185001345000007100

生成 AI で作成されたものには加筆修正を加えた如何なるものに置いても著作権は与えてはならないと思う。
なぜならそれは誰かの著作物を無断で使用し学習させて抽出した結果であり、元絵に対する著作権、または著作人格権の侵害であるから。
現地点で生成 AI に、無許可の著作物を学ばせて居ないものなどほとんど無く、そもそも生成 AI を使用した作品を容認することすらしたくない。
自分の絵のみを学習させた自分専用の AI 絵にのみ著作権を与えるべきであるがそんな事は現実的ではない。
そもそもこんなことを意見募集する前に、他人の著作物を無許可で AI に学習させることに対し何かしら罰則を与える法規制を整えることを急いでほしい。

●受付番号　185001345000007101

クリエイター職ですが、著作者の許諾を得ない AI は基本的に著作権の侵害だと思います。
クールジャパンなどと銘打ち、文化を消費したい人間にとってはコストが安く済み良いかもしれませんが、
AI により著作権を侵害された創作者は当然創作物を産み出せなくなるし、
模倣元が不在となった AI は、搾りカスのように摩耗していき、確実に文化は衰退します。
まず育成、保護すべきは著作者、創作者ではないでしょうか。
文化育成にお金をかけられない国であることを、国民として恥ずかしく思います。

●受付番号　185001345000007102

こんなことが許されていいわけがないと思います。
やめてください。

●受付番号　185001345000007103

絶対反対です。
声の業界で仕事をしていますが、AI で複製される事案が既に出ており、本人の了承を得ないまま二次使用されている状態です。
AI 作成物に対して著作権を発生させるのではなく、まず第一次著作者に対しての著作権を守ることに注力すべきです。
日本では声優・ナレーターを含めクリエイター・創作の仕事に対しての理解が低いです。
このような素案が出ること自体が証左です。許されるものではありません。
そもそもクリエイターの権利保護すら十分でないにも関わらず、いいとこ取りをして AI を使った創作物で儲けようという者を保護するなど言語道断です。
まずはクリエイターの権利を保護する施策を行うのが先です。
AI による制作物は創作物とは言えません。

●受付番号　185001345000007104

AI 生成物に著作権を与えることがそもそもおかしい。AI 生成物は他者の作品を無断で学習したものである。無断の AI 学習を海賊版と同程度かそれ以上に厳罰化するべきだ。

●受付番号　185001345000007105

個人の創作物は個人の財産であることは大前提であること、この素案により犯罪に巻き込まれる危険性があるため反対いたします。

●受付番号　185001345000007106

人の創作品を AI に学習させるのは結構ですが、元となる作品を作ってくださった方への敬意はありますか。今でも AI 学習許可してない作品を勝手に使われ迷惑を被る人達がいる現状ですが、その事は知っていての考えでしょうか。著作権は作った方にあるべきものです。AI に著作権を奪われるというのは、自分が産んだ子供の親権を取られる様なものです。それでも良いとお考えなのでしたら、一度道徳というものを学んでは如何でしょうか。私でしたら、人が頑張って産んだ作品の権利を奪われるというのは辛いと思いますが、文化庁の方々はそうお考えになる方がいらっしゃらないのですね。ご自分達で一から作り AI に権利をお渡してはどうでしょうか。他の方の作品を使うのではなく、ご自分達の権利を AI にお渡しした方が良いと思います。もう一度検討してみて下さい。

●受付番号　185001345000007107

５．（１）学習・開発段階

著作権法 30 条の 4 が権利制限を認める根拠は、著作権者の対価回収機会を損なわないことにある。これは、恣意的に解釈されれば忽ち著作権者の対価回収機会が損なわれ、権利制限規定が著作権保護規定の潜脱目的で利用されることを許してしまうことを意味する。このような事態は、およそ著作権の公正な利用とは言い得ないものであり、著作権の保護を有名無実化するのみならず文化の発展をも阻害することになるため、絶対に許されてはならない。則ち、著作権者の対価回収機会が損なわれ得る場面およびそれに隣接する場面においては、権利制限規定の適用判断は謙抑的に行わねばならず、30 条の 4 柱書「当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合」および同ただし書の解釈は、著作権者の対価回収機会が損なわれる可能性をも考慮して、厳格に行うべきである。

生成 AI は、イラストからイラスト調の画像を製造するように、学習のために著作物を複製し、適宜処理したうえで、元の著作物と同じ形態の生成物を出力する。これは正にイラストという著作物から、イラスト調の表現を抽出し、それを再現することで出力者が著作物等の視聴等を通じて、視聴者等の知的・精神的欲求を満たすという効用を得るものである。仮にこの生成 AI による学習のみを切り出して、人間に知覚不能なコンピュータ上の処理であるため享受の定義に当てはまらないと解釈するならば、コンピュータを介した複製はおよそ全てに 30 条の 4 による権利制限が認められることになり、著作権者とその文化に対して甚だしい損害を生じることになる。Zip 形式の圧縮ファイルを考えれば、コンピュータ上で必要な処理を行わなければ人が視聴等を通じて認識することができないという意味において、生成 AI の学習と圧縮ファイルの間に有意な差異が認められないことは火を見るよりも明らかであるが、本素案は享受目的を否定している。

このような不条理を解消するため、30 条の 4 にいう享受目的とは、単に「著作物等の視聴等を通じて、視聴者等の知的・精神的欲求を満たすという効用を得ることに向けられた行為であるか否か」のみに着目して判断べきものではなく、著作物等の経済的効用を通じて経済的利益を得る目的をも含むものとして解釈すべきである。このように享受目的の範囲を広く解釈して初めて、著作権者の対価回収機会を損なわないという権利制限の根拠が確保されるのである。

本素案は、生成ＡＩ開発事業者の営業利益を不当に重視し、著作権者の権利を不当に弱体化させるような解釈を採用しているものと言わざるを得ず、著作権法の趣旨に従って著作物の公正な利用と著作権者の保護の調和を図るべき文化庁の提案とは到底思えないものと言える。文化庁は著作権を亡き者にし、生成ＡＩによる創作文化の蹂躙を奨励するのだろうか？

また、30 条の 4 はベルヌ条約違反の疑いがある。この旨はかねてより国際社会から指摘されて続けている問題であり、文化庁がこれを把握していないとは考えられない。にもかかわらず、他国の知的財産に対する侵害を肯定する法律として批判されている 30 条の 4 を、国際的に知的財産を侵害する技術として糾弾されている生成 AI の正当化のために用いる解釈を『文化庁が』提示することは、国際社会に対して日本政府そのものが他国の知的財産を収奪する海賊行為を積極的に推進しているように受け取られることは必至である。これは取りも直さず、日本産知的財産を国家公認の海賊版に貶めるに等しい行為であり、日本が誇る創作文化のブランド価値は地に落ちることになる。文化庁自らが文化を破壊しようとしている、との非難は免れ得ないだろう。

なお、仮に本素案の解釈が正しいとされる場合であっても、30 条の 4 は著作者人格権を制限しない。則ち、生成 AI の学習時の複製権侵害が 30 条の 4 により適法とされる場合でも、学習に伴う改変行為には同情の権利制限は及ばず、同一性保持権を侵害することとなる。にもかかわらず、この点を伏せて解釈論を展開する文化庁の姿勢は極めて不誠実だと考える。この点に関連して、「３．生成 AI の技術的な背景について」における「この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる」との記述は、根拠の一切示されていない印象操作であり、著作権者の侵害排除の声を封じ込める意図すらあるのではないか？と思わず邪推してしまう程である。そもそも生成 AI による模造品製造が著作権を侵害するか否かは、生成 AI の機序などという些事ではなく、生成物が元著作物と類似性・依拠性を有しているか否かに基づいて判断されるため、切り貼りではないことを根拠も示さずに殊更強調する書き振りは、何らかの悪意すら感じる。著作権者に真摯に向き合うことを求める。

●受付番号　185001345000007108

生成 AI による学習にインターネット上の創作物を無断で使用することに断固として反対します。
例 1）
ネットにあがっている日本の国旗を、他の国が「生成 AI 使ったらこのデザイン出してきたのでこれにしました」と酷く似通っている、ほぼ同じといえるものを他国が国旗とした場合、「生成 AI がやったことだから」で許されるのですか？
例 2）
「死刑を執行する時に流すに相応しい音楽を生成 AI に作らせました」といって、君が代とまったく同じメロディの曲が出来上がりました。これをとある国が死刑執行時に実際使用していきます。と言ったら、見て見ぬふりができますか？
どちらの例も、日本は生成 AI に賛成している国なんだから文句言う筋合いないですよね？だってこれは生成 AI が作ったらたまたま君が代と同じメロディになったんだから。と言われたらもうそれを削除する権利はないですよね。
著作権、何においても大事なのではないですか？
ましてや、勝手に学習する生成 AI を野放しにするということは、そういうことです。
海外からも、日本は「生成 AI にやらせた」といえば何も言い返せなくなりますね？
以上のことを危惧するため、断固として反対いたします。

●受付番号　185001345000007109

5.各論点について　(3)生成物の著作権性について　への意見です。
生成 AI も試行回数や指示内容によっては著作権が発生するというのは、著作権の定義上(p4 2.検討の前提として　(1)従来の著作権法の考え方と整合性について　ア著作権法で保護される著作物の範囲　より)、創作的に表現したものとは言えないのではないでしょうか。生成 AI を使用して生み出した絵は創作者が頭を使って 1 から生み出した表現とは違い、生成 AI 使用者(以下、使用者)が他者の生み出した表現を使用しただけのものであり、どのような指示・入力で何度試行を重ねても創作的表現としてのアイデアは使用者が作り出したとは言えず、それは勉強元に存在したものであると考えられます。そのためどのような状況であっても生成 AI の著作権は認められるべきではなく、創作者の著作権を守るべきであると考えます。

●受付番号　185001345000007110

生成物に著作権を付与することは著作権法の趣旨を没却し、自ら文化の担い手の首を絞める最悪の愚策である。
絵だけでなく文書や書類など、横に並べられても公式の絵と区別が付かないほどの復元率です。これは文化庁の素案でも 30 条の 4 が適用されず著作権侵害になるレベルであり、これが現行生成 AI の標準です。文化庁は現実を見ていません。
生成 AI 製の児童ポルノの温床になっている。
生成 AI のデータセットには実在児童の性的虐待被害画像が多数入って居ますので、AI 児ポは実質的には実在児童の性的コラージュです。非実在児童では無いことを強調しておきます。
これだけでも充分に社会において危険であるのは明らかです。
どうか賢明なご判断をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007111

AI 生成物は著作物として扱うべきではない・既存の制作物とは別の区分を設けて扱うべきと考えます。
理由は
1：現在主流の生成 AI はあくまで集められたデータをミックスして作られているため商標を含む他者の著作物が混入する可能性を捨てきれない。また、学習元のクリエイターが契約等で自由に利用できない制作物を利用された際、著作権を有している企業等からクリエイターが訴訟などをされる危険性がある。
2：生成 AI の利用で他者へのなりすまし（例：A という作家の作品を生成 AI に学習させ作品を出力し、自身が A であるかのように振る舞って A の業務を妨害する）や実在人物のディープフェイク・写真のようにリアルな児童ポルノの生成を制限できない。
3：生成 AI によりイラスト・デザイン業界の新人育成が難しくなり、将来的に業界の破綻を招く。業界が破綻し新規の学習データが作れなくなれば生成 AI の技術自体も破綻する。
この 3 点です。
特に学習データを制作する側のクリエイターにとっては生成 AI というのは百害あって一利なしの存在になってしまっています。
クリエイターにとっても便利なツールであるはずなのに、積極的に悪用したい人間によって「特定個人のなりすまし・嫌がらせに使用されるツール」と成り果てている例もいくつも見ました。
では実際の AI 生成物の取り扱いについてどうするべきか。先日 EU で採択された AI 規制法案のように
・学習を禁止したデータを学習しない。
・特定個人のトレースを行うような AI データは学習元の個人の承認が得られない場合は作成できないようにする。またすぐに学習データを削除できるようにする。
・写真のような児童ポルノには現実と同じ罰則を規定し、ディープフェイクに対しても罰則を儲ける。
・AI で生成されたものには生成物であるマークをつけることを義務化する。特に商用利用に対し、納品側へ AI 生成物であることを説明する。
などといった「人間が制作した制作物なのか AI が生成した生成物なのかを明確に分ける」対応を行うのが良いと考えます。
AI は使い方さえ間違えなければ人間の良きパートナーとなる革新的な技術です。しかし今は積極的に悪用したい人間のせいで AI の技術自体を忌避する傾向になってしまっています。また、この文明社会において他人の労力や権利を害して発展する技術はあってはならない技術になってしまうでしょう。

生成 AI について正しい規制・運用が施行され、AI を利用したい人も AI の学習元となるデータを制作するクリエイターも、万人が技術発展のため手を取り合えるようになることを切に願います。

●受付番号　185001345000007112

今回の素案の内容に反対です。
漫画の海賊版や歌詞がほぼ同じものを作ったりしたら犯罪として扱われているのに、データを勝手に使われるのは許されるなんておかしいです。本人が使って良いと言っていない限り許してはならないです。お祭りの屋台で目の前にあるから(お金を払わずに)食べ物を取って食べることは窃盗ですよね。目の前にあるからって勝手に利用するのは犯罪と同じではないでしょうか？
そのもそもイラストや絵画といった創作は AI を利用しなければならないとは考えられません。文字を認識することで手入力によるミスや手間を減らすとか、映像を認識して同一人物を割り出すのに役立つとか、社会にとってプラスであり多くに人が快適に過ごせるために利用するものだと思います。その AI は成長させてどのような役に立つのでしょうか？
さらに、生成 AI に著作権を持たせるのはありえません。著作権が与えられるのは努力の結晶のものではないのでしょうか？他人の努力を奪って、さらに自分で考えた改良ではなく作られるものに与えられて良いとは思いません。著作権が与えられるとなれば自衛としてインターネット等に作品をアップする人が減ると考えられます。これは動画配信者などイラストで応援される方々の知名度がうまくあげられず、日本の代表的文化のひとつを失いかねません。
ネット上にあるイラストを勝手に学習させてよく、さらに著作権を与えるなんてことに反対です。

●受付番号　185001345000007113

5.各論点について　【侵害に対する措置について】カ（イ)学習済みモデルの廃棄について
上記の項目の箇条書き 2 項目目について、現状の生成 AI は著作物の切り貼り、著作物の要素をそのままの形で出力するなど、「学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」という推論には一致しない特徴を持っています。具体例として、『作品の同じ位置に毎回サインを残している著作者の著作物を学習させた生成 AI が、著作者のサインも生成した』という事例があります。（参考：
https://togetter.com/li/2278427）
著作物は著作者のものです。インターネット上にアップロードしたとしても、公共の資源ではありません。生成 AI の現状・生成 AI による被害を今一度把握し、パブリックコメントを募りながら迅速に法整備をしてください。

●受付番号　185001345000007114

著作権、あるべきだと思う。
規制した方がいいと思います。

●受付番号　185001345000007115

画像生成 AI は法律で規制すべきだと私は思う。(AI 出力を利用した商品は販売禁止等)
AI による画像出力は学習データを元に画像を細分化し、画像の pixel 切り貼りで生成しているとも考えられ、著作権を侵害していると思われる。
また、児童ポルノなどの法的に問題のある画像をも学習元に使われている可能性がある。
現日本のイラスト分野及びクールジャパンと呼称される日本特有の文化に多大な悪影響を及ぼし利益たるものがほぼ無い。
悪意を持って使用している、著作者への嫌がらせや権利侵害をして商品を作り売買する者が目立ち、イラスト商業や一次創作同人等の市場にも悪影響が及ぼされている。
画像検索等で生き物の画像や植物の画像を検索した際、正しい画像が出てこなくなり本物と偽物の区別がつかなくなる。また、子供への学習にも悪影響が出る。
著作者への利益の一切がなく、著作権を踏みにじる行為は許されてはならない。

●受付番号　185001345000007116

３．生成 AI の技術的な背景について
・他者の成果物から成果物を生成させることができる、という構造がそもそも歪ではないか。
（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
・この項目に限らず言えることではあるが、はじめから無断学習をしなければ済む話ではないか。
４．関係者からの様々な懸念の声について
＜AI 利用者の懸念＞
・侵害リスクがあるというのであれば、それは手書きでも同じことであり、リスクを極限まで下げたいというのであれば、様々なデータを無断学習したものを使わなければいいだけの話である。
・同業からの冷評というが、そもそも現状では冷評されて然るべきである。現状の生成 AI 利用者は、無許諾学習や、海賊版データの取引に加担する側であり、クリエイターとして同業と認められるべきではない。
・生成 AI によって生成されたものを著作物として認めると、これまでの人間の基準では想定外だった驚異的なスピードで膨大な著作物が世に生み出されることになる。望まぬ形で学習元になったクリエイターや、今後のクリエイターを志す人間の創作の幅を狭めてしまうことになりかねないため、断じて認めるべきではない。
５．各論点について
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】
・学習するために別の形態へとデータを改変されるため、著作者人格権を侵害しているのではないか。これが侵害にあたらないのだとすれば、現行法は適当であるとは思えない。
・これは自身の話であるが、生成 AI の登場後、全般性不安障害と診断を受け、現在も服薬を続けている。
「クリエイターの仕事は退屈なものであり、君たちはただの道具である」と揶揄するような生成 AI 開発者の発言により、アイデンティティを傷つけられたのが非常に大きい。
人権軽視も甚だしく、看過していいものではない。
また、クリエイターが耕してきた土壌を無遠慮に踏み荒らす生成 AI ユーザーや、悪意あるディープフェイク、嫌がらせをむざむざと見せつけられることで、他人が信用できなくなったことも一因である。
このような著作者の心身に関わる実害は著作権法における「著作権者の利益を不当に害する」には該当しないということか。
・イラストなどを代表とする著作物の「著作権では保護されない価値」である絵柄や作風といったもの。これらは、AI のトレーニングに使用される資源として、将来的に著作権者

に新たな利益を生む可能性が生まれている。それを第三者に無断で吸い上げられている現状は、将来における著作物の潜在的販路を阻害することになっているのではないか。
・海賊版問題については、Web 上からデータ収集を行う以上は管理も回避も不可能である。
現状の生成 AI は学習データをすべて開示するべきであるし、生成 AI のような技術を作製する場合は「学習データ開示、オプトイン制、AI 使用の明記」全てが前提で、それ以外を認めるべきではない。
・生成 AI を活用した創作活動については、著作物を生み出すハードルを極端に下げることで、無法者（犯罪行為を行う者、反社会的勢力）を呼び寄せ、悪用される危険性を孕んでいる。そのため、創作活動として認めるべきではない。
６．最後に
AI と著作権について検討するメンバーが推進側に偏っているのではないかと懸念している。
現役のクリエイター（生成 AI 使用者ではない）などの人選なども加えたうえで、学習元とされるクリエイターにもう少し寄り添い、著作者人格権などの検討も含め、真の意味で公平、公正に議論をしていくべきである。少なくとも、日本における現状は AI 技術サイドとクリエイターの間はフェアではないように見えている。
また、個人の観点でいえば、児童虐待画像が学習元にあるなど倫理的にも危うく、ディープフェイクやそれに付随する冤罪などの危険性、犯罪行為との親和性の高さなど、危険すぎる技術に思える。個人で使えれば便利だろうが、原子炉を誰でも使えます、といった状況はあり得るべきではないだろう。
クリエイター目線で見ても、現状のままでは不要な技術であり、規制はすべきだろう。

●受付番号　185001345000007117

大元の書作者が守られず、AI を使った人物のみ保護していくようでは、そもそもの大物と著作者がいなくなってしまう危険すら孕んでいると思います。

●受付番号　185001345000007118

AI 生成物に著作物性は認められないと考える。
どれほど指示入力をしようとも、生成試作回数を重ねようとも、複数の生成物から選択をしようとも、その生成物は他の著作物の複製やコラージュでしかない。それに著作物性を認めることは、生成物に含まれた著作物の著作権を侵害することになると考える。生成物に著作物性を付与したいと考える場合、AI 生成に使用する許可を得た著作物だけを学習させて生成するべきである。また、AI 学習の情報源と考えられるインターネット上に公開されている著作物はどれも著作権が放棄されたものとは考えることはできない。AI 学習源の著作権が完全に保護されない限り、AI 生成物に権利関係を認めてはならないと考える。

●受付番号　185001345000007119

絵や文の著作権について、絵を描かない方や文を書かない方に産みの苦しみを理解しろというのは酷なように思います。ですから、ひとつの例え話として読んでください。
作品は作家の子供です。
膨大なコストと時間をかけ、自分の生活を犠牲にしてでもそれを育てます。周りには「そんなに苦しいならやらなきゃいいのに」「やめてしまえばいいのに」と言われながら、投げ捨てるなんてできないと己を奮い立たせて育てます。そうして出来上がったものが賞を取れば誇らしく、たとえ何にもならなかったとしても愛さずにはいられない。そういうものです。
現在の生成 AI、特に特定の作家の絵柄や文章の癖を読み込ませる類のものを許すかどうかは、言うなれば「養子に出すかどうか」を問われているようなものです。ここで親として気になるのは、向こうの家庭は安全かということです。養親は信頼できるか、司法が守ってくれるか、警察はちゃんと仕事をするか、子供が変なことをさせられないか、心配事を書き始めればキリがありません。
残念なことに、現在の生成 AI にそこまでの信用はないでしょう。
子育てをしたこともない人達が、勝手にうちの子供を連れ去って、卑猥なことをやらせているといった状況が既に起こっています。
生成 AI 以前からパクリだなんだとトラブルが起こっているのに、それすらも把握しきれていないのに、対処もできていないのに、どうして生成 AI にまで手を伸ばそうとするのか理解ができません。
日本は世界から見て遅れています。追いつこうと躍起になっているのかもしれませんが、能力がないのに無理をしても歪みが出るだけです。「おれ昨日のテスト 0 点だったけど東大受験するわ」に対する周りの反応は「いや、勉強してからにしろよ」です。
このパブコメ募集にもたくさんの意見が来ていることと思います。自分達がどんな無茶を言っているのか自覚するには十分でしょう。まずは既存の問題に対する法整備が先であると考えます。

●受付番号　185001345000007120

著作権はイラスト・小説他文化的な創作物を作成した本人に帰属するものではないのでしょうか。

●受付番号　185001345000007121

趣味でイラストを描く者ですが、はっきり言って現在の生成 AI を使用している人たちの存在は不快でしかありません。絵を描くことは誰にも止める権利はなく、描き続ければ上達していくものなのに今生成 AI を使ってイラスト投稿サイトなどに投稿している人間が本当に不愉快です。努力すれば少しずつだろうと上達はできるのに。誰かが何時間もかけて描いたイラストを使って自分は入力するだけで描いた気になるとか意味がわからない。趣味で描いている私ですら日々自分のイラストや漫画でどうすれば思い描いた通りに描けるようになれるのかを考えているのに、生成 AI のみを使用して創作している気になっている人は邪魔でしかないです。ばかにするのも大概にしてください。AI が進化することで科学の進歩や発見がたくさんされてきたということは分かります。少し前までは AI はフィクションで出てくるもののイメージでした。しかし SNS を見ていると、人が一生懸命描いたイラストを無断で使用して生成した AI イラストを自分の手柄のように宣う人がいます。それがどんなに残酷なのかわからないのでしょうか？X（旧 Twitter）では生成 AI に使用されてしまった方と生成 AI を使用した側の議論を何度も目にしました。
AI が出てくることでメリットはあるとは思うのですが、一旦利用者を制限してほしいです。（法を定めて免許制にするなど）
今の無法地帯のままでは AI そのものを嫌いにならざるを得ません。

●受付番号　185001345000007122

AI の学習において著作物が不当に利用されたり、著作者への嫌がらせに AI が使用されるケースが主 SNS 上で散見される。AI に関して、著作者の権利や心身が十分に保護される仕組みが成立するまでは、規制等を行いつつ、十分検討する必要があると思われる。まずは、AI に脅かされる著作者たちの声を真摯に聞くべきである。安易に利を求めるべきではない。

●受付番号　185001345000007123

まず「AI と著作権に関する考え方について(素案)」の「2.検討の前提として」(1)の時点で日本クリエイターの作品を海外で無断使用しグッズのデザインとして商品化、販売し違法な利益を享受する海賊版を手がける業者や個人のクリエイターを名乗る瓢作者がいる時点で、現在の著作権法への考え方自体が著作物の犯罪利用や著作者への利益の侵害を生んでいることを指摘させていただきます。
その上で同上の(1)エ(ウ)の「AI サービスが生成物を公衆発信している」件についても、購入した AI に無料でサンプル公開された著作物を学習させた後に特定の生成物を有料で販売している(公衆発信しない層)が増えつつあり、既にこちらの考え方も問題が起きているとの指摘をいたします。
(2)のアイウにおいても現状の AI 生成物を販売、サンプル作品の学習等での著作者が望まない作品の瓢作を行っている者がネットでの過激な言動を繰り返していることで知的・精神的欲求を満たす以外の利潤問題が起こっている時点で AI と著作権の整理としては不完全かと思われます。
「3.生成 AI の技術的な背景について」に関して、開発事業者やサービス提供者による幾つかの著作物保護を目的とした技術的措置で幾つかの不正利用が防止されていることは確認しております。しかし、開発事業者やサービス提供者が把握し措置をされる前に悪質な利用者による不正利用の方法がないか等のネット上での発言が散見され、事実いたちごっことして AI 技術を発展させるべき開発事業者やサービス提供者らが対応に追われて技術の開発に望まない妨害が入ってる点があるかと思われます。
上記の点において「4.関係者からの様々な懸念の声について」で上がっている声を解決するものが無いため、全て現実に噴出している問題となっています。
それに対する「5.各論点について」での対応等の案は、いたちごっこの延長になるだけではないのかという懸念があります。
例えば AI 作品を学習する場を国で定め、更にそこへは任意で著作者が作品を提出するような形にする等のような管理できる(イメージとしては美術館や図書館のようなもの)法令を制定し、インターネット上で公開された作品を AI で学習しないようにする等の措置は取れないのでしょうか。
インターネットではサンプル作品を公開し、作品の宣伝を公開する場としてクリエイターの方々が利用することが殆どです。
その場合は著作権を示す作家名等を記入している等の対策をするも、AI によって学習された折にその部分を削除されて不正利用されています。
特に AI 音声においては当初「初音ミク」等の提供音声を使用したような公衆での無償で楽しむための個人の知的・精神的欲求を満たす創作活動から外れ、「不正利用したアーテ

ィストの音声がある為、無料で別のアーティストの曲(又は不正利用し AI 生成した曲)を歌わせられる」という悪質な利用者が現れています。
これらの悪質な利用者が極一部から増加に繋がるのは法令の設定にかかってくるかと思われます。
よって、AI と著作権に関する考え方の意見として「AI 学習の場の制定及び法令の現行に即した、又は将来の懸念解消に繋がる詳細な明文化」を提案いたします。

●受付番号　185001345000007124

AI に対して不安を持っている人間の考え方や、逆に AI による作品の搾取や存在について、まだまだ理解が足りなさ過ぎる。
完全な理解とは行かなくとも、我々作品を手で作っている人間を守ることが重要なのであり、AI は他国同様、著作権や人間の努力を脅かすものとして、厳しく取り締まるべきであり、他国の法案を元に法案提示を進めるべきだ。
何故他国が AI を取り締まっているのか、脅威とみなしているのか、それすら理解出来ていない現在の我が国、及びこのような素案は、この国の愚かさを他国に露見するだけ、舐められる材料をお国が提示してしまうだけだ。
作品で金銭を稼いでいる人間がいることを全く理解していない。
あまりにも浅はかで愚か過ぎる。
法は量より質のはず。もっと熟慮の末に決めるべきものでは無いのか。

●受付番号　185001345000007125

第一に、ネットで上がっている作品であっても、それを作成した人がいる限り原作の権利、著作権は作成者本人にあります。故に、ネットに上がっている作品に対する第三者の権利は、「作品を観覧するか否か」に留まるものであり、それを生成 AI に学習させ、生成物の権利を主張することは不適切であると考えます。
そもそも、作品とは著作権を持つ作成者その人が、作品を作り上げるまでに要した時間・技術・知識・資料等の収集及び理解・作品に込めたメッセージ、すべてを総括したものです。それを無秩序、無作為に生成 AI に取り込み、全く別の物として出力することは、著作権者への冒涜であり、権利の侵害です。著作者人格権及び、著作権の徹底した遵守をお願いします。

●受付番号　185001345000007126

4.関係者からの様々な懸念の声について
に関連して投稿します。
AI による学習はできる限り制限してほしいと考えています。
人類の歴史において、後進が先達の絵画を模写したり、文体を真似て創作をしたりすることは枚挙にいとまがなく、それにより多様な芸術文化が花開いたことは理解しています。
私個人としても、子供の頃に好きな漫画作品の絵を模写したり、特定の作家に憧れて似せた文章を国語の課題で提出したりしたことがあり、それが現在の自分の文化的資産となっていることを感じています。
しかしながら、機械による収集や学習、それによる出力は、人間が行う模倣行為とは段違いの速さと量です。
AI による生成の規制が緩い状態が続けば、直に人間が創造した作品の量を遥かに超える生成物が世に溢れます。
それらは安価で、素人目には判別がほぼ不可能で、いつでも新しい物が享受できる手軽なコンテンツとして消費されることと思います。そうなれば人間による創作や芸術は非効率で高価であるだけだとみなされる場面も多くなるでしょう。そのような逆風のなか、創作を続けられる人間は少ないです。
今でさえ、（人間相手・AI 相手問わず）消耗して筆を折るクリエイターが多くいます。彼らは非力ではありますが、日本のカルチャーのプールを構成する一員でした。
有力者から名もなき新人や趣味の一般人まで、ベースとなるプールが大きいことが、まず文化を醸成する基本かと存じます。それを目減りさせるような舵切りはどうしてもやめていただきたいです。
既存の法律を無理やり解釈して当てはめ利用するのではなく、新たな技術に対して 1 から新たな見解を、現場の意見を取り入れて作っていただけたらありがたくおもいます。

●受付番号　185001345000007127

具体的な著作物の例としては小説、詩、映画、音楽、絵画などが挙げられる。
この範囲に対して AI の生成する作品が含まれるかどうかは、AI の生成プロセスや作品の性質に依存する。AI が単なるデータや事実を処理して生成する作品は著作物とはみなされない可能性がある。一方で、AI が独自の思考や判断をもって創作的に表現した作品は著作物に該当する可能性がある。
そのため、AI が生成する作品が著作物に該当するかどうかを判断するには、AI の生成プロセスや創造性の程度、人間の貢献度などを考慮する必要がある。また、AI が生成した作品に著作権が発生する場合、その著作権は AI 自体に帰属するのか、AI を使用した人間に帰属するのかといった点も考慮する必要がある。

●受付番号　185001345000007128

生成 AI の扱いですが、文化庁の素案では今後生成 AI を使用した著作物の利用を大幅に認めるような考え方に見えます。
クリエイターに関わるものとしてこの意見には反対です。
まず第一に、生成 AI の問題は、クリエイターが長い期間や対価を支払い積み上げ完成させた多数の作品を、学習させてこれを AI 利用者が自分の作品として出力させる行為自体なのです。
軽く調べただけですが、現行法では生成 AI の利用は利用者の個人的利用及び利益を得ない条件でのみの使用が許可されており、これを拡大解釈させる素案は受け入れられません。
また、世界的にも生成 AI を利用した著作物を利用し、オリジナルを作成した著作権者の権利を侵害する事案も多数発生しております（なりすまし等）
また、著作権侵害が起きた場合被害者が、加害者に対してリアクションを取らざるを得ない状況では、言い方は悪いですがやったもの勝ちになりますので
今後の創作・芸術文化の衰退を招くでしょう
これをやるのであれば、生成 AI を利用した著作物の法整備を徹底的に行わないといけません
生成 AI は世界的にも嫌われている傾向にあり、なぜこれを推し進めるような政策を模索しているのかも分かりません。
上記でも言いましたが、生成 AI を利用した問題は多数発生しており生成 AI のせいで、職を奪われたり、作品を改変された上、自身が贋作者という不当な扱いを受けたりと色々おきています
なので、生成 AI を推し進めるような政策には反対です。
なんで、資本も何もない日本が唯一世界に出せるアニメや漫画等のコンテンツを自身で潰そうとするんですか？

●受付番号　185001345000007129

ＡＩで画像を生成する際に、勝手に許諾のないネット上の画像を使うのはダメだと思います。イラスト、漫画、写真などの人が作った創作物には、その人の「勝手に使われない権利」があります。また、勝手に使うのを許してしまうと、絵を描くことに興味のない人がプロに頼むことなく自分で画像を用意することができ、一見すると産業革命のように文化が向上していくように見えるかもしれません。しかし、産業革命と違うのは「誰かが元をやってくれているから出来ているコピー品である」ということです。これを許してしまうと、創作物を創作する人がやる気を失い創作をやめていき、結果的に人が想像する文化自体が失われていきます。みんなに平等に権利を与えた結果衰えてしまった社会主義の国のようになってしまうと思います。ＡＩ画像に、如何なる権利を与えないでください。

●受付番号　185001345000007130

AI に創作物を学習させる行為は、世界中の創作文化を侵害する行為であり、大変な憤りを感じます。企業から出版、販売されたものであろうと、個人がインターネットで公開しているものであっても、文化庁が用意した素材であっても「AI に創作物を学習させる行為を禁ずる」以外の法案は断じて受け入れることはできません。
既に大勢の創作者達が自身の創作物を AI に学習させられ精神的な苦痛を受けています。
人間が生み出すものには感情が込められいるからこそ沢山の人の心に届くのです。
故に人間が生み出す創作物を著作物と言うのではないでしょうか。著作物にはそれを生み出した著者、作家、アーティストに権利があります。つまり、それ等の著作物を無断で AI に学習させて我が物顔で自作発言をするなど盗作です。盗作なんです。
至高の創作物を生み出すのにどれだけの情熱と時間と資金がいるか、AI はそれを理解することができない。そして、それを行う人間も人の心がないから平気で他者の作品を AI に学習させるのでしょう。憤りを感じて当然です。
なら許可さえあればいいのか。極論で言えばいいのかもしれませんが、あなた達がそれを完璧にコントロールできますか？必ず AI 学習を拒否する創作者の著作物を無断で AI 学習させる輩がいるでしょう。それも大勢いることでしょう。
そして、心に傷を負った創作者が創作意欲を無くし、生き甲斐を無くすのです。
あなた方ももっと想像力を働かせてください。世界中の最高なアーティスト達がどうせ AI に食われるくらいなら創作はしない。そんな決断をする未来がすぐそこまで来ているんです。
AI は素晴らしい技術であるのは分かっています。ですが、AI の活躍の場は創作や芸術の場にはありません。
どうか、人間でしか生み出せない素敵な文化である創作を守っては頂けませんか。
お願い致します。

●受付番号　185001345000007131

著作権だけでなく、著作人格権を AI の悪用によって侵害され、辛い目に遭っている人が多いという現状を見ずに AI への学習を進める考えは間違っていると考えます。
現在起きている問題に向き合わず、クリエイターを守る考えを一切持っていないこの素案は作り直すべきです。まずは現在起きている問題を踏まえてから素案を作るべきではないでしょうか。全く現状を理解してい。理解しようとしていないと伝わってきます。何をしている人でどのような情報を踏まえた上で作った素案なのかとても気になるので、公表して頂きたいです。
現時点で既に侵害された人への相談窓口や、現在の法で対処できる窓口を作るのが先だったのではないでしょうか。　本当に問題に向き合っていないことが残念でなりません。
いくら苦労して造り上げても AI に吸収されることを良しとするこの素案が認められると、今以上にクリエイターを苦しめることになり文化庁の掲げる「芸術文化を振興する」とは真逆の方向へ、独創性が失われ、AI に今までの技術を使って生み出した作品を盗られる事に反対する者は世に安心して出せない国になる危険性を持つべきです。

●受付番号　185001345000007132

私も表現の自由は守られるべきだと思います

●受付番号　185001345000007133

AI を利用した商業や AI の抽出品への著作権を認めることはできません。
まず知ってほしいのは、現在多くの AI の学習先になっている画像投稿サイトに違法のポルノ画像がモザイクも無しに複数存在しているということです。
もし、AI 抽出品を利用しそれが子どもが裸に見えるような画像でありそれを公共の場に配布してしまった場合のリスクは考えているのでしょうか。
AI の学習先がこのように無秩序かつ犯罪の温床であり人間の手で学習内容の選別ができない現状、AI を商業利用する側は【性犯罪への加担】や【知的財産権の軽視】というマイナスイメージが先行するだけで短期的(イラストレーターへの報酬回避)利益は上がっても長期的にはモラルのない企業と認識され損失するだけになります。
現時点での AI イラストの活用方法は《mimic》というサービスがそうであったように、複数のイラストをその製作者本人がパターンを学習させ時間短縮などに運用することであり、つまるところ AI イラストツールは完全オフライン化するべきです。

●受付番号　185001345000007134

画像生成 AI は学習元に無報酬・無許可で学習を行えるため、学習元の画像の製作者に金銭・精神的被害を出しています。その為文化を育むどころか衰退させるものになっています。
画像生成 AI にはまず、学習元の全開示や、削除を求められた際に応じる義務が必須です。
また、画像生成 AI は数万、数百万の画像の生成を簡単に行えるため、これに著作権を与えれば、人の手で描かれた画像に対し、偶然似た生成 AI の画像を出して著作権の侵害を訴えることも簡単に出来てしまい非常に危険です。

●受付番号　185001345000007135

当方が観測してるのは主にイラスト界隈の AI の動向となります。
生成 AI に関する使用者の使用動向、使用目的、生成した作品、生成した作品の発表の動向、また AI 素材として使用されたイラストの著作者に対する AI 利用者の言動など静観しておりますが、主に悪意を持って他者を傷つける目的の利用者が大半だとお見受けしています。
現時点では全ての AI 利用を禁止するか、許可のない著作物を無断で素材利用することを全面禁止する措置を取るべきだと思います。
現在はむやみに個人間の争いに終始し、収拾がつかない状態になっており、著作者への実害が出ていると見受けられるため、原作者及びその著作物を守ることを第一に優先にすべきだと思います。

●受付番号　185001345000007136

イラストや写真などの創作物を制作者の許可なく、AI に取り込ませて学習させることに反対します。
制作者の意思を無視した使用は犯罪と変わりません。またさまざまな創作物を無断で学習した AI が生成した生成物が法律に違反する時に、AI を使った人だけでなく、学習元の制作者にも多大なる悪影響が及ぶ恐れがあります。
AI 無断で創作物を取り込ませて学習することは、元の制作者の権利を害することだと考えます。
クールジャパンを謳って日本のサブカルチャーと言われる文化を守るためには、AI は適切な規制と罰則が必要だと考えます。

●受付番号　185001345000007137

生成 AI による学習は、法条 30 条の 4 に定められた著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としない行為であることが認められたとしても、生成 AI による出力を行う人間により、出力結果を吟味する段階で、学習元の著作物に表現された思想又は感情の享受にあたる行為が行われるものと考えられます。
AI 生成物の利用については、完全に私的利用の範囲を超えた利用が想定されており、実際にネット上にアップロードされた時点で私的利用ではないため、学習元の著作権を侵害していると考えられます。
生成 AI サービスの提供について、サービスそのものが私的利用の範囲から逸脱しているため、生成 AI の学習元のデータセットに含まれる著作物の権利を侵害していると考えられます。
そのようなサービスを提供するのであれば、学習に用いるデータセットには、権利者からの許諾を得た作品のみを利用するべきであり、学習したデータについては全てを公開する必要があると思います。
生成 AI により生成されたものの著作権については、素案の 2.(1).アの著作権法で保護される範囲により、「誰が表現しても同じようなものになるありふれた表現(２の要件を欠く)」に該当すると思われます。生成 AI にプロンプトを入力して生成されたものは、学習元のデータに基づいて生成されるため、学習元の表現に強く依存し、著作物として認められる条件の「創作的に」という条件に該当しないと考えられます。
AI 生成物が著作物として扱われ、大量に出回ることで生じるクリエイターの不利益として、生成の速度が人間が行うよりも機械が行うほうが遥かに大量生産できるため、市場が AI 生成物で埋まり、人間による創作物が市場で見つからなくなり、AI では生成できない新規の創作が認知されなくなるという懸念があります。市場で対応することも可能ですが、タグ付けなどは販売者の意思に依存するため、AI 生成物であることを公表しない場合があります。法的に AI 生成物であることを表示することを義務付ける必要があると思います。

●受付番号　185001345000007138

4 関係者からの様々な懸念の声について に関して
利用者による著作権侵害に対しての責任が重視されているように見えない。
原作者を騙り AI 生成による製作物であることを隠し、原作者への悪意をもって嫌がらせ並びに金銭獲得の手段としている事例がネット上に散見される。
悪意がなくとも結果似てしまった、という例もあったようだが、悪意の有無は即時に判明するものではなく、「学習元が存在する」という生成 AI の仕組みから原作の存在に思い至らないというのは詭弁に過ぎない。
また、情報の拡散力は現代のインターネット普及下で爆発的に大きくなっている。存在しない「原作者を想起させる製作物」や「実在する生物・風景・現象の名を記された製作物」が拡散すれば、その「偽物」の情報拡散を止めるのはほぼ不可能である。その生成による虚偽の拡散、情報の阻害・混乱を、生成 AI を利用・製作した者にどう追求するべきか？
現在、生成 AI 利用者による、原作者への脅迫に等しい嫌がらせが起きている事例を目にしている。崇高な理念をもって開発された技術も、野に下りあらゆる市井の人々に解放されれば、悪意をもって利用する者が現れるのは容易に想定できる。それらから原作者を守るための整備がされていない状態で、手放しにこれら製作物の権利を定めようというのは拙速ではないか。

●受付番号　185001345000007139

AI によって生成された作品に著作権を与えることに反対します。
クリエイターが生み出した作品に作者の許可無く AI 学習・生成禁止の法を作ることが最優先です。
この法案が可決された場合、更なる AI による絵柄や個性のコピー・盗みが進み、
クリエイターの創作活動を妨げる要因になるでしょう。
創作を仕事としている人間から仕事を奪うことにもなります。
また、生成 AI によって生成された作品に著作権を設けた場合、学習元となったクリエイターが投稿した作品に対し、著作権侵害を訴えることが出来てしまうのではないでしょうか？
クリエイター側からは学習・生成されたことを知る術も無く、いつどこで著作権侵害してしまうのか怯える状況となり、最終的に大半のクリエイターが活動を辞めてしまうのではと予想します。
そうなった場合、日本が世界に誇る”創作”そのものが無くなるのではないでしょうか。
そして創作活動をしている人からして、
自分の作品が顔も知らない赤の他人に勝手に利用され、それをインターネット上に公開されることはとても不愉快であり、到底許せるものではありません。
事実、学習・生成されることを嫌い、インターネット上での作品の公開や創作活動そのものを辞めたクリエイターも居ます。
生成 AI は人ではありません。
この法案は人である作者の著作権を無視し、
システムである生成 AI に著作権を与えるものだと私は思います。
生成 AI 利用者は人ではありますが、あくまで利用者は生成 AI に依頼している形です。
ですが依頼先がまともなクリエイターではなく、誰かの作品や技術を盗み作り出すシステムなのが問題なのです。
私が求めるのは
・生成 AI によって生成された物への著作権不適用
・現実世界やインターネット上問わず、投稿されている作品への、作者の許可無く AI 学習・生成させることを禁止する法

●受付番号　185001345000007140

１．結論

まず、私個人としての意見は「ＡＩに対する著作権は、そもそも存在しない」という結論に至る。この、「そもそも」の部分について以下に説明する。

２．ＡＩについて

ＡＩというものについて、一般人（研究者ではないという意）の間では「言葉を入力すると欲しいものが「生成」される」ものだという認識が広まっている。そのため、わざわざ著作権について考えるなどといった法案が考えられるに至ってしまった。これこそが、そもそもの問題点である。

ここで取り扱っているＡＩは、ＧＡＮ（敵対的生成ネットワーク）を用いたものがほとんどである。噛み砕いて説明すると、できるだけ本物に似た偽物を作らせるシステムとなっている。つまり、ここには明確な「本物」があり、生成ＡＩと言われているものは「偽物」を作っているに過ぎない。

一方、この「本物」を再現してしまった場合は素案にもあるように依拠性があると判断されるものの、技術が新しくなるにつれ、これらを隠す（複数の本物を混ぜ込み偽物を作る）手順が予め組み込まれる事態となってしまった。以上が、昨今の生成ＡＩと言われているものの実態である。

３．切り絵とＡＩ

２より、今言われているＡＩはそのまま利用した場合について必ず依拠性があり、著作権はその学習元となった著作物へと依存する。そのままでは呑みこみがしにくいので、ここで例を提示する。

まず、切り絵を取り上げよう。これは、いくつかの紙を切るかちぎって細かくし、それを貼り合わせて絵を作るといったものである。ＡＩについても、学習したものを一旦バラバラにし、それを組み合わせると言った点においては同様だと捉えられる。では、切り絵の場合の著作権はどのように取り扱われるか。パロディ・モンタージュ写真事件を例にすれば、「原著作物の意図を汲み取れる」ということで侵害となった。つまり、元となった著作物そのものが分かるほどであれば違反ということになる。これを広げて考えるとどうだろうか。元となった画像が３つあり、それらの特徴を切り貼りして生成した画像を考える。物にもよるが、これも特徴的な部分が残っていれば違反となり得よう。では、これを４つ、５つ・・・１００万を超える写真から切り貼りをしてみよう。もうお分かりだろうが、つまるところこれが生成ＡＩである。

ただ、切り絵について考えると、ここまで細かくなった素材はもはやただの「色紙」であり、問題はないように思える。素案の「創作的表現が認められない場合」とは、まさにこれを指しているのである。

４．生成型検索インターフェースとしてのＡＩ

文字を入力すると画像や音声、データといったあらゆるものが出力されるＡＩだが、これはある種検索エンジンとよく似ている。ただ、出力されるものは原著作物ではない「ナニカ」である。

検索エンジンから出てきた原著作物について考える。もちろん、引用すら書かずにこれを自分のものだと発表することは侵害に当たる。また、創作性を持った編集をしたとしても侵害、もしくは二次的著作物にとどまることになってしまう。つまり、原著作物になることはあり得ない。

では、生成ＡＩに対する対応はどうだろう。それそのものを自分のものだと発表することは（依拠性が無ければ）違反にはならないし、創作性のある編集してしまえば原著作物だと言い張ることもできる。この２つの対応の違いはただ、検索した後の結果が「混ぜられている」かどうかというだけである。

５.「日本」としてのＡＩとの向き合い方（後書き）

ここからの意見は少し感情的になってしまうが、一応述べておくこととする。

生成ＡＩについて言えることは数あれど、日本国が漫画、アニメ、ゲームなどで有名となったのには人間が必ず関わっている。生成ＡＩが保存したのはこれら創作者らの賜物であり、出力されているものたちはこれらの贋作に過ぎない。だが、いとも簡単に創作ができるという感覚を人々に与えてしまうが故、ここまで騒動が広がってしまった。

特筆すべきは生成ＡＩの方ではなく、生成ＡＩの登場によって創作を辞めざるを得なかった人達である。自分の絵柄を真似されたり、自分より優れた作品をいくらでも生成できてしまう環境になってしまったら、誰でもそうならざるを得ない。ただ、生成ＡＩは創作者が居ない以上、それ以上性能が上がるようなことは決してなくなってしまう。何故なら、頑張ったところで生成ＡＩのエサになるだけと思われてしまうからだ。

創作という分野において、日本ほど先進している国は無い。この強みを活かせないのであればいよいよお終いだと私は考えている。私はロボットの機械学習を研究する一大学生ではあるが、日本の人々を守る貴方方が、より良い未来を築く基盤作りをしていただけることを切に願う。

●受付番号　185001345000007141

著作権の観点から見て、作家のなりすましが現れることが問題とされており、現状既にそのような事態が発生しています。また、なりすましでなくとも、全年齢のイラストのみ描かれる作家と全く同じ絵柄の成人向けイラスト、反社会的なイラストなどの生成により、作家への風評被害等が発生する恐れがあります。
また、作家の作品を無許可で AI の学習素材にしているという点で既に著作権が守られておらず、現状何故このようなことが許されているのか不思議でなりません。フリー素材と明記されているもの以外の作品は、決して無断で使用して良いものではありません。
イラスト以外でも、モデルに許可を取らずに生成 AI を用いて特定のモデルを出力した画像などが問題となっております。
また、倫理的観点として、生成 AI により意図的にあるいは無意識に実在の人物のポルノ画像が作れてしまう点に関しても問題があるかと思います。
海外では既に規制がなされているところも多いですが、何故日本はクール・ジャパンを名乗っておきながら自国のクリエイターを大事にしないのでしょうか。

●受付番号　185001345000007142

AI を使用した創作物は一から創作を行う全ての人にとって意欲を奪う存在です。自分が苦労を重ねて生み出したものをコピーされ、それを作った何の苦労も負っていない人が我が物顔で発表する。それを許すことが出来ません。そしてその無力感で筆を折る人も大勢生まれるでしょう。AI 作品もコピー元がなければただのシステムでしかありませんから、双方にとってマイナスになることでしょう。どうか日本のクリエイターが今後生み出すであろう素晴らしい作品を奪わないでください。

●受付番号　185001345000007143

著作物について
２．検討の前提としての（１）（ア）で触れている通り、「思想又は感情を創作的に表現したもの」が著作物となります。
クリエイター（ここでいうクリエイターとは、自分で一から作品を生み出す一次創作者に限ります）は時間や気力、あるいは金銭までも使って作品を作り出していますから、当然著作物と言えますね。
この著作物を守るのが「著作権」です。
著作権は上記の要項に当てはまる全てにあり、著作者が創作をした時点で自動的に発生するもの。となります。
著作権には様々な権利が含まれていますが AI と著作の関係で言いたい権利は「複製権」「翻案権」「二次的著作物の利用権」についてです。
これらは作者の作品を他社が使用することのないように制定されている権利と言えます。
問題なのは、AI 作品に関しては、ネット上に上がっている著作物を、作者に無断で使用し、無償で学習させているということです。
ここはどう考えても上記の権利を侵害していると言えます。
本来であれば、著作物を使用する際は、有償で、しかも著作者に許可を取って行うべきことです。
もちろん、著作権第３０条の４に記載がある通り、原作者にいかなる損害も与えなければ AI 開発に著作物を利用して OK となっておりますが、現状、私が知る限りでも被害が大量に出ております。
明らかに「著作者人格権」を犯している事例などもたくさんあります。
AI を使用して作成した作品を使って商売をする、という事例も挙げられています。
「無許可で対価なく著作物を生成 AI 学習に使用し、対価を支払わずに製品開発をする」ことでデータもとになった著作者が不利益を被るのは、いくらなんでもおかしいとおもいます。
ここで、こちらの素案が通ってしまえば、こうした被害はますます増していくでしょう。
いうなれば、クリエイターたちは身を削って作り上げているのに、無断で勝手に報酬なしに使われ、そちらに注目も何もかもを奪われる。そんな状態になっているのです。
そうなれば当然、クリエイターたちは筆を折るなり、活動をやめるなり、少なくない数のクリエイターたちが消えていくことになるのは想像に難くありません。
となれば、日本が誇れる文化を担う人がいなくなりますね。衰退するのが目に見えています。
要するに、AI の学習に使用するのはよいですが、それは事前に学習に使用するという旨に同意した著者だけに限るべきだと思います。

著作物を他のものに例えればわかりやすいかもしれないですね。
「著作物」＝「銀行に預けているお金」と考えたらいいかもしれません。
「所有者に許可を取って借りる」でしたら双方の同意がありますので問題にはなりにくいですよね。
ですが現在の生成 AI の状態の「所有者に無許可でもっていく」にしたら？
完全に窃盗犯ですよね。
これがまかり通っていること自体問題なので、ぜひ見直してほしいところです。
あと法案の全体を拝見して、これは生成 AI を使用する企業に向けて作ったものなのではないかという疑念がぬぐえません。
著作者への配慮を一切感じられません。一方的に著作者が不利になるだけじゃないでしょうか。
そして「AI 生成物に著作権を与える」ことを検討すること自体おかしな話だと思います。
そもそも論、『「思想又は感情を創作的に表現したもの」が著作物』という話と矛盾しますし、学習元の著作者に許可を取っていないのに学習されたものに権利などありますか？という話です。
長くなりましたが、私の意見としましては以上です。

●受付番号　185001345000007144

現状の生成 AI が著作権を害しているのは明らかです。
作品を勝手に学習し、ひと目見て似ていると判断できる作品を出力し、使用料も払わない現状はクリエイターの権利を明らかに侵害しています。
先日ユニバーサルスタジオが発表した声明では、AI 生成によりクリエイターの権利を侵害した動画が数多投稿され、それをなんら規制しようとしていない TikTok との契約を打ち切りました。
ツイッターなどでも AI 生成を悪用する例が散見されます。特定のイラストレーターの作品を AI に「食わせ」、そうして出力したイラストを元のイラストレーターに送り付け、ついには断筆に追い込んでいます。
以上のような例は氷山の一角で、著作権を侵害した方法で画像を生成する現状の AI はクリエイターにとって悪影響が強すぎると考えます。
よって、生成 AI の規制を求めます。

●受付番号　185001345000007145

あまりにもひどい反対

●受付番号　185001345000007146

AI 創作を許すようになれば文化が衰退すると思う

●受付番号　185001345000007147

個人です。
多分、項目４になります。
拙いながら意見させていただきます。
要約としてネット上に上がる創作物にたいする著作権は作者側になく、またそれを学習して作られたAI作品には著作権が生まれる、と今回の件に対して受け取りました。
他の作品を学習することでしか作成できないAI作品に対して著作権は不要と思われます。若しくは、何を学習させたかを提出することで権利を付与する形が良いのではないかと思いました。
自分の作品なら問題なく通ると思いますが、海賊版や他者の作品を学習させているのであれば認められることはないと思います。
ですので、そもそもAIが何を学習したか(させたか)履歴が残るプログラミングかわ必要なのではないかと思いました。
そもそも、創作物(美術や音楽など)の定義が曖昧です。AIはそれを創作物かそうではないか判断できません。
例えば、選挙ポスターを学習し、同じくアダルト作品を学習したAIがどんな作品を生み出すのでしょう。
ポスターだから創作物ではないと思われるかもしれませんが、AIはそんなこと知りません。リアルではなく寄せて作ったアニメ絵で作られたらどうでしょう？
明らかに第三者がこの絵は総理大臣に似ていると判断しても、これは創作物から学習して作った作品なので著作権はAI側にあることになると思います。
そもそも、ネットにあがろうが、紙媒体で市場にあろうが著作権は作者側にあり、学習したAIにはないのです。
ですので、AIを商用に利用するのであれば学習内容を著作物が含まれないか確認したうえで権利を与えるべきですし、それができないものに権利を与えるべきではありません。
個人的にAIを楽しむのであれば、ネットに上げないことが条件だと思います。
他人のものを学習してしか生み出せないAI物に対して作品というのもおかしな話です。
AIにはたくさんのより良いものを生み出すもの可能性とそれよって過去の文化や消えると元に戻せないものを失う可能性があると思います。
上記に記したように、著作物だけではなく、個人の人間に対する犯罪にも現状の法案や規制だと使われる可能性が大きいと思います。
もう少し慎重な使い方からするべきではないでしょうか？
でなければ、学者することもできない未来が待っていると思います。

ネットに何も上がらなくなり、報道も写真や図をあげれなくなり、紙媒体が復旧して、資源を圧迫し、国で管理するものもせっかく電子化にしているのに紙にもどり保管場所を圧迫するかもしれません。

●受付番号　185001345000007148

生成 AI に明確な利用制限を設けてください。
・学習させるものは学習利用許可している作品のみ。
・自分の作品のみ
・悪用された場合の罰則
クリエイターの権利が守られなければ世界に誇る日本文化が廃れてしまいます。

●受付番号　185001345000007149

（３）生成物の著作物性について
AI で生成したものは学習元であるクリエイターに著作権があるのならば著作物性があってもいいと思う。つまり AI 生成の学習源であるクリエイターや作品を表記する必要性があると考える。
ただ、AI 学習は学習源が分からなくなっているというのが現状である。なので AI 生成に著作物性は与えるべきでは無い。学習源の表記ができるのであれば著作物性を与えても良いとも思う。
学習源が絶対であるべき。
著作物性のないものでも利益を侵害した場合には損害賠償というのならば、創作物そのものが利益になり得るクリエイターにとって、勝手に AI 学習に用いられ、個性を奪われることこそ利益を侵害してると言えるのではないだろうか。
他人から AI 学習したもので利益を得るのも著作権侵害しているのではなかろうか。

●受付番号　185001345000007150

AI による生成物は、文化の新しい創造に携わるものでは無い。AI 生成物はあくまで創作倫理に反する状態で既存の作品群を継ぎ接ぎして作られたものであり、とても創造的で意図を持った表現とは言えない。AI 生成の元データの収集には作者の合意が必要だと考える。

●受付番号　185001345000007151

AI に勉強をさせるという部分は納得ができますが、ネットなどにあげられている物
を個人本人ではなく、例えば画像を拾ってあげた赤の他人がネットにあげてしまったもの
も AI に勉強させられるのかと思うと気分が悪いです。
その場合は著作物に対する権利なども意図せず勝手に害悪に利用されるのですから納得が
できません。

●受付番号　185001345000007152

AI 二次創作活動の台頭により私たちが長い年月を掛けて積み上げてきたアイデンティティが踏みにじられています。奪われているのではありません。踏みにじられているのです。私たちがずっと守ってきたルールやマナー…それらを気にせずに蹂躙していく AI 絵師のなんと多いことか。AI の全てが反対なのではありません。ただ、今まで積み上げてきたものを壊す行為を野放しにしないで下さい

●受付番号　185001345000007153

4.関係者からの様々な懸念の声について
生成 AI の推奨に強く反対します。イラストの著作権は紛れもなくそれを作成した方にあります。にもかかわらず、それらの成果物を勝手に学習と称して吸収し、別のものを生成するのは、己の手で研鑽を重ねてきたイラストレーターならびにその他製作者たちへの冒涜であるからです。
すでに海外では生成 AI が生み出したものに対する訴訟問題も起きており、その実例があるにもかかわらず生成 AI を推奨し強引に進めていくのは何故でしょうか。
イラストに限らず文章も含めて、人の手で作られてきたものを皆が納得できる形で守れないのであれば、生成 AI を導入したところで見える未来も大したものではないはずです。
生成 AI の推奨、導入に強く反対いたします。

●受付番号　185001345000007154

2
（1)そもそも国外、特にベルヌ条約に加盟していない国に対して、著作権侵害を訴えられるのかは不安です。
生成 AI においては一個人の著作権が侵害されることが多く予想されているため、財力的・時間的な問題で著作権侵害としても訴訟までたどり着かないのではないでしょうか。
生成 AI が著作物そのものを学習データとして利用することを止める手段がない上に親告罪である以上罪にも問われないとなると、機械学習からクリエイターの創作物を守る手段がありません。
2(2)
そもそも「ビッグデータ」には個々のプライバシー情報（今回の画像生成については著作物）が含まれているものと想定します。一つ一つの個をビッグデータという言葉でまとめて許可なく利用される行為は権利侵害でしかないと考えています。
4.5
生成される前の著作物を学習利用から守る手段を用意することが全く想定されていないと感じます。
画像一枚の全てを「情報」と呼ぶことにより意図しない状態で解析され、同等の画風・クオリティを持った画像を生成することが可能になっています。
同じ手法で 1 枚の画像を学習、複製することを生成 AI 以外では模写・複製と呼称しますが、AI の生成プログラムではあくまで「学習利用」「情報解析」と呼び同等の画像が出来ることも AI による「イノベーション」として法的に保護されている状況と捉えています。
これらを許諾する権利、拒否する権利はクリエイター個人個人に与えられるべきです。
6.最後に
AI の登場により現行の著作権では著作者の権利を守ることが出来ません。
生成 AI によって虚偽広告、詐欺なども圧倒的に増えています。
著作権を守ることではなく著作者、人権を守ることを真摯に考え法整備に動いてほしいです。

●受付番号　185001345000007155

誰か生み出して権利をもつものを、無断で利用する AI 生成物の著作性を行使に反対します。
例えば、
「違法アップロードも含む無許可で情報集した作品」を元に、特定の子供向けの作家に寄せて成人向けの猥褻な画像を作ることで、特定の作家のイメージを貶めることになります。
「無許可で情報集した写真」を元に、天皇陛下にそっくりで「ほとんどの人が本物と誤認する」AI 画像を生成するモデルを「どんな思想を持っている人も」「簡単に」手に入れることが出来るようになります。
そしてそれを自分の著作物と言い切って、無責任に不特定多数に周知したり、販売したりすることに正当性が生まれたらどんなに恐ろしいことでしょうか。
個人的には AI 技術があっても、クリエイターが完全に仕事を奪われることはないかもしれません。
どんなに技術が進化していても、情報収集されたデータから自動で作成されてしまえばリスクがゼロと証明できないためです。
AI 生成画像を商品や宣伝に使った後、酷似した作風や作品が見つかれば、損害は大きいと考えます。
AI 使用者はコンプライアンス意識が低いと見做されるでしょう。
折角発展した技術を全く活用しないのは勿体ないと考えられるならば、それは著作物に責任を持つことのできるクリエイターへの依頼の参考画像やイメージ程度に収め、AI 生成物に著作性を認めるべきではないのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007156

現行 AI については絵筆や包丁などの”道具”でしかありません。
しかし、”AI が持つデータ”がこれまでの道具とは一線を画している。
これまで著作物は人間と単一の機能を持つ道具を用いて制作されていた。AI はこの道具の範疇から本来人間が担当するべき一部ないし全てを受け持つ機能を有している。ここが問題であると考えている。
故に AI 単体による作業で得られる生成物は著作物とするに値すべきでない根拠を列挙する。
ア,指示に拠って生成を行う行為を思想や感情を持っているとは言えない。
　AI は収集したデータに基づき、その傾向と条件に合わせた物しか出力できない。
イ,データ準拠の総当りから抽出された生成物は、表現の指向性を持っているとは考えられない。
　自律的な試行錯誤を行い命令に沿った成果物を出しているわけではない。
→人間が判断し取捨選択をする必要がある。
ウ,単一の学習済み AI を用いた生成物は定められた命令に対して同様の結果、あるいは主題を除いた背景等の総当たりによる結果を出力する程度であり、命令する人間に依存していない。
　ランダム性と創作性は似て非なるものであり、後者は潜在的な指向性を持つ。
命令する人間にこそある程度の思想や感情、或いは表現の指向性、並びに創作的意欲が認められても、AI を通したそれら表現物は AI による認識によって歪みが生じた生成物である。
拠って AI を用いた生成物は人間に依る制作物とは別に語るべきである。
さらに現行 AI が道具である以上、扱う人間/組織に依ってその性質を変えてしまうことから、責任の所在を扱った人間/組織に強く依存させるべきだと考える。
最近では特定の表現を集中的に学習させた AI による人為的な被害が散見されており、中では”なり代わり”や”なりすまし”なども見られ、もはや著作権法だけで語られる範疇に収まっていない。
これらが言わば”ボタン一つ”を端とする問題であることも留意すべきで、この様な濫用が続くようであれば取り返しがつかなくなる。
早急に全面的な規制と国や行政による認可の下、厳重な管理が敷かれた上で利用されるべきである。
当方は現行の AI 利用に関して否定的な考えを持つが、AI そのものが持つ有用性は認知しているつもりである。AI 技術とは侵害に瀕している技術と異なる技術体系であるため、今後の発展に大きく寄与しうる物であり、それらがこのような利用法に於ける問題や軋轢で失うべきではない。

●受付番号　185001345000007157

率直な意見をお送りしますと、国の掲げる「クールジャパン」と言う主張にはプロ、アマチュア関係無く「個人の創作技術」を高める必要があると考えております。
AI と言うものは「多くのデータ」があればそれなりのクオリティの物を出力出来るのは事実です。
ですが「クールジャパン」の中に掲げられているアニメ、漫画等はクリエイターの方々の努力と研鑽の結果であり「職人技」とも言えるレベルにあります。少なくとも現在の AI では職人技を再現し、作品への強力なサポートができるかと言われると「現実的には気休めにすら使えない」技術であるのが現状です。
「それなら AI に取り込むデータを増やせばいい」と言う話にもなりますが、上記したように「元になるデータ」はクリエイターの血のにじむような努力の上に出来上がっており、著作権を蔑ろにしていいものではありません。
そもそも「著作権」は「基本的人権と言う憲法」を元に考案されているものであり、どのような理由があれど奪っていい物ではありません。
著作権を持つ方が承諾しない AI の学習データへの使用は「基本的人権」を踏みにじる行為だと捉えられます。
そしてクリエイターの「基本的人権」を蔑ろにした先にあるのは、クリエイターの減少であり、「クールジャパン」の掲げるアニメ・漫画文化の低迷に繋がります。
AI の使用による技術の発展は喜ばしい事ですが、それにより文化を廃れさせ、断絶させる恐れも持つ「諸刃の剣」である事も変わりません。
現時点でもインターネットに載せた子供の写真を取り込み、ディープフェイクと呼ばれる画像を作成する人間がいます。撮影した親や子供本人にそのような意思が無いにも関わらず、その子供の写真を元に「児童ポルノ」の規定にあたる画像を、第三者が作成・配布する事は、被写体の子供や家族への「基本的人権」を損なう行為であると捉えています。
もし「絵と実際の人間は別」と考えるのであれば、クリエイターと言うものを軽視している。と考えざる負えません。
繰り返しますがアニメや漫画、イラスト等はクリエイター達の「長年の努力や自己研鑽の結果」です。自分が磨いて来た技術は易々と引き渡せるものではありません。その上、引き渡したとしてもクリエイターへの利は無い所か、その技術で低レベルな物を作られてしまえば、そのクリエイターの信頼や名誉に関わります。
「全て AI で作成した」と表記したとしても、それを見落としたり、見ることもせずクリエイターへの批判を飛ばす人間は存在します。
現状、クリエイターが技術を渡す事に同意したとしても、矢面に立つ事になるのはクリエイター本人であり、心労等で筆を折ってしまえば「未来を担う技術者」を 1 人失う事になります。

また、海外での話にはなりますが、米国では「NYT がオープン AI とマイクロソフトを訴訟」して居ます。世論や専門家の意見としては NYT 側の勝訴になるであろうとの予測が多いです。NYT が「著作権の侵害」であるとしたものは、絵でも写真でも無く「記事」です。もちろん記事を書くために NYT は多くの情報を各方面から集め、労力を使い、資金も投入して居ます。それをリターンも無く AI に学習させる行為は「著作権の侵害」にあたると主張する事は当然の結果であると思われます。
そして、国内へ話を戻しますが「NYT の記事」も著作権として認められるのであれば、「イラスト」「アニメ」「漫画」と言った画像も著作権の対象となってしかるべきと考えられます。「記事」と言っても、目に見えるものはただの文章です。しかし、その「記事」の後ろには膨大なリソースが割かれているのも事実であり、知られるべき事です。
「イラスト」「アニメ」「漫画」も見える所は仕上がった画像や動画だけですが、その後ろには程度の差こそあれ、一定以上のリソースが割かれています。
そのため、個人の意見ではありますが「無料で公開されているから」と言って勝手に AI の学習材料にされる事は、絶対に許されるべきでは無いと考えて居ます。
「無断転載」「盗作行為」等と同等かそれ以上の罰則を用意して頂きたいです。
また、元のクリエイターに対しても同意を取るにあたってのリターン(資金のキックバック等)の制度もきちんと整備した上で、AI というものの使用への政策を考えていただけたらと思います。

●受付番号　185001345000007158

創作文化が廃れ日本の誇るハイクオリティなアニメ・マンガ・イラストが軒並み総崩れになりますので絶対にやめてください。創作によって生み出されていた何千億円が失われます。

●受付番号　185001345000007159

個人からの提出
5.各項目について
項目(エ)のイなど
「作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり、既存の著作物との類似性が認められない生成物は、これを生成・利用したとしても、既存の著作物との関係で著作権侵害とはならない。」
この項目を著作権侵害としない場合、作風や画風が既存の著作物とある程度は類似する物ができるため、その作風・画風の元となるクリエイターにお金を払って依頼する必要性が少なくなり、AI に仕事を奪われることが容易に想像出来る。
また、類似性を認められる範囲がわからないため、既存の著作物の複製でない限り著作権侵害とならないとするケースが発生すると考えられる。この場合においても、クリエイターの仕事は奪われ、当該クリエイターの見える範囲外での金銭的利用が行われ、著作権法で訴えることができず、結果的に損害を受けることが考えられる。
前提として、個人の感覚では、既に AI による学習元となるクリエイターは損害を受けていると感じている。そのため、上記のような内容を著作権で守ることが出来なくなると、クリエイターの創作活動は狭くなると考える。現に、絵や漫画などの創作物を世界へアップロードできるサイトでは、AI 作成による絵が多くなってしまい、クリエイターの創作物が埋もれて見つけられないということが起きており、本来の活気を失っていると感じている。これはクリエイターやサービス利用者にとっても不利益があると考えている。
よって、このような著作権法の拡大を行うことについて反対する。

●受付番号　185001345000007160

5.各論点について　（３）生成物の著作物性について
1.指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
2.生成の試行回数
以下の理由により生成 AI によって生み出された生成物は著作物足り得ないと考える。
・生成 AI の利用者は表現をした者ではなく機械に指示をした者であり、画家(生成 AI システム)とパトロン(AI 利用者)の関係性と言える。
・実際に表現の部分を担った生成 AI は、かつて表現者が生み出した著作物の上澄みだけを汲んでそれらしく生成を行う機械であり、そこに思想又は感情は介在しておらず、以下の項に記載された要件を満たしていない。
＞２．検討の前提として（１）-ア-1 項
「思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう。」

●受付番号　185001345000007161

生成 AI は大量に短時間で作品を生成できる仕組み上、
既存の著作権で同様に認めてしまうとそれらを利用した悪用が懸念されるかと思います。
（国際大会をオマージュしたロゴマークの大量生成後、盗作疑惑を持ち掛けるなど）
そのため基本的には生成 AI を用いたり、そのものを作品とする場合に
著作権を認めることには反対となり、生成 AI での制作物については
新しい著作権（機械著作権など？）を用意し区分した方が良いかと思います。
例えば、既存の著作権は機械著作権を侵害しないなど…。
強い言い方となりますが、現時点での生成 AI は日本の創作文化を残したり
世界に広げたりするツールというよりは悪意のある人間が機械的に
作品を生成し、個人や企業を攻撃し、文化を食い潰すためのツールに感じてしまいます。
そのためまずは既存の文化が守られるように悪意に対する毅然としたルールを設け、
その後に許諾できる部分を緩和していくような形で話し合いが進んでくれればと思います。

●受付番号　185001345000007162

既存の著作物を学習させ AI によって新たな著作物を生み出す行為は全く問題ない行為なのでどんだんすべきだ

●受付番号　185001345000007163

勉強が足りていない意見かもしれませんが、素案を読みました限りは AI を使用した作品に関して擁護よりに思えます。
お気持ちでしかありませんが、もっとクリエイターに寄り添い、著作権を守る形にして頂きたいです。
人が創作物を生み出す時、過去に見たものや触れたものに影響された結果として出来上がる物であると考えます。
ここだけ見ると生成 AI と呼ばれるものがすることと変わらないように思えますが、実際のところは大きく違います。
人である以上、触れられる作品数には限度があり、またそこに個人の考え方や意識、信条などが乗るためにクリエイターたちの独創性が認められると思います。
しかし AI を使用した作品の場合、それらの独創性が既にある作品たちを切り貼りしたものでしかありません。
使用する側が求めるものを出すためにどれだけプロンプトを工夫しようと、ただ他者の上澄みを救い上げただけに思えます。
またそれらを“自分の創作物”であると発表した時点で、クリエイターたちからすれば“自分たちの作ったものを利用された”としか感じられません。
適切な契約と創作物が守られる環境あってこそ、クリエイターたちは多くの作品を生み出せるのでしょう。
また、ネットに上がった時点で全て学習できるのであれば、今の環境を思うに何れ多くのクリエイターたちが作品の発表を控えてしまいます。
その結果として創作文化の先細りが見えてしまうという意見が多くなるのは必然だと思います。
AI という仕組みは人の助けになる良い物と思いますが、だからこそそれらを使用する際の取り決め、使用されてしまう創作物に関してのもっと積極的な保護を考えてください。

●受付番号　185001345000007164

AI 学習は、クリエイティブな創作活動に置いて
多くの著作権の侵害を 招き兼ねず、長い目で見るなら国益を損ねるものである。
日本が諸外国に求められている漫画アニメ等のカルチャーでは、一概に代用出来るものではなく、クリエイターが時間とイマジネーションを 注いで描いたイラスト等を 安易に AI に学習させる事は、作家性やオリジナリティーを 罪悪感無く盗用する行為を 増長させ、効率やコストのみを 求める企業及び人々に使われれば、誰が見ても特定の作家に似たものであったとしても、著作権の在り方が曖昧になり兼ねず、個人の仕事を 侵害する恐れが有ります。
ハリウッドでのストライキの件も有り、世界的に見ても今後 AI の扱い方は、より慎重にならなければ、社会的にも信用問題化していくと思われます。
年齢に関係無く簡単なイラスト等を 描ける日本人の特異性 有用性を 国が自ら放棄 破壊するのは損失に他なりません。

●受付番号　185001345000007165

AI 生成のイラストに肯定的な現状に大変危機感を持っています。特に「何でも素材を拾って使える」「誰でも使える」「市場になり得る」点は今すぐにでも改善が必要です。
前提として、検索して出てきたイラスト＝拾い画を無断で SNS アイコンや作品（コラージュ含む）に使用したり自分が作成したものと主張してはいけません。ここ数年で「いらすとや」や「ずんだもん」が様々な場面で普及しているのは、それらが制作者に怒られることなく安心して使えるフリー素材だからです。
生成 AI の使用はフリー素材以外の画像から学習したもので利益を得る行為に繋がります。元の画像と完全に同じ画像ではないので問題ないと考える方もおられるかもしれませんが、画像をよく見て人間が学習・出力をするのと AI が画像から学習・出力をするのでは模倣とコラージュくらい違います。AI が学習して生成しているものはあくまで学習元同士を組み合わせたコラージュであって、フリー素材以外の画像を使用し作品を出力していると考えても差し支えないのではないでしょうか。
また、誰かが SNS に投稿した子供の写真から倫理的に問題のある画像（性的な画像であったり、猟奇的な画像であったり）を生成したり、本人の同意なく公開された写真（隠し撮りされた写真やリベンジポルノなど）から学習し生成された画像が存在しないとは言い切れません。その行為を裁くことのできる法律が存在しないのは極めて危険です。
莫大な学習元の画像データに問題のある画像が使用されていないかどうかを証明することは難しいと思われます。
逆に、学習元の画像データの出典などをすべて把握することができるのだとしたら、『AI 学習禁止』と公言しているクリエイターの画像から学習することを法律で禁じることが可能なはずです。
AI 学習を禁止しているイラストレーターに対し、自衛するには Night shade など AI 学習を阻害するノイズを使えばいいという意見も見かけます。しかし、そのようなノイズは実はそこまで覿面な効果ないという意見もあります。私は AI 生成をしたことがないので真偽のほどは分かりません。
以前 1 度試しにノイズを施したことがありますが、イラストのサムネイルに違和感を与えるレベルでとても画像が汚くなります。AI 学習から作品を守るために作品が汚くなっては本末転倒ですし、ノイズを施す時間や手間も考えると費用対効果が悪過ぎます。
私たちクリエイターのうち大多数は「生成 AI イラストの危険性に言及したら過敏だと叩かれるのでは、時代遅れと笑われるのでは」と不安を抱えたまま強く意思を表明する勇気も持てずここ数年を過ごしてきました。自分の作品が AI に学習されているかもしれないと不安に思いながら、満足に自衛もできず（作品を公開しなければ閲覧・評価をしてくれる人は減りますし、ノイズは先述の通りです）精神的なストレスもかなり抱えております。

個人が頼んでもやめてもらえないのが現状です。どうかご理解・お力添えをいただけますと幸いです。

●受付番号　185001345000007166

私は普段趣味で小説と絵を描く創作者であると同時に創作を行なっている皆さんの作品を楽しく拝見させていただいている立場であります。SNS を使用する際、自分がインターネット上に公開した作品は AI 学習禁止と明記させて頂いております。私は作品を創ること事態を楽しんでおります、なので他の方に AI で私の作品を学習して出力されても不快にしか感じません。何故数多の作品を無断で学習させた AI から出力させたものに著作権をつけようとしているのでしょうか？理解が出来ません。それは作品を作り上げたクリエイターの方々だけが持っているべき権利です。AI で出力されたものは雑誌を切り貼りしたものと同じようなものと思っています。それに権利を主張されても理解が出来ないというのはおかしなことでしょうか？今一度お考え下さい。日本が長年積み上げて作ってきた文化が一つ緩やかに衰退しようとしているのです。それは昨年に行われた AI 作品の即売会でも分かります。誰も買う人が居ないんです。当たり前です。AI 作品で儲けようとする人は労力をかけずにコスパよく儲けたい。AI 作品でも見たい人は自分が好きなものを手軽に見たい。それなら自分で出力した方がいいんです。わざわざ他人が出力したものなんて買いません。これでは毎年かなりの経済を動かしている様々な即売会も買い手が居なければ縮小していくばかりでしょう。経済力も見込めないものに何故そこまで執着するのですか？欲しいのは最先端の技術だけなのでしょう。世界一という言葉だけでしょう。

●受付番号　185001345000007167

生成 AI による特定の人物の模倣が起こらない場合についても、当時人気の照明効果や目鼻立ちが多く AI に学習された結果、人間の創作した絵が“AI を用い数秒で作ったもの”（通称マスターピース顔）の量産品として軽くあしらわれる事象が発生しました。
画像投稿サイトや創作物の販売サイトが同じような AI 生成物で埋めつくされた事象もあります。
AI で再現された、または AI 利用者の間で人気の画風に近づいたものというのは、それだけで新鮮味や興味を失われたり、努力を正当に評価されなくなります。急速に量産し陳腐化するのは、不特定多数の利益の損害です。もう使いたくない絵柄、使うと損な画風を生むのは表現の損害です。
生成 AI の著作権問題は 1 対 1 の話ではないと思います。

●受付番号　185001345000007168

まず前提にAIが学習するデータは人の功績から成り立っている物である。人が生んだ結果や作品などのデータには権利が発生するものである。イラストなど技術の取得から時間などの労力を伴い生んだものをデータと考慮すると、学習のためといって無許可に勝手に搾取してはいいものではない。議題より、まずはデータ元の人間の権利の確保が必須である。必ず交渉を挟み、その権利に対する報酬を払って同意を取り、データを取得する行程は必須と考える。また、AIは今後、イラストや動画、人間の思考に沿ったなど精巧性の向上が考えられる、権利を主張する前にそれは現実のものか、AIが生んだものかを人が必ず判断できるように、AIのものである記載を表記した上での発信をしなければ、間違った情報が拡散され人々の混乱が発生すると考えられる。また、データ取得の際に相手の許可がなかった場合は他人の権利を勝手搾取した罪で罰則を与えるべきである。AIは簡単に使えること、自己の欲求を満たせることから、権利元への断りを入れずデータを搾取するという行為はすでに多く起きており、現状の問題としてあげられる。以上のことから今回の議題は現状の問題と合っておらず再考すべきだ考える。

●受付番号　185001345000007169

生成されたAIに著作権を付与する行為は昨今の生成AIを取り巻く環境において一番に被害を被っているクリエイターに対する冒涜であり創作物を作る界隈を萎縮させる愚策である、なぜならば生成AIに著作権が付与されれば作品を模倣されるクリエイターにとってはSNSなどに作品を掲載するリスクが非常に高くなり、クリエイターが作品を世に出さないというような事案が多発することは容易に想像できる、その結果創作物を作る界隈が縮小し、また環境が縮小していけばそれに伴って創作環境における経済規模が縮小することもまた自明である、以上のことから生成AIの生成物に著作権を付与する行為は愚策と言う他無く、私はこの制作に断固反対の立場を取る

●受付番号　185001345000007170

AI と著作権についての問題は、AI で生み出された絵が著作権侵害に値するかどうかということではなく、無断で自分の絵を使われたクリエイターが自らその絵を生み出すまでに使われた時間(一枚の絵を完成させる制作時間でなく、その画力に至るまでの時間、つまり人生そのもの)を一瞬にして奪われてしまうことにあると私は思っている。そもそもの話、全ての創作物には著作権があり保護されているのに、それを黙って AI に学習させ作品を作ることは著作権の侵害にあたっている。AI に絵を学習させてそれらを切り貼りしただけでは複製物にしかならない。人が自らの手で作り出すものは保護されなければならないが、機械に命令してボタン一つ押すだけで生み出された作品は保護されるべき創作物になりえるのか。私は創作物にはなり得ないと考える。人が丹精込めて、人生を賭けて吊り出したものをタダで奪って箱に突っ込んで出てきたものを作品と呼べるわけがない。感情的な意見になってしまったが、そうなってしまうのもやむを得ないほど絵師と AI 絵師の対立、そしてクリエイター全体の AI に対する危機が高まっていることをご理解いただきたい。クリエイターを守るべき、著作権を一番に守らならければならないてまあろう文化庁が冷静な判断をしてくれることを願っている。

●受付番号　185001345000007171

生成 AI の利用の上で、以下の事項を厳守させる
・商業利用の禁止
・AI 利用作品であることの明示
・学習元となった絵や写真といった作品の明示、一覧の作成
・元となった作品の権利を保有する人物に対して利用許可をなんらかの形で取ることと、その証明
・権利元からの異議申し立てがあった場合、該当作品を即刻削除するなどの期待
これらの事項の制定が難しいとされた場合、生成 AI 全体の規制を行うべき
それらと並行し、Nightshade やそれに類似する技術の推進
絵柄や塗り方などの手法には著作権は存在しないため、規制は不可能だが、学習元は誰かの作品である以上、その権利は守られるべきである

●受付番号　185001345000007172

どんな作品も著作権により守られているはずなのに、なぜ AI 生成においては著作者の権利を無効にしてしまえるのでしょうか？
AI があらゆる表現を可能にしているのは世界中のデータを無断で利用しているためで、生成 AI は素晴らしい技術などではなく、悪質なツールに他なりません。
私はイラストレーターとして生計を立てていますので、sns に作品を掲載しないわけにはいきません。
掲載する全てのデータが生成 AI に利用され、私には何も還元されず、イラストに対する世間の価値観にも影響を及ぼしている現状に対して悲しく悔しい思いでいます。
文化庁には日本のあらゆる芸術の発展について真摯に熟考していただきたいです。
AI による画像や音声に正当な権利が発生する世界で、どうして人間が長い歳月かけて絵画や音楽を学ぼうと思うのでしょうか？
芸術表現が AI に取って代わるとして、その成果物の良し悪しを誰が精査するのでしょうか？
人が創作した作品と AI が生成したデータを同等に扱うなら、日本のアーティストは激減すると思います、仕事として成立しなくなりますし。

●受付番号　185001345000007173

私は文章を書く人間です。AI の成長のために自分が書いた文章が使われること、また、自分が書いた文章を元にして書かれた文章が存在しうることに、強く嫌悪感を抱きます。これは頑張って調べて考えて完成させた宿題を勝手に自分のものにされたような気分です。そうなれば自分が文章を書くことはなくなるでしょう。自分で考えて書いても誰かに盗られてしまうなら、最初から書かなければいいと思うからです。

ものを書く、描く、作るというのは、その人の人生を写すものだと考えています。同じことを書いたとして、どこに注目してどう切り取るか、どう表に出すのか。どこをとっても「作り手」による編集という操作が介入します。どれだけ客観的な立場を目指そうと、背景を含んでしまうものが創作というものです。その背景もなしに、多くの人の人生を重んじることなく切り貼りし、それこそが自分の創作物だと主張するのは、あまりに不誠実であると考えています。同時に、それは多くの「作り手」を絶望させ、筆を折らせる行為であると考えます。少なからず、私にとってはそうです。

AI を用いて創作、ひいては文化というものの更なる発展を目指しているのでしょうが、現実ではそうはならないのでしょう。誰かに盗まれて踏みにじられても守ってくれない社会で、どうして己の人生を晒すのでしょう。盗まれたといえば盗まれるお前が悪いと言われる社会で、どうして私たちは創作できるでしょう。創作をしても、それはきっと日の目を見ないままでしょう。それは文化庁の望むところでもないのでしょう。

ものを作る人間を守るような制度を整えてから、AI との共存を望んでください。人間が死にます。

●受付番号　185001345000007174

AI に関して、著作権を侵害していると考えます。
10 年、もしくはそれ以上の歳月をかけて技術を磨いてきた人間を努力もなしに扱える AI という存在は界隈全体のモラルの低下を招くと思います。
AI を使う人間の中には技術を持つ人間を妬み陥れる為に使う人間も多く見掛けます。
それらの人間から守るためには、技術者が創ったものに対して著作権の所在を明確にするとともに、許可なく AI での学習に使用されないよう規制すべきです。

●受付番号　185001345000007175

イラストレーター、漫画家として活動している者です。
この度は意見をお伝えできる場を作って頂き誠にありがとうございます。
AI につきまして、法整備が整う前に一般化されてしまった事に対し非常に強い危機感を覚えております。
我々の作品はフリー素材ではありません。ビッグデータとして使用するのであれば、また AI 利用者が二次利用するのであれば、データの著作権の所在は明確であるべきで、また素材として利用されたデータの著作権保有者に何らかの収益が無ければ一から作品作りをしている人間は活動が困難になると思われます。
誰もが無料で好き勝手に人の作品を盗用できる現状は、どう考えても異常です。
どうか、早急な法整備をお願い致します。

●受付番号　185001345000007176

一通り案に目を通しましたが、正直意図が把握しづらい部分が多いので、広く意見募集をなさるならもう少し噛み砕いて、学のない一介の絵描きにも理解しやすい文でまとめていただけると嬉しいです。
それとも「理解できないなら黙っていろ」という事でしょうか。
正確に素案を理解できていなかったら申し訳ないのですが、ひとまずは「ネット上の創作物を勝手に AI 学習させてイラストを生成する行為と著作権」について意見させていただきます。
＊＊＊
そもそも現状の生成 AI は「学習元の素材」が無ければ、何一つまともに出力できない代物です。
AI は「人間の創作物」をベースにし「それに近い画像」を作り出しています。
人間との大きな差は「絵を描写するために必要な、根本的な知識を基本的に持っていない・認識していない」事です。
故に、人間が描いたらまずしないであろう描写ミスを大量に発生させます。
一見すると様々なタッチと品質の画像を大量に、いくらでも生み出せそうですが、それらは全て「学習元の素材」があってこそです。
AI 生成は私も試した経験がありますが、恐らくは「学習元の素材」に無いであろうタッチの絵、物品はそもそもまともに出力できません。
人間のように絵柄等をゼロから考えて作る事はできません。
一方人間は、例え「学習元の素材」が存在しなくとも、積み重ねた自分の知識でイメージを膨らませ、少しずつ練習を重ねてゼロから絵を生み出す事が出来ます。
これが「根本的な知識や能力を持っていない」AI と人間の徹底的な差です。
そして「学習元の素材」が無いと何も生み出せないというのは、言ってしまえば「コピー元の素材」が無ければ何も作れない、と言っているのと大差ありません。
「コピー元素材」が無ければ、何も生み出せない AI が生成した物にはしっかり著作権が発生し、元素材の権利者には何の報酬も支払われない、というのは、あまりに理不尽では無いでしょうか？
「コピー元素材」を利用して作られた絵に著作権が発生するなら、その「コピー元素材」にも著作権が発生する筈ですし、報酬が支払われて然るべきではありませんか？
現状、インターネットにはプロイラストレーターの絵を勝手に学習させ、それを元に生成したイラストが大量に溢れ、更には DL サイト等で販売もされています。
それらは全て「コピー元素材」が無ければ生み出せなかったものです。
勿論、人間も他人の創作物を模倣し、それ元に作品を作ります。

しかしそれは先述した通り、AI のように画風やタッチをそのままコピーして作るのではなく、作品を学習した上で、自分のセンスや感覚でゼロから作り出す物です。
人間は「コピー元の素材」が無くても絵を描けますが、「根本的な知識や能力を持っていない」AI にそれは不可能です。
もしネット上にある「コピー元の素材」に権利が発生しないとするなら…
例えば、それが企業の作品でも同様のことが言えるのでしょうか？
ゲームやアニメの映像は、企業が大金をかけて作成しています。
ソーシャルゲーム系のイラストの相場は、私が知る限りで 5〜20 万、有名作家なら数十万です。
そうした物にも、著作権は無いのでしょうか？わからなければどうでもいい、のでしょうか？
もちろん「コピー元の素材の権利者にきちんと報酬が支払われる仕組み」を作るのは、極めて難しいと思います。
なので…実際の落としどころとしては「フリー素材」として配布されている物なら OK、そうでない画像や写真は禁止、とするしか無いのでしょう。
また、AI 生成された物に著作権は発生しない、フリー素材以外の画像を学習させた画像は、商品として販売できない、また生成した画像にはそれとわかる印が必ずつく…とするのが無難ではないでしょうか？
※印がつかない生成 AI は禁止など。
最後に、これは著作権問題からは外れた内容になってしまうのですが、AI でイラストを生成する方の中には、特定のイラストレーターの画像を大量に読み込ませ、そのイラストレーターのタッチを完全に模倣させた画像を大量に生成し、わざわざ本人に見せる…といった嫌がらせを行う方もいらっしゃいます。
生成 AI の存在を否定はしません、しかしながらこうした行為や、クリエーターの権利の軽視は、国が進める「クールジャパン」を担うクリエーターのヤル気を削ぎますし、仕事も奪います。
今後のアニメやゲーム、イラスト文化の発展を妨げるのではないでしょうか？
確かに、AI で高品質な作品を安価に、大量に量産できるのは魅力的です。
しかしアニメやゲーム等の文化を本気で応援する気があるのなら、クリエイターの権利や生活に、もう少し目を向けてください。

●受付番号　185001345000007177

AI の促進をすることにより、クリエイターの権利が侵害されるため AI の促進に反対いたします。既に何人ものクリエイターが被害にあっており、AI 促進派の人達はクリエイターからの声に耳を傾ける気もありません。クリエイターの権利を守るようにしなければ、日本の文化は衰退する一方だと考えます。

●受付番号　185001345000007178

イ.「AI 生成物は取り込んだパターンから学習を行い出力を行うため、原則データの切り貼りではないとされる」という意見について。
当該文章の上記に付されているように AI 生成物の完成度は取り込んだデータの量と質によって決定される。膨大な量のパターンを学習すればその分様々なアイデアや表現を実行することは可能であると思うが、現実問題として多くの AI 生成物は投稿者へのさまざまな利益の付与前提としてソーシャルへの公開や一部生成物、AI 学習データそのものの販売を行っているため、所謂「流行」や「ウケ」を重視し画一的であり、多様性や独創性からは遠くかけ離れたものとなっている。AI 生成における利益や技術発展を享受したい気持ちは理解できないわけではないが、目先の利益だけにとらわれてしまっていては、現状の AI 生成物をめぐる不法行為やそれを取り巻く過激な論争によって日本の民衆感情や国民の不断の努力によって培われた、世界に誇れる文化コンテンツの衰退を招くものとなりかねないと危惧している。
ロ．AI 生成物に対して著作権を付与するかの判断について。
たとえ人間の手によってどれだけ指示、加筆が行われたとしてもこれらに著作権を付与することは絶対に行ってはいけない。理由として、AI 生成物に対してどれだけ人の手が加えられたかというものは他社によって直感的に判断することは難しく、要素だけを取り出すと「自分で塗った塗り絵」に対して著作権を宣言しているに等しい行為であると考える。これは塗る行為だけでなく塗り絵の元イラストに何かを付け足したとしても変わらないはずである。また人間と AI 生成における創作のスピードについてまったく考慮がされておらず、仮に一部加筆を行ったとしても圧倒的な物量をもつ AI 生成物に対し著作権を付与することは必ず未知の大きなリスクを招く結果になると考えられる。

●受付番号　185001345000007179

頁 24
＞AI 開発事業者や AI サービス提供事業者においては、学習データの収集を行うに際して、海賊版を掲載しているウェブサイトから学習データを収集することで、当該ウェブサイトへのアクセスを容易化したり、当該ウェブサイトの運営を行う者に広告収入その他の金銭的利益を生じさせるなど、当該行為が新たな海賊版の増加といった権利侵害を助長するものとならないよう十分配慮した上でこれを行うことが求められる。
　海賊版を掲載しているウェブサイトから学習データを収集するすることには明確に罰則を設けるべきである。
海賊版のみならず、インターネット上に存在する違法な画像を学習した AI を用いることは著作物侵害のみならず、国家間の問題・人権問題に発展しうる。
これは生成 AI が台頭し始めた頃から問題視されているが現状解決に向かっているとはいえず、（今回の題目とは離れるからだとは思うが）本件でも触れられていない。
そのため AI 開発事業者や AI サービス提供事業者が提供するあらゆるデータセットには全てその入手元を明らかさせることを義務付けるべきである。
実現困難であるのなら、国が主導して違法なデータを含まないデータセットを提供し、違法なデータセット群を排除すべきである。
頁 35
＞試行回数が多いこと自体は、創作的寄与の判断に影響しないと考えられる。他方で、1 と組み合わせた試行、すなわち生成物を確認し指示・入力を修正しつつ試行を繰り返すといった場合には、著作物性が認められることも考えられる。
　試行回数で著作物性を認めるべきではない。
類語を自動抽出して命令のパターンを組み替え、プロンプトを実行させ
作成された画像をまとめて確認すればよいため、人間の介入するプロセスが存在せずとも 1 との組み合わせを繰り返すことができる。
これにより出力された膨大な結果から選択する 3 に関しては著作物性を認めることに異論はない。
頁 35、36
＞人間が、AI 生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分については、通常、著作物性が認められると考えられる
　画像ファイルとして出力された AI 生成物からは加筆・修正を確認できないことから著作物性を認めない前提で解釈する。
元の AI 生成物が前頁で提示された侵害性や依拠性を含む場合、加筆・修正内容が確認できるファイルであっても著作物性を認めるべきではないと考えられる。

●受付番号　185001345000007180

現素案については反対の立場です。
絵を描けず、プログラムが出来るため生成 AI、特に絵に関する物の恩恵を受けやすい立場にいると自覚はあるのですが。
理由について記載します。
現時点で生成 AI は 0→1 が出来ません。
生成するものが絵であれば絵、文言であれば記事等の元となる何かが必要です。
そこから生み出される物の品質は生成元を超える物では無いかもしれませんが、それでも世間一般に受け入れられるレベルには到達していると考えます。
結果として AI の元となる作品を生み出す人間、若しくはそこに流れる金銭が大幅に減ることが予想されます。
最終的に AI が生み出したものを AI に読み込ませ…というループに陥り、新しい何かが生まれなくなることを特に危惧しています。
絵だと新しい技法、画風が出てこない程度で済みますが、情報媒体等が AI を用いて記事を書くようになった場合（これは今でも問題になっていますが)、新規情報の流通が格段に遅くなったり、誤った情報ばかりが広まってしまう可能性があります。
例えば現時点で AI の使用が（比較的）進んでいるプログラミング界隈ですが、こちらでも AI は新規技術への対応が難しい（プログラミング言語のバージョンが進んだりして以前の書き方では駄目になったが、バージョンが進んだのは最近で、世の中には古い書き方の情報のほうが多いため、AI は古い書き方を提示してしまう）事が問題視されています。
プログラミング界隈では記事を書くことにインセンティブがある（転職等が活発な業界であり、良い会社に行きやすい、フリーランスとして活躍しやすい等）こと、AI による成果物が動かない（出たそのままでは使えない）事例が多くあることで、現在プログラマーの職は守られていますが、それらがなければおそらく旧技術ばかりを勧めてくる AI の完成でしょう。
一方の絵や記事では AI の生成物そのままでの妥協が出来てしまいます（特に金銭を目的とし、PV 等の為に数を打つことのメリットが大きい場合)。
0→1 が出来る人間が居なければ、AI は堂々巡りを始めてしまいますし、それは使用者に取っても良いことではありません。
加えて、AI は人の何万倍もの速度で動きます。
これは良いことでありますが、悪貨（AI の粗悪な生成物をそのまま出したもの）が良貨（人や AI が作ったものをきちんと人が監修して作った物）を駆逐する構図が簡単に成立する原因にもなり得ます。

現素案は 0→1 を出来る人間（今回の場合は絵をや記事、著作物を作成する人）が守られているとは思えない物であり、短期的には良くとも長期的には文化の破壊及び競争力の喪失を招くものだと思われます。
今一度素案の見直しをお願いしたく存じます。

●受付番号　185001345000007181

今回の法案によると生成 AI で学習したイラストの著作者には許可を取らず、またデータ削除申請も受け入れられないようです。画像生成 AI の学習元となった無数のイラストには、それぞれ著作者がいます。イラストを利用する際には、フリー画像でなければ作成者に許可を取り、場合によってはお金を払い、権利を得てから使用するのが現在の日本のルールだと認識しています。私はこの点において、また生成 AI の推進事業全体においても、イラストを消費し、またイラストを描く身として、抗議をしたいと思っています。
のちに添付するリンク先のツイートにもあるように、生成 AI は実際に創作をしている方々の認識からすると版権そのもののみならず著作者人格権を侵害し、著作者の精神を傷つける可能性も孕んでおり、結果的に日本が一生懸命育んできたクリエイターに打撃を与え、文化自体を衰退させる危険性があります。一度リンクを確認していただければわかりますが、海外でも生成 AI は問題視されており、その他にも生成 AI に関する問題点が詳細に書いてあるため、もし本気で生成 AI 事業を育てたいと考えていらっしゃるのであれば、批判側の立場を確認すると言う意味でもリンク先のポストに目を通していただければと思います。
([redacted])
また、私自身も趣味で絵を描いており、イラストや漫画、アニメーションをよく鑑賞します。いち消費者の立場からして生成 AI の著作権濫用許可に反対する理由の 1 つは、生成 AI の絵は描き手の「こだわり」が感じられないと言うことです。生成 AI を使用して新たな芸術を生み出そうと考えても、芸術で大切なのはその作り手の想いや情熱であり、上っ面の綺麗さや正しさ、蓄積された成功体験の再現ではないことを考えると、描き手が込めたメッセージやストーリー性、描き手の絵を描く楽しさなどが伝わってこない切り貼りの生成 AI がアートとして人気を博すかといえば、甚だ疑問と言わざるを得ません。実際に、「AI の絵はフェチズムを感じない」という趣旨のツイートが Twitter 上で反響を得ており、きつい言い方ですが、描き手の意思が筆致として反映されない生成 AI に表現としての価値は殆どないのではないかというのがあくまでいち消費者としての個人的な所見です。芸術に対する信念も、自らが手を動かして何年も練習して技術を習得し表現しようという覚悟もない人が、その練習を重ねてきた人たちの絵の集積データを出力する AI のソフトに便乗して 1 分足らずで生成した絵に、表面的な綺麗さ以外の魅力を、少なくとも私は見出せないと感じます。絵を描かない人や普段イラストを消費しない人にとってはどうかわかりませんが、少なくとも私や周りの創作者、Twitter 上で見かける知らない人まで広く「AI 絵はすぐわかる」という意見を見かけます。つまりまだ進化の余地があるということでこのような生成 AI 推進がなされていると思うのですが、これは良いことではないと思います。違和感がなくなるくらい、つまり不気味の谷を埋められるまでの間、どれくらいのイラストレーターの絵を無許可で「学習」するのですか。そして、果たして大量学

習の先に、命を削って学習元の絵を描いてくださるクリエイターの方々の覚悟のもとにある絵に敵う作品は生まれるのでしょうか。甚だ疑問です。
もっと平たくいえば、芸術性という観点を抜きにしても、生成 AI で出力される絵の多くは人体構造を理解していなかったり(髪の毛と指がくっついているなど)、パース(奥行き)やデッサン(人体のバランスや可動域等)の概念が崩壊していたり(奥行きがズレていたり、肩があり得ない方向に曲がっていたり)などの問題を抱えているように見受けられます。絵を「学習」する人の多くは、人間の体の作り(胴から 2 本ずつ手足が生えており、首の上に頭が乗っていて、指は手足それぞれに 5 本、など)を理解し、定規を使うなど奥行きがズレないよう四苦八苦し、身体の可動域を鏡や写真で確認しながら構造的・体系的に絵を学んでいきます。あれだけたくさんのデータを吸い込んでもなお、パースやデッサンの狂った絵を出力し続ける AI は、本当に絵を学習していると言えるのでしょうか。私には、生成 AI は学習という名の切り貼りで表面だけを取り繕っているように感ぜられてしまうのです。
最後に、Twitter 上で今回のパブコメへの協力を呼びかけているツイートです([redacted])。
これは 2 月 5 日現時点で 2.1 万件の拡散を獲得しており、今回の法案がクリエイターに歓迎されていないことがよくわかります。改訂お願いします。

●受付番号　185001345000007182

5.各論点についての【侵害に対する措置について】（イ）学習済みモデルの廃棄請求について（資料 26 頁）の項目において、「場合が多い」「考えられる」という明確な根拠のない主張によって学習済みモデルの廃棄請求が認められないと記述されている点に不安を感じます。AI 学習の性質上、学習元の著作物との類似性・複製性の判別に明確な基準を定めることは確かに難いことだと感じます。しかし、このままでは「この程度の類似性ならば恐らくあなたの著作物の侵害にはならないので」という曖昧な判断で本来認められるべき権利が不当に侵害される危うさを持っているのではないでしょうか。著作者の権利を確実に守ることができない以上、この案は認められるべきではないと考えています。以上のことから、反対の立場を表明させていただきます。

●受付番号　185001345000007183

AI は自分が技術的にできないことを可能にしてくれるため便利だとは考えます。しかしその学び先が他人の作品であること、つまりその人の著作権を有耶無耶にしながらも学びを得ることは少し疑問を感じます。素人、プロ限らず、その人がオリジナルで作ったものには著作権というものが存在し、無断での二次利用や改変が禁止されているのが現状です。しかし、AI は半自動的に様々なデータを収集して学ぶことが可能であるため、いくらオリジナル作品の作者が権利を自衛しようともできない状態となっていることには、疑問を投じたいと考えています。

●受付番号　185001345000007184

AI が発展することは悪いことではないとは思いますが、これでは日本の創作文化は損なわれます。
日本のアニメや漫画、イラストなどは世界でもトップクラスのものだというのに、その世界に誇れる文化を国が大事にしていないとしか思えないのはあまりにも創作文化の人たちを馬鹿にしているとしか思えません。
私たちが努力して得た力を無駄にするのはやめてください。

●受付番号　185001345000007185

まず「1.はじめに」に記載された「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」という一文の撤回を求めます。
現状利用されている生成 AI の実体は海賊版製造や無断転載、著作権に違反した創作物の利用と大差が無く、他者の創作物を無許可で使用し、結果だけを得る人々のことをクリエイターとは呼べません。
また、生成 AI 利用者から執拗な嫌がらせを受け活動を休止したクリエイターも多数いらっしゃいます。「著作権が侵害されるのではないか」という懸念の段階は既に過ぎており、現実に起こっている事態です。文化の発展を担うはずのクリエイターが安心して活動できない状態に追いやられている状態で、生成 AI は一体どのような文化の発展に寄与するのでしょうか。
著作物だけでなく、学術研究などの場においても、生成 AI で作成したフェイク画像や虚偽の論文に研究者が悩まされている現状があります。
むしろ生成 AI に対し、十全な規制と対応が求められて然るべきと考えます。
個人の創作物は個人の財産であり、その人が受けるべき利益を他者が掠め取っていいものではありません。生成 AI による生成物には一切著作権を付与することは許してはならないと考えます。

●受付番号　185001345000007186

著作物を第三者が許可なく勝手にＡＩ学習させ、作品を作成することは、著作権の侵害にあたると考えられます。それを「侵害の行為を組成した物」、「侵害の行為によって作成された物」には該当しないと考えられる、というのは間違った認識であり、行政の著作権への認識はそのような低いのものと認識されてもよろしいということでしょうか。また、ＡＩ学習において著作権侵害が生じた場合に、「特定の著作物による学習済モデルへの影響を取り除く措置の請求は認められない」と、時間的・費用的な理由をあげて定義していますが、これは何故ですか。既に生成されインターネット等にあげられている物は、請求された時点で削除すれば良いだけのことだと考えられます。それを、著作権侵害をした側の時間的・費用的な理由から請求を認めないというのは、前提として間違っているものだと考えられます。

●受付番号　185001345000007187

現状の生成 AI 技術は、それまでにない新しいものを作る技術ではなく、既存の創作物を模倣して合成する高度な海賊版のようなものでしかない。
さらに AI の学習元となる素材には、権利者の許諾を得ずに集められた創作物や、肖像権の侵害にあたる写真が含まれているという訴えは既に上がっており、現状では著作権法や人権侵害等となる可能性のほうが高い。
何より、現状では生成 AI 技術はクリエイターを補助するものではなく、廉価な模造品を量産して、本来技術的に成長途中である若手クリエイターに回るはずだった仕事を奪う存在でしかない。それは短期的には企業に収益をもたらすものとなるかもしれないが、長期的に見れば、後進の育成を阻むのもであり、クリエイター産業の力が強い日本に於いては大きなマイナスとなるだろう。

●受付番号　185001345000007188

反対です。

●受付番号　185001345000007189

AI 画像は著作物を勝手に使い「出力」するものであり、「生成」する訳ではありません。「限度を超えるものではない」というのは著しい事実誤認であり、これまでの著作権法への順法意識も疑わしくなります。ＡＩ以外の生身の人間が著作権侵害で責任を取ってきた事に示しがつきません。

●受付番号　185001345000007190

この先権利も申し立てられずに SNS などにあげた画像を勝手に生成 AI に学習されては創作の自由や権利が奪われてしまいます。
私達の作品は生成 AI のエサではありません。
本当にやめてください。

●受付番号　185001345000007191

4.の「クリエイターや実演家等の権利者の懸念」で述べられているように，自身が時間をかけた創作物を，他者が無断で学習させ，短時間で大量に生成することを容認されることは，制作した者にとっては容認できず，また，今後の産業・文化の発展を妨げると思われる。
自身は大学院で情報科学を学び，昨年プログラマーとして就職活動を行ったが，当時「ChatGPT でプログラムを生成してくれる」という内容などを聞き「いずれは自分がいらなくなる」かもしれないと思うようになり，自殺を考えるくらい気持ちが落ち込んだ。
今後，インターネット上の画像やプログラムといったデータの無断での学習が容認されれば，一時的には良い物を生成できるようになると思われる。それに伴って，自身と同じように「自分がやらなくても」という考え方を持つ人は一定数現れ，その分野に関わる人が減っていくことが考えられる。それにより新規の発想や既存技術の改良などが進まず，その分野の発展が難しくなることが想像できる。
今後も日本が産業・文化において発展していくためには，著作物等に対して AI の学習に使用を許可する旨を明記していない場合，その著作物は例外なく保護されるべきだと考える。
Sketchfab という 3D モデル公開サイトでは，3D モデルのテクスチャの確認ができるが，クライアントで開く際にネットワークで送信されるテクスチャを加工するといった処理が行われている。また，テクスチャ全体を表示しないことでスクリーンショットなどによる抜け道にも対策がされている。
現状，SNS などで投稿・公開されている画像には明確な権利(クリエイティブコモンズ etc)の記載はないものの，投稿者の意思として「AI 等学習利用禁止」などがプロフィールなどでは記載されている。しかし，画像のダウンロードなどが容易であるため，無断での学習が行われ，作風を模倣した画像が生成されている。
そのため，画像などの投稿が可能なサービスでは無断学習の対策の必要性があると考える。また，明確な学習への使用に関する許可に記載がない著作物は，無断学習で使用されることはあってはならないと考える。

●受付番号　185001345000007192

私はイラストの分野の知識しか持ち合わせていないため、音楽などの分野の理解はありません。そのため今回はイラスト分野のみに限定させていただきます。
世の中のあらゆる創作物には特徴があります。この特徴を作風と私は捉えています。イラストで言えば、塗り方、線の書き方、色や構図など様々なものが挙げられます。
私は、この特徴を作者自身が使って初めて作品になると考えています。
この人の作品が好きだからそれにしようというのは悪いことではありません。世の中には、好きなイラストの画風に似せて描く人もいます。しかし、その似せて描いたイラストにも描いた本人の特徴（作風）が加えられています。つまりトレースや参考にした作品をコピーしたというわけではないのです。
しかし AI イラストは違います。その人のコピー（学習データ用のイラスト）を使ってイラストを生成します。AI イラスト生成者の特徴（作風）は全く存在しません。
他人が作った画像を許可なく使って発表した時点で著作権に触れるのであれば、AI イラストも同じです。トーレスでさえ問題になるため、AI イラストも同じようなものだと捉えられるからです。
著作権に触れない AI イラストと言えるものは、特徴（作風）が見つからないものです。学習データとして 1 万人のイラストレーターのイラストを 10 万作品分用意して作られたイラストは、もしかするとその一例として認められるかもしれません。つまり誰が描いたか見当もつかないイラストが著作権には触れていないと言えるのだと思います。
現在、使う側に規制がないため、被害が発生しています。実際に被害に遭い、仕事が出来なくなった人や悪いイメージを植え付けられた人が存在します。法律的に作風というのがどこまでを指すのか具体的な指標は分かりませんが、基本的にその指標は定まることはないと思われます。
現状、AI イラストというもの悪にしかなりえません。実際 SNS では否定的な意見の方が多く見られます。
そのため学習元のイラストの著作権が必要になると考えます。イラストレーターを守る意味もありますが、AI 生成者に対して規制をかける意味が大きいです。
以上から私は AI イラストに関して、学習データとするイラストに関しては、ほとんど全てのケースにおいて著作権が認められる必要があると考えます。

●受付番号　185001345000007193

AI は画期的な技術だと認識しています。しかし、AI と著作権に関する考え方について（素案）に目を通しましたが、いかに著作物を保護せずに許諾なく使用することを合法とするかといった内容のように捉えられます。
また AI 生成物にはプロンプトと施行回数の量程度で著作物として認めようと考えておられるようですが、〇〇だと考えられる~といった内容は些か短慮で楽観的な願望ではないでしょうか。見通しが甘いと考えております。
また無断で AI に取り込んだ側の都合が有利になっている内容だと感じました。
他にも多々ありますが、特に下記の内容についてです。
AI と著作権に関する考え方について（素案） の 26 ページ
AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ、「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によって作成された物」には該当しないと考えられる。
AI 学習により作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられることから、「専ら侵害の行為に供された機械若しくは器具」にも該当しないと考えられる。
また同資料 27 ページ 31
AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に、学習に用いられた特定の著作物による学習済モデルへの影響を取り除く措置を請求することは、現時点では、その技術的な実現可能性や、技術的に可能としてもこれに要する時間的・費用的負担の重さ（例えば特定の学習データを学習用データセットから除去した状態で再度学習済モデルの作成を行う場合、当初の学習と同程度の時間的・費用的負担が生じると考えられる。）から、通常、このような措置の請求は認められないと考えられる。
また、学習データの切り貼りではない。AI 学習によって作成された学習モデルは学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる等の内容は、何を根拠に言われているのでしょうか。
加えて著作権法について詳しくお聞きしたい事が数点あります。
著作権法第三十条の四　著作物は、次に掲げる場合その他の当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合には、その必要と認められる限度において、いずれの方法によるかを問わず、利用することができる。ただし、当該著作物の種類及び用途並びに当該利用の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。
素案の内容だと、当該著作物の種類及び用途並びに当該利用の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。という部分を無視しているように考えられます。

また"？が技術上、”現実的では無いから”仕方がなく規制しない"
という考え方が通るのであれば、” 現実的でなかったはずの”違反行為は違反行為として認めないことになり法律制度、裁判制度の根本に触れると考えられます。
AI の開発・学習を行う段階で、必要と認められる限度を超える場合や、著作権者の利益を不当に害する場合というのものを具体性を持ったガイドライン等に明記していただきたいと考えております。
また生成・利用段階では著作権侵害の要件を満たす形で AI による画像生成や AI 生成物の利用が行われた場合についても同様です。
AI による生成が画期的な技術だということは認識していますが、作家の著作物を保護することが間に合っていないように感じます。
またそれらを許諾なく使うこと、AI 生成物にはプロンプトと施行回数の量程度で著作物と認める前に、作家の著作物を保護、著作権侵害の要件「類似性」「依拠性」をもう一度考慮し素案を練り直していただければ幸いです。

●受付番号　185001345000007194

生成 AI はクリエイターの権利を侵害しています。学習元となったクリエイターにロイヤリティも支払わず、責任も持たずでは流石に無責任すぎます。

●受付番号　185001345000007195

個人での記載
2.
(1)ア単なる事実やデータにとどまるものが著作権物に該当しない場合、SNS 上にある人物や風景を写した写真は著作権法の保護対象に含まれないこととなる。現在 pixiv や TikTok といったアプリで AI を利用したディープフェイクおよび児童ポルノ問題の横行を許すことと同義であるのではないか。下着を捲っている AI 絵の学習元となる女児や、顔フィルター元となる芸能人の保護をしないことは、今後の犯罪に繋がることが容易に想像できる。
5.
(1)エ(イ)作風や画風といったアイデア等が類似すること自体が創作者の著作権を脅かすものとなる。裸体など性的搾取を主とした創作物を禁止するコンテンツに、R18 物の AI 絵が投稿された場合 AI 絵の判別をつけられない利用者が学習元の著作者にヘイトを向ける可能性がある。著作者は風評被害を被ることとなるが、そのような AI 絵を生成した人物は「R18 絵を投稿した罪」しか犯してないこととなってしまう。このような状況で創作者に対し負担を強いることは、政府が目的とする「創作コンテンツの普及」とは全くの逆効果であると言える。
(2)イ(イ)3「AI 利用者が既存の著作物（その表現内容）を認識しておらず、かつ、当該生成 AI の開発・学習段階で、当該著作物を学習していなかった場合は、当該生成 AI を利用し、当該者作物に類似した生成物が生成されたとしても、これは偶然の一致に過ぎないものとして、依拠性は認められず、著作権侵害は成立しないと考えられる。」とあるが、当該著作物に限らず類似品の著作者を学習していないかまで精査すべきである。著作者の過去作を学習させれば、似た作品を作ることは可能である。
創作者を苦しめるだけの AI 利用を制限し、利益を出さない、または出した利益を全額著作元に還元することが望ましいと考えている。元々持って生まれた才能ではなく、参考書や学校等にお金を使って身につけた技術である。今回の素案は創作者の努力や表現の自由を蔑ろにするものに過ぎない。改善を求める。

●受付番号　185001345000007196

最低でも AI によって生成されたコンテンツには、必ず AI 生成であると明記しなければならないと定められなければ、今後インターネットに溢れかえる AI 生成物で正しい情報に辿り着くことが困難になる。
現状ですら実在する風景や生物を調べようとしても、AI 生成による間違った画像が増えている。
これから AI 生成であるかどうかを人間の目で見極めるのは困難になると思われる為、あらかじめ AI を使う人間の方に AI 生成物とそうで無いものを分ける義務が必要だと考える。
また、現状の画像生成 AI などの生成 AI については基礎的な学習データでは高いクオリティを維持できず、結果的に特定の作家らの作品を追加学習させる行為が横行している。
生成 AI による問題点のひとつとして高い技術を持った人間の著作物を利用しなければ精度の上がらないものでありながらその高い技術を持った人間の仕事を奪うだけでなく、追加学習を行わない場合でも、高い技術を持った人間に今後なるであろう初心者が担っていたような安価で低品質な仕事を大量に AI が奪うことは、これからのコンテンツ産業の先細りを生み出す行為であり、AI 生成物に対して著作権が認められる場合これらは加速していくと予想する。
著作権というものは著作者を守る為の法律だと考えているため、人間が加筆修正すれば AI 生成物でも著作物と認められるという判断には賛成しかねる。

●受付番号　185001345000007197

生成 AI のせいで命を絶った人を知っています。
どんな理由であれ、AI を許せません。

●受付番号　185001345000007198

・個人
・「５．各論点について」に対する意見
以下の２点に関して意見を提出します。
・「生成・利用段階においては、当該生成物が、表現に至らないアイデアのレベルにおいて、当該作品群のいわゆる『作風』と共通しているにとどまらず、表現のレベルにおいても、当該生成物に、当該作品群の創作的表現が直接感得できる場合、当該生成物の生成及び利用は著作権侵害に当たり得ると考えられる」（p.18）
・「作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり、既存の著作物との類似性が認められない生成物は、これを生成・利用したとしても、既存の著作物との関係で著作権侵害とはならない。」（p.20）
本資料で挙げられている AI 生成技術は、「その普及は事業者にとどまらず一般市民の間にも広く進んでいる」（p.15）とあるように、広く普及しています。
イラストの AI 生成に関しては、Youtube、X（旧 Twitter）、Instagram など、様々なサービスで、多くのユーザーにコンテンツとして消費されています。
AI 生成技術は、いまや誰もが気軽に触れることができるサービスになっています。AI を利用する人々の母数も、これからさらに増えていくと予想されます。
こうした状況をふまえると、本素案、とくに上記に挙げた２点については、文意が曖昧であり、現状に対して不十分な素案ではないかと考えます。
「作風」「表現」「画風」「アイデア」といった、定義が困難な言葉で著作権の適用範囲を定めた場合、その解釈を行うのは多数派、つまり、これから増えていくであろう AI 生成技術の利用者たちです。現状、AI 生成技術に不安を感じている創作活動を行う人々が声を挙げにくい状況になってしまいます。
こうした曖昧な表現では、AI 生成の発展を推進する一方で、創作活動の文化を守ることはできないのではないでしょうか。
一般市民に、AI 生成に対するリテラシーが十分に根付いていない現状を鑑みたうえで、個人の創作活動を守るためにも、AI 生成の規制はより厳しく、慎重になるべきだと考えます。
いま一度、ご検討をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007199

生成 AI については、学習元の画像や文章の著作権が何事においても優先されなければならないと考えています。
理由としては、イラストや小説といった創作活動を行うクリエイターは作品を制作できることに大きな価値があります。生成 AI はその価値を無くしてしまい、多くのクリエイターに不利益を被る可能性があり、著作物の学習については著作元の許可がなければ不可能としなければならないと考えます。
生成 AI を利用した商用活動あたりは特に現在でも問題となっており、学習元の著作者のみならず、他のクリエイターも被害を被っている状況です。この状態が続けば、いずれは創作活動という文化そのものが破壊されてしまい、瞬く間に廃れてしまうのは明白です。
クリエイターの生活を守るだけでなく、文化の発展という観点からも著作物の生成 AI への学習利用は許可がない限り全面禁止とするべきと考えます。

●受付番号　185001345000007200

４．関係者からの様々な懸念の声について
５．各論点について
（２）生成・利用段階
ケ 権利制限規定の適用について

AI による生成物については、著作物に該当せず、また権利制限規定も適用外とすることが望ましい。既に、AI により模倣した作品を自己満足のために掲示し、学習に使われた作品の作者を著作権侵害と訴え、活動休止に追い込む事案が発生している。生成物を著作物として一定の権利をもたせると、こうした不当な扱いを受ける著作者が増えるだけでなく、侵害した側（AI 生成物利用者）を法によって保護してしまうことになりかねない。
繰り返すが、AI による生成物は「著作物」とは呼べない。学術調査などのために AI を利用することがあっても、生成された物についてはあくまで「生成物・成果物」の域を出ることはなく、また世に出回るべきではない。AI は既に技術の効率化の域を離れ、技術の簒奪の域に到達しており、ゆくゆくは多くのクリエイターから職および技術を奪うこととなる。国にとっても大きな損害となることは免れない。

●受付番号　185001345000007201

【項目名】
（３）生成物の著作物性について　イ　生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
【意見】
生成物を確認し、指示の修正をするという試行錯誤が、果たして人間の創作の試行錯誤と同等の労力と言えるのか、疑問である。
例として絵、現代においてはパソコン上でのイラスト制作などで考える場合、意識するものはとても多い。全体のバランス、人体パーツとしての違和感、イラスト全体の雰囲気から決める色の傾向。表現するものにもよるが、他にも様々なものを（たとえ本人にとっては経験に裏打ちされた無意識下であっても）考慮しながら、白紙に色や線を塗り重ねている。
音楽においても、文芸においても、その他の創作物でも。人間がいちから作る創作物である以上、同等の労力がある。
対して生成 AI は、命令を修正するだけである。文章を少し変えるだけで、理想の創作物が生成できる。そしてこの項目においては、それだけで生成物に著作権が付与されるという考えを示している。
これは著しい問題である。各種クリエイターの数十時間にも及ぶ（あるいはそれ以上の）労働時間を、１０分ほどで享受することができる。そして、それが著作物として認められる。我が国日本の創作文化を、根ごと食い潰すに等しい暴挙である。絶対に、生成 AI に著作権を与えてはならない。

●受付番号　185001345000007202

私は生成 AI の使用に関して厳格な規制を設けるべきであると考えています。理由としては、技術の発展を理由に規制をかけていない現状において、自らの手で作品を創り上げている方への損害があまりにも大きいからです。今現在様々なクリエイターさんが無断で作品を生成 AI の学習に利用され、悲しんでいます。生成物によって自身の作品や作風に悪いイメージを付与され風評被害に苦しむ方もおられますし、中には深く傷付いて筆を折ってしまう方もおられます。クリエイターさんにとって作品は今まで活動してきた時間全ての積み重ねです。それを無断で生成 AI の学習に使用し、あまつさえ自分の作品として世間に発表、販売する事はクリエイターさんの尊厳を大きく踏みにじる行為です。また、生成 AI はその特性上大量の粗悪品で人の手で作られた作品を駆逐してしまう危険があります。日本の芸術産業を支えるクリエイターさん方が不利益を被るような事はあってはなりません。早急な対応を望みます。

●受付番号　185001345000007203

試行回数や加筆に関わらず他人の作品を学習させたAIから出力された生成物に著作権が発生することはあり得ません。
生成物の著作権は著作者本人や著作権の保有者の利用でのみ発生し、著作者の著作者人格権も行使できるのが筋です。

●受付番号　185001345000007204

はじめに、の「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイターも出てきた」という文章に疑問を持つ。クリエイターとは、人の力による時間と労力、そして膨大な時間を使い、0 から 1 を生み出す創作活動者こそクリエイターであると考えられる。その努力を簡単に利用、更に自動性的虐待画像（CSAM）や Books3 などの書籍海賊版サイトのデータを使用していることがあきらかになっているデータセット問題。そのような問題を抱える「生成 AI の利用者」を、果たして同等な扱いをしてよいものか。それは強く否定する。
SNS で生成 AI に利用され被害を訴えるイラストレーターの方々を何度も確認している。一度そのようなことが起きれば、信用問題と名誉棄損に値する。被害にあったイラストレーターが上記のようなデータベースを利用し作成していると疑われるリスクがある。
よってこの文章の撤回を要求する。

●受付番号　185001345000007205

生成 AI による生成物の著作権についての考え方についての意見だが、素案には「生成 AI に対する指示が表現に至らないアイデアにとどまるような場合には、当該 AI 生成物に著作物性は認められないと考えられるが、単なる労力にとどまらず、創作的寄与となり得るものがある場合は、これがどの程度積み重なっているか等を総合的に考慮して判断されるものと考えられる。」とされているが総合的に判断する基準が定まっていないため、生成 AI の悪用が考えられる。さらに著作物として認めた場合、生成 AI による生成物が市場に溢れ、著作物の価値が下がり、創作活動の規模が縮小してしまう恐れがある。以上のことから生成 AI による生成物に著作権を適用することについて反対する。

●受付番号　185001345000007206

現在よく利用されている生成 AI サービスの学習元はアーティスト（プロ・アマ問わず）の投稿サイトや販売されているデジタルコンテンツ（著作権が存在する商用のテキスト、ゲーム、イラスト、音声）から許可なくスクレイピング・アップロードを行なった転載サイトのデータを利用しているというニュースがあった。
また、ライブラリが公開されていないため違法に撮影・作成された児童ポルノが含まれていた場合、生成プロンプトによってはほとんど加工がなく本人とわかってしまうようなポルノ画像も出力されることが予見できる。
その気がないのに児童ポルノを作成してしまい、モデルになった児童及び保護者とのトラブルや児童ポルノ禁止法に抵触する可能性はないのだろうか。
例えばライブラリの公開を前提にアーティストから許可を得た素材のみ利用するといった施策がなければ、生成 AI の「学習元」「素材」として協力を仰げたかもしれないアーティストたちからの信用が得られず、金銭的な問題や「どうせ無許可で AI の素材にされる」という諦念から廃業する=裾野がしぼみ、今は良くても生成 AI 自体の開発もしぼんでいく可能性もあるため、ルール作成は必要であると考える。

●受付番号　185001345000007207

著作権者が学習禁止としている著作物(一般に公開しているもの)を学習データとして取り込む事は明確に禁止として頂きたいと思います。

●受付番号　185001345000007208

「（イ）学習済みモデルの廃棄請求について 」における
◯AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ、「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によつて作成された物」には該当しないと考えられる。
この項目関して、NovelAI V3 の学習済モデルでは、アニメ「ラブライブ!」のロゴが生成物に含まれたケース([redacted])。
ワコムの AI にてソニックに似た生成物が生成されたケース
(https://matomedane.jp/page/151383)などがある。
また、「Stable Diffusion」が膨大な量の違法な児童の性的虐待画像を使って訓練されていた(https://forbesjapan.com/articles/detail/68355)ことが発覚している。
どのような議論で「作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ、「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によつて作成された物」には該当しないと考えられる。」という結論に至ったのか疑問に感じた。
特に「作物の複製物とはいえない場合が多い」というのは
学習済モデルの調査をどのように行ったのかが不明確であり、説明不足に感じた。
そもそも、どのように学習済モデルを調査したのか、解析をしたのか、企業から一般人が生成した学習済モデルまでを調査したのか、しっかり調査報告をしてほしいと感じた。

●受付番号　185001345000007209

AI の精度向上のためとはいえ、ネット上にある全ての物を学習材料とするのは良くない。
写真、イラスト、マンガ、音源、小説、立体作品、絵画、色々と作品と呼ばれるものがあるが、それら皆すべて 0 から生み出した人のものであり、それを見たい、感じたいと思う人へ届けるための製作であると思う。
AI に学習させるための物ではない。
著作権切れのものを使用するのは構わないと思うが、いくら精度向上のためとはいえ全ての物をその対象とすべきではない。

●受付番号　185001345000007210

生成 AI は今後便利なものとして活躍していくでしょう。
そうやって、昔は印象派などさまざまな画風が歴史に名を残してきたので、画風自体が著作権に入らないのはわかります。
しかし、問題なのは利用者の治安の悪さがあげられます。
ただでさえ、学習元の作者に生成 AI 利用者が誹謗中傷している問題も発生しています。
AI と本物の区別がつかなく、本当に書いているのに AI だと誹謗中傷する輩もいます。
今後、どのように法の網をかいくぐって悪用してくるかわからない状況です。
それでこの素案を提示して本当に現状を理解して素案を出しているのでしょうかと疑いたくなります。
このような素案を作る前にまずは現在の状況の理解、誹謗中傷してくる人の頭がどうなってるかの理解、それ以前に内部の腐敗について改めたらいかがでしょうか。

●受付番号　185001345000007211

画像生成 AI については「権利者に許諾なしで作品を使う」という点に断固反対です。AI や技術の進歩は歓迎しますが、著作権など既存の権利を蔑ろにする進歩はおかしいと思っています。
AI の学習に使用するのはよいですが、それは事前に学習に使用することに同意した人だけに限るべきです。
現状でも本や Web 掲載など、公的または商業利用の場合は事前に編集者やライターさんから連絡をいただき、使用用途を確認の上で許諾を出します。
場合によっては掲載料を提示します。これが AI 学習と AI の商用利用という用途だけ見逃されるというのは納得がいきません。
AI は素材がなくては何もできませんそれなのに AI ばかりに頼った創作を続けることは既存のものを使い回すのと同義で文化は衰退してしまう。
ゼロからイチを作り出す創作者と創作行為の正確な価値を認識できておらず、愚かな行為をしているとしか思えない。

●受付番号　185001345000007212

5. (1) エ 『著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について』(エ)『本ただし書に該当し得る上記（ウ）の具体例について』について
ここで「機械可読な方法による技術的な措置」として、"robots.txt" が例として挙げられているが、"robots.txt" は「学習のための複製等を防止する技術的な措置」として不適切である。
・"robots.txt" については IETF による標準化提案が存在しており、その中で『robots.txt はアクセス制限の手段ではない』旨が明記されている。
(https://datatracker.ietf.org/doc/rfc9309/)
このことから、国際的な定義を鑑みても"robots.txt" の表記自体に法律的な意味を持たせるべきではない。
・"robots.txt" はクローラーや検索エンジンといった自動化されたクライアントが対象であり、個人によるブラウザを用いたダウンロードをはじめとした手動ダウンロードでは参照されることは一般的ではない。そのため、自動化されていないデータ収集による複製、特に個人に対する複製防止措置として取り扱うことは不適切である。
注釈 24. 『例えば、robots.txt において、あらゆる AI 学習用クローラをブロックする措置までは取られていないものの、ある AI 学習用クローラについてはこれをブロックする措置が取られているといった場合…』について
・例えば、Facebook の robots.txt(https://facebook.com/robots.txt) では、Googlebot を始めとした様々な検索エンジンのクローラーが許可されているが、検索エンジンの 1 つである DuckDuckGo のクローラー DuckDuckBot (https://duckduckgo.com/duckduckgo-help-pages/results/duckduckbot) は許可されていない。
さらに、robots.txt の中には機械可読ではないコメントとして、『自動化されたデータ収集は、許可を取得した場合に制限された利用方法でのみ行える』旨が記述されている。
このように、Googlebot などの検索エンジンが許可されていることから検索エンジン全体の許可を推認することは不適切だと考えられる。
このことと同様のことが AI 学習用クローラにも適用できると考えられ、すなわち特定の AI 学習用クローラに対する robots.txt の記述が、他の AI 学習用クローラにも適用されることを推認することは不適切である。
その他の点においては、全体的に著作物の権利者・AI の学習者・利用者にとってバランスの取れた内容だと感じる。

●受付番号　185001345000007213

無断で人のイラストを学習に使う事がそもそも著作権に侵害していると思います。
なりすましの被害に遭っている方や、悪質な嫌がらせや攻撃を受けていることが既にネット上に見受けられるので登録制にし、使用許可があるもののみ AI に使用できるようにしない限り犯罪者に搾取され続けると思います。

●受付番号　185001345000007214

この素案には問題があります。
１，権利者の私的利用と侵害における AI 著作の懸念
既存の著作物への AI を用いずの侵害行為も多く、ほとんどの場合煩雑に多い侵害物に対して見過ごさざるを得ない形となっている。
個人商店の看板や、パンの形、手作りの店の装飾などにも著作物の私的利用を超える侵害が行われているのが日常であり、正しい著作権についての認識ができていない。ファンアートや二次創作などの著作についても侵害の抜け道とされている。AI 著作物、AI 学習はこれらの既存の認識問題を解決しないままに「曖昧な著作権侵害」と「見過ごしを前提な AI 利用」が進んできた。AI サービス提供者・利用者の侵害行為を助長し、コンテンツ制作者への著しい被害を招く懸念が、見過ごされている。「権利者が申告し類似性の立証による権利の保護」は、AI による多大な侵害数は、著作者に見過ごしを推奨させるものである。
２,著作物のリバースエンジニアリングと、偏見
近年まで 3DCG、漫画、アニメ業界などへの偏見は「ただ絵を描いている」「簡単にできる」など製作物に見合わない評価をされてきた。古くは広告業などにもあり、コンテンツ製作の価値へも影響を表し、アニメーターの低賃金化などにも表れている。これらの製作物への努力を軽んじた認識は新しい製作方法に対して行われる傾向があり、3DCG 業界は立ち上がってから 30 年もたっていない為、一部偏見により、リッピングモデルの利用などの侵害行為を助長している。日本ではこれらのデータのリバースエンジニアリングは違法であるが現状、海外からのデータ抜き行為から著作物は保護されずに侵害されている。国内でもそれらの違法データを利用した販売・侵害行為は黙認されている。
AI はこれらのリバースエンジニアリングと偏見の問題を解決しないだけではなく、これまで権利を守って来た著作物・業界への侵害を増やす懸念が高い。AI によるデータ製作は簡単さから、他の著作物を私的利用を超えた侵害を起こしやすく、多くの製作者が被害にあっている。AI 学習はこれらのリバースエンジニアリングへの対策ができておらず・「簡単に作れるんだから侵害にならない」「誰でも作れるのだからコピーに当たらない」などの認識を加速させる点も素案に考慮されていない。

●受付番号　185001345000007215

商業として絵を制作する作者が本人の希望でAIに自身の絵を学習させ、仕事等に良い利益を出すのであれば良い使い方であると考えるが、絵を制作しない人間が他人の技術をAIへ学習させる事が簡単にできるようになってしまえば、自身で案を練る機会が減り、新たな物が生み出されるきっかけを損なうことになるのではないかと思う。AI生成へのゆるい規制が設けられても文化がより良く成長していくとは思えない。

●受付番号　185001345000007216

意見募集要領、ならびにAIと著作権に関する考え方についてを確認させていただきました。
僭越ながらご意見を提出させていただきます。一つのサンプルとしてお扱いただけますと幸いです。
現在生成AIが関連する著作権侵害等の被害の根幹を、僭越ながら主観で記入させていただきます。
・著作物を著作者に断りなく取り込める環境
・フリーライセンスなため、何方でも使用が可能
・生成AIで作成したものを著作物として取り扱う行為の散見
この現状ですが、既に今後を見据えたビジネスへの被害に直結しており、
生成AIとしての観点で確認させていただくと、現状のままであれば生成AIの参考元が今後無くなっていくため、今回意見募集の機会を頂けて真にありがたく存じます。
当方の意見と致しまして、AIという技術に関して新たに著作権法を増設するのではなく、
・生成AIの学習、開発段階で参考元となるサービスを提供している著作元との規約を結ぶと言う規約を一点作成する
こちら一点の対応のみでAIの規制、著作権法の増設を防ぎ、尚且つ商材として幅広く運営することが可能となるのではないかと思われます。
以上を意見として提出させて頂きます。

●受付番号　185001345000007217

まずAI学習と呼ばれるが、データ元となる画像及び文字、もしくはそれに該当する作品の強盗であり、AI著作権の前に、元データへの大いなる著作権侵害が前提のシステムであることが問題です
ネットワークは公共の場で、ある意味気楽に作品を公開できる場所でもあります
それなのに、ネットワーク上のデータは全て自由に使ってよいというのは、あまりに一方的に生成AIに利権を与える乱暴なやり方です
プロアマ問わず、日本には多くの潜在的クリエイターが存在します
彼らに生成AIの全ての作品を確認し、著作権が侵害されていないこと、またされた場合の訴訟などで時間を割くことが、本当に新たな作品が生まれる未来が来るでしょうか
きっと多くの作品が日の目を見ることなく、消えていく時代に後退することでしょう
また、アメリカなどの各国においても生成AIは作品強盗を懸念し、多くのクリエイターも忌避を示しています
生成AIを推し進めることで、他国のクリエイターの作品が日本に入ってこなくなる可能性も含んでいることを深刻に捉えてほしいと願ってやみません

●受付番号　185001345000007218

私は漫画や絵を見るのが好きな、鑑賞する側の人間です。いまはインターネットで様々な作品を簡単に観ることができます。その中にはAI学習で作られた作品もあります。
しかしながら、最近はAI学習による作風の模倣を問題視されている作家・クリエイターがたくさんいることも知っています。
素案の概要を読みましたが「著作権法が保護しようとしている著作権者の利益を通常害するものではない」とありました。本当にそうでしょうか？たとえば私が好きな作家さんの画風にそっくりのAI作品があったとして、私がそれをAIだと知らずに購入・評価した場合、実際はその好きな作家さんの利益にはなりません。また「本物」を探したいのに、手軽で時間的コストのかかりにくいために大量に生み出されるAI学習作品のせいで、検索や調査が困難になる可能性もあります。
そのためAI作品の規制は必要だと思います。
AI学習は簡単にできるものが多いと思います。カチカチと何度かクリックしたり、文書を打つだけだったり。それを使うときにはほとんどの場合「作品を産む苦しみ」や「苦悩」「コスト」はほぼないでしょう。そんな手順で生まれた作品を、軽い気持ちで扱う人は多いと思います。
上記に色々書きましたが、私は自分の立場に置き換えた場合に「自分の作品を何の努力もコストもかけていないどこかの誰かが、勝手にAIに読み込ませ、しかもそれを無断で利用して利益を得たりする」という状況になったら絶対に腹が立ちますし、嫌に決まっています。
少し考えれば分かると思います。クリエイターに限らないことです。
誰だって自分が頑張ってやった仕事を何もしていない人が横から「自分がやりました」なんて言ってきたら腹が立つと思います。それと同じです。AI学習作品を許容することは、AIに頼らず作品を生み出しているクリエイターの「成果」「努力」を横取りすることを意味すると感じています。

●受付番号　185001345000007219

AI はそもそも、人間がデータを入力しないと成立しないものであり、昨今見かけるものは無断で学習されたものを多く見かけます。
そもそもそのような AI が吐き出すものは無断で盗んできた技術で出来た物なので新しい形になったように見えようが盗品のつぎはぎでしかありません。
その辺を理解されていないようなので AI を扱うにはまだまだ考えが甘いし、法律についてももっと勉強してからデータ提供者へのきちんとした同意と報酬が用意され集められたクリーンなデータでできた清廉潔白な AI ができてから「AI が作り出したものはそれ独自の著作権を持つ」や「AI で物を作り出す過程が権利を持ち得る」などと言ってください。
自分なりにもっとわかりやすく例を考えて見たのですが、今の状態の AI を許容して著作権や権利を無視する行為は、
・他人の家の冷蔵庫から持ってきた材料を使い料理を作って「この料理のレシピは私が考えたので全部私が権利を持ちます」などと宣っている（料理がどんなにすばらしいものだろうが材料を盗んだことは許されませんよね？）
のようなものだと思います。
誰でも物は食べると思いますので、少し身近に感じられませんか？感じられないならやっぱりもっと著作権について、人が作る物について勉強し、分からないなら実際物を作る人から一定数以上の意見をきちんとわかりやすい形で問い参考にするべきだと思います。
それでも理解できないなら理解できない人たちで他人の権利に手を出すべきではありません。
「人の物を盗んではいけない」ということなど、小学生、もっと言えば幼稚園生保育園生だって理解できることです。
だいの大人がそれが理解できないなど恥ずかしいことだとわかっていただけたらと思います。

●受付番号　185001345000007220

本当に開いた口が塞がらない、クリエイター軽視の論外極まりない内容であった。
特に素案 33p 以降、【その他の論点】内、
「イ　生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について」については読んでいて虫酸が走るものであった。
これらは AI の学習元のデータが既存の著作権を侵害していないことを前提とした内容であり、
これをそのまま適用した場合、現在跋扈している著作権を無視した生成 AI について合法であると表しているも同然である。
試行回数やプロンプト以前に、現在の学習元データが著作権を侵害したものが多数であること、またそれらを用いた生成物を営利目的に用いることへのクリエイターへの被害をまるで理解していないと言わざるを得ない。
生成 AI に対する現状の認識が甘すぎる。
再度現状の調査からやり直して欲しいレベル。

●受付番号　185001345000007221

ネットにあげられた作品が全てフリー素材と化する案は異常だと思います。現代において創作活動の起点はネットが多いのは事実です。AI イラストなどに自由に使用されて且つ素材にされてしまった元の作品に著作権が失われてしまうと創作活動を辞める人が続出するのは明らかで国の創作文化を崩壊させることは間違いないです。
人が死にものぐるいで作り上げた作品をなんだと思っているのでしょうか。15 秒の CM が 15 秒で制作出来ないのと同じようにクリエイターが作品にかける時間は他人から容易に計り知れません。故に著作権は創作者本人が持つもので、二次使用した者に著作権が移動するなどあってはなりません。

●受付番号　185001345000007222

AI の著作物があらゆるデータを収集して学習した結果ならば、その学習に使用した著作物がなければ存在し得ないものだと思います。
であるなら学習のもととされた著作物は AI の学習から守られる権利があるべきと思います。
著作者の許可なく AI が勝手に学習した場合、それは剽窃ということになると思うので、あらゆる著作物、文章、絵画やイラスト、音楽、音声等々、作った人物、および声に関しては持ち主の意思を尊重してください。
AI での著作物というのは他者からの善意なくして存在し得ません。

●受付番号　185001345000007223

１．はじめに

・「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」とは、人の創作物を読み込ませたものから AI で生成した内容に少し手を加えたものを自分の創作物と主張している人を含んでいると思われますが、そうした人の手柄を盗用している人物をクリエイターと言えるのでしょうか？

既存著作からの引用（引用元の記載無し）が９割以上の論文を書く人間を学者と認めるようなものです。しかもそうした創造性に欠ける人間が業界の発展に繋がらないことは明白です。文化振興のためにはそのような著作権を侵害する側を取り締まり、本物のクリエイターを守ることが必要なのではないのでしょうか？

５．各論点について

（３）生成物の著作物性について

・アメリカのメディアだって記事の AI 学習を禁止しています。どうして文化を守ることを仕事としているのに、著作権の侵害を認めるのですか？　著作物が盗用から守られないのなら、クリエイターが作品を発表しにくくなり活動が縮小していくことが考えられるのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007224

先日 SNS で AI を使って特定のイラストレーターさんの絵を学習させ、そのイラストを使って第三者がイラストレーターさんになりすまし、自殺をしようとしているイラストや犯罪を呼び掛けてたりして困っているといった投稿を見かけました。
AI を使用するには登録制にしたり、学習元は本人から使用許可を取ったものだけしか使用してはいけないルール作りや、使用した際には「この画像は AI で描かれています」などといった表記を義務付けたりしなければ、犯罪に利用されかねない危険があると感じました。
モノを作る人ならだれでもわかると思うのですが、0 から 1 を生み出すには膨大なエネルギーを必要とします。
1 から 2 や 3 にするのとは訳が違うほど大変な作業です。
AI で勝手に人様の絵などを学習させる行為は、絵を描く人間にとってはその労力を足蹴にし、本来クリエーターが得たであろう上澄みだけを掬い取り利益を得ようとする「クリエイターを殺す行為」であると言っても過言ではありません。
ましてや、犯罪に使われることも想定して慎重に扱わなければいけないことです。
私も絵を描きますが、知らない間に誰かに使われて、それをあたかも自分が描いたように発表され、本物と見分けがつかなければ私が偽物でなりすまし犯だと言われてしまうのではないかと思うと、とてもではありませんが絵を描こうという気にもなれません。
また SNS では、最近このような投稿もあるようです。
「あなた（イラストレーターさん）の絵を AI で学習させるから無償でもっと描いてください。AI で描いた絵は私に著作権がありますので、それで本やグッズを販売してもあなたには利益はでませんし、SNS で自分が描いたという発言はしないでください」
このような状況なので、学習させるのであれば自分で作ったものだけ、あるいは許可を取ったものだけに制限する、使いどころも指定するなどしないと AI は犯罪の助長システムとなってしまうのではないかと危惧しています。
クリエイターを手厚く保護するような法整備であってほしいと思います。
AI をむやみに使うことは禁じてもらいたいと思います。
AI で作ったものに著作権を与えるのは断固として反対です。何故なら、AI は学習元であるクリエイターの存在が無ければその物は生れないからです。クリエイターありきのものが AI なのです。
昨今のドラマと脚本家と原作者の騒動のように、原作者のリスペクトなくしては二次創作品である AI は存在できないのです。
AI はあくまで元があってこそ生まれるもの、そこを重々理解していただきたいと思います。

AI に著作権を認めるのであれば、二次創作である同人誌にも著作権ができるという構図になってしまいます。
お願いします、まずはすべての元となるクリエイターを守るような法であってください。

●受付番号　185001345000007225

絵を描いてネットに上げている側の人間です。
AI で出力された作品に著作権を与えたり、AI の学習について規制が今以上に緩和されたり、このままなんの規制もないままであることを強く反対します。
すでにネットでは勝手にイラストレーターの作品を学習し、あたかも自身で描いたかのように作品を公開してアクセス数で稼いでいる、商業作品として黙って出しているような話が増えており、このまま著作権を与えたり規制をせず緩めたままにしてしまえば、そういった他人の褌で相撲を取るような方しか界隈には残らないと思います。
私達の絵を書き誰かに見てもらうという行為は、けして赤の他人の金儲けの道具になるためにしているわけではありません。
人間のクリエイター同士でさえ、絵柄を真似しすぎる、他人の作品を継ぎ接ぎのようにトレースして自身の作品にする行為は嫌われています。そうであるのに、作者に無断で学習された AI ならば結果として似た行為が許されるというのは意味がわからない話です。
AI は現状、マナーもモラルもないような方々が扱ってばかりとしか思えません。
ツールとしてクリエイターが使用するにも、学習の過程で問題が多すぎます。現状の AI はまったくクリーンではありません。
この際にしっかりと人間のクリエイターを守るような規制をかけていただき、著作権などは与えないでいただきたく思います。AI 絵師などを守るような法整備はしていただきたくありません。
そしてこの技術が本当にクリエイターのツールとしての役割を担うべく産まれたものであるならば、ツールとしての発展をして欲しく思います。

●受付番号　185001345000007226

1. AI と著作権に関する考え方という難題に対して、法的枠組みの参考になる見解を議論されていると認識しています。非常に重要な取り組みだと思います。一方で、現状は誰でも簡単に AI を使えて著作権を侵害するおそれがあり、著作権者の権利侵害なども多数あるのではないかと思います。法規制が技術においついていない分野であり、多くの不利益を被っている著作権者が存在するのではないかと考えます。法的枠組みも重要な点ですが、まずは考え方とか倫理的なガイドラインとかを整備していくような取り組みも重要ではないかと思います。法で縛れなくても、もう少し緩い方法で、侵害のおそれがある行為に対して、著作権者の権利利益を確保できるようなスキームを検討することも大切ではないかと考えます。
2. 今回、素案が PDF で 37 頁の資料でコメント募集されていますが、電子的な可読性を考えると、最低限でもしおり付きの PDF、できれば Native な HTML 等で公開すべきものだと思います。英国政府は、PDF を禁止していると認識しております。

●受付番号　185001345000007227

自分の好きな漫画家、小説家、イラストレーターの皆さんのオリジナル作品が良いのです。AI により、作品の見分けが付かなくなってしまう事、悪意ある使い方をされる可能性がある事に使われるような事があってはいけない事です。
それは、ゼロから作り上げてきた人達を殺す事だと思います。

●受付番号　185001345000007228

[redacted]

●受付番号　185001345000007229

「権利者に許諾なしで作品を使う」という画像生成 AI はとても重大な犯罪ではないかと思います。なぜなら作品を無断で盗作しているのと変わりがないので。
クリエイターにとって作家生命を断つ致命的なものなので、画像生成 AI は即廃止すべきだと思います。

●受付番号　185001345000007230

AI に自分が時間をかけて身につけた絵や文章を肥やしにされるのは非常に嫌です。
もし AI のベースにする場合は許可制にするなどにして、許容できる作者のものだけを使用する制度にしていただきたいです。

●受付番号　185001345000007231

徹頭徹尾 AI 学習で他人の創作物を利用する側の意見・願望が書かれているようにしか見えません。あまりに一方的で客観性に欠ける考え方なので反対します。そもそも著作権侵害は犯罪です。法治国家で犯罪を正当化する法を作るのは絶対にやめてください。

●受付番号　185001345000007232

現状、創作において他者の作品、アイデアの模倣や、明らかに影響を受けたと思われる表現について、手で書かれたものであっても権利の議論が巻き起こっており、商品の回収や、訴訟なども起こっている。
生成 AI は多くの写真やイラスト、文章をモデルにして生成するため、具体的に何かを参考にしたかが判断できない。
しかし、先に述べたように、作品の持つ著作権を無視し人の手によって作成された場合には、権利者の権利を守るために裁判などが行えるが、勝手に使われた場合には、責任の所在が分からず、ただ、権利者が不利益を被るだけである。
一見多くの作品が生み出され、活性化しているように思われるが、イラストレーターやデザイナーが、クライアントの意志を反映して作品を作るのに対し、生成 AI では、細かな修正は難しく、クオリティの高いものが必ずしも出来上がる訳でもない。しかし安価に、技能を磨かずに参入が出来てしまうため、もともと創作を行っていた人間の活躍の場を減らし、最終的には新しいものが生まれにくい状況を作るのではないか、という懸念がある。Al は元の画像がなければ作られることはなく、新しい創作物がなければ、何年も前のまま停滞する。
創作物の活性化を考えるのであれば、目先の利益に囚われず、長期的に考える必要があると考える。
また、AI の利用全てが悪ではなく、自身の著作物から抽出した情報から生成する。使用の許可を貰った作品から抽出する。などの決まりがあれば、活用しても良い技術であると考える。不特定多数の作品を使って、創作を行う人間の活躍の場や、金銭的な活動機会に対して損失を与え、モチベーションを下げ、最終的に創作活動を阻害してしまう可能性がある AI の利用は、制限を設け、金銭の授受や賞賛の場を限るべきであると考える。※絵画展などで、手製部門、AI 部門を作るというように、活躍の場を分ける。SNS などの発表の場を分ける。など

●受付番号　185001345000007233

AI の活用といえば聞こえはいいですが、『描画技術は習得に 10 年以上かかるスキルであるため、悪意を持つ人間は絵が上手くなる前に振り落とされてしまいなにもできないはずだった』というスクリーニングが突破されるのは文化の側面からあまりよくないと思います
私は小説を書いていてインターネット上に発表していますが勝手に使われたくありません

●受付番号　185001345000007234

生成 AI による画像はそもそも無断で収集された様々な素材をもとにしている。集められた素材１つ１つの著作権を無視して勝手に作られた生成物に著作権などあるはずもない、と考えます。ありえない。

●受付番号　185001345000007235

項目5の「各論点について」の、(3)の「イ」の2について、1と2を組み合わせた「生成物を確認し指示・入力を修正しつつ試行を繰り返す」ことが著作物性が認められる場合があることに対する意見を示す。
生成AIを利用する場合としない場合の類似性の観点では、創作物を作成するときに表現方法や要素の組み合わせを推敲するという点で共通である。よって1と2の組み合わせた試行について著作物性が認められうる。一方で生成AIによって作成する場合には、使用する生成AIによって創作者（利用者）の意図する内容以上の要素が混入する場合が考えられる。これは生成AIの学習するデータセットに依存するものと、指示・入力をエンコーダ等により生成AIの理解するベクトルに変換される際に発生するもの、生成の初期値（ノイズから生成するもののノイズに当たる）によるものが考えられる。創作者（利用者）の意図する内容を完全に過不足なく出力できる生成AIならば上記二つの混入はない（出力の結果も同一になる）が、現時点で存在する生成AIに関してはそれを実現できないのでデータセットの選択と指示・入力、初期値によって出力結果が揺らいでしまう。ただし、ここでの指示・入力は「創作者の意図する内容の、理想的な生成AIの理解するベクトルは変わらない」ときで、理想的な出力結果を得るために必要である便宜的なものを指す。
このことから「生成物を確認し指示・入力を修正しつつ試行を繰り返す」に対して著作物性を認めるのではなく、学習に必要なデータセットの選択、理想的な生成AIの理解するベクトル、生成の初期値の設定を組み合わせたものに著作物性を認めるべきであると考える。

●受付番号　185001345000007236

４．関係者からの様々な懸念の声についてに対しての意見
AI 作成物の氾濫は迷惑です。
創作物に対する価値が著しく低下するので、直ちに規制してほしい。
また AI 未使用者に対する利点が何一つないので、絵などの人間が作ることに意味のある分野に対する使用は徹底的に規制してほしい。

●受付番号　185001345000007237

現状のままだと AI を使用したいかなる作品も認めることは出来ない

●受付番号　185001345000007238

AI 画像を使う人間のモラルが全く育っていないなかで自由と権利と保証などを与えてしまうのは、日本の創作文化の破壊を促進する行いだと感じます。
普通の人がたくさん努力したうえで身に付けた技術をお手軽に奪うことはとても残酷です。
パクリやコピーといった行いが許されていないのなら、AI を使ったとしても許されるべきではないです。
一次創作者を守らなければいくら AI による創作を促進したとしても今以上の発展など望めません。
まずは普通の創作者を守る事を優先させてください。

●受付番号　185001345000007239

〇我が国の著作権法が適用される範囲について
「生成 AI の生成段階において既存の著作物等を含む生成物を生成していること」とありますが、これは「生成 AI の学習開発段階において AI 学習のためのデータ収集に伴い既存の著作物等の複製を行う」ことを受けて作成された AI の土台を用いた著作物の生成すべてに適用されるということで良いでしょうか。
AI の知的財産権侵害において最も重要な部分は「生成 AI の開発段階」にあり、この時点で著作物を使用していたものである場合、こうして開発された AI の利用そのものが知的財産権の侵害に当たるものと捉えております。
〇柔軟な権利制限規定について
これはすなわち、「技術的革新があるのであれば個人の権利を侵害して良い」という考えでしょうか。AI 学習への無断利用はどういった場合であっても「著作物の本来的利用」に該当すると捉えております。なぜなら、AI 学習の本質は「データの抜き出し」であるからです。
そのためこの条項にあるような「著作物の本来的利用に該当せず、権利者の利益を通常害さない」場合は、こと AI 学習に関してはありえません。
そのため、無駄な混乱を招く文章であると考えます。
〇過学習について
特定の人の絵のみを追加学習することによる問題について書かれているが、問題はそこではない。
「特定の人の絵のみを追加学習するだけで生成できるようになっている AI の地盤(学習元)」と「追加学習を誰が行ったか」だ。
AI の利用方法の一つとして、「自分の著作物を使用して、自らの方向性を探る」というのはクリエイターにとっての利用方法だ。であれば、この問題もまた「著作物の無断学習」だけである。
〇AI 全体に関する個人的な意見
私の意見としては、「AI という技術は良いが、知的財産権の侵害の上に成り立つのならどういった場合でも悪である」というものです。
生成 AI により仕事が奪われる、等の問題は技術革新があれば必ず起こりうる問題であり、こと AI に限ったものではありません。
しかしながら、「現在の AI」に関してはそれ以前に「膨大なデータ収集の上で成り立つ技術である」という前提があります。
実際に「権利者に許諾を得て行う」場合にはどれほどの時間と金銭のやり取りが発生するでしょうか？　それを権利者に無断で、権利を無視し、違法な海賊版も含めて学習をしたからこそ、現在の AI は成り立っています。

歪な技術であり、犯罪の上にのみ成り立つ技術です。
そのため AI 開発に必要となるのは「AI の完全な学習元の開示」と「学習元の権利者の許諾または権利が切れていることの証明」と考えます。
そして、それができない技術は悪でしかありません。
多にとって便利だから、という理由で個の権利を侵害するのであれば、それは悪しき帝国時代に戻るようなものです。
AI がどれだけ便利だとしても、知的財産権を侵害しなければ成り立たない技術は、技術ではありません。技術を模した犯罪道具です。
私の予測として、完璧にそういった問題を解決した AI も、真面目に開発を続ければ 100 年以内にはできるでしょう。必要なのは「許諾の取れたデータ」だけなのですから。
それができるにも関わらず、今焦って「知的財産権の侵害を元に成り立った技術」を許して仕舞えば、この先に未来はありません。
「権利を害する技術」の悪しき前例となってしまいます。
最後に、生成 AI はネットに転がる文章、イラスト、写真など、あらゆるものを勝手に学習していきます。
一度でも表に顔が出たことがあるならば、著作権だけでなく、肖像権を侵害した写真だって AI は生成します。それによってどのような風評被害が作られるか、表に顔の出ている議員であれば特に思い当たるのではないでしょうか。
どうか、冷静なご判断をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007240

個人で趣味で絵や小説をやっている者です。

1.まず素案の 10 項(3.生成 AI の技術的な背景について)の注釈 8 について、こちらに学習データの切り貼りではないと書かれていますが、昨今見かける生成 AI 画像にはあちこち学習元データに酷似したものや、学習元データのまま出力される事が多いように感じられます。

なので、酷似したものが出てくるという事はデータを切り貼りしているようなものではないでしょうか。

そもそも最近表に出ている生成 AI 画像に関しては、学習元のデータ全てが作者などの許諾を取れているわけではなく、絵などの創作物に限らず、人物の顔なども含めた個人情報を含む画像までもが知らぬ間に学習されていると聞いています。

クリエイターの方々が訴えている著作権及び著作権人格権もそうですが、写真による個人のプライバシーや肖像までもが侵害される危険があり、知らぬ間に学習され出力されるでしょうから、26 項(権利者による差止請求及び学習モデル廃棄など)にある請求等が難しいように感じられます。

実際に国内外問わず、自分の顔が出力されて使われている、更に良からぬ形で生成され人権の侵害も起こっているようです。

今回はあくまでも生成 AI と著作権に関しての考え方ではありますが、今現在の学習システム及び、生成方法を見る限り、著作権に限らず様々な人権侵害の恐れが高く、悪用しやすい点においては、開発者に対し学習データ元の許諾を必ず取る、そして生成 AI を用いて故意になりすましたり人を傷つける、または騙すなどといった悪用などを禁止し防ぐといった規制やルール作りが大事だと思います。

2、続いて 35 項にある AI 生成物の著作権の有無に関してですが、現状上記の通り学習データの問題がある以上、生成物に創造表現のある加筆、修正を行なっただけで著作権を付与するのは反対です。

仮に許諾を得たデータだけで出力した生成物であっても、素材として著作物の一部にするならともかく、逆に生成物をメインにしたもの(一部加筆、修正含む)を著作物と捉えるのは個人的には難しいです。

生成できる速度が人が描くのとでは異次元的に違いますし、市場価値が大きく変わるというのもあります。

後は、加筆や修正の割合でどこまで創造性が出てくるかは、生成した方(使用者)によっても変わるでしょうが、生成したものがデータ元が色濃く出てしまう事象をお見かけする以上、一から手で作るものとしてはどうしても複雑な気持ちにはなってしまいます。

後、20 項に書かれている作風や作画などのアイデアに関してですが、それだけの類似では侵害にならないと書かれていますが、作風や作風は作者の人格をよく現しそれを売りに活動しているクリエイターも多いと思います。

実際、最近ではありますが故意に集中的に学習されなりすましをされ、活動を休止してしまった方もいらっしゃるくらいにはどうしても無視のできないものだと思っています。

しかし、同時に作風や作画、アイデアに関しては生成 AI でなくとも類似してしまうもので、更には二次創作といったファン活動にも関わってきたりと現状の創作の自由度を阻めてしまう以上、厳正な規制をと中々声を上げ辛い箇所でもあります。

創作に関しては、表現の自由も含め活動に関して脅威を感じてしまうものに関しては厳正に規制してほしいと望む一方で、きつく縛るとかえって活動し辛くなるのがもどかしい所ではあります。なので、こうして度々パブリックを出すことで意見を出せる環境があり、考えて慎重に決めていくのがありがたいと思うと同時に大事だと思ったりもします。

生成 AI に関しては素晴らしい技術だと思っています。ただ同時に使い方を誤れば、文化や人権、さらには人命をも危険に晒す危ないものであると思います。

昨今お見かけするトラブルを見るとどれも悪用したものであり、それによって立場が脅かされ、クリエイターがより反感を覚えるのも無理はありません。実際に私も嫌悪感は拭いきれないでいます。

けれど、かといって生成 AI 自体を禁止にするというのも、技術の進歩を滞らせてしまうと思います。

故に、クリエイターはクリエイターで、生成 AI は生成 AI で、それぞれの場所でうまく発現出来る場所を確保するというのも必要だと思っています。

イラストの投稿サイトなどでは、AI 生成物に関しては必ず AI タグを表記するようにというルールがあったりもします。

自動で出力される以上は、はっきりと AI で生成されたものだと分かるようにするシステムがあるとなりすましなどの被害も減るかもしれません。

●受付番号　185001345000007241

正気とは思えません。知的障害者が考えたのでしょうか。今までの文化、創作、芸術、その全てを振り返ってきてから物を言ってください。こんなもの通すなら海外の創作者を巻き込んだ戦争が起きます。嘘や冗談ではありません。これを本気にしないのなら日本は滅びます。

●受付番号　185001345000007242

私は、AI 生成物に加筆・修正があろうと著作権を与えるべきではないと考えます。

棋士が戦法を研究のために AI を使用することはありますが、試合本番で AI を使用することはありません。芸術分野における試合本番は、芸術においては作品の発表及びその作品への著作権を付与されるだと考えます。

模倣は自身の技術を高めるための勉強法の 1 つですが、模倣物を自身の創作だと偽れば著作権侵害です。

AI 生成物も模倣と同じです。創作者が 0 から創ったものを第三者が勝手に学習させ生成したものを、加筆・修正があろうと創作と発表するならば、著作権侵害とすべきではないでしょうか。

AI は学習・研究としてとても有用です。そのため、この素案で「AI 技術 vs 芸術」という対立構造が産まれてしまったのは残念に思えます。AI の普及や技術向上が目的ならばこそ、AI 生成物にはいかなる場合も著作権は与えない方が良いと考えます。

●受付番号　185001345000007243

絶対にやめてください。日本の創作文化が失われます。

●受付番号　185001345000007244

無断学習までならともかく、元画像の著作権を蔑ろにするようなことはやめてください

●受付番号　185001345000007245

AI による生成は著作権の侵害を前提に機能している。

●受付番号　185001345000007246

ディープフェイクにより今後の情報の信頼性を損なう事に繋がるので規制すべき

●受付番号　185001345000007247

アナログでファンタジーイラスト、料理イラストを描いています。
また発達障害者のイラストレーターとしても登録しています。
私は難しいことは分かりませんので伝えたい事を書かせて下さい。
作品や技術は時間と努力を重ねて産まれるものです。
これは一人一人歩みが違うように、時間の掛け方や努力の仕方は様々です。
私の場合は、作品から離れても作品を良い物にするため考え続けます。
しかも答えというものが存在しないので、様々な創意工夫が必要です。
その為、鑑賞、購入する側には伝わりにくいですが心身共に疲弊します。
作品は魂であり、自分自身であり、子供のような存在なのです。
誤解を恐れず、創作をしていない方に例えると、
・受験や試合の為に遊ぶ時間や寝る時間を削り努力すること。
・一流料理を作る為に料理留学をしたり調理方法を学ぶこと。　でしょうか。
AI はこれらの努力した部分をすっ飛ばし結果だけを吸い出します。
また、苦労なくそれを得た人が著作権を主張するのです。
恐らく彼等には私達の辛さは解らないと思いますし、
生成物による問題があった場合は自分で責任を取るとは思えません。
そして対策を立てられない創作者の自尊心は砕かれ、
モチベーションは失くなります。これは日本の創造性=資源の危機にあると思います。
どうか私達、創作者の立場を奪わないで下さい。
また私は発達障害者ですが何とか努力が実ったものが出来ました。
それが絵です。
私達には歩める道も少ないのです。
多様性の一つとして、定型発達者、健常者以外にも目を向けて
どうか理解頂ければと思います。

●受付番号　185001345000007248

今回の件にはほぼ全面的に反対です
試行を繰り返すことで著作物性を認められることも考えられるとあるが一個人、一企業など人が試行錯誤するのとは違い、ボタンひとつでデータの再読み込みをしただけでも違った物が出力される AI 製生物を同列に並べることは可笑しいと思います
また AI 生成物を学習データの切り貼りとは考えないとする点ですが、SNS 上では AI に自身の作品をコピーされたとされるいくつもの例が投稿されており、それは風景や動物、植物、人物、小物など様々な物が様々な作者の生み出した画像などから切り取られ違和感が無いよう継ぎ接ぎにされた画像が殆どです
その現実がありながら切り貼りではないと考えるのは浅慮としか思えません
そも今回の素案を読む限り軽慮浅謀だと考えます
画像だけではなく文章においても論文や記事、書籍などで文章の AI 学習による継ぎ接ぎ生成のフェイクや捏造、パクリなどは散見されています
また海賊版による被害を認識し、素案内で言及しているにも関わらず海賊版からの学習を禁止せず、その上で海賊版を利用した学習データの提供、譲渡を認める解釈を記載しているのは日本のクリエイターを馬鹿にしているとしか思えません

●受付番号　185001345000007249

１.はじめに
AI と著作権に関する考え方を拝読いたしましたが、AI による生成物に著作権を付与することは決して許してはならないことです。
「クリエイターの著作権を保護せずに許諾なく AI の元に使うことを合法にしたい」ような、非常に偏った考え方にしか感じません。
生成 AI で「人間が自らの手で作成したものと見がまうようなコンテンツ」を生み出して発展していく中、その AI の学習元の養分にされたクリエイターの仕事や権利が全く護られていない現在の状況に疑問と強い憤りを感じています。
また、素案「1.はじめに」にて「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」という記載がありましたが、こちらの表現は撤回していただきたいです。
生成 AI で複製物・海賊版製品を生み出すような者と、一から自分の手で創作物を作り出すクリエイターを一緒にするような表現は、クリエイターに対しての侮辱的な発言だと感じます。
2.AI 生成物の著作権と市場に関して
とある AI 生成者がイラストレーターの絵柄を AI に学習させて、まるでその人自身が描いたようなイラストを出力し、インターネット上で知名度を得て、人間ではなし得ないはるかに早いスピードでイラストを量産し、学習元となったイラストレーターを追い詰め、休止に追い込むような事件が発生しています。
あろうことか、被害を受けたクリエイター側がアカウントの使用停止に追い込まれるなどの悲惨な事件となりました。
（参照：[redacted]）
こういった被害や、クリエイターの権利を脅かす危険性、創作物から産み出される文化の発展の阻害について、全く考慮されていないように感じます。
現時点ですでに AI 生成物を「自身の手で制作した」と偽り、あまつさえ学習元の本人に成り代わって仕事の機会を奪うような者がいるなど、生成 AI は詐欺や営業妨害といった犯罪行為を助長するものとなっています。
特定のイラストレーターに似せた絵柄ではないものが出力される場合でも、問題点は変わりません。
イラスト・漫画・音楽・デザイン…といった制作物の市場に、生成 AI が著作権を持ち参入することは、その分野の価値を貶め、クリエイターならびに文化の衰退を招くこととなります。
元の著作物と競合する「人間が自らの手で作成したものと見がまうようなコンテンツ」が、圧倒的に短時間で多くの量を供給されるのであれば、生成物の価値は暴落し、競合する著作物の価値も共に暴落することは明らかです。

著作者は著作物から得られるはずだった仕事を奪われ、意欲や収入を得る機会を失うことになります。
そんな問題点がある中で、今いるクリエイターの権利を護るのではなく、AI 著作物へ権利を付与しようという考え方には強い憤りを感じます。
3.AI 生成物の学習元データの違法性と著作者の信用毀損に関して
先日、画像生成 AI が、違法な児童の性的虐待画像を使って訓練されていたことが明らかになりました
（参照：
https://news.yahoo.co.jp/articles/fc829d58b1a1110cea6312a7f72ec3cddd928207?page=2
）
AI 生成物の元となる学習データはブラックボックス化しており、実際に CSAM（児童の性的虐待素材）を含む様々な違法画像で作られていることは事実です。
その違法性を前提として、「著作者が生成 AI を使ったのではないか」と疑われる問題です。
AI 生成物と、著作者が作り出した著作物を、多くの人が見分けられないことは事実です。
そのため、AI を利用していないクリエイターが、クライアント等から「生成 AI を使ったのではないか」と疑われ、名誉毀損や仕事を失う可能性もある、そのような危険性も孕んでいます。
4.生成 AI の著作権と海外での反発について
AI による人間のスキルやアイディアの収奪は、海外でも大きな問題になっています。
例えばハリウッドではストライキを経て、「AI が作り出した素材は著作物とはみなされない」との合意にいたりました。
（参照：https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02575/111400007/）
制作の現場でも AI で作られたものには著作権を認めず、そういった生成物を排除する動きが高まっています。
日本では真逆に生成 AI を後押しするような動きのままで、的外れにもほどがあり、極めて遺憾です。
先述した生成 AI の違法画像を含むデータセットの問題や、著作者の権利を脅かす危険性などを黙認して生成 AI の著作権を付与することは、国際市場での日本の創作物の価値を落とすことにも繋がります。
AI で作られた生成物に著作権を付与することは、絶対にあってはなりません。

●受付番号　185001345000007250

生成 AI について
そもそも推進する方向で話が進んでいるように感じますが、
現状、まず生成 AI の使用を禁止すべきと考えます。
今の生成 AI は、
私が知る限りでは
ネット上に存在する大量の画像を
無断で取り込んで作ったもの、
ただの窃盗で作り上げたツールと認識しています。
児童ポルノや医療記録なども含まれるのですよね。
そんな生成 AI を
今、企業が使ったり、個人がお金儲けにつかったり
自分の力で生み出しているクリエイターさんに似せた絵柄を、
生成 AI で作り出し、なりすまし、嫌がらせ行為をするなど
酷いことが起こっています。
その上、AI に学習させないで、やめて欲しいと伝えた人に
殺害予告を出す人までいます。
また、生成 AI は絵だけでなく、実際の人に似せた画像も
簡単に作れてしまいますよね？
悪意あるひとが簡単に人を貶めることができるツールです。
悪意なく使っても人を貶めるツールです。
なぜなら、生成 AI は無断で取り込んだ大量の画像で出来ているからです。
盗まれた人が必ず存在するものです。
それを今、法律で裁く、守ることができない状況です。
法律が守るべきは、機械ではなく
人ですよね。
生成 AI を使える状況にすることではなく、
人が人の尊厳を大切にできるように、守れるように
考えていただきたいです。
今の段階で、
生成 AI を使った悪意を
阻止することができないなら
それを阻止する、訴えることのできる法律ができていないなら
現状、まず法律で生成 AI 使用を禁止すべきと考えます。
盗んで取り込んだ画像を使って成り立ってる生成 AI を

推進しようとすること自体がどうかしています。
生成 AI を推進したいなら
まず、すべてクリーンな、許可を得た画像のみで作られた
生成 AI を開発なさってください。
人のものを勝手に取り込んで
ミキサーにかけてキメラのようなものを生成する
生成 AI ではなく、
自分の手でゼロからものを作り上げるクリエイター、
人として存在しているクリエイターを
守ってください。
お願いします。

●受付番号　185001345000007251

素案についていくつか疑問点があるので質問、意見をさせていただきます。
20 ページの（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり、既存の著作物との類似性が認められない生成物は、これを生成・利用したとしても、既存の著作物との関係で著作権侵害とはならない
というのはどの程度類似したものなのでしょうか。
作風は似ているけれど、著作物とは関係の無い違うキャラクターが生成されたら侵害にはならないのでしょうか？
作品が勝手に使用されて生成されたとしても、著作権侵害が認められないのであれば、インターネットに投稿されているイラストなら自由に学習することを許可しているように見えます。
健全なイラストを描いている方の作風を学習し、その方の作風でセンシティブなイラスト、またはグロテスクなイラストを生成させて公開する、または販売する行為や
特定の作家の作風を AI に学習させ、その作家になりすまし嫌がらせをしたり、利益を得たりする現状が見られる現在、SNS の匿名性を利用しアカウントを消して逃げたり、また作ってを繰り返すことが簡単に出来てしまうことを踏まえ
AI 生成ソフトの学習制限を設けたり、誰が何を使って AI 生成したのかがわかるようにしたり、学習した作品の履歴を残したり、サイン付き(作者のアカウントがわかる ID)のイラストの学習の制限をしたりなどの規約を作ることが必要になってくるのではないかと考えます。
また、35 ページでの イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
人間が、AI 生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分については、通常、著作物性が認められると考えられる。
上記の著作物性が認められてしまうと、イラストレーターに依頼する際、依頼側が AI で生成した画像に顔や手だけを修正させる依頼が横行してしまうことになります。
そうなってしまえば若手イラストレーターはその AI が生成したイラストを修正する仕事が周り、更にイラスト事業は個性を失い、低迷してしまいます。
なので、AI 生成物に加筆・修正させたイラストは著作物として認めてはならないと考えます。
それ以外の部分についての著作物性には影響しないと考えられるというのは、加筆した部分は著作物性が認められ、加筆していない部分は著作物性が認められないということでしょうか？
そうすれば学習された作家は加筆した方にも、生成した側を訴えることも出来ません。

AI 生成された物を鑑賞したり、参考にするのではなく
誰が描いたか分からないものを AI に学習させ、生成されたものを私物化し、素材として
低コストで商品に出来ることが問題に思います。
イラストは AI に学習されるために描かれた素材ではありません。
ですが AI を使って創作する事自体が悪では無いことは理解しています。
これからイラストレーターや作家を目指す方や、現役で活動している方、AI を使って創作
する方を守るためにも、もう一度検討して頂きたいです。

●受付番号　185001345000007252

総じて反対します。AI を使った生成技術に関してはもっと専門家やユーザーへの聞き取りを行ってください。

●受付番号　185001345000007253

あくまでAI技術は、技術者、創作者を助けるための1手段であり、著作権等を侵害するのはもってのほかである。

●受付番号　185001345000007254

３．生成 AI の技術的な背景について

（１）生成 AI について

ウ 生成 AI が生成物を生成する機序の概略

生成 AI では、入力された指示を情報解析し得られた結果と、その生成 AI が学習したパターンやルール、傾向等に基づき、生成物を生成することとなる。この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる。

上記についてですが、生成 AI はいかなる場合であっても生成されたものは全て「学習データの切り貼り」であって「オリジナル」では無いはずです。

生成 AI が成り立つのはこれまで先人たちが生み出してきた多くの創作物があるからであり、これからも生成 AI を発展させていきたいと考えるのであれば創作を続ける人間が必要となります。生成 AI の間違った方向への発展と権利の付与は創作者を絶望させ、新しい創作物の誕生を阻害すると考えます。

どうか我が国の創作の歴史とたくさんの才能ある創作者たちを尊重し、守っていただきたいです。

●受付番号　185001345000007255

本当にやめてください。多くのクリエイターがAI問題に悩まされています。勝手に絵を学習されて挙句の果てにはネットに出してるから悪いって済まされるのは本当に勘弁して欲しいです。ネットに作品を投稿すれば企業や絵を気に入ってくれた方からの依頼を受けることができます。ですが、ネットに投稿出来なくなれば多くのクリエイターが作った作品を流す場所が無くなってしまいます。AIで絵を作成するは大変便利なものだと思いますが、悪用する人もいます。著作権法というものがありながらAIでの学習はOKというのも矛盾が生じているような気がします。考え直して欲しいです
今まで見たAIの問題は基本クリエイターの絵を無断使用し、学習させて販売するという最悪な行為ばかりでした。依頼主に下描きを描かせてそれを保存しお前は用済みといってXのアカウントを消すという事件も見ました。
この行為のおかげでクリエイター及び創作活動が大変困っています。なので、今一度考え直して欲しいです。
AIを上手く使ってインターネットに投稿してる人もいます。AIを使う上でのルールや決まりを作って破ったら罰則という形を個人的にはとって欲しいと思っています。

●受付番号　185001345000007256

AI を規制してください。人様が描いたイラストや実在する人物の画像を見境無く無駄使用し何の努力もせずに出力するただの害悪ツールです。
海外では規制に動いてます。日本ももっと厳しくしてください。

●受付番号　185001345000007257

著作権とは人の作った作品にのみ適用される権利です。人以外にはない権利を AI が獲得するのはお門違いでございます。

●受付番号　185001345000007258

AI の成長や日本のアニメ・漫画文化の発展の双方の観点から、元データの作成者(原作者)の権利を保護しない状態での生成 AI の利用の推進は考え直した方がいいと思います。理由は以下の通りです。

まず、この話題における一番の問題としてあげられるのは、元データの作成者の権利を保護しないことが当たり前になると、元データを作成する人が減る可能性が高いことです。

元データの作成者(以下原作者)に許可なくデータを AI に提供、AI がデータを生成して原作者の権利が守られないことが当たり前になると、「どうせ AI の餌にされるなら」とインターネット上でのイラスト・漫画等の発表を躊躇う作者も増える可能性があります。

実際、AI の学習元にされた原作者が「もうイラストは発表しない」と決めてしまった事例が SNS でも散見されます。

生成 AI（というより AI 全般に言えることですが）は「学習元データ」が多ければ多いほど精度の高いものが生み出されやすい傾向にありますが、このように「権利が保護されないのなら描かない・描いても発表はオフラインのみ」という風潮が強まれば、いずれは AI の学習元データも尽きていきます。そうすれば試行回数が増える中でデータは元データに収束していき、新しいものを生み出そうとしても既存のものを再生産することしかできなくなります(あるいはその劣化版になる可能性も高い)。

また、AI を使えばある程度のクオリティのものはクリエイターに依頼せずとも作れる、という風潮が根付き、企業や官公庁の分野で当たり前になってしまえば、いずれはオフラインでのイラスト等の発表を行う人も減り、新しい「クールジャパン」の元となり得る作家は生まれにくくなっていくでしょう。金にならない、食べていけないとなれば、それを仕事にする人が減るのは当然です。多くの国民は働かなければ生きていけませんので。

であれば AI の継続的な成長を念頭に入れてもやはり、「新しいクールジャパン」を名目にするのならば原作者の権利の保護はきちんとするん必要があると考えられます。

生成 AI の誕生は画期的であり、これを用いて新しいものを作り出す意義はわかります。ですが、学習元データが著作物である以上、それがどこの誰のどのような創作物であれ、権利保護をしなければ、長い目で見ればクリエイター業界全体の衰退のトリガーともなり得ます。

生成 AI の誕生を福音のままにとどめるために、いま一度著作権保護について考えていただきたく思います。

●受付番号　185001345000007259

日本の文化を損なう考え方であると言わざるを得ない.
まず「事業者においては、学習データの収集を行うに際して〜」の項であるが，これは海賊版のデータをその掲載サイト等を使用して集め利用すること自体は問題ないと考えているのだろうか．明らかにおかしい.
「AI 学習により作成された学習済モデルは〜」の項，数値的に表すことはできないが，例えば絵を例にとると「絵柄」等と言う明らかにその作者のオリジナリティを持った部分が存在する．これを労せず奪う行為に対して廃棄請求が認められないというのは道義的にいかがなものかと考えられる.
「学習データの収集を行う者にとって不測の著作権侵害を生じさせる懸念がある〜」に対して，一番権利者として守られるべきなのは国益を考えたとしてもそのもととなっているコンテンツを制作しているものであると私は考える．現在すでに google の画像検索欄等で ai 制作画像を基に ai 制作画像を制作したことにより，直感的に言えば魅力がないコンテンツがあふれている．クールジャパンを支える文化的活動を行う絵描き，音楽制作者，3d モデルを作る人間の創作者を冷遇し，それを使用して機械的に製品を生み出すものの権利を一番に考えるならば，この国が今まだ自信を持つことのできる文化的側面においても凋落するのは遠い話ではないのではないだろうか.「既存の著作物の著作権侵害となる可能性があり、この場合においては、従前の人間が AI を使わずに行う創作活動の際の著作権侵害の要件と同様に考える必要がある」についても同様である.
この国の創作文化，そして生産や工業の方で勝てなくなってきている中唯一の光である文化資本を担保し発展していかせるために堅実な選択をとっていただけることを切に願っている.

●受付番号　185001345000007260

5,（3）　生成物の著作物性について
個人の創作物は、個人の財産である。生成物の加筆、修正で著作物を付与、これは創作者に対する人権侵害ではないのか。そしてこれを看過するのは無断転載、もしくは盗作に類似するのではないか。

●受付番号　185001345000007261

「生成 AI」をもって、AI 領域すべてを代表させて議論するのは適切でない。「AI」という参照のほとんどを「生成 AI」と言い換えて議論をまとめるのがよい。あわせて「学習」は、「機械学習」を指すのだろうが、機械による学習がいわゆる深層ニューラルネットおよびそれに関連した技術だけとは言えない。したがって、「生成 AI」と「学習」ということと、著作という行為に関する議論をしようとして、前者を広くカバーしようとしすぎることは、AI に関して過去に積み上げられてきた技術と著作との関係、これからありうる、いくつかの異なる技法による「AI」の組み合わせ的な発展について、不要な網をかけることになり、ほぼ確立しているといえる著作権との関わりをこの状態で論じ規定しようとすることは、当該領域の発展にとって必ずしも益とならないことを危惧する。AI には、それ自身、開発者の著作として独立したものとして扱われるべき人間の創作行為の結果であるものも存在する。これは生成 AI とは無関係である。

●受付番号　185001345000007262

画像生成 AI や文章作成 AI で造られた作品は一度にたくさん造れます。

　たくさん作られた作品が研究目的などであったのだとしても、インターネットにたくさん流されると、他の目的の作品を探したり、読んだり見たりするのが酷く難しくなってしまいます。読む人間として、見る人間として、苦労しています。

　研究目的でつくられた AI をサービスとして売っている人達が居ます。

　それを使って誰かが描いた絵を AI で読み込み、書かれた人物から衣装を脱がして性的な画像にする人が居て、それを不特定多数が閲覧するインターネットにアップロードしたり、販売する人が居ます。

　自分がかいた絵の服が脱がされているように見える生成物、自分が書いた文章が卑猥なものに作り変えられたような生成物がインターネットにばらまかれて、あいつは猥褻な作品を作るんだ、グロテスクな作品を作るんだと知らない人に言われることが法として正しくて、取り締まられるべきことでもないなら、もう絵をかいたり文字を書きたくありません。安心して文字を書いたり絵をかける環境を守れるように案を作ってください。機械のために、人間のために、そうしてください。よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007263

5-(2) 生成・利用段階　ク　その他の論点　について
AI による情報解析に関しては著作権法上の侵害は無いということですが、この点に関しても入力されるデータの創作者の権利を十分に保障する必要があると思いました。誰かに自分の情報の収集がされる以上、研究目的など公的に認められかつ内部が透明化されている必要があると思います。また、入力された情報を享受する権利も侵害は無いと書いてありますが、そもそも元のデータを AI を通さず正しく利用すればそこに込められた信条や概念を読み取る目的は達成されると思いますし、既存のものと類似したものを生成することそれ自体が前の項で書かれている創作する人間への金銭的あるいは権利上の侵害を及ぼします。つまり、AI を通して生成し、それを許可なく新たな創作物として自分のものにすることそのものが、必須では無い上にクリエイターの生活に悪影響を及ぼすもことに繋がると私は考えます。今一度、罰則を伴う AI 学習の規制をするべきと考えます。

●受付番号　185001345000007264

生成 AI に関する適切な法設備は絶対に必要であると考えています。
現状の生成 AI は無断で画像を収集し学習しており、著作権を侵害する内容であると言わざるを得ません。また拒否を示している著作者の作品を不当に学習する行為は、著作権のみならず著作者人格権も侵害しています。
著作権の問題でありながら同時に人権問題でもあり、到底許容できる内容ではありません。
最低限著作物の無断学習を禁止する法律を整えていただき、できれば画像生成 AI 自体を禁止していただきたいです。

●受付番号　185001345000007265

インターネット上にアップロードされた画像を無断でAI学習に利用することを禁ずる、AI出力された画像に対しての著作権は付与されない、AI学習、AI出力による学習元への著作権侵害を防止する等、AIに対しての規制を求めます。

●受付番号　185001345000007266

著作権はその著作物を産み出し(あるいは捻り出し、編み出し、熟成させ)た著作者のものであるという原則はまず第一に守られるべきものであると考えます。
著作者の承諾なきデータ収集により生成される AI は目的が何であれ著作権の侵害です。
著作者と著作者の権利を守ってください。

●受付番号　185001345000007267

AI 出力による創作物への著作権付与ですが、反対します。
創作物は、自分が好きなモチーフを詰めに詰め込んで、思ったように描けない困難にぶち当たりながらも一生懸命に生み出した、いわば子どもです。それをいとも簡単に拐って、「ほかの絵柄と混ぜたから君の画風とは違うよね、パクリじゃないよね、じゃあ著作権つけるね」がまかり通れば、作家の努力や苦労の末の功労が一瞬にして AI に横取りされてしまうわけです。
AI はボーカロイドやお絵描きソフトなどの道具とは違います。自分で考えて、自分で絵を描きます。つまり、AI を操る人の技量や思想は関係ありません。今やろうとしていることは、人の創作物をネットの海から勝手に拝借してごちゃ混ぜにした「泥棒」に著作権を渡そうとしていることですよ。よく考えてください。

●受付番号　185001345000007268

生成 AI に関して、現在の著作権法だけではない規制が必要であると考える人間からすると、P34 の「コ」で事業者側の書類提出の強制力がどの程度あるのかいまいちわからなかった。事業者には学習元となるデータや履歴の保存を義務付けてもらいたい。「学習元となるデータを把握していない（膨大すぎて）」という状態を避けなければいけないと思う。
いちクリエイターとして個人的な感情としては、生成 AI に自分の著作物が勝手に学習されていることに嫌悪感を抱く。学習そのものは仕方ないとして、そこから何かを生成する際には現行法に加えてもう少し強めの規制をかけても良いのではないか。
避けなければならないのは、AI によって生成された成果物をそれと知らずに扱うことである。
AI 利用者が権利侵害の対象となった場合でも、そもそもその利用者が誰なのかがわからない状態に陥ってしまえば元の著作権者は権利を行使しようがない。責任の主体がどこにあるのかわからない状態では泣き寝入りである。
現時点ですら知らないうちに AI によって生成された著作物として扱われるものが出てきているため、生成 AI を使用した成果物であることを視認出来るウォーターマーク（これは素案の中にも出てきていたが）を義務付けるだとか、AI を利用して得たものであることをそれを閲覧した側にも判別出来る仕様にする必要がある。
また、これは乱暴な意見にはなると思うが、私的利用はともかくネット上に AI での生成物を載せた時点で違法となるような規制をかければ、現状の多くの問題は解決しやすくなると思う（個人的に一番の懸念は、実在する人物のディープフェイク画像や音声データ等のため）。
権利関係がクリアになっているはずの AI データにさえ、様々な許諾を得ていない著作物が学習元として利用されており、結果的に既存の著作物との権利問題が発生しているのであれば、わざわざその問題が起こってから対処をするのではなく、そういった問題が起こらないようなデータを利用すべきという規制をかける方が良いのではないか？と考えている。
もちろん表現の自由や創造性といった部分を締め付けるような規制の仕方をする必要はないわけだが、現状のままでは日本の創造的な文化は衰退していく方向にあると危機感を覚えている。

●受付番号　185001345000007269

著作物創作物を学習したAIによって出力された作品に著作権が与えられることに非常に危機感を覚えます。そもそも人が自力で生み出した作品を無許可で学習素材として取り込まれることにも賛成しかねます。自分の創作物を勝手に使われているとも言えますし、そんな過程で出来上がった作品に全く別の人間の権利が付与されるのは、学習元のオリジナル作品の作り手の権利を侵害していると考えます。自分の作品が勝手に使われているにもかかわらず、その作品の権利を赤の他人がもつことになることは理不尽に思います。文化の発展、保護の観点から考えても、製作者、著作者の権利が踏み躙られるような事態は避けるべきであると存じます。

●受付番号　185001345000007270

現状 AI による利益よりも嫌がらせや犯罪行為の方が目立つので、このようなことを防ぐためにも厳重に規制すべき

●受付番号　185001345000007271

私は、生成 AI は著作権を侵害すると考えます。また、生成 AI により作成された作品に著作権は存在しないと考えます。
特定の作家の画風を模倣する生成 AI により風評被害をうける作家がいます。生成 AI がなければ現在も作家活動をし作品を作り出していたはずの作家さんが生成 AI による被害によって作家としての生涯を終えてしまうこと、またそれに限らず自らの命すらも絶ってしまうことすらあります。生成 AI は著作権もとい人権を侵害すると思います。
生成 AI は著作権に守られている作品を学習の材料にしてはならないと思います。生成 AI の学習に使用する画像は、すべてパブリックドメインのものか、その作品の著作権を保持している人物が許諾した画像のみであるべきです。
また、生成 AI によって生成された作品は、元となった作品群の情報をランダムにつなぎ合わせて生成する「単なる事実やデータにとどまるもの」かつ、特定のプロントを使用することで誰が生成 AI を使用しても同じような作品ができることから「誰が表現しても同じようなものとなるありふれた表現」であり、著作権法は適応されないと思います。

●受付番号　185001345000007272

AI 生成に反対します。
他国では AI 生成が問題となりつつあるのに容認するようなこの素案は
受け入れられません。

●受付番号　185001345000007273

端的に言うと現段階で無断でインターネット上にアップロードされた画像を学習、悪用ができてしまうことでクリエイターたちのモチベーションをはじめ、日本の二次元創作にあたる技術の衰退を促す形になってしまっている。
そのため、まずは使用に当たり、インターネット上にアップロードされた絵の学習の可否はクリエイターに一任し AI 学習負荷の場合厳重な保護をするなど本来の絵を創作したクリエイターたちの著作権を明確に担保できる法律、AI 学習に関する制限悪用の場合の罰則をしっかりと提示しクリエイターたちを守るための地盤を固めるべきである。

●受付番号　185001345000007274

5-(3)　生成物の著作物性について
例えば著作物性が認められない画像や音声、文章を仮に生成 AI によって作成してそれをインターネットなどにそのままアップロードした場合、著作物性が認められないので他者はそれを自由に利用できると解釈したが、現実的に、コンテンツクリエイターは著作物性が認められないものを作成したとしてもそれをそのままアップロードするのではなく、ゲームや漫画、ポスター、小説、映像などの一部に利用するケースが考えられる。
これらの著作物性が認められない素材ではない他の部分に著作物性が認められる場合、著作物性が一部認められないという形になるのか、それとも他の著作物と混在した場合は全体に著作物性が発生するのかといった指針を示して欲しい。(例えば動画の立ち絵に著作物性が認められない画像を使用したとしてその立ち絵を第三者がキャプチャして無断で不特定多数に配布等した時に権利侵害に該当するのかなど)

●受付番号　185001345000007275

5 の(3)についての意見です。
もし特定の方や色々な方のイラストを使用し生成した AI イラストも、もう一度読み込むという手法で絵師様たちへ被害が出ると思うのですが。AI で出力なんて一瞬です。なのになぜ OK と取れる形で記載されているのでしょうか？
どんな被害が出るかの予想が浅はかすぎて非常に腹立たしいです。
これが適用されてしまえば、絵師として働いている人の職を奪うことになりかねません。
もう一度「もしこれが適用されたら」どうなるか、他の方のご意見も交えてよーく考え直して欲しいです。

●受付番号　185001345000007276

AI 学習について、
学習元となる著作物があるからこそ出力ができる AI に対して、AI 作品自体に著作権は認めづらい。
また学習元の作者の許可と契約は必要であり、AI 生成者は学習元をはっきりさせて生成することが必要だと考えます。
イラスト関連に関しては、無断で学習させた作者の作品の類似品を作り勝手に名乗るという事例や、イラスト依頼から AI 生成し報酬を受けマネーロンダリングの手段となっている場合もあることから、もっと様々な事例を収集し、本業のクリエイターの方々から状況を聞き取り、時間をかけて決めることを願います。
現状の AI と著作権の考え方では著作物を制作している側の視点が不足しています。

●受付番号　185001345000007277

現在、創作関係で依頼を引き受けているものです。
　私が個人的に生成 AI で懸念している事項は、生成 AI によって私が作ったと思われかねない生成物を作成されることによってブランドが失われ、仕事などの機会を得られなくなるという点です。
　昨今の生成 AI は、特定の個人を集中して学習することが可能になりました。それにより、私の意思に関係なく私が作成したと思われかねない生成物(成人向けコンテンツや非倫理的な生成物等)も作成されるリスクが高まりました。仕事を頂く上で、クライアント側はこれらのコンテンツの創作者を除外することがあります。仮に私が生成したわけではなくとも、特定のクリエイターの名前でこのようなコンテンツが作成されたと認知されれば、私はこれまでのような仕事の機会を失い、生活に直結する大きな損失を被る可能性が御座います。また、絵柄にマイナスイメージを付けられれば、精神的な創作活動にも関わらず、鑑賞者側から曲解した解釈をされ、これまで通りの創作ができなくなってしまいます。
　そのため、このような特定のクリエイターに依拠した生成 AI の著作権を認めず、なおかつクリエイター側と混同しないようなシステムを考えることを意見させて頂きます。
(例:生成 AI にはウォーターマークを付ける、学習元の開示等)

●受付番号　185001345000007278

３．生成 AI の技術的な背景について（１）生成 AI について
ウ 生成 AI が生成物を生成する機序の概略
Photoshop の切り貼りと同じだと思う人はいない。批判が無知ゆえと思わせる文章は蛇足。
5. 各論点について（1）学習・開発段階
【「 非享受目的」に該当する場合について】
イ 「情報解析の用に供する場合」と享受目的が併存する場合について
（イ）非享受目的と享受目的が併存する場合について
特定の作家の作品を追加学習させその創作的表現の特徴を模倣することを目的とする場合は明らかに享受目的が併存するといえるが、それは現在の利用者も注意している。版権キャラや有名作家は避けろ、数人混ぜれば良い、といった発言も見られる。出版社が 5 人のアイドルの写真を学習させ「タヌキ顔の美女」の写真集を出した例もある。うち一人に似ていたために抗議を受け販売中止になったが、数人を追加学習させれば享受目的でないとはいいがたい。1 人のモデル、特定の作家に限らず、売れ筋を狙うため類似性のある複数の作家やモデルの特徴(アヒル顔、巨乳など）を学習させるのは享受目的が併存するといえる。また会社員を生成する追加学習モデルがあるが、メインの男女が平凡な顔に作られているため現実感がある。平凡な顔でも効果を狙っており享受目的が併存するといえる。
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】
エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について
（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
作風や画風はアイデアに留まるから模倣しても著作権侵害にならない、というが、画像生成 AI で爆発的に量産された「マスピ顔」は瞬く間に消費され利用者にも飽きられた。元は画像転載サイトで masterpiece とタグ付けされた絵がプロンプトで共有されたものだが 1 年で陳腐化し AI の絵とされて価値を失った。新しい絵を描けば同じことが繰り返される。そのように作風、画風の近い複数の作家を追加学習させる場合も、画風のファンをまとめて惹きつける狙いがあり享受目的が併存するといえる。1 人の作家の模倣でなく、画風の模倣でも権利制限規定の適用外とすべき。また利用者には追加学習分のデータとプロンプトの公開も義務づけるべき。
（エ）本ただし書に該当し得る上記（ウ）の具体例について（学習のための複製等を防止する技術的な措置が施されている場合等の考え方）
著作権者が学習禁止の意思を示し、機械可読な方法による技術的な保護措置を取る場合、将来データベースとして信頼できる利用者に販売する予定があると推認される。最近ノイズを加えて画像を保護する技術が新たに開発されているが、これを利用した場合も同様

に、信頼し許可を与えた利用者に販売する意思があると推認される。よって将来の販路を阻害しないよう、権利制限規定の対象外とすべき。

（オ）海賊版等の権利侵害複製物を AI 学習のため複製することについて

著作権者から許諾を得たデータのみを扱うオプトイン方式であれば海賊版を利用するリスクもない。許諾を得てデータセットを構築することを目標とすべきだ。日本には巨大な独自ストックサイトを持つ外国企業より不利だが、国民の理解を得られれば協力も得られる。現在あるデータセットから問題のある素材を削除しオプトアウトを認める措置もやらないより良いが、データセット内の素材の多くは著作者や被写体の名前と紐づけられておらず、権利者が自分で探せないため権利侵害リスクが残る。

（３）生成物の著作物性について

生成物に著作物性を認めるか否か個別に創作的寄与に基づき判断されるなら、利用者は必ず都合よく解釈し権利を主張する。現に他の利用者に著作権侵害による削除を求める利用者がいる。悪質な利用者による組織的なコピーライト・トロールも起こりうる。半端な扱いは混乱を招く。またすでに市場で商用利用されている生成画像には指が 6 本ある等の破綻が見つかるが、人間なら瑕疵は修正を求められる。コストを下げるため AI の破綻を容認し広告や広報の品質を下げている。悪貨が良貨を駆逐する形で既に市場破壊が始まっている。若手のクリエイターは仕事を得にくくなり、ネットで公開して販売すればスクレイピングされて短期間に大量の模造品を生成され競合する環境では才能が育たない。コンテンツ産業は外国との競争力を失っていくだろう。著作者を保護することが最も重要。破綻があっても黙認されている生成物には著作権を認めるべきでない。AI だから仕方ない、といわれる破綻が一体どんな思想または感情の表現だというのか？プロンプトや試行回数は機械的に出された生成物とは別。生成物は著作物とは認めるべきではない。生成後編集して扱う場合が多いだろうから、編集著作物として権利を認められる場合はあって良い。

●受付番号　185001345000007279

はじめに、AI による生成作品の著作権に関しての意見を提示したい。
私、意見者は電子機器(スマートフォン、タブレット)などを使用し、イラストを描く創作活動をしている。その為、近年身近に感じている AI 画像生成を例として意見を出すことを留意した上で意見を確認していただきたい。
『2.検討の前提として
(1)従来の著作権法の考え方との整合性について
ア著作権法で保護される著作物の範囲』から
『誰が表現しても同じようなものとなるありふれた表現(要件 2 の創作性を欠くもの)は著作権法に該当せず、著作権法の保護対象に含まれない。』とある。
この要項において
・生成画像 AI はデータ学習の方法、操作が同じであれば、生成される画像もおなじものとなる。
上記の点から『誰が表現しても同じようなものとなるありふれた表現』に該当すると考えている。
また、AI 生成された画像に生成者などの人間が加筆を行った場合に『創作性』が表れるかは加筆された画像の状況による。
・途切れている線を一筆で繋げる
・新たな建造物を描く
・人物の表情を変える
・一部の物体の色を変化させる
加筆には様々なものがあるが、これらの全てを『創作性』を表す加筆として認めるべきではない。
『誰が表現しても同じようなもの』にならない為には独自性が必要である。
AI 生成された画像を著作権で保護するにはその作品の創作性、独自性を確認するべきだ。
画像以外の AI による創作物を著作権で保護するべきだと考える場合も、同じように創作性又は独自性が表現されているかを確認するべきだと考えられる。
次に、AI による生成活動と既存作品の著作権についての意見を出したい。
『3.生成 AI の技術的な背景について
(1)生成 AI について
ウ生成 AI が生成物を生成する機序の概略』から
『生成 AI では、入力された指示を情報解析し得られた結果と、その生成 AI が学習したパターンやルール、傾向等に基づき生成物を生成することとなる。この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる。』とある。

生成 AI により生成された画像は、学習に使用された画像を切りとり貼り付けて作成したものではない。この表現方法は正しいが、AI 生成と既存の作品それぞれの著作権について考えるのであれば好ましくない考え方ではないか。
生成 AI による生成作業を文章化するのであれば「〇〇ではない」という否定で表すべきではない。
私はこの文から委員会の方々が AI 生成について明確な認識を持っているのか疑問を感じている。
切り貼りではないと否定するのであれば AI による生成は何と認識しているのか、それを明確にした上で AI と著作権に関する考え方を纏めて欲しかった。
私は AI による生成は学習データを使用した、学習源の加工だと認識している。
よって、私は AI 生成により、著作者の同一性保持権が侵害されていると考えている。
AI の生成活動と著作者の権利を保護する為にはどうすれば良いのか、AI 生成の学習データに使用するデータの収集方法を改めれば良い。
私は AI に学習させる人間達が他者のデータを勝手に使用することに疑問を感じている。
AI に学習させるデータの種類を規制することを提案したい。自身が撮影した画像や動画データなどの著作者が自身であるもの(他者の作品を撮影した場合は複製による権利の侵害に当たると考える)、購入などによってデータ生産者から正式に権利を譲渡されたもの。
AI の発展を望むのであれば、学習源への投資をする考え方は必要不可欠ではないか。
AI の発展は必要だが、他の創作を行っているクリエイター達の発展もまだ続いている。
私は両者の発展が望める方法として AI データ学習に使用するデータの規制を望む。
最後に AI 生成に対する懸念の声に関して意見を提出する。
『4.関係者からの様々な懸念の声について』から
本要項を読み終わり、私は非常に残念に思った。
懸念の声ではなく、実際に既に起こっている問題について考えていただけないか。
既に AI 生成によって、盗作や詐欺に近い行為が行われている。法が十分ではない為、確実な問題提起にならないまま終わっているにも関わらず、委員会は『懸念の声』で済ますつもりなのか。
・「〇〇風の絵柄の生成 AI で 24 秒で生成した画像を使い金儲けをしようと公に発信するなどの嫌がらせ」に関する投稿
[redacted]
著作者の創作行為自体を妨害する問題。
・「AI 生成画像を AI 生成を明記せずに投稿し大きな話題になった」ことに関する投稿
[redacted]
AI だと気づかれないまま反応や評価を得る問題。AI 生成を詐称できる可能性が確認できる問題である。

●受付番号　185001345000007280

まずAI学習段階について
1 インターネット上のデータが、閲覧用のほかに情報解析に活用できるよう整理された形でデータを取得できるよう、有償APIで提供されているような場合はこれを購入して学習する分には著作権侵害に当たらないと認識しました。が、そもそもインターネット上には、素人のクリエイターが無料で作品を公開できるようなWebサイトが溢れています。もしもこれらのWebサイトの運営主体等が、Webサイトに公開された著作物を著作者の同意なしにデータベースとして販売していたことが発覚した場合も、著作者の権利が守られるようWebサイト及び生成AI利用者に著作権侵害賠償の請求を行えるよう配慮していただきたいです。
2 インターネット上に公衆送信（SNSなどで公開されているものを含む）データのうち、特定のクリエイターを狙って学習し、それをそのまま生成することは著作権の侵害に該当しうると認識しましたが、作風の似ているクリエイターを複数名選出して学習してそのまま公開する場合、著作権との関係はどうなるでしょうか。いわゆる努力せずに創作物を生成する行為に当たると考えられます。
次にAIによる生成物に著作権が与えられることについて
AIによる単純学習ではなく、高度に組み上げられて生成された生成物に対しては総合的判断により著作権が与えられる可能性があると認識しました。これに関しては、人間の生み出した創作物とは全く別物のあくまで「生成物」ととらえ、著作権とは別に考える必要があるのではないかと考えます。人間の手が加えられた加筆修正部分には著作権が発生するという点に関しては、人間の手による著作物として考えることが妥当というのは分かりますが、人間の手が加えられていない部分に関しては、果たして生成AI利用者が著作権をもつにふさわしいか疑問です。
日本のクリエイターの持つ可能性のいわゆる「いいとこどり」をしたデータが権利を持ってしまうことに疑問を感じます。日本の誇る文化芸術を衰退させないためにも、AIの生成する生成物と、人間の生み出す創作物にはきっちり境目をつけていただきたい所存です。

●受付番号　185001345000007281

「生成 AI をいち創作物として取り扱う行為」は違法であるべきです。
生成 AI は過去の膨大な絵画、写真、文章、その他芸術的資料を混合して出力されています。この時点ですでに盗作と言ってもいいのに、法の加護を与えてしまうことは、過去、現在、そして今後生まれるだろうすべての創作を踏み付けにする行為です。
どうかよくお考え下さい。生成ＡＩで得をするのは、もはや一部の犯罪者のみです。

●受付番号　185001345000007282

AI が生成した作品、またそれらに人が手を加えたものであっても著作権は付与されないと考えます。
昨今広がっている AI は多くの知識を吸収して作られています。その中で ChatGPT のようにお金にはならない公然の知識の吸収で作られています。
しかし昨今の他者の著作権が生じるイラストを無断で学習素材とさせ、そこから作られたイラスト、作品はどのような場合であっても著作権として保護されるべきものではありません。多くの作り手は自分のアイデンティティとしての特徴を長年かけて作り上げ、また、描くたびに、そのオリジナリティには著作権が発生します。
そのイラストたちを著作権を無視して学習させること、勝手に SNS などにあげ都合の良いやうに自己の作品だと主張すること。それのどこに著作権がつきますか？
また、少しでも手を加えていたら著作権がつくこともおかしいです。他人の財産となる長年の努力を学習させ、少しでも色をつけたら自分のものとして主張できるってイラスト以外ではどう見てもおかしいと考えます。
他のもので例えると分かりますか？
日本の歴史となっている伝統工芸品の作り方を AI に教え込ませ、その AI が作ったものに名前を書いたら全く制作に関わってない人が作ったものとして、大事に扱われますか？長年修行し、歴史を紡ごうとしている人たちがいて、作っているからこそ大事な日本の価値の一つとなっているはずです。
日本のイラストを現在日本の特徴の一つとなっていると言えるはずです。長年頑張ってイラストを書いている人を勝手な AI の著作権で苦しませないでください。頑張って得た努力を踏み滲まないでください。
あなた方が考えている生成 AI に対する著作権の保護は多くの日本の文化をなくす一歩となります。いや、もうなっています。あなた方は日本の財産の一つだと理解できていません。
お願いですからどのような場合にも AI に著作権を付けないでください。権利を渡さないでください。

●受付番号　185001345000007283

意見は主に下記項目に対するものです。
４．関係者からの様々な懸念の声について
生成 AI と呼ばれるものには
・DeepL などの自動翻訳
・ChatGPT などのテキストベース生成 AI
・Stable Diffusion などの画像生成 AI
等があると思いますが、ここでは主に現在イラストレーター等の一次創作者にとって特に問題と認識されている
・Stable Diffusion などの画像生成 AI
についての意見を述べます。
まずもって現在、イラスト生成 AI に自作の絵を学習されるイラストレーター等と、画像生成 AI を利用して新しい何かを作りたいユーザー等の間で、すでに埋めることができないような分断が生じてしまっています。
これには以下のような理由があると思います。
1)
Stable Diffusion などの画像生成 AI はネットから数十億の画像をデータとして取り込み学習することで機能するが、学習データの中には違法アップロード画像や児童ポルノ画像等あきらかに問題のあるデータも含まれている。
2)
著作権法 30 条の 4 では「当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合に」生成 AI は著作物を利用できるとあるが、現行の画像生成 AI は主に「AI 生成したイラストを SNS にアップするなどして人に見せること」を目的として利用されているため法的にも問題があると考えられる。
3)
著作権に関して「著作権侵害を著作権者本人が訴えていなければ問題がない」という認識が広く浸透しているが、現実問題として生成 AI で無数に生成されていく画像の中から著作権侵害の疑いがある物を著作権者本人が見つけて逐一訴えるというのは不可能なため、実際に罰せられる者はおらず実質的には無法状態になっている。
一次創作を行っているクリエイターの中にも「クリーンな生成 AI であれば積極的に創作活動に利用したい」と考えている人は大勢います。ですが、現状は「あのクリエイターは画像生成 AI を使っている」という噂が立つだけで、SNS 等で生成 AI に反対する人々から批判され攻撃を受ける対象になります。逆に AI 推進派と呼ばれるような人は生成 AI に反対する者を攻撃し、生成 AI がいかに法的に問題がなく正しいものであるかを訴えたりしています。

本来 AI 技術とは、生産性を上げて人間社会をより便利で豊かにしたり、日本が誇る芸術や創作文化の発展に貢献するためのものであると思います。
ところが今は生成 AI をめぐって毎日対立や論争が繰り広げられ、一次創作者・AI 技術開発者・AI 利用ユーザーの間でどんどん分断が進んでいる印象です。こんな状態では AI 技術の発展も難しいし、真面目な一次創作者や純粋で無知な AI 利用ユーザーは損害を被り、賢くて悪意のある一部の人間だけが得をする社会になります。この現状をどうにかなんとかしたい！というのが、ごく普通のまっとうな多くの人間の意見ではないかと思います。
以上を踏まえて、実現可能かどうかは分からないのですがひとつの意見として提案させていただきます。
1. まず Stable Diffusion 等の現状問題があると考えられる画像生成 AI は全面的に利用を禁止するなどの措置をとる
2. それと同時に日本国産の生成 AI プロジェクトを立ち上げる
3. 国産生成 AI の学習データは著作権的・倫理的に問題のないデータのみ使用することを明言する
4. 一次創作者には学習データの提供を呼びかけ、データ提供者はインセンティブを得られるような仕組みを導入する
5. このようにして一次創作者、AI 技術開発者、AI 利用ユーザーそれぞれがメリットを享受できる生成 AI を国を挙げて作り上げていく
6. 並行して小学・中学の義務教育を通して著作権法や生成 AI などについて正しい知識を多くの人間が身に付けられるよう制度を整えていく
正直に言って生成 AI の問題はすぐに最善の解決策は見つからないと思います。
なのでまず「現状これはやっては駄目なこと」のラインを明確にどこかに引いて、そのことを国民に広く周知徹底する。
法律の文章は難解で誰も正しく理解できない上に各自が自分に都合のいい解釈をすることもできますが、国が使用禁止の措置を取ったり、あるいは刑事罰で逮捕されるような前例が出たものについては「やったら駄目」ということをみんな理解します。
一度そうしてリセットして皆で基準を共有しなければ、今の生成 AI をめぐる分断は解消されないのではないかと思います。
現実的でない提案なのも承知の上ですが、どうにかして建設的な方向へ進んでいける道はないものかと考えてみました。
以上、ご確認の程どうぞよろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007284

意見対象箇所１：[５．各論点について →（１）学習・開発段階]　の P19？P23 について。
現状の記載では、AI 学習のための著作物の複製等を防止する技術的な措置(クローラ制限"robots.txt"など)がされているだけで、学習禁止となると解釈されかねないと感じています。
P23 に「情報解析に活用できる形で整理したデータベースの著作物が将来販売される予定があることが推認される場合には？」とあるように"将来販売される予定があることが推認される場合"も同時に満たしている場合にのみ発生するケースであり、このような記載では、権利者側が「技術的措置をしました。なので一律学習禁止です」と誤った主張がなされてしまう可能性が高いと考えます。
また"データベースの著作物"についても DB の提供のみを行っているのにもかかわらず、権利者が DB 著作物と主張する恐れがあると考えています。
P19 に「本ただし書への該当性を検討するに当たっては、著作権者の著作物の利 用市場と衝突するか、あるいは将来における著作物の潜在的販路を阻害するかという観点から？」とありますので、"将来販売される予定があることが推認される場合"にのみ
但し書きに該当するはずですが、将来販売される予定があることが推認される場合によらず権利を主張されるおそれが高いと考えます。
こういった可能性が懸念されると、AI 事業者および AI 研究機関側で学習作業や研究について萎縮的となり、技術進展が阻害され、他国に比べ大規模言語モデルや生成系 AI 全般について多大な差をつけられかねません。
そのため、このような限定的なケースかつ AI 学習に開発者等が心理的に障害を感じる(将来販売される予定がないのに権利者が DB 著作物であると主張したり技術的措置をして学習が禁止であると主張したり、逆に AI 事業者や研究者側が禁止であると誤解したりする)表現は削除すべきと考えます。
報道機関等の権利者側に配慮しすぎて拡大解釈をしすぎた記載になっているとも考えています。
権利者側が「今後データベースの著作物として販売するつもり」と主張して、robots.txt などの技術的な措置をしただけで、30 条の 4 ただし書に該当することになるかのように解釈できてしまいかねません。まだ存在していない DB の著作物に対しても著作権保護の影響がでてしまうのであれば、AI 開発を行うために実施するデータ収集に萎縮効果を含む様々な影響がでる恐れがあります。
それが該当箇所の記述の削除や修正とう検討をお願いしたい所存です。
意見対象箇所２：[５．各論点について →（１）学習・開発段階]および[５．各論点について →（１）生成・利用段階]

AI 生成物による著作権侵害の認定は、人間が創作したときの場合と原則変わらない。誰かの著作権を侵害したというには、既存の著作物との「類似性」と「依拠性」の両方が必要という点は現状通り明確に記載していってほしい。
AI による盗用などがニュース等で問題になっているケースがあるが、あくまで問題なのは「類似性」と「依拠性」のある生成成果物を使用していることであり、学習・開発段階で規制をするべきではない。あくまで利用段階で取り締まるべきであると考える。
人間の場合、絵や写真の学習は問題ない。しかし人の絵や写真を転載して発表するのは問題になる。
それを AI に置き換えただけの話であり、その考えのもとによる素案であることを一貫してわかりやすく記載をしてほしい。
意見対象箇所３：該当項目なし(全体意見のため)
AI の悪用を防ぐため、作風や絵柄の類似性・依拠性について非常に強い規制を設けた場合、生成 AI の利点である今まで文章や画像やイラストを作るのが苦手だった人たちも自由に高いクオリティでアイデアを実現して自由に創作できるという点を潰してしまいかねません。
創作的表現は保護し、アイデアは保護しないという原則を守りつつ、著作権保護の範囲をむやみに拡大しすぎないように各種検討を進めてほしい。

●受付番号　185001345000007285

創作者が無許可で生成 AI で学習された作品を勝手に多く作られて、それを注意したら嫌がらせをうけて筆を折ったクリエータをみました。
そうならないためにも学習元著作者が許可した物のみ、AI 生成できるようにしてください。

●受付番号　185001345000007286

生成物に著作権を与えるのは生成物ではない創作物の価値を貶めることであり、文化の衰退を招くものであると考えます。

●受付番号　185001345000007287

自分で考えたもの、作品を全く知らない第三者に奪わせていいのか？実質万引きです。絵柄や表現といった概念的なものなら罰則はないんですか？日本はサブカルチャーが１つの強みですが、奪った側に罰がないなら日本の強みはなくなるでしょう。
AI が作ったものがすべて悪だから規制しろ、とは言いません。ですが、AI ではないリアル側が保護されないのはおかしいと思います。 一度、様々な著名作家や出版社で意見を伺ってみてはいかがでしょうか？

●受付番号　185001345000007288

私はクリエイターではありませんが、身近で生成 AI が引き起こした実害を見てしまい、調べる切っ掛けが生まれて騒動を知りました。
今回、素案を一通り見て、特に気になった部分についてコメントします。
５．各論点について
【侵害に対する措置について】
カの（イ）に書かれた特記事項 31 について
ここでは「著作権侵害が起きても、学習済みモデルから学習物を取り除く措置は通常、認められない」としています。
「技術的、費用的な面で厳しいため」という理屈は分かります。
ですが、「作るの大変なんだし、取り除くのも難しいから諦めろ」という論調は、本当に著作権者を保護する気があるのか疑問に思います。
従来なら、素性が怪しいものは「そもそも使わない」方向に行くと思います。
毒か分からない物を料理に入れたりはしません。
しかし、生成 AI は「毒か分からない物のごった煮」です。
それで「被害者が出たら泣き寝入り」を強要するのは納得が出来ません。
しかも生成者本人が被害を受けるのではなく、他人であるクリエイターです。
場合によっては、生成した物を受け取った事業者も被害に遭うでしょう。
不信感がどこまでも残ります。
この意識のまま、生成 AI を推進するのは間違っているのではないかと考えます。
そもそも生成 AI はクリエイターが居ないと成立しない技術です。
既存のクリエイターと共存するのが前提であり、一方的に搾取する仕組みはあり得ないと思います。
今一度、生成 AI を節度ある使い方にする方向性で考えてほしいと考えてます。
最後に、身近に起きた生成 AI による実害の話も触れておきます。
端的に言うと、親戚（甥）が、尊敬してたイラストレーターが生成 AI による嫌がらせで筆を折ることになり、悔しさで泣いていました。
個別の事例に対しては、素案では「違反になることもある」ぐらいに書かれているので踏み込みません。
ですが、嫌がらせに用いた場合は厳罰を与えられるのを期待しています。
よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007289

AI と著作権について、私はまず AI 生成物は著作権で保護される著作物の範囲に該当しないと考えます。法第 2 条第 1 項第 1 号の定義のうち「創作的に」「表現した」が当てはまり得ないからです。AI はその生成のために、既存の著作物を学習するプロセスを必要とします。学習対象が無ければ AI は何も生み出せません。また、その学習と生成という工程からなるものを表現と呼ぶのは見ているものの次元が低すぎるように思えます。AI による生成で生まれているのは表現ではなく、情報あるいは統計でしかないからです。これらの点からまず、AI による生成物が著作権を持つことは有り得ないことであると考えられます。
AI が学習のために著作物を侵害する行為は、その利益目的の有無に関わらず、あってはならない事だと思います。インターネット上のどこからでも情報を拾えてしまう環境だからこそ、AI の行動範囲は厳重に制限されるべきであり、その学習履歴も詳細に記録されるべきであると考えます。
全てのクリエイターの「作品」が「情報」に成り下がるような事態が起こらないことを望みます。

●受付番号　185001345000007290

私の生成 AI で出力されたものに対しての考えをこちらに記載させていただきます。
前提として私自身は生成 AI でのイラストの出力の知識も兼ね備えている、イラストレーターでございます。
文章やプログラム等の生成 AI に関しては無知ですので、ご了承ください。
まず、結論から言いますと、生成 AI に著作権を存在させることはかなり危険かつ悪質な詐欺、または絵の文化の衰退を表すことになるかと考えております。
生成 AI というのは、ご存知の通り、インターネット上に無数にある絵や写真を取り込み、プロンプトに従ったイラストを出力しているものが一般に流通しているものであります。
そのインターネット上にある絵や写真というのは、まず作成した個人に著作権があるとします。
まず、結論で述べた詐欺に関しては、写真に関しても出力ができる生成 AI は存在しない商品をまるで存在するかのように出力することが可能です。そして、イラストやアニメ等は作家によるブランドがあり、まるで〇〇さんが描いたかのような絵が出力されてしまいます。そうすると、その個人が描いていないイラストデータを売りつけるような行為も著作権が販売者に存在する場合許されてしまいます。
そしてそのような行為がまかり通るようになってしまうと、クリエイター達は何を描いても生成 AI に技術を盗まれ、生成 AI の販売者が得をし、クリエイターがかける時間は無駄となってしまうことから、日本のクリエイターは衰退または近年中国等海外に務める日本人クリエイターが多くなっていることからも海外に行くという流れになってくるかと思います。私もそれを考えているうちの 1 人です。
そうすると、日本は様々な漫画やアニメ、所謂クールジャパンと呼ばれる海外に誇れる文化の衰退が見られてくるかと思います。
そして、最近みられる AI イラストや写真を使用した広告というのは大変悪質で、実在しない人物がまるでいるかのように表現されたり、綺麗な人を出し、効果のない美容に関するアイテムを売ったり等もみられますし、ゲームの広告ですと、ゲーム内に存在しないキャラクターが描かれているというのはかなり多く見かけます。
その時点で元の絵となったクリエイターや写真に写ったモデルの実在する人物は広告という仕事を既に多く奪われていると感じます。そして著作権が存在することになってしまうと、そういった悪質広告の抜け道にもなり得ることがあると考えます。
そして著作権がつくことによって、得をするのは、生成 AI という数え切れないほど多くのクリエイターが無断で搾取された絵を利用して、金を稼ごうという人物たちのみです。
日本の文化や純粋なクリエイター達はそれにより酷い損害を受けることは明白であります。そしてそれが長い期間続けて起こると、生成 AI 自体生成 AI による絵や写真が増える

ことによりまともな絵や写真を出力できなくなり、その時にはクリエイターの数は減少しているという光景が待ち受けているでしょう。

●受付番号　185001345000007291

法制度を整える側が創作物を作るクリエイター側意見を大々的に集めることもなく、制度を決めようとすること自体、まずクリエイターの尊厳を軽んじている。
AI 生成による生成物は作品に同一性というオリジナリティに欠けており、それは創作物に該当せず、ましてやそれを自らの作品というには他者の著作権や同一性を著しく侵害しており、作品としてみるにしてもジャンルとしては別枠で設けるべきものである。何故ならば AI は機械であり、機械とは正しく信号を送ればその通りに結果を出すものである。信号さえ合致していれば全く同じものを量産も可能であり、その上全くの別人であっても同じ物を作れてしまう。しかもそれは技巧の研鑽によってではなく、機械によるデータの収集の結果でしかない。そこにその人でなければならない必然性は皆無である。
そもそも創作するにあたって既存の作品を模すもしくは使用する場合、許可を取るのは必然であり、データ収集に承諾を得ていない AI 生成物はおしなべて著作権を侵害している。それを規制する制度、及び法が AI 生成物を創作物として取り扱うこと自体誠に遺憾である。
また、創作物の観点だけでなく、AI 生成物で危険すべき点は肖像権の侵害もある。むしろそちらの方が一般における危機である。技術は常に邁進しており、AI 生成物と通常の映像の精査も規制もろくにできずにいるというのにデータ収集を認めるというのは非常に危機管理能力の欠如を感じざるを得ない。
他者の権利を侵害していること自体違憲であるというのに、それの幅を利かせんとする危機意識のなさと法意識の低さは法を任せる側としては信用度に欠ける態度だと思わざるを得ない。
少なくともデータ収集の場は相手に許諾を得た任意の場所を作り、湯水のように収集できる現場を規制すべきである。

●受付番号　185001345000007292

Al には元となる人の努力が必要不可欠です。
AI は素晴らしい技術だとは思いますが、意力を削ぐような AI の法律は辞めて欲しいです。
まず第一に人によるオリジナルティを守り AI は固めにしておくべきだと思います。
　今でも無断で人の創作物を使い学ばせたのは自分なので、自分のオリジナルだと言う人もいますが、無断で使う事に抵抗がなく著作権侵害である事に気づかない人がいます。

●受付番号　185001345000007293

学習元となるクリエイターの作品やその権利を保護する法令等がない状態で、生成 AI を推進することは有り得ないと思います。もしクリエイターの権利が保証されないままでは、クリエイターが不利益を被ったり創作をやめてしまったりすることになりかねません。まずはゼロから作品を生み出している人たちの権利をきちんと守るようにしてください。

●受付番号　185001345000007294

いちクリエイターとして、AI による有用性に異を唱えるつもりはありませんし、AI を使うこと自体にも反対ではありません。ただ現状の使用目的として、悪意を持って使っている層があまりにも多いと言うことと、実際被害にあわれている方がいるということをきちんと調べて、権利を持つ人達がしっかりと守られる体制が確立されてからでないといけないと思うのです。
クリエイターだけではなく、一般の方々の肖像権も侵害されている件は確実に増えています。人権侵害にたやすく繋がるであろう懸念を抱かない方が不自然です。
多くの問題点と被害が報告されている状態で、もし文化庁の皆さまが「知らなかった」と仰るのであれば、情報収集を怠っているという印象しかありません。
現段階の案でクリエイターの権利が守られるとはとても思えません。
AI を推進するのであれば、今起きている問題をまず「著作権を持つ側が泣き寝入りしないよう」対処していただくことが何よりなのではないですか。
著作権を持つ側が「まあこれくらいならいいでしょ」と軽んじられ安易に搾取されるのが当然となってしまうような法案を成立させてほしくはありません。
今一度慎重に取り組んでいただけることを願います。

●受付番号　185001345000007295

全面的に AI に利用される状況こそ、日本のマンガ文化、アニメ文化に打撃を与えるだけではなく仕事を奪う行為である。
今すぐに AI の利用をセキュリティでの運用にとどめ、それ以外の違法行為と決めるべきである。
ともにアニメ会社の賃金向上を文化庁は目指すべきであるのに、このような衰退させる行為を恥ずべきである。

●受付番号　185001345000007296

これは一部でしかないのですが例として、AI による勝手なイラスト学習は本当に見ていて不快であり、その人の著作物を勝手に使っていることと同じだと考えます。AI 技術による発展のため学習させることもなにか繋がらない気がしますし、まず自分たちが作ったものをベースとしてものを作っていることがなぜ許されているのか分かりません。もっと AI を規制すべきだと思います。たくさんの人がこの事で辛い思いをしています。どうか早い解決策や行動をして欲しいです。お願いいたします。創作をこれからも安心してさせてください。

●受付番号　185001345000007297

AI が学習したものには著作権があり、それらを使ってる以上 AI の創作物に著作権を認めるのは不当。
いろんな本をバラして自分で組み合わせて作ったのでこれは自作の著書というようなもの

●受付番号　185001345000007298

著作権は文化の担い手の権利を、ひいては文化を守る役割があります。生成 AI による生成物に著作権を認めることは、著作権の持つ役割に明確に反し、文化も文化の担い手も潰す最低の所業です。生成 AI による生成物に著作権を認めることに断固として反対いたします。

●受付番号　185001345000007299

現在の段階でAI生成の法律がままなっていないのに、中途半端のまま生成物に著作権を適用する事に遺憾を示します。
そもそもAI生成で使うものは全て人が作った「著作物」であり、著作権保護法で守られているものです。現段階ではAIは何が使ってはダメかの判断が出来ない為、無断で作品を使用し、常に違法と隣り合わせです。
人が生み出したものをそのままペタペタ貼り付けただけのAI生成物が作り出すものに「製作した人の意思」は感じられるでしょうか、何のための著作権保護法でしょうか、何のための商標でしょうか。
クールジャパンだといって漫画やアニメを押し出す割には金銭面や法律面で作る側の人を軽んじてるように思えます。一から作る側を軽く見ているようであれば文化庁を名乗らないで欲しいくらいです。

●受付番号　185001345000007300

生成 AI に反対です。クリエイターに対し不利益しかありません。創作することが難しくなってしまうと思います。断固として反対致します。

●受付番号　185001345000007301

現在活動しているクリエイターの意見もしっかり聞いた方がいいと思います。[redacted]さんや[redacted]さんなどの実際に AI の生成物の問題に直面している方に意見を仰ぐべきです。

●受付番号　185001345000007302

Al によって出力される絵は、ネットのイラストや画像などを許可なく取り込んで、イラストとして出力しています。AI のイラストを使用するのは、何か問題があった時に勝手に学習元とされたイラストレーターに非難が及ぶ可能性があるなどのリスクがあります。私もイラストを描いてネットにアップロードすることがありますが、ＡＩに学習されたくないです。
また、ネットにアップロードされた子どもの写真を使用して、18 禁の画像生成に Al が使われることもあるので、規制して頂きたいです。
AI でなくもプロのイラストレーターにイラストを頼めば、こ意図したイラストを描いて頂けます。もし使用するのであれば、AI ではなくプロのイラストレーターが描いた絵を使用して欲しいです。AI による絵については規制が必要と考えます。

●受付番号　185001345000007303

AI による自動生成は個人利用の範囲にとどめるべき。現在の利用状況はクリエイターの知的財産が踏み躙られている

●受付番号　185001345000007304

AI の精度を上げるためには AI に様々なものを学習させる必要があります。AI に読み込ませて学習させるもの(絵、音楽、小説など)は作った方々が命を注ぎ込んで作ったものであり、気軽に取り扱ってよいものではありません。
既に多数の反対意見が出ている中、AI の生成物と学習させるものの権利を逆転させるようなことは反対します。
0 から 1 を生み出せる人は希少な才能の持ち主です。日本に生まれた宝であり、雑な言い方ではありますが資源のない国で、海外に輸出できる資源を生み出せる人でもあります。
丁重に扱うどころか足蹴にするような案だと思います。

●受付番号　185001345000007305

２．検討の前提として（１）アについて
AI 生成は著作ではなくプログラミング技術と捉えるべきだと考えます。そのため、AI 生成による生成物は著作物に含めるべきではなく、現在 AI 生成を用いず創作を行う人々の著作権がそれによって損なわれることは絶対にあってはなりません。
以下に AI 生成に反対する理由を二点示します。
1. AI 生成は誰が入力してもその単語に応じて生成物が現れるものだからです。著作物の定義として示されたうちの要件 2「個人の創作性」は存在しません。現在すでに Google 検索をすれば他人の著作物を学習させて似た特徴の生成物を大量に作る方法が多数紹介されており、LoRA と呼ばれる技術を用いて特定の著作者に似た AI 生成を可能にするプロンプトを販売する人もいます。
2. 現在の AI 生成サービスには多数の著作物が無断で使用されています。
例えば非常に多数の AI 生成で使用されるシステムである Stable Diffusion は著作物を無断学習したものであることが判明しており、Getty Images が訴訟を起こしています。
さらに、現在すでに、LoRA と呼ばれる技術を用いて、個人の著作物を許可なく学習データとし、特定の他人の著作物と類似する特徴の生成物を大量に売買する人がいることが知られています。
これらの生成物は、一部のものは学習元の著作者に悪意をぶつける形で使用されているため、著作者を守るために早急な法制定を必要としています。
日本はイラストレーションやボーカロイド作曲の観点で世界の最先端の国の一つですが、このまま AI 生成に関する法制定がなされなければ、絵画や作曲文化は衰退していくと考えられます。
すでに悪意を持った AI 生成に泣き寝入りし筆を折る創作者を複数人知っています。著作権と著作物が守られるような法制定をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007306

著作権の問題では茶飯事ですが、「どの程度で侵害か」の範囲が見えてこず、もしこれが「AI」と「人」の学習・出力を同じ基準であるならばこの素案はクリエイターにとって大きな不利益を生じるものと感じます。
そもそも著作の範囲が不透明で、時に不利益を生じることがあっても、それでも活動できていたのは相手が「人」だからです。
「人」であれば作成スピードも限られ、多少の「作風」模倣物であれば模倣元のクリエイターにはダメージは少なかったからであり、これが「AI」による「作風」の模倣物の大量生産によるダメージは、人の比にはならないほどのダメージを受けるでしょう。
また、現在、法が十分に整備されていないため特定のクリエイターがAIを使用した嫌がらせを受ける事件が多発しています。そういったクリエイター個人を攻撃する手段としてのAI使用を規制するための項目の必要性を強く推奨します。
現在の素案では既存のクリエイターへの不利益があまりにも多く、クリエイター特有の悩みもくまれていないように感じるので、既存のクリエイター側からの歩み寄りはまず望めないでしょう。
クリエイターへの待遇の悪さにより日本の創作力は他の国にすでに流れています。日本の強みである創作文化・創作の力がこれ以上他の国に流れてしまわないようにAI使用と著作権の関係性をより慎重に考えてください。

●受付番号　185001345000007307

まず前提として、画像・文章・音楽など、本件の AI による生成物「全て」に著作権を与えることは到底認められることではなく厳重に抗議します。生成されたものに人の手を加えた場合も同様です。

芸術・創作物は人間の短い人生の中で貴重な時間をかけて努力し、磨いてきた末にできあがるものです。

我々クリエイターはそこに価値を認めていただくことで初めて活動することができます。

AI 生成はその時間・努力・価値全てを作品ごと奪う窃盗・盗作行為であり、この時点ですでに著作権を侵害していると考えます。これを正当な著作物として認めることは日本文化の崩壊を招きます。このような理由から AI 生成物に著作権を与えることは決してあってはならないことです。

またこの素案ではインターネット上に投稿されている全ての創作物が AI 学習の対象となることを認めることになりますが、これは創作者（原作者）の権利を侵害する行為です。

さらに現時点で画像の生成 AI は、削除しきれなかった CSAM など違法な画像を含んだデータも学習対象として用いられています。違法な画像を含んで生成された画像に対して正当な権利を与える理由などない筈です。

このような違法行為だけでなく、多くの著名なクリエイターが生成 AI によって様々かつ大きな被害を受けているのも事実です。画風・作風が AI によって学習され、酷似した物を生成されるのは正真正銘技能の窃盗です。また、本来そのクリエイターが作成しない筈の年齢制限のかかるような画像を無断で生成され、いわれのないバッシングを受けています。

自らの創作物に酷似した AI 生成物が作られていると声を上げたところ、AI 生成の利用者から殺害をほのめかす脅迫メールが多数届いているという報告も SNS で上がっています。

「著作物の表現の価値を享受して自己の知的又は精神的欲求を満たすという効用を得ようとする者からの対価回収の機会を損なうものではなく、著作権法が保護しようとしている著作権者の利益を通常害するものではない」とありますが、これも既に害されています。

生成 AI が多くの弊害と被害者を生み出していることは明らかであり、文化の発展に寄与するものとは到底思えません。むしろ使用を規制するべきではないでしょうか。

次に、この素案は国際社会において日本国の信頼を著しく損ないます。

諸外国では AI 生成物に対する規制が既に始まっています。海外において AI 生成物は非常に不人気であり、価値を認めていないことを意味しています。本国で AI 生成物に対し

て積極的な保証を行うということは、「日本で作られた全ての創作物がAI生成物ではないか」と疑われることにもなります。これは市場の大暴落に繋がり、日本国そのものにも大きな損失を与えることになるとご理解ください。

最後に、素案の「はじめに」で「生成AIの利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」とありますが、これは本来活動するクリエイターの創作物を盗作する盗作家であり、クリエイターとは呼べません。本来のクリエイターに対する侮辱であり、同類にしないでいただきたいです。

同時にこの素案からは未だにクリエイターに対して軽視・蔑視を感じます。「クールジャパン」などと日本のサブカルチャーを国として世界に発信するのであれば、それを担うクリエイターへの保証を手厚くするべきではないでしょうか。その一歩がAI生成の規制だと考えます。

AI生成そのものが悪とは言いません。使い方次第でさらなる効率化と発展が期待されるのは事実です。しかし現在、現実として正しい使われ方がされているとは到底いえません。

さらに創作界ではイラストから文章にいたるまで、日本文化の発展の担い手となる多様なクリエイターの権利と人権が侵害されています。このような状況下で、なぜ生成AIに著作性など付与できるのでしょうか。決して認められることではありません。

私がクリエイターとして求めることは法によるAI生成物の規制と、クリエイターへの政策的援助・インボイス制度の除外です。

AI生成物に著作権を与えることは決してあってはならず、日本文化を衰退させる拙策です。直ちに本素案の撤回・変更を希望します。

●受付番号　185001345000007308

生成 AI が登場してから 1 年以上が程度が経過している現在において、日本の法整備が追い付いていない問題は深刻である。
SNS の発展に伴いイラストや画像(以下著作物)の持つ役割及びポテンシャルは非常に大きな役割を占めることとなった。
故に過去以上に無断利用、盗作は増加傾向にあり、度々問題視されるものの、法的措置をとるかどうかは著作物の作者自身の判断に一任状態であり、開示請求の費用問題、手間や精神的負担などの課題が多く被害者は泣き寝入りをするケースは多い。
生成 AI 問題のない状況下ですでに多くの問題があるにも関わらず、生成 AI で利益を出すことを急ぐあまり、純粋に自身の力で作品を作る著作者への人権的配慮に欠ける素案である。
実際に自身の脳や身体を用いて努力を行い、作品を作成する創作者に対して行使されるべき著作権が、AI の推進を急ぐあまりに蔑ろにされていると感じる。
また、この推進の為に邪魔とされている著作人格権に対して殆ど触れられていないのも非常に悪意的な抽出の仕方をしている様見受けられる。
著作譲渡も存在はしているものの最終的な人格権に関しては譲渡できないと言う法律になっているはずだが、これには意図的に触れない様にしている様に見受けられる。
推進するとしても、生成 AI の利用者及び企業に対して著作者が訴える窓口、法的措置を取るための手段、規則、罰則などを完全に定めてから推進するべきである。
現行法で対応できると言う旨に近いことが書かれているが、実際被害を受けている著作者が弁護士に相談をしたところ対応ができないと断られる案件は多く見られ、著作者の殆どは泣き寝入りを強いられている。
また、SNS 上における個人の生成 AI 利用者の多くが反社会的な人物が多く、なりすまし等の詐欺、ディープフェイクの作成など第三者から見ても問題行動を起こす者が多く、生成 AI に悪印象を与える結果となっており法規制は早急に行うべきである。
金銭的利益を望んでの生成 AI の推進の様だが、そもそも生成 AI の為にはデータセットの元となる著作物が必要であり、また今までにおいてもそれらから利益ひいては税などの国益にもなっていたであろう作品を作る著作者の意向や権利が酷く侵害されている状況は不健全である。
また、「当該作品に創作的表現が直接感得できる場合（中略）著作権侵害にあたる」という表記があるがそれは誰が決めるのか。
生成物を作る過程で利用したデータセットに似たものがないかどうかで判断するならば、生成物を作成した過程で利用された著作物の開示義務付けは必須であり、海賊版が含まれていないかの検証のためにも必須。

「(中略)思想又は感情を創作的に表現したもの」とあるが、生成 AI で出力されたものは他者のデータ（他者の思想、感情を含むもの）を取り込んだデータセットを利用しており、それを機械で混合し出力したものに「本人の思想または感情」が含まれることは考えづらい。
また試行回数を努力と位置付けているが、プロンプトを打ち込んだものの中から画像を目当ての画像を探すだけの行為は努力とは言いづらい。画像の検索に近い行為だ。
生成物を作成する際に使われるプロンプトも指示書的な役割であり「単なる事実やデータにとどまるもの」「誰が表現しても同じ様なものになるありふれた表現」であり、それを用いて出力された生成物が著作物と呼べるものかは懐疑的。
「著作物に表現された思想または感情の享受を目的としない利用」であれば利用可能であると言うならば、ゲームやアニメ、漫画などのサブカルチャーへの生成 AI の利用を行うべきでない。これらの著作物は感情、思想の反映物の最たるものである。
現状多くの生成 AI を利用する企業は上記のものに対する利用目的が多く見受けられるがこれは著作権法違反に当たるのではないか。
国産生成 AI の作成を考えているようだが、そのデータセットはどのように作成されるのか不透明。
日本独自の生成 AI 作るのであれば、自身の著作物のデータ利用を望む著者に正当な利益還元を行い、クリーンなデータセットを作成し、現在の生成 AI 企業が使っている海賊版や児童性虐待画像、機密情報など不正な情報を含むデータセットは完全放棄、削除、一から構築する必要がある。
以下書ききれない項目
・無断で学習に著作物を利用された著者に対する補償及びデータセットから完全抹消を行える権利の付与
・生成 AI の為に著作物に付随する著作権を緩めるのであれば、それを利用して作られた生成物に著作権を付与するのは二重規範的である。
・誰でも安易に使えるツールにせず、責任感を持って使える(責任能力があるものにしか利用できない)様にすること。
・現在生成 AI を推進している委員会は非常に偏った人選であるため、さらなるオープンな議論環境を整えるべき。

●受付番号　185001345000007309

AI でオリジナルが出来ると言うのなら学習機能を無くしたらどうでしょうか、学習機能が無くなれば AI とは言えないと思います。
完全読み込みでの学習機能で元となったイラスト著作権侵害では無いですか、違うものがでいると言いますが、大勢の人から学べばそうなります、元となる人たちの努力を無視するのはどうなんでしょうか。
少なくとも元となった素材は分かるようにしなければいけないと思います。
　フリー素材を AI で素晴らしい作品を作る人もいますし、自分の作品を学習させて AI を使うなどは全く問題ないと思います！
要は中身が分かり不正ない使い方をされる可能性をなるべくなくすべく、AI 用決まりをしっかり作って欲しいです。
　不正を疑われる AI 作者も、自分の作品を無断で使われる人も学習に使われた内容が分かれば疑いがなく気持ちよく制作出来ると思います。
また人の創作物を見て自分で模写などをして学習させると言う話も聞きますがその場だといいのではと思います。

●受付番号　185001345000007310

無断で人の著作物を使い、機械に生成させたものはその人とその絵の著作者の作品であり、その人だけの作品ではないと考えております
また生成 AI によるディープフェイクが不特定多数に混乱を招きかねないという点も考慮していただきたいです

●受付番号　185001345000007311

AI による盗作やトラブルが増えると思います。ですので AI の学習については慎重になるべきです。ガイドラインをしっかり作って欲しいです。

●受付番号　185001345000007312

人間の著作物と AI を同列にして法整備する理由が分かりません
人間の著作物は昔からある
今回規制が必要とされているのは AI なのだから
AI のみ対象として規制してください

●受付番号　185001345000007313

インターネットはあくまで交流、発表の場でありインターネットにあるものは好きにしていいというわけではないと思います。

●受付番号　185001345000007314

現在の生成 AI の危険性やその被害をしっかりと認知し、その上で将来的な業界や文化、日本国の発展についてよく考えて行く必要があるかと存じます。
まず、画像生成 AI にて出力されるものを研究目的以外の場で利用できてしまっている現状には問題があると言わざるを得ないと考えます。
元にこれらを悪用した事例には枚挙に暇がなく、中には殺害予告や誹謗中傷、フェイクニュースの流布などといった治安問題にまで発展しています。
これらの惨状や今後起こりうる危機を将来性や創作性と誤認されているのであれば認識を改めて頂きたく存じます。
非常に残念なことに文化庁の素案には画像生成 AI を利用する前提での話をしているように見受けられます。
しかし、そもそもこれが誤りだという認識に切り替えるべきです。
今回の生成 AI のような知的財産を有する人々のその権利を侵害して作られたものを良しとするというのはこれからのありとあらゆる産業においても同様の剽窃まがいの行為が行われる可能性を許容するということに他ならず、その将来的な被害は現状の映像、画像、動画等のコンテンツ制作者の市場にとどまらないことが容易に考えられるかと思います。
そして権利者から一方的に搾取を続ける現状を良しとするのは将来的な文化、産業の衰退に繋がりかねないということをご理解いただく必要があります。
私はゲーム、漫画、小説などの作品制作に携わる身にあります。
そうした中で多くの人々が自らの手で、頭で、心でひたむきに努力を続け、新しい表現や創作に挑戦して来た姿を見てきました。
だからこそ、人の権利や努力が認められ守られる世界であるべきなのではないかと考えています。
人間の学習は確かに真似という形から入ることも多く、生成 AI を支持する考えの中に人の学習と生成 AI の学習は同じだと唱える者もいます。
しかし私はそうではないと考えます。
人間にはそれぞれの人生や経験があり感情、そして独自性がありますが、生成 AI はそういうものではなくまたそこに感情があるものでもありません。
そして生成 AI などを通したからと言って生成 AI を使用した者の努力や技術はほぼ介在しません。
なぜなら自ら研鑽を積んだ技術ではなく他者の権利と技術それまでに費やした時間を無断で利用しその利益を掠め取っているに過ぎないからです。
なぜそのようなものがこの世の中で許されることになるのでしょうか？
人類史の発展には多くの人々の努力があったからここまで豊かな文化や技術が開花してきたのではないでしょうか。

生成 AI にはそもそもそういった努力の機会を奪うだけでなく、他者を踏みにじり営利や悪意のために利用され、これまで業界を支え発展させて来た多くの人々の心や生活を不安に晒すようなものを新技術として礼賛するのは愚かな選択に他ならないのではないでしょうか。
AI を作った人間にもその AI という著作物の権利があるというのであれば責任を果たすべきなのではないでしょうか。
しかし、それを良しとしてしまえば新しい技術や文化の発展にブレーキをかけかねない危険な選択であることも理解しています。
しかし、昨今の技術者やその技術を使う企業や個人には倫理観が欠けている事例も多く、焼畑のような跡には何も残らないその時だけ利益を享受できれば良いという継続性を考えていない行動が目立つように思います。
今回の生成 AI においてそのような企業や個人は非常に多く、これも問題や揉め事を多く起こしているのが目に入ってきます。
つまり、生成 AI のような技術は一般の人間たちが営利目的で利用してはならないということの証左に他ならないと考えます。
研究目的での利用に関しては許容するべき範囲もあるとは思います。
しかし、誰もが使えるということはそれが使えてしまう業界の文化的、商品的価値を著しく毀損することにほかならないのではないでしょうか。
継続可能な未来や技術、文化のさらなる発展のためにも人は自らが努力し成長し作り上げていくことを放棄するべきではないのです。
そのためにも生成 AI に関しては一般の企業、個人への利用について強い規制をかけるべきだと考えます。
極論を言えば利用不可にすべき劇薬であることを理解するべきなのです。
欧米諸国を初め中国など海外でも規制の動きは強く日本では現状とくに規制は働いていない状況です。
この状況が長く続くことが国富の流出に繋がってしまっている点についてはお気づきでしょうか。
文化とは財産でありその文化を築いてきた人々もまた財産なのです。
そうした世界に誇る日本の財産を徒に毀損し続けるような現状を脱却すべく日本国内における生成 AI の営利利用、個人利用のすべてを一定期間禁ずるべきかと存じます。
その間に問題を汲み上げより現実的な利用法について考えていくべきなのです。

●受付番号　185001345000007315

AI 生成物にも場合によっては著作権を与えるというのはクリエイターにとって恐怖でしかない。既にそれで被害を被っているクリエイターも少なくはない。AI に著作物を学習させることを合法としてしまうのは本当に困る。やめてほしい。

●受付番号　185001345000007316

内容を簡単に噛み砕いてくれたり抜粋してくれた記事を読んで思ったのが
SNS であんなにも騒がれているのに何故創作者側の権利が蔑ろにされているのか理解できないです。
今回はイラストあたりの分野で書かせていただきますが、元は制作者側の作品があってこそ AI で模倣出来るのであって元がいるのになんでその模倣先が偉いみたいな風潮になっているのでしょうか？
自分も趣味でイラストを描いている身ですが自分なりにいい絵を描けるように色々試行錯誤したり時間をかけて描いたりした作品が一瞬にして顔も知らないような人に AI 生成の為に使われ、人によっては成りすましで不利益な事をされたり、嫌がらせをされるのはハッキリ言って不快です。
かなりクリエイター側(？)の私情が入っていますが、絶対に今の内に AI に関しては規制をいれないと混乱を招いてこの先国にとっても不利益なことが生じるとも思ってます。
20 になったばかりの拙い文章ですが、何卒素案の再考をお願いしたいです。

●受付番号　185001345000007317

読ませていただきました。
如何にして著作権侵害に抵触しないよう AI を運用するかという話以前に、著作権や創造性の侵害を犯す心配をしてまで生成 AI を利用する意義が理解できません。
この点に関して、資料への記載が不明瞭だと思われます。
私は生成 AI の利用に否定的な意見を持っており、その理由は悪意のある利用をされるリスクが存在するにも関わらず、AI 利用の際の倫理、社会的な問題が大衆に周知されていないためです。
化学物質などの危険物を扱うにも資格が必要なように、生成 AI を扱うにも適切な知識と倫理観を持つことが必要だと考えております。
また、今回作成された資料は AI を利用する側の考えが強く出ており、著作権を主張する側の考えや意見というものが感じられず、一方的な考えばかり記載されている印象を受けます。
恐らく今回のこのパブリック・コメントで寄せられた他の創作者側の意見を読んでいただき、改めて AI と著作権について考えを出していただきたいです。

●受付番号　185001345000007318

著作権が正しく保護されているとは言えない現状で、AI 技術を広く活用することは反対です。
AI 技術を創作に活かす側の意見として、「こんなに手軽に!!」「負担を軽く!!」と言いますが、
創作する側の意見を聞き入れていますでしょうか？そうとは全く思えません。
活用する為には、多くの著作物を AI に学習させる必要があります。
ネット上にある画像を取り込み、それっぽいものを創作することは
著作者/原作者に確認を取らず、勝手に模倣している行為でしかありません。
創作する側が望んでいる技術と、
AI を開発して売り込もうとしている技術が、あまりにも乖離しています。
また、デジタル技術で絵を描いているクリエイターは多くいますが、
パソコンやタブレットを使っていると聞いただけで、
自動的に描いてもらっているんでしょ、だったら AI も使えばいいじゃないの。
と短絡的に考える部外者があまりにも多すぎます。
画材が水彩やペンから変わっているだけで、描いていることに変わりはないのです。
万年筆と原稿用紙ではなく、キーボードで小説を打つのと同じです。
一から作っているのです。
利便性追求のあまり、著作者を無視して自動生成技術を広めることは反対です。

●受付番号　185001345000007319

AI と人間の創作物を混ぜてはいけない。人間が時間をかけて考えて作り出した創作物を何の時間もかけず頭も使っていない人が私利私欲のために勝手に作品を奪い、評価を横取りする行為は断じて許される行為ではありません。
本当に憤りを感じます。
時間をかけて作り出した創作物は創作者の命と同等といっても過言ではありません。
道徳を学んだ人間ならこんなこと分かるはずです。
例えば、オリンピックに出場するために何年もかけてトレーニングを積んで自由な時間を犠牲にしてまで自分の夢に向かって日々切磋琢磨している人たちをだし置いて、運動性能を完全にプログラミングした AI ロボットも出場可能になれば選手たちはどう思いますか？勝てるわけがないと思って誰もオリンピックに出場したいという思いが無くなります。これはオリンピックにかけてきた人たちの夢を奪う行為です。
完璧ではない人間が努力をして日々成長していくからこそ美しい感動があると思います。
最初から完璧な AI を見ても私は何の感情も湧きません。
お掃除ロボット、セルフレジ、Siri やアレクサ、不正検知、翻訳機能、自動運転など人間では賄いきれない部分、助けてほしい部分は AI 技術の進化に大賛成です。
ただ音楽、スポーツ、芸術など人間が興味を持って自分なりに努力をして培った技術や才能には AI が踏み込むことは反対です。
AI に頼っても良い部分と踏み込んではいけないラインを区別してください。
わからないならルールを決める場に創作側の人間を参加させてください。
興味もなく専門性がなくてわからないものはわからないで百歩譲って仕方がありませんが、知らない人だけでルールを決めてはいけません。
今横行している事件は生成 AI を使って人の作品を勝手に奪って自分の作品として、著作者の権利まで奪っています。
0 から 1 を生み出すことは簡単ではありません。0 から 1 までにかけた時間や努力を AI によって一瞬で奪われてしまうということです。
このまま AI を野放しにすれば創作が好きで生業にしている人、趣味で楽しんでいる人を確実に殺します。
実際に生成 AI によって精神に不調をきたして仕事ができなくなったイラストレーターの方を最近よく見かけるようになりました。
生成 AI がそこまで注目されなかった時代では滅多に見なかったことです。
人が人の著作物を勝手に奪う行為は散々違法で扱われているのに、色んなイラストをかき集めてバラバラにして原型を保てていないからといって許されて良いのでしょうか。

原型を保てていないにせよ元は 1 を創り出した人間の創作物です。1 がなければ 0 です。1 があるからこそ出力できた画像です。バラバラにごちゃ混ぜにしたからといって権利は創作者の物です。冒涜です。
AI 推進派と創作者の意見はここがすれ違っていると思われます。
実際私もイラストを描いて SNS に載せて生業にできるまで頑張ろうと努力してきましたが、昨今の AI 問題について不安になり一旦 SNS を非公開にし対策を探っている最中です。
こんなことでイラストを描くのに不安になると思ってもいませんでした。私は幼い頃から勉強よりも絵を描くことが好きです。それを強みにして生きていこうと思っていました。
この問題は早急に手を打ってほしいです。明確なルール、厳罰化を求めます。

●受付番号　185001345000007320

著作者の仕事を奪うようなことはしないで欲しいです。よく考えた上で慎重に AI の導入を検討していただきたいです。

●受付番号　185001345000007321

4 自分で長い時間をかけて培ってきた技術を使って描いた絵を、AI に学習させて短時間で生成されてしまうのは嫌だと感じます。その生成物を使い攻撃的な投稿をしたり、販売したりすることはしてほしくないです。それらの誹謗中傷などで筆を折ってしまう方もいるので、今まで努力してきた人たちの気持ちを大切にしてほしいです。
私たちも誰かのイラストを参考にしたりして技術を磨いてきたため、作風や絵柄が似ることもありますが、意図的に似せて AI 生成するのはやめてほしいです。
5 AI で生成している以上、必ず誰かしらの著作物を学習していると思います。大量のイラストを読み込み、特定の人物のイラストを学習したものだとわからなくても、「学習に使われた」ということ自体が私は嫌だと感じます。
その生成物が学校や教育機関だとしても誰かの目に触れることはしてほしくないと思っています。
努力して積み上げてきたものを、簡単に消費してほしくありません。制作者の気持ちを大切にしてほしいです。
上手く書けず申し訳ありません。よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007322

スタンフォード大学の研究で、AI 生成物に実在児童の性的虐待被害画像が複数存在することが判明してします。AI の使用を推奨するのは恥ずべきことです。

●受付番号　185001345000007323

生成 AI の発達により手描きか AI かの判別がつかなくなるだけでなく、イラストレーターの個性とも言える絵柄を模倣する技術などが散見されます。言い方を変えればそれは「海賊版」で、これらを使用して収入を得ている人たちがいます。現在、それらが法による規制が緩いことで至る所に跋扈している反面、学習元となったイラストレーターには一銭も入りません。これは明らかに法の抜け道を使った悪しき行為であり、すぐにでも法改正による規制が必要です。

●受付番号　185001345000007324

現状の生成 AI についてのご意見を申し上げます。
結論から申し上げますと、「公表を伴わない私的利用、並びに創作物制作における参考資料としての利用には賛成」「生成 AI で生成したものをそのまま公表することには、法整備や規制が整っていない状態では反対」です。
理由は以下の通りです。
１．生成 AI 使用者のモラル欠如によるトラブルが絶えない（創作者への攻撃、侮辱、なりすまし、創作物の無断学習、クリエイター軽視など）
２．フェイク画像や動画といった悪質な犯行（フェイクニュースや肖像権を侵害したポルノ画像の生成など）が可能になる
３．著作者への著作権侵害だけでなく、生成 AI 利用者が追う著作権侵害リスクを十分に理解しないまま利用している現状があること。また、著作権侵害リスクがある生成物を納品された事業主・法人・団体にも炎上リスクを抱えることになること。
生成 AI は確かに参考資料や思考整理、アイディア出しなどには非常に有効な手段であると考えます。しかし、それはあくまでも私的利用に留める範囲の公表前の話であり、公共の場で発表するには問題が山積みのリスクが高いものだと考えます。
生成 AI は技術に対して、法整備やルールが追い付いておらず、普及してから全世界の様々な分野でトラブルが絶えず、故に、一刻も早い法整備や規制が必要であると考えます。

●受付番号　185001345000007325

AI 生成物を学習元と同じ市場に投入した場合、学習元データ作成者は製作コストをかけて競合者を育てる事になります。おおよそ、正しい著作物の取り扱い方とは思えません。

●受付番号　185001345000007326

趣味で絵を描いているものです。
最近、生成 AI に関するトラブルが増えていると感じます。
イラストレーターが自身のアイデンティティとも呼べる『イラスト』をそのまま生成 AI に盗まれ、挙句嫌がらせを受けてしまい SNS の更新を停止してしまいました。
この他にも生成 AI を未熟で他者を傷つけることになんの躊躇いもない人間が使用することのデメリットはあまりに大きいと感じます。
この間の総理のディープフェイクにしてもそうですが、生成 AI は人間の道徳観や倫理観を信じて運用するにはあまりに危険すぎるものだと思います。
だからこそ、尚更『著作権』は誰にあり、『肖像権』を害しない、そういった仕組みを丁寧に作らないと行けないと思います。

●受付番号　185001345000007327

５．各論点について
大前提として、生成 AI は学習開発段階と生成利用段階に分けて考えるべきではない。
生成 AI が学習によって得た目的関数が、教師データと近似する点を通る場合、その教師データを復元可能となる。
すなわち、学習と生成の関係は、確率的にエンコードとデコードの関係になるものである。
その確率は、翻案に相当するであろう範囲も含めると無視できないものとなる。
そういった関係から、学習開発段階で利用する著作物と生成利用段階で利用する AI モデルのデータは切り離せるものではなく、両段階をまとめて「生成 AI サービスの動作」と捉えるべきである。
権利者に及ぶ不利益を考える際も、すでに検討されている所在検索サービスや情報分析サービス、翻訳サービスのようにサービス単位で考えるのが当然であり、
「生成 AI サービスに著作物が利用されることで生成される」という一連の結果について、著作物の本来的市場と競合するか、著作物の将来的販路を阻害するかを検討するべきである。

●受付番号　185001345000007328

AI 生成のものは学習元があってこそなのになぜ生成物全てに著作権を与えるのかが分かりません。1 ヶ月かけて描いた絵を学習して 1 時間で苦労もせずに出力できる状態を許すというのですか？

●受付番号　185001345000007329

私は趣味でコスプレをしています。
最近友人のコスプレイヤーがAIを利用したディープフェイクによる性的嫌がらせの被害に合いました。
明らかにその子が学習元と分かる出力物です。
そういうことが起こったとしても、あくまで生成AIの学習は権利侵害では無いと言えるのでしょうか？
絵を描いている知り合いも多くいます。
愉快犯にAIで作風を模倣され、著作権の申し出をされたことにより、作者本人なのに著作物の権利を主張できず困っている人もいます。
私はAIに反対ではありません。
日本のカルチャーを推進する上でも、今止まって他国に追い抜かれるくらいならどんどん手を出すべきだと思います。
ただ、権利関係に関してはもう少し慎重になって欲しいです。

●受付番号　185001345000007330

・AI で生成された画像・音声・動画・文章が犯罪に利用されたり不利益を被るような利用がされた場合、AI で生成したデータの学習元データの作者にも責任が発生するのか。
・著作権は学習元データの画像・音声・動画・文章などの創作物全てのクリエイターが持つものであり、AI 生成されたデータのクリエイターの著作権とは別と考えるのか。
・インターネット上にあるデータをフリーの素材とみなしているのか。
・「AI 学習を利用して作成したデータ」のであれば、学習元の創作物とそっくり同じ（いわゆる「パクリ」）でも別なものとみなすのか。コピー商品は著作権違反で取り締まられることがあるが、AI で生成されたデータは該当しないのか。
・オリジナルの創作物はもちろん、ファンアート（二次創作）にも著作権があるという判例が出ている。もちろんオリジナルをそのままコピーした商品は違法だと思うが、AI 生成により、学習元データの著作権を持つ人間が不利益を被る事態は無くしてほしい。
・悪意を持って作られたフェイク動画やフェイク画像などで、学習元データの作者のあらゆる権利が否定されることがないようにしてほしい。
・学習元データの作者が申し立てた場合、そのデータを利用して学習し AI 生成した人物の開示ができる仕組みがあると少しは安心できると思う。

●受付番号　185001345000007331

AI 制作により発生するものには著作権などを付与してはいけないと思います。
現状それを生成するにあたってベースとなるものが存在する以上、AI 生成のものには性格を与えてはいけないものと考えます。
出力に際しての規制や、されたものの判別などが難しい現状で、キーワード入力などの制作過程で生成されたものに関して生成者がオリジナリティを謳ってしまうのは、アーティストに対する侮辱であります。それは検索しているものと何ら変わりないです。
百歩譲ってもしそれを宣言できるとしたら、AI プログラムを 1 から作った人のみかと思います。
規制をかけたところで、イタチごっこになることは明白ですが、政府として「AI には著作権は発生しない、学習させたベースのオリジナルのみ」という規制などはしていただきたいです。

●受付番号　185001345000007332

私の信頼する漫画家さん、小説家さん、絵師さん、その他ご自身で創作活動をされている全ての方の創作物の権利が AI に盗られてしまうなんて、そんな道理の通ってない事には 1 ミリも賛同出来ません。
ネット上に載せたものであっても、その創作物の権利はご本人だけのものです。
著作物の権利を守って下さい。

●受付番号　185001345000007333

まずもって著作権が存在する理由ですが、それは基本的人権に明記された表現の自由と著作人格権という何物にも侵害されてはならない権利を守るためです。
　営利目的や全体の利益のためではなくそれ以前のもっと大事な権利のためであることを念頭においてください。
現状の生成 AI と呼ばれるもののほぼすべてはこれらを侵害しています。イラストレーション、声、映像、これらのすべてを権利者に無断でインターネットから集積し学習させることで生成を行っています。生成 AI は無断の複製、改変を伴うコラージュを行いデータを作成しており、これらの基本的人権に対し真っ向から違反していることは自明の理です。研究学習のために利用するためであってもそのデータセットから営利目的に利用されることは明白であり、研究のためなら無罪というのは倫理的な問題があると考えています。
　では生成 AI はどのような作りであれば基本的人権と対立せずに済むか？この答えは一方で明確です。すべての AI 生成サービス及び研究はその学習に利用したデータのすべてをアーカイブ化し公開することを義務づけ、生成 AI への学習には著作者の許諾を取ったものを研究者および運営者のみが公開されたアーカイブに入っているデータのみを投入する。たったこれだけです。
学習元が明確であれば著作者の著作権を侵害することもなく、児童ポルノなどの違法な学習がされることもないですし、ディープフェイクも学習元の画像を追跡することも可能になりえます。
AI による生成物についてはこれに一切の著作権を生じないと考えるべきです。
なぜなら、著作権並びに著作人格権という基本的人権は生まれ持った人間のための権利であり、機械に人権は存在しません。人権がないものに権利を認めることができないことは議論の余地がないでしょう。
また、AI を利用し生成するという事についても著作権は存在しえないでしょう。
なぜなら利用者は AI という機械に自分のアイデアを出力させているにすぎず、著作権の対象とならないアイデアを権利を持たない機械（プログラム）である AI が出力しているに過ぎないためです。自らの手で著作物を生み出す人間であっても認められていないアイデアという権利で保護されないものを、権利を持っていない機械学習を通したらなぜか著作権が生まれる。なんていうことは道理が通りませんし、あってはなりません。
また著作物という財産を利用する以上は著作物のデータセットの提供には報酬が支払われる必要もあります。正しく作り出された著作物の利用によって発生した利益を得ることは職業選択の自由や労働の権利にもつながっており、現状の生成 AI はこれらを一切無視しているため搾取の温床となっていることは世の中の著作物を享受し、それに労働の対価として得た金銭を支払うことで享受している私の目にも明白です。以前あった漫画村の事件

のように著作物の無断利用による搾取は重大な文化資本への攻撃であるという認識を強く持っていただきたい。
生成 AI 利用による搾取でクリエイターの意欲をくじくことを許容すればクリエイターの数は減っていき、豊かな文化的資本は失われます。そうすれば日本の優れたコンテンツ産業は影を落とし、文化の発展だけでなく経済的な面でも国民全体が強い不利益を被るのです。それは断じて許容できません。
現状の生成 AI は国民すべてが持つ権利を侵害しています。著作物を剽窃し、ディープフェイクによって知る権利を侵害し、児童ポルノという重大な人権侵害の問題も抱えています。こんなものをそのまま利用しようという考えがまずもって認識が甘すぎます。国民の一人としてこれらを推し進め学習には許可を取らなくていいという状態で生成 AI に関する規定を以前明記した文化庁にはい怒りと失望を強く抱いています。
文化とは安く買えればいいものではないのです。労働という社会活動の対価で得た金銭を支払ってでも著作者が情熱を注いだ作品に触れ、嗜みたいという思いを踏みにじることは止めてください。
今後もこれまでと同じような態度で人権を侵害する輩を優遇するような省庁であればこちらもそれ相応の覚悟を持ってデモ等の強い拒絶をするものと思っていただいても構いません。

●受付番号　185001345000007334

AI での生成品に著作権を認めてはなりません。また、素材となった誰かの著作物は保護されるべきであり、保護することが日本のクリエイター文化を守ることになります。
AI は既存の著作物の思想を享受する目的で学習してはいませんが、それを出力する人間には明確に享受する意思があります。昨今の SNS でも AI で出力された画像が大量に見られ、特定の人気あるイラストレーターを学習したと容易に予測できるものです。人間が AI で画像を生成し、外部に公開することで受ける恩恵は大きく、「享受」と言わざるを得ません。
絵柄は著作権で保護されませんが、無断で描き方を学習させた生成物は本物との見分けがつかない場合もあります。本来のクリエイターの作品が安価な偽物に埋もれてしまっては、日本の創造文化は衰退します。
AI は大量の既存の著作物を切り貼りして出力するものであり、出力した完成品が既存の作品と完全に類似しなくとも素材の著作権を侵害しています。素材として学習するならば使用の許可を得るべきです。
photoshop などの描画ソフトも使用料を支払っており、使われる素材も著作権を侵害しないものだけです。
ブランドのコピー商品を規制するように、AI の生成品からクリエイターの著作物を守ってください。

●受付番号　185001345000007335

AI で生成された画像に著作権が付与されることに断固として反対します。他者の描いたイラストを無断学習した AI イラストに著作権が与えられた場合、AI イラストの作者が学習元の画像に対して「類似性が見られるから盗作だ」と訴えることができるからです。AI イラスト生成者の中には、クリエイターへの嫌がらせの手段に AI 画像生成を用いる者もおり、画像生成をした上で学習元のクリエイターを裁判で訴える可能性も十分にあります。そうなれば、クリエイターは盗作や嫌がらせを恐れて活動を自粛し、創作文化が衰退する恐れが十分考えられます。また、AI による生成は、人が描くよりも生成スピードが段違いで速く、大手企業が版元を持つゲームイラストを含め無作為に学習元にしてしまうため、粗悪なコピーコンテンツが大量に出回る可能性が非常に高いです。AI 画像生成ソフトによる弊害は、日本の創作文化の価値そのものを著しく低下させかねないものであり、ヨーロッパなどの海外では既に警戒され、ニューヨーク・タイムズなど一部の大企業はオープン AI に対し訴訟を起こしています。逆に日本は、AI 画像生成への危機意識の低さから、一部の国から AI による盗作のターゲットにもされており、文化庁及び日本政府は危機意識が低すぎると感じています。個人としては、AI 生成画像には、人が一部手を加えたものも含めて、一切の著作権を付与せず、商業利用も認めるべきではないと考えます。AI で生成した画像・文章・動画が一般化すれば、ディープフェイクによるデマで今以上に情報氾濫する恐れもあるため、AI 画像だけでなく、AI 全般に対してより厳しい目をもってもらいたいと強く望みます。

●受付番号　185001345000007336

生成 AI の推進に反対します。
実写化における原作者の擁護もままならない法制度で、この先、模倣されるかもしれないアーティスト達の著作権及び心身を保護出来るとは考えにくいからです。AI 模倣による冤罪事件も起きています。
以上により、生成 AI の推進を反対します。

●受付番号　185001345000007337

生成 AI に著作権は必要ないので、創作者の作品を無許可学習させることを禁じてください。

●受付番号　185001345000007338

生成 AI が出力した「絵」もどきや「音楽」もどきなどに著作権を与えるなどという愚行に断固として反対する。
生成 AI を利用した著作権侵害行為が後を絶たない現状でそのような真似をすれば、著作権を無視して AI にデータを吸い取らせただけの犯罪者がますますつけ上がり、正当な創作者のアイデンティティを壊し、最悪の場合、正当な創作者の命を断たせる事態になる。
生成 AI に与えるべきは著作権ではなく厳しい規制である。

●受付番号　185001345000007339

・個人
・（２）生成・利用段階、イ【著作権侵害の有無の考え方において】において、類似性の考え方、依拠性について示されている。
学習・開発段階と生成・利用段階で分ける必要性は分かるが、生成・利用段階で侵害が起きるのならば、学習・開発段階で、防止の策を講じるべきだと考えられる。悪用、つまり著作権を侵害する事例になりうる生成が、あまりにも容易だと思われるからだ。道具の使いようだと思われるが、制限を掛けて人権侵害を防止することも法ではないのか。
生成 AI による学習によって、特定のクリエイターの作風を反映した生成物を出力することが可能だ。特定のクリエイターの作風を意識した生成物が販売もされている事態を見た。「当該生成物に、当該作品群の創作的表現が直接感得できるもの」（４．関係者からの様々な懸念の声について(1)学習・開発段階イ（イ）より）であった。
絵柄、作風そのものは著作物には当たらず、著作権で保護されないものの、この事態は、そのクリエイターの活動を阻害することもありえる。
というのも、クリエイターは創作活動において、自身がどのような創作をするかを選択するものであるが、「絵柄」や「作風」が模倣された場合、ＡＩ利用者によって、クリエイターの方針に反する生成物を制作することも、指示によって可能であろう。またその場合は、「絵柄」や「作風」が模倣されているからこそ、元のクリエイターへの影響は避けられない。人は絵を見る時、「絵柄」や「作風」を見て元のクリエイターを把握するからである。また著作物或いは生成物を通して得るイメージは、元のクリエイターと往々にして結びつく。また生成ＡＩは生成速度は人間の速度を上回るし、似たような作業を同時に別々の機械において実行できるだろう。対するクリエイターは一人である。よって、大量の生成物が元のクリエイターの著作物を埋もれさせるだろう。やはり、このような事を鑑みても、ＡＩによる生成物はクリエイターの活動を間接的に或いは直接的に阻害する。
生成ＡＩによる創作或いは生成を推進することは、データを提供する側に回るクリエイターたちのうちの「とあるクリエイター」の創作に良からぬ影響を与えることが懸念される。クリエイターの筆を折らせることは、文化の発展や、エンタメの振興にとって却って毒ではないだろうか。
絵柄や作風という、ある種クリエイターのアイデンティティに属するものを、生成ＡＩは学習によって他者が再現して、様々に利用することを可能にする。侵害に際して、クリエイターは心的ダメージを負いうるし、活動に支障がでるかもしれない。
また、個人的には、ＡＩによる生成物が社会を益しているイメージが薄い。事実と誤認させるようなフェイクニュースの生産を支えているイメージである。何の必要があって推進するのか。画像などの生成ＡＩの精度が高まれば、例えば、エンタメに利用し、作品制作

の効率化を向上させるかもしれないが、効率化を進めてエンタメに何が残るのかという気もする。クリエイター側からの意見を広く集めるべきだと思われる。

侵害に対する措置を検討されているが、まず学習を推進するような法整備が進められていくことが、やはり心配である。クリエイターの権利保護に対しての検討をより丁寧に進めて頂きたい。

●受付番号　185001345000007340

創作は日本の文化の１つだと認識しています。
創作者は日々努力して四苦八苦しながら作品を作ります。
それを著作権を無視して AI に学習させていくと、ボタン１つで似たような絵が作成できるようになります。安価で時間もかからない、使用する側はクリエイターではなく AI を選ぶようになるでしょう。手で絵を描く文化は間違いなく滅びます。
そしてこの文化が滅ぶと、学習させる材料もなくなり AI も廃れて結果すべてが滅びます。
今の日本には、多くのクリエイターが存在します。
AI に無断で学習させるというのは、その人たちの努力とかけてきた人生の時間を、許可なく踏み台にするということです。
多くの人の仕事が奪われます。皮肉にも、クリエイターがいなければ生まれることもなかった絵を描く AI によって。
そんなことが許されていいはずがありません。
AI の学習規制を切望します。

●受付番号　185001345000007341

人間が作ったものを蔑ろにし、AI で生成したものに著作権を与えてはあらゆる文化的活動は損なわれ文化の衰退に直結しかねません。現状 AI は盗作が目立ち被害を被るクリエイターが数多くいらっしゃいます。自分のものを盗まれて平気な人は存在しません。労働(創作)で得た金銭が入らない、自分のあずかり知らないところで盗作され、お前がやったのかと誹謗中傷にさらされる、等トラブルの原因にもなります。著作物の保護をやらずに AI に模倣させ放題はあまりにも非常識かつ横暴です。止めていただくよう強くお願い申し上げます。

●受付番号　185001345000007342

5(1)エ(イ)について
２つ目の〇の文中の「特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態が生じる場合、『著作権者の利益を不当に害することとなる場合』に該当し得ると考える余地がある」という意見に賛同する。
AI の作品の全体数を減らすために、個人の AI 学習の技術の使用を制限するなどの措置を設けるべきでないか。

●受付番号　185001345000007343

AI と著作権に関する考え方について　各項目意見を送らせていただきます。
2.(1)ア　〇3 項
＞"ありふれた表現"は著作物に含まれない
生成 AI により無尽蔵にコンテンツが大量生産された場合、全てのコンテンツはありふれたものとなるため著作権自体が形骸化してしまいます。
2.(1)エ
日本国法の及ぶ範囲では、個人が PC 上にダウンロードして利用できるローカルモデルの生成 AI の日本での使用が対象になると考えています。
利用者が増加すればベルヌ条約において国際的に違法となったのちも対応に実現性がなくなるため、早急に一時的にでも規制すべきと考えます。
4.＜クリエイターや実演家等の権利者の懸念＞第 3 項
クリエイターの仕事が奪われるなどという規模の話ではなく、全ての人権を誰にでも簡単に侵害できる状況が現実に起こっています。
著作権・肖像権、企業・個人の名誉、信用などの知的財産を簡単に複製、盗用、毀損して失わせることが AI を用いれば可能になってしまいます。
＜AI 開発者・AI サービス提供者等の事業者の懸念＞
研究開発においては、著作者同意のうえ提供されたデータを利用する場合著作権法で罰すべきではないと考えます。
問題は開発した物の公開、提供であり、これは国際的に生成 AI に関するルールが制定された後審査の上行うべきであると考えます。
＜AI 利用者の懸念＞に関しても同じく、現在において生成 AI を利用すべきではないと考えます。
5.(1)イ(イ)〇6 項
著作権法第 30 条の 4「当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合には」
これに疑問を感じます。
利用者がコンテンツ系の生成 AI を使用し、生成されたコンテンツが利用者の視覚・聴覚で認識された場合、目的に関わらず享受になるだろうと考えます。
例えば「享受の目的なく上映中の映画館に入りスクリーンを見ていたが、享受していないため料金を支払う必要が無い」というのはおかしい事のはずです。
享受目的であるかの証明は実質不可能であるため、結果だけに対し著作権法の適用を行うべきであると考えます。
目的の有無に関わらず過失運転致死傷罪に自動車運転処罰法が適用されるように、著作物を学習した AI でコンテンツの生成を行ったのなら著作権法で罰すべ

きです。
カ(イ)〇2 項
学習済みモデルが侵害によって作成されたものではないとするのには疑問があります。
スタンフォード大学などの調査により、画像生成 AI においては学習データに確かに著作権・肖像権で保護された画像(リーチ URL)が含まれていることが分かっています。
それにより作成された学習モデルは侵害の成果物に他ならないと考えます。
問題は、現在の著作権法に記載のない新しい形の侵害であることだと思います。
こここそ文化庁様の所轄であり、新しい著作権法の対応改革の必要がある点だと思います。
最後に
5. エ(オ)〇3 項　＞海賊版により我が国のコンテンツ産業が受ける被害は甚大
生成 AI は、海賊版をはるかに超える被害を市場に及ぼしています。消費者が無料の生成 AI を利用することは、本来市場で起こるはずだった消費が無くなることです。
例としてイラスト制作におきましては本来、10000~200000 円といったような相場がありましたが、生成 AI はこの消費を 0 円にしてしまいます。それが何万何億と利用を繰り返されている現状なので、どれほどの被害なのか予想に難くないと思います。
また、生成 AI の深刻で単純な問題として、AI 生成物が"売れない""人気が無い"という点があります。
SNS 上では AI 利用が発覚した企業が海外のアカウントから多くの批判を受けて、謝罪を行うような事態が頻発するような状況です。
生成 AI は単純に市場を破壊し利益は産みだせないもののように思えるのが現状です。
また、確認してきた被害として
・企業クリエイターの解雇、AI 画像氾濫の対応に迫られるイラスト SNS など不利益を起こす事例
・深刻なものでは、この問題に悩んだ末自死してしまったクリエイター、ディープフェイクで作られたポルノを拡散され絶望して自死してしまったモデルの女性、精巧なフェイクニュースによる混乱、名誉棄損
など多岐に渡ります。
この問題は世界的なものであり、各国家・権力団体の誠実な意志と団結が必要だと考えます。
日本文化庁様におかれましては世界に率先する姿勢で規制を進めていただきたく

願います。
何卒
何卒よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007344

大好きな作家さんの作品が、著作権を無視しておざなりにされるのは悲しいです。
日本はクール日本というように、アニメや漫画やアートの国。彼らの作品を保護せず、AI作品を無尽蔵に世に出してしまったら我が国に誇る芸術たちが失われてしまいます。
例えば、AI で衰退した pixiv というサイトなどがいい例だと思います。
このままでは、日本のアートは衰退してしまいます。
どうか、作家立ちを守るためにもう一度政策を考えなおしてください。

●受付番号　185001345000007345

生成 AI の学習利用は、著作物以外のフリー素材のみにするべき

●受付番号　185001345000007346

右も左も分からない未成年のガキですが、楽しく創作したいので送らせていただきます。
今 SNS にあるイラストや漫画たちは、それを描いた人の今までの結晶です。体や服の描き方、塗り方、色の選び方まで、その人が積み上げてきたものです。それをぽっと出の生成 AI 使用者が勝手にデータセットに組み込み、サクッと出したものに金儲けのみならず、著作権を与えるなんてことあってはいけないと考えています。それに、ある生成 AI のデータセットはその製造元の国の著作権法上では違法となされており、仮に先進国にあたる日本がそのような姿勢だと、国家が知的財産を侵害する技術を推していると捉えられかねません。それで本当良いのでしょうか？
話は変わりますが、イギリスの BBC が児童ポルノに関することを記事にしていました。その内容は日本の人気ソーシャルメディアプラットフォーム「pixiv」に生成 AI によって生成された児童性虐待の画像が大量に投稿されていると言うものです。その画像を投稿している人たちは pixiv のアカウントのプロフィールに「無修正コンテンツ」に誘導するリンクをおいているそうです。そのサイトはサブスク制でファンが創作物にアクセス、クリエイターを支援できると言うもの。そのサイト自体は真っ当なものですが、悪意のある生成 AI 使用者たちが AI による児ポ画像を販売しており、サイト運営側も問題視しており、アカウント削除などの措置をとっているそうです。pixiv 側も監視システムの導入などで対策を取っています。生成 AI のデータセットの背景にはこう言ったものもあります。児ポについてはよく議論した方が良いかと思われます。
次に生成 AI によるクリエイターさんへの被害というところに話を変えさせていただきます。現在悪意ある生成 AI 使用者によって、色々なクリエイターさんが筆を折ったり、不利益を被っています。名あるクリエイターさんが創るのをやめてしまうとこの産業の衰退は免れません。また、それを依拠としている生成 AI にも影響が出てしまうのではないでしょうか？AI の技術革新が目的の一つとしてこの素案があるのなら、ここもよくよく議論した方が良いのではないでしょうか？また、基本的に AI の学習には著作者の同意なんてあったもんじゃありません。クリエイターさんが拒否できる権利があって欲しいと思いました。
色々書き連ねましたが、この素案は作者の著作権を守る意識というのが全体的に欠けていると概要を見ても思います。AI と著作権については現行の法律では当てはめきれないのではないでしょうか？時代に沿った法を整備し、国民に不利益が行かないようにする、これが行政であり、政治ではないのでしょうか？ちゃんとクリエイターさんを守ってください！
自分なりに調べましたが、文はわかりにくいし無知晒しまくりだと思いますので、ガキの戯言だと思って流していただいて構いません。ですが、今の創作文化が大好きでちゃんと

守られて欲しいと思っている子供もいるということだけは頭の隅に置いといていただけると幸いです。

●受付番号　185001345000007347

まず先に生成 AI はどの分野においても害悪であるという立場であることを明示しておきたい。
素案の上から順に
p.7 アにおいて「新しいイノベーションの創出が期待されている」とあるが、実際は低コスト化をめざすか、同じ市場に生成 AI で出力した同じようなものしか出しておらず、イノベーションどころか文化の阻害にしかなっていない。
実際ハリウッドの全米映画俳優組合のストライキも多くの条件によって帰結した。
参照元:ttps://eiga.com/news/20231113/4/
そもそもイノベーションは違う分野の化学反応によってできるものであり、同じ分野の学習しかしない AI でイノベーションなど起こせるはずもない。そのサンプルさえ未だでていない。
更に誤情報が誤情報と知らず広まるケースもある。生成 AI が出る前からではあるが信用できない情報ばかりが出回る可能性の方が高い。
例:[redacted]
故にイノベーションは期待はできないという認識での記載をまず求めたい。
p.8 イ/ウの享受について、そもそも AI は芸術などの特徴を学ぶのだから享受できるものを出力するのは明白なのではないか。
地図などにも「図面、図表、模型その他の図形の著作物」という著作権がある以上、やはり著作権のないものを出力するのはできないのではないか。また意匠権が認められるパターンも存在する。意匠権と著作権は別物ではあるものの、もし享受に該当しない生成 AI があるなら例を示すべきである。
p.10 に生成 AI の技術的な背景が簡素に述べられているが、生成 AI が開発された思想的背景が一切記載がないのはなぜなのか。
全ての問題の発端、1 番の原因がそこにある以上、開発者にどういった意図があるか明白にすべきである。そしてそれを踏まえた上で生成 AI の規制と許容範囲内を決めるべきではないか。
原因を明白にしないままでは結局あやふやなままではないか。
またこの技術的背景も不明瞭な部分が多々ある。生成 AI の学習元はどうやってインプットしたのかがない。
検索エンジンからならシステム利用の対価を支払ってしかるべきである。また著作物を勝手にデータセットに投げての学習や「現存するアーティストの氏名等を指定したプロンプト等による生成指示」ならば著作物の利用にあたるため、著作権者に対価を支払うべきではないか。
学習拒否などの前に対価が支払われていないのではないか。

まずその対価を支払うことを開発元に明示すべきではないだろうか。
p.17~18 の作風の話だが、p.8 での意見で述べたように、創意工夫した部分などを学習するのだから享受されるものしか出力できないのは当たり前である。
また作風を模倣したことによって、その作風の商品価値・ブランド価値を貶めている点、生成 AI をつかっているという謂れなき言葉などの侮辱罪などの侵害をしているということを示すべきではないだろうか。
生成 AI と同じ作風には最早価値がなくなり、更に生成 AI を使っていないという悪魔の証明を求める事態も多々見受けられる。
例:[redacted]
ユニクロや無印が自社商品と類似した物を同じ市場に AI で出されたらブランドの商品価値が落ちるのは明白である。
クリエイターを 1 つの個人経営の会社として捉えたら事の大きさがわかると思われる。
p.35 の生成の試行回数について「生成物を確認し指示・入力
を修正しつつ試行を繰り返すといった場合には、著作物性が認められるこ
とも考えられる。」とあるが、それは検索エンジンで検索結果を確認し、入力を修正しつつ求める結果が出るまでに試行を繰り返すことと変わらず、その検索結果にも著作権性が発生すると言っていると捉えられる。
故に認められないように修正願いたい。
以上の他にも「写真・肖像権の侵害」について一切触れられていない。
ネットにアップされた写真を学習してポルノ画像を生成することも可能なのである。
例:ttps://gigazine.net/news/20230812-mindy-hyperp
声に関してはさらに深刻である。
例:ttps://www.gizmodo.jp/2023/02/voice-actors-ai-harassment-campaign.html
写真の著作権は認められているのだからこのことは触れるべきではないだろうか。身に覚えのない自分に似たポルノ写真が広まる可能性があるのなら。
以上から開発するにしても少なくとも出典元に説明と支払いの末に明記し、学習元に対してクリアにすべきと思う。

●受付番号　185001345000007348

AI 学習に反対します
学習の元となるクリエイターに対価は支払われるのですか？
正当な待遇をされるでしょうか。
無断で作品を盗まれ学習、販売される危険性が多大にあります。
AI 生成者を AI クリエイターと呼べるでしょうか。
AI の学習元は一体誰なのでしょうか。誰のものだったのでしょうか。
盗品を商品だと言い張り店に並べる盗人のことクリエイターと呼べますか？
見極め判断し、取り締まる事ができるのでしょうか。
必ずクリエイターが勝てるという確証があるかもわからないのに、自分のものだと裁判を起こすといった行動を、全てのクリエイターが出来る状況だと思えません。
著作権法は存在しています、ですが現在ネットなどで問題視されているイラスト AI 問題などは、盗んだイラストを様々なクリエイターの作品やパターンと混ぜ合わせ再出力する事により微妙な変化を出します。人の作品で学習された贋作であろうと自分の制作物だと言ってしまえば言い逃れができ判断が難しい状況です。もはや人の善意でしか著作権法は機能しないのでは無いかと危惧します。
AI 生成が活発になった事により、上記のような個人的に被害を負っているクリエイターを最近ではネットでよく目にします。海外のクリエイター達も AI 学習に反対している姿をよく目にします。今すでに収集できない状況になりつつあるのに文化省が AI を推奨するとなったらますますクリエイターの立場は弱くなるのでは無いでしょうか。
クリエイター達はすでに個人で出来る対策を始めています。作品を見る人に自分の作品で AI 学習をしないで下さいと注意喚起をし、作品に必要以上に自分のサインを入れたり、作品を限られた場所だけに公開するといった手段を取っています。しかしそれは本当に個人で作品を守る最低限の範囲に過ぎないでしょう。
クリエイターを守る手段が充分とは考えられない状況で AI 技術を推進していくという状況が理解できません。
AI による技術の向上や発展とは具体的に何ができるのですか。
芸術は文化に含まれませんか？
AI 技術発展のためには衰退しても良い物なのですか。
美術や芸術とは簡単さや便利さ、お金儲けの為だけに存在しているのですか。

●受付番号　185001345000007349

AI を使いたい側の権利ばかりで、創作側が搾取され淘汰されるとしか読めない

●受付番号　185001345000007350

画像生成 AI についてです
個人的な意見になりますが
大勢の人達が作った『著作権がしっかり存在する著作物』を無断で細切れにしつつ
貼り合わせて生み出したノイズから作り上げたものです
１つの絵を模倣したりコピーして販売したら著作権に違反になるのは明らかなのに
法整備が進んでいない今の状況では、無数の絵からイラストレーターの方の絵柄含めて模倣すれば違法にならないという現状でもあります。
また、イラストレーターの方に対して画像生成 AI を用いたいやがらせ等も既に起きています。
画像生成 AI そのものもネット上の 50 億枚以上のイラストを無断で学習して作ったものが大元です
『勝手に学習した他人の著作物の集合体』を元の著作物の持ち主の同意なしに使用している時点で著作権を侵害していると同義です。
クールジャパンを推し進めたいのであれば、日本のクリエイターのデータを
勝手に他国の人間や生成 AI 利用者に用いられた場合
国が率先してクリエイターを守る法律が必須になります。
現状では法整備がほぼ全く進んでおらず、被害にあったクリエイターは泣き寝入りせざるを得ない状況です
勝手に学習されて著作権を侵害され、さらに一部の生成 AI 利用者から誹謗中傷や嫌がらせの画像を生成されるといった被害が既に起きています。
私は著作権という知的財産を奪うことを是とする日本になってほしくありません。
そしてなにより、私の親友はデジタルイラストを描くことを楽しんでいる方ですが
その親友がなりすましを受けたり、いやがらせを受けてほしくありません。

●受付番号　185001345000007351

生成 AI の学習元の価値や人権が守られるよう、厳しい規則を設けること、無秩序で無制限な生成を違法とすることを求めます。

●受付番号　185001345000007352

昨今のイラストの投稿広告あらゆるマーケットにおいてAIイラストでの大量出品で埋め尽くされる現象が起きています。個人の手描きなどによる作品は月一年に数作というペースで作られマーケットにでますが、全く絵を描くことが出来ない人間にとっては何かの絵をコピペするような感覚で大量に毎日プロのような書き込みの数枚、数十枚を出力しトップページを埋め尽くします。ただ学習元が同じ成果似たような絵も置く、ただのマーケットの破壊になってる現状。　また明らかに著作を侵害しているような物でもわからずに大量に出品し生成者も知らぬ間に大量に侵害し、手描き作家の絵を複製販売の様にしている現状。　どんなに人のモラルに訴えようとも、転売ヤーと言われる人。海外からでもそんなモラルには気にせず大量に出力して売ろうと考えるものは必ずいます。またAIで埋め尽くされたマーケットからは手描きの絵描きは離れていきます。イナゴの様に市場を荒らすのは著作のもんだだけではなく簡単に大量に誰もが絵を生成してしまう事です。文化保護と保護をするためにも何らかの規制が必要でしょう。同じような絵で埋め尽くされたイラストサイトをご覧になってみてください。そしてそれらは絵に興味のない者、絵の修練をしていない物によって埋められていきます。

●受付番号　185001345000007353

現生成 AI は一般的に普及するのはまだまだ早い段階だと思います。1 番は使用者のモラルが追いついてない。なりすましや使用禁止分野における使用など法を作っても守らない人達ばかりなのでまず無理だと思います。
最近では絵師がなりすましにあい、活動休止、殺害予告までされたとのものもありました。そんなことをする人達に武器を与える必要はありません。

●受付番号　185001345000007354

「2.検討の前提（２）」について、生成 AI による著作物の学習は「複製権」の侵害であり、生成 AI による創作物の生成は学習元となった著作者の「同一性保持権」の侵害である。また、生成 AI によって生成された創作物は AI によって出力される以上「思想または感情」を介さない。そのため、著作権法で守られるべき「著作物」ではない。つまり、生成 AI によって生成された創作物には著作権が及ぶことがないと考える。
生成 AI への学習に際しては著作者と AI 使用者の間で契約が結ばれた際にのみ許可されるべきであり、国は生成 AI の使用を厳しく管理、制限して著作者の権利を守るべきであると考える。

●受付番号　185001345000007355

イラスト・写真生成 AI 技術に関してです。
第一に、イラスト生成 AI 技術は、すでに指摘がある通り、「学習元のイラスト」の著作権・著作者人格権を侵害しうる技術であると考えられます。人権保護ができない状態で、かつ取り締まりもしないとあれば、重大な人権侵害を国が認めていることになります。
学習元の様々なイラストの要素を抽出しつぎはぎした「AI イラスト」は、著作者人格権にある「同一性保護権」を侵害しているのではないかと疑問を抱きます。
また、もともとのイラストに酷似したものが生成されることはすでに確認されています。その状態で、例えば性風俗に関する「出力」を行い、それを第三者が元イラストを描いた人の作品であると誤認した場合、著作者の名誉を害するものであると考えられます。
第二に、写真生成 AI に関しては、写真を撮影した人の著作権のみならず、被撮影者の肖像権も侵害し得る技術であると考えられます。実際に AI を用いて偽の卑猥な画像を作成しネット上に公開するという事件も発生しています。
インターネット上にある画像を自由に「学習」し、規制もなく「生成」を行った場合、有名人のみならずあらゆる人がフェイク画像による名誉棄損をされてしまう危険性があると考えられます。本人に酷似していたとしても AI で生成された画像であり肖像権・名誉の侵害にならないとするならば、あまりにもお粗末な考えであるとしか言えません。
著作者に無断でイラスト・写真を「学習」している AI である以上、そもそも存在自体が権利侵害の温床であるとすら思えます。緩和した法律を打ち立て歓迎することはこの国が人権を軽んじているという印象を抱かせかねないと考えます。

●受付番号　185001345000007356

著作権は守られるべきものでは無いのですか?
AI の学習、複製利用を認めて作者からの異議申し立てや権利が認められなくなるのではクールジャパンなんて直ぐにクールチャイニーズに取って代わられてしまいます。
AI の学習や複製利用を許し法に問わないのであれば、それは国が作品の海賊版を認めたようなものだと思います。
素案には断固反対します。
日本の文化を本当に守ろうと思うのであれば、とてもこんな考えが出てくるとは思えません。

●受付番号　185001345000007357

著作物を権利者の許可なく対価なく生成 AI に学習させ使用することは問題と考えます。
盗んだものを掛け合わせて作成したものを発表する者をクリエイターとは呼べません。
NY タイムスも生成 AI 開発元を提訴していますとおり著作権の侵害であり権利者へ多大な損害を与えるものです。
日本の数少ない強みである創作の文化を貶める行為を認めてはなりません。

●受付番号　185001345000007358

現状の音声、画像、映像などの生成 AI は、
詐欺やマルチ商法の広告、災害や怪我をした人などのショッキングな画像を合成したデマ、
特定の作品を模倣し、そのクリエイターを装ったなりすまし行為、あるいは模倣されたクリエイターへの嫌がらせなど、あまりにもモラルに反した行為にばかり利用されています。
現行法では全くこれらの問題の解決にならず、上記の詐欺やデマ情報、嫌がらせ、なりすましなどがのさばっている状態が続いていることをとても残念に思います。

●受付番号　185001345000007359

素案 26 ページ下部にある「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ、「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によって作成された物」には該当しないと考えられる。」の部分ですが、学習に用いられた著作物の複製物と言える場合も多々見られると思います。

●受付番号　185001345000007360

きちんと規制してください。

●受付番号　185001345000007361

私の作成した創作物を何の許可なく盗作するのはやめてください。
勝手に人の絵柄使えるような生成ソフトは早急に規制してください。

●受付番号　185001345000007362

AI による生成物に著作権を付与することは著作権法の趣旨を没却し、自ら文化の担い手の首を絞める最悪の愚策であると考えます。
AI は 1 を 10 にも 100 にもできる可能性を秘めてはいますが、創作のように 0 から 1 を生み出すことはできません。
創作への完全な冒涜です。
また、現状、AI による生成物は、実在児童の性的虐待画像などが材料として用いられていることは広く知られています。
AI による生成物を著作物と認めることは、今後、日本で生まれるすべての著作物に対して、実在児童の性的虐待画像が材料になっているのではないかと疑われることを意味します。
とんでもない愚行です。
AI による生成物が何を材料にしているのか、歯止めもかけずにただ上辺の収益だけを見据えているのだとすれば、容易く反社会的勢力の収入源となりうるでしょう。
また、本来の創作物が、AI による生成物だと虚偽の報告がなされた時、見分ける術をお持ちでしょうか。
著作権と生成事業者の営業利益を天秤に掛けるなど、言語道断です。
AI による生成物が何を材料にしてきたか、文化庁は明言できるのですか。
国内のみならず国外の知的財産を害するものはひとつも含まれていないと、どのように証明なさるおつもりでしょうか。
この素案を通せば、日本の創作文化は絶たれ、世界から日本への信用は地に落ちると考えます。
絶対に反対です。

●受付番号　185001345000007363

素案を拝見したところ、今後の創作文化を守るための案なのに思い込みたいと思える文章がちらほら見え、客観性が足りてないと思いました。
個人としてはAIによる絵については楽しんでいるのですが、ただ絵が特別に上手いだけなのにAIを疑われて炎上した絵師さんや、AIで作った絵なのに堂々と描きましたとだす人を見てみると、安心してAIを楽しめる案が大変必要だと思います。
しかし、今の素案ですと絶対に安心してAI絵を楽しめる物にはならないと思います

●受付番号　185001345000007364

・生成 AI は発展させるべき技術である
・しかし生成の元となる画像・文章についての著作権が全く守られていない
上記の現状に対して、以下 2 案を提案するものとする。
案 A：生成 AI によって生成されたコンテンツにおいては例外なく、その学習元となったコンテンツが特定可能な場合、同著作者に使用料を支払う。使用料は別途検討するものとする。
案 B：コンテンツをアップロードする折に、AI 生成を認めるか否かを問う過程を各サイトに整備させる。そして上記の質問に否と答えた作品については自動的に「Mist」「Glaze」を用いて画像にノイズが入るようにすることで、物理的に学習を阻止する。
生成 AI は発展させるべき技術である。
だが発展だけを注視して創作者の権利を蹂躙することは、結果的に本邦の創作文化を衰退させ、結果的に日本文化の破壊につながりかねない。
よって生成 AI の発展と創作者の権利保護の両立を求めるべく、上記 2 案を提案するものである。

●受付番号　185001345000007365

X(旧 Twitter)で見てるだけなのですが
AI 絵によってとある絵師さんの嫌がらせや
絵師さんのやる気を損なっている見たいで悲しいです

●受付番号　185001345000007366

AI と著作権に関する考え方について
AI 使用側が商業利用され利益を得ようとするのであれば、その収集されたデータ一つ一つに著作権保有者からの許諾及び著作権保有者への相応の対価は支払われるべきであると考えます。
Pixta や Shutterstock など有料で画像を配布、商業利用許可をだしている画像ですら、gettyimage や Shutterstock がデータ収集元だとされるような使用料を払っていれば表示されないサインがついた AI 出力画像が出てしまうという事案があったように、料金を支払われることなくデータ収集され利用されているのが現状であり、画像サイト側やその画像サイトに出品している側から見れば規約無視をされてしまっている状態です。
あくまで一個人の感覚ではありますが著作権保有者への対価を払うことなく AI で利益を得る事と万引きなどの窃盗したもをインターネットオークションに出品することの違いは何かという問題もあるように思います。
元の著作権保有者が誰だかわからないほどデータを収集しているのでという言い訳は、誰の家かわからないが不法侵入し窃盗を繰り返したが余罪が多すぎて元の持ち主が分からないと発言しているのと同意義ではないのか。
著作権保有者が分からず、使用許可を得られないデータは使わない、許可を貰えて改めて学習データとして採用とすべきではないでしょうか。
AI 技術者側としては手間がかかるなどの反感はあるかもしれませんが、著作権保有者自身はその手間の対価を既に支払っている状態であり、だからこそ権利を保有しているもので、それを AI 学習としてデータを利用したい側、特にそれを無償で搾取しようとしているのであればその言い分がまかり通るものではないと考えます。
無償でデータ収集をしたいのであれば AI 側も一切の利益を得ずびた一文とも収益を上げず無償で技術提供すれば公平ではあるかもしれませんが、それで得するのは著作権保有者でも技術者でもなく第三者である利用者だけで、双方ともに利益を得られないという状況はただ軋轢を生み出すだけで技術の進歩も何もないでしょう。
昨年岸田総理大臣の映像及び音声を利用した悪質な動画が配信されたことがありましたが、当時はまだ偽物であると分かりやすい加工だったものが今後 AI 技術の発達により本物と見紛うような偽情報が流布され情報操作や政治混乱を招くことは想像に難くないものであり、これは政治のみならず芸能、個人に至るまで脅迫、でっちあげが容易活安易にできてしまう問題があります。
話題になるためならば逮捕されることなど後先心配せずにただ注目を集めるためだけにあのような映像を作り出す人間は今後も出てくる可能性があります。
映像にとどまらず画像においても同じことであり、捏造写真なども簡単に作れてしまい、裁判に提出される証拠品ですら疑わしいものになることが予想されます。

現状良い事に使われるよりも、良くも悪くも話題や自分が注目されることのために利用されていることが多く、技術の発展の為よりも嫌がらせが前提の私利私欲に使われているばかりであり技術の発展につながるように感じられません。
何よりもそのうち AI ででっちあげたデータをさらに AI が学習したデータが積み重なっていくことの危険性なども考慮すべきではないでしょうか。
ChatGPT が正確ではない医療知識を提示する等完璧でないように、同時に利用者が知識不足で誤情報をうのみにしその内容を信じて誤った医療知識を実行したり広めたりという事態もあります。
画像データ収集においてもいくつかの有名な画像生成 AI の学習元に膨大な画像データの中のごく一部と言えど児童ポルノがデータの中に含まれていたという問題があったように、AI の学習データとして裏で本物の児童ポルノ画像が取引され、「架空であれば許される」という名目で本物の児童を利用して学習させたＡＩ画像をあくまでもフィクションでありただの絵であるからとの言い訳をして堂々と市場展開する可能性もあり、そういった部分においても収集データ内容を監視すべきだと思います。
多言語翻訳機能や医療技術等の分野では良い方向へ進歩しているものもありますが、映像、画像、音声データについては悪用されないためにも第一に明確な法整備、ある程度の規制、著作権保有者と AI 技術者及び利用者への相互理解、特に著作権保有者への補償、AI 側はどういったデータを学習しているか、AI の学習データに使われることに同意した著作権保有者だけでなく（利用する AI 技術の内容にもよるが）AI 利用者側等もどういった利用の仕方をしているか等全ての情報を開示及び第三者に閲覧できる状態にし透明性を示すことが大切ではないかと考えます。

●受付番号　185001345000007367

生成 AI に関する新たな技術について、AI によって生成された作品をいかなる場所を問わず、公共の場所に発表ないし転載、投稿した場合において、金銭のやり取りが生じた場合や名誉毀損に当たる使用方法を行った場合において、AI 作品の生成元となったデータの作品群の全記載や版権の許可証などの提示を義務付ける他、無許諾と判断されたものについては、全て著作権と著作者人格権、知的財産権に基づく違反行為として罰則するべきだと思います。

●受付番号　185001345000007368

個人の創作物は個人の財産である。その財産をAI学習に利用されて学習元の作者に何の利益も見返りも無く、保護も無いのはおかしい。
現在、AI学習に使われている絵は作者に無断で使用されているものであり、特定の作者の絵柄を抽出できてしまう上に作成したAI絵を学習元の作者に対して成り代わりや侮辱、誹謗中傷などの用途で使われてしまっている。
学習元の作者が得るはずだった利益がAI絵によって奪われてしまっている。これは泥棒と変わりはない。イラスト、創作市場においても学習元の作者の価値を格段に下げ、市場全体の規模の縮小や存続に関わる重大な事態だと考える。
日本はオリジナリティ溢れる多彩な創作が現在まで行われており、それは世界に誇れる事であると思っているが、イラストという作者の財産を著作権を法律などで守らないと今後衰退する一方で何も残らないと思う。

●受付番号　185001345000007369

・意見対象箇所
（３）生成物の著作物性について
イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
人間が、AI 生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分
・意見
創作的表現と言える加筆・修正について
生成物の色調を多少変えたり、反転や変形するだけで著作物性を主張される恐れがあるので
どの程度加筆・修正すれば著作物性が認められるのか、具体的なガイドラインの文章を追加し、著作物性が認められる範囲が明確になるようにしてほしい。

●受付番号　185001345000007370

現在ネットに出回っている生成 AI 画像の多くは、使用者自身ではなく他のクリエイター達が創作、製作した著作物を、著作者に無断かつ無許可で収集し生成したものである。勝手に学習に使用されてしまったクリエイターの中には無許可の無断学習のせいで著作物の公開をやめてしまったり、製作や創作自体をやめてしまった人もいる。
最近も生成 AI 使用者による無許可の無断学習と、さらにその使用者のなりすましのせいで SNS での活動を無期限休止に追い込まれてしまったクリエイターがいた。そのなりすまし者の周囲の人物たちも「それ(生成 AI の無断学習となりすまし)の何が悪いのか」と開き直るような言動をしているものがいる。事実生成 AI 使用者の多くは他のクリエイターの著作物の無断学習に対する罪悪感が無い者達が多い。こういった傍若無人な生成 AI 使用者たちは海外でも「AI 詐欺師」と呼ばれて嫌悪されている。
ネットの画像検索欄は多くの生成 AI 画像(イラストや写真等)で汚染されてしまっているような状態である。例えば動物の写真を検索しても、きちんとした写真画像に混ざって生成 AI 画像が混ざっていて、正直に言って非常に邪魔である。
著名人の写真を使用した生成 AI 画像を使用したものや、災害の画像を生成し、しようしたフェイクニュースの問題もあった(トランプ元大統領逮捕や静岡の水害にかこつけたフェイク画像等)
勝手に学習、粗製濫造されてしまっていては多くのクリエイターが創作をやめてしまうし、趣味で創作をしている人達も AI 学習の被害に遭い、一つの文化が死んでしまうように感じる。
素案の"AI 学習によって作成された学習モデルは学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる"という部分は、正直生成 AI 使用者たちの願望が透けて見えてとても不快である。生成された画像は学習データである著作物のツギハギでしかなく、それに少し手直しを加えたのみのものを自身の著作物と主張するものも現時点で存在すること自体不快でしか無いのに、それを肯定するような素案を自分は肯定できない。
クリエイター達が各々積み上げてきた技術や努力を軽んじ、侮辱するような生成 AI の現状の為に、それらの生成、使用に関して厳格な法整備などをするべき
例)生成 AI に著作物を学習させるには、自身の著作物を使用する、又は著作者が許可したものに規定の料金を支払って使用する…等
この問題は重大かつデリケートなので、慎重な精査をおこなって欲しい。自分も一人の創作者として、多くのクリエイターの人格や技術が守られることを強く望む

●受付番号　185001345000007371

AI やめてください、私の作品は我が子です。我が子が踏みにじられるのはとても耐えられません。

●受付番号　185001345000007372

AI の普及によりイラストレーターだけでなく漫画家といった、創作に携わるあらゆる方の職業の存続が危ぶまれます。
更には人の手で、努力と時間をこめて描かれた、創作者の命が吹き込まれた全ての創作物を価値のないものに変えてしまいます。
世界に誇る文化がこんなことで廃れるのは恥でしかありません。
守らねばならないものを履き違えないでください。

●受付番号　185001345000007373

あまりこういう政治的な活動に詳しくなく、不備や失礼があれば申し訳ありません。
AI の利用、データの収集からイラストレーター、漫画家、デザイナー等絵描き事業や字書き達を守る法整備を進めてほしいです。既存の活動家やその芽を潰す、AI を悪用する人間をどうにかしてほしいです。実際に AI を活用した嫌がらせで筆を折った人を何人も見ました。
研究をやめてほしいとはいわないです。でも最低限国が絵描き字書きを守ることくらいはしてほしいです。

●受付番号　185001345000007374

現段階では利用制限はもっと厳しく制限し、狭めた方が良いです。
「AI 学習の為読み込ませるデータ(著作物)は作成したクリエイター本人か、本人の許可が下りたと明示されたものに限定するで良い」と考えています。
そもそも人間が作ったものと他人のデータを読み込んで生成したデータを同じ土俵で比べること自体に無理があります。
然るべき団体での文化材などの保護・復元活動に留める等でも問題ないのではないでしょうか。
著作権者の利益を不当に害することとなる場合について、「AI 学習のための著作物の複製等を防止する技術的な措置が講じられており、かつ、これらがデータベースの著作物の一部として将来販売される予定があることが推認される場合」とありますが、全ての著作物は販売目的に制作されているわけではありません。
また、「アナログの作品をデジタル化しての盗用も考えられる」「創作者のなりすましや嫌がらせなどにも AI 学習とその生成物が使用されている」等、著作権者とその創作物への権利侵害の有無は金銭面のみでは測れません。
現在の著作権法に則していないものと考えます。
目先の利益だけに囚われず、もっと金銭面だけでなく創作物と創作者の人格を守るものとなるようご再考ください。

●受付番号　185001345000007375

・生成 AI がでてきたことにより、どれだけ素敵なイラストをみても毎回 AI の描いたものではないかと疑心暗鬼になってしまい絵を見ること、そして絵が上手くなったところでどうせ見つかれば生成 AI 利用者の餌になってしまうと感じて絵を描くことが楽しめなくなっている。
昨今ではフェイク画像も本物なのかどうか分かりづらくなってきてあるものもあるため、もし悪意をもって自分のディープフェイク画像を作られてしまったらと考えると女性である身としてはとても不安。
以上のことから今のような誰でも自由に使えてしまう状態ではとても AI を認めることは出来ません。

●受付番号　185001345000007376

以下、意見提出いたします。
＞５．各論点について
＞（２）生成・利用段階
＞（イ）依拠性の考え方について
>2 AI 利用者が既存の著作物を認識していなかったが、AI 学習用データに当該著
>作物が含まれる場合
学習・開発では既存の公開学習済モデルを用いた追加学習を実施し、サービス事業者が事業提供することが今後も主流になると想定される。
検討の前提にも記載があるが、公開学習済モデルでどのような著作物を（海外における適法の範囲を含む）学習したか網羅的に同定することは困難と思料する。
＞キ 侵害行為の責任主体について
利用者と開発者、サービス事業者の責任をさらに整理すべきと考える。
悪意のある利用者がいわゆる狙い撃ち LoRA などで著作権侵害を行うに当たり、開発者が提供するツール（適法に使用する想定の追加学習ツール）を悪用する事例の発生が想定される。
このような場合に利用者には責任はあると思料するが、一方で開発者に対し、著作権法違反幇助での立件が濫用される事態は避けるべきである。
イ 2 項に記載した内容に加え、キ 23 で技術的な抑止を根拠としているが、通常事業者側は規約として著作権侵害としての生成利用を禁止すると想定される。
規約を自主的に制定して違反者へ対処する前提において、技術的な抑止（例えば、特定の著作権を有する画像を有意に特定できる指示表現のプロンプト受付拒否などが想定される）が網羅的でなかったとしても直ちにサービス事業者の責とならないよう整理する必要があると思料する。
総じて「技術的に不可能ではない」ということのみを理由に開発者やサービス事業者に対して著作権侵害と司法の側が判断することは避けるべきである。
継続的な対処行動の欠落などの判断要素も考慮するべきではないか。
・現状の生成 AI におけるプロンプトの理解、指示の範囲は広いとは言えない。
そのため、著作権侵害を企図していない範囲で描写表現指示の手法として著作権者名、著作物名を使用するケースが想定される。
この場合、生成物として当該著作物に過度に類似していない場合は著作権侵害にはならないはずである。
技術的な進化過程での生成 AI 側の指示理解能力不足からなる問題と、悪意ある利用者による意図的な著作権侵害行為は区別されるべきと思料する。
＞コ 学習に用いた著作物等の開示が求められる場合について

依拠性の有無については原則、被疑侵害者側が立証すべきであると考えるが、文書提出命令、ないし文書提出嘱託にて対応となった場合の提示範囲についての検討が必要ではないか。
>（３）生成物の著作物性について
>ウ　著作物性がないものに対する保護
・生成 AI の産物であると称して他者の著作物を加工編集する行為の発生が推測される。生成 AI の産物であると推量することは自由だが、個人の決めつけによって他者の生成物を生成 AI による生成物と断定して著作権侵害する事例を懸念する。
・著作権者を保護するための仕組みとしては既存の法案で一定程度充足すると考える。対して、著作権者ではない、ないし直接の利害関係にない第三者が生成 AI を利用したサービスについて正しくない知識、思い込み、誤謬をもってネガティブキャンペーンを行い、結果サービス事業者側がサービスを中止せざるを得ないケースが残念ながら既に国内で発生している（mimic の例など)。健全な業界の成長を図るためには生成 AI を利用する側に関する整理と同様、デマ・誤情報に基づいたサービス事業者、生成 AI 利用者への攻撃に対する刑事・民事での対抗手段拡充を検討し、不適切、不法な阻害行動を実施させないよう整理する必要がある。
>（４）　その他の論点について
・海外では法廷の問題ともなっているが、生成 AI による著作物の利用費について現在はまだ適正な価格帯が検討中の段階であり、この利用費は専ら市場原理のもと調整されるべきであり、我が国においても現時点では法の下に規定される段階ではないものと思料する。
>６．最後に
（３）ウ項記載の通り、悪意ある利用者による著作権侵害への対処は今後必要である一方で、根拠なき流言飛語による生成 AI 利用者やサービス事業者への加害行動への対処も必要となってくると思われる。
諸外国において著作権を踏まえた行動は国内とまったく同じ対応とはならないと想定される。
一方的な規制強化は単純な技術格差を呼ぶだけでなく、海外拠点を主体とした新たな海賊版行為の蔓延、外資への資本流出ともなり得る。
各国著作権制度との調和ももちろんであるが、技術的進歩の国外流出を極力抑えつつ、守られるべき著作権者は適切な範囲で守られるような議論継続を期待したい。

●受付番号　185001345000007377

他者の著作物の使用には、その著作権者への許可や合意を得るという当たり前のことをやらなければいけない。この無法振りに対して声をあげている人ヶに耳を傾け、苦しんでいる人に寄り添っていくべきだろう。

●受付番号　185001345000007378

現実問題生成 AI を使用し、現在活動されている作家さんそっくりなイラストを生成し
生成者も本人も似てるという認識を持ちながら、作家の訴えを耳も貸さず他の生成 AI を
使用する人たちを先導し、作家を休職に追い込みました。例として「[redacted]」という方が生
成 AI 使用者から殺害予告を受けてます。
培ってきた技術で活動していた作家が休職し、技術のただ乗りをしている生成 AI 使用者
が守られるのは道理がいきません。
無断で使用されない、作家が使用不可としたデータは使用不可を鉄則する法案ができるま
では生成 AI は反対です。
または生成 AI を使用することは可としても公開は禁止、それによる商用利用も禁止など
の条項をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007379

現在活動されているイラストレーターの方の中には、自身の絵をインターネットを通じて勝手に AI へ学習させられその人の大切な技術を盗まれている人がいます。SNS を見た限りでも AI イラストでは有名なアニメーションに酷似した作品も多く見受けられます。イラストに限った話ではなく、世界で日本から生まれた作品が賞賛され愛される中でこのように日本の創作物が蔑ろにされるような考え方を国が発表するのは如何なものかと思います。

●受付番号　185001345000007380

AI を音楽・美術・文学など著作権の発生するものに関することに使用するのは、かなり慎重にしてほしい。安易に AI を取り入れず、作成者(プロアマ問わず)の著作権が決して侵害されないようにしてほしい。

●受付番号　185001345000007381

クールジャパン戦略における生成 AI の利活用の促進策は絶対に廃止すべきものと思われます。なぜなら、以下に述べる通り、生成 AI は必然的に市場規模を縮小させる結果を生むと考えられるためです。

政府はクリエイティブ産業への積極的な政策的介入を止め、クリエイター等への税制上の優遇措置やインボイス制度の適用除外等の措置を講じるべきである。

CJ 戦略と生成 AI 利活用促進策は相容れないものであり、生成 AI の持つリスクを考慮すればむしろ CJ 戦略の一環として積極的な規制をすべきである。

●受付番号　185001345000007382

私は AI 技術に興味を持つ側の人間です。
このため『大手を振って生成 AI を使えるようにどうするべきか』の
観点で本コメントを提出いたします。
残念ながら、今回の素案は著作者に受け入れられるものではないと感じます。
（実際に創作者のコミュニティーで炎上しているさまを確認しました）
まず、AI 生成物に対して『加筆修正を加えたものに著作権が認められる』は
論外と考えます。
『盗作に対して手を加えたら著作権が認められる？　国が盗作を認めるのか？』と
考える創作者が大半です。
大多数の創作者が『生成 AI は盗作』と認識しています。
創作者だけの主張ではなく、世間的にもその認識が広まっています。
例えば創作物の販売を扱うサイトでは
『生成 AI による出品は禁止(使用者は追放)』とされるサイトが多いです。
『法律どうこう関係なしに、生成 AI を使った創作は悪で、
　それを使う者も悪人』とみなされる状況です。
また、『創作的表現が加えられた』と判断するのはどなたでしょうか？
『盗作に少し手を加えたら俺の著作』と考える者が大量に現れると思います。
残念ながら生成 AI を使用する側の中には、
著しく一般常識やモラルが欠けている者も存在します。
この文章を悪用する者が絶えないと思います。
そもそも現行の生成 AI 自体が、著作権者の権利を侵害している認識です。
著作と関係ない第三者が、著作権者の許可を得ないデータで学習を行い、
そのモデルで生成したものを公開・販売して利益を得ている。
これで『著作権が侵害されていない』と主張するのは無理があると感じます。
ニューヨークタイムズ社が OpenAI 社を提訴した件はご存じかと思います。
芸術に限らず、『著作者を無視してデータを活用することは泥棒と同じ』
という考えが浸透し始めている認識です。
この流れは、たとえ
『著作権者の意向関係なしにデータを生成 AI に使用するのは合法』と
法律で定められても変わらないでしょう。
『法律がおかしい、この法律を考えた者は何を考えてるんだ？』と
糾弾されるだけです。
私は合法に AI を使いたい側の人間ですが、
このような状況ではとても手を出すことはできません。

シンプルに『著作権者から許可を得ていない情報を使った AI は違法』で
よいのでは？と思います。許可を得ればいいだけです。
『著作者に対価を払わず利益だけ得よう』と考える者が多いから
炎上するのだと思います。この流れを止めていただきたいです。
『AI に関する法律の規制を緩くする』という考えではなく、
むしろ厳しくして欲しいです。
『著作権者を守り、著作権者を害しない形で AI を使える』よう
法整備していただきたいです。
そうしなければ、私のように生成 AI を使いたいと考えている人間も
安心して生成 AI を使えません。
最後に。生成 AI サービスを提供する事業者には、
著作権者の許可を得ることに加え、学習に使用したデータの取得元を
開示していただきたいです。当然虚偽の申告には罰則を科していただきたい。
でなければ生成 AI サービスの利用者が著作権侵害に加担することになる他、
児童ポルノなどを含んだ生成 AI を知らず知らず使用する危険性が生まれます。
……おそらく創作界隈から厳しい意見が多数寄せられているかと推測します。
それも予想されていたかと思います。
にもかかわらず、このようなパブリックコメントを寄せる場を
設けて下さりありがとうございます。
個人的には、誰かの権利を侵害せず、
気持ちよく生成 AI を使用できる日が来ることを祈っております。

●受付番号　185001345000007383

１）生成 AI について 特に(ウ)
「学習データの切り貼りではないとされる」とありますが、自分自身が描いた・書いたものでない他人の作成物を AI に学習させ、特定の作風を組み込むよう意識させて生み出した作品は十分切り貼りと言えると思います。そういった指示出しをシステム側で拒絶できるようにしたとしても、全ての生成 AI ツールに適用できるとは思えないので、まず自作物以外を学習させて創作に生成 AI を使用することを禁じて欲しいです。
どんな絵・音楽・小説・写真その他全ての作品はクリエイター(被写体含め)が葛藤し、より良い作品を作るために頭を捻って自らの手を動かして生み出した大切なもの。それをクリエイターの生みの苦しみも察せず、他人の作った作品データを学習させた AI で「自分も創作者だ！AI 創作者のことも考えろ」と主張したとて、人の褌で相撲を取る行為です。こんなことがまかり通るようになってしまうと日本のサブカルチャーは確実に衰退するでしょう。
ハリウッドや世界各国でなぜこんなにも生成 AI が危険視されているのかもう一度正確に把握してください。
日本のクリエイターと彼らから生み出される素晴らしい作品をこれ以上失わないために、私は今案件に反対します。

●受付番号　185001345000007384

一創作者です。
AI に関しては賛否両論あるものと思いますが、『原作者(著作第一人者)』の人格権・著作権を差し置いて AI による作品に権利を置くのはおかしいと感じ相乗致しました。
AI とは、今まで絵画・文章等で作品を形にしてきた人間の作品を【踏み台にして】作品を作り上げる物と認識しています、所謂【二次創作】の亜種です。
それに権利を与えることを、私達クリエイターは望んでいません。AI はあくまで『二次創作』内でのみ権利を与えられるべきです。『一次創作』は他の何ものにも代えがたいもので在るべきです。でなければ、『一次創作』は衰退し、AI の模倣するべきものすらなくなってしまうでしょう。
文化庁著作権課の考え得る『著作権』とは何でしょうか？
(現存)オリジナルの作品よりも、【現存(オリジナル)の作品をデジタルに集合して得た作品】に権利を与えたいと思うのは奇妙ではないでしょうか？
故に、AI によって生成されたいかなる作品においても、『著作権は適用されない』と主張します。二次創作以下のモンタージュに権利を付与しないでください。

●受付番号　185001345000007385

１．はじめに
筆者はイラストレーションを生業とする 20 代の個人である。
法律等の専門家ではないため、陳情・要望がメインのコメントとなる。
２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
ア著作権法で保護される著作物の範囲　についての意見
・現状の生成 AI でつくられたデータでは要件 2 を欠く『誰が表現しても同じようなものとなるありふれた表現』であると感じている。
ウ権利制限規定の考え方　についての意見
・無許諾で収集されたデータを金銭享受又は思想又は感情の享受を目的として SNS で使用する者を多く見聞している。こちらへの規制が先であり、その中での公正な使用をすることが必要である。
４．関係者からの様々な懸念の声について
（ア）使用者のモラルに拠った使い方で傷つくケースを見聞している。
・使いたい人にとっては便利な道具になり得るかもしれないが、悪意を持って使用し人を傷つけようとする人がいる。加害者が有利になるような法律を作るべきでは無い。
・銃刀やインターネットなどと同じように、道具を使って人を傷つけようとする者がいる現状には規制が必要だと感じる。
（イ）自身で出品している作品/商品と明確に競合するものが既に出てきている。
・筆者が 1 枚あたり 200 円の値をつけてダウンロード販売しているイラストレーション商品の AI で生成された競合商品は 50 枚 580 円で販売されている。競合商品を 1 枚あたりの円に換算すると 11.6 円である。
・これまでの市場・文化の発達であれば考えられないような急激な価格崩壊、市場破壊である。
自分の手で生み出すイラストと、AI で生成したイラストではかかる人的コスト・時間的コスト・費用的コストが雲泥の差である。正常な市場競争になり得ない。
・この競合商品は『AI を使用したイラストであることを明確にしていない』。
イラストを描き慣れて/見慣れていない者には見分けがつきづらいため、せめて購入者に AI 使用イラストであると明示することを義務・努力義務とするような規制法案を求める。
（ウ）精神的苦痛と先行きの不安と将来の悲観を非常に感じている。
元々うつ病を患っており月に一度以上心療内科にも通院しているが、自分と自分の絵を守るためにと情報を集めることにも苦痛を感じる。
・このコメントを書くためにも随分と情報を集め、疲弊し、希死念慮から自殺願望を発している。

・情報を集めずに意に沿わない自作の使用法を取られたら誰が責任を取ってくれるのだろうか。素案にはその明記すらない。
・筆者は絵を描いて生きていけないのであれば命も要らないと考えている。
・政治が守ってくれないのなら自分を殺す以外に誰が守ってくれるのだろうか。
人間ではなく機械を守るために委員会を開いていらっしゃるのだろうか。
これを守ってくれるのは著作権及び著作者人格権だった。
現行の法律の穴をついて我々著作者が不当に被害を被るような法案は必要ない。
・本来であればこのような過激な文章を公共の場に送りたいとは考えない。
これが最後の機会かもしれないため、この場に送付することで意思表示とする。
このままにしないで欲しい。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
・研究を目的（非享受目的）としてのデータ収集が認められているのは存じているが、商業目的に公開するというのは享受目的にあたらないのか。金銭を享受するのであれば著作者への不当な権利侵害だ。
納得のいく説明を求める。
・元著作物の市場に大きな影響が出ることがわかったのだから個々に許諾をとるべきだ。
（２）生成・利用段階
・既存の市場と競合するような生成物を生成してしまうことこそが既に問題だ。
（３）生成物の著作物性について
・認めるべきでは無い。
・人間が生み出した作品であれば責任の所在がはっきりと分かるが、本素案ですら責任主体がはっきりしないようなデータを著作物と言えるのだろうか。人間であればそうは認められない。
・人間が機械を使う立場になければならないはずだ。人間に複製をして市場に流す権利が無いように、AI や AI を使用したイラスト、それを生成した利用者にも複製して市場に流す権利を認めるべきでは無い。
（４）その他の論点について
・学習に用いられたデータに含まれる著作物の削除を求められるかの実現可能性に課題があるならそれを解決するのが政治とそれを生み出した者の責務である。不当に権利を害された者が害されたまま放置されるべきではない。
・著作者等への対価還元という観点について
は、享受目的の用に供するために著作物を利用した者からは利益が害されている。即刻認識を改めて頂きたい。
６．最後に
・既に諸外国との調和は取れていない。即刻認識を改めて頂きたい。

●受付番号　185001345000007386

生成 AI の素材となる絵や文は人間が作り出したものであり、無から生まれている訳ではない。作り手の保護が最優先と考える

●受付番号　185001345000007387

＜クリエイターや実演家等の権利者の懸念＞、【著作権侵害の有無の考え方について】
記述されているような懸念だけではなく、生成 AI の利用者によって下記のようなクリエイターの方々が執拗な誹謗中傷や殺害予告を受けるなどの事例をここ一年でいくつか目の当たりにしました。

[redacted]

こういった事例が発生するのは、生成 AI という技術が誰でも簡単に利用できてしまうという現状によるものだと思います。データを学習するのはあくまで生成 AI であり利用者ではないため、クリエイターと比べると簡単に著作物を制作できてしまいます。
AI による学習を望まないクリエイターに拒否権がなく、そういったクリエイター側の感情や意見が悪質な利用者によって土足で踏み躙られる現状はあまりにクリエイター側に不利なように感じます。
生成 AI も学習元のデータがなければ作品を生成することができません。フランスや EU などが危機感を持ち規制を進めている中で生成 AI に対する規制を緩和し無闇に「推進」する日本の姿勢は、一部で生成 AI によって人間のクリエイターが苦しめられている状態を野放しにしており、こんな状況が続けば日本だけではなく世界の文化・芸術が衰退していきかねません。先述した通り AI 学習に対する拒否権だけではなく、生成 AI による作品には「生成 AI による作品であると明記する義務」、また違反者に対する厳格な措置などによって新たな技術の推進だけに目を向けるのではなく、「クリエイターを保護」していくことがゆくゆくは生成 AI、クリエイター両方の発展に寄与するのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007388

【項目名】
5.各論点について
(2)生成・利用段階
【著作権侵害の有無の考え方について】
（イ）依拠性の考え方について
「生成 AI の場合、その開発のために利用された著作物を、生成 AI の利用者が認識していないが、当該著作物に類似したものが生成される場合も想定され、 このような事情は、従来の依拠性の判断に影響しうると考えられる。」と書かれているが、
著作権侵害の有無の判断が、"生成 AI を使う側の認識の有無"に委ねられるというのは、もし悪意ある AI 生成者だった場合には譲歩していることになるのでは。
生成 AI はそもそも学習元となる作品（人間の創作活動による創作物）が無いと成り立ち得ないものであるため、クリエイターの知的財産権である著作権を保護し、"人間の"創作活動を阻害しないことが最優先である。
今回の内容では、生成 AI の使用者に対する注意事項の記載ばかりが目立ち、著作物を利用される側の著作権や著作者人格権にあまりにも配慮されていないと感じる。
生成 AI の使用者に著作物を利用する権利や著作権侵害を回避するための情報を渡すのではなく、生成 AI に著作物を利用される側に、著作物の生成 AI 利用可否や判断を委ねる必要があると考える。
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】にあるように、今現在、「画像生成 AI に新しいイノベーションの創出を期待し、それを推進すること」が、これまで文化の発展に力を尽くしてきたクリエイターの自由な創造の妨げになっている。
この現状を踏まえた上で、著作権侵害に対する措置や程度の判断に関する記述が曖昧であるため、その点について再考と詳細な説明を求める。

●受付番号　185001345000007389

絵、写真といった著作物を制作する個人の立場で本素案を読み生じた疑問点、追加検討の必要性に関して以下にその指摘をする。尚、本意見に関しては自身に関わりの深い画像生成に関するものである。
〇3-(1)-ウ「学習データの切り貼りではないとされる」
根拠及び定義が不十分である。生成 AI が学習データのどこからどこまでを一つのパターンとして定義するかによっては学習元となったデータそっくりの劣化コピーともとれる生成物が生成されることがあると考えられ、既にもとになった著作物に似すぎているという指摘が出てきている。切り貼りの定義付けと切り貼りではないとする根拠の明示が必要である。
〇5-(1)および 5-(2)
「学習・開発段階」と「生成・利用段階」に分けて著作権侵害となり得るかの検討がなされているがその間に「学習済みプログラムの頒布・提供段階」についての検討が必要だと思われる。
著作者の許可を得ずに著作物を学習データさせたプログラムを有償無償を問わず享受目的を含む使用が想定される一般の利用者に使わせることは著作者人格権の侵害に該当し得るのではないか。
著作権者の許可を得ずに著作物を学習させた（生成物が著作権侵害になり得る）生成 AI プログラムを広く利用できる状態にする事は学習データに用いた著作物の権利者の著作者人格権を無視している可能性についてより深い検討が必要であるように感じる。
開発段階における著作物の利用に関する権利制限規定の解釈は理解できる所があるが、頒布段階において頒布するプログラムの学習データ内に権利者の許諾の取れていない著作物が含まれている事が問題でありそれにより生成 AI の利用が著作権侵害となり得る可能性を否定できない点について法整備を行うべきである。
〇その他
本素案から少し外れるところではあるが、生成 AI による生成物を使用したフェイク画像等による情報汚染防止や、著作権者による申し立て先の明確化の為に生成 AI の生成物であることを表示する義務が必要であると思われる。技術の健全な発達の為にも現状既に発生している誤った情報の拡散の要因となっている点に関して早急な法整備が必要ではないだろうか。
以上。

●受付番号　185001345000007390

生成 AI の作品は全て著作権侵害の対象するべきです。
データ群に著作権主張者の作品が存在した場合、裁かれるべきです。
ここで言う「生成 AI」とは、合意を得て収集したデータ群のみに依拠しないものを指します。
この素案は生成 AI の出力結果に寄っており、生成 AI を用いた無断のデータ収集に対してお咎めなし、のように解釈できます。
素案ではある一作家に出力結果が似すぎなければ基本的に著作権を侵害していない、という内容と解釈できましたが、反対です。
この出力結果は複数作家の著作権を侵害しているだけです。
生成 AI は、著作権主張者がデータ収集対象になっていた場合、親告があれば著作権侵害となるべきです。
不利益になるかどうか判断するのは著作権主張者であるべきです。
生成 AI はダメなのに同人誌等の二次創作は許されるのか、という意見もあるかと思いますが、これらは認知されていてかつ黙認されているから文化になっています。
二次創作が黙認されているのは大元のコンテンツの利益になっているからです。
現在の生成 AI が利益になるのであれば黙認されます、これが難しいと思うのであればこの素案は不適切です。
生成 AI に対する加筆、修正に関しても同上です。
結果的に創作的表現になっているからセーフ、にはならないです。
この考え方は所謂加工師と同じです。
他人の作品を無断で自身の思うより良いように修正し、自身の著作物として発表するのは最も侮辱的な行為です。
生成 AI そのものを否定しているわけではありません、合意を得た著作権フリーのデータ群のみで機能させることで生成 AI という技術自体は失われません。
合意を得たデータ群のみでは機能しないというのであれば失われるべきです。

●受付番号　185001345000007391

AI によってクリエイターの作品が多く棄損されています。
AI 画像生成並びに AI 全般に反対いたします。

●受付番号　185001345000007392

作品を鑑賞する側の意見です。
人から生み出した作品はイラスト・絵画・音楽・動画等全てにおいて、AI から守るべきだと考えます。
AI は言わば著作権のある作品から無断で模倣・使用しており、更にそれで金銭を得ている者が一定数おります。
そういった者達を徹底的に取り締まるべきだし、日本の文化を守るためにも絶対に AI を商業目的で利用し、尚且つ無断で他人の作品を使用して模倣する者達から、著作者を守る法律が必要です。
また、鑑賞する観点から見ても、AI で作成されるものは全て同じ様なものばかりなのと、見ていて気持ちが悪いです。
これを作品と呼ぶのはおかしいと感じます。
AI で作られたものに著作権は現時点では全く必要ないと考えます。
日本で作られた漫画・アニメ等で経済が回っている今日、疎かで愚かな判断をせず、必ず熟考し、著作者達を守る務めを果たしてください。
国民の税金で大金を得ているにも関わらず、怠慢な政策・自分達の利益しか考えない政策は断固反対です。
国民達の未来を考えて下さい。

●受付番号　185001345000007393

表現に至らないアイデアなどこの世には存在せず、AI に学習させるために勝手に使っていい文章も画像もこの世の中には一つもありません。私は私が書いた文章、イラストや撮影した写真を勝手に学習対象にされ得る事を、全く許容できません。
これはプロアマ問わず、あらゆる創作を行う人の権利を侵害します。絶対にやめてください。

●受付番号　185001345000007394

誰かの作品を勝手にAIに学習させ、新たに作品を生成させることは元の作者に対する冒涜と考えます。AIは既存の作品を捏ね繰り回し、合成物を作っているにすぎません。元の作者への敬意は無く、著作権も無視して、ただの学習素材としてしか見ていないところも問題です。例えるなら、農家や漁師を馬鹿にしているシェフが、盗んだ食材でレストランを開くようなものです。このようなことは決して許してはいけないと考えます。厳しく取り締まるべきです。海外のAI利用者に対しても同様です。厳しく取り締まることで日本のサブカルチャー（漫画、アニメ、ゲーム等）が守られると考えます。
また、海外ではAIを利用した女性アーティストのポルノ写真が問題になっています。これはアーティストに限った話ではなく、普通に通学している女学生、街中を歩いている女性の顔写真すら悪用される危険性を秘めています。著作権だけでなく、肖像権の侵害となるものは厳しく取り締まるべきです。

●受付番号　185001345000007395

生成 AI を一切使用していないクリエイターとしての意見を述べさせていただきます。
（1）学習・開発段階
・クリエイターは著作物を「使用料」という形で提供していることが多いです。
対価も許諾もなく、生成 AI に無断で学習され、さらにはそのデータを無断で使用されて、さらには商用利用されている可能性のある現状は非常に困ります。
・生成 AI データセットに児童ポルノ画像が含まれている事例があります。所持しているだけで罪に問われる国もあるというのに、そういったツールが使われているというのは非常に不安があります。
・「AI 学習」の段階においても規制をご検討いただきたいです。
（3）生成物の著作物性について
・生成 AI で作成された画像による「あきらかな盗作」が非常に増えているように思います。特定の著作物の模倣により、権利侵害やクリエイターの名誉棄損につながる恐れがあるのではないでしょうか。
・たとえ人間の手が加えられたものだとしても、現状の AI 生成されたものに著作権を認めることは非常に危険のように感じます。

●受付番号　185001345000007396

AI を創作と認めるのは納得できません

●受付番号　185001345000007397

AI 生成されたものは元になった絵や文章があって、それらは作者に無断で AI 学習に使われている。例えば多くの AI 生成絵を予め作り、AI 学習によって取り込まれた本来の作者に対し真似をした、などと言い掛かりをつけることもできてしまう。そのようなことはあってはいけない。また著作権は本来時間を費やし努力をしお金を使って身につけた技術を用いて創作している本人のものであるべきだ。無断 AI 学習に使うことは盗用、盗作と同じだと考える。創作、芸術とはその人のものであり誰にも侵害されるものではない。

●受付番号　185001345000007398

1.はじめに
生成 AI を使用した創作活動を行う人間はクリエイターではない。他者の作品、または自分の作品を学習させ出力する、いわば剽窃者である。また、生成 AI により画像、音声、映像およびその他を出力することは創作活動ではない。
5.各論点
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】（イ）
アイデアと創作的表現の区別はケースバイケースでの判断とあるが、これらが裁判を通して侵害か否か判断されるものである限り、著作権者の権利保護に繋がりうるものではないうえに、生成 AI の普及に到底適しているものとはいえない。生成 AI を利用した嫌がらせやなりすましなどの被害はすでに発生しており、創作者が活動休止に追い込まれる事態もインターネット上で散見される。作風や画風等のアイデアは著作物のアイデンティティとなる部分であり、著作物との類似性が認められてしかるべきである。著作権者である創作者が不利益を被ることがあってはならない。
（３）生成物の著作物性について(イ)
生成 AI で出力されたものに著作権は認められない。AI に対する指示や入力、試行回数が著作物の定義における何を満たすことになるのか甚だ疑問である。そして著作物性を人間が個別具体的に判断しているようでは、安価で大量に生成することのできる AI に対応することは不可能である。
（４）その他の論点について
学習済みのモデルから学習に用いられたデータを取り除けるように著作権者が要請できるようにするべきだと考える。著作権者には自身の著作物が許諾なく生成 AI に利用されることを拒絶する権利が必要である。
また、生成 AI はコンテンツ創作の好循環を生む道具では決してないことを認識するべきである。コンテンツ創作の好循環は生成 AI による生成物の規制と、人間の創作者による二つから生み出されるものに他ならない。

●受付番号　185001345000007399

創作物を AI に学習させてしまうと知的財産の保護が失われてしまう為やめてほしい

●受付番号　185001345000007400

5. (3)生成物の著作物性について

生成物の著作物性はその全てにおいて認めるべきではないと考える。

素案では、生成物を確認し指示・入力を修正しつつ試行を繰り返すといった場合には、著作物性が認められること考えられる、とある。著作権法では著作物は「思想又は感情を創作的に表現したものであって文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」とされており、生成物を生成する段階において指示や入力を修正しつつ試行を繰り返すという行為は、創作的に表現をしているとは考えられない。

この行為においてAI使用者は指示・入力を繰り返しただけでありAI使用者が「創作的に表現した」とはいえず、AIはAI使用者の指示・入力に従い生成したのであってAI自身が「思想又は感情を表現した」とはいえない。

また素案では「人間が、AI生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分については、通常、著作物性が認められると考える。」とあるが、仮にAI生成物に加筆をした作品としてがSNS上などに投稿された場合、どこに加筆をしたのか、どこは生成された時のままなのかは投稿者本人しか正確に知ることはできず、投稿者が加筆箇所を公開していたとしても、果たしてそれがどこまで本当のことなのかを判別することはできない。そのためその生成物が著作物か否かの判断が不可能となる。

以上より、AIを用いた生成物の著作物性はその全てにおいて認めるべきではないと考える。

●受付番号　185001345000007401

AI と著作権に関する考え方について
AI 技術の急速な発展に伴い、生成 AI に関連する法的規制が必要と考えます。
・学習データの透明性
　AI が学習に使用するデータの透明性の確保やアルゴリズムの公開
・AI 生成物の識別
　AI が生成した作品であることを識別できる仕組みを導入。生成時のプロンプトや出典情報の明示なども重要
・著作者の権利保護と違反時の法的措置
　著作権者の許可なしに AI にデータを学習させた場合の適切な法的措置
・詐称行為に対する法的措置
　生成 AI を使用して著作者を詐称・成りすます行為に対する適切な法的措置
急速に発展している AI 技術において、著作者に対する保護の観点から法的に検討いただきたく思います。
上記以外に関しても、現行法の見直しも検討が必要かと思われます。

●受付番号　185001345000007402

AI を機能させるために使用する学習データは、「学習データに使用してよい」と明記されたものに限定することが望ましいと考えます。
AI とは、「大量の知識データに対して、 高度な推論を的確に行うことを目指したもの」（一般社団法人人工知能学会設立趣意書からの抜粋）とされていますが、その中身は「どのように、なにを、同処理するか、を記したもの」にすぎません。
対して、著作権とはあらゆる創作物が持つ権利です。(AI とて、そのプログラムコードには著作権が存在します。)
「大量の知識」は、「共有してこそ糧になる」認識のもと、あらゆる場面で教えられ、共有されますが、データは別です。図書館の蔵書全てが電子データで共有されていないように。
「創作物」は「公開された」ものであり、「共有物」ではありません。
音楽であれ、文章であれ、絵であれ、なんであれ、「著作権」の発生するあらゆる創作物および創作した作者の尊厳を尊重し、「学習データとして使用可能かどうか」を各作者に選択する自由を維持することが望ましいと考えます。

●受付番号　185001345000007403

画像生成 AI の技術の発展や、技術の活用自体は素直に応援したいのですが、技術を悪用し作風を模倣する事で特定のクリエイターになりすまし、クリエイターへの攻撃として使われることを危惧しています。
これは作風を高度に模倣した作品が、なりすましに貢献してしまう事が一因なので、意図的な過学習が行われたと判断できる場合は、著作権によりなんらかの制限がもたらされる事を希望します。

●受付番号　185001345000007404

１番の問題は勝手に制作物を学習材料として使われてしまうことです。
私はイラストレーターをしています。
イラストを描くのに資料を調べ、技術を身につけ、制作に何十時間もかけて制作しています。
練習する時間も含めると何万時間と１枚描くのに時間を掛けています。
そんな大事な技術を許可なく、金銭も発生せず、勝手に学習材料に使われていることが許せません。
せめて、学習材料に使うのであれば事前に承諾した人だけにし、金銭を発生させるべきだと思います。
＞(1)AI 生成物の生成・利用により意図せず著作権を侵害してしまうのではないか
著作権を侵害する行為に繋がります。
勝手に絵柄を AI に使われることでリスクが大きいです。
例えば、アダルト系のイラストを描いていないのに同じ絵柄でアダルト系のイラストとして勝手に AI 生成されて使われるとアダルト系の仕事をしたと思われてしまいます。
そうなると、アダルト系の仕事をしていると仕事の依頼をやめるクライアントが沢山いるため、何もしていないのに仕事を失うことになります。
アダルト系以外でも、印象の悪い仕事関係はイメージダウンに繋がるためお断りしているのにも関わらず、AI を悪用されると描いた本人以外分からないため、勝手に周囲からのイメージダウンに繋がり仕事が無くなります。
＞（４） その他の論点について
AI を使う人が増えたため、知識が無いと本物かどうかの判断が付かなくなってきています。
イラストを制作するときに画像を検索するのですが、検索した画像が AI だった場合知識が無いとそれが正しいと思って描いてしまい、最悪本になって出版されてしまう可能性があります。
そうなると、絵だけではなく、文なども本当に正しい情報が見つけられなくなってしまいます。
それが蓄積されると間違った情報だらけの世の中になってしまいます。
しかも、現時点で間違ったものがネット上にたくさん見受けられます。
AI を使うこと自体は反対ではないです。
しかし、現時点では AI を使う人がルールがないばかりにモラルの無い行動をしても罰せられない事態になっています。
AI を使うのであれば知識を持った正しい使い方をする人に絞る必要があるのではないでしょうか。

制作者は丁寧に制作をしています。
そんな制作者たちを軽んじる AI の使い方はしないようにしてください。

●受付番号　185001345000007405

現在 AI 技師による被害が無法状態な以上、AI 作品に著作権を持たせるのは悪手でしかないと思われます。
まず取り締まりを先にすべきだと思います。

●受付番号　185001345000007406

生成 AI を使用した画像は全面的に使用禁止にするべきである。必ず元になった画像が存在するということは、著作権の侵害に値する。生成 AI によるイラストが主流になれば、自分の手で作っている創作者は間違いなく減ると考えられる。国内外問わず人気の高い産業であるアニメや漫画は軒並み廃れていくことは想像に容易いのではないか。繰り返し言うが生成 AI は著作権法に違反しているとしか考えられない。

●受付番号　185001345000007407

趣味で小説を書き、インターネット等に投稿しております。ネット上の創作物を生成 AI に学習させることに反対します。そうなると、創作行為自体が衰退してしまいます。日本の大切な文化を守ってください。著作権を蔑ろにしないでください。

●受付番号　185001345000007408

生成 AI 自体が著作権に悖るものです。

●受付番号　185001345000007409

反対、ただその一言に尽きます

●受付番号　185001345000007410

無断で著作物を AI で読み込み、出力されたものに著作権を与えたり販売する行為には全面的に反対です。
規制または厳罰化するべきだと思っています。
AI は学習という文言を使っていても実態は数千〜数万の画像データのコラージュにすぎません。実際明らかに無断で学習されたであろうマリオやドラえもんだとわかるような要素を持った画像が出力されたりします。
画像投稿サイト pixiv では AI で無断学習・生成された画像が投稿されており、成りすましや fanbox、有料サイトへの誘導が多発したためすでに規約改定と取り扱いの禁止がなされています。
上記のようにすでに悪用されている現状ですし、
今後も日本で独自性のある作品として海外でもてはやされているような著作物ももどんどん学習され勝手に使われてしまい販売される危険性があると思います。
それが常態化すれば
これから著作物を生み出す権利者は自分の作品で利益をだすことが難しくなる→創作をする人口の縮小→文化の衰退につながっていくことになってしまいます。
AI には新たな技法、絵柄の創作は出来ません。

●受付番号　185001345000007411

2（2）イ
生成 AI 利用者の行為態様から、一般的意味の「享受」に該当する行為がほとんどである。著作物の複製やそれに等しい生成物、元著作物の表現を過分に取り込んだ生成物やその表現の多くを機械的に変容した生成物がそれである。これらは情報解析の用に供するものではなく、ましてやそこから経済的利益を獲得しようとする商材の詐欺的提供や顧客誘引を目的とした営利的利用が存在している。
切り張りというのは外観に対する指摘であり、そのような生成物が既に現れている。正確には合成に近い生成である。
3（3）
特定のプロンプト指示を機能から除外しても抽象的な指示から複製物やそれに類似した生成物が生成されてしまっている。
5 イ（イ）エ（イ）
意図的に追加学習をしなくとも、客観的な外形から享受目的は存在する。生成物の制限措置や利用に実質的な制限をかけていない提供者や利用者は、無法にもその社会的影響を無視し続ける怠慢から権利者の声を度外視している。絵柄が著作権では保護されないというのは厳密には誤りであり、絵柄の同一性は類似性判断に関わる部分である。元となる人物によっては表現そのものの類似性に繋がる場合もある。そもそも、学習においてアイデアだけ分離して学習しているわけではない。創作的表現をかすめ取っている事実は生成物の態様を見る以前の話である。
生成物を送信するのは享受する・されるために為されるのであり、目的の一つとして数えられるものである。
エ（オ）
インターネット上の特定のデータが権利侵害複製物であるか否かの判断は、著作権者のみならずその態様から第三者の目からも判断できるものである。学習データの収集にあたる者は海賊版サイトやその侵害物を収集しないように努めることが要請される。違法アップロードやそのダウンロードが許されないにもかかわらず、それを意識しないという積極的怠慢で収集し、その複製出力を許容するような見解は、現行法の法秩序やその目的とする理念から大きく隔たっている。海賊版対策を進めておきながらその愚を助長するような所作は、著作権者の権利行使を著しく損なわせ、また、その他の権利侵害物の拡散・氾濫を認容するものである。
カ（イ）
学習済みモデルの違法性は、収集の違法性ともつながっている。エ（オ）

派生モデルや違法リークモデル、マージモデルのデータセット問題が未解決なものもある。侵害を避けることは不可能である。企業や個人が不用心にも生成 AI を使用している例があるので問題が複雑になっている。
その他の論点（キ）
「必要と認められる限度」の中に違法収集を許容する目的はないし、その生成物が権利侵害的であることが情報解析の「必要と認められる限度」というのは専ら倫理的目的と学術的目的が併存する場合であろう。
私的利用とはいえど、モノによってはそれは公衆送信しないから裁かれないという程度のものであり、利用を安易に勧めることはできない。
5（2）（3）
そもそもデータセット内に違法なコンテンツ（海賊版や CSAM、個人情報や発表前の作品）が含まれている。
依拠性の判断について、同一性の高さの程度にとどまらず、どこから画像を収集したものかが判明しているものについては（danbooru や pixiv）依拠性ありとみるべきである。また、技術的な措置が講じられていることが直ちに生成・利用段階において当該著作物が利用されていないことを保証するものではないことは既に明らかである。
そもそも、プロンプトは定型化され共有されるが故に著作物性は発生しない。創作的寄与は Controlnet であろうとも、ポーズそのものの創作的表現は認められる可能性がないわけではないが、それに著作物性が認められることは（ジョジョ立ちレベルでもなければ）ほぼあり得ない。生成されたものに著作物性は存在しない。指示者は、当該生成物に対して創作的表現を行える余地がない。そもそも生成物に著作物性を認めてしまうと既存の著作物との権利関係や未来の著作物との関係で表現活動が委縮したり法的紛争を起こすリスクを格段に上げてしまう。
生成 Ai に対する指示的行為は物理的接触性、予見可能性、表現性や発展可能性の観点から見て創作的に寄与分があるとは言えない。学習の結果出力された生成物は学習データ頼りなのであって、量によって質が変わる。これは、価値に柔軟性があるクリエイティブとはなじまないものであり、また、人による創作的表現の表現性、発展可能性からいって、機械が主体となってしまっている。著作権法で守られる創作的表現には当たらない。クライアントとホストの関係や生産者・消費者の関係からもわかるようにプロンプトを打つ者は著作権者たりえない。生成しているのは機械側であり、そこに表れるのは他人の著作物の複合処理画像である。

●受付番号　185001345000007412

５．各論点について

（１）学習・開発段階

・著作物を学習にかけるのであれば、この段階でクリエイターが個別に企業などと生成 AI 利用について契約を交わすなどして、権利的に問題ないことが保証されたデータセットが健全に作成されることが望ましい

更に、権利的に健全であり誰の権利も侵害するものではないという客観的な証明が容易な仕組みや制度があるべきであり、サービスを利用する第三者から権利的クリーンさが一目瞭然に確認できる形をとるべきである

権利的に問題がない、とは、要するに、データ利用される側の著作者が同意するかどうか、ということです。

結局そういうところをぜんぶすっとばして闇鍋のような権利的にクリーンでないデータセットが作られ、そして権利的問題を第三者が容易に確認できない状況が問題であると考えています。

（２）生成・利用段階

・（１）の契約で、クリエイターが許可する範囲での生成利用が許可されるべきである

・著作者の許可なく機械学習を行い商品などを販売し利益を不当に得ている人間を処罰する仕組みがしっかり整えられているべきである

（３）生成物の著作物性について

・機械学習のためのデータセットを組む以前の段階で、生成物の権利について学習元の作品の提供者と契約を交わしておくべきである。

（４）その他の論点について

・とにかく、他人の作品を勝手に機械学習にかけて不当に利益を得ているような人間がでてこないように、そういう人間を処罰できるように法整備をしてほしい。

●受付番号　185001345000007413

いわゆるAI生成物に対して著作権を与えるべきかという表題に関して、一意見として反対する。

著作権法２条１項１号によれば、著作物とは『思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの』である。この定義にあてはめれば、生成AIが入力によって自律的に生成したAI生成物が『思想又は感情を創作的に表現した』ものではあるとは到底言えないと考える。

５．（１）（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについての三段目『著作権法が保護する利益でないアイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることにより、特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態』が現に発生しており、クリエイターに対して本来発生する収入がAI技術者に流れ続けている。いわゆるAI生成に関して規制のない現状において既存のクリエイターや著作物が一人負けする状況になっている。

同項（オ）海賊版等の権利侵害複製物を AI 学習のため複製することについて　において海賊版対策が提言されているが、現状の生成AIは利用目的次第で海賊版よりも悪質性のあるものとなりうることに留意してもらいたい。クリエイターの創作物をAIに取り込み、公序良俗に反する生成物を生成し、その生成物をクリエイターの創作物であるとして喧伝し、クリエイターの評判を棄損し筆を折らせるような目的で使用されている事例が存在する。

この素案に関してはクリエイターや著作物の保護よりもいかにAIを用いて生成物を生成するかということを優先しているように感じられ、一創作者として不安を感じずにいられない。

自分が過去に描いた創作物を『学習』によって自分の創作物の要素を切り貼りしたような機械的な『生成物』に対して思うことは、自分の拙いながらも血を吐くように重ねてきた努力に対する毀損であり、また著作人格権の侵害であるということである。

なお、末筆として、文化庁審議会委員の弁護士・福井健策氏のX(旧・Twitter)上の発言『いずれにしても、既にアシスタント不足に悩む漫画では背景の下絵に生成AIを使うことは一般化しつつあり、多かれ少なかれこうした動きは増えて行くのでしょう。
それに作品評価や社会が、どの程度、どう反応するのか。』
(https://twitter.com/fukuikensaku/status/1747762343977812447)に関して、重大な事実誤認を含む可能性があるため質問をさせていただきたい。

ライセンス販売された3D素材や写真素材、あるいは手書きや自費で写真を撮るなどの手段によって漫画や絵画の背景を描くことは一般化しているが、著作権の判然としていない生成AIによる背景を使用している漫画家の存在は寡聞にして聞いたことがない。権利

関係に厳しい業界においてそのようなことをしているのがどこの誰であるのか、実在する漫画家であるのかすら疑問である。

先述した素材類と権利の不透明な生成 AI を同一視していないか、そういった認識の委員が評議し物事を提言していないか、率直に疑問と不安を抱えている。

●受付番号　185001345000007414

AI イラストはクリエイターの権利を著しく侵害するものです。
使用を規制しなければ、クリエイター育成の土壌が崩壊します。

●受付番号　185001345000007415

基本的に、個人で楽しむなら、または、そのまま使うとかじゃないなら
別に、著作権侵害では無いとは、思いたいです。
自分の描くデザイン案の資料として使ったりとか
有益では、ありますから
ただ、完全酷似の盗用まがいになる物に関しては、著作権侵害にあたってしまうと感じます。
そこら辺の線引きは、難しいですが、無法地帯というか
生成物をそのまま、所業利用とかされているのは、違法にしてもいいとは、思います。

●受付番号　185001345000007416

知財を盗んで合成したものに権利を与えないで下さい。一枚の絵が仕上がるまでに、画力を身につけるための膨大な時間と努力が必要です。勿論学校に通う、資料を集める、画材やソフトを買うなど、これら全てに安くない金額を支払っています。AI 生成はその努力を踏みにじり、イラストの市場価値を著しく下げるものです。
一個人が自ら描いている『いらすとや』が世間に認知されて以降、マンガ絵ではないタイプの絵柄のイラストレーターの多くが仕事を失いました。一個人のサイトですら業界の一部を破壊出来たのです。AI の導入でイラスト・マンガ全て壊滅に追い込まれてしまいます。何十年かけて個性的な絵を作り出しても、すぐに AI に取り込まれて消費されてしまうのでは、絵描きは何も生み出せなくなります。
例えば、「赤松健先生とそっくりの絵が AI で無限に出来るから、それを切り貼りして編集者がまとめたマンガを雑誌に載せるので、もう先生自体はいらない、AI だから文句はありませんよね？」と出版社に言われて納得出来ますか？何万枚と描きあげた上での結果だけ、赤の他人が盗んでゆくのが AI です。
現状でも、元の絵を描いたイラストレーターが AI 生成者から執拗に嫌がらせを受け、活動停止を余儀なくされた途端、AI 生成者の成りすましによる乗っ取りの被害を受ける事件が起きています。
イラストレーターは AI の養分ではありません。
苺のレッドパールや韓牛などと同じです。なのに、国が泥棒の行いを肯定し保護する姿勢はあってはならないものです。
アニメやマンガ、イラストで日本の文化は世界中に好意的に受け入れられています。それらが活発な活動をしているため、日本を訪れてくれた外国人の方は少なくありません。イラストレーターらの権利が守られないまま AI 生成が当たり前になってしまったら、業界は粗製濫造で先細りし、日本産＝粗悪品のイメージがつけば、彼らは見向きもしなくなります。
ここまでに育て上げ、経済的にも価値のある文化をどうか国自ら壊さないで下さい。

●受付番号　185001345000007417

そもそも従来の著作権法の考え方、著作権 30 条の 4 についてですが。
条文、一、二、三では技術開発及び研究の目的、及び解析について著作権利者の人格を無視して研究が進められるような解釈がされております。
一般的な企業等の技術開発において著作物の権利を無償で行使することは出来ず、企業内でも他社企業の決められた利用料を払い、且つパテントを侵害しないような措置を取りながら開発を進めていくものですが。
こちらの条文では、開発研究においてほぼ無条件で著作物を利用出来るかのような解釈が取れるようになっております。
これは意図的にグレーゾーンを差し込まれたのでは無いかと疑うことが出来る物であり、今回の生成 AI の開発者のため、まるで予定されていたかのような印象を受けます。
下記の条文になりますが
＞著作物は、次に掲げる場合その他の当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合には、その必要と認められる限度において、いずれの方法によるかを問わず、利用することができる。ただし、当該著作物の種類及び用途並びに当該利用の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。
現状の生成 AI は LAION-5B などのデータを利用しており、その中には児童ポルノや医療情報などの個人データが含まれております。
削除したとの声明も上がっておりましたがデータがブラックボックスである以上信頼性は皆無です。
数多の創作者のイラストなど、思想または表現を取り込ませた上で生成 AI が機能する以上、この 30 条の 4 に問題があることは明白です。
何故ならポルノアップロードサイトにて上記の児童ポルノや医療情報を駆使したデータを利用してマネタイズを図る者が既に出現しており、現状では無法地帯と化しています。
イラスト界隈においても創作者のイラストを無断で取り込みデータ化した挙句自分の作品として公開、マネタイズを図る者もおり、こちらも非常に悪質さが際立ち、作品を勝手に取り込まれた側の創作者が利用者から殺害予告を受けるなどの被害も出ており、現在進行形で問題となっております。

[redacted]

さて、私個人の意見としては生成 AI の提供目的というものが、そもそも製造の成り立ちからして悪用を前提に作られたものだと考えております。
30 条の 4 に関してもこれとセットで使うために敷設したのかと考えてしまう程です。
それほどまでに利用者に都合が良く、何故使用される側の人間が苦しまねばならないのか理解しかねます。

stable diffusion、midjourney の出現により 58 億 5 千万枚の画像データが無断で利用されている現状ですが
研究目的を盾にして著作権及び肖像権をあるデータを取り込み無断で利用する行為は明確な人権侵害ではないでしょうか？
これからつくる生成 AI の未来などと言う安易な発言をする開発研究者も確認できますが、そもそもアプリケーション自体も国産の物ではありませんし、オープンソースで開発が進められているものでなく一企業が提供し、そこにブラックボックスが存在する時点で我が国がまともなものが開発出来る物とも、まともに運用出来るとも到底考えられません。
まず著作権及び著作物を守る事が今後あらゆる文化を保護していくことに繋がるのではないでしょうか？
現時点で研究目的などの大義名分で児童の人権を侵害しながら生成ＡＩを推進する方々の心情は全く理解出来ませんが、ご家族やご友人等も全てデータとして取り込んで著作権も肖像権も侵害されれば満足いく結果が産まれるのでしょうか？
もしそうであるならばそれを容認する当人のあらゆる身体データを公開提供すべきかと私は考えております。
海外との競争力などと言う言葉を大義名分に据え、未来ある若手の育成や今後の進展を潰すような真似は決してしないで頂きたい。

●受付番号　185001345000007418

４．関係者からの様々な懸念の声について
５．各論点について（２）生成・利用段階
以上２ケ所
自分のイラストを集中学習され、自分の名前が冠されたLoRAとしてウェブ上で配布または販売された場合、どのような法的整理になるかや、どういった対抗策が取れるかを明確化してほしい。また、AIイラストで自分のイラストを模倣され、生成したAIイラストを繰り返し投稿しているユーザーを発見した場合、どのような対抗策が取れるか明確化してほしい。対策がないなら、法整備によって明確に示してほしい。

●受付番号　185001345000007419

言語化が難しくて、他人の言葉を借りてしまうのですが、現状のイラストや小説などの創作物を出す生成 AI は「盗んだ野菜で料理を作っている」としか解釈できません。それに著作権は無く盗作と考えます。
技術は素晴らしいと思います。これをもっと文化の発展に役立ててほしいですが、学習元である創作物と創作者がないがしろにされているのが現在と思います。まず創作者とその創作物を守っていただきたいです。

●受付番号　185001345000007420

AI の規制を求めます。連日生成 AI 周辺で心身を病む作家が増えており、本来守られるはずの著作権所有者が蔑ろにされています。
他者の権利を踏み倒すものが現在の AI だと思います。

●受付番号　185001345000007421

AI に作品として読み込ませるものは原則自身の作品でないといけないなど定義がないと泥棒し放題になると思うのですが、原作の人の安心安全を守って貰える様なものにして欲しいです。

●受付番号　185001345000007422

生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイターも出てきた。とありますが、こんなものはそもそも創作活動と言えるのでしょうか。
現時点で著作権がうまく守られておらず、知識が浅い人が多い中で、AI 生成物にまで著作権をあたえてしまっては、学習元である現在のクリエイターの首を絞めることにほかなりません。

●受付番号　185001345000007423

制作物の AI 学習に関しては慎重に行わなければなりません。それは著作権で保護されなければならないものであり、許可なく AI 生成の材料にして良いものでは有りません。
そもそもの話、著作権の侵害の証明になるものが要素や類似性であるにも関わらず、AI がそれを収集する行為を容認するのは甚だおかしなわけで。
著作権の法律を軽んじているとしか思えないものです。
なので、このような内容を実施することには反対です。
著作権の原則は守っていただきたい。

●受付番号　185001345000007424

努力して描いた絵をないがしろにして生成 AI を使って自分の絵だと言い張るのはよくないことだ

●受付番号　185001345000007425

AI 学習によって作成された学習モデルは学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる、という事の根拠は何処でしょうか？現状確認できる AI 学習によって作成されたものは、著作物と類似するものが多くあります。
この素案が通ってしまった場合、更にクリエイターの多くが自作を奪われ苦しむ事になります。その為この素案には反対です。

●受付番号　185001345000007426

クリエイターの尊厳を踏みにじったAIを規制してほしいです。

●受付番号　185001345000007427

私は AI 開発者、AI 提供者、AI 利用者、いずれでもない日本国民です。
私は生成 AI に勝手に自分の著作物のデータを利用されたくありません。
自分の声も顔も他人の好きに使われたくありません。
データ利用（提供）に対する拒否の権利を明文化にしてほしいです。
拒否の権利を侵した者を訴えることができるように法整備してほしいです。
生成 AI について下記について個人および著作権者の
法律による保護と厳しい罰則を制定してください。
声や顔など個人の尊厳と自由を守るためと、
著作物などの生業由来の生存権守るためです。
【保護の観点】
・学習元データの透明性と開示義務
・データ利用（提供）の拒否の権利
→公人含む実在人物の画像
→声や顔
→音楽や絵画、小説や記事
【罰則の観点】
・音楽や絵画、小説や記事など
　事前にデータ利用を告知せず収集したデータ利用への罰則
・AI 作品につき使用を明記の義務づけ
→いずれ共に違反には厳罰
【AI 生成物に書作権を与えることについて】
収集されたデータの権利者が同意しているのであれば賛成です。
同意がとれていないデータを使用しているなら反対です。
公的なチェック機関が必要です。
チェックができないなら反対です。
税金で賄うと考えれば、AI 提供者、AI 利用者が支払うべきです。
AI 提供を免許制とし行政のチェックを通して収集データを精査。
AI 利用も運転免許証のように免許制にし、
自賠責保険加入を義務付け
自動車税のように毎年 AI 利用税を徴収。
チェック機関や免許制度の運営と
個人や著作権者の被害者補償などにその税金は使う。
児童ポルノ同様、免許を持たない AI 利用者には
AI ソフト所持を確認次第厳罰とするなどもできたらいいです。

●受付番号　185001345000007428

AI と著作権に関する考え方について（素案） 令和 6 年 1 月 23 日時点版
５．各論点について
上記項目に関し、
生成 AI の学習に使用される著作物は、事前に学習に使用することに同意した人の著作物だけに限るべきであり、著作者の許諾なしで著作物を使用し生成したデータについては著作物と認めない措置をとるべきです。著作者の権利および著作物が十分に守られていない現在の素案には反対します。

●受付番号　185001345000007429

5. 各論点について（1）学習・開発段階（2）生成・利用段階
AI を使用する人間による、クリエイターの軽視がある。
AI を使っている第三者は商売で金が入るのに、学習元のクリエイターに金が入らない搾取の構造ができている。
無償でイラストの下書きをクリエイターに書かせ、依頼者がクリエイター側に賃金を払わないまま、クリエイターが描いた下書きを AI に学習させ、イラストを完成させた事例もある。このように、クリエイターの仕事が生成 AI に奪われている事例がある。
AI の学習に使われるか使われないかは、クリエイターが決めることであって、第三者が決めることではない。
基本的に AI 生成物をクリエイティブな分野で、商用利用すべきではない。
クリエイターが自ら描いた絵を用いて AI をツールとして使うのは良いが、第三者がクリエイターの作品を学習させて商用利用させるのは規制すべきだ。
クリエイターに無断で、作品を AI 学習させることをデータ情報の窃盗とし、さらに著作権侵害として法を整備した方がよい。
AI 生成物とクリエイターの作風が似ていることでも、問題が起こっている。クリエイター作品が AI 学習に無断で使われ、クリエイターのオリジナリティだったものが「AI の作品に似ている」と根本的に異なる評価を受けることがある。
学習元に使われたクリエイター作品が軽視され、AI によって価値を破壊されている。
クリエイター作品と AI 生成物で競合する恐れがあり、AI の学習元となったクリエイターに対して仕事依頼されなくなり、職として成り立たなくなる。
作品の技術を作ったクリエイター側にお金が入らず、クリエイター作品を無断で AI 学習させた第三者が利益を得ている。これは搾取の構造であり、クリエイターの権利ないし利益を侵害している。
イラスト分野のみならず、俳優や声優業界でも問題が起こっている。
ネット上には、歌手や俳優などの著名人の容姿を用いてデマを流したり、性的な画像や動画（フェイクポルノ）を作る人がいる。
そのような行為は、性暴力や名誉毀損に当たり、看過してはいけない。人権侵害だからだ。
また、俳優の容姿や演技などが用いられ、本人がキャスティングされない場合、俳優らの賃金低下を招くのみならず、映画や演劇文化の衰退を招くだろう。
著名人だけでなく一般人の容姿も悪用され、政治的な思想、詐欺広告やフェイクポルノで利用され、被害を被る事例もある。

声優の声を学習したAIを用いて、ゲームなどに声優の声が勝手に使われる可能性がある。実際にネット上で、声優の声をAI学習させ、声優の名前を伏せた状態でボイスをデータ販売をしていた者たちがいた。
AIを使う人間側の規制をしなければ、自国が育んできた文化や技術を自ら破壊することにつながる。
クールジャパンとは逆行する傾向であり、危険な思想である。
自国の文化やクリエイター、創作物、著作権を大切にしない国は衰退するだけだ。
自国の文化に誇りがあり、世界に発信するのならば、AIを使用する第三者から、クリエイターや表現者の権利を守る法整備をするべきだ。

●受付番号　185001345000007430

人間が描き、作り上げたオリジナルの絵柄がAI作品のようだと言われているのが疑問です。あくまでも著作権は描いた作者にあり、著作権には絵柄も含まれるはずです。それなのにAIを推し、著作権を踏み荒らすのはどうかと思います。

●受付番号　185001345000007431

５．
（１）について、用いるデータの中には犯罪行為によって入手された写真を含むため、場合によっては実在する児童が被害に遭う児童ポルノが生じうることがあります。
（２）について、『AI 学習しないでください』と描いた本人が言っている絵も学習に使用されているのが実状です。これによって制作意欲を失い、作品を作れなくなった作家を知っています。これは著作者人格権の侵害と言えるのではないでしょうか。また、絵柄（作品の作風）が似ている絵が大量にできることによって、その絵柄の元となった人物の仕事に影響が出ることは十分に考えられます。
　以上のことは絵で例えましたが、音楽や声優の声にも適用されるべきものです。すなわち、元となった本人のイメージを損なうような品物（岸田総理大臣が卑猥なことを言う動画も AI によって作成されたものです）が出来上がる可能性があると言うことです。
以上のことから、生成 AI は規制されるべきだと考えられます。

●受付番号　185001345000007432

生成 AI は現在 SNS 等で多くみられ、悪意を持ってクリエイターの絵柄を AI に無断学習させ、学習元のクリエイターを苦しめていることが多々見られます。
またその人のなりすましを行ったり等、生成 AI の法律がしっかりできていない為、クリエイターが苦しんでいるのが現状です。
これからのクリエイターを守る為に、生成 AI でも著作権違反として訴えれるように考えています。
海外では AI 企業に対して、数多くの企業が反対表明、また提訴を行っているのが現状ですので、日本政府が先導に立って生成 AI に対する厳格な法律を作ってほしいです。

●受付番号　185001345000007433

2.(1)について、生成 AI に従来の著作権法に対する考え方を適用しようとするのは「著作権」という権利を鑑みるとおかしなことである。例えるなら、ある大量生産されている皿の生産ラインに勤めている人物にその皿の著作権を認めているというようなもので、その皿を造形した人物では無いのに「著作者」と扱っているという事である。その皿の著作権を持っているのは造形を行った人物であり、その人物がコピーする事を許可する事で初めて大量生産される事が認められる。生産ラインに勤めている人物は自分の行動により機会を動かし、皿を生成しているが、それら生成物の著作権は造形した人物に帰結するものであり、他の誰にもに認められるべき権利では無い。例え生産ラインの人物が皿を作る機械に手を加えてオリジナルのデザインを作り出したとしても、それらはニ次的な生成物であり、造形した人物に権利が認められて然るべきである。生産ラインの人物にその皿の権利が認められるのは、造形した人物に許可を得た場合のみである。一方で、機械を介さない皿の創作には権利が認められる。創作は創作者の経験、感情、思考によって生み出され、これらは「皿の著作者」の許可を介さずとも生産ラインの人物が獲得できるものだからである。基本的人権として、経験した事や考えた事は侵される事のない人としての権利であり、それらから生み出される創作もまた、「著作者」の「著作物」として認められるものである。機械を介した場合、その「皿」は機械を操作した者の経験や感情、思考から生まれるものではなく、造形した人物の入力した情報からしか生まれない。また、その機械は皿の著作者の権利の上で成り立っているものであり、権利者の許可なく製造された機械を利用するなど以ての外である。ただし、その人物が皿の著作者の権利による生産ラインから経験を得ていた場合は二者とも権利を持っている状態になってしまうが、それらはまた別の問題である。翻って、機械を利用した著作物は機械で利用する許可を出した著作者の基本的人権によって保証された権利から生み出されており、それを操作した者の経験や思考からは生み出されていないので、機械を利用している創作と利用していない創作を同じ観点で扱ってはならない。例え機械を操作する者の思考や行動が含意され、別の皿を作り出したとしても、それら創作は皿を自らの経験や思考、行動で作り上げた著作者によるもの同等とは言えない。また、その機械を利用させる権利は著作者にあり、その許可を得ない限りは、操作する者の権利は認められない。従って、生成 AI を利用した創作を既存の生成 AI を利用していない創作と同じような考え方・扱い方をしてはならないと私は主張する。

●受付番号　185001345000007434

AI 技術に関しましては素晴らしいものだと思いますが、著作権を侵害しないで生成 AI を作ることが出来るかに関しては疑問が残ります。著作権を確実に守る体制、著作権侵害が起こった場合に問題を解決する体制ができあがっていないのであれば、著作権を有している方々が不安に思うのは当然ではないでしょうか。

生成 AI はデータがなければ作れません。人の技術や作品がなければ完成しないというのに、技術や作品を提供する人間を守らずにこれから先の発展があるのでしょうか。生成 AI と上手く付き合い、発展させていくために必要なのは技術や作品を提供する生成 AI にはなくてはならないデータを作る方々の信頼を獲得するための法整備と保護だと思います。

こちらとしては著作権をないがしろにしてまで作り上げた AI が私たちの生活、未来に対して良い結果をもたらすビジョンがまるで見えません。詐欺や搾取が横行するのではないかという不安ばかりがあります。AI を発展させることで具体的にどういう分野で役立て、どう私たちの生活に役立てていくつもりなのでしょうか。使い方は分からないが、技術は発展させるべきだとか、そのうち良い使用方法が見つかるとか、そういう見切り発車な意見ではなく具体的な方針を示していただきたいです。

プロ、アマチュア問わず、著作権を揺する方々は私を含めて全員震えています。趣味で作品を作り上げている私ですらそうなのですから、生活がかかっている方は一層そうでしょう。技術の発展のためにその技術で生活を支えている方々をないがしろにしていいのでしょうか。そもそもその方々が培った技術を元に作られたＡＩだというのに。

理解が及ばず見当外れな意見になっているのかもしれませんが、AI という新技術に今後の生活が脅かされるのではないかと強い不安を覚えている人間がいるということは理解していただきたいです。

●受付番号　185001345000007435

【侵害に対する措置について】
カ（イ）
「AI 学習により作成された学習済モデルは、(以下略)」「他方で、当該学習済モデルが、(以下略)」
現状、目につく範囲でも特定の著作者の作風に類似した物を意図的に生成する AI が横行している無法状態のように思います。AI 使用者による学習元の著作者への脅迫や不当な著作権侵害申請等も目にします。問題のある AI とその使用者による AI 生成が横行しないよう、法整備をお願いします。
同項補足 31 について
上記の通り、問題のある生成 AI が横行しております。
著作権侵害の生じた学習モデルは手間や時間的・費用的負担があろうと学習済みモデルから影響を取り除くようにさせるべきです。
全ての著作物は、生成 AI の学習に利用していいか、著作者が選択できるべきです。SNS やインターネットサイトにアップロードしているからと言って無断で学習できる現状が間違っていると思います。
私も生成 AI を使ってみたいですが、著作権侵害の可能性のあるものは怖くて使えません。
著作者が学習に同意した権利的にクリーンな生成 AI を使用したいです。現状のままでは世の中における創作活動全般が委縮し縮小していくように思います。
法による規制をお願いいたします。
個人ですので氏名の記入は差し控えさせていただきます。

●受付番号　185001345000007436

私はインターネットで創作活動をしている者（著作者側）です。
先ず、本意見の結論として
現状存在するすべての AI モデルが、
「著作者の許諾の得られていない著作物が用いられたモデル＝著作者の意思・権利・利益すべてを侵害している違法物」であり、
「AI 学習させる時点で著作者の許諾が必要」と考えております。
★利益について
■P.16「AI 学習のために行われるものを含め、情報解析の用に供する場合は、
法第 30 条の 4 に規定する「当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合」に該当すると考えられる。」
私は「該当しない」ととらえております。
著作物を「AI 学習」した先に存在するあらゆる行為に思想、感情の享受や利益が発生します。
「目的としない」とは言えません。
「本来支払うべき費用がタダになった」ということは「利益」です。
「できないこと（モデルを構築するための画像をつくること）を他人にやってもらう」ためには「許諾」または「対価」が必要です。
「AI 学習」する時点で、
「享受」であり、「対価回収の機会を損なうもの」です。
著作物を他者が利用する際、基本的には対価が支払われます。
また、できないことをやってもらうときには対価が支払われます。
それを無視するということは、
本来取得するべき許諾と、支払われるべき対価が失われているのです。
企業や個人が「できないこと」を「タダでできるようになる」ことは「利益」です。
「タダで出来る」は「利益」なのです。
企業や個人が、著作物を無断で利用（AI 学習を含む行為を）して得られる「利益」は、著作物の著作者にとって「対価回収機会の損失」です。
そこすらも理解せず、
「著作者に許諾がとれていない著作物の AI 学習利用」を正当化しようとする記述が多く、強い違和感と疑問を感じました。
●P.7「大量の情報を集積し、組み合わせ、解析することで付加価値を生み出す新しいイノベーションの創出が期待されている。」
●P.27「大量のデータを必要とする機械学習（深層学習）の性質を踏まえると、AI 学習のために複製等を行う著作物の量が大量であることをもって、

「必要と認められる限度」を超えると評価されるものではないと考えられる。」
→分解するから許されていいことではありません。
１画像の１部分だから許されていいことではありません。
膨大な画像のうちの１つだから許されていいことではありません。
●P.17「学習デ
ータの著作物の創作的表現を直接感得できる生成物を出力することが目的である
とは評価されない場合は、享受目的が併存しないと考えられる。」
→同じもの、似たようなものを出力しないから許されることではありません。
生成するためには著作物が必要です。
何の著作物も用いていないモデルに生成ができますか。
モデルを作るためには著作物が必要です。
その著作物を使うには「許諾」または「対価」が必要です。
「似ているか似ていないか」の問題ももちろんあります。
それよりも先に
「著作者の利益回収が侵害されている」問題があるのです。
著作者の許諾なく、モデル作成のための AI 学習を含めたあらゆる行為は許されません。
無料で、無断で利用されるために、作品を作り、発表しているわけではありません。
そも、「作品を見る」時点で多かれ少なかれ対価は発生し得るもので、
無料で見れる時点で誰かの利益たりえます。
次に、
文書内にて散見される「責任の所在」について。
■P.2「意図せず著作権を侵害してしまうのではないか」
そもそも、責任の所在が明らかにできない状態であることを認めているのならば、
現状存在するすべてのモデルを利用すること自体が不適切です。
また、P.28（２）や P.30 などで「AI 利用者が知らなければ許される」といった、
責任逃れも甚だしい文章を書き連ねた上で、無断で著作物を使おうという開発者や利用者
の考え方そのものが、無断で利用された著作者にとってどれほど腹立たしく、残酷なこと
であるか、今一度ご一考願います。
最後に、
■P.22「著作権者が反対の意思を示していることそれ自体をもって、権利
制限規定の対象から除外されると解釈することは困難である。」
愕然としました。意味が分かりません。著作者の意思を無視しないでください！
反対の意思を示している時点で許されませんし、
著作者の意思を無視して行われた行為に正当性はなく、法的に罰されるべきです。
少なくとも法で守られていることが、私にとって、
安心して制作活動をするための拠り所なのです。

本当に悲しく、悔しいです。強い憤りを感じています。
素文は AI 利用者に寄り添いすぎです。

●受付番号　185001345000007437

生成 AI はイラスト作成ツールに関しては lora ファイルによって特定の作家の画風、キャラの特徴に特化した学習データをオプションで使用できる。問題なのは作家の画風の学習データで簡単にその作家のなりすまし行為ができてしまうことである。
現にＳＮＳにてイラストレーターにの絵柄を学習して、ＡＩで出力したイラストを公開して、嫌がらせを行うケースが見られる。
絵柄は作者の唯一無二のものであり、それを模倣して悪用することは人権の侵害に該当するのではないか？また、作者の生成物を学習して模倣することは著作権の侵害になるのでは？
現状 AI であることの判断は映像、画像双方黎明期であることによる表現の粗さから判断はどうにかできるが、悪用を防ぐために
・生成 AI であることを判別するための表示を義務化
・生成 AI の学習元の記載義務化
この二点を行う必要があると私は考える。

●受付番号　185001345000007438

5(2)エ(イ)について。
画風や作風、アイディアが生成 AI に学習され他者の手によって作られたものは著作権に引っかからないとありますが、明らかな盗用による精神的被害には引っかからないのでしょうか？
生成 AI がネット上で公開されている作品を無断で学習している件についての対策が不十分であると考えます。
いま考慮すべきなのは、AI による技術革新ではなく、クリエイターの権利等を守ることだと思いました。

●受付番号　185001345000007439

絵師さん何時間もかけた絵を SNS にアップロードした瞬間に、第三者が勝手に AI に吸い上げ再度放出、それで自分の手柄のようにして収益を得る人までいる世の中です。どう考えても危険です。

●受付番号　185001345000007440

人が努力して創作したものを本人の許可なく勝手に学習ベースにするのは許せないです。数字を入力して機械が計算して出力するのとはわけが違います。非常に悪質な模造品、海賊版といっても差し支えないです。無許可で学習し本物そっくりに出力できるのは悪用しやすいということでもあります。許可があれば良いという話でもありませんが。
創作者を守る国、ルールであってほしいです。

●受付番号　185001345000007441

他人の作品を要する以上、そもそも生成 AI は自律的ではないと考える。
著作権を主張出来るようなものではない。
悪用ばかりに使われている現状、そして国がそれを取り締まるどころか悪用者を神輿に担いで推進しようとしている現状を鑑みても、生成 AI の利活用拡大自体するべきではないと考える。悪用でない生成 AI に限り利活用は可とする。
利用者は免許制で限定し、違反したら免許は永久に剥奪。
国が取り締まるどころか悪用者を神輿に担いで推進しようとしている現状が本当に腹立たしく、無思考過ぎてただ呆れる。
国が主導する搾取は一刻も早く中止しなければならない。
問題のある人間を有識者と呼ぶことをとにかくやめてほしい。
一度でも規制した方がいいと考えている側の、自分たちに都合が悪いことも言うようなパネラーを呼んだことがあったか？ないだろう？
被害に遭った人間を呼んでもっとよく意見を聞くべき。
現在の国の担当者、議員もみなこの問題にあたるにあたり人選が不適切すぎる。
インターネット上で生成 AI を利用している人間の大半は、他人の作品を無断で利用し元の作者に金銭的または物質的そして精神的還元をすることなく、それどころかその掠奪行為を正当化して暴利を貪っているため、そもそも著作権ありきでの利用という理性的な活動はまるでなされていないと考える。
国も推進一辺倒で著作権絡み含め、リスクについての啓蒙が圧倒的に足りていない。
AI の生成物は著作でも何でもなく、ただのパクリである。
彼らがやっているのは他人の家の犬を盗んで来て、自分で勝手に名前をつけて嬉々としているような、悍ましい行為である。
他人の作物を盗んでスムージーを作って、盗品であることを隠して高額の売り上げを出し、ほくそ笑んでいるようなものである。
更にもっと酷いとその盗品で儲ける方法を世に広め、それでさらに暴利を貪っている。
それらがここ 2 年近くずっと野放しである異常さに国は本気で対応する必要がある。
議員がしょーもない規制と失言したことも野放し、初心者中級者と作者のレベルに応じて差別するなど、国の担当者に大変問題があることも大きな問題であり、担当者を即刻変えるべきである。
有識者等も被害を受けた当事者ではなく推進するために利用できそうな人物ばかりを呼んでいるため、国が発信する内容に強力な、悪質なバイアスがかかっている。
とにかく屁理屈ばかり捏ねていないで他人の作品がないと使い物にならないし、電気も馬鹿みたいに食うしゴミのような技術であることを早く認め、早々に手を引くべきである。

特定のクリエイターの作品を読み込ませて嫌がらせをする、生成 AI を推進したくてしょうがない愚かな人間たちも取り締まらない、嫌がらせに対する罰則もない。そんな状態を野放しにして健全に技術が浸透するとでも思っているのか。
著作権以前に使用者のモラル教育こそが最優先されるべきだ。
最優先するべきは人権である。
これは何事においても同じであり、それを差し置いて能書を垂れても何の説得力もない。
30 条の 4 を盾に何をやってもいいという都合の良い拡大解釈をし、嫌がらせをする人間が沢山いる。まずはその解釈をさせず、作者本人（亡くなった方も含めて）の権利を絶対的に守るような法でなければ意味がない。
[redacted]がデータを盗んでいると認めている以上、データセットが盗品見本市だと理解してもなおそれを使う人間も、それを推進する国もおかしい。泥棒を国が推進するな。
侵害行為の責任主体は事業者も使用者も全て含み、罰されるべきである。
このまま推進するなら国の推進側パネラーも罰されるべきである。
生成 AI の生成物に人が手を加えたとしても、生成物の元となった作品を全てクレジット出来ない以上、それに対しては絶対に著作物性を与えるべきではない。
そして国が勝手に作品をデータベース化することも決して許されるべきではない。生きている人間は絶対許可制。亡くなった方はデータベース化不可。
なぜならその方が生きているうちに芸術的価値を見出すのが文化を守る人間の責務だと思うからである。見る目がない人間がそのポジションに居座るな。

●受付番号　185001345000007442

インターネットに上げている作品はAIの素材ではありません。
私自身、絵を描いてアップロードしていますがAI学習させるために描いていません。
著作権を守ってください。

●受付番号　185001345000007443

生成系 AI は、画像、音声等を含めた全てが禁止されるべきである。
画像について、他人の著作物を取り込んで他の著作物にすることは著作者人格権の侵害である。
また、著作者が「自分の著作物を学習しないでほしい」という意思を無視することは、人権侵害である。現に、私を含め多くの著作者が精神的苦痛を感じている。
著作権法が文化の発展を促すものであるなら、人間の創作意欲を削ぐような今の現状は著作権の立法趣旨に反するものであるといえる。
また、写真を使ったディープフェイクについて、自分の顔や自分の子どもの顔が自分の知らないところで他人の身体と合成されて SNS で拡散される等が起こった場合に差止請求も何も出来ないのは問題である。
音声についても同様である。
オレオレ詐欺に自分の声が使われる可能性がある。
また、作曲家の著作人格権も守られない。
自分に被害が無い方々の目に、生成 AI は画期的な技術に映るかもしれないが、踏み台にされる人々のことはどうでもよいのか。
安心して創作活動等ができる環境を整えていただきたいです。

●受付番号　185001345000007444

著作権者の利益を不当に害することとなる場合について、十分な理解、納得のいく整理が、及んでいるとは考えられない状況です。こと、AI 生成物に著作権を付与することは著作権法の趣旨を没却し、自ら文化の担い手の首を絞め、クールジャパン本来の趣旨を大きく逸脱させ衰退させると、思われます。まず、現行の AI の学習元となる可能性があるプロアマチュアを問わない作家、絵描きの作品、役者の声や身体的情報などを不当な利用から守る部分を重点的に、法として整備してほしいです。

●受付番号　185001345000007445

AI イラストが浸透し始めている今でも、創作者の尊厳は守られていません。
学習のためと言えば聞こえはいいですが、創作者の著作権は無視され、積み上げてきた経験と時間を冒涜する行為と言っても過言ではありません。
AI に学習させたものにも著作権を与えるというのもいささか矛盾しているように感じます。
現状は著作権はありませんが、学習してきたものには著作権があります。
なぜ学習先の著作権は今だ守られていないのでしょうか。
AI で生成したものに著作権を与えたとして、学習された創作者の立場はどうなるのでしょうか。
拙い言葉でしか言い表すことが出来ませんが、私としては創作者の立場がより危うくなるように感じます。
AI でものを生み出すこと自体は構いませんが、学習される創作者の著作権などは守られた状態で使用して欲しいです。
イラスト関係の場所では、AI にイラストを学習された云々の話を度々聞くので、AI に著作権を与えたら AI に支配され、私たちが法律などを以て対処できないところにまで来るのではないかと思います。

●受付番号　185001345000007446

２．検討の前提として

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理

デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した柔軟な権利制限規定の整備を含む「著作権法の一部を改正する法律」が制定されたのが平成 30 年であり、施行された平成 31 年から 5 年が経過しており、著作権法第 30 条の 4 の対象となる利用行為にある「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的とない行為」を超えて生成ＡＩを活用している事例が多くあり、具体的には、生成ＡＩを用いての海賊版の作成、制作者のなりすまし、児童ポルノを含むデータを用いての児童ポルノ画像の生成などがあげられる。「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的とない行為」を超えて生成ＡＩを活用している事例に即した法整備や、著作権法以外でのＡＩの利用を制限する法律を定める必要性があると考えられる。

６．最後に

平成 30 年に著作権法が改正されたことに関して、知っていない人も多く、そうしたことを
分かりやすく周知していく活動をしていく必要があるのではないかと考えられる。
恥ずかしながら、私はＳＮＳの漫画家の投稿を見て、このパブリックコメントがあることを
知った。法律の議論については、他に譲るとして、生成ＡＩについてのデメリットについてその投稿を見て、初めて知ることができた。生成ＡＩが発展してから 1 年間の間に、被害が
出ていること、ことに自殺者も出ていることは、決して看過してはならないと考えられる。
著作権は、著作者人格権にも表れている通り、著作者の人格を守る権利だということを
もっと文化庁から大衆にも知らせてほしい。

●受付番号　185001345000007447

AI イラストはそもそも既存のデータを取り入れて生成するものなので、その時点でグレーな存在であるにも関わらず、そこに著作権を与えるのはどう考えても頭がおかしい。有名イラストレーターが時間と手間をかけて確立した絵柄を適当に真似して生成したイラストなどが出回っていることを考慮してください。
イラストは、絵描きたちが今まで努力した結晶で、技術で文化だということを、そしてその文化を経てクールジャパンが確立したことをお忘れなきよう。
本来の文化の意味を思い出してください。よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007448

著作者には学習されない権利があると考えます。学習者が公開しないとしても学習行為自体が著作物への剽窃だと考えます。
著作者への不当な不利益が生じないとしても学習者が無断で学習させたもので利益を上げることは作品の盗用と同義だと考えます。
また、学習元も正規に公開された画像ではない海賊版を使用しているものがあり、その点が不明瞭なため、学習自体が著作者の作品に対して不利益になりうることが予想できます。
人間が AI 生成物に対して加筆をした場合に著作物性が生じるとありますが、学習データ元が正規の手順を踏んだ上で学習していない場合や無断にデータを学習した場合は学習元となった画像を描いた人物に対しての著作権侵害になるのではないかと考えます。

●受付番号　185001345000007449

私は、ゲーム業界における 3D アーティストとしての経験を持ち、イラストや漫画の制作も行っております。本日は、「AI と著作権に関する考え方について（素案)」に関する意見募集に対し、私なりの視点から意見を申し上げます。
AI 技術の急速な発展は、創造的産業におけるイノベーションを加速させ、無限の可能性を秘めています。しかし、過度に厳格な著作権規制は、このような技術革新を阻害する恐れがあります。特に、AI を活用した新しいコンテンツの創出や学習プロセスにおいて、著作権物の使用が避けられない場合、権利確認のプロセスが過度に煩雑で高コストであると、AI 開発者の活動が抑制される恐れがあります。
例えば、Adobe のような大手企業が提供する画像投稿サイトでは、既に膨大な量の著作物が管理されており、これらのインフラを利用することで、比較的容易に権利管理を行うことが可能です。しかし、すべてのクリエイターや開発者がこのようなインフラにアクセスできるわけではありません。著作権規制が強化されれば、大手企業のみが恩恵を受け、市場における競争の不均衡を招くことになります。
また、AI の進化には、リアルタイムでの学習や環境からの情報収集が不可欠です。カメラを搭載し、現実世界の映像を学習素材とする AI 技術の開発は、新たなアプリケーションを生み出す上で重要です。これらの技術が著作権によって不当に制限されることなく、健全な発展を遂げることができるよう、適切な規制の枠組みが求められます。
著作権保護は、クリエイターの権利と創作意欲を守る上で不可欠ですが、AI 技術の発展という大きな流れの中で、柔軟かつ実用的なアプローチが必要です。利益の適正な分配と技術革新の促進という、二つの目標を達成するためのバランスを見出すことが、我々全員の利益に繋がると信じております。

●受付番号　185001345000007450

自分が懇切丁寧に作った作品を何者かに吸い上げられ改編れるという事の恐ろしさは、それを行ったものが誰であれ、創作者からすれば耐え難い苦痛であります。最近ではドラマ化もされた[redacted]様が、あまりに原作と乖離した作者の意図を踏みにじるような表現がドラマにおいて繰り返し行われたため、それに耐えきれずにドラマ版の脚本に携わった経緯が公表されていました。それだけを見ても自分が作ったものがその手を離れて、他者に好き勝手弄られてしまうことの酷さは伝わると思います。言わずもがな、その後に作者様は自死される道を選ばれました。
AI における学習においては、著作物の二次利用が前提となっていると思われます。この二次利用に関しては日本国の法律において「著作者の許諾を要する」という扱いになっていますね。ですが多くのクリエイターの間では、自分が昔描いたイラストが誰かが作った AI イラストの一部と酷似しており、明らかに自身の著作物が許可なく学習に用いられたという事態が発生しております。
日本の重要な産業のひとつでもあるクリエイティブな分野が第三者の悪意によって蝕まれている現状は、国全体の利益を考えた上でも非常に問題視されなければならないものだと思っております。是非とも著作者の権利を尊重し、技術の進歩や利益を盾としたクリエイターを踏みにじるような行為が無い国になることを心の底から願っています。

●受付番号　185001345000007451

現状、既に特定のイラストレーターの絵を学習させ、特定のイラストレーターの個性を強く反映させたAIによる生成物を用い、なりすましを行っていたり販売を行っている例をいくつも見ています。この状況で生成物に著作権を発生させることは事態の悪化に繋がると考えられます。

極端な例ですが、自身で撮った写真や自身で描いたイラストのみを学習させたAIの生成物のみ著作権を与えると仮定しても、自身で用意したと偽って他者の創作物を学習させる者は出てくるでしょう。

AIを悪用する者を取り締まる仕組みがきちんと機能してから、改めて著作権を付与するかどうかを考えるべきかと思います。

●受付番号　185001345000007452

素案に関しては現状の著作権法に対してこれからの表現者にとって大変バランスのよいものとなっていると感じます。ガイドラインが緩すぎても厳しすぎても生成 AI に関わらない創作にとても悪い効果を生む事が強く懸念されますため、生成 AI に関わる素案ではありますが現状の著作権の在り方を重視し慎重かつ丁寧に考えていく姿勢を崩さないよう表現者の立場から強くお願いをいたします。

（４．関係者からの様々な懸念の声について ）について

表現者から生成 AI に対して多くの懸念のが集まるのは、著作権法の正しい周知が出来ていない事以上に現実として現行の著作権法やその他の法律で禁止されている行為に対しても、スムースに法的責任を問いづらい社会の問題があると考えられます。スムースに法的な判断を下せない状況だからこそ曖昧な倫理や業界の慣習で私刑同然の批判が行われたり、逆に法的にも問題があるような行為すら行われてしまったりするのではないでしょうか。この度のようなガイドラインが制定されても、その通りに速やかな法的な判断が下されないとなればガイドラインは形骸化してしまうと思われるため、文化庁としてもガイドラインの制定と共にそれらを守らせ、法的な責任を問うような問題が発生した場合は速やかな法的判断が行われるようそれを支援するシステム作りが急務かと存じます。

（５．各論点について　（１）学習・開発段階　（２）生成・利用段階 ）

現状、生成 AI で作られたものによって著作権侵害が発生した場合にその罪を問うためには、学習段階（追加学習含む）で享受目的での著作物の利用がされているかという点も一つの判断材料になるかと存じますが、これを明らかにするためには裁判所の求めに応じて学習素材の速やかな開示の義務付けが必要かと考えます。これは EU の AIact による透明性の義務（52 条）などの考え方も参考となるかと存じますが、広く一般に透明性を持たせるとそれもまた無用な問題を生むと思われるため、あくまで国や専門の組織や裁判所の求めに応じて開示する義務とすることが望ましいかと存じます。そういった開示義務を盛り込んだ新たな規定または法律が、現状の著作権を機能させるためにこそ必要と考えます。

また、生成 AI の特徴として既存著作物に類似する生成物を大量に生成出来る事があげられますが、これを用いた著作権侵害にならない範囲での嫌がらせや成りすましに関して、素案に「当該作品群の複製等を行うような場合は、享受目的が併存すると考えられる。 」とあるように、学習段階（追加学習含む）に享受目的が併存する場合は学習に著作物を利用する事は制限されると思いますが、このような学習がなされた生成 AI を生成段階で利用したユーザー（学習段階に関わっていない者）による嫌がらせや成りすましに関して規制する方法は現状存在しないと考えられます。著作権が著作物に対して発生する権利だとすれば、表現の本質的特徴を持った作品群の複製というような行為に対しての規制は、コンテンツ制作の機械化が進む現代においては遅かれ早かれ必要な要件ではないかと思われ、生成 AI にのみ関わる問題ではないためこの度のガイドラインに関しては適切

ではないとは思いますが、今後の課題として著作権法の改定も含め一考する事も必要かと考えます。作風や画風、アイデアなどは絶対に保護されるべきではないからこそ、作品群に共通する本質的表現の複製がどのような範囲または行為か明確にする事が重要ではないでしょうか。
以上、駄文失礼いたしました。素案に関しての意見としては逸脱していると思います申し訳ございません。法的な取り決めではなくガイドラインの制定である以上法的な解釈を大きく歪める事は出来ない中、大変なご苦労をされていると思います。
非常に難しい立場に置かれておられる文化庁の皆様と今回の素案制作に関わられたすべての方々のご尽力に一表現者として感謝申し上げます。ありがとうございました。

●受付番号　185001345000007453

ai と著作権は関係性自体がそもそも起こり得ないと考えます
つまり生成 ai は著作権の発生しないものであり保護の対象には
断じて致すべきではないということです
加えて生成 ai の生成物とはその学習元である種々のクリエイター
による創作物のキメラでありつまりそれは著作権を著しく侵害
した忌子であるとすべからく認識をするものであると考えます
規制に強く働きかける事はあれど推進を促すような浅慮著しい
方々がおられるのだとしたらこれは同時に日本の貴重な産業を
終焉へと向かわせる国賊と言って良いのではないでしょうか

●受付番号　185001345000007454

・生成 AI は著作権法上の「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当する。
画像、音楽共に Web 上から他者の著作物を収集してデータセットを作るため、他者の著作物を利用して同様の形態(画像、音楽、音声、将来的には動画)のものを出力する。
その上で、生成 AI はあくまで学習データをデータセットに強く依存しているため、学習元と同一の市場から得られる売上、利益を著作者が受け取れないこととなる。
事実として海外において声優が自らの声を学習され、自らの出演契約を切られるという事象も発生しており、経済的不利益を被るのは明らかであり、規制を求める。

●受付番号　185001345000007455

クリエイターや実演家等の権利者の懸念として書かれている
無断学習、著作侵害生成物の大量生成、作風等の類犠牲により仕事が AI に奪われ正当な対価が得られない事、創作活動の萎縮、これらは既に「懸念」などではなく
実際に起きている被害です。既にこれらは申告なレベルでプロ・アマを問わず創作者に対し甚大な被害を与えています。
AI 生成による高度な「作風の模様」は一見、深くその作品に触れ
自らで作品を作る高度な努力をしてきた人達でしか見抜く事が難しいほどには高度なのです。
画像データは所詮データではありますが、ただの画像ではないのです。
絵筆を持ちキャンバスと向き合う画家と同じくツールが違うだけで成果物がデジタルか、アナログかの違いしかありません。
自身が描いた大切なイラストがなんの対価もなしに勝手に学習に使われ、
想定を遥かに超えた利用方法がされ、悪用に使われるリスクは高く
そんな中で健全に絵を見てもらえるなど甘い考えではこちらが痛い目を見る、と
絵を学び画力向上を目指し筆をとっている人間は絵を SNS や投稿サイトにアップロードすることを恐れています。
私もその一人です。
事実、Lora セットを無断で生成されたイラストレーターの方は酷い人権侵害に会い、生きていていいのだろうかと深刻に悩み
無期限のアカウントの休止を発表しました。
今更「懸念」などと悠長な事は言えないほど自体は既に深刻化しています。
仮にそのイラストレーターの方と同じ攻撃を私がされれば私は間違いなく自らの命を絶つでしょう。
海賊版が禁止されているのは公式と間違え、公式が不利益を被るからです。
なぜ模倣されたイラスト模倣された音声がまかり通り、海賊版は禁止されているのですか？
やっている事は同じではありませんか？
絵として良く見えるもの、には限りがあります。
自然と傾向として特定のものが多くなります。
複雑な立体物を数学的に理解し、解剖学的に学習し、ペンで描けるようになるまで人によっては指先が変形するほど、豆ができて感覚がなくなるほど、ただひたすらに描いて覚えるのです。
決して人と同じように AI 生成物を認めてはなりません。
すべて認めてはならないとは思いません。

AI 生成物もかなり大量の指示をしなくてはならず、それは一朝一夕で身につくものでもないと考えます。
保護されるべきはその指示ではありませんか？
生成物で人権は簡単にねじ伏せられます。
何人も実害を被り被害にあった人を既に X（旧 Twitter）上で見ました。
心が擦り切れてしまうので、私も筆を折りたくありませんし深く火元を探していませんでしたがそれでも見えるくらいには実害が出ています。

●受付番号　185001345000007456

素案を拝見したが、考えられるという文言を使用した文章が散見される。考えられるという文章には根拠がなく、素案にはふさわしくないのではないだろうか。根拠があるとは受け取れない。また、著作物の保護についても不十分である。昨今 SNS 上では、無断で AI 学習に著作物を用いられた創作者が筆を折ってしまうことや、過激化した AI ユーザーが創作者を攻撃するという光景をよく見るが、彼らの対応もままならない政府が著作物や創作者に然るべき保護を行えるとは思えない。考案の再検討を要求する。

●受付番号　185001345000007457

AI イラストを容認しないでください。
クリエイターが何年も何千、何万時間と費やして生み出したものを AI が数秒で無造作にコピーを繰り返しそれを容認する現状って何なのでしょうか。
AI が生成したイラストが AI っぽい絵柄と確立して、その道が多くの人に飽きられ閉ざされてしまった。
ここ数年でのイラストの発展はすさまじいですよね。
書き手も SNS の影響でどんどん増えています。
でも素晴らしいイラストを描いてコピー品がどんどん生まれてその判別のつき方もわからない人が反響を受けてってなんでしょう…。
書き手、このままだと確実に減りますよ。
以前問題になった海賊版コミックと同じような存在なのに容認されてるのは何故でしょうか。
個人で行うことも多いイラストレーターという仕事、守れるのは国のちからが必要だと思います。
長文かつ支離滅裂な文章で申し訳ありません。
どうかご検討おねがいいたします。

●受付番号　185001345000007458

現在クリエイターを守る法案がただでさえも少ないのに、この AI と著作権に関する素案にはとてもではないが賛成できません。
私たちが求めているのは
・クリエイターを不利益から守る制度
・著作権はいかなる場合でもそれを作り出した作者のものである
といういことを守ってほしい

●受付番号　185001345000007459

AI 学習に使われる“素材”はその辺に沸いて出てくるものではなく、人間がリソースを割いて作り上げた著作物です。
クールジャパンの策略を推進するのであれば、生成 AI よりもクリエイターへの待遇の見直しや次世代の育成を保証したほうが良いのではないでしょうか。
同意のない AI 学習は犯罪行為とすることを求めます。

●受付番号　185001345000007460

ひとつひとつの作品に命が宿るんです。
考え直してください。

●受付番号　185001345000007461

AI の学習に使われたくないイラストレーター、漫画家、デザイナーの意志表示を無視して嫌がらせの為に AI にそのイラストレーターの絵を学習させ使用して精神的苦痛を与えている AI 使用者がいる現状がある以上 AI の使用が出来ないようにしてほしい。
絵を描いている人間として、いつ自分もその損害を受けるか分からない状態が既に苦痛です。

●受付番号　185001345000007462

個人の作成する創作物は個人の経験の蓄積により製作され、各人により程度は異なるが類似性とともに経験の違いによる独自性を有すると考える。
また、経験を創作物として作成・発表するにあたり個人の財産および労力、時間などのコストが生じており、創作物がAIの学習物として利用される場合、創作者本人が納得する適切な報酬が創作者へ支払われるべきであり、かつ、個人の経験により創作された作品に対するコストにより適切な報酬は個人並びに創作物ごとに異なるため一律で定めることは不可能であると考える。
また、この報酬が適切に支払われず、AI利用者が短期間で大量の作品を発表し利益を得ることは非AI利用の創作者に不利益を齎すことは容易に想像出来る。
これが恒常化した場合、文化の停滞または衰退を招くことは想像に堅くない。既にAI利用以外で権利問題が生じ末端の創作者が摩耗するといった問題は定期的に起きているが、これが常態化すれば創作を行う者自体が激減する。
大量生産品の流通により衰退または消滅した工芸は数多あるが、創作者が保護されないのであればこれは全ての創作者を脅かすことになる。
利用目的や学習元を限定的にするなど、己でコストを支払い技術を学んだ創作者が保護されることを望む。
AIの出現と多岐に応用できる技術は素晴らしいが、既にAI利用者と創作者の衝突もおきており、文化が十分に守られていると言い難い日本国内では特に慎重な対応を求めたい。

●受付番号　185001345000007463

日本の創造的な文化、強みを廃れさせかねない事案だと思います。
ただでさえ芸術、文化に従事される方の待遇が良くないのに、インボイスで負担が増え、更に AI によってそれが奪われるのは長期的に見て良くないと思います。
芸術や文化、無駄に思えるかもしれない事が人生を豊かにし、よりよい未来を創造し信じるためにも必要です、もっと社会全体でゆとり、あそびを大事にするべきではないでしょうか。
合理化の為に無駄を排除は、いざという時に弱いです。
どうか、一部の人だけではなく社会全体で人間として安定した豊かな生活がおくれるための法整備をお願いしたいです。

●受付番号　185001345000007464

AI 学習に既存のイラスト、文章を使うことは AI 学習には手っ取り早いかもしれないが、製作者は製作物に膨大な時間を要しているため、AI の学習に用いることは製作者に対して不誠実であり、適切ではないと考えます。

●受付番号　185001345000007465

5.各論点について
AI がどれだけ学習し、どれだけ生成試行回数を重ねたとしても、元となる膨大な量の画像またはイラストから少しずつ盗用をしている事実に変わりはありません。
他者の著作物を学習させ、それぞれの著作物から（程度の大小はあれど）盗用している以上、生成 AI で生まれた物に対しては試行回数に限らず、著作権を認めるべきでは無いと思います。
現在も学習元の画像とほぼ同じ物が生成されたり、企業が出した生成 AI でさえ別会社の著名なキャラクターが出力される事例があります。
仮に自身が作成した画像のみを学習元にするようにと定めたところで、それを破る者は大勢出てくるでしょう。
よって、学習元となる創作者を保護する法が整備されるまでは一般で AI を扱えないようにするべきとさえ考えます。
AI が発展できなくなるという点については、然るべき研究機関でのみ、創作者に許可を得てから AI に学習させて研究すれば解決するかと思います。

●受付番号　185001345000007466

５．各論点について

（２）生成・利用段階

ク 生成指示のための生成 AI への著作物の入力について

30 条の 4 は「著作物の本来的利用には該当せず、権利者の利益を通常害さないと評価できる行為類型(第 1 層)」に該当するものについて権利制限するという趣旨である。

文化審議会著作権分科会報告書(平成 29 年 4 月)によれば、"著作物の本来的利用とは著作物の本来的市場と競合する利用行為を指し，著作物の本来的市場とは，著作物を（その本来的用途に沿って）作品として享受させることを目的として公衆に提供又は提示することに係る市場を言うものとする。"とされている。

生成指示のための生成 AI への著作物の入力は、特に画像を生成するために画像を入力する場合などについては、著作物の本来的市場と競合する利用行為であることは明らかである。すなわち、第 3 層に該当する利用行為である。類似性に関わらず、第 1 層の利用行為に適用することを趣旨とした 30 条の 4 を適用するのは不適切である。第 3 層に該当する利用行為に 30 条の 4 を適用することは、"権利者に及び得る不利益の度合い等に応じて分類した 3 つの「層」について、それぞれ適切な柔軟性を確保した規定を整備する"趣旨に反するものである。

●受付番号　185001345000007467

現状既に多くの自動生成 AI による被害が創作者(一般個人、生業にしてるクリエイター問わず)出ています。
そもそも「他者の”創作物”を勝手に AI 学習に使用する」行為そのものを全面的に規制すべきです。
他者の創作物の悪意ある模倣、無断転載など、既に著作権という「自分が創作した著作物を無断でコピーされたり、インターネットで利用されない権利」と立派な法律がある筈。
懸念点をあれだけ書き連ねることができる時点で十分に「自動生成 AI」の脅威にはお気づきの筈。
自動生成 AI を取り締まらないことによって、今、他でもない”””日本の”””、創作者が脅かされています。

●受付番号　185001345000007468

生成 AI は反対です。
私も絵を描くのですが、それでもものすごい時間と苦労があります。
プロの方はさらに何倍もの時間をかけているのでしょう。その時間をかけたものが無断で学習される…しかもタダで！！日本人のこのタダ働き精神ほんと嫌いです。
何時間もかけて作り上げたものが勝手に学習されて一瞬で作品が作られて…日本の創作文化は衰退しますね。あと AI の作った絵が好きではない。人工的すぎる。気持ち悪い。
勝手に学習してるなら、AI で作った絵は著作権不要ですよね。だって元々他の人が何時間も苦労して作ったものを勝手に使っているんですもの。

●受付番号　185001345000007469

現状の AI 技術では出力結果が明らかにデータセット内の情報を切り貼りしたコラージュのようなものが生成される場合があり、AI により生成されたデータと類似した作品をもっている（または元データの作者）が不利益を被る可能性が多くあると思われます。
また、不利益が発生した場合の責任を問いただす対象がさだかではなく、被害者が泣き寝入りになる可能性があまりにも高すぎるのではないでしょうか。
AI をこのまま推進するにせよ、元データ作成者への利益還元が出来ない状態で AI 使用者のみが利益を受け取るという健全ではない形で AI の運用がなされてしまうように思います。
また法に違反しているデータなどを元データとして使用しているのは児童ポルノ所持にはあたらないのでしょうか。疑問です。
よって現状では AI は著作権を侵害しないと断定することは難しいと思います。

●受付番号　185001345000007470

5.各論点について
1)学習・開発段階
ア)
研究目的としてのデータ収集が認められているのは分かるが、商業目的の公開は享受目的にあたるのではないだろうか。
元著作物の市場に影響が出るのだから著作者に対して個々に許諾をとるべきである。
エ)
AI 学習を禁止するという意見表明のために、AI 学習阻害措置をなぜ絵を描いた側が行わなければならないのか。二次使用対策のためにオリジナルの側に手間が増えるのはどう考えてもおかしいと感じる。AI 学習機会を作る側が、この作品は AI 学習が可能なのかを調べてやるべきではないのか？作品を世に出した側が、阻害効果を付け忘れたらその作品は AI 学習 OK ということになってしまうのだろうか。
カ)
この項目だけでなく、全体的に根拠となるデータが記載されていない、「〜と考えられる」という表記が多すぎるように感じる。「学習済モデルは〜複製物と言えない場合が多いと考えられ」「AI 学習により作成された〜生成することができると考えられる」と判断したのはなぜなのか。判断にいたった際に参考にしたデータを掲載し、根拠となるデータがあるという記載のもと、再考してほしい。
まず素案で参考にしている「法第 30 条の 4」についても、作成されてから 6 年もたつため、今の時代にそぐう法立案をしてほしい。
3)生成物の著作物性について
著作権法違反が犯罪だというのに、それを読み取って生成 AI とする・生成 AI で書きだしたものを世に公表する行為が法律で守られているのは、甚だおかしいのではないだろうか。
そもそも、人間が生み出した作品なら責任が作者にあると言えるのに対し、 本素案ですら責任主体がはっきりしないような物に著作権があるとは到底思えない。
今のままだと、生成 AI を作るのにはコストと時間がかかるので、著作者が措置を請求しても会社の利益を取るよ、というように読み取れてしまう。著作権侵害という犯罪を法で認めるのだろうか。
もし国が著作者の権利を無視するのであれば、日本で育ってきた漫画・アニメ・イラストの文化が廃れるのも遠くない未来であると思う。

●受付番号　185001345000007471

現状のメインソフトである無作為にネット上にある全ての画像を餌にして画像を生成する生成 AI は規制されるべきですし、使用禁止とすることが望ましい。
私が絵を学んだのはこのように他人の著作物を許可なく使用するソフトに食わせるためではない。
生成 AI が流行りだしてからはイラストを描くモチベーションも下がっているしインターネットに画像を投稿することを止めた。

●受付番号　185001345000007472

第三者の者が簡単に他の人の著作物を真似することが出来るような生成ソフトは、法を整備して、規制をするべきと思います。
他人に著作権がある著作物を生成ソフトによって真似したものに著作権を与えてはならないです。

●受付番号　185001345000007473

AI と著作権に関する問題は絵や音楽などの芸術だけの問題ではありません。私達が普段利用している家庭用電化製品や乗り物も、人間の手で一から書き上げた設計図をもとに沢山の人が協力して作っています。もし、創作をやめて AI を頼る社会になってしまったら、芸術のみならず工業などの品質にも悪影響を及ぼします。現在は AI によってデザインされた商品の安全性が保証されていない、きわめて危険な状態です。確かに AI が高品質な学習が出来るのは人間の創作のおかげです。しかし、だからといって AI 学習を自由に出来るようにしてしまったら、AI を悪用して特定の著作者や作品を中傷する者が現れても、著作者は被害を訴えることが出来なくなってしまいます。そのような事態は絶対に避けるべきです。AI か普及していく今だからこそ、著作者の権利が守られる法整備をしてください。

●受付番号　185001345000007474

生成 AI の厳しい法規制を求めます。
確かに生成 AI の技術は素晴らしいものですが、あまりにも悪用が容易です。
実際に悪意ある第三者に自分の描いたイラスト、あるいは撮った写真を自作発言されているケースやディープフェイクによる混乱は起きており、野放しにするのは明らかに危険です。
生成 AI の技術は目覚ましく喜ばしいものですが、著作権の意識が低い素人が利用するにはあまりにリスクが大きいです。
完全に存在を許さないというのではなく、法整備が整うまでは企業や大学等研究機関での利用のみにとどめておくべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007475

AI によって発生するメリットよりデメリットを考えてほしいです。
創作者によるデメリットが大きいため、その辺のボーダーラインをしっかりするべきです。
AI 生成による学習取り込み自体を禁止してほしいです。

●受付番号　185001345000007476

初めまして。X(旧 Twitter)や pixiv で活動している[redacted]と申します。
まず 5 番の(2)、エにおいて 31 ページ下部に記載されている侵害に対する措置について、「AI 利用者が侵害の行為に係る著作物等を認識していなかったなどの事情により、著作権侵害についての故意又は過失が認められない場合においては、著作権侵害が認められたとしても、受け得る措置は、差止請求に留まり、刑事罰や損害賠償請求の対象となることはないと考えられる。」と申しておりますが、これはあくまで私 1 個人の意見にはなるのですが、「不法侵入をしても故意または過失ではないと認められたら罰金数千円で釈放する」と言っているようにしか見えません。
また、同じく 5 番の(2)、ケにおいて、34 ページ中部に記載されている「生成 AI の生成・利用段階においては、生成指示のための既存の著作物の複製等（プロンプト入力）や、既存の著作物に類似した生成物の生成、出力された既存の著作物に類似する生成物の利用といった場面で、既存の著作物を利用することがあり得る。これらの場合については、権利制限規定が適用され、権利者の許諾なく行うことができる場合があると考えられる。」という部分は私の解釈で要約すると「生成するときに今ある作品や似た物を入力したり似た物が出てきても創作者には許可を取らなくていいよ。」となり、これだと盗作に値する行為なのに何も罰せられないということになると思われます。
私はまだ学生であり、法律やこういった意見に接する機会もなかなかないため解釈や根柢の認識が間違っている可能性は大いにあります。しかし、一人の絵描きとしてこの素案は看過することができなかったので今回こうしてパブリック・コメントを利用して意見を送らせていただきました。
自分が作ったものを許可なく AI の学習に利用されるなど私からしたら言語道断です。このままでは創作活動をする人も減っていずれ文化が廃れてしまいます。もう一度創作者の立場に立って考え直してみてください。
日本語も下手で読みづらいとも思いますがご検討をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007477

インターネットに日常的にアクセスする年齢層が、年々低くなっているとおもいます。10年も前であれば、インターネットに載っていることなど信用できないと考える人も少なくはなかったと思います。しかし、小学生からスマホを持ち、なにか調べる時にはまずネットで検索の現代において、インターネットの内容を信じ切ってしまう人も以前より増えたと感じます。そのような状況で、作者の意図や制作の経緯を何も知らないAIが、勝手に作品を学習し、作者に許可なくつぎはぎで新たなものを生み出してしますことに危険性を感じます。天皇陛下のお顔を知らない子どもが、AIに陛下の顔を使い生成された過激な写真を見て、大変なを勘違いしてしまうような時代が来ないことを切に願います。

●受付番号　185001345000007478

生成 AI は元となる素材があってこそ生成できるものであり、その時点で未許可のものを利用した場合、そのすべてが権利の侵害に抵触しているものです。
個人のみの利用なら関係ないかもしれませんが、前年起こった pixivFANBOX での画像生成 AI を使用した画像の有料化などすでに悪用されはじめています。
さらには画像生成 AI を利用して性的な画像を使い、商売に利用されたり、特定のイラストレーターに酷似した絵が幅広く使われています。
https://paypayfleamarket.yahoo.co.jp/item/h1123931068　（AI 美女 ）

[redacted]

特定のイラストレーターの絵で生成された画像が、イラストレーターの望まない形で利用されてしまうのは由々しき事態だと思います。
元の素材が必要である以上、権利の侵害は避けられません。
AI イラストの自作発言もよくみかけます。
AI 生成の作品は個人利用のみにとどめ、どんな場合でも金銭が絡むことには使用してはならないよう法整備をした方が良いと思います。
そして AI 生成を利用した場合、必ず AI 生成を利用したことが一目でわかる加工も必要だと思います。
もしくは AI 生成自体を禁止にすべきだと思います。

●受付番号　185001345000007479

現状の悪意ある生成 AI の使われ方を規制するためには下記のような取り決めが必要だと思います。

【生成 AI の使用には免許が必要】

　違法行為をした場合、すぐに個人が特定できるように。

【生成 AI を使用した場合は、どこに使用したのか具体的な告知義務を設ける】

　生成 AI を使っている、使っていないという疑惑で生じる無益な争いを避けるため。

【第三者の著作物を無許可で学習させ、商用に生成することを法的に禁止する】

　作者の著作権を守るため。

【SNS などで著作物が無断生成され、不当な扱われ方をされた場合は、生成した者に賠償を求めることができる】

　作者の人格権を守るため。

●受付番号　185001345000007480

個人
5.各論点について
（４）その他の論点について
生成 Ai が自分のイラストの絵柄を意図的に学習し、
それを悪意ある生成 Ai 利用者によって、わいせつな絵や宗教的な要素等を含む絵として大幅に加筆された場合、第三者からは誰が描いたものなのか区別がつかない上、
自分の絵柄の悪意ある制作物が出回っても、加筆した生成 Ai 利用者の著作物になるのかという懸念。

●受付番号　185001345000007481

AI が署作物、及び著作権が表記されていない、人間の作成したイラスト、漫画などを取り込んで学習することに反対します。
多くのアーティストや漫画家が著作権の侵害にあたる、と反対されていることはもちろん、
私にはもう一つ意見があります。
しばらく前からペットボトルのデザインを AI が作成したものの商品が多く出回りました。出始めにみんな、お？なんかいい感じのボトル。と思い真新しさと洗練された形に購入したりしました。ですが、すぐに飽きました。愛着が湧きませんでした。
AI が作成したイラストにも私はいつも同じものを感じます。綺麗に描けている。しかし味がない、長く続かない。人が描いたものは、それぞれの人のこだわりがあり、美しさ、バランスの良さ、華やかさ、それ以外のものがあるのです。それは個人個人がこれまで生きてきた上で触れてきた人、世界、感情、環境、挫折、栄光、そういう人間の人生が現れているものなのです。
この一時の AI ブームで、もし、本物の人間のアーティスト達が淘汰されてしまった場合、業界の衰退は目に見えています。
AI がデータだけでなく感情を持てるようになるまでは（感情を理解ではなく、AI 自身が感情に左右されるようになるまでは）どこの業界も決して AI に人間が淘汰されてはならないと思います。

●受付番号　185001345000007482

AI 生成に使用した際の元のイラストには著作権がありますが、その著作権があるイラストを使用し、AI イラストを生成して販売やインプレッションで収入を稼げているのが納得がいきません。
元のイラストの著作者になりすまして活動を開始する AI 使用者もいます。
これが著作権侵害では現状ないため、手描きで AI を使用しないでイラストを作成しているイラストレーターは著作権侵害として訴えることも出来ないのに対して、AI 生成者は簡単に AI イラストを生成し、収入を得ています。
AI の技術はとても素晴らしいとは思いますが、AI 生成イラストについては、元の手描きでのイラストがあってから成り立っている収入です。
元の手描きのイラストは、簡単なイラストでも数時間かかり、クオリティの高いイラストでは 2、3 日かかる人が大半だと思います。
それを、AI 生成イラストは、それよりも圧倒的に少ない時間でクオリティの高いイラストを作成出来てしまいます。
元の手描きイラストがなければ AI でクオリティの高いイラストも生成出来ないのに対して、AI 生成で収入を得られている現状に納得がいきません。
また、収入を AI 生成で得ていない場合でも、元の手描きイラストを描いたイラストレーターの絵柄が強く出てしまうのは、元の手描きイラストレーターの営業妨害にも繋がります。
R18 のようなイラストを普段絶対に描いていない、今後も描くつもりはない元の手描きイラストレーターが、AI 生成イラストで R18 イラストを出されてしまうと、そのイラストを見た人にあの手描きイラストレーターさんは R18 イラストも描いている、依頼でも R18 を描いてもらえると思われても仕方なくなってしまう現状です。
その人が本来大事にしている世界観やテイスト以外のイラストを AI で勝手に生成されてしまうと、その人の営業妨害になっているのではないでしょうか。
たしか、著作権のあるものは、版権元の絵柄に似ないように二次創作でもしないといけないと前に聞いたことがあります。
だとすれば、AI 生成イラストは元の著作権のある手描きイラストの絵柄がかなり濃く出ている場合はどうなのでしょうか。
キャラクターデザインにしても、容易にクオリティの高いデザインを AI で生成できてしまいます。
AI ですぐにクオリティの高いものが出せてそれを使用されるのであれば、元の手描きでのキャラクターデザインをされた方が今後デザインする意味や必要性はあるのでしょうか。
キャラクターデザインもイラスト同様、著作権があります。

簡単にAI生成できる上で手描きイラストレーターのイラストを使用した販売や収入は元のイラストを描いた人への立派な著作権侵害だと思います。

●受付番号　185001345000007483

生成 AI はとても便利な技術ですが、近年イラストや小説などを AI で生成し、クリエイターのように発表している人々をよく見かけます。
　生成 AI を利用したイラストや小説等について、
生成 AI の学習に利用することに同意したクリエイターの著作物を学習させて生成したものであれば著作権上問題ないと考えています。
　また、自身でも著作物を生み出しているクリエイターが自分の作品を学習させて生成 AI で新しく作品を作る、という行為も問題ないと考えます。
　しかし、他のクリエイターの著作物を『無断』で生成 AI の学習に使用し、生成物を自分の作品として発表することは、著作物を制作したクリエイターにとっては自分の作品を盗まれたようなもので、問題だと考えます。
　また、このような著作物の利用は既存のクリエイターの作品の代替とされる可能性があり、クリエイターの仕事や利益を奪うことになります。
したがって、生成 AI の利用には「学習用に利用する著作物の権利者に許可を得る」「生成物が既存の著作物や学習データと同じ表現とならないようにする」「生成 AI の作成・利用に資格や免許を必要とする」といった規制が必要だと考えます。
以下、素案についての具体的な意見です。
【著作権侵害の有無の考え方について】
（イ）依拠性の考え方について
　2 AI 利用者が既存の著作物を認識していなかったが、AI 学習用データに当該著作物が含まれる場合
2 つ目のチェック（P30　21 行目から）について
『学習に利用された著作物の表現と生成物の表現が異なる場合、
　学習に利用した著作物の著作権侵害とはならない可能性がある』
ということだと思われますが、
『学習に利用された著作物』の権利者（創作者）にとっては、生成物が別物であるとはいえ、自分の著作物を知らないうちに利用されることになります。
多くのクリエイターはそのような行為を不快に感じると思います。
学習に著作物を利用する際は、著作者の同意を得る、などのルールや規制を設ける必要があると思いました。

●受付番号　185001345000007484

項目名 5、各論点について
(1)学習、開発段階
現在の生成 AI における学習とは、様々なクリエイターの創作物を無断で取り込み、学習元のクリエイターの作風に寄せたイラストや写真などを出力するというのが主流になっている。
第一に、クリエイターの創作物を無断で生成 AI に学習させてしまえる現状について問題があると考える。
生成 AI 側でセキュリティやプライバシー、著作権が保護される仕組みが設計されないなら、誰でも生成 AI が扱えてしまえる現状は危険であると考える
(2)生成、利用段階
(1)に述べた通り、現状では誰でも生成 AI を扱うことができ、学習元の著作権やプライバシーは保証されない。
これによって想定される一つが「フェイク画像やデマの拡散」である。
学習元となったクリエイターの尊厳を脅かすような画像を作成したり、気分を害するような画像を作成することができてしまう。
また、現実で起こった例を挙げると、戦争や災害時に生成 AI によってフェイク画像を作成し、閲覧した人を混乱させるようなデマが流出した。(ウクライナ侵攻、能登半島地震)
一見しただけでは写真と見分けのつかない精巧なフェイク画像を誰でも生成できてしまうことは、有事の際に混乱を広げてしまうと考える。
生成 AI の技術の発展は目覚しく革新的であるが、安全性の保証されない今の生成 AI のあり方は犯罪の増加に繋がる恐れがあると考える。

●受付番号　185001345000007485

現時点でも生成 AI による、特定の絵柄を学習させて勝手にセンシティブな絵を生成させる、生成 AI による絵で(すなわち他人の絵柄を複製するだけで)収益を上げたりするなど、多数の問題が発生しています。ネットなどでも広く話題になっているので、文化庁全員がその問題を全く知らない、なんてことはあり得ないと思います。
従来のクリエイターを守るための法整備などを疎かにしたまま推進しては、クリエイターの皆様の心が折れてしまいます。そもそも学習元のサイトや、使用する AI 自体も法的な問題があると聞きます。
このようなクリエイター軽視の姿勢を続けていては、日本のコンテンツ産業は必ず廃れます。一度、従来の(すなわち非 AI の)クリエイター方と慎重に議論を重ねて法整備していただきたいと思います。

●受付番号　185001345000007486

絵柄はその人のアイデンティティで、沢山の研鑽で生み出されたものです。
様々なものを見て取り込み組み上げられものです。
学習型 AI も同じだという人がいますが、それは違うと私は思います。
今の学習型 AI は使う人が学習型 AI を使わない人の権利を横から掠め取っているだけの状態になっています。
著作物でさえ無断で学習され、実在の人物の写真も改造され悪意ある人間に利用されているのが現状です。この素案で本当に著作物を守れるの甚だ疑問が残るし、不安しかありません。本当に現行の著作権法と照らし合わせて考えられているのでしょうか？
AI 技術の発展は大変結構なことですが、今の状態では人の営みを邪魔するだけの産物になってしまうという事だけは覚えておいてください。

●受付番号　185001345000007487

イラストレーターとして活動しているものです。本文の記載を引用して意見をさせていただきます。文字数の関係で省略している部分があります。
1.はじめに
"生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイターも出てきた"創作活動ではなくイラストレーターなどから作品の顔とも言える作風や画風を AI に学習させ盗作まがいのことをしているクリエイターがほとんどです。しかもそれを個人の仕様の範囲内ではなく販売したりし人の作風と類似している作品で利益を得ている方もいます。
2.検討の前提として
"我が国の著作権法は、著作物並びに（？省略）文化の発展に寄与することを目的としている"
と本文の最初に記載があったがこのままいくとクリエイターが一生作品を奪われ複製され攻撃され文化の発展どころか AI のせいで創作や仕事が奪われる人が大勢出てくる。上の 1 に記載したようなことをされていることが公平といえますか？
"著作権法では、「著作者等の権利・利益 の保護」と「著作物等の公正・円滑な利用」とのバランスを踏まえた制度設計がされ ている"とあったがどこがバランスを取っているんですか？権利も利益も奪われ挙句の果てに誹謗中傷され活動を休止した方もいる現実があります。
（1)学習・開発段階
"作風や画風といったアイデア等が類似（？省略）関係で著作権侵害とはならない"
とありますがイラストレーターにとって作風や画風は自分のイラストを自分のものとして主張する 1 番の顔でありそれによってほかのクリエイターの方との差別化をしています。これはどの作品にも言えることだと思います。これが少しでも。本当に少しでも似ているとトラブルになります。本当に少しの類似性でもです。それを AI 学習・開発に使用され自分の作品と少しでも類似していたらたまったもんじゃない、死活問題です。しかも AI の良いところである作業の効率化によりそれを大量生産されたものなら本当に死活問題。しかもそれを訴えて注意しても類似性が認められないと判断されたらもうあとは AI 使用者が暴走するだけです。暴走してからでは遅いです。開発学習をするのであれは創作クリエイターが絶対に作品を奪われないようにしてください。それが出来ないのであればやめてください。
"著作権法が保護する利益でないアイデア等が類似するにとどまるものが大量に 生成される（？省略)「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」には該当しないと考えられる"
こちらとしては代替される可能性がある時点で創作がしにくくなり活動しずらい状況になります。実際想定に収まらず自分の作品に類似したものを大量生産され自作発言され悪用

され、挙句の果てに誹謗中傷に苦しみ活動を休止された大好きなイラストレーターさんがいます。想定で考えている段階では無いです。もう遅いです。想定ではなく現実に起きている問題を解決する記載をしてください。なぜ起こる前、事前に防ぐことをして下さらないのですか？なぜクリエイター側が我慢しAI利用者側に配慮をし自分の作品がいつ悪用されるか恐怖しながら活動しなければならないのですか？
"他方で、この点に関しては、特定のクリエイター又は著作物（？省略）が一定数みられた"
実際に意見が出ているのであればもっと現実を見てください。まずクリエイターを保護してください。
"なお、この点に関しては、アイデアと創作的表現との区別は、具体的事案に応 じてケースバイ（？省略）に配意すべきである"
考えられるではなく実際に享受目的のことがほとんどです。可能性て考えるのではなくもう被害が出ているので現実見てください。
(イ)学習済みモデルの廃棄請求について
"法第 112 条第2項では、侵害の停止又は予防に必要な措置としての廃棄請求の（？省略）そのため、AI 学習により作成された学習済モデルについての廃棄請求は、通常、認められないものと考えられる"
作風や画風を奪われたイラストレーターは著作物を侵害されていないと仰ってますか？
イラストレーターのAIの被害は主にイラスト自体を勝手に学習に使用されAIに取り込まれ複製品とも取れるイラストを作成されているものです。許可なく勝手にです。また多くの場合第三者がみても作画や画風が類似しているものがほとんどで構図などももはや一致しているものなどがあります。こういった無許可で使用、複製され悪用されることが侵害の行為に値しないのでしょうか？またその行為を可能にしているのはAIのシステムです。また第三者から見ても類似している作品が侵害の行為によって作られたものにはならないのですか？クリエイターは作品を盗まれても良いということですか？良いわけないでしょう。死活問題です。仕事でなく趣味でやっている私にとっても人生の楽しみを奪われる大変大きな問題です。

●受付番号　185001345000007488

AI を厳しく取り締まってください。
AI で特定のクリエイターの画風を模倣した、いわゆる「なりすまし」が多々見受けられます。AI の出力イラストのイメージが元の作家の印象にまで影響される可能性があると考えたことは無いのでしょうか。

●受付番号　185001345000007489

・現状の生成 AI による生成物の最も重大な問題点は
「本物と区別がつかない」ことにある。
更に現状では生成 AI が未成年者を含め「誰でも利用できる」状態で、
刃物や自動車のような
「道徳的に利用すれば便利だが使い方によっては他者を攻撃できる」道具が
無秩序に利用されている状態にある。
これによる被害や混乱を防ぐための法整備や利用制限が必要である。
・生成 AI は他者のイラストや写真を無断で拾い集め、出力に利用している。
これによって、クリエイターにとって「ブランド性」である
「作風」や「サイン」までをそっくり真似た作品を作ることができる。
・これで例えば子供向けの作品を作っていたクリエイターの作風を真似て
第三者がアダルトな作品を生成して出回らせたりすると
作品を見る者は本人の作品か AI による第三者の生成物か区別がつかず、
クリエイターのブランド的な信用が著しく傷つけられる。
・また、劣悪なコピー品が出回ると
本来クリエイターが得られたはずの仕事や金銭がコピー側に奪われ
クリエイターの業務に支障が出る。
・更に AI の利用者は AI がどのようなイラストをもとに生成したのか確認できない。
学習元が確認できないということは、自分が意図せず誰かの権利を
侵害していても気付くことができないということであり、
これによるトラブルは大いに起こりうる。
悪意を持った利用者だけでなく、
無知・無責任ゆえにクリエイターの権利を侵害する者が現れる。
・また、生成 AI は正確性を求めているシーンで悪質な妨害をすることがある。
例えば知らない動物の外見の特徴を調べようとしているときに
実際にその動物を撮った写真と生成 AI による生成画像が混ざっていると
どれが正しい画像なのかを判別する術がない。
・AI の技術そのものは否定しないが、
「人間の著作物と AI 生成物を混同させない仕組み」
「他者の権利を侵害せず健全に AI を利用できる仕組み」を確立できるまでは
一般人の AI 利用を制限してほしい。

●受付番号　185001345000007490

貴方達が仰る限られた範囲内での利用(その他の論点について_ク)にて貴方達の利用の許諾の範囲は分かりました。ですが、曖昧にしてしまっている範囲について(学校教育における著作権法では一部許可されている項目があります。その際はどう扱うべき、などといった)きっちりとした枠組みを作り上げるべきだと私は思います。
一部のネットで絵を描く人たち(下記では絵師と表記します)ではもう既に生成 AI による被害を受けている方もいらっしゃいます。
貴方達の仰る【適用可否が問題となるものであることを前提に、その該当性を検討することが必要と考えられる。】の該当する範囲を例など(SNS での利用の可否など)を用いたうえで、分かりやすく、早急に御教授いただきたいです。
またネットワークの裏側には児童ポルノなど猥褻な画像も出回っていると思います。それの扱いは生成 AI の内側が現地点でブラックボックスとなっている性質上、どう扱われるつもりでしょうか。
また、勝手に、AI の他者の画像(1 次創作から 2 次創作まですべての種類の画像を)を使用するというものに忌避感を覚える人もいると思います。実際に、私がその一人です。
上述した事によって私が忌避感を覚える最もな理由は『なりすまし』です。
これに対し、どうお考えでしょうか。
また実際に生成 AI によりディープフェイクなどの事件も起きています。
声を AI 生成することで、声優など色々なクリエイターの仕事を奪う、ということも考えられます。実際に、サンリオ社のハローキティが AI 声優になりました。
クリエイターの仕事の縮小について、どうお考えでしょうか。
以上となります。

●受付番号　185001345000007491

反対します。
創作物は一人一人が頑張って頑張って考え抜いて、苦労しながらも生み出しているものなので、それを勝手に AI に素材にされるのは絶対に嫌です。そんなこと泥棒の被害に遭うのと同じです。

●受付番号　185001345000007492

イラストレーターとして活動しているものです。本文の記載を引用して意見をさせていただきます。文字数の関係で省略している部分があります。
(2)生成・利用段階
"生成 AI を利用した創作活動においては、開発の際に、AI 利用者が知り得なかった著作物を含む大量のデータを（？省略）責任主体 の考え方などについて整理する必要がある"
私たちは一つの作品を作る上で資料集めから情報集め勉強をしてから作品をつくりあげます。もちろんその中にはほかのクリエイターの方の構図に似てしまっていないか配慮をし合って行っています。それを全て含めて作品なのです。
なので万が一著作物を侵害せざるを得ないもの、類似作品などを作成してしまった場合はクリエイター本人に問題があると判断されます。実際にそうです。情報集めが足りない配慮が足りないのはクリエイター本人の落ち度です。それなの AI 作品を作る上でもあくまでそれは作品なのですから類似しないよう作風や画風を盗まないよう配慮しながら取り組むものになるはずです。それなのに AI を使用した場合では仕方がないこととして処理されるのですか？おかしいですよね。作品を作るクリエイターなのであればその作品に責任を持つべき。認識をしていなかったからと言って作成した作品が誰かに迷惑をかけるものだった時の責任を取らないなんておかしいです。同じように然るべき対応をとるべきです。AI クリエイターに対してあまりにも甘すぎる。知らなかったでは済ませる問題ではない。
"AI 利用者が侵害の行為に係る著作物等を認識していなかったなどの事情により（？省略）差止請求に留まり、刑事罰や損害賠償請求の対象となることはないと考えられる"
本当に甘すぎる。知らなかった仕方がなかったでは無いんですよリスペクトも配慮も何も無い。作品に愛がない。それを簡単に認めようとしないでください。こんなふうに何でも許していたら本当に AI を使用して新しいことに取り組もうとしている方がいたとしても AI がどんどん悪い印象（実際に悪用が多すぎる）、悪用に使用するツールとして認識され何も発展せず進化せず誰かが傷つくだけで終わってしまいます。それはとても悲しいことです。改善を求めます。
(3)生成物の著作物性について
2 生成の試行回数
"試行回数が多いこと自体は、創作的寄与の判断に影響しないと考えられる（？省略）著作物性が認められるこ とも考えられる"
生成物自体に誰かの作品の犠牲がある事が多いです。また回数を重ねると著作性が認められるのではなく誤魔化しが効くようになります。もう誰も何も手がつけられない状態になります。注意も出来なければ改善もできず悪用している奴だけが得をします。実際に 1 人のイラストだけでなく複数人のイラストを回数も重ねて AI に取り込み新たな絵柄作品を

作成している事例を見たことがあります。その作品ははたしてその方が 1 から生み出した作品と言えますか？被害者が複数人いるのにも関わらず回数を重ねただけで悪用した側がクリエイターとして認められるのですか？

3 複数の生成物からの選択

"通常創作性があると考えられる行為であっても、その要素（？省略）通常、著作物性が認められると考えられる"これが認められるのであれば悪用を正式に認めていることになります。

6.最後に

1 AI の開発や利用によって生じた著作権侵害の事例・被疑事例

イラストレーターの実例ですが、イラストを依頼されラフを複数提出したところそのラフを盗まれその後 AI 複製に使用され他例が何件かあります。

ここにはイラストレーター側に利益はなくむしろ作風に類似した Ai イラストを許可なく作成され作風を奪われただけでなく利益を損害される被害となっていました。またショックを受け創作意欲を奪われてもいます。

また私自身の例として、作品を投稿したところ全く同じ構図、色彩、人物のイラストが別の方より投稿されました。その方にコンタクトを取り作品のトレースや参考は許可していないことを伝えると AI で取り込み作成したものであり自分は作成していないという旨を伝えられ謝罪もなく逃げられることがありました。また誹謗中傷とも取れる暴言を受けました。

こういったことが現実でもう手が付けられないほど怒っております。1 度取り込まれたらあとは複製されお遊びや金稼ぎに使われるのみです。

"上記のような継続的な検討と並行して、本考え方に示された AI と著作権に関する考（？省略） 積極的に取り組むことが期待される"

多くのクリエイター、実際に被害に合われているイラストレーター様が報われ、悪用をした本人、人の作風や画風を悪用、利用し更には自作発言や誹謗中傷をした本人、悪用を容認している AI 作成者にそれ相応の対応ができるようになることを願っています。

●受付番号　185001345000007493

この先 AI に現存する著作物の学習をまず禁止して欲しいです。
なぜなら AI が学習、吸収する時点で著作権の侵害にあたると思うので。
それを利用した上で AI 生成したものに著作権を与えることにも全面的に反対します。
現時点で認められているものに関してはそのままでいいと思いますが、この先出てくる AI 生成物に対して“芸術的創作物”の要点は感じられません。
AI の進歩を芸術的創作物に当てはめていけば、数年後には芸術的価値が何に対しても発生しない時代になるとしか思えません。
ですので、営利目的か否かに関わらずこの先、独創性と著作権を主張する目的としての AI 生成及び、AI に対する芸術面の学習をこの先禁止して欲しいです。

●受付番号　185001345000007494

AI イラストは大元になる思考（学習と呼ばれる大元のイラストや写真のデータ）が不可欠です。その大元のデータは現状、著作権や肖像権など考慮されずに個々人が作成したものを無断で略奪されている状態と言えます。学習と言っていますが許可を得ていないため、略奪行為に該当します。
写真やイラストをひとたび発表すると、略奪行為が行われ、それは学習という聞こえのいい言葉で誤魔化され、自分の知らぬところで自分の成果物が切り貼りされたりトレースされたり、制作者の人権すらも侵害します。AI イラストひとつで著作権の侵害・人権の侵害は必ず行われると言っても現状過言ではありません。
通常、クリエイターが別のクリエイターの作品を参考にするといっても、切り貼りすることは有り得ません。なぞってそのまま使うこともありません。（素材として正式に売買されているものを除く）なぜなら著作権があり、人を殺してはいけないと同じくらい当たり前のことだからです。ですが AI は当然のように切り貼りしたり、他のクリエイターとの合成を出力します。こちらも略奪品の結果です。
もしも AI を推進するとしたら、ボーカロイドの初音ミクのように、許諾を得たクリエイターが AI を前提に作り好きに使って出力してください、という完全なる商品を作れるところまでいかないと非現実的です。今のままではたくさんのクリエイターは筆を折ったり芸能人という存在をやめたりとトラブルが止まず、でも誰も責任をとってくれない、クリエイターは消える一方、残るは大元が存在しないと新しいものが生み出せない AI 使用者、といった治安悪化・日本の文化の衰退が見込まれます。
先日も、漫画がドラマ化した際、漫画原作を望まぬ形の脚本にされ、トラブルが起こり最悪の結末が訪れた事件がありました。この事件では契約が交わされていましたが、契約は遂行されていなかったと思われます。契約があっても尚、そんなことになっています。無断で AI に取り込まれ、望まぬ形でクリエイターの作品が使用されることの恐ろしさと似通っていると感じます。
AI というものの技術は素晴らしいと思います。しかし現状、それらは許可なく盗まれ奪われたものの集合です。それを念頭に置いた上で、元となるデータ（イラストや写真）にも気を配った著作権法にならなければいけないと考えています。

●受付番号　185001345000007495

使い方によっては仕事等に活用できることを重々承知のうえで意見させていただきます。
無断学習は禁止、そういった機能を有する AI は停止措置を図っていくべきだと思います。現状の AI また著作権は「公園に銃を置いておくけど正しく使ってね」と言っているような危険性と無責任差を強く感じます。
類似しているかどうか、不当に利益を害するかといった曖昧な規格は効力が薄くこれからの SNS が発達していく世界で通用していかないと思います。
「誰かに似ているモデル、絵、声」で不適切なものをネットに投稿する。
学習機能の悪質なところは他者からは確たる証拠を提示できない、自身の知らないところで自分の価値を落とされる危険性が非常に高いことです。人間の学習と AI の学習とでは精度も時間もプロセスも全く異なります。同列に考えるべきではありません。それらが違うだけで、悪質な使われ方がされうるかが大きく異なるからです。
以前、岸田首相のディープフェイクがニュースにもなりましたが、個人レベルで無断で学習させられる機能はとても危険性が高いです。また現状の著作権は第三者からの告発では意味をなさない為、処罰を下すことも非常に困難だと感じています。
今はまだ顕在化していないが、悪質な使われ方で被害に遭われた人が自殺してしまうことも最悪のケースも考えなくてはなりません。たかが著作権ではもうありません。
AI は使い方次第と考える人がいますが、それは制限と悪質なものに厳正な処罰が下せるようになってからです。
今も AI を悪用する人から、誹謗中傷、無断学習をされて傷ついている方をたくさん見てきました。
クリエイターを志す若い人の夢が挫かれない将来を期待します。

●受付番号　185001345000007496

AI の取り扱いには慎重になるべきだと考えます。現に、仕事・趣味を問わず、創作を行っている各業界から反対意見ばかり出ていることからも、あまりにも議論も対策も不十分すぎます。
創作者にとって作品は我が子です。ある日突然見知らぬ人から、「貴方の子供が可愛かったのでクローンを作りました、でも DNA は若干違うから許してね！」と、我が子そっくりな子供を作られる恐怖。そのクローンが、自分たちの知らないところで犯罪に手を染め、結果自分達一家が「犯罪者」と後ろ指を刺される恐怖。自分たちも気づかない間に、ゆるやかに、でも確実に我が子になり変わるクローン。でも、我が子をクローンだと証明できない。法でも裁けない。
創作者は、このような恐怖が常について回るのです。
さて、何人が創作を続けられるでしょうか。
日本はクールジャパンとも呼ばれ、世界に誇る文化があります。文化を守り抜くためにも、AI については徹底的に議論し、望まぬ機械学習を裁く法とシステムを作り、初めて共存できるのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007497

AI に対する見解ではなく。
グレーなものに対して白と黒をはっきりと分けるようなルール作り(法整備)についてな意見や方針の発表などをしてください。
現在のルールではこうなりますだけでは誰も納得しない、権利を守るために正しいをして欲しいです。

●受付番号　185001345000007498

５．（１）学習・開発段階

イ　「情報解析の用に供する場合」と享受目的が併存する場合について

そもそも生成 AI を利用した生成物を用いて、金銭や名誉といった利益を得ることは、他人へ享受させる目的をもって利用しているように感じます。

昨今の生成 AI の利用目的として、そのような利用の仕方を多く見ます。

「非享受目的の学習であれば」という条件がついたうえでの学習であるならば、そもそも生成 AI を用いて享受目的で利用すること自体が矛盾していると思います。ゆえに、著作権者本人が許可を表明した場合のみの学習にとどめるべきと思います。

５．（２）生成・利用段階

（イ）依拠性の考え方について

生成 AI を用いることで、特定のクリエイターの著作物の影響を強く受けた生成物を従来に比べて低いコストで生成することができます。そのため、悪意をもって対象者のイメージを損ねる作品を生成することができます。

具体的な事例としては「性的表現が禁止されている作品（ウマ娘）の二次創作イラストを、特定クリエイターの画風で作成したため、対象となったクリエイターがその作品を制作したと誤認した第三者から攻撃される」という事例がありました。

また、こちらは可能性になりますが、生成 AI を用いて特定のクリエイターになりすまし、対象者が得るべき利益を奪い取るといった事例も今後起こり得ると考えます。

このような悪意をもった利用については、厳しい措置を講じて欲しいと考えます。

●受付番号　185001345000007499

自分も小説を書いていますが、それを勝手に使われて自作だと言われたらと思うと恐怖でしかありません。
ＡＩによるなりすましがすでに出ており、それが規制されないことの怖さが恐ろしいです。絵も文章も写真も声すらデータとして取り込まれて、それで既に詐欺まがいなことも起きています。それを無視していいわけがありません。
犯罪者が得しないための規制を望みます。

●受付番号　185001345000007500

素案は、生成 AI の学習・開発・生成・利用に関する著作権法上の問題に対して、現行の著作権法の枠組みの中で解決しようとしていますが、これは、現実には、不十分であると言われています。生成 AI は、著作権法の基本的な前提や概念を揺るがすような技術であり、著作権法の根本的な見直しや新たな法制度の創設が必要であると言われています。
素案には、以下のような問題点や懸念事項があります。
□生成 AI の学習段階において、他人の著作物を無断で使用することは、著作権法で著作権者の許諾が不要とされる「非享受目的」にあたらない場合があるという見解が示されています https://www.freee.co.jp/kb/kb-trend/generation-ai-copyright/。しかし、この見解は、生成 AI の学習に用いられるデータの性質や目的、生成 AI の種類や機能などによって異なる可能性があることを考慮していません。また、この見解は、生成 AI の学習に用いられるデータの量や範囲、生成 AI の学習の方法や結果などについて、具体的な基準や判断方法を示していません。これは、生成 AI の学習元のクリエイターの権利を保護することができないことを意味します。
□生成 AI の生成段階において、生成物が学習元の著作物と類似している場合、著作権侵害の有無や責任の所在について、個別具体的に判断する必要があるという見解が示されています https://www.freee.co.jp/kb/kb-trend/generation-ai-copyright/。しかし、この見解は、実際には、生成 AI や生成物の多様性や複雑性、利用者の知識や意識の差異などを考慮すると、困難であると言われています。また、生成 AI や生成物の内部の仕組みやデータの流れが不透明である場合も多く、事後的な調査や証明が難しい場合もあります。これは、生成 AI の学習元のクリエイターの権利の救済や損害の賠償を受けることができないことを意味します。
□ 生成物の著作物性について、人間の創作性の有無や程度を判断する基準を示していません。これは、生成物の著作権保護の範囲や条件を明確にしないことにつながり、生成 AI による創作活動の促進や公正な競争の確保に支障をきたす可能性があります。生成 AI によって作られたコンテンツが、人間の創作性を有すると判断される場合、その著作権者は誰なのか、どのような権利を有するのか、どのような義務を負うのか、明らかにされていません。また、生成 AI によって作られたコンテンツが、人間の創作性を有しないと判断される場合、そのコンテンツは自由に利用できるのか、それとも、生成 AI の開発者や利用者に何らかの権利や利益が発生するのか、明らかにされていません。
□生成 AI に関する新たな技術や事例に対応するために、著作権法の解釈や運用を柔軟に行うことを求めています。しかし、これは、著作権法の安定性や予見性を損なうことになり、生成 AI の学習元のクリエイターの権利や利益を保護することができないという懸念があります。生成 AI に関する技術や事例は日進月歩であり、著作権法の解釈や運用を柔軟に行うことは、実際には、不適切な判断や不公平な扱いを招くことになりかねません。

また、著作権法の解釈や運用を柔軟に行うことは、著作権法の改正や制定を必要としないことを意味します。これは、著作権法の立法過程における、関係者の意見の聴取や議論の機会を奪うことになります。
以上のように、素案は、生成 AI と著作権に関する問題に対して、適切な法的考え方や方策を示すことができていません。私は、素案を撤回し、生成 AI と著作権に関する問題に対して、より具体的で明確な法的考え方や方策を示すことを求めます。

●受付番号　185001345000007501

現在の生成 AI はすべて著作権を侵害していると思います。
学習元の絵や人物に被害が出ている事例もあります。『詐欺広告に自身の絵が使われていた』『性的な映像に自身の顔が貼り付けられたものを見て自殺した』など犯罪行為に利用されているのが現状です。
今は生成 AI の使用を全面的に規制するべきだと思います。
現状のクリエイターや将来のクリエイターを守るためだけではなく、世の中の人々を守るために。

●受付番号　185001345000007502

AI に使用する一次著作物の保護が必須だと思います
同時に、二次創作物にも作者の独自性がある限り保護が求められます
材料にしただけだからで AI 制作物に著作権などないでしょう
一般的な二次創作物でさえトレースなし、一次著作物の世界観（キャラを含む）を元とはいえ自分のアイデアで作品を作っています
それを、ボタンぽちっと押すだけのなんの労力もない作品ともいえない作業に著作権などありえません

●受付番号　185001345000007503

AI に反対します。クリエイターたちの作品が AI に学習・悪用されることのないよう、法整備を求めます。

●受付番号　185001345000007504

数多くの方達が、勝手に自分の作品を利用され、しかもそれを己の創作物だと主張する方々の金儲けの道具にされている現状はあまりにも酷く、作品というものに対しての敬意も尊重もないと思わざるをえません。しかも AI で人の作品を吸い込み、性的なものを出力して販売されているのは気持ち悪くてたまりません。幼い子どものそういった作品もあるとのこと。作品を盗み、販売する。これは十分に厳しく規制するに当たるのではないでしょうか？絵だけではなく文章、その他の創作物全てに関してです。日本のイラストレーターさん、漫画家さん、小説家さん、芸術家さん、数多くの作者や作品が世界的に愛されている現代、どうか創作者さん達を守るために AI の利用等の規制をお願いいたします。誰もが AI で作品を盗める現状は、いつか創作者さん達が作品作りを止めてしまう大きな理由になってしまいます。そして止めてしまった創作者さん達が簡単に帰ってこられることはありません。創作者さんからすれば、かわいい我が子を誘拐されて良いように扱われているのと同じだと思います。自分もしがない創作者ですが、もしも AI に自分の作品を好きなようにされたと分かれば、創作を止めてしまうと思います。創作者にとって、創作物というのは本当に大切なものなのです。命を注いで生み出した、自分の子どもであり、自分の分身でもあるのです。AI が悪いのではありません。AI を悪用し、金儲けの道具にする心無い者が悪いのです。日本の文化を守るために、日本が誇るアニメやマンガ、イラスト、小説、その他様々な創作物が脅かされることのないよう、それらの発展が心無い者に邪魔されることのないよう、これからも創作者さん達が己の世界を表現出来るように、どうぞ正しい AI の在り方が描かれるような法整備をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007505

AI の学習について AI の学習プロセスと人間の学習プロセスから制限を反対する意見です。
AI の学習プロセスと人間の学習プロセスの間には、大きな相違がないと考えています。
１.情報の吸収と処理
人間と AI は、それぞれが外部からの情報を取り込み、解析して学習するという点で似ています。人間は生活の中での経験や教育を通じて知識を蓄積し、AI は提供されたデータセットを解析してパターンを学習します。
2.知識の適用と創造性
新しい環境において学習した知識を適用し、創造的な解決策を生み出す能力は、人間と AI に共通しています。AI は人間と同様に、ユニークな作品や解決策を生み出す可能性を持っています。
3.進化と改善
時間が経つにつれて、人間も AI も学習し進化していきます。人間は経験から学び、AI はアルゴリズムの調整や新たなデータの取り込みによって性能を向上させます。
4.誤りからの学習
間違いから学ぶというプロセスは、人間と AI に共通しています。間違いは、人間にとっても AI にとっても、より良い判断やアプローチを導くための重要な学習機会となります。
人の作品も今まで見た情報から、アウトプットされた情報であり、既存の作品の影響を受けています。完全なオリジナルなどは存在しません。
仮に AI の学習方法、出力方法に制限をかけるのであれば、人の学習方法や画風、出力された情報にも制限をかけるべきであり、しかしながらそれを実行することで AI の有無に関わらず作品を表現することがより難しくなると考えています。
AI の学習プロセスで使用されるデータや、AI によって生成される成果物に対する著作権法の適用は、人間の創造的な活動に対するそれと同様に考慮されるべきです。

●受付番号　185001345000007506

今これだけ著作権と AI 生成による画像、写真、動画、音声等について騒がれている中で、もっと慎重になるべきだと思います。現状、クリエイター側の損失が多過ぎる。そこに措置を施さないで AI の利便性だけを追い求めるのは間違っています。このまま現状を放置、或いは現状を助長させるようなルール等を制定する事は表現の自由を奪う事であり日本の各コンテンツの衰退、果ては犯罪に直結させる事に追い風を吹かせる行為です。

●受付番号　185001345000007507

生成 AI によって得られる生成物のクオリティは、学習データの量に依存しており、生成 AI による生成を実行するうえで学習データを全て「著作権的にクリーンなデータ」だけに絞り込む、もしくは「対価を払って専用に準備」し、実用レベルのクオリティの生成物を得るには莫大な費用と時間が掛かる。既存の生成 AI の学習データの基礎は大多数の管理外の人の手によるもので、著作権を無視したデータも多数含まれ判別することが難しい。

そのような中、この生成 AI による出力をほぼそのまま公の場に公開、配布、販売することは、学習元の類似品を大量生産に近く、学習元の価値を不当に下げる行為にほかならない。

よって、生成物による作品群はその内容のほとんどが人の手による改変を加えられていない場合については、その著作権を認めず、利益を得たり、他者の尊厳を侵害する場合はその公開の差し止めを行えるようにしてほしい。

●受付番号　185001345000007508

AI で描いた絵と自分の手で描いた絵は別のものだと考えています。
絵を描くのは描くのにかかる時間に加えて、その絵が描けるようになるまでの努力の時間もかかると考えています。
AI に学習させる時間がその努力の時間だとしても、理想の絵描きさんから絵を盗むのにかけた時間だと自分は捉えてしまい、AI への暗い気持ちが出てしまいます。
絵柄を学習させ、絵描きさんのなりすましをしたり、脅迫して脅す事案もあります。
オリジナルを生み出せる絵描きさんを守る制度が整わないと、AI 絵が普及してほしくないです。

●受付番号　185001345000007509

一体これらの生成 AI の規模を大きくして何を得るのかと言う納得のいかない思いしかありません。生成 AI のモデルとなる元々の絵を描く人は生成 AI があるからイラストを描く文化は衰退していき、AI で彩られたものばかりを見る社会が訪れるのでしょうか。新しいものが生まれない文化というものはいつか終わります。エンタメとして根付いているイラストレーションの文化はこんなふうに著作権を奪われて蔑ろにされて言い訳がないと思います。

●受付番号　185001345000007510

人間の手で生み出した絵画を AI の学習の為の材料とするのは反対です。材料費を払う法律を作れますか？海賊版のあれこれすら規制できているように思えませんが。

●受付番号　185001345000007511

今回の素案は、生成 AI による創作物は基本的に著作権侵害にあたらない、という主張と理解して意見を申請します。
素案の 16 頁「享受目的」について、「直接感得できる場合」は著作権侵害にあたる場合もあるとのことですが、感性は人によりけりですが誰がどのように判断するのですか。また、17 頁「過学習」についても意図的に行ったか否か判断することなども同じことが言えます。
もしこのような曖昧な判断基準でのみ創作物が扱われるのであれば、芸術、美術、音楽、文芸など各創作分野は衰退を辿るようにしか思えません。著作権が保護されず、作品が他人に学習され、自分の意図しないように扱われる場所に、自分の作品を公開したくなるはずはありません。
また、海賊版、正規でない作品などの学習の危惧もあり、人間の手によって制御できないのであれば、学習自体やせめてアップロードはすべきではないと考えます。
共通して主張したいのは、生成 AI によって作られた作品は、各分野に詳しい人間の意欲を著しく阻害することです。今後の人間による創作活動を支援するつもりであればご一考のほどよろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007512

AI は禁止するべきです。ネット上に無数にある誰かがお金や時間をかけて作成した著作権のある作品を、無断でタダで AI に使ってそれを別の事に使用してもいいというのは、どう考えても理不尽だと思います。

●受付番号　185001345000007513

１０、１１ｐ「生成　ＡＩ　では、入力された指示を情報解析し得られた結果と、その生成　ＡＩが学習したパターンやルール、傾向等に基づき、生成物を生成することとなる。この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる。」
という記載に違和感があります。
生成ＡＩは学習データのみを参照して生成します。生成ＡＩ自体には手癖なども一切ございませんので、結果としてこれは「学習元のデータの切り貼り」になると思います。
生成ＡＩに特定の人の声を覚えさせてＡＩに歌わせる動画や、特定のイラストレーターの絵を重点的に覚えさせて作成された絵があります。そういった方々はまさに、「学習元の切り貼り」が作られることを目的として生成ＡＩを利用しています。このような方々が既存のクリエイターに迷惑行為を働くことがしばしば見られるため、この認識が広まってしまえばそういった方々の行為を許してしまうことになるのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007514

自分はIT サービス事業を生業とする会社に勤めておりますが、業界の自主規制やコンプライアンスに過度な期待をしている印象を受けました。
むやみに規制する必要はありませんが、必要なのは明確な線引であり、自主規制ではありません。
一番重要な点としてお伝えしたい意見ですが、「生成 AI による生成物そのものには、著作権を認めるべきではない」と私は考えます。
特に創造的な活動（主に絵や文章など）において、これを認める事は「著作権利の逆転」（生成 AI に学習された著作物を持つ側の人間が、逆に生成 AI の利用側に権利侵害だと主張される）が発生しえます。
「生成 AI による生成物そのもの」ではなく、「生成 AI を活用して作られた作品、商品」の権利を保護する事は「一定必要」と考えますが、その場合も「著作権法」を適用するのがそもそもの間違いです。「別の法や概念」で一定の保護をするべきであり、著作権（による権利者の利益）と矛盾しない状態が必要です。
また、技術的な措置により学習を回避しようとしているかどうかが、「法第 30 条の 4 による権利制限の対象とはならないこと」の基準とする考えの記載がありました。が、そもそも「技術的な防止処置を取れない（知らない）著作権者の権利をどのように守るのか」という点で懸念を感じます。
技術的な処置はあくまで「自衛的手段」であり、その手段を取らなかったら「法第 30 条の 4 による権利制限の対象」となりえる理論は詭弁であると感じます。
以上です。宜しくお願いします。

●受付番号　185001345000007515

画像生成 AI は学習元に依存しているにも関わらず、学習元へ何も還元されないことが大問題だと思います。
このまま AI が普及してしまえばイラストレーターの仕事が激減する未来も見えており、そうなれば人間のイラストに依存して学習している AI の発展性も閉ざされる可能性もあります。
私はこれからイラストレーターとして頑張っていきたいと勉強中の身ですが、このまま画像生成 AI を商売として利用しても良いという世の中になってしまっては今までの努力は全て無駄になり将来の希望を失うことになります。
どうかクリエイターの権利と尊厳を守る法案を作って下さい。お願い致します。

●受付番号　185001345000007516

「使い方次第で善にも悪にもなりうる」というものは包丁なり銃火器なり存在するし、生成ＡＩそのものを完全に潰すような規制はする必要がないとは思う。また、国内の技術向上としてＡＩ開発等は歓迎する。しかし、現行のほとんどの生成ＡＩが見境なく学習・出力・公開・販売できていること、それらによって被害を被っている権利者がいる以上、現在流通(金銭で購入するものではない物もあるだろうが)している生成ＡＩについてはほぼすべて反対である。現行生成ＡＩは全て規制してほしい。権利者が拒否しても学習させることができ、その規制のなさをいいことに利用者が権利者を軽んじる様子が多く見られる。見境のない学習は創作等の文化に対する暴力に等しく、国内の文化面の発展を大きく妨げるものだと確信している。警察署が掲示する PR のポスターに、何人の権利者を踏み躙っているか、なんなら事件被害者の画像が入っていてもおかしくない生成ＡＩが使用されていると聞いて本当に失望した。
Ａ　Ｉによる技術発展をと謳うなら、ゼロから国内で改めて権利者にも配慮したものを開発し直してほしい。

●受付番号　185001345000007517

AI 生成を利用した著作物については一切著作権を与えないでください

●受付番号　185001345000007518

AI を使用した画像を生成し、販売、使用する事は断固として反対したい。
多くの人が筆を執り様々な感情を込め、人によりお金や時間、精神、命をかけて描いている作品を、無許可で学習材料にされ、悪質なイタズラや商売に使われている今日
著作権切れなどの問題はおいておき、有名画家の作品の贋作に本物と同じ価値をつけないのに、なぜ元の著作者を食わせ一瞬で写し出される AI の作品に価値をつけようとするのか
どちらも素人目には本物も偽物もわからない。
本来の著作者の絵柄作風で生成し、著作者の名前を騙り絵を売り出す。
もしくは、AI という道具を使った自分の作品と言い張る
ただ絵を見ているだけの人は、良いものが見られればいいと軽く考えるが、心血を注ぎ作品を作り上げた著作者が意図していない絵を無許可で作られ、その名前で賛美もしくは誹謗中傷を受けたらどう思うだろうか？
これがゼロではないこの状況が、どれだけの作者たちの不安と怒りを買っているのかどうか理解していただきたい。
賛美を貰えるからと言って、自分の書いていない作品でそれが貰えても嬉しいと思える人は多くはないと思う。
学習させることを止めることはできないと思う。
どんなに著作者が許可を出さなくても、インターネット上に上げてしまえば永遠にデジタルタトゥーとして残り、どこで誰にどのように扱われるかを確認することは不可能だ。
そのため、生成として吐き出される段階での規制が良いと思う。
AI 生成ツールを使用した際には必ず、使用したマークをつけてほしい。
ツール制作側にである。それをつける処置をせずにツールを制作した側も、処置される前のものを使い続ける者も、厳しい処罰を請けさせるようにしてもらいたい。
外観にわかるようにマーク付をしてほしい。
これは AI 生成で作りましたと。

●受付番号　185001345000007519

まずそもそも、著作権とはその作品を作り上げた作者が保持する当然の権利となります。それは公の場(書籍、ネット等)に発表した場合にも保持される権利です。文章であれ絵画であれ立体造形であれ、作品というものが存在する以上、同じくしてその作品の作者が存在します。著作権というものは作者が持ちうる、作品を守る為の手段です。
さて、昨今出回っている AI によるイラスト生成ですが、1 つの参考としてやる分には構わないと個人的には思っております。しかし問題なのはそれを作る為に利用した元の絵があるにも関わらず、「自分で作った作品だ」と豪語する方がいらっしゃるという事です。
前述の通り、作品には作者が存在します。作者は 1 から作品を作ります。他の作者の作品を見て参考にする事はあれど、その作品の要素やキャラクターのデザイン、ストーリーの肝などをそのまま利用する事まずありません。やったとしたらただのデザイン泥棒です。盗用の扱いになります。それを踏まえた上で AI 生成がどうかと言えば、果たして 1 から作品を作ったと言えるでしょうか。「学習」をさせる為に他者の作品を利用している。これは作品を作る前段階でクリエイターの方々が少なからずやってはいる事なのでここまではセーフと言えるでしょう。しかしそこで生成された作品を「自分が 1 から考えた」と発信する。果たしてこれはセーフでしょうか。権利的な問題で言えばアウトです。先述しましたが、真に 1 から作品を作るクリエイターは、「学習」の為に他者を「参考」にする事はあれど、他者の作品の要素や癖、要になる部分を使う事はありません。「参考」にし、「学習」した上で、改めて自分の作りたい世界と向き合って再度作品のあり方を構築していきます。簡単に言えばそれが「オリジナリティ」です。AI なりのオリジナリティはあるのでしょう。しかし「元となった作品」が存在してその作品の作者の癖や要素、「これこそがこの作者の作品だ！」と象徴されるものが入り込んでいる以上、それは「オリジナル」ではなく「二次創作」に過ぎません。
冒頭に書いた通り、著作権は作者が作品を守る為に存在する当然の権利です。公の場に作品が発表されようと、最終的な権利は作者が保持しています。公表したから皆のものでは決してありません。作者本人が著作権を放棄、または正式な年数が経って著作権が失効とかでない限り、例え AI であろうと、作者の著作権を侵害する事は許されるものではありません。
二次創作は特にその辺りのルールが曖昧とは揶揄されるものの、作品のファンは「原作が絶対」であり、原作から禁止とされればそれを遵守します。それは全て作品を守る為です。愚行の為に作品が楽しめなくなるのは 1 番避けたいものなので。
些か話がずれましたが、「参考」にする分には構わないと思います。ですが、AI 生成で作った作品を「完全オリジナルの作品」だとするのは愚行が過ぎます。学習をする為に使われた作品がある以上、それは完全オリジナルではないからです。著作権を侵害しかねないような法案は反対です。

●受付番号　185001345000007520

人が描いた絵を勝手に使ったものに著作権を与えるなどというお話は到底許されません。というかそもそも人が描いた絵を勝手に使う人間も、使えるようなソフトが野放しになっている状況も許せません。腹立たしいです。以上です。

●受付番号　185001345000007521

AI と著作権に関する考え方について（素案）に関して、いちクリエイターとして率直に意見を申し上げます。
”はじめに”の時点で焦点となっているクリエイター、AI に対する理解、知識が著しく乏しい印象を受けました。生成 AI と一般に普及している AI との差は、その成り立ちから歴然です。[生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」という文言がありますが、その方々はまず確実に生産者ではなく作品、データの浪費者であることをご理解下さい。
現行している生成 AI を一般の方々にも広くお伝えするのなら、「悪用に特化した性能の高いコピー機」です。
その生成物はデータにとどまるものであり、大多数のありふれた表現を生み出し、そもそも表現ではありません。
法が追い付いていないというだけで、著作権は勿論人権も無視し侵害しています。
決して認められるものではありません。
既に国内外問わず多くの「実害」から「規制」する動きが多くみられています。
まず間違いなく、メディアにおける我が国の文化産業を大きく衰退させるものです。
日本は、文化大国です。その動向は常に注目されています。
つい先日、ネット上にて”クリエイターではない”一般の方のアカウントに生成 AI による作品が投稿されました。それに対して世界中から寄せられたのは「日本は作品に対する敬意を失ってしまったのか」という失望の声でした。一人二人ではありません。十数人、現在はもっと増えているかもしれないという程多くの人が、クリエイターでもない一般の方の一呟きに対して非難のコメントをしていたのです。
繰り返し申し上げます。生成ＡＩは、メディアにおける我が国の文化産業のブランドイメージを削り、大きく衰退させるものです。
多くのクリエイターは既に利用を諦め、自身の作品の著作権に対する保証を求めています。
これらのことから、素案の全文撤回、今回のパブリックコメントを加味したうえでの新規作成を強く求めます。

●受付番号　185001345000007522

AI 生成を禁止すべき

●受付番号　185001345000007523

１．はじめに
２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について
（２）生成 AI に関する新たな技術
（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
４．関係者からの様々な懸念の声について
５．各論点について
（１）学習・開発段階
以下の点が大きな問題だと考えております。
・著作権者が生成 AI による学習を許可していないにもかかわらず、
X（旧 Twitter）やイラスト投稿サイト等の作品を第三者が学習させる
ことが現状可能であり、それを利用したクリエイターへの嫌がらせや
中傷などが行われていること
・生成 AI による学習を阻害するツールを使用してもそれらを突破して
学習に利用される恐れがあること
クリエイターの方々が安心して活動を続けられるよう、以下のような
対策を取っていただきたく存じます。
・生成 AI 学習に同意した人の著作物のみを使用すること
・著作権者以外の第三者が生成 AI に学習させることができない仕組みを作る
・学習を許可していない人の著作物を生成 AI に学習させた際の罰則
（２）生成・利用段階
著作権者ではない第三者がプロのイラストレーターや漫画家の作品を
学習させる行為及び、生成ＡＩ使用し酷似した絵柄のイラストを作成して
販売することで利益を得る行為については著作権の侵害であり、
著作権者の利益を大きく損なうと思われます。こういった行為ができないよう
一刻も早い規制や法整備をお願いしたいです。

（３）生成物の著作物性について
（４）その他の論点について
６．最後に

●受付番号　185001345000007524

生成 AI を使用し、明らかに特定のクリエイターの創作的表現を侵害する形で作品を発表されている方がいます。
多くの時間を作品制作に費やし、技術を研鑽してきたクリエイターの方々がその技術を保護されず、模倣されその技術が陳腐化してしまうことに納得がいきません。
クリエイターと、クリエイターの作品の権利が侵害されないよう、公的な保護を求めます。そして、生成 AI を規制し、これ以上生成 AI によって筆を折ってしまうクリエイターが生まれないことを望みます。

●受付番号　185001345000007525

今既に利用されている生成 AI は、様々な悪意ある人間によって主に SNS で犯罪の元になっていると感じます。直ちに利用を規制してほしいです。
私は個人的な趣味でイラストを描いていますが、今の生成 AI は、SNS、特に X において、悪用されていると感じています。
まず、今利用されている生成 AI の学習元が、元作品の制作者に許可をとられていない、学習に対する対価も払われていない、それなのに元作品とそっくりそのまま似た生成物が出力されて、著作権を侵害されていると強く感じています。
それにより、生成 AI とその出力物を悪用する人間が、生成 AI の学習元にイラストを勝手に使われたイラストレーターの方の名前を騙って、成りすましをするような事例が発生しています。
私は、自分の描いたイラスト、オリジナルキャラクターを愛しています。勝手に知らないところで生成 AI の学習の材料にされて、どこかの生成 AI を使った知らない人間の出力物の一部になるのは望んでいません。嫌です。
生成 AI が普及する前のような、人間の手で描かれた作品と、生成 AI を使った出力物は、明確に線引きをしていただきたいです。生成 AI の出力物は、人間の手で描いた、描いた人間のこれまでの人生と技術と思いの塊である「作品」にはなり得ません。
学習元に許可を取らず、元の作品の権利をそもそも無視しているような今の生成 AI の出力物に、新たに著作権が発生するはずもないと思います。
それをしたいなら、学習元に、生成 AI への同意と作品提供を自分から個人情報ごと証明して、完全にクリーンな生成 AI を作ってからにして下さい。すべて許可を得た元データと、データ作成元の本人に同意を得た生成 AI の運営ができてから言ってください。
今ある生成 AI を規制し終わってから、クリーンな生成 AI を目指してください。今苦しんでいる著作者を苦しませたまま進行しないで下さい。
どこの誰が作ったのか、何を学習元にしているかも知れない他人のプログラムに乗っかって、生成 AI の普及を進めようとしないでください。
勝手に学習元にされて、愛する作品を、人生を、技術を、盗まれている私のようなイラストを描く人間の居場所を残してください。権利を主張させてください。
生成 AI の出力物を、「人間が描いた作品」だと騙ることができなくなる罰則、法律、ルールを設けてほしいです。
AI 生成物を、AI 生成物であると明記することを義務化して下さい。
今既に出回っている生成 AI サービスは、悪意のある人間によって悪用されすぎているので、直ちに利用を規制してください。
SNS(X)に犯罪が蔓延り、イラストの著作者の権利が無視され続けている現状を見ないフリしないでください。

生成 AI による出力物、生成 AI を悪用する人間を罰する法を整備してください。
苦しんでいる著作者を見ないフリして、生成 AI を推進しようとするのはやめてください。苦しむ原因になっている生成 AI と、悪意ある利用者を規制して下さい。

●受付番号　185001345000007526

個人

１．はじめに

意見提出の場を設けていただきありがとうございます。

前提としての意見になりますが、項目が自主記入な点や、参考資料の見づらさなど意見提出方法がかなり分かりづらいように感じますので、今後は改善していただければと思います。

私はクリエイター側ではあるのですが、個人的には現在の AI 問題については技術の発展によって起こり得る仕方のないものだと考えております。

過去に画家がカメラによって職を奪われたように、翻訳家が翻訳ツールに職を奪われたように、クリエイターが AI によって職を奪われるタイミングが来ただけのように思います。

とはいえ最低限の権利は守られるべきだとも存じますので、今回の意見提出に参加させていただこうと思います。

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理

３．生成 AI の技術的な背景について

（１）生成 AI について

（２）生成 AI に関する新たな技術

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について

４．関係者からの様々な懸念の声について

５．各論点について

（１）学習・開発段階

　特定のクリエイターの制作物を重点的に読み込んだ場合の著作権についてが気になっておりました。

　類似のみであれば著作権侵害にはならないとのことですが、現状 AI 使用者が著作者に対して AI の方が優れているなどの発言を行っているのを確認しています。

　そうした著作物と AI の関わらない、けれど人為的なトラブルについてはどうなるのかが気になります。

（２）生成・利用段階

（３）生成物の著作物性について

（４）その他の論点について

６．最後に

著作権と AI については気になる点がいくつもありますが、この欄にある通り必要に応じて考え方の見直しを行ってくださるのであれば問題はないのではないかと存じます。
是非とも今後とも意見をまとめ、全ての著作物が守られるようにしていただければと思います。
技術は日々進化していくものかと思いますので、意見をしっかりまとめるのではなく問題が生じた際はもしくは生じる前に権利の整備をしていてください。

●受付番号　185001345000007527

３生成 AI の技術的な背景について
>その生成 AI が学習したパターンやルール、傾向等に基づき、生成物を生成することとなる。この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる
→現行の生成 AI の多くが既に著名なイラストレーターのデータを大量に学習されている状態であり、その名前を入れればその人の絵柄のイラストが出力される。また、条件によっては学習元となったイラストがほぼそのまま出力されることもある。これを既にあるお手本からの「切り貼り」と定義しないのはおかしいのではないか。
５各論点について
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】
（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
>通常、AI 学習により作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる
＞他方で、当該学習済モデルが、学習データである著作物と類似性のある生成物を高確率で生成する状態にある等の場合
→問題となるのは「著作物と類似するものが生成できる」点にあり、「類似しない」ものが生成できる＝「問題が発生しない」というのは希望的観測に過ぎないのではないか。また、学習データ元の著作物との類似性の判断はどのように下していくのかを明示する必要があると考える（多くの場合、著作者本人の裁量となるのではないか)。
（オ）海賊版等の権利侵害複製物を AI 学習のため複製することについて
>インターネット上のデータが海賊版等の権利侵害複製物であるか否かは、究極的には当該複製物に係る著作物の著作権者でなければ判断は難しく、AI 学習のため学習データの収集を行おうとする者にこの点の判断を求めることは、現実的に難しい場合が多いと考えられる。
→これは生成 AI の学習データを作る側の問題でしかなく、勝手に学習される著作者からすれば見知らぬところで自身の著作物が盗用されている事実にかわりはない。学習データの収集の段階で著作者への同意を得ている学習データのみを使用できるようにするなどの決まりは必要ではないか。
【その他の論点】
（３）生成物の著作物性について
>(1)と組み合わせた試行、すなわち生成物を確認し指示・入力を修正しつつ試行を繰り返すといった場合には、著作物性が認められることも考えられる。
→プロンプトの入力や指示は究極、インターネットで検索してでてきたプロンプト例の文字列をコピー＆ペーストし、生成ボタンを押すだけで成立する。少し調べれば誰でもできる。頭の中に思い描く理想の絵が出てくるまで試行回数を増やせばいずれは出てくる、と

いうものに著作物性があると言えるか疑問である。一方で学習データの元となるイラスト等は同じものを作るのに自身に向いた絵柄を考えたり、素敵な絵になるよう著作者の長い年月をかけた努力、創意工夫があって成立するものであり、ここを同列に語るのはあってはならないことだと強く主張したい。

・全体を通して

現行の素案を見ると、著作権法では生成そのものは違法ではない書き方がされているが上記にあるように生成 AI と著作物性、といった点は切り離して考えた方がいいのではないかと考える。

現段階で生成 AI によりイラストを模倣され、絵師のなりすまし行為や、絵師への自殺教唆(その絵師の絵柄で首を吊るような悪質なイラストを生成)などの深刻な問題が既に発生している。

ex:イラストレーターの[redacted]（[redacted]）氏など

これはイラストに限った話ではなく、ディープフェイクによるフェイクニュースの吹聴や、個人への嫌がらせなど、いくらでもやりようはある(既に岸田総理のディープフェイクが作られる事案があったと記憶している)。

自身のアイデンティティを不当に利用される被害者の精神的苦痛は計り知れないものであり、特定個人の絵柄を集中的学習によりそのまま模倣できる現在の生成 AI が存在する限り同じような事例は今後も起こるだろう。

ゆえに生成 AI については現在の著作権法では対処しきれないものであり、別途基本的人権に基づいて規制案を設けるべきではないか(生成されたものを世間へと公開する行為に責任が生ずるべきだと考える)。

●受付番号　185001345000007528

4.関係者からの様々な懸念の声について
生成 AI を使用し、明らかに特定のクリエイターの創作的表現を侵害する形で作品を発表されている方がいます。
多くの時間を作品制作に費やし、技術を研鑽してきたクリエイターの方々がその技術を保護されず、模倣されその技術が陳腐化してしまうことに納得がいきません。
クリエイターと、クリエイターの作品の権利が侵害されないよう、公的な保護を求めます。そして、生成 AI を規制し、これ以上生成 AI によって筆を折ってしまうクリエイターが生まれないことを望みます。

●受付番号　185001345000007529

１．はじめに
全体として、生成 AI の利用および普及を前提として各項目が記述されている印象であるが、そもそも「著作物や人物の写真を生成 AI に利用してほしくない」という考え方によって日本国内のみならず世界中で生成 AI 問題として取り上げられているのが現状である。
同項目中の「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイターも出てきた」という記述は、実情を理解していない人間からすれば、クリエイターに生成 AI が容認されているとも見て取れてしまう内容であり、訂正すべきである。
著作権の侵害等を懸念すべきという点は当然として、国内における創作活動等の文化を委縮させる意図が無いのであれば、著作者の保護をまず第一に考えるべきである。
著作権法第一条における「著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする」という意図をないがしろにしてはならない。
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について/ウ 生成 AI が生成物を生成する機序の概略
当該項目中にて、生成 AI による生成は、「学習データの切り貼りではないとされる」と記載されているが、実際の生成 AI では、意図してまたは意図せずしても既存の人や物と明らかに類似した生成物が生成される事例があまりに多く、前提として間違っていると言わざるを得ない。
切り貼りでないのであれば、生成 AI を用いて「学習データに含まれる著作物の創作的表現をそのまま出力させる」行為が実現できるはずもなく、矛盾している。
５．各論点について
（１）学習・開発段階 / カ AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に、権利者による差止請求等が認められ得る範囲について
（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ」とあるが、学習したものがそのまま生成される事例がある以上、「「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によつて作成された物」には該当しない」と言い切ることは不可能である。
また、学習済モデルは「学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」とあるが、現在の生成 AI では既存の著作物と類似するものがあまりに多く生成され、クリエイターに限らず世間一般に問題視されているのが現状である。
存在するかもしれない少ない可能性に目を向けることで、現在発生している問題から目を背けるべきではない。
（３）生成物の著作物性について

イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について /
生成 AI による生成物の著作物性を認めたい場合の要素が三点記載されているが、生成 AI による生成物については、著作物性を認めるべきではないと考えており、理由を以下に述べる。
１ 指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
現在、生成 AI を用いて画像を生成する際のプロンプトは、分量や内容を問わずインターネット上に「呪文」などと称してコピーアンドペーストが可能な状態で多数共有されている。
この現状を考慮すれば、生成 AI で生成を行う際に入力したプロンプトが、利用者本人によって入力されたものか、またはコピーアンドペーストによって入力されたものかどうかの判別は不可能である。
そのため、著作物性を判断する要素として、入力されたプロンプトの内容および分量を定めるべきではない。
２ 生成の試行回数および３ 複数の生成物からの選択
現在の生成 AI は、言わば web ブラウザを用いた画像検索やガシャポンと同義であり、いかに苦労をして試行回数を重ね、選択を行おうと、そもそもの画像が生成される段階において創作性が皆無である以上、１と同様に２および３も著作物性を判断する要素として定めるべきではない。

●受付番号　185001345000007530

現行のこの素案では著作物のクリエイターの権利が保証されない面が多く、問題がある。AI 学習により作成された学習済みモデルは著作物の複製とは言えない場合が多いと考えられとあるが何を持っての考えなのか根拠がない。また、「学習元データである著作物と類似しないものを生成することが出来ると考えられる」という文にも疑問がある。“学習元のデータ”を使う限り製作物の類似性はゼロにはならないのではないか。希望的観測が過ぎると感じる。また、AI 学習による著作権侵害が生じた際に特定の著作物による学習済みモデルへの影響を取り除く措置をすることが技術的に不可能であるため、請求が認められない、というのはクリエイターに不利すぎる条件である。著作権が製作物の権利を保証するものであるという原則に反しているのではないか。

●受付番号　185001345000007531

現状、既に生成 AI に関連したトラブルが世界中で問題になっているにも関わらず、今の日本の態度は非常に生成 AI 贔屓であり、このまま推進すればより多くの人に不利益を生じさせるのではないかと危惧しています。例えば、現状の生成 AI の多くがポルノ画像や偏った思想を表現した作品も容易に生成できており、アメリカではリベンジポルノ等の被害が起きています。生成 AI と似た使われ方をしているものに音声合成ソフトがありますが、そちらは倫理的風紀的に問題のある発言ができないように対策が施されています。現状、生成 AI を作成運営している企業や研究者、利用者でそのような対策を施している人達はごく一部と言っても過言ではなく、既に学習元となる製作者が望まない形での作品の改変や、特定の個人を狙った集中学習により絵柄を模倣して行うなりすまし問題、正規品のゲームなどのデータを抜き取り、学習させることによる模倣品の製造など悪質な用いられ方が蔓延しています。このような状況で更に一部の生成 AI 開発者、利用者が一方的に有利になり、データの提供元となる制作者達に何の利益も生まれないどころか、不利益が生じうるような素案が作られることは 1 消費者として異常だと感じざるを得ません。
そもそも生成 AI の作成のための学習段階でデータの無断利用が必須とは考えられません。一例として株式会社 CoeFont の提供する「CoeFont」というサービスを紹介させていただきます。このサービスは「いい声を、いつでも、手軽に、使いたい分だけ。」というコンセプトとした AI 音声プラットフォームサービスであり、このサービスではデータの提供元となる声の持ち主にも利益が還元される仕組みとなっており、また、利用者が公序良俗に反さないような規約が定められていること、これらで培った技術を活かして病気で声が出せなくなる方々へのサービスを社会貢献として提供している事などから、生成 AI 開発者とデータの提供者、そして利用者が win-win-win の関係となっているモデルケースの一つだと考えられます。
生成 AI 作成のために搾取されるような構造など無くても、まともな開発・運営が行える企業や技術者ならば十分に人と AI の素晴らしい未来を作れると私は考えます。現状の利己的な発想から生み出される生成 AI から脱却し、国民全員が利益を享受できるような仕組み作りを望みます。

●受付番号　185001345000007532

生成 AI が生み出したものにも著作権を与えると、その AI の学習元になったクリエイターの方たちが時間をかけて作り上げた作品を学習して自分の作品であると主張できるようになってしまい、非常にまずいと思います。絶対にやめるべきです。
生成 AI を作成した人物が、その生成 AI の学習元であるクリエイターの方を著作権侵害で訴えることが可能になる可能性があり、クリエイターの方々の作品を脅かすものになるおそれがあると考えます。
生成 AI が学習する時点では思想感情の享受が目的ではありませんが、生成 AI の利用者は思想感情の享受が目的であることは明らかです。
生成 AI が生成した画像等生成物にも著作権を与えることは、無断で作品を学習の素材にされたクリエイターの方の創作意欲を失わせ、それが積み重なった結果創作という文化が失われてしまうことにもなりかねないです。
生成 AI の生成物と人間の生み出す作品は同一ではありません。
生成 AI の生成物にも著作権を与えるのはやめてください。

●受付番号　185001345000007533

画像生成 AI が学習元にした著作物、著作者を守ることに関してもっと慎重に考えていただきたいです。
身近の好きなイラストレーターが自分の著作物を画像生成 AI に集中学習され、作家のそっくりな絵柄で画像が生成され際、やめて欲しいと本人が声を上げたらわざと大量に画像生成する嫌がらせが加速し筆を追ってしまったことが実際にありました。
学習元となる著作物がなければ画像生成 AI の技術は進歩しないし、使い方も守らないとクリエイターへの嫌がらせに繋がります。
著作者への配慮をもっと強めて欲しいです。

●受付番号　185001345000007534

生成 AI の現状は無法であり、肯定することは到底できません。そもそも生成 AI は様々な創作者の作品を無断で学習し利用しているものである以上、その在り方を認めることは創作者の権利を軽んじていることと同義だと考えます。
そして生成 AI で出力された絵はその性質上、幾億枚存在するデータから切り貼りした緻密なコピー品でしかありません。これを容認してしまえばこの国を支えてきた創作文化は停滞もしくは衰退の一途を辿ります。日本の創作文化は世界に誇れる数少ない日本の誇りであり、それに携わる方々を失うようなことは絶対にあってはなりません。
また、既にネットではこれらを利用した創作者への嫌がらせ、さらにはあらゆるところで AI 生成された画像をそのままアップロードして検索汚染をしている輩が散見されます。
これらの問題点を無視して生成 AI を推進しようとすることが私には到底理解できません。生成 AI の利用に関しては全面禁止か、もしくは厳重な規制のもとに行うべきだと私は考えます。少なくとも誰かれ構わず利用できて良いものでは絶対にありません。そして何より「生成 AI による創作者への権利の侵害行為を罰する規則」を最優先で作るべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007535

２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
＞AI についての議論が、人が AI を使わずに行う創作活動についての考え方と矛盾しないように留意する必要がある。人が行う創作活動と、生成 AI による生成は同一とは言えない。よって、場合によって人が行う創作活動とは異なった対応を取る必要がある場合は発生しうる。人は自らの創作物が他の人間に学習されることを暗黙の了解として許容しており、それによって社会や文化が成立しているが、AI 学習の利用がそれに該当するとは言えず、同一として扱ってよいものではない。
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について
ウ
＞この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる。
「ないとされる」と書かれているが、その根拠が示されていない。実態として、生成 AI による生成物が学習データの切り貼りとなっていることは多々あり、この記載は現実に沿っておらず適切ではない。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
イ（ア）
生成 AI による生成物は学習データの切り貼りとなり得るので「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当すると考える。
イ（イ）
生成・利用段階において、AI が学習した著作物と創作的表現が共通した生成物が生成されうる場合、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当すると考える。
エ（イ）
AI 生成物によって代替されてしまうような事態が生じることは想定されるのだから「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当すると考える。
＞特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態が生じる場合、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当し得ると考える余地があるとする意見が一定数みられた。
あたかも一部の意見に過ぎないという書き方がされており適切ではない。特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態は「著作権者の利益を不当に害する」状態であり、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当する。
（エ）

生成 AI は学習データの切り貼りを生成可能なものであり、著作物の複製の切り貼りを生成することが「文化的所産の公正な利用」とは言えない。よって、生成 AI の学習データに著作権者の許諾なしに著作物を使用することは法第 30 条の 4 の権利制限規定の対象から除外すべきである。
（オ）
海賊版を学習データに使用することは著作権侵害にあたると書いている一方、（エ）では著作物の学習データ使用は文化的所産の公正な利用にあたると書いており、矛盾している。海賊版は著作権者の許諾なしに著作物を複製した権利侵害複製物であり、著作物の学習データ使用も著作権者の許諾なく使用した場合には同じことが言える。
カ（イ）
生成 AI は学習データの切り貼りを生成することが可能であることから、そこには学習に用いられた著作物の複製を有しており、「学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない」という考えは適切ではない。
キ
大量のデータが必要だから大量の著作物を許諾なしに使ってもよい、というのは理屈が通っていない。ク：生成 AI は、意図的に特定の著作権者の創作的表現が直接感得できる生成物を大量に出力させることが可能であり、私的使用という名目であっても著作権者の利益を害するため、権利制限規定の適用外と考える。
（２）生成・利用段階
イ（イ）
注釈 37 の意見に同意する。
キ
注釈 41 の意見に同意する。
（３）生成物の著作物性について
前提として、生成 AI の学習データに使用される著作物はすべて著作権者の許諾を得ている必要があると考える。その理由はこれまでの指摘で述べている通りである。その上であれば、本項の検討内容については同意する。
（４）その他の論点について
著作権者が認めない限り、学習データに著作物を使用するべきではなく、学習に用いられたデータに含まれる著作物の著作権者等が求める場合、それが実現できないのであれば学習済みモデルは廃棄すべきである。
＞AI 開発に向けた情報解析の用に供するために著作物を利用することにより、著作権法で保護される著作権者等の利益が通常害されるものではないため、
生成 AI によって著作権者の利益が害されている実情があることから、この記載は適切ではない。

●受付番号　185001345000007536

・生成 AI に学習させる創作物は、創作物を創作した本人が学習させることを許可したもののみにする。
・生成 AI の生成物は営利、非営利を問わず生成 AI の生成物とわかるウォーターマークを必須にする。
・生成 AI の生成物に著作物性を認めない。
この三点をお願いしたく意見提出させていただきました。
この件に関しては多くのパブリックコメントが寄せられていて意見の集約も大変かと思われますが、それだけ多くの人がこの素案に危機感を感じているということだと思います。
実際に現在ですら、生成 AI を使用された様々な被害が散見されています。ここまで日本のサブカルチャーを盛り上げてきたクリエイターの方々が、これ以上生成 AI による被害にあわれることなく、安心して創作活動ができるような未来になるようよろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007537

薬剤師です。薬でもそうですが、不安を減らすには被害やリスクをいかに上手く伝えるかが肝要だと考えます。
リスクや損害の大きさへの評価方法をブラックボックス化したのではAI利用者とAI学習の対象となった者の亀裂はむしろ深まると考えます。
リスクベースアプローチを正しく機能させ、社会的な軋轢を緩和するためにはAI利用者から業務外利用者への不利益をどのように評価したかしっかり広報していくことが肝要です。
また
・AI学習に利用されたデータをいかに取得したか？
・AI学習に利用されたデータ内に著作物が含まれないか？
以上を著作権者が確認を要請したさいに確認できる仕組み、すなわち被害状況を収集し救済を行う専門職や制度が必要と考えます。

●受付番号　185001345000007538

生成 AI に関する著作権の扱いは慎重であるべきです。
素案の考え方に反対します。

●受付番号　185001345000007539

４・関係者からの様々な懸念の声について
創作活動は基本的に職人職です、創作者は皆全て何年もかけて技術を育み、その作品の美しさや精巧さ、素晴らしさだけにならずその修行の年月もが価値に価する場合も多いです、ですが生成ＡＩはその創作職人達の技術を盗み短時間で作品を生み出します、これにより生成ＡＩによって作られた作品の価値は一気に落ちます。
日本が今現在世界に誇っている沢山の作品や作者達には、日本国内だけに留まらず世界各国に多くのファンがいますが、それらは日本の作家達一人一人が持つ独特な作風、作家達自身の手で時間をかけて作った作品である事への「憧れ」や「リスペクト」「賞賛」等の声が多くあるといいます、
このまま生成ＡＩが作家の場を奪う事になれば、今まで低いながらにもなんとか保ってきた創作物の価値が落ち様々な場所に被害が出ると予想しています。
創作者達を守れていない今の状況では、創作者達は自分の作品を世界に出す事がどんどん続いて無くなっていってしまいます、生成ＡＩはこの原作者創作者達の作品を元にして作られています、このまま作家を守れなくては直に生成ＡＩすらも進化が止まります、今生成ＡＩを素敵に活用している方々も居ますが、その方々の為にも「原作者」を守り尊重出来る状態が整って無ければどの立場の人間もが創作物を作る事が出来なくなります。
現に生成ＡＩが普及する前に活躍していた創作者達が世に作品を出す事を辞めているので、これは予想ではなく現在進行形で進んでいる止めなければならない事実です。
自動生産化して作られた物より、職人によって一つ一つ作られたものよりも圧倒的に安値で売られてしまうように、これから先このままでは日本で作られる多くの作品達の価値そのものが下がります、
私は何処の団体にも所属せず個人で絵を描いていますが、こんな個人にも海外の方々から多く買いたいという声がかかります、大きな団体や会社を守るのは勿論、趣味で創作をするような個人一人一人を守る事により大きくお金も回ると思います。
画家などは特に創作者本人そのものがブランド化し、投資目的で絵画を買う人もとても多いです、それが減ってしまっては酷く勿体ないように感じます。
（２）生成・利用段階
【著作権侵害の有無の考え方について】
有名な作家のイラストによく似た絵柄で作られた二次創作の生成ＡＩ画像が著作権侵害で、生成ＡＩ画像を生成した本人ではなく、何の関係もない創作者本人に矛先が向いたというトラブルも起きています、
そして生成ＡＩはインターネット上に無数に存在する画像を取り込んで作られているので問題になっている児童ポルノ画像等が使われている可能性も今多くの創作者達の間で話されています、実際そういった画像をやり取りするサイトなども存在し、勝手に写真を使わ

れた本人、勝手に使われた創作者達を守り、悪用する人達を罰さねばこの悪用は止まりません。
個人の悪用もありますが、生成 AI により各国の宗教観にリスペクトの無い性的な作品が作られる事もあり、各民族が持つ独特の文化や世界観、重要視する物等を蔑ろにしては国同士での争いにもなりかねないと感じました、
日本民族の古来からの文化や民族性の権利や誇りや名誉を守る為にも生成 AI は慎重に使わなければならないと思います。
この世には多くの素敵な作品が存在しています、それはただの芸術だけに留まらず多くの分野においても影響を与えています、この文化そのものが無くなってしまえば失うものは大きい、どうか作家達を守り、日本文化を守ってください、どうかお願いします。

●受付番号　185001345000007540

３．生成 AI の技術的な背景について　の意見。

（１）生成 AI について

生成 AI が登場してから今に至るまで、人類の役に立つ利点が一切ありませんでした。
登場後は詐欺、デマ、ディープフェイク、戦争利用等の犯罪以外に使い道しかなく、イラストレーターの市場を潰し、生物等の画像記録を汚染された事で情報としての価値を損失しました。
更に生成 AI に必須のデータセットには児童性加害の画像も確認され、データセットを非公開にして隠蔽する事態となっており、今もなお著作者人格権を始めとした人権侵害が続いてます。

（２）生成 AI に関する新たな技術

画像復元ツールである以上、発展性がない技術です。
クリエイターや写真家などが存在しなくなったらそこで打ち止めになります。

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について

下記の点が絶対に必須になると思います。
・データセットの常時開示の義務
・データセットに使われたクリエイター等の許諾及び使用料の支払い義務
・出力された画像や音声が AI である事の明示義務
・権利侵害された人達の削除要求に応える義務
・生成 AI を利用する際には身分を証明する義務

その他の意見

文化庁は「プロンプト・試行回数・複数の生成物からの選択」に創作的寄与があれば、一切手を加えていない生成物にも著作権が認めるような解釈をしているように見受けられましたが、
それはマクロを使って自動的に記入・施行・選択を繰り返して水増しした場合、クリック１回で著作権を与えてしまう事になります。
著作物の乱造につながり、アニメ・漫画・ゲームを新しく出そうにも権利侵害のリスクがあるため、市場が委縮してしまいます。
生成 AI での生成物には EU やアメリカ同様に著作権を付与するべきではありません。

●受付番号　185001345000007541

AI 学習に関する規制、作った人が守られるための仕組みを作ってください。
先日、グーグルで画像を検索したら、ＡＩによる正確ではない画像が大量に出てきて資料作成の妨げになりました。また、漫画やゲームのファンアートを探した時に、イラストレーターや絵師さんの作品そのものではなく、ＡＩによるその人っぽいまがい物が大量に出てきました。
文化庁名乗るんなら、日本の文化をになっている人の手を、意思を守護してください。
自動生成ツールは文化の担い手ではありません。ＡＩは文化を作り伝えていく人間ではありません。無料で勝手に劣化コピーを量産するものを便利だから手軽だから無料だからで放置するのはやめてください。
どうか、わたしやあなたが死んだ後も日本の文化と呼べるものが残りますように。強く要望します。

●受付番号　185001345000007542

AI 本当にやめてほしいですね。
現状作成 AI はクリエイターに限らず盗作だと思いますし、一部とはいえ実害出てますし....
主な被害者はクリエイターなので「何故ダメなのか」「嫌なのか」が分かりづらいとは思いますが、現状作品のみではなく声や写真すら勝手に読み込まれ『作成』されている人間もいます。
有名税とかそういうのじゃないです。
普通に怖いです。
AI という技術自体はすごいと思います。ただそれを使う人間が悪過ぎる
本人のみが使える物であれば問題は少なかったのです。ただ今は完全に盗作用の機能ですせめて資格式にしていただきたいし、「AI は無問題」などと簡単に決めてほしくはありません。
軽率に「いいじゃん！」って言い出す人は品性も知性も疑います
実害が出ています。
頑張ってる人達が軽視され筆を折るだけでも酷いなと思うのに、最悪命を奪う機能だと思いますよ....

●受付番号　185001345000007543

【AI 生成による芸術的価値の低下】
AI 生成によって大量に生み出された作品に価値を見出せない。
日本は薄利多売であり、低価格ゆえに品質の低下、諸外国との技術差が開いていく。
AI 利用はパフォーマンスの向上には向いているが、作風の消失や芸術や発想が乏しくなりそう。
【作家・著作権者への軽視】
作家なら少なくとも発表するのが前提であり、世の中に作品が出るのが当たり前である。
インターネット上にも不特定多数に上がるが、AI 学習の為に一方的に承諾なしに『利用』されるのは違う。
作者が手がけてきたコスト、技法、時間、経験、感性を一方的に搾取され、著作権と言いながらも AI 利用者が不明確な為に訴えづらい。
ゆえに、作家が不利益を被り、最悪作家活動ができず、文化・芸術の退化を招かねない。
AI 利用の制限するにも、なぜかクリエイター・作家側の対応となる。
AI 利用をする場合のルールを設ける
・学習先の開示義務
・AI 生成の明示義務
・制作者の作品のデジタル面での保護
・免許・許可制（著作権などの試験で一定以上の知識があり、遵守できる者のみなど）
・プログラムコードと同じように、有志によるオープンソースでの利用
など

●受付番号　185001345000007544

作品を仕事にしている人々の仕事を奪う可能性が高いため、許されるべきでは無い。

●受付番号　185001345000007545

AI 学習における素材は AI 生成者自身が創作したものに限り自由として欲しいです。
インターネットで上げられている他者の創作物にはすべて著作権が発生するものとし、その他者の創作物を無断で使用する AI 生成者には刑罰を課すものとしていかなければ、今後自由な創作は行えなくなります。もちろん AI を発展させるにはたくさんの学習をさせる必要があります。しかし、個人の能力を超えたものを制作し、そこから利益を得ようとすることは間違いです。あくまでも個人で扱えるものは自作のものであることを前提としなければ、本来の創作者の能力をつぶしてしまう危険性があります。フリー素材、または素材を金銭で購入した場合はその素材を自由に活用できるようにしなければ、インターネットを介して自由に他者の創作物を利用する人物が出て来て、おそらくトラブルのもとになります。海外では児童ポルノに利用され、その学習に活用されたであろう人物の写真等が問題になっている話を聞きました。創作物に限らず、人物の写真に関しても無断で使用することは規制すべきです。すでに EU でも規制の動きが出ているとのことですが、その点において日本が遅れをとってほしくありません。繰り返しますが、技術の発展は必要だとは思いますが、それを扱う人間はあくまでも自分自身の能力向上のみに留める必要があると思います。そうしなければ技術の向上とともに文化は廃れると思います。

●受付番号　185001345000007546

生成 AI を利用した人が絵・イラスト等創作物を公開した際に生成 AI に学習元として利用の有無にかかわらず、生成 AI を使用していないイラストレーターが被る不利益に対して保護が必要と考えます。
既に生成 AI によって模倣・なりすまし等の被害により創作に影響が出ている人が少なからず居るため、検討をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007547

・個人
１．はじめに
２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
「ア」要件２及び要件３に関しては定義が曖昧であり、解釈次第では不当に創作物の権利を侵害する事が可能になる恐れを感じる。
（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
「ウ」享受の定義も具体性を欠いており、第３者または不特定多数への公開等の具体的事例をあげて、著作物の権利を害さないよう慎重に定義する必要があると考える
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について
（２）生成 AI に関する新たな技術
（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
１から３に加え、必要のある場合学習データの開示等はされる必要があると考える。
４．関係者からの様々な懸念の声について
権利者の懸念「１・５」及び提供者「１」について
無断使用、海賊版使用に関しては追及が困難であると考えられ、ブラックリストを作成しても隠れて無断利用を行われる可能性は十分考えられるため、有志の提供者によるホワイトリスト方式を用いた学習元の提供が必要であると考える。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
項目４で述べた理由も含めホワイトリスト方式での学習を行う必要があると考える。
（イ）廃棄請求については確実に開示を求め、著作者の存在が認められ、訴えが成された場合、廃棄が認められるべきであると考える。
（２）生成・利用段階
「コ」学習に用いられた著作物の開示は詳らかに確実に行われるべきであると考える。
（３）生成物の著作物性について
項目４で述べたホワイトリスト方式に基づく AI 生成物、かつ当人の創作的表現が加えられたものにのみ著作性が認められるべきであると考える。
（４）その他の論点について
６．最後に

●受付番号　185001345000007548

６．最後に
→AI の開発や利用によって生じた著作権侵害の事例について
生成 AI によって特定の個人の創作物を狙って無断で学習し、生成した作品を投稿、創作者本人であるかのように偽って SNS 上で活動をする所謂なりすまし行為を行うアカウントが実際に現れています。
上記被害により受けた多大な精神的苦痛が原因で、当該クリエイターは無期限の活動停止に追い込まれました。
生成 AI の技術進歩は創作の幅を広げるものであって欲しいですが、現状散見される悪意ある（意図した）AI 学習は、今後 AI を使わずに創作を続けるクリエイターの活動を著しく萎縮させていくことにしかならないと考えています。
AI はあくまでクリエイター（AI を使わずに作品を制作する）の創作活動の一部を支える補助ツールとして使われるべきであり、一部ではなく AI 出力された作品そのものをメインとした出力物に、後から加筆等の手を加える行為があったとしても、それを創作行為と判断することには強い疑問があります。
いかなる場合においても AI によって生成された出力物そのものに著作権を認めることは、クリエイターとして受け入れられません。
ご検討のほど、何卒よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007549

一部のクリエイターたちが著作権の主張をしているようですが、クリエイターも当然に過去の著作物を参考に腕を磨き、作品を制作しているということは揺るがない事実です。
既にガイドラインで示されているように、生成 AI による著作物が全くの模倣である、既存の作品に著しく類似し同作品の価値を大きく損ねるというものであれば、著作権侵害に該当するということに異論はありませんが、そうでなく生成の参考として、或いは生成精度の向上のための資料として使われることまで制限するのは、不当な権利主張であると考えます。

●受付番号　185001345000007550

(1)生成 AI について
ウ 生成 AI が生成物を生成する機序の概略
について
学習データの切り貼りです。
そもそも膨大な数の、児童ポルノを含む著作権侵害をしているデータを勝手に使用して切り貼りしているのが生成 AI だと思うのでこの認識はおかしいと思います
学習とか都合よく書き換えてますがただの盗用の切り貼りです。
2)生成 AI に関する新たな技術　について
例えば特定のイラストレーターの人のイラスト作品を集中的にデータに入れてその人の絵柄そっくり(その人のデータを切り貼りしてるのでそっくりはあたりまえですよね。学習じゃなくてどう考えても切り貼りですよね)の絵柄のイラストを出力してその人と偽って仕事を取ることも可能ということでしょうか？
現在 SNS ですでに個人攻撃にあっているクリエイターの方が散見しています。
児童向けの作品に携わるイラストレーターさんの作品を"勝手"に収集、出力して 18 禁イラストを出力するような悪質なユーザーも多数います。
犯罪行為だと思います。
著作権、個人の創作を無視する生成 AI は海外でとても嫌われています
日本の輸出産業に漫画や、アニメ、イラストなどの創作作品があると思いますが
日本が生成 AI を全面的に推奨すると国内のクリエイターは国を離れて海外のファンも反日感情を持つようになると思います。
テクノロジーの進化どころか世界中に嫌われるのが生成 AI というものだと思います。

●受付番号　185001345000007551

新技術によって既存の法律により守られていた著作権などが不利益を被るのは新技術を開発した意味がないと思う。
せめて同意が得られていることが最低条件。

●受付番号　185001345000007552

創作物を無断で AI に学習させ出力する行為に対し、強く反対します。
生成 AI のデータセットには実在する人物の人権を著しく侵害する写真データが含まれているという情報があります。(https://www.404media.co/laion-datasets-removed-stanford-csam-child-abuse/)
生成 AI を巡る権利についての議論はこのような問題が周知・改善された後に進めるべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007553

他人の写真をつぎはぎしたものに著作物性は認められるか。間違いなく認められないだろう。つぎはぎされた写真の断片に元の著作者の本質的特徴が感得できる可能性があるからだ。しかし生成 AI は他人の著作物を無断学習した上で成り立っているのに、著作権性が認められようとしている。これはつぎはぎされた他人の著作物の本質的特徴が感得できなくなるまでつぎはぎされているからだ。被害を受ける人間が増えているだけなのに、それらを肯定するのは納得できない。断固として否定的であるべきである。

●受付番号　185001345000007554

私は趣味で絵を描いている絵描きです。
時々Twitter や pixiv に作品を投稿したりするのですが、生成 AI が問題化し始めて以降、絵を投稿し発表することや、人の絵を鑑賞することを素直に楽しめなくなりました。
箇条書きで理由を書かせていただきます。
・自分の絵もいつか無断学習されるのではないかと不安になり、Twitter や pixiv で絵の発表ができない
・AI への反対意見を述べたら推進派から袋叩きにされるので、ロクに意思表明もできない状況
・好きな絵師さんがリアル調の厚塗り絵師で、その方が AI 使用を疑われ心を病んでしまい筆を折ってしまった
・RT などで流れてくる絵や写真を「これ生成 AI 利用してる？してない？」と考えながら鑑賞しなきゃいけない
海外を含め、数多くの生成 AI が原因の犯罪や事件が横行している状態なのに、どうして日本は法によって創作者や肖像権が守られない状況が続いているのでしょうか？
このまま規制も法律もない状態が続けば、海外で起こった悲しい事件(生成 AI が原因で少女が自殺した等)が日本でも起こると考えています。
被害者が出てからでは遅いです。一刻も早く生成 AI の規制、及び創作者や肖像権を守るための法改正を願います。

●受付番号　185001345000007555

創作者として絵や写真を生成するいわゆる「生成 AI」には迷惑させられている。
学習元として使うのを許可していないデータ（絵や写真、または小説といった創作物として扱える文章）を悪意を持った個人が生成 AI に取り込み、生成された画像を悪用することが容易に出来てしまっている現状がある。
創作物を生成 AI から守る為の実効性のある、生成 AI を悪用した者に対しては罰則が付く程度の重い法律が必要である。
それと共に許可していないデータを学習元として取り込めなくする生成 AI のみ使える許可制度も必要である。
そうした規制が無ければ生成 AI によって煩雑なコピー品を大量に作られてしまう中でわざわざ純粋な創作物を作る意義が消失する。

●受付番号　185001345000007556

許諾無しで機械に取り込む行為を規制すべきです。
既存の作品にただ乗りし、粗製濫造の薄利多売の価格競争で市場は荒らされ、手書きの裾野が破壊されれば、腕を磨くクリエイターはいなくなり日本のコンテンツ産業は崩壊します。又、版権キャラクターを大量に生成してマネタイズしている輩がおり、このような人間が大量現れると一次創作者は泣き寝入りするしかなくなります。
海外のクリエイターや児童ポルノ画像も含まれており、国際的に問題視されたときに恥をかくのはあなた達です。いい加減にしてください。

●受付番号　185001345000007557

AI は、著作権者が許可した作品のみを学習できるようにするべきだと考えます。
また、AI を用いた作品は賞に応募できないようにするべきだと考えます。
著作権者に無断で学習した内容を出力し公開するという行為は、著作権侵害に当たると考えます。

●受付番号　185001345000007558

有料で提供した創作物を無料でAIに学習されるのは盗まれているのと同じ

●受付番号　185001345000007559

現在生成 AI が取り締まられていないせいで、SNS 等でイラストを見たときに「作者本人がアナログもしくはデジタルで全てを創造したもの」か「第三者が無断でネットにあげられ
ているイラストを使い生成 AI でつくりだしたもの」なのかがわからなくなっています。
作者本人が本当に作り出したものでも「これは生成 AI でつくられたものではないのか」という疑問が SNS 上では多々見られます。
また「無断で生成 AI でつくりだしたイラスト」を「他の人間がそれらを無断で生成 AI を使い、さらに加筆しあたかも自分が創造したかのように振る舞う」という投稿もあります。
自分が作り上げたものが勝手に他人に生成 AI に使用され、また他の人間に生成 AI で酷似しているイラストを使われていくのはとても遺憾です。
製作者の特徴や技術は製作者本人だけのものです。
生成 AI は免許制、そして使用時には申告を必須としてほしいです。
このままでは日本の漫画アニメなど二次元媒体が衰退していきます。
早急に制度を作っていただきたいです。
政府の意見として「ネット上にあるイラスト等はすべて生成 AI につかっていいよ！」というのを SNS で見ました。真偽はわかりませんが本当ならば国としてあるまじき発言です。
製作者がどのような想いで世の中に発表しているかは本人ではないのでわかりませんが絶対に「無断で生成 AI に使用して欲しい」と思っていません。
今生成 AI を規制していかないと世の中には似たような創作物で溢れかえり、ゼロから 1 を産み出していた製作者は減少し、新しいデザインもイラストも生まれなくなります。
海外に向けて漫画アニメなど貿易に使用していくなら、生成 AI を放っておくのは大変危険です！

●受付番号　185001345000007560

3.生成 AI の技術的な背景について
(1)生成 AI について
(ウ)生成 AI が生成物を生成する機序の概略
『生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる』とあるが、現在の画像生成 AI では、無関係の言葉を入力しても任天堂やディズニー等の有名な既存キャラクターが出ており、過学習によってもはや切り貼りと同様の結果が生み出されている。これは、個人も企業も関係なく著作権を侵害しており、生成 AI そのものに問題がある。
5.各論点について
(4) その他の論点について
『学習済みモデルから、学習に用いられたデータを取り除くように、学習に用いられたデータに含まれる著作物の著作権者等が求め得るか否かについては、現状ではその実現可能性に課題があることから、将来的な技術の動向も踏まえて見極める必要がある』とあるが、学習モデルからデータを取り除く事が現状は技術的に不可能であるからその声を無視するという対応は、法と責任の放棄ではないか。
学習に用いられたデータを取り除きたいという要望は、そもそも同意もしていないのに勝手に学習データに取り込まれた事が原因である為、学習元が完全にクリーンなものしか使われるべきではない。特に、現在使われている画像生成 AI の学習データには CSAM （児童性的虐待のコンテンツ）が入っているものもある。もしその児童ポルノ被害者が、学習モデルから自分の児童ポルノデータを取り除くよう要求した場合、文化庁並びにこの国は、技術的に不可能だからと切り捨て児童ポルノデータの入った生成 AI を推進するのか。倫理的にも法的にも、児童ポルノや海賊版などの違法データが入っている生成 AI を推進していく事は危険極まりない。
同項にて『著作権法で保護される著作権者等の利益が通常害されるものではないため、対価還元の手段として、著作権法において補償金制度を導入することは理論的な説明が困難であると考えられる』とあるが、著作権者の利益が大きく害される事例は現在多く起こっている。例えば、所謂「マスピ顔」という絵柄の価値暴落の事例だ。マスピ顔とは、画像生成 AI のプロンプトに「masterpiece(傑作)」と入力するとよく出力される顔の事であり、生成 AI が出る以前は非常に価値のあった絵柄が、生成 AI により大量生成され粗雑に扱われた結果、本来価値の高かったものが陳腐なものとして扱われるようになったのである。これは、誰しもが辿り着ける訳ではない努力と勉強の産物への不当な搾取であり、素案に書かれている『著作権者等の利益が通常害されるものではない』とは言えない、極めて酷い事例である。
こちらも同項であるが、『他方、コンテンツ創作の好循環の実現を考えた場合に、著作権法の枠内にとどまらない議論として、技術面や考え方の整理等を通じて、市場における対

価還元を促進することについても検討が必要であると考えられる』という文章に関して、文化を守る為には生成 AI 推進ではなく、クリエイター保護や対価還元の理念を主軸に据えて考えた方がよい。
また、将来クリエイターとして働こうとしていた学生の間でも生成 AI への不安が渦巻いている。SNS 上に作品をあげていたクリエイターが、生成 AI の学習データに取り込まれるのが嫌で投稿を控える事例も多くある。私もそうだ。微妙な出来のものは投稿するが、良くできたものは学習されたくないので投稿を控えている。集中学習の標的にされるのが嫌で、イラスト投稿サイトの pixiv にあげていたイラストを全て非公開にするクリエイターも多くいた。よく出来たものほど公開されず陳腐なものほど投稿される、グレシャムの法則のようなことが今起こっている。これは、日本のクリエイター産業の著しいレベル低下を招く恐れがある。現在、SNS での成果物の投稿は仕事の宣伝にも広く使われている為、安心して SNS に成果物を投稿できない原因となっている生成 AI には規制が必要である。
また、生成 AI という技術は他の技術と異なり、既存の成果物に完全に依存しきっているものである事は、生成 AI から既存イラストや既存キャラクターが出てくる事、学習データが少なかった以前は不完全なものばかり生成されていた事からも明らかだ。その為、生成 AI はクリエイターへの搾取構造が前提で成り立っている。このような搾取は許されるべきではない。また、他国では権利問題が叫ばれ、ニューヨークタイムズが openAI を提訴したり、EU は生成 AI を規制したりという動きがある。その為、良い仕事をするクリエイターほど、クリエイターを守らない日本ではなくクリエイターの権利を守る海外へと出ていく可能性が大いにある。その場合、日本のクリエイター産業は先細りだ。
以上の事から、クリエイターを搾取し文化を破壊する生成 AI を推進するのではなく、強く規制するべきである

●受付番号　185001345000007561

・生成物の著作性について
試行途中のものにも著作性が認められる可能性があるという旨の記述があるが、これは明らかに問題があると考える。
画像を取り込む際に他人の著作を侵害してもそれらの行為を明らかにし、罰する法律、透明性、被害者への補償が曖昧かつ不十分なまま、AI 使用者のみ使用できる権利を認めるのは公正ではないと考える。AI は道具であり、道具を使用するのは人間である。そして、ペンタブレットやマウスなどの道具を使って絵や動画などの著作物を創作するのも人である。AI 使用者が不十分な法律のもとで大量の著作物を取り込み、画像を生成し、発表するということは、ペンタブレットやマウスなどの道具を使って創作をする人の著作権を侵害する恐れがあり、人権を侵害されたものが救済されない可能性があるということである。
著作権とは人権と非常に密接に結びついている。人権が守られるか曖昧なまま、国として AI 使用者による画像生成を推進することは、国際社会から日本国への信用を失うのではないかと懸念する。
それだけでなく、日本のクリエイターの作品にまで疑惑の目が向けられてしまうのではないかと深く憂慮している。
結論として、AI を使用しないクリエイターの権利が侵害されないことが明らかにならない限りは、生成物に対する著作権は認めるべきではないと考える。
政府には推進派だけでなく、AI を使用しないクリエイターたちからも意見を聞いてほしい。

●受付番号　185001345000007562

普段から絵や文章を描いて発信しているわけではないですが、好きな絵を描く方や、文章を書く方がいて、よく拝見させて頂き楽しませていただいています。
その中で、1 枚の絵でも 100 文字の物語でも、作り手の方が、見る側が感じる情報の何倍もの時間と、工夫と、試行錯誤を重ねて作られているということを知りました。
作り手の方が、試行錯誤を重ね長い年月をかけて作り上げた魅力的な絵柄、文章の雰囲気その方のスタイルが、AI の学習によって一瞬で勝手に複製されてしまい、又、それが著作権侵害にならないという事に強い違和感を感じます。
著作権は、物の作り手の方を守る唯一の権利だと思います。その権利が侵されることの無いような規制法を作って下さい。よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007563

昨今のAI事情はクリエイター軽視、クリエイターが0から作り出したものをAIが上前だけ攫っていくような状況です。
この未熟な法整備状況下でAI技術をただ推し進めるのではクリエイターの意欲を削きますし、彼らが作り上げたものが市場で使われているのに彼らの収入にならないという著作権の概念上ありえない事態になります。
人間から技術を盗んだAIが料金の発生する仕事をするよりも先に、きちんとクリエイターの権利を守る法整備をしてください。

●受付番号　185001345000007564

3(1)ウ：「通常、学習データの切り貼りではないとされる」について、誤解を招きうる表現と考える。例えば拡張検索型の AI においては、実際に HP 上の情報が引用されている。また文章生成が可能な AI について、学習データの一部と一致した文章が「確率的に」生成されるが、これは言葉同士の関係性が学習により結び付けられた結果生成されているため、「切り貼りしていない」とするのは誤りではないか。どの程度復元性を持つかは、学習モデル等により差が出ることに留意すべきである。
5(1)イ(イ)：
学習段階と利用段階を分けて考えることに問題がある。『利用者に著作物に含まれる表現を享受させることで利益を得ることを主として学習させるが、学習自体はあくまで情報解析であり、表現を享受する目的ではない』という場合、学習段階では直接の目的としていなくとも、表現を享受する主体がいなければ情報解析を行う必要性がない。このようなケースを想定すると、必ずしも両者を分離するのは適切ではないと考える。
5(1)エ：「特に、ウェブサイトが海賊版等の権利侵害複製物を掲載していることを知りながら～」の部分について、知りながら複製した場合はそれ自体を開発・生成段階であっても罰則付きで違法化すべき(なぜなら、私的複製でも海賊版をダウンロードすると刑罰化される点で、同じ権利制限規定の対象同士で扱いが異なっているのは不当。特に AI 開発は商用目的であることに留意すべき)。
5(1)キ：「必要と認められる限度において」との記載について、現行の AI の特性を以って適法と解釈するのは短絡的であると考える。
　必要なデータ量が大量であるとしても、それは目的とする精度やアルゴリズムに大きく依存する上、その量が妥当であるということを客観的に判断するのは非常に困難である。そのため、必要と認められない可能性は残すべきである。
　具体的にこの解釈で問題と考える点は以下の通り：
・この解釈をモデルに依存する前提で読み取る場合、必要な限度を定義できず、結果として開発者の言いなりになってしまう(まさに現状がそうである)。
・一方この解釈をモデルによらず客観的な指標として読み取る場合、ほとんど学習を不要とするロジックベースの生成 AI が出てきた場合、学習が必要な生成 AI は客観的に見れば「学習をしない手法があるにもかかわらず、不要なデータの複製をして生成された」と判定できるが問題はないか。
例え非教授目的の学習を認める場合であっても、意図的に過学習をさせる範囲まで～等、必要となる限度を超える場合の例を示すべきである。
さらに、この解釈は事実上条文を無力化するものである一方、より少ないデータで高精度なアルゴリズムとそれを基にしたデータセットが出てきた場合に他のデータセットはただ

ちにこの条項により権利制限の対象外になるという解釈もできるため、権利者と開発者双方にとって不利な解釈である。
5(3)イ：生成 AI の出力はデータセットやモデルへの依存度が高いため、プロンプトの入力を創作的寄与とするのはプロンプトと出力の間の必然性が認められない以上、認めるべきではない。
生成 AI により生み出される創作物は、プロンプトよりもデータセットや学習モデルに依存するケースが多い（実際、モデルを変更できるサービスも存在する）。そのようなケースにおいて、プロンプトを入力したことをもって創作物に創作的寄与を認めるかどうかは一義的に判断できないのではないか。
5(4)：論理の順番がおかしい。データを取り除くことが技術的に困難であるのであれば、そのことが問題にならないよう学習は著作者の許諾が必要となるよう法律を変更するのが筋ではないか。
存在そのものが合法的ではないコンテンツを学習してしまった場合に、それを取り除くことができないのは危険である。それはそもそも著作者の合意を得ることによる学習しか認めないことで対処可能な問題であるにもかかわらず、それを無視して学習を許可し、その後「対処できません」というのは矛盾している。

●受付番号　185001345000007565

学習の際に海賊版等の権利侵害物の判別が難しいということは、プロアマ問わずクリエイターが著作物を AI に学習されることを恐れ創作物をインターネット上に公開しないということに繋がる恐れがあります。
インターネットが主な発表の場になっている現代において、これはクリエイターの作品発表の機会を奪うことに他なりません。
また、自由に作品を発表できない空気感は、業界全体の萎縮にもつながります。
また、AI で簡単にコンテンツが無数に作れることにより、市場に作品が飽和し、コンテンツが持っていた従来の市場価値を毀損することが懸念されます。
これも業界の萎縮につながります。

●受付番号　185001345000007566

生成 AI が後述する誤った方法（※）で利用された場合、多くのクリエイターが現存する作品およびこらから作られる作品の市場価値が著しく低下する、もしくはブランドイメージ低下による創作資金及び機会の可能性が跳ね上がるため、むしろ規制を推進していただきたい。
※生成 AI の持つ危険性、加害性について
市場価値の低下への危険性
ただでさえやりがい搾取による正当な報酬が得られないなか、クリエイターによって既に作られている作品を他者 AI が学習しいわゆる海賊版のような形（本来付けられる価格よりも非常に廉価になった状態）で市場へ流れた場合、本来クリエイターが時間と手間を費やして作られた作品も同時に価値が下がり、正当な評価を得る機会が減る。
加えて、生成 AI は当然人間が一度表現した絵柄、色使いをベースに生成を行うため、絵柄や雰囲気というそのクリエイター独自のものを容易に奪う。そしてその絵柄や雰囲気などの独自性を生成 AI によって奪った第三者によって、クリエイターの望まない作品が市場へ出た場合（例: 望まない成人向けの残酷、あるいは性的描写、意図しない政治的、宗教的発信など）生成 AI で作られたものというバックグラウンドに気付けずに見た消費者が、本来のクリエイターに向けての誤解を抱きブランドイメージが低下し、創作機会などの損失へつながる可能性もある。
創作市場を盛り上げ、クールジャパンを推し進めていくためにはクリエイターの尊厳や可能性を守っていただく必要がある。介入をするのであれば、あくまで規制の方針をとっていただきたい。著作権および著作者が守られなければ、文化は壊れていきます。生成 AI に取り込まれていく数多の作品をただのデータと思わず、そのクリエイターが心身削って作り出した子供のようなものであり、守りたいと熱望する存在であることを認識していただきたい。

●受付番号　185001345000007567

一次創作物を作者の許可なく AI に学習させるのは作者を守る上で取り締まるべきかと思う。
学習された作者が訴えを挙げた時、それを検証し学習させ作り出されたものは非公開にできないだろうか。

●受付番号　185001345000007568

4.関係者からの様々な懸念の声について

　1 著作物等が AI 開発・学習に無断で利用されている

現状制作者の意図にかかわらず無断で学習に使用されている場面が多いように思われる。そしてそれによって元の作成者側が不利益を被っている事例が少なからず見られ、AI に学習させる著作物についてもっと慎重にならなければならないと思う。例えば作成者側に使用料を払い AI に学習させる権利を得られるだとか、作成者の意思で作品ごとに AI 学習の可否を決め AI 学習不可とされたものに関しては学習データとして扱ってはいけないだとか。

また、『学習』や『利用』といった単語が想定しているものはあくまで人間であり、AI のような高速で大量に処理できる媒体を想定していないのではないかとも考えられ、そういった単語の定義から見直したほうが良いのではないかとも思われる。

●受付番号　185001345000007569

[redacted]先生の件、ユニバーサルの TikTok の対応の件を受け、まだまだ創作者の立場が弱く、侮られがちであることを強く感じた。
私たちはまだ議論の途中であり、進めるべきでないと思います。

●受付番号　185001345000007570

１はじめに
現状の生成 AI は、スクレイピングを違法化できていないこと、著作者があまりに不利であること、AI 利用者のクリエイターを軽んじる・クリエイターへ嫌がらせをするといった態度の悪さから、認めることができない。
２
（１）従来の著作権法の考え方と整合性について
そもそも著作権は「人権」であるため、プログラムが生成したものに著作権を与えるのは間違いだと思う。AI 利用者はあくまで生成 AI にオーダーを出している依頼人であるため、依頼人に著作権が発生するのはおかしい。
現在の生成 AI にはデータセット作成時点で問題があり、著作権法第 30 の 4 の例外にあたると思う。
生成物の著作物性については、海賊版のデータを利用している以上、現状認めるべきではない。オプトインによるクリーンな生成 AI ができてから論じるべき。
３
（１）生成 AI について
そもそも現状の生成 AI は破棄すべきと思う。
オプトインによるクリーンなデータセット、生成物へのウォーターマーク及びメタタグの必須化（及びウォーターマーク、メタタグを消すことの違法化）など、既存の著作物の権利を守り、また、ディープフェイクなどの対策をしてからでないと受け入れられない。
５
（１）学習・開発段階
スクレイピングによってインターネット上の海賊版サイトから、本来有料である著作物が学習されている。また、Stable Diffusion には絶対に学習すべきでない CSAM（児童性虐待コンテンツ）が学習されていることがスタンフォード大学によって指摘されている（https://www.404media.co/laion-datasets-removed-stanford-csam-child-abuse/）。CSAM は米国法では、調査のための閲覧さえ違法だが、Stable　Diffusion を DL して所持していることは事実上 CSAM のデータを所持していることになる。
利用すべきでない画像や著作物を間違っても取り込まないためにも、学習はオプトイン制にし、データセットの内容は公開するべき。
（２）生成・利用段階
AI 利用者が既存の著作物を認識していた場合、類似性が低くとも、生成されたものは著作権侵害にすべき。
AI 利用者が既存の著作物を認識していなかった場合でも、類似性が高ければ著作権侵害にすべき。

データセットが公開されない限り違法にならないのは、クリエイターにとってとても不公平であるから、データセットを公開すべき。
また、既存の著作物の改変で元著作者への嫌がらせ目的で生成されたものは著作者人格権の同一性保持権によって違法とすべき。X（旧 Twitter）では生成 AI に拒否を示したクリエイターへ、AI 利用者から苛烈な嫌がらせも行われた
（[redacted]）ことを踏まえ、嫌がらせのための生成は、著作権法以外ででもただちに違法にできるようにするべき。
（３）生成物の著作物性について
感情的には到底認められない。
第 170 回芥川賞受賞作「東京同情塔」は一部生成 AI 利用だが、生成物である部分には著作権を与えるべきではないし、どこが生成物であるのか公表すべき。公表しない場合、著作権のないものを著作物であると偽っていると、消費者としてそうであると感じる。
（４）その他の論点について
文化庁審議会の福井弁護士の X（旧 Twitter）上での「漫画の背景の下絵に生成 AI を利用することは一般化している」というポストに、当事者である漫画家たちが「そんな話は聞いたことがない」と反応している
（[redacted]）が、これは漫画家、及びクリエイターへのヒアリングが進んでいない、あるいは審議会は偏った情報ばかりで話を進めているのではないか精査すべき。
現状では、政府は生成 AI 促進したさに、民間の声を、不都合だと聞こえないフリをしているようにしか思えない。
５最後に
とにかく生成 AI 及び AI 利用者に有利な状況から、クリエイターが NO と言える状況にしなければ、生成 AI 問題はクリエイターの萎縮につながる一方であると思う。
日本を IP 大国にしたいのであれば、生成 AI に対して厳しい姿勢でもって「日本はクリエイターを大切にする IP 大国である」と示してほしい。

●受付番号　185001345000007571

現在世に出回っている画像生成 AI はインターネットに存在していたデータを無許可に無差別に収集し、その元データの特徴を無数に細分化し部分ごとに複製しているものだと見受けられる。
また追加学習によって特定の個人の絵柄や実際の容姿に完全と言っていいほどに近づけることが可能であり、この事例による人的被害が起きている(SNS なりすましや実在の人物のヌード化等)。これは現在の画像生成 AI がそのような可能性を考慮しない、または可能であることを看過した思想の元に作成されているために起きていると考えられる。
本来人間が任意のものを似せて描くためには膨大な訓練の時間が必要であり、完全に似せることは実質的に不可能だと言える。人間にはできないことであるために保護が不完全であった AI に関する著作権法に対して、学習のためのデータを無許可に使用することの禁止や、特定のタグをつけた画像から特徴を複製するようなシステムを規制していただきたい。少なくとも個人の著作物を無断でデータセットに使用し、そこから広告や商品等に利用するために画像を生成することは享受的な利用法であり違法であるべきだと考えている。

●受付番号　185001345000007572

意見書の「はじめに」に記載してありました「著作権を侵害するのではないかという懸念」とありましたがすでに著作権を侵害されたクリエイターが裁判等を起こされている事実をご存知でしょうか…？
もうすでに AI は創作活動に対して権利の侵害という影響を及ぼしています。
このようなシステムに Go サインを出すような方針は是非とも撤廃していただきたい。
クリエイターを守るために、今後の創作・文化的発展が廃れていかないように努めていただきたい次第です。

●受付番号　185001345000007573

４．関係者からの様々な懸念の声について
＜クリエイターや実演家等の権利者の懸念＞
学習段階では著作権法第 30 条の 4 に触れないが、例えとして生成 AI で生成された創作物がクリエイターや実演家等の権利者の創作物に依拠性がないと判断された場合でも、精神的に委縮してしまい今後創作活動を辞めてしまう者は少なくないと考えられる。学習段階においても権利者の許諾無く学習することを規制できる場合、前述したケースを減らすことが期待できるのではないだろうか。
SNS 上において誹謗中傷や名誉毀損を目的として生成 AI が使われているケースが散見され、現法律では罪に問われず結果として学習元となった権利者が創作活動を委縮している。
生成 AI とは学習データ無くしてはで成り立たない為、現状のままでは生成 AI においても生成 AI を使用しない創作においても長期的な発展が見込めないと考えられる。

●受付番号　185001345000007574

AI による生成物は、クリエイターが作成した物を無断で盗用していることが 1 番の問題であると考えます。
AI 自体は化学の発展であり、作業効率を良くするものだと思います。1 度便利な物が作られ、他の国でも作成された流れを帰ることは難しいと思います。しかし、クリエイターが了承した物から作られるべきです。
このままだとクリエイターの環境を悪化させることに繋がり、将来的には逆に作られたものの精度を低下させていくことに繋がると考えられます。
法律により無断でクリエイターの作品を AI に取り込むことを制限するべきです。

●受付番号　185001345000007575

ＡＩから出力されたイラストは、著作権フリーの画像やイラスト以外に今活躍中の絵師の商業イラストから映画の映像（画像）まで、
法が整備されていないため全て学習されている。（私はそう認識している）
今までありえないと言われていた、「ヨーダ」と入れたらそのまま映画スターウォーズのヨーダが出力される所までいってしまった。
これを前提として自分が今一番怖いと思っているのが、ＡＩから出力したものと明記せず、
支持の多いイラストレーターや写真家が自分の作品としてＳＮＳ等に投稿したり、ネット記事や広告等の会社が画像を使っていることである。
影響力のあるものが特にＡＩ明記せずに載せているところを見ると
まだ未熟で、法もまともに整備されていない無許可で構築された「物を」
公に出し、見分けられず本人の作品だと確信・信用できる情報だと思い拡散する。
拡散され回ってきた画像が自分の作品の一部が明らかに使われているが訴えることは出来ない。
勝手に犯罪に使われて名誉を汚されることもある。
悪いのはＡＩではなく使う人間。わかっていますが今更ＡＩ使う人間の品性を正すよりも法を定めていただきたい。
最近起きた絵師さんへの殺害予告を送っているＡＩを使っている人を見てより一層思いました。
絵師・漫画家・絵画・写真家・小説家・声優・俳優・コスプレイヤー・モデル・ＡＶ俳優・俳優・映画・アニメ……
全ての人、作品にＡＩへの学習許可をしても良いかを決める権利をください。
全て日本の素晴らしい財産です。守ってください。
よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007576

以下は５．各論点について　（１）学習・開発段階、　（２）生成・利用段階 についての意見である。
まず（１）学習・開発段階について、
生成 AI は学習元データのデータの透明性を確保すべきであり、学習元データとして扱うデータは、扱ってもいいと表明したもののみを対象にするべきであると考える。現在インターネット上にある画像はすべて誰か人が撮影したか作り出したものである。必ず誰かに権利がある著作物である。
さらに海賊版、児童ポルノなど実際の犯罪の画像すら学習元として収集している疑いがあるものは使用することを許容できない。
また、（２）生成・利用段階 について、生成 AI は出力する段階で全ての生成物に対して、機械可読のマーク、人間が見てわかるマークの両方をつけるべきであると考える。
生成 AI は容易に大量に本物のコンテンツと区別ができないものを作り出し、偽情報、詐欺、なりすまし、消費者の不利益のリスクを生んでいる。
2024 年 2 月 3 日 EU の AI 規制法が承認された。
日本だけが規制しない場合、日本のコンテンツはすべて、全世界、少なくとも EU からの信頼を失い、結果として生成 AI という新技術による発展も、既存コンテンツを守り継承していくことも不可能となる。
私は生成 AI によって既存クリエイターの負担が減り、クオリティが上がることを期待している。障害があるがアイディアはあるものが生成 AI によって作品を作ることができるようになることを期待している。
しかし生成 AI を現在使っている人間には LoRA（Low Rank Adaptation）によって既存クリエイターの作風をコピーしただけでなく誹謗中傷により追い詰め、さらになり替わろうとする者がいる。(X 上の[redacted] になり替わろうとする[redacted] など)
他にも既存クリエイターが生成 AI を扱う人間たちよって著しい不利益を被っている。これを見る既存クリエイターや、そのファンは生成 AI への不信感、嫌悪感を抱き、生産的な議論すらできなくなりつつあるように感じる。
そのためまず、規制をし、健全な土壌を作るべきであり、
それには、権利侵害のない学習データと、なり替わりなどができないようにマークが必要と考える。

●受付番号　185001345000007577

P14/ 4. <AI 利用者の懸念> 3 同業からの冷評について
他人の作品の合成によって作られた画像は生成者が努力したわけではなく、元の画像を描いた作者の努力の結果である。例えば森を描くとしても、生成者は指示を送るだけで制作できるが、画家は木の種類や光の当たり方、影のつき方、構図等多くのことを学習、検討するなど必要な時間、努力の量が違うのも明らかだ。
よく一般の方が言う「パパッと描ける」と言うのは、上記のような努力の積み重ねによってできる行為であり、それ無しでは基本的に不可能なことである。
P26/ 5.カ(イ)学習済みモデルの廃棄請求について
[学習に用いられた著作物の複製物と はいえない場合が多い]
例えば「屋根裏のラジャー」にて行われた AI による画像の生成企画では、マリオやソニックなどの有名なキャラクターが出力されている。例として、我々に取ってはマリオといえば赤い帽子のおじさんというイメージだが、それを AI は学習しない限り知り得ないはずである。それなのに近いどころかほぼ同じ形で出力されることは任天堂の画像を無断で学習させているということに他ならない。
「屋根裏のラジャー」での問題について
[redacted]
他にも無断転載などされないよう作者が入れるサインが AI 生成物に表示されるということは、複製と同じなのでは無いかと考える。個人が書き足したものかとも思うが、どの国の言語でもない”文字のような形”として描かれているので AI なのは明らかだ。
サインが現れる事例 [redacted]
[学習データである著作物と類似しないものを生成 することができると考えられること]
類似しないものを生成できたとしても、類似するものも生成できる場合は問題があることに変わりはない。

●受付番号　185001345000007578

創作物の AI への無断学習、出力、使用を容認することに反対します。

●受付番号　185001345000007579

他人の物を勝手に使って努力を踏みにじるような行為は許せない。AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007580

素案 16P　（イ）について
生成 AI がそもそも過去の著作物をコピーして類似するものを作り出すという方式をとっている。そのため、生成 AI を使用する目的で学習データに使用することそれ即ち「著作物の創作的表現を出力させる」行為であるため、生成 AI の使用が非享受目的であるということ自体が成立しないのではないか。
素案 23P
海賊版等の権利侵害複製物を AI 学習のため複製することについて
「現実的には難しい」「現に慎むべきである」など、利用者の良心任せの無責任かつ無関心な記述であり、とても著作権を守るべき立場の者が素案を作成しているとは思えない。
素案 25P
侵害に対する措置について
「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ」
「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」←これらの文の根拠が不明。生成 AI の不当な使用を推進したい者による都合のいい仮説ではないのか？
「AI 学習により作成された学習済モデルについての廃棄請求は、通常、認められないものと考えられる。」←一度学習させてしまえば特定個人模倣だろうと何だろうと廃棄させることはできず、使いたい放題という主張は、著作権を守る立場の者が作成した文書とは思えない。
素案 26P28
「時間的に、費用的負担の重さ～」について。
なぜ著作権侵害を受けた側が侵害を行った側の事情に配慮して一方的に譲歩して不利益を呑まなければならないのか。著作権侵害にあたっては、万難を排してでも侵害側が修正措置をとるべきではないのか。一度学習させてしまえば除去を命じられない、やったもの勝ちの構図を良しとしている理由を説明するべきである。
生成 AI そのものと創作についてですが
そもそも生成 AI というのは過去につくられたもののデータを再現するシステムである以上、人間が作ったものの劣化コピーにしかなり得ません。生成 AI で全く新しいものを創り出すことは、生成 AI の仕様上不可能です。
そのため、現状の生成 AI の使用を推し進めたところで新たな創作とはならず、むしろ粗悪品を溢れさせ、悪貨が良貨を駆逐する状況を作るだけです。

それだけでなく、特定個人のデータを大量に取り込んで類似品を創り出し、さらには著作者を攻撃して排除することでオリジナルに「成り代わる」行為が発生する懸念があり、そして現実のものとなっています。
生成 AI は過去のデータによる学習が不可欠であり、土台となるデータを創り出すのは人間です。
その人間をないがしろにして生成 AI の使用を推し進めようとするのは、人間による創作をたたき物してしまうのは言うまでもなく、却って生成 AI の未来を先細りさせることにしかなりません。
生成 AI の可能性を広めるためには、著作者の保護がまず第一ということを肝に銘じていただきたい。
素案を読んだ限りでは、生成 AI の基本を理解しておらず、生成 AI の有効利用にも、クリエイターの未来にも興味のない人物が作成した文書に見えます。
むしろ、生成 AI を利用してクリエイターの未来を閉ざしたいという願望すら感じとれてしまいます。

●受付番号　185001345000007581

AI に使用されるイラストは許可が出ているものだけにしてほしいです。
嫌な人への配慮が欲しいです。苦労して描いてもコピーのようなものが無断で出回るような事態になると描かなくなる人が増えて文化の衰退になると思います。
なので無断で使用できるような自体だけは避けて欲しいです。
使用したイラストの公開も申請があればしなきゃいけないようにして欲しいです。
よろしくお願いします

●受付番号　185001345000007582

悪用するのは何時でもユーザーであり
AI プラグラマーなどの技術者に対して規制やルールを設けるべきではない。
よく言われる包丁職人理論と同じで包丁を作る人に罪はなく、
それを悪用する人を規制するべきである。
つまり規制するべきは個人が AI 生成物を公表する場合に限るべきだと考えます。
昨今の議論を見ていると Winny の時のような事が繰り返されるんだろうなと危惧しております。
正直、AI は日本が海外に勝てる今世紀最後の技術だと思っており自由で活発な技術開発がなされることを期待しております。

●受付番号　185001345000007583

AI 生成画像の利用は免許制にしてください

●受付番号　185001345000007584

無断転載やトレース問題などが増え、創作に身を置く人達がどんどん傷付き蔑ろにされている中、金銭のこと含む作家の権利がさらに尊重されるようになるまで、AI の利用は制限されるべきと考えます。生成 AI による模倣で、筆を折られた作家の方々をたくさん目にしてきました。この状況で規制がないまま AI が更に広まれば、国内外から AI を悪用して市場を荒らす人たちが増え、日本の創作活動はどんどん縮小していくのではないかと不安です。また、人が制作したものと AI が制作したものの違いがわからなくなるとトラブルが起きる可能性があり、明確に区別される必要があると思います。AI の扱いにはしっかりした倫理観とリテラシー及び専門的な知識が必要だと考えます。規制を厳しく設定するとともに、AI 使用を免許制や申告制にすることで、トラブルを未然に防ぐためにも正しく AU 使用を管理されることを望みます。
AI を正しく利用することで、今後のあらゆる創作活動において更なる発展があればいいと思っています。そのためにもまずは、今活動されている作家の方々が尊重され、権利を侵害されることのないようにすべきと思います。どうか慎重に取り扱っていただきたいです。

●受付番号　185001345000007585

AI の無断学習に反対します。AI の無断学習は万引き、盗作と同じです。学習元である著作権者の権利は守られなければなりません。無断学習された創作者の命も奪いかねません。

●受付番号　185001345000007586

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007587

1.はじめに
2.検討の前提として
(1)従来の著作権法の考え方との整合性について:
AI の生成は著作物に表現された思想または感情を AI を媒介して享受することを目的としています。AI 学習は AI の生成のみのために行われる行為です。AI の生成が著作権を侵すことから、AI の学習は著作権者に許可を得なければならないと思います。
(2)AI と著作権の関係に関する従来の整理
3.生成 AI の技術的な背景について
(1)生成 AI について
(2)生成 AI に関する新たな技術
(3)AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
4.関係者からの様々な懸念の声について
5.各論点について
(1)学習・開発段階:
“作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり”と言われますが、作風や画風は著作物が一番に人から捉えられる印象であり、構図や使われた色であなたが類似すると感じているのならば、著作物に表現された思想または感情にあたると思います。
“十分配慮した上でこれを行うことが求められる”と考えておられるなら、事業者が AI に著作権者が不明の拾い物の画像を学習させることを禁止するべきだと思います。拾い物には児童ポルノも含まれていると判明しています。そのまま出力されることもあり、法で規制しないと非常に危険だと感じます。
カ　（イ）：
“AI 学習により生成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる”為侵害ではないと解釈なさっていますが、著作物と類似するものが作成される可能性があるためどちらせよ破棄要求は認められるべきものだと感じました。
(2)生成・利用段階
(3) 生成物の著作物性について　イ:
AI 生成の著作物性について、生成したのは指示者ではなく AI であり、学習した作品と学習したキーワードをもとに組み立てた画像であるため、指示者が実際に手で加筆した部分以外には、指示者の著作物として認められる根拠は見つけられないと感じました。
(4)その他の論点について
6.最後に:

“本考え方に示されたAIと著作権に関する考え方については...一般社会に分かりやすい形での周知啓発に向けて積極的に取り組む”ことと同時に、国民の考え方と擦り合わせを行い、考えを変化させることに恐れず取り組んで頂きたいです。
諸外国におけるAIと著作権に関する検討状況について、XではAI生成利用者に対する非難が英語圏で特に強くみられます。諸外国が生成AIの扱いに慎重な中、AIにより技術が発展するからという抽象的なイメージを抱いて推進していくのは、国民の認識とズレており不安に感じます。生成で出力される平均的な絵柄は中韓のイラストレーターのもの、写実的なものは白人の容姿のものですし、他の主になった国がどう対応するのかを見て慎重に進めてほしいです。
このまま整備を進めると生成AI利用者と非利用者との間に大きな隔たりができたまま、利用者の肩身が狭く非難を受け続ける状態も続いてしまうと思うので、自分の学習AIだけに著作物を学習させ、他人に生成させたくない著作権者の主張なども汲み取れる、学習元の溜飲も下がる基盤に変えてから、平和に進歩してほしいと思います。

●受付番号　185001345000007588

生成 AI によって多くの作家・趣味でものづくりをされている方の生活や楽しみ等を奪う事は断じて許されません。
生成元の画像の無断使用は勿論ですが、許可があったとしても個人的に生成 AI で生み出されたものは良い印象を持てません。人が生み出したものを取ると言う行為が受け入れ難いです。

●受付番号　185001345000007589

AI には創作性がなく、著作権を与える必要はない。

●受付番号　185001345000007590

創作で趣味にしろ仕事にしろ活動している人たちを追い詰めるのはやめてほしい

●受付番号　185001345000007591

現時点で、AI 生成されたイラストで学習に使われたであろうイラストレーターの方に「この絵はあなたが描いた絵ですか」など訊かれ、その対応をしなくてはいけないという状況が散見されています。
創作物を AI に学習させる場合、学習させたい創作物を作成した製作者自身に許可を受けた物のみに限るべきだと思います。
AI 生成は便利なツールですが、便利のために数多の創作物を勝手に利用することはあってはならない事だと考えます。

●受付番号　185001345000007592

著作物を学習させる入力時点で様々なタグ付けがなされていなければ、単語によってそれに沿った内容の生成物を出力されることは困難であるはず。出力する者が既存の作品を知らなかったとしても、タグに紐づけされた作品から学習したデータから出力する場合は、作品を知ったうえで似たものを作ることと違うのでしょうか。
AI は機械であるが、学習データをどのように収集するかは人間の判断のはず。
どのようにタグをつけるかも現状人間の判断のはずです。
誰が責任を持つのでしょうか。

●受付番号　185001345000007593

AI を容認することに反対します。
理由は以下に記載します。
・AI により職を失うクリエイターが増える。
・上記によりクリエイターの人口が減り作品のクオリティも落ちる。
・そもそも、作品を生み出す人がいるから AI が機能するのであって、
作品を生み出すクリエイターがいなくなってしまえば本末転倒。
・AI によって生成された写真等で誤った情報が出回ってしまう可能性がある。(米国のトランプ氏の写真)

●受付番号　185001345000007594

私は生成 AI に反対です。
・日本はクールジャパンを謳ってイラストや漫画、アニメなどの産業を海外に売り出しています。海外で AI は反対の方向で動いており、そこに対して AI で生成した商品を売り出すことは難しく、日本のそういった産業への信頼も低下し、長い目で見て日本の産業がひとつ潰れる事になります。
・企業でイラストを募集するコンペに、生成 AI を使っている人物が AI で出力されたものを申告もせず何十件も投稿し、審査の場を荒らしています。イラストに携わるクリエイターであれば AI で制作されたイラストの見分けはある程度付きますが、一般の方には分かりにくいです。著作権などに問題のある AI 画像がコンペで選ばれた場合、企業はそれを採用してから問題が起こるリスクがあり、また真っ当にイラストを制作しているクリエイターは仕事の機会を奪われます。
・クリエイターが自らの手で制作した創作物は、その権利を守られるべきと考えています。イラストは制作者の顔でもあります。
自分の絵柄にそっくりなものを公序良俗に反する内容で生成さればら撒かれた場合、それを目にした大半の方は本人が描いたものか AI の判別はつきません。その為大本のクリエイターの信用がなくなり仕事を失う可能性もあります。
（絵本や教材などの仕事を主としているため、成人向けコンテンツでの仕事は受けていなかったのに、自分の絵柄で不適切なイラストを生成されてしまったため本来の仕事を請けられなくなるなど）

●受付番号　185001345000007595

どうにも現代の日本で起こっている危機敵状況を文化庁は理解していない様に見えます。
日本の文化を守りたいのですよね？発展させたいのですよね？
生成 AI を利用して明らかに特定のクリエイターのイラストをそのまま流用し、あたかも自分の創作物と言い張り公表する一定数の人間。それらの行為をやめてくれとクリエイターが訴えるや否や攻撃的な態度をとり（執拗な殺害予告等)、クリエイターが精神を病んでしまった挙句、筆を折ってしまうと言う現状。
これは被害例の一部です。
日本では勿論、海外でも生成 AI が非常に問題視されているのです。
生成 AI に関して今一度深く考え直して頂きたい。このままではクリエイターが努力をすればする程、搾取されるだけの日本になっていくだけに見えます。

●受付番号　185001345000007596

AI の無断学習に反対する。商業・非商業問わず、個人が製作した考えや形状、プロジェクトになんらかのツールで関与したり関係したりする場合、製作者にその旨を報告し、利用の許可を得るのは創作物以前に人とやり取りする上で当たり前のことであり、その段取りを無くし創作物を許可なく自分の思い通りに形状を変えたり実験に使うことはあってはならない。ましてや、そうして許可なく使われた創作物が個人を貶めたり悪意ある表現に使われた場合や、金銭のやり取り等をした場合など、その創作物の責任が曖昧なグレーゾーンである限り、生成 AI を使った商売を法治国家で機能させることはトラブルを加速させる一因となってしまうと思う。

●受付番号　185001345000007597

著作権のある作品を学習し。画像を生成するサービスは違法ではないのかど思う。作者の権利の侵害に当たると思うし、AI を悪用する人が多いように感じられる。生成 AI に関する法律を作るべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007598

５．各論点について

（３）生成物の著作物性について

AI 生成物に著作権が付与されることによって、AI 生成物は人間の手で生み出した作品と同等の価値を得ることとなる。しかし AI 生成物はすべての要素を他者の著作物から抜き出し繋ぎ合わせたものだ。誰でも一瞬で作ることができ他者のアイデアばかりが詰め込まれたものは、創作物と言えるだろうか。また AI 生成物に加筆・修正が加えられた場合、通常著作物性が認められるだろうが、もとより AI 生成物＝他者が生み出した創作物(著作物)からなるものに加筆・修正を加えている時点で、元となった創作物への著作権は破綻しており、創作物への冒涜となるのではないか。AI 生成物が著作物として保護されては、本来著作権で『保護』されるほど貴重で美しいはずである『創作物』の価値が揺らいでしまうと考えられる。誰でも生成 AI を使うことができる今日、具体的な制限を設けなければ、世の中は AI 生成物にまみれ人類の創作文化は衰退していく一方だろう。

よって AI 生成物は、いかなる場合においても著作権によって守られるべきではないと考える。

●受付番号　185001345000007599

30 条の 4 の撤廃を希望します。
無断学習を一切禁止してください。
学習データセット内には児童ポルノ等の所持するだけで犯罪になる物も含まれており生成 AI はデータ圧縮という形で内部に保存しそのデータを複製できる為現在流通している生成 AI はダウンロードした時点で違法の可能性がある。
ディープフェイクによる真偽の確認が困難かつ大規模災害の時のデマ等による混乱、特定個人の尊厳を傷つける犯罪行為が容易になる等の懸念、実際の被害をちゃんと見てください。
追加学習にて特定個人のクリエイターに寄せて生成物を出力しそのクリエイターになりすまして名誉毀損を行っているユーザーが多く見受けられる。
また学習段階から出力まで著作人格権に抵触し違法という議論が必要。個人的にはアウトであると考える。
生成物に著作権付与は認められません。理由は人の意思が介入しておらず創作物としても他人の表現を使っているから、またプロンプト等のコード類にも同じく創作性は無く、類似した言葉等を使用して行う命令作業の為著作権は一切認められません。生成 AI 使用者は創作者では無く依頼人、クライアント等と同等かそれ以下の立ち場です。

●受付番号　185001345000007600

享受目的という言葉の定義が狭いように感じます
例えばイラスト分野では、作者 A と作者 A が創作したキャラクターX が存在したとして、作者 A の絵柄でキャラクターX を既存の著作物と同じ構図で生み出した場合は適用されるとして、それだけでは保護が不十分であると考えます。
キャラクターX の出力はソフト側で対策されていることがありますが
作者 A の絵柄の出力となると非享受目的である、創作物ではないという意見が上がります。
しかしいち消費者としては作者 A の絵柄であるから購入するということがあり既存作者のプロンプトを用いたと思われるものが市場に現れた場合不当な競争をおこすものであると考えるほか、生成 AI の不安定な出力を作者名をプロンプトに入力することで出力結果の安定を図る行為がありますが、ここまで作者をデータとして活用しているにもかかわらず非享受目的というのは納得できるものではありません。
無論絵柄を著作権で保護となると人間の作家で似てしまった場合の問題があるのですが、今まで人間がメインであったから保たれていたバランスであり、生成 AI に関してはこの限りではないと考えます。

●受付番号　185001345000007601

技術や能力を必要とするクリエイターをもっと大事にすべきだと思う。クリエイターの技術を盗むために利用するようなことがあってはならない。
生成 AI はクリエイターを大切するための技術というよりも。クリエイターを踏みにじる技術という印象の方が強い。使い方にもよるが、生成 AI の利用にはより慎重になるべきだと思う。
政府が介入することによってクリエイターやクリエイティブ産業に悪影響を与えてしまうように感じる。まずは、そのような印象を払拭してほしい。生成 AI を活用するとしたらその後の話で、現段階ではそこまで到達できていない。
クリエイターを守る仕組み、地盤作りをしないことには話にならない。
よって生成 AI には反対である。

●受付番号　185001345000007602

生成 AI 使ってる人の中にはイラスト料金踏み倒して、それを学習させたりしてる人がいるので著作権は与えないでほしい。AI で作ってるんだから著作権で守る必要性がない

●受付番号　185001345000007603

拙い文章ではございますが、何卒よろしくお願いします。
まず結論から申し上げますと、AI を用いて生成されたものに関しまして
厳重にそれ以外の芸術作品と分けて考えてほしいというのが意見です。
イラストというのは参考にする資料は数あれど、
最終的には自分の手で作りあげます。
一方で生成 AI は歴代の情報をまとめて、出力されます。
この「歴代の情報をまとめて」というのがポイントで
今までになかったもの、誰も想像できないようなものを生み出す力は
生成 AI には難しいのではないかと思います。
生成 AI が普及されることによって、柔軟な表現方法がなくなってしまうと私は懸念しております。
流行りのイラストレーターのイラストを学習しても似たようなものができるばかりでレベルは上がりませんし、イラストレーターさんも自分独自の表現を模倣されて人権侵害まで発展するかもしれません。
つきましては、生成 AI の利用については厳しく取り締まり、禁止もしくは生成 AI と明記しなかった作品の作成者に対して、厳しい罰を与えるように対応してほしいです。

●受付番号　185001345000007604

以下の理由からAIの無断学習に反対します。
●訴訟リスク
東京オリンピックのロゴ盗作問題のように、海外からケチがつき話題になれば事実がどうあれ多大な損害が生じます。
ましてや現状のデータセットには任天堂やディズニーのデータも入っており、訴訟リスクも高いです。
既存の写真・イラストを含んだデータセットを使用しAI生成を行う以上、同じようなことが起こりうると考えられます。
クールジャパンと銘打って商売をしている国としてはリスクが高すぎます。
●権利者の利益を侵害・人権侵害
すでに既存の作品の作者の癖を模倣し、類似商品を悪意をもって販売している事業者が存在しています。
また、「類似商品である」と注意喚起をする権利者に対し嫌がらせを行う事例も発生しています。
作り手が減れば文化は先細っていきます。
目先の利益や企業の経費削減を優先させて最後に残るのは何なのか、創作の現場にいる方の意見を優先し、ぜひ再考いただきたいです。

●受付番号　185001345000007605

現在の素案のままだと、元々の作品を生み出したクリエイターとその作品を守ることができないと思います。AI の生成物を悪用した人間の逃げ道があります。AI の生成物を悪用した側が少人数でも、労力を少ない状態でクリエイターとその作品を傷つけてしまいます。それによってクリエイターが製作をやめてしまうこともあるでしょうし、クリエイターが守られていると思えない状態では次世代のクリエイターも日本の文化も育ちません。モラルなきわずかな人間の手で多くの人々と作品が傷つけられています。まず AI の生成物とそれを生成させた AI、それを行った人間への規制を厳しく行ってください。AI の可能性を探るより先に、どうか今苦しめられているクリエイターを確実に守ってください。

●受付番号　185001345000007606

○意見対象箇所
「5. 各論点について」→（1）学習・開発段階→イ 「情報解析の用に供する場合」と享受目的が併存する場合について→(ア)「情報解析の用に供する場合」の位置づけについて
○意見
「生成 AI の学習のための情報解析」を、法第 30 の 4「次に掲げる場合その他の当該著作物に表現された思想又は感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合（以下、非享受目的)」と定義しているが、そもそも生成 AI は AI の利用者が享受を目的として利用することを想定して作られているため、「生成 AI の学習のための情報解析」は「非享受目的」ではないと考える。よって、著作権の権利制限を適用するべきではないのではないか。
○意見対象箇所
「5. 各論点について」→（1）学習・開発段階→エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について→(イ)アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
○意見
　生成 AI による絵柄や画風の盗用が簡単に行えるようになった一方で、既存の著作憲法の枠組みではそうした悪質行為に対抗できないことが素案でも明らかとなった。誰が見ても自分の作風を模倣したとわかる AI 作品を商用利用された場合、自分の利益が不当に侵害されることは明らかであり、そうした行為を取り締まることのできるような立法の必要性についても明記してほしい。

●受付番号　185001345000007607

クリエイターとしての立場から、4.関係者からの様々な懸念の声について、またそれにかかる 5.各論点についてに関して、以下のような意見を提出いたします。
権利者の懸念、１に関して。
SNS 上等の、クリエイターの作品が掲出され、またクリエイターとの会話が生じる状況下において、過去に「(AI) の餌の提供ありがとう」というコメントがなされた事例が確認されています。単純な学習自体は著作権法上においては問題となりえないとしても、こうした発言はクリエイターに対しての攻撃的な意思の表明、または著作物にかかる権利の軽視があると見ることができます。
これに対し、クリエイターの権利保護、およびトラブルの回避を目的として、AI 利用にかかる責任の明確化や、その罰則等を明文化した、親告罪の新設が必要ではないかと考えます。
同項、２に関して。
例えば成人向けコンテンツにおいて、イラストの生成に AI を用いた状態で、主となるコンテンツはイラスト以外にあるものとして、有償販売が行われている事例が確認されています。
有償販売は『享受する、またはさせることを目的とする』利用に該当すると考えられますが、クローラによる無差別の収集・学習により権利者が特定困難となることで、学習段階での意図に関わらず、追及が困難となっていると考えられます。また、これを応用することで、明らかに特定クリエイターの作品を主として学習し、その著作物で表現されるものを模倣しているにも関わらず、他の複数クリエイターの作品を補助的に学習させることで、権利関係を曖昧にさせる方法で追及を逃れる利用者が生じることが懸念されます。
これに対し、学習元の明確化や、学習データのライセンス参照等を行うことで、特定クリエイターの作品の模倣を予防し、また悪意をもって権利参照を回避する行為を抑止しうるのではないかと考えます。
開発者、提供者の懸念に関して。
前述の通り、すでに悪意ある利用者や、それに迎合するシステムを開発・提供するものが存在することは疑いようのない事実であり、これは既存の創作物にかかる侵害問題と同様、クリエイターの軽視や、利益追求のための権利軽視に端を発するものであると考えられます。こうした実態に際して、すでに良識ある開発・提供者が対策を取っていることは理解できますが、善性に頼った法整備には限度があるものと考えられます。
これに対しては、生成システム内に前述のような参照構造を設け、権利者からの申し立てに対する応答性を高めると共に、虚偽の権利者を記載するなどの回避行為に際しては利用者の責に帰するものとして扱うよう、ガイドラインの策定や法整備を行うことで、業界の

萎縮を予防し、また文化振興を阻害しないよう、建設的な利用が可能であると考えられます。
また、いわゆる生成 AI 以外の AI 利用においても、参照元の明確化やその利用意図の明文化により、対象となるものの同意プロセスを経てデータを利用することで、意図しない形での学習データへの利用を回避し、また提供者のリスク低減に寄与すると考えられます。
この手法は現時点でも一部使用されていますが、権利者が申し立てを行うことで、当該部分に限定してこれを参照し、また削除等を要請できるよう紐づけを行う考えです。
一方で、この手法は現在よりもセキュリティ侵犯による情報漏洩時のリスクを大きく増大させるものであり、事業者等の負担となることから、運用には慎重を期すべきであるとも考えます。
これは実務に当たるものとの意見交換等を踏まえた整備が必要であり、この募集に際してはその範囲を逸脱するものであると考えられるため、これ以上の言及は控えます。
総括して、全体的に権利等の運用実態に即し、また十分に検討がなされたものであると考えますが、対象者、すなわち権利を有する著作者となる側の数が膨大となり、また慣例的運用では対処が難しい事案が多く生じていることから、現状の親告罪という体裁はある程度維持したまま、より踏み込んだ法整備、法解釈における著作権者側の重視、安全な利用のためのガイドライン策定が求められる状況にあると考えます。

●受付番号　185001345000007608

まず結論から示すと、AI 生成物に著作権を与えるべきではないと考えております。そして、無断での AI 学習を合法にするべきではないとも思います。以下これに基づいて項目ごとに意見を示します。

１．はじめに

特になし

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

この項目で示されている著作権法からすると、AI 生成物はアの要項２、３に該当すると考えます。そして AI 生成物は飽くまで AI によって出力されたものであり使用者が行っているのはデータの収集と AI の操作に留まっていることから、要項１にも当てはまるとも考えられます。

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理

アで示された類型には AI 生成による不利益が３種の層に分類されていますが、問題のないものと軽微な不利益のもの、むしろ利益があるものの３種しかなく、大幅な不利益を産むものの想定がされていないように思います。これらは著作権者が獲得しうる利益を損害するだけでなく、生成物の反乱や意図しない学習による市場の価値や信頼の低下に繋がります。

３．生成 AI の技術的な背景について

（１）（２）（３）特になし

４．関係者からの様々な懸念の声について

特になし

５．各論点について

（１）学習・開発段階

学習については既に著作権の切れたものや生成 AI の研究のための使用について同意の取れたものだけ利用する、ということでも十分だと思います。著作物をクリエイターの同意なく学習可能にするのではなく、クリーンな学習素材を選ばせる必要があると思います。AI 利用者及び開発者の著作権侵害の懸念も払拭できると思います。そもそも著作権者の利益を害さない、に関しては認識が非常に甘く、生成 AI があること自体が市場を荒らしている現状にもっと目を向けていただきたいです。創作的表現が感じられるかという個人の裁量ではなく、著作物が許可なく学習目的に使用されているか、個人の利益のために AI 生成物を使用しているかという事実で判断するべきだと考えます。そして、売買のために生成されたものは他者の著作物を利用し不当な利益であると考え、不正競争防止法にも抵触する可能性も出てきます。それとインターネット上のウェブサイトによるデータの掲載は AI 生成の学習を目的として掲載しているものでもなければ情報解析目的でもない

上、閲覧できるものは自由に複製できるという暴論にも聞こえます。API を利用したウェブサイト全てがそれを許可しているわけではないからです。
（２）生成・利用段階
そもそも著作物を複製している時点で違法です。さらにそれに基づいて
（３）生成物の著作物性について
　生成 AI に対する指示が表現に至らないアイデアにとどまるような場合、と書いてありますが、最初に述べた通り AI 利用者が生成物に対して行ったアクションはデータの収集と指示(ものによっては指示のみでしょうが)のみであり、そこに AI 利用者の創造性やアイデア、創作性は一切存在しません。作風やアイデアは著作権を持たないのに指示が著作権を持つのは矛盾していると思います。
（４）その他の論点について
　著作権法で保護される著作権者等の利益が通常害されるものではないためという前提が間違っています。
６．最後に
特になし
日本が人間の文化的な歴史を守りたいのであれば AI 生成を促すのではなく、人間が生成したものと、AI が生成したものは法によって明確に差別化されるべきです。データ利用の開示、金銭を目的としない生成など、やましい目的でなければできると思います。せめて AI 生成物に著作権を与えるのだけは、全く利益がありません。AI 生成物によるメリットも存在しますが、クリエイターを保護する
アメリカを初めとする先進国諸国では AI 生成物を著作権侵害として認める判例も出ています。
日本がこれ以上文化に対する認識の甘さを露呈させないことを切に祈っております。

●受付番号　185001345000007609

他人の著作物を作者の同意を得ずに無断で AI に学習させ出力したのならば、たとえ無断使用された著作物の要素が目に見えて分かるように出力されていなかったとしても、他者の著作物を盗んで勝手に作品に使用したことに変わりはない。
AI に学習させる作品は必ず著作者の許諾を得た作品のみにさせるべきである。

●受付番号　185001345000007610

長期的に見た時に、生成 AI の存在によって筆を折るクリエイターが居ないような法整備を期待しています。

●受付番号　185001345000007611

AI そのものに罪は無くても、使う人間に罪がある限り何かしらの制限を設けなければこの先クリエイター達の被害が増えるばかりです。
無断学習に対して厳罰を設けなければ侵害は決して無くなりません。
AI どうこう以前に、他人が自由に使ってもいいと言っていない物を勝手に使う事はおかしいと思いませんか？
なので著作物の無断利用は厳罰に処すべきです。

●受付番号　185001345000007612

生成 AI はクリエイターの権利を侵害しています。規制してください。

●受付番号　185001345000007613

現状では AI をそのまま利用するということは到底認められません。
まず第一に、学習元への還元がないというのはどういうことでしょうか。
一次作成者はただの道具なのでしょうか。
学習の為なら、作品を作り出したその努力は無に帰すのでしょうか。
第二に、もし、著作権に触れるものが作成されたとしても、AI 利用者のみが罪を負い、学習データ等を持つ開発会社が責任を追わないというのはおかしいのではないでしょうか。
AI 利用者、開発会社双方が責任を持つべきです。
第三に、漫画家の方が自分の作品を歪められたと自死した痛ましい事件がありました。
この事例は大企業とクリエイターとの問題ですが、AI 界隈では素人がプロを偽り、プロが活動休止に追い込まれている事例が跡を絶ちません。こちらでも痛ましい事件が起こっております。
今の AI 事業を認めるならば、活動・命ともにこれ以上の犠牲者が出ることは確実です。
厳格なる法の規制を求めます。

●受付番号　185001345000007614

日本国民に与えられている人権、自由に表現する権利の侵害
国民に与えられている権利を機械に与えて仕事を奪うのであれば報道関係、出版社関係に大きく損害が出る可能性がある。
海外でも日本のメディアを目的とし、観光する外国人がいるがすべてAIに搾取されるのであれば、今後の海外との関係性にも大きくヒビが入るのではないだろうか。
また、人間から得た情報によって学習途中において倫理性の欠けた表現がされた場合、海外から大きく批判され、今度はAIに著作権を取り上げようという動きになる可能性がある。

●受付番号　185001345000007615

AI 学習に関する法律としては 30 条の 4 が挙げられますが、今後の AI(生成 AI ではない領域でも)において非常に有用で、今後の国際社会での競争力を高めるために必須な法律だと思うので、現状維持で問題ないと思います。また、仮に AI 学習がやりづらくなるように改正したとしても、日本では違法なコンテンツの AI 学習は他国で行われ、学習成果である AI モデルはインターネットを通じて日本に入ってきてしまうため、既存の著作権者の利益を守るために行うであろう規制の意味が失われると考えられます。その点からも、30 条の 4 を改正すべきでないと思います。
また、私はイラストレーターおよびゲーム制作者として活動しており、かつプログラミングや翻訳、イラストの案出しとして生成 AI の生成結果を 2022 年 10 月から活用しています。活用した結果、プログラミングにかかる時間の削減や、イラストのクオリティ上昇、およびイラスト制作にかかる時間の削減といった形でメリットを実感できています。これにより、以前よりも多くの作品を発表することができたり、以前は挑戦してこなかった表現（高度なプログラミング技術が必要になるゲームシステムや自分自身の画力では描くことができなかった題材など）にも積極的に挑戦することができています。このように、生成 AI はうまく活用することができればクリエイターにとっても大きな利益があり、また生成 AI があるからこそ新しく生まれる表現（著作物）があると確信してます。
生成物の著作物性については、生成 AI 利用者の意図がしっかりと生成物に反映されていれば、著作物として扱ってもいいと考えています。画像生成 AI の text to image の場合において、例えば描かれるキャラクターの詳細な容姿、ポーズ、置かれている場所などの情報をプロンプトとして入力していれば、そのプロンプトを入力した人間でしか生み出すことができなかったと考えられるため、著作物であると思います。しかし逆に、簡単な情報のみ（ポーズのみの指定や一般的な容姿の指定のみなど）で生み出された画像については、制作者の意図が十分に込められていないことから、著作物ではないと思います。また text to image による画像生成だけでなく、image to image の方法や生成画像を加筆修正するものなど、さまざまな方法によって画像を生成することができますが、この場合においても、制作者の意図が十分に作品に反映されているかどうかを基準として著作物かどうかを判断するのが妥当だと考えています。
また、現状では「生成 AI を活用して作品をつくっている」と表明することが憚られるほど、生成 AI をよく思っていない人々からのバッシングが多く見受けられます。そのため私自身も表明せず、裏で活用しています。バッシングの中には「画像生成 AI はコラージュだ」とか「検索して組み合わせているだけだ」などという、拡散モデルの AI に対する完全に間違った意見をよく目にします。中には「盗作だ」という名誉棄損になりかねないものも多くあります。このような現状では、上に書いたような、AI を活用した新しい表現が生まれにくくなってしまい、文化の発展を阻害されてしまうのではないかと憂いていま

す。そのため、この状況を打破するために、今一度正しい情報を政府が啓蒙する必要があると考えています。

●受付番号　185001345000007616

私は趣味で創作活動をしている一人です。
AI を使う方々のせいで、自分で創作活動を続けている皆様の足枷になってしまっています。
ウォルト・ディズニーや手塚治虫、[redacted]、[redacted]達が手がけてきた創作や物語が AI によって滅茶苦茶にされるのは嫌です。
ネットにあるから使っていいなんてそんなこともありません。嫌ならそっちが考えればいい、と言っていた AI 利用者がいましたが、何故創作者側が何も生み出せない人達に対して考えなければならないのか？
愛着、夢、希望、それらをただ潰すのが文化庁の考える創作であるなら奪われた方々に対して絶対的な保証をお願いしたいです。
出来ないのなら、AI を扱い他人の創作物を潰す方々に対する規制を強めて欲しいです。
お願いします、私たちの生み出したもの達を守ってください。
そして AI を扱う方々に著作権などを与えないでください。

●受付番号　185001345000007617

生成 AI の利用・学習には厳しく制限をつけ、著作者の権利を手厚く保護してください。
現状の著作物の AI 利用・学習には制限が足りず、著作権の侵害が野放しになっており、クリエイターの権利が何ら保護されていません。
生成 AI を野放しにして利用に制限をつけない状態は、フェイク動画や画像、海賊版の氾濫に繋がります。

●受付番号　185001345000007618

悪用する人間がきちんと罰を受け、被害者が泣き寝入りせずに済むような法整備をして欲しいです。

●受付番号　185001345000007619

５．各論点について
（１）学習・開発段階
生成 AI の学習では 60 億万枚以上のデータを利用していると生成 AI の先駆けである midjourney は述べていますが、実際そのデータに使用されているものは明かされておらず不透明なまま学習が行われています。その中には著作権が切れていない作品や使用が許可されていない作品、児童ポルノが含まれている可能性があります。データとして使用するに値しない、使用できないデータを学習した生成 AI は、法律的に考えても完全にクリーンであるとは言い切れないと思います。
実際に、描いたイラストを元に生成 AI がブラッシュアップしたイラストを表示する「お手本機能」をリリースしたアイビスペイント X では、元のイラストのブラッシュアップではなく有名キャラクターである「ソニック」に酷似したイラストが生成されていました。ブラッシュアップされる前のイラストは「ソニック」と全く関係がないイラストであったにも関わらず、赤と青が使われているというだけで「ソニック」が生成されるということは、データセットに著作物であるはずの「ソニック」が存在しているという証明になり得ます。
データセットに著作物が含まれていないということは、今のデータセットが不透明な状態では開発者以外誰にも証明できません。著作権を侵害していないと外部の人間が見ても分かるようデータセットは全て公開するべきだと思います。
５．各論点について
（２）生成・利用段階
現在 SNS 上では生成 AI によって生成されたイラストが盛んに投稿されていますが、それを投稿している人たちの中にはモラルが欠けた人が散見され、またその人たちは生成 AI を利用してクリエイターに対して誹謗中傷、侮辱を行なっています。
具体的には、生成 AI について反対している個人のクリエイターを標的に、その人のイラストを無断で生成 AI のデータモデルとして使用し、嫌がらせの目的でその人の絵柄を故意的に模倣したイラストを投稿しています。また、無断で特定のクリエイターの絵柄を模倣し、創作におけるガイドラインを違反した作品を作成・投稿した結果、絵柄を模倣されたクリエイターが、実際には描いていないにも関わらずガイドラインを違反したという濡れ衣を被せられたという事態も起こっています。
絵柄の模倣により濡れ衣を被せられたという被害もありますが、ガイドラインを遵守して創作していた人たちにも迷惑をかけていると思います。
また、上記のような事態は有名もしくはプロのクリエイターだけではなく、趣味にとどまっている人にも被害が出ています。この事実を無視して生成 AI を推進すれば、有名無名

に関わらず大勢のクリエイターが被害を被り、少なからずクリエイターが数を減らすことになると思います。

５．各論点について

（４）その他の論点について

生成 AI のデータセットに無断で使用される現状を改善するために、学習への使用可否をクリエイター自身が決められるようにしていただきたいです。もしそれが難しいのであれば、確実に生成 AI に使用していいと明言しているデータのみ使い、不明なものについては使用しないという規則、違反したものについては罰則を設けていただきたいです。また、生成 AI への使用可否について不明もしくは拒否しているにも関わらず、故意的にその人の作品を使用した場合にも罰則が必要であると思います。

ディープフェイクや著作権侵害の作品を生み出す可能性のあるツールを使用するにあたって一番重要なのは、使用者のモラルだと思います。万人が制限なしで使用できるようになると、ディープフェイクや著作権侵害が横行しかねません。それによる被害は一部だけにとどまらず、様々なジャンルのクリエイターや消費者に飛び火する可能性があります。

それを防ぐために、生成 AI を使用する際には規制、もしくは生成 AI の使用自体を免許制にするべきだと思います。

生成 AI の技術はクリエイターを攻撃するため、クリエイターの活動を阻害するものではなく、クリエイターの補助になり得るツールにするべきです。今のままでは到底安心して使えませんし、そもそも使用したいとも思えない全く信頼できない危険なツールだと思います。海外でも生成 AI が危険視されている中、逆行するように生成 AI の推進をしても待っているのは文化の衰退だけです。

生成 AI が正しく利用され正しく文化の発展に寄与できるように、規則や罰則をきちんと設けてください。

●受付番号　185001345000007620

現状、AI は悪意ある使い方をしている人の方が自分は多く目にする。
酷い嫌がらせに使われたり、盗作に近いと感じられるような生成品が出たり、モラルのない使用者が多すぎる。もっと既存のアーティストや表現者、デザイナーなどをきちんと尊重し、守るための法を作らないといけないと思う。AI も案も良いイメージがまるで持てない。日本の芸術分野を衰退させてしまう前に、改めてほしい。

●受付番号　185001345000007621

【３．生成 AI の技術的な背景について（１）生成 AI について】に対する意見
現在主流の生成型人工知能には深層ニューラルネットワークと呼ばれる技術が使われています。
深層ニューラルネットワークは訓練データを直接複製するのではなく、関数の形で訓練データの集合を近似する仕組みを前提にしています。
近似の誤差を小さくすれば複製と同じです。
十分にモデルのパラメータを更新するとモデルの表現する関数の形が複製状態になります。
結果、元の訓練データの複製が出力されることになります。
元の複製が出力されなくても、生成されたデータは訓練データの中間的な合成データです。
訓練データに類似したデータを生成させようとする生成型の深層ニューラルネットワークは、情報解析の結果に複製性がある技術と言えます。
複製データが出力されることは技術的な必然なので、インターネット上の情報を無差別に訓練データとして利用すること自体が間違いです。
また、直接出力されただけの生成物の著作物性は、感情も思想もない計算された確率分布に従ったものにすぎないので、ツールの利用者の労力に関わらず認めることは出来ないでしょう。
生成型人工知能には以下のような問題があると考えています。
・活用が訓練データの市場と競合している。
・手段先行の技術でありニーズが考慮されておらず有益な活用方・実用性に疑問がある。
・データの利用に倫理的な懸念があり、解消される見込みが不明。悪用の事例が発生している。
これらの理由により政府が積極的に活用を推進するものではありません。
以下のように提案します。
・生成型人工知能のモデル開発の目的で著作物などを利用されることを著作者などが拒否できるような仕組みを作る。
・生成型人工知能の開発支援は目的の不明な手段先行のものに対してではなく、明確な市場のニーズに沿った利用目的を設定したものに対して行う。
・生成型人工知能技術のもつ倫理的な懸念が払しょくされるまで生成型人工知能の活用に対する補助金などの支援をやめる。
手段が先行して用途が不明な技術である以上、強引に活用を推進しても得られる利益より失う利益が大きいと考えられます。

直接一次制作を行う作者ではなく、AI 企業、AI を活用したい消費者側の立場の人などの一部の少数派のバイアスがかかった意見になっているのではないでしょうか？
生成 AI が訓練データに依存した技術であることを踏まえ、ガイドラインは事業者や利用者に寄り添ったものではなく訓練データに利用される人間の制作者に寄り添ったものにするべきです。
多くの絵描きさん達が SNS 上で AI 学習禁止を表明しています。
SNS などでは悪意のある生成 AI 利用者がおり著作物が守られる環境と感じられません。
合法という掛け声のもとに、生成 AI モデルの訓練に制作した作品が利用され、類似した絵柄が出力されています。
精神的に追い込まれ SNS 上の活動を休止している人も現れています。
問題を訴えている人たちには若い駆け出しのイラストレーターや志望者が多いです。
未来の文化の担い手達が安心して作品を制作し発表できなくなっているのです。
画像生成型人工知能の学習妨害ツールとして知られる、ナイトシェードのダウンロード数が 5 日間で 25 万を超えたとシカゴ大学のツール制作者が回答しています。
https://venturebeat.com/ai/ai-poisoning-tool-nightshade-received-250000-downloads-in-5-days-beyond-anything-we-imagined/
これは作品が画像生成 AI の開発に利用されることに対して、世界中の作者たちが非常に強い反発を抱いている事実を可視化しています。
現在の生成 AI の訓練用データの利用の仕方が、作品を制作する作り手には盗用的・搾取的と感じられていることを理解してください。
利用されたくない制作者は作品の発表の場所が狭められています。
この問題は従来の制作者が生成 AI を利用すれば解決するという問題ではないのです。
人の作った作品を利用しなければ生成型人工知能は開発出来ません。
著作物の利用が人工知能開発者・利用者にとって都合の良すぎる法やガイドラインは、作品を制作する人間にとって意欲を失わせるものだと感じます。
このことは結果的に人間の創作も人工知能技術の発展も阻害することになり、文化の発展に寄与しないのだと私は考えています。
文化の担い手は人間です、人工知能ではありません。産業の発展のために人や文化を犠牲にするような技術の利用に反対します。

●受付番号　185001345000007622

漫画家・イラストレーターとして活動しています。
AI に関してよく「学習」という言葉が都合よく使われていますが、AI のデータ学習は人間の学習とは全く別のものだと考えます。
AI（人工知能）などとあたかも人格ある存在のように呼称することでこの問題が起きているのでしょうが、結局のところ「画像圧縮再製造機」という道具に盗用されたデータを突っ込んでいるだけの話ではないでしょうか？
現状どのようなサービスでも顧客のデータを利用する前に同意を得ます。
「素材に同意の得られたデータを用いた AI ツールならば問題は起こらない」
なぜこれだけの単純な話から目を逸らすのか疑問でなりません。

●受付番号　185001345000007623

AI の加速は止められないとは思う。だからこそ規制が必要です。
なぜなら手で産み出せる人間を、文化を、きっと日本は失うことになるでしょう。
他の国に比べても日本はとても手先が器用で、漫画やアニメの文化の最先端を走っているし、人間の力で生み出す技術を守っていかなければなりません。
きっと数多くのクリエイターが筆を折るでしょう。
著作権はクリエイターを守る法律です。
いま一度目先の利益などに捉われず、多角的に未来を見据えてほしいです。

●受付番号　185001345000007624

４．関係者からの様々な懸念の声について
＜AI 利用者の懸念＞の立場で意見を述べます。
この一年程の間、SNS 上で AI を利用した個人、企業、教育機関、自治体などを集団で非難する行為が相次いでおり、多くのサービス、企画、発言などが撤回に追いやられています。もちろん中には非難に値する AI を悪用したケースも見られますが、一方で昨年文化庁から出されたセミナー資料に沿った使い方をしたものであっても、生成 AI を使用したというだけで非難されているケースも多く見られ、改めてガイドラインを示すとともに、その周知をお願い致します。

●受付番号　185001345000007625

例えば、児童向けコンテンツとして制作された個人の手作業による創作イラスト(以下 A と呼称)を素材にして、A と著しく類似した絵柄で極度な性的要素を含んだ創作イラストを出力することが生成 AI には可能です。この場合、生成 AI によって出力された創作イラスト(以下 B と呼称)は、A のイメージを著しく毀損する可能性が大きく、A の著作者は勿論、A を児童向けコンテンツとして受容していた第三者にも悪影響が及ぶ事も考えられます。
仮に生成 AI の学習元を制限しないまま生成 AI による創作物に著作権を付与して一創作物として同等に扱うという事は、従来手作業で制作していた創作者、ならびにその創作物を危険に晒す行為に他ならず、創作文化の衰退を招くものと考えます。
日本の漫画、アニメというポップカルチャーは世界に輸出できる文化として経済的にも大きく寄与するものであり、その大元である創作者の心理的な安全を守ることは文化の保持、発展に不可欠です。
この度の生成 AI と著作権に関しては文化に寄与している、そしてこれから寄与していく創作者の心理的な安全、そして彼らの作家性を著しく奪い、文化の衰退を招くことは必定です。
生成 AI の学習許諾は必須とし、その範囲も厳正に取り締まることが欠かせません。
生成 AI はあくまで使用者が著作権を有する自創作物や、著作権フリーのパブリック素材をもとにした、個人の手作業による制作の補助として用いられるのが最も健康的と考えました。

●受付番号　185001345000007626

どの著作物を AI として利用するにしても、製作したひとの権利を、製作された表現物の侵害をしないことが必要です。それが確約されていないまま AI について進めないでください

●受付番号　185001345000007627

「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としない行為については、著作物の表現の価値を享受して自己の知的又は精神的欲求を満たすという効用を得ようとする者からの対価回収の機会を損なうものではなく、著作権法が保護しようとしている著作権者の利益を通常害するものではないと考えられます。」との記載があります。この文章を参照すると、文化庁側は
・生成 AI による画像データの学習・生成については「思想又は感情の享受を目的としない行為」である
・生成 AI を用いず自らの手で作品を創造するクリエイター達の利益はこの案によって損なわれない
と解釈していると認識しました。
しかし、現状生成 AI で生成された画像はイラスト投稿サイトや SNS で利用されており、この殆どがフェイクを含む情報を他者に与えて反応を得るためのものとして一般では認識されています。これは「思想又は感情の享受を目的とする行為」にも繋がるものだと言えるのではないでしょうか。また、特定のイラストレーターの画像のみを集中して学習することで実際の著作物に近しい画像を生成し、それを生成 AI の使用者が学習元の著作者の許可なしに拡散・販売する等のトラブルが実際に発生していますが、それらをもってしても『これによってクリエイターの利益は損なわれていない』と断言するのはあまりに杜撰な認識です。
その他の文章を読み込んでも生成 AI 利用者の意見ばかりに偏っているような内容が多数見受けられ、これが公正に文化を守るべき庁の意見であるのかと不安を禁じ得ません。サブカルチャーを初めとした文化を国際的な強みとしているのに、何故国内ではそれらのクリエイターの首を絞めてばかりいるのでしょうか。案の再考を強く強く願います。

●受付番号　185001345000007628

創作物の著作権は、創作者にあり、AI に学習させることで今後の新しい創作物に影響を及ぼす可能性が大いにあり得ることから素案の見直しを希望します
ネットにあげることで発表や趣味活動してる人も多くいるなかでこの素案はさまざまな作品の著作権侵害に値すると思います

●受付番号　185001345000007629

AI の無断学習に断固反対します

●受付番号　185001345000007630

創作文化を売るような内容であると感じました。
AI を悪意を持って使用する人間だけが得をし、手ずから創作をする人間の筆を折ることを勧めるような内容です。
どうか今一度考え直してください。日本から創作者がいなくなります。

●受付番号　185001345000007631

【その他の論点】P35
（３）イ　生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
１ 指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
２ 生成の試行回数
３ 複数の生成物からの選択
２について、生成物を確認しながら試行を繰り返した程度では「著作物性が認められる」とは考えにくいと思います。
技術であり手間・コストがかかるものではあるとは思いますが、あくまで大量の元となるデータから取捨選択・生成しているだけに過ぎないためです。
生成ＡＩの推進により、最終的に行きつくところはどこなのでしょうか？
過去に存在したものを選択し、切り貼りしただけでは新しいものは生まれません。
それならば、若いクリエイター（AI クリエイターではなく、０から１を生み出す創作者）を支援した方がよほど未来があるのではないでしょうか。
ディープフェイクや生成 AI による児童ポルノなどの問題もあります。
やはり技術ではなく人間を守るべきかと思います。
より慎重になってほしいです。正直推進もすべきではないと思っています。

●受付番号　185001345000007632

「著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする」
というのが大事な部分と認識しています。
Al が思想的なものを享受しない目的で学習するなら、著作者の権利を侵害しないと書いてますか？本当に？
Al が思想のある文を学習し、表現すれば、それそもう思想を享受して、著作者の思想を知りたいと思う人を引き付け……著作社の権利を侵害していませんか？利益を減らしませんか？
それは十分著作権法侵害ではないでしょうか。
後、海賊版をのせてるサイトから学習するかもしれないが、それが海賊版かは判断できない……というの、全部に責任もてとは思いませんが、明らかに海賊版と確認次第サイトを取り締まるぐらいは目ざしてください。著作権侵害してるサイトです。

●受付番号　185001345000007633

5.各論点について(2)生成・利用段階

何度も何度も無断でAIに作品を取り込ませたことで、オリジナルとAIが作成した作品と見分けがつかなくなることがあってはならない。

AIが作成したものを自分の著作物とし、金銭が発生することがあっていいとは思えない。AIが作成したものの下地には、他のクリエイターの著作物があることを理解して欲しい。

現在において、自身の手で作品を手掛けてきたクリエイターが、AI使用者によって(行動に悪意しか感じられない)筆を追っている事実があることを知って欲しい。その為に、きちんと創作とAIから生まれた物との区別をはっきりつけて欲しい。

●受付番号　185001345000007634

著作権侵害などで今でも問題はたくさんあり、トラブルも頻発している中で無許可利用している人に有利になるような案は反対します。
一次創作、二次創作含め AI に学習させるために皆、創作しているわけではありません。

●受付番号　185001345000007635

「思想や思い、目的がない創作活動」という言葉自体が、既に自分の中で矛盾を生み出しています。創作とは常に目的を持って行われるものであって、だからこそ日本の小説、アニメ、そしてエンタメ事業は世界中で愛されるものになったはずです。

しかし、本稿での意見はそのすべての努力と知恵、自ら創作を行う者の価値を否定する判断を下しているように思われます。「たかがそんなもの」とでも言うのでしょうか。

確かに、AI によって人の仕事が楽になった部分はあるでしょう。しかし、それはあくまで「手間を減らす」ことに限ります。AI 自身が何かを生み出し始めたら、果たしてその末に、「ヒト」になるのはどちらなのでしょうか。

「創作」という言葉には、「初めて作ること」という意味も存在します。しかし、AI は「初めてのモノ」を作ることはできません。AI の文や絵は、ただ今までの創作物を参考し、それを集大成したモザイク画のようなモノです。これが許されてしまっては、今までの著作と創作の概念が混乱に陥るでしょう。

今でも X(旧 Twitter)等の SNS では、著作権違反者として原作者が居場所を失い、いわゆる AI 絵師が活発に動いています。しかも AI で制作されたもので金銭を稼ごうとするモノも、いくらでもいます。この AI 絵師には果たして「目的がない」のでしょうか。

人が行うすべての行為には目的があります。朝起きて背伸びをすることにも、お昼を食べた後必ずコーヒーを飲むことにも、夜眠る前には必ず 3 杯の水を飲むことにも、文を書くことにも、絵を描くことにも、その一つ一つの行動には目的があり、目標があります。

その行動と目標の執念による産物を、ただ「学んだ」という一言で己のモザイク画に使っても良いのでしょうか。

最後に、逆に考えてみてください。

AI は今まで人類が積み上げた歴史を参考にして、最も理想的な政策を練り上げ、それをどう実行すべきかに関して決めることもできるはずです。少しの誤差は生じるはずですが、それは人間も犯すミスであるでしょう。

では真っ先に消えるのは、あなた方、政治家と公務員なのではないでしょうか。

別に脅すつもりなどありません。我々創作者たちは、ここまで読んでくださったあなたがこのくだりで感じたであろう不愉快さと危機感を、まさに今、感じているということを知らせたかったまでです。

●受付番号　185001345000007636

生成ＡＩ及びその利用者によってイラストレーターや創作活動を趣味とする人たちの著作権や人権が脅かされるのではないかと思う。
実際にＡＩによる生成物によってイラストレーターが迷惑を被っている事案を見たことがあり、今後そういったことが増えてしまうのが不安。

●受付番号　185001345000007637

とりあえず以下の投稿をご一読いただきたい。

[redacted]

作者は私ではありませんが、生成 AI イラストに関する、職業イラストレーターや趣味でイラスト・絵画を手掛ける人達の現状に対する不安・懸念・憤り等々が的確にまとめられていると思われます。

●受付番号　185001345000007638

１．はじめに

AI を国策として推進することは反対であり、一刻も早く使用制限をかけるべきです。理由は３つ挙げます。

（１）日本文化（クールジャパン含む）全体へのイメージの悪化、信用の低下、商　業価値の低下

（２）AI 利用禁止や制限の先進国への商品展開、情報発信の禁止の懸念

（３）フェイクニュース、冤罪画像、個人のプライバシーの侵害等の増加

です。

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理

３．生成 AI の技術的な背景について

（１）生成 AI について

（２）生成 AI に関する新たな技術

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について

４．関係者からの様々な懸念の声について

５．各論点について

（１）学習・開発段階

（２）生成・利用段階

（３）生成物の著作物性について

（４）その他の論点について

６．最後に

利用に当たり一般個人の利用は以下の

（１）自動車免許並みの免許制の導入（講習とテスト、数年に一度の学習データの調査（提出））

（２）公の場での AI の生成物公開は必ず AI 生成のマーク（や生成番号）を付属の義務化

（３）公の場への違法学習データに基づく生成物公表した場合の罰則規定

（４）学習データは本人が保有する著作物や公的に認められたデータのみと限定

とし、使用制限を導入するべきだと思います。

●受付番号　185001345000007639

項目４．関係者からの様々な懸念の声について」 の
「 AI 生成物が著作物として扱われ、大量に出回ることで、新規の創作の幅が狭くなり、創作活動の委縮につながること」
「侵害物でない AI 生成物が市場に出回ることによるクリエイター等の創作活動への経済的な不利益は、どのようなものが想定されるか。」
についての意見です。
私は２０２０年から活動を始めた、いわゆる新人イラストレーターでした。
２０２２年まではイラストの仕事をもらえていましたが、
２０２３年に画像生成 AI が急速に広まったことからイラストの仕事は 0 件となりました。
現在はもうイラスト制作で生計を立てていくことはあきらめています。
私たちのような、駆け出しのイラストレーターは技術的にもイラスト制作のスピードも生成 AI にはかないません。
生成 AI が誕生する前ならば、仕事をもらいながら少しづつ技術を磨いていき、クリエイターとして大成することもできたと思いますが、今の環境では難しいと考えられます。
生成 AI が著作権を侵害しているしていないにかかわらず、ここ数年の生成 AI の台頭により、多くの新人クリエイターが私と同じように創作の道をあきらめたと思います。
今後生み出されるはずだった新しい創作の可能性の多くは、すでに失われつつあります。

●受付番号　185001345000007640

「５．各論点について」の（１）学習・開発段階の項目について
（１）学習・開発段階で自分の著作物が不正（著作権者である自分の許可のないまま）利用された場合にどんな異議申し立てあるいは対応がとれるのか、不正利用した側にはどのような不利益（あるいは罪状）があるのか　等の具体的で詳細な検討がまだ不十分だと思われます。生成 AI 技術の進歩はすさまじいものですが、それを利用する人間の思想や能力はその進歩に追いついていません。生成 AI の利用はもっと厳しい条件・法律が制定されてから慎重に推し進めていくべき事項だと思います。

●受付番号　185001345000007641

全体を通して著作者の人権を侵害している案であり、創作者として許容することは出来ない。どこまでも生成ＡＩで金儲けをしたい人達に都合の良い法案であったが、著作権の中に含まれる著作者人格権はどこへいったのか
現在我々創作者は生成ＡＩを使う人々によって自身の感情を乗せ、生み出した作品達の複製を勝手に生み出されている。一人の作家の絵を集中的に取り込み、その作家が描いたかのような絵を生み出し、「作家の〇〇さんの絵柄で出力できるＡＩ作った」などと言うものもいる。作家が絵を１万円で売っていたとして、金を使いたくない人間が生成ＡＩで作った絵を２０００円で売っている方に流れていくことも考えられる訳だが、これは作家に大きな不利益をもたらすということは容易に想像出来るだろう。私はそのような生成ＡＩ絵描きの標的にされ、筆を折った作家を見たことがある。作家が自身の作品を守る為に作品の公開をしないという選択を取った場合、新たな創作物が生まれる機会を失ったこの業界は衰退していくだろう。
生成 AI を使い、誰かの作品によく似たものを作り出すことは作家の心を傷つける要因となり、作家に不利益をもたらす。このような行為を法律で許す事は作家の創作活動の妨げとなる上、作家の人権を侵害している。
漫画などの文化が発展している日本だが、このような法案を許せば確実にこの業界は縮小し、衰退していく。このような文化を発展させてきた日本という国で、文化の発展を妨げる要因になるであろうこのような法案を通す訳にはいかない。この法案に反対している国民は多数存在していることをよくかみ締め、冷静になって欲しい。創作や文化、人々の営みに対する侮辱とも言える法案だ。

●受付番号　185001345000007642

日本が漫画アニメ大国になったのは、日本では漫画やイラストを趣味にする人が多いからです。イラストを描く人が多ければ多いほど触れる人たちの目は肥え「上手い」のラインは底上げされていきます。
SNS では多くの創作者たちがイラストや使用ソフトのノウハウ共有を盛んに行っており、自分の作品が世に認められたいと思う人もいれば、プロになりたい訳ではないが表現したい物の追求のために上手くなりたいと思う人もいて、程度の違いはあれどプロアマ問わず「どうしたら上手くなれるか？」を探求しています。
ネットで見たノウハウを試してみたり、上手い人を真似してみたり、美術解剖書を買って人体を知ろうとしたりした結果「去年と比べてうまくなった」と満足感を得ることを至上の喜びとしています。
AI で生成されたイラストは細部に歪さがあるなど発展途上な面もありますが、どれも完成された出来栄えで非情に目を引きます。しかしこれらの生成されたデータは世の創作者達が知的好奇心の探求と切磋琢磨した末に生み出した作品を無断で収集し再構築したものであり、アイディアに著作権がないとはい多くの絵を描く人たちのプライドを傷つけるでしょう。
プロ顔負けの美麗なイラストが自動で何枚も手軽に生成出来るのは遊びとしては楽しいでしょうが、作品を無断で使用された作家や作品へのリスペクトに欠け、さらに商業的な使用を目的とするならばその手軽さから作家の職を奪うことにもなるでしょう。ネット上ではすでに特定のイラストレーターの作品を集中的に学習し、イラストレーターになりすまそうとするユーザーまで出現しています。
今は作家の手によって作られた作品が溢れていますが、AI が学習したいと思う元イラストがなくなれば AI のクオリティが下がり衰退するでしょう。
クールジャパンを標榜するならば職人のようなクリエイターを大切にすべきです
AI を使用する人々には作家のような想像の土壌はなく、どういう表現をしたいというベースがありません。人が作った物を使ってキメラを作るしかなく、AI イラストを野放図にすればワンピースなどが生まれる土壌はなくなるでしょう。
新分野として魅力的なのは理解できますが、日本が誇る漫画やアニメを衰退させない為にも生身の人間が 1 から作った作品をまず尊重する取り決めをお願いします

●受付番号　185001345000007643

AI による出力に著作権をつけないでいただきたいです。
イラスト、声含む音声、音楽、その全てに著作権があり、収集され AI 出力された作品は著作権の侵害にあたります。
刑法を実現してください。

●受付番号　185001345000007644

私は業務でアニメーション製作に携わっており、個人では二次創作を行っています。
　生成 AI については世界的に利用促進がされている為、国内でも学習・研究を推進するのは良いと考えます。
　しかしながらそれらを逸脱し、著作権を侵害する行為が多発しているのが現状です。
　既に下記点を確認しております。
・アニメーションやゲーム、小説挿絵等を描き収入を得る者（以下：作家という）をの成果物を収集、AI 学習、生成した商品を Yahoo オークション、Amazon、メルカリ等で多数販売する行為。
（数が多いのか、取り締まりをされていないのか、増える傾向にあります）
・作家の成果物を収集、AI 学習、生成して作家本人の様に振る舞いファンサイトで利益を得る行為。
・作家の成果物を収集、AI 学習、生成し、作家本人が望まない成果物（卑猥・グロテスクな画像）を PIXIV 等のインターネット内画像投稿サイトに投稿する行為。
　作家側も対抗手段として意図的に学習しづらい加工を行い投稿する等の対応策を行っていますが、AI 生成側が対応すれば更なる対応策を考えるという製作作業以外の負担が増えているのが現状です。
　又、絵の分野だけで言えば作家と AI での作成にかかる時間は大きく、大量に生成されてしまう為作家本人が止められない状態でもあります。
　この様な状態になっている為、生成 AI そのものが忌避されてしまっており、
セルシス社の CripStudio※1 や Web サービスのミミック※2 で有望なサービスを提供しようとしても、作家側から多数の非難が入り、サービス提供に支障が出た経緯があります。
※1：セルシス社における画像生成 AI 搭載機能について
　https://www.clipstudio.net/ja/news/202212/02_01/
※2：ミミックベータ版についてのお知らせ（x 内）
https://twitter.com/illustmimic/status/1564558522766860288/photo/1
「作家の著作物を第 3 者に改変され、不許可で販売されている。」事が根本的な原因と考えます。以前からも「海賊版」や「贋作」と言われる物がありましたが、生成 AI はそれらより安価で容易に多く作る事が出来る為被害が大きくなっていると思われます。
　上記を踏まえ以下の 4 点を提言します。
案 1．AI 生成時、そのデータ内に生成時に使用した物を含む、または一定期間参照可能にする。また AI 生成物を公開、販売する際は本データを削除禁止にする。
（AI 生成画像に何らかのデータを埋め込み、元になったデータを参照可能にして収集に拒否している作家の絵が含まれていないかを確認出来る様にする。）

案 2. AI 生成した物が Web 画像投稿サイトなどに公開されていて権利侵害されていると思われる場合、作家側又は第 3 者からの問い合わせが可能にする。問い合わせ時は投稿サイト側は速やかに案 1 を公表する。または公開サイト側が確認し、権利侵害があった場合は非公開にする。
案 3. AI 生成物を販売時、著作権が侵害の可能性がある場合、作家または第三者からの問い合わせを可能にし、速やかに確認する。著作権侵害が確認された場合販売を停止させる。(Yahoo オークション、Amazon やメルカリ等の状況を鑑みて停止しても直ぐに再販する人が多いため、出品者側に何らかの罰則が必要と思われます。)
案 4. AI 生成物によって作家が著作権を侵害されていると判った場合、対応する為の相談窓口を創設または明示化する。(何処に問い合わせて良いか判らない人が多い為)
また 3 ヶ月毎や 6 ヶ月毎の様に一定期間ごとに件数をまとめて公表する。
(詳細を公表するのではなく、●●社に対する相談数：■■件　の様にサービス提供会社に対する著作権違反の対応促進が目的です)
以上ご検討お願いいたします。

●受付番号　185001345000007645

５．（１）エ（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
クリエイターではなく、創作物に金銭を支払う消費者側の人間の意見です。
最終的に存在する物ではなく、クリエイターの経験・努力を含めて作品に対価を支払っています。
現在、生成 AI で作成された物が生成 AI と明記されないまま、異常な量が同じ市場に出回っており、欲しい物へアクセスしづらくなっており非常に邪魔です。
生成 AI のデータセットに児童の性的虐待記録や診療記録、海賊版サイト上のデータが含まれていることに関しては
倫理的な部分から非難されるべきだとは思いますが、データセットが倫理的・権利的に問題のないもので構成されたとしても、
生成 AI 作成物が不用と感じる消費者にとっては全く関係ないことです。
生成 AI であることや生成 AI を含むものであることを明記するなどして、消費者側がはじめから排除した状態を選択できるようにしてください。
異常な量の合成宝石がその表示もされないままに宝石店のショーケースに並べられているのであっては、
安心して物を買うことができません。速やかな是正を求めます。
５．（２）エ 侵害に対する措置について
生成 AI 推進派による自殺教唆や殺人予告を受けて、生成 AI の集中学習被害を告白したクリエイターが活動を休止しました。
クリエイターが生成 AI の否定的な意見を言うと、集中学習等によるなりすまし行為・虚偽の DMCA 通報により SNS アカウントが停止されることもあり、
彼、彼女らは作品を人質に取られて自由に発言できない状況です。
日本では実在の女子選手の顔と別人の裸を AI の学習機能を使って合成した男性書類送検されており、海外では自殺者も出ていますが、
創作分野においても、成人向け作品を創作しないクリエイターの作品を AI を使って成人向け作品へと変換し、
クリエイターの著作者人格権を侵害している事例がすでに多く発生しています。
こういったことは、生成 AI に関わらず発生しうることであり、また現行の法で対処できるという意見がありますが、
問題は生成 AI を使用することで誰でも・簡単に・物量に物を言わせた嫌がらせが行われていること、
Tor 等で匿名化された発信者に対処するには現行の法に則っていては費用や精神的な負担が大きく、また、あまりにも後手に回りすぎることです。

クリエイターの気持ちに寄り添うつもりはないのでしょうが、現状を気にかけるポーズくらいはとっていただけないでしょうか。
その他
文化庁が日本のクリエイト文化を軽視しており、クリエイターを犠牲にすることでIT分野へシフトしていきたいことは今までの動きでもう十分わかりました。
ですので、先に海外でクリエイターを守る手段が講じられた場合には日本のクリエイターの流出が加速することもあるかもしれませんが、
その際にローカルルールを設定するなどして、クリエイター脱出の足かせとなることだけは止めてほしいです。
ただでさえ日本のAI学習パラダイスによって泥棒推進国のような扱いをされているのに、これ以上日本のクリエイターの方々の立場を悪化させたり、苦しめたりしないであげてください。

●受付番号　185001345000007646

5.各論点について
AI 生成者と著作者の権利関係は著作者の一方的な譲歩になるのではと思います。
これでは AI 生成物の類似があった場合でも AI 生成者の「たまたま似てしまっただけ」という意見 1 つで例外が認められてしまうのではないでしょうか。
X（旧 Twitter）を初めとした SNS でも著名な絵師さんやイラストレーターさんが悪意ある AI 生成に悩み、活動休止を宣言する方も出ています。
現総理への生成 AI における悪意ある利用、少し違ったものではありますが原作者の意向を無視した原作改変の結果命を絶つ方もいらっしゃいました。
これはいつか著作者の意向を無視した AI 生成でも起こりうることだと感じています。
AI 生成への意見は未だ平行線であり難しいことであるとも承知しています。
ですが、どうかもう少し著作者の気持ちに寄り添って頂きたいです。
新たな作品を世に生み出す若者が怯え、今までを支えてきたクリエイター達が苦しむ問題を抱えたままの AI では未来が明るいとは到底思えません。
AI 生成の無断学習には反対します。

●受付番号　185001345000007647

生成 AI は規制されるべき。生成 AI の美術、音楽業界への普及は断固反対。
「3.生成 AI の技術的背景について」に関して言えば、写真やイラストや音楽を勝手に学習材料に使うのは倫理的に問題があるのは明白である。さらに、アーティストたちは自分の磨いたスキルを搾取されるから、創作活動を辞めてしまう人が増え、若手も育たなくなる。そうなれば日本のサブカルチャーは腐敗してしまうだろう。
美術や音楽は生産性よりもクオリティの方が圧倒的に重要である。生成 AI が普及すれば日本の創作文化の質は下がり、破滅するのは目に見えている。クリエイターの権利を守り、世界に誇れる創作文化を作るために、一刻も早く生成 AI を規制する法律を作って欲しい。

●受付番号　185001345000007648

乱筆乱文にて失礼いたします。
まず第一に、私は作品を売って生計を立てているわけではないがあくまで趣味として絵や文を書いている者であること、その立場としてAIの存在を全否定したいわけではない事を明記します。AIを用いる作品づくりもまた個性であるととらえた上で、素人ながら以下の意見を提出させていただきます。
１　AI存続のためのパブリックドメイン切れ作品やロイヤリティフリー素材アップロードの場の作成
２　個人的に観測したAIを用いた著作権侵害、悪用（具体的な名前は伏せます）
１　AI存続のためのパブリックドメイン切れ作品やロイヤリティフリー素材アップロードの場の作成
作品を学習素材に発展するAIにおいて問題になっているのは、「勝手に学習素材にされることが許せない」からというのがいち見解です。
作品をつくる者特有の言い回しで、作品を我が子と呼ぶ事があります。作品を生み出す時間＋これまでの積み重ねてきた練習などの末に完成したものですから、そのくらいの愛着がある、というような意味合いと捉えています。そこまでの呼び方をする物に対して並々ならぬ「親心」があるのは理解出来るかと思われます。
今回声を上げたのは「作品と作者の人権」たる著作権を守りたいがためです。
上記を踏まえ、では学習素材にされるのがなぜ許せないのかと言えば、その費やしてきた時間や練習や積み重ねが十把一絡げにさらわれて、数秒にも満たないうちにキメラにされるように思えるからです。……この書き方は悪意があるように見えますが、そのくらい、受け入れ難いものに見えています。
ですが反面、作品としての幅を広げる、新たな商売に繋がるという点に関しては好意的に見ています。人間より遥かに効率的に学び生み出すことが可能であることは利点です。
問題は著作権ですが、著作権さえどうにか解決すれば素晴らしいものになり得ると考えています。ですから、「許諾」の場を明記することを提案します。
これまでも個人サイトや同人サイトでも、ロイヤリティフリーを明言してらっしゃる方は多く見受けられました。公的なロイヤリティフリー素材を頒布している所からのみ学習素材を取り込むのであれば、信用性と忌避感も薄まるかと思われます。また、投稿の場を狭める事によるAI発展に対するデメリットはほぼないと考えられます。
２　個人的に観測したAIを用いた著作権侵害、悪用
AI作品に著作権を与えるのであれば、個人の作品の著作権も維持させてください。
先述の１にあったように、長年作品を作ってきた人は並々ならぬ愛着を持っています。生業となさっている方なら尚のことです。
ネットではAIの悪用が日常的に多く見受けられます。

特定の、絵を趣味としているだけの一般の方の嫌がらせの為に作られたその方の絵柄を用いたR18に相当する作品や、プロの方の絵を学習させて作られたAI絵を販売して利益を得る人、ネットにある子どもの写真を学習させてポルノのような作品をつくる人。悪意ある作品の数々の中に、自分の作品が混ざっている可能性がゼロではないなど、誰が言えるのでしょうか。
個人のできる範囲で通報などは行いましたが、プロの方は心を病んで絵を描くのをやめてしまいました。ここ最近では亡くなる方もいらっしゃいました。それを、ざまあみろと笑っている人を見ました。そんな人の手元にもし私の作品があって素材として使われていたのならば、何もしていないはずなのに殺人の片棒を担がされたような気持ちになります。
AIの悪用は金銭的な損害を及ぼすと同時に、人を殺すのに充分な攻撃です。ターゲットだけではなく、その素材を生み出した人にも影響はあります。
だからこそ法で作品を守っていかなければ、発展以前に素材を生み出そうとする人がいなくなってしまいます。
長くなってしまいました。個人意見であり乱文であったかと思いますが、ご容赦ください。
ここまで書いておいてなんですが、結局私は楽しく創作がしたいだけなのです。作っても権利が失われる、これまで描いた作品がキメラにされる、知らぬ間に犯罪に使われているかもしれないなどと思わずに、面白くて楽しいものがこれからも増え続けるさまを見たいだけなのです。だから、AIと人の及第点を作って頂きたいと切に願っています。
AIが無断転載から学習して、様々な作品から学んで、人間はその空虚さに作るのをやめて、残った素材を取り込むだけになれば、発展には限界が見えてしまいます。
たかが作品、たかが絵、文、音楽ですが、そのたかがに人生をかけている人が多くいることも踏まえて頂きたいです。軽視をしないでください。お願いします。

●受付番号　185001345000007649

僕は現時点の生成 AI には問題が三つあると考えています。
・生成 AI のデータベースが加工禁止イラスト、無断転載を含む海賊版である事実。
・生成 AI による生成イラストが学習元のイラストレーターを苦しめている事実。
・生成 AI によって生み出されたイラストが溢れかえり、市場の崩壊や極端な縮小が起こりえること。
です。この際、素案のあまりに不適切な単語は無視するとします。
僕はイラストレーターとイラストは著作権によって保護されるべきだと考えます。生成 AI は他人の知識や技術を無許可で学習し、利用し、加工しているだけです。現状のデータベースの生成 AI は著作権法的に認められるべきではありません。これはクリエイターと文化のためです。机上の空論や希望的な観測ばかりで話すのではなく、地獄のような現状を見てください。イラストレーターのことをちゃんと考えてください。文化庁なら文化を守ってください。まずは複製物を滅ぼし、海賊版のデータベースを規制してください。

●受付番号　185001345000007650

当該生成 AI が、侵害物が高頻度で生成されるようなものでない場合においては、たとえ、AI 利用者が既存の著作物の類似物の生成を意図して生成 AI にプロンプト入力するなどの指示を行い、侵害物が生成されたとしても、事業者が侵害主体と評価される可能性は低くなる。
との記載が AI と著作権に関する考え方について（素案）（概要）に存在するが、このような個人からある特定の団体や個人に対してその著作物の価値を大いに落とす可能性があるため、不特定多数に利用可能な状況に置くべきではないと考える。
結論生成 AI を利用し創作を行う際はその利用者の使用履歴や生成目的を明確にし公表することがよいと考えている。

●受付番号　185001345000007651

AI は本来、人類の進化の為、役立つ為にあると考えています。
その上で、人々の生活を脅かすことがあってはならない、共存していく事が出来ないのなら本末転倒だと思います。
AI が著作権を侵害し、同意もなく使うこと、学習することは人が行う著作権侵害と何処が違うのでしょうか。
著作物の収入で生活している人が居るということを忘れないでください。

●受付番号　185001345000007652

ネット上での
「自由に発表する権利」と「表現の自由」が
生成ＡＩとデータセットに関わる事によって
「脅かされている」
この状態の是正をお願いします
■生成 AI そのデータセットのためのデータ収集
LORA などの過学習データセットが横行している
■作家それぞれの個性を抽出され
第三者に好き勝手に使われる事指す
【作家にとっては死活問題】
作家は自作物を守りたいと考えるが
画像保護技術にはデメリットもある
1＞
「絵の要」の「見栄えが悪くなる」
画像保護 emamori のミストや Glaze は加筆処理なので
「画面が荒れる」
2＞
Glaze は高性能 PC が必要
画像保護処理に時間がかかる
30 分〜3 時間
画像保護中は事実上 PC を操作できない
Glaze の処理は高負荷
他アプリを動かしていると処理時間が長くなる
3＞
1 枚/1 ページの画像ごとに画像処理が必要
作り手の時間を削る　負担は増える
■作品を作るだけでもエネルギーを使う
「本来必要のない作業」追加される形になり
作家の負担が大きくなる
なにより
【完全には無断利用やデータ収集を防げない】
■結果
無断使用や無断機械学習への対策が難しいので
ネットや SNS への投稿を控える

という事態になっている（苦渋の選択）
生成 AI 関連が
【ネット上での発表の機会を奪っている】
【「発表する権利」と「表現の自由」を奪うことに繋がっている】
●ネットに発表できないことは
個人作家に致命的ダメージを与える
ネット上へ作品の発表する事で
その作家の能力が作品から伝わり
仕事の依頼がある
【ネットに作品を上げることが「営業」になる】
その依頼に答える事で次の仕事につながる
という作家の仕事や収入のサイクルの「始まりの部分」を
潰してしまっている
■今後は肖像権や財産権の侵害への拡大
「個人の肖像」を悪用した生成物による
「イジメ行為」や「犯罪」
持ち主の意にそわない改変
著名人を含む人の写真からヌードを作ったり
その人の意にそぐわない屈辱的画像　動画　音声の製作と流布
今起き始めていますし、現状が維持されるなら
確実に増加します
現在、CSAM 由来のフェイク児童ポルノが
ディスコードやパトロン系投稿サイトで
売買されている事実があるので
そのまま実在の人間へと拡大する事を
拒否する要素はないでしょう
様々な個人データを素材として売買
されるでしょうし
それらを機械学習したＬＯＲＡなどの
過学習データセットも
同様に売買されます
当然そのような行為や事件が起り認識されれば
今の作家の自衛行為と同様に自衛のため
ネット上への投稿は減ります
いままで、当たり前に学校のサイトに載っていた
部活の集合写真も遊びいった遊園地で撮影した写真も

気軽に上げられなくなります
日本に住む人々の当然の権利
人権　発表の権利　表現の自由
それらを生成ＡＩ関連のデータ収集は侵害し
【確実に奪っています】
対策として考えられるのは
ネット上からのデータ収集と
機械学習を拒否する権利の明記
上記の拒否を主張するためのマーク等の製作と周知
企業側と利用者への周知と徹底
※作家側が画像や動画に張り
　「収集と学習の拒否」という「タグ付け」をする
　企業は収集時　学習時　これらのタグがあった場合
　「機械的にはじく」ようにする
■30-4 は強制法規にする必要があるのか？

強制する以上は強制する根拠が必要です
生成 AI とデータセットにデータを提供を強制する
だけの大多数への利　つまり「公共の福祉」があるのか？
　コロナワクチンは公共の福祉として利があっても
接種は個人の判断であり「拒否する」事ができます
生成ＡＩの個人データを含むネット上からの収集と機械学習と過学習に
コロナワクチンを超える「公共の福祉」があるのかと言えば
大多数の国民が利するとは　現状考えられません
コロナワクチンですら「強制ではない」のです
収集と学習についても「強制」するには根拠が必要です
その根拠がないのならば
「拒否する権利がある」ということではないでしょうか
公共の福祉というほど
大多数に利をもたらしていない
生成ＡＩ関連が　強制され
無許諾　無償のデータ利用が行われ
作り手が「拒否する権利」がないゆえに
自作が劣化しても保護処理をしないといけない
そしてネット上に発表を躊躇してしまっている
今の状況は

自由な発表と表現の自由が
侵害されていると言えると考えます
30-4 の法改正を含めた
これらの侵害行為の是正を
お願いします

●受付番号　185001345000007653

AI を利用してイラストを作成し、ネットにアップしています。
ネットでは反 AI 派が著作権侵害だと言っていますが、私にはどうにもそうは思えません。AI というのは画像を切り貼りして新しい画像を生み出すコラージュ生成機のようなものではなく、AI が学習した結果、いちから新しい画像を生み出しているものだと解釈しております。ですので、誰かの著作権を侵害した画像が出てくるものではないと考えています。
では、学習の過程において、インターネットにアップされている画像を無断で収集したことは著作権侵害なのか。私はそれも違うと思います。そもそも研究のために収集したものなので、問題はないと思います。「ただし、当該著作物の種類及び用途並びに当該利用の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。」とありますが、現時点で具体的に誰がどう利益を害されたのでしょうか。学習の時点で権利者の利益を不当に害するというケースが正直よくわかってないのですが、反 AI の方々は学習の時点で利益を不当に害されたのでしょうか。私にはそうは思えません。反 AI のイラストレーターの方々もネットの画像を私的利用して絵の研鑽に利用してきたはずです。
学習後の使い方次第では、不利益を被ったように感じる人もいるのかもしれません。とはいえ、実際には最初に言った通り、AI は著作権侵害をしていないので、それらは勘違いだと思います。
反 AI 派の方々の主張はロジカルではなく、得体のしれない AI に自分たちの権利を侵害される「かもしれない」というネガティブな感情が源泉にあるのではないかと思います。30 条の 4 に則った機械学習を「盗む」というように表現しているところからもそう感じられます。
そもそも著作権侵害は親告罪です。仮に、万が一 AI が誰かのイラストのトレスイラストを生成したとして、その誰かが私を訴えなければ何も起こらないのです。この言い方はまるで、親告罪だから相手が何も言ってこなければセーフと言わんばかりの主張だと受け止められたかと思いますが、実際のところ同人誌即売会のような二次創作の場ではそのような解釈が蔓延しております。反 AI 派というのは、自分は原作者からの著作権侵害のお目こぼしをしていただいているにもかかわらず、自分の著作権が侵害されてもいないうちから著作権侵害は許されないとおっしゃっているのです。私には彼らがダブルスタンダードに陥っているように思えます。
反 AI 派の方々には、実際に自分の著作権が侵害されてから騒いでいただきたいですし、もしその程度では不安だとおっしゃるのならば、著作権の非親告罪化までも論点に加えるべきではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007654

まず前提として生成 AI というものは、イラストレーターなど作家の作り出した作品や違法な児童ポルノ、無断転載されている書籍などのネット上に存在するあらゆる画像を混ぜ合わせて生成されています。また、声優や俳優からは声を盗んで喋らせる、歌わせるという事も可能という話も見聞きします
他人の財産をあたかも自分の財産であるかのように奪う・使用する事は現代日本においては「横領」と呼ばれ、これにより「横領罪」という罪も成立するとの事ですが、何故 AI 生成という行動が横領に当たらないのか不思議でなりません
現行法ではたかだか絵、所詮は声という程度の認識なのでしょうか？それは奪われる側からすれば紛れもなく「商品」であり「知的財産」というものです
「AI と著作権に関する考え方について」との事ですが、上記ように著作権を蔑ろに横領しなければ生成できないものを肯定的に捉えるなどあってはなりません
ドナルド・トランプ大統領逮捕の AI 生成フェイク画像はご存じですか？2017 年の時点でも AI による有名女優のポルノ動画が作成されていました。私個人、一般人の視点としましては贔屓目に見てもそれらは肖像権の侵害、そして名誉棄損であるように思います
確かに、生成 AI によってもたらされる恩恵もある事でしょう。しかしそれはこれら上記の「他者の権利を蔑ろにし、方々に迷惑をかけた上で」成り立っているもの。だからこそ厳罰化しなければならないのです。手軽であればあるほど面白半分に大問題を起こす輩が現れます。「そんな奴はそうそう居ない」と思いますか？
寿司屋の醤油や定食屋のガリを直で食べたり、私人逮捕と越権行為で悦に入る者、被災地に単身乗り込んで遭難する Youtuber など挙げればキリもないでしょう。さらに言えば日本で最も多い犯罪はほんの出来心でできる窃盗だそうです
やらない理由が「ここまでの行動力がない」というだけの人間でも、暇な時間と出来心、それにパソコンでもあれば誰でも気軽に著作権と肖像権の侵害、知的財産の横領や名誉棄損に勤しめるというわけです
このように、少なくとも現行の生成 AI などというものは犯罪(最大限譲歩しても嫌がらせ)助長のツールに過ぎず、ここまでで何の問題もない、罪に当たらないと考えるのであれば、それだけ現代の法と人間性が時代不相応に遅れていて、AI と著作権についての思考など最初からする気がないだろうと言わざるを得ません
このままお咎めなしの状況を続ければ、少なくとも絵画・音楽の文化は破壊され、写真や動画も証拠としての機能を失い、そういう意味でも犯罪や冤罪を助長するでしょう。現時点でも不当に知的財産を横領され、被害を被っている作家は少なくありません。少しでも英断される事を願います

●受付番号　185001345000007655

２
学習までは情報解析にあたるが、それを利用した生成物を他の人間が見られるように公開することは違法になるのではないか。
３（１）ウ
キャラクターそのものの画像が出てくる事例もあり、なにをもって切り貼りではないと論ずるか疑問がある。
５(オ)
ネット上のデータに権利侵害物が紛れている可能性は公然であり、その可能性を看過した上で使用することは違法にあたるのではないか。またそうした侵害物の中には肖像権、人権をも侵害するものが多分に含まれていることも研究で明らかになっており、そうした部分を無視することは許されないのではないか。
【侵害に対する措置について】
カ（ア)(イ)
法で学習に使われることは問題ないとしておきながら、いざ問題が起きた際には権利者が個々人で対応しなければならないのはおかしい。最初から権利者に許可を求め、認められたものだけを利用する形にするか、請求にかかる労力が減るよう簡便化するようにする方がよい。
【その他の論点】
コ
【侵害に対する措置について】においての問題点と同様、権利者の負担が大きい。初めから開示することを義務付けるべきである。
(３)生成物の著作性について
漫画家や小説家の著作権について考える際、作品に携わるのは作者本人のみではなく、担当編集等も関わっており、時には担当編集による修正・加筆・変更が指示されることもあるが、担当編集に著作権が与えられることはない。こうした考え方に基づけば、プロンプトの入力や試行回数は担当編集による指示であり、著作性は認められないのではと考える。
全体について
技術の革新・発展はされるべきではあるが、それによる実質的な権利侵害を看過すれば絵・小説・漫画・音楽・芸術・アニメーション等の多岐にわたる創作界隈は先細り、いずれは生成 AI の発展にも弊害が出ることが予想される。新たな技術に法も人々の意識や知識も追い付いていない。人間の創作を守り、同時に生成 AI の発展も望めるような新たな時代の法整備を、推進派だけでなく反対派の意見も取り入れて議論を尽くして行い、それができるまでは、広く一般への公開は差し止めるべきであると考える。

すでに生成 AI の悪用による権利侵害、人権侵害が起こっており、どのような技術にも開発者が意図しない悪意が絡むことや、悪意を持つ者が自制できるものではないこと、悪意が悪意と自認できない場合があることを忘れないでもらいたい。

●受付番号　185001345000007656

5.各論点について ＞（2）学習・開発段階 ＞カ AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に～ ＞（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
>3 文目（○ 他方で、当該学習済モデルが、～）
「当該学習済モデルが、学習データである著作物と類似性のある生成物を高確率で生成する状態にある等の場合は、学習データである著作物の創作的表現が当該学習済モデルに残存しているとして、(中略)廃棄請求が認められる場合もあり得る。」としているものの、注釈で「学習に用いられた特定の著作物による学習済モデルへの影響を取り除く措置を請求することは、現時点では、その技術的な実現可能性や、技術的に可能としてもこれに要する時間的・費用的負担の重さ等から、通常、このような措置の請求は認められないと考えられる。」としている。
この場合において第一に優先すべきは著作者であるため、「技術的な実現可能性や、技術的に可能としてもこれに要する時間的・費用的負担の重さ」等があるとしても、何らかの措置請求は妥当と考える。
単に「通常、このような措置の請求は認められないと考えられる。」とすると、
「請求することができない」と誤認してしまう恐れがあるため、
「このような一部取り除きの請求は現実的ではないと考えられる。」としたほうが良い。

●受付番号　185001345000007657

「原作者に損害を与えなければ著作物を利用して良い」というのが、そもそも成立しません。
生成 AI に画像を無断で使用された時点で、著作権が侵害されています。
大切な作品を学習素材として利用されるのは、原作者としては嫌悪しかありません。
さらに AI 使用者から原作者へのなりすましや誹謗中傷なども重なり、精神を病んでしまい、物を作ることから離れざる負えなくなってしまった事例を既に数件確認しています。
それらは立派な営業妨害ではないですか？損害ではないですか？
私は物を作る仕事をしていますが、
「著作物を無断で利用した時点で原作者に損害を与えうる」と思います。
このまま進めば、優秀なクリエーターはどんどん日本からいなくなります。
なぜなら、自分の著作権がきちんと守られる場所で活動するしか自分を守る方法がないからです。
一方 AI はどんどんすごいスピードで作成を進め、AI の作成物が溢れかえった世界では AI が AI の作成物を学習し、ゴミのような AI 作成物で溢れかえる世界ができあがるでしょう。
文化の発展どころか、ゆっくりと衰退していく未来が容易に想像できます。
目先の儲けではなく、もっと長い目で見て良い結果になるように考えてほしいです。お願いです。

●受付番号　185001345000007658

特定のアーティストの作品を集中的に学習させて絵柄を再現することで、なりすましやアーティストのイメージを損なう生成物をネットに拡散する等の事例があること(アーティストに限らず芸能人の顔写真でも同様の例があります)から、最低でも AI による生成物と人の手で描いた作品の区別を誰が見ても明確にするための措置は今後の AI 普及において必須事項かと思います。
また、AI 生成物と作品が混在した状態が継続すると生産スピードが圧倒的に早い AI が市場を埋める為、人の描いた作品が企業などの目に入るチャンスが減り、アーティストにとっては利益の損失に繋がると考えられます。
アーティストが利益を得にくくなるとアーティスト人口事態が減り、AI にとっても学習元のデータが新たに更新されなくなるため、望ましくないのではないでしょうか。
生成 AI ツールは現状創作活動に活かすには不向きだと実感しているためアーティストに活用されることは少ないと考えています。
改めて、今後 AI 活用を促進する場合は最低でも"人力で作られたものとの区別が"誰にでもわかる"ようにする必要があると考えます。"

●受付番号　185001345000007659

第一に生成 AI の利用に対して、私は反対を表明します。
　使用するにあたっては、著作権者を精神的に傷つけ得るものとして扱い、公益性のある場合のみの使用を許可するといった、免許制などの規制が必要と考えます。
理由は、現在の一般大衆にも開かれた生成 AI の使用は、享受目的として用いられていることが多数であり、著作権法第３０条の 4 が適用されないと考えるためです。
5. 各論点について
　（1）学習・開発段階
　イ 「情報解析の用に供する場合」と享受目的が併存する場合について
（イ）非享受目的と享受目的が併存する場合について
　「特定のクリエイターの作品である少量の著作物のみを学習データとして追加的な学習を行うことで、当該作品群の影響を強く受けた生成物を生成することを可能とする行為が行われており」、と素案にある通り、SNS にて上記の行為について目につく機会が増えました。また、著作者の作風を模倣し、それを用いて、本来の著作者が意図しない表現、具体的には自殺を仄めかすような画像を生成するという事案も目にしました。著作者の作風とは本人が人生をかけ、時間を費やして獲得した技術です。著作者の作品から収奪したデータを用いて本人のような作風、および本人の意図しない作品を生成することは、著作者人格権の第 20 条　同一性保持権　などに抵触するのではないでしょうか。また、著作者の作風を模倣した作品を作るという行為自体に享受の意図が含まれており、享受目的の利用であると考えます。
エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について
　生成 AI 技術には短期間で大量生産が可能であることが一つの特徴として挙げられます。本来の著作者の作風を模倣して大量に生産された画像がインターネット上に氾濫している現在は、将来的に作成し得る著作物の潜在的販路を阻害していると考えます。例えば SNS にアップロードした絵などの作品を纏めて画集を作ろうとした際、AI 生成された画像が検索のノイズになったり、そもそも生成画像を用いて作られた画像集などが販売されたりした場合などに該当すると考えます。
　また、「著作権法が保護する利益でないアイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることにより、特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態が生じることは想定しうるものの」、と素案にありますが、創作的表現と共通するしないに関わらず、特定のクリエイター又は著作物に対する需要が AI 生成物によって代替されてしまう時点で、著作権者の利益の機会を損なっていると考えられます。
　上記のように、生成 AI を用いて作成された生成物には公共性あるとはいいがたく、享受目的での利用であると考えます。よって私は生成 AI の利用に反対します。

●受付番号　185001345000007660

創作をある程度の水準で行うためには技術を身につけるための学習・練習期間が必要となり、もし創作意欲があったとしても、学習・練習の時間確保が難しいことが理由で断念することがありえます。自分自身がそうでした。
著作権法は文化の発展に寄与することが目的の一部とされております。
上記の事由による活動の断念により、機会損失が生まれていることは明らかです。
しかし、AI による補助を受けることによって、学習・練習時間を大幅に削減することができれば、感情や心情の表現という創作本来の意味に注力することが可能となり、創作活動に取り組む人が増え、結果的に文化発展につながると考えます。
AI に関しては誰もが利用可能な技術であり、独占による不公平はありません。
また、既存の制作方法を禁止や制限するものでもなく、営利に用いないのであれば、誰かの利益を害することもないと考えます。
作風に関しての議論もありましたが、創作において全く新規の作風を全ての個人が作り出すことは現実的・技術的に不可能であり、この点に関して法による保護をしてしまうと、後発の参加者が創作活動を十分に行うことができなくなります。
AI は人工知能と訳されてはおりますが、人間が指示を与えない限り生成活動を行わないものであり、実態としてはプログラムに過ぎないものです。
プログラムによる技術的補助を受けただけで、人間が行う創作であることに変わりなく、生み出されたものは既存の著作物と同様に保護されるべきものと考えます。

●受付番号　185001345000007661

【関係者からの様々な懸念の声について】
生成 AI の 1 番の問題点は学習元である画像などの提供者に一切のメリットがない事だと考える。生成 AI が機能するためには大量の学習データが必要だが、インターネットを介して本来画像の製作者が意図していない場所で画像が公開される事は多く、また製生成 AI を学習させる上でそのような画像が紛れ込んでいないとは考えにくい。
現に SNS では制作した画像によく似た出力データが AI 使用者によって公開されたことを嘆く意見も多く見られる。また、AI 学習禁止を掲げる製作者の画像すら学習させる AI 使用者も同様に多い。
このような現状を変えられない限り、生成 AI に対する批判の声は大きくなり、また生成 AI そのものに対する不信感もますます増加する事となるだろう。
まずは学習元にメリットが一切無い現状を変えていくべきだ。次点で、生成 AI の使用について使用者以上に提供者(学習元を含む)に寄り添ったガイドラインを敷いていくのが良いのではないだろうか。

●受付番号　185001345000007662

１．はじめに
「生成 AI を巡っては、著作権者等からの AI によるデータの学習及び生成に当たって、著作権が侵害されるのではないか(中略)といった懸念の声などが上がってきた。」
現状では懸念の声どころか、著作権の侵害が起きている。また、著作権の侵害だけでなく、特定個人のクリエイターの創作物を許可なく AI に学習させ、そのクリエイターに成り済ます行為も確認されている。それに伴い、生成 AI の利用者からの執拗な攻撃や嫌がらせ、殺人をほのめかす脅迫などの問題も起きている。試しに X(旧:Twitter)にて「[redacted]([redacted])」という方のアカウントを検索して被害を確認して頂きたい。
２．検討の前提として
（１）従来の著作権法の考え方との整合性について
アの項目について
AI による創造物は単なる事実やデータに留まるものであり、著作物と認めることは出来ないと考えられる。
なぜならば、同じように学習した AI のデータセットを用いて同じ内容の出力を行う際、誰が行っても同じものが生成される。これに対し、複数の人が同じ内容のものを描けという指示を受けて行った場合、指示に反したものではないがそれぞれ異なる物を創造する。
著作物となる要件の１～４が満たされる。
そのため、生成 AI による生成物には著作権は生じない。
イとウの項目について
まず、現在利用されている生成 AI では、そのほとんどが学習において著作物を著作権者の許可を得ずに無断で取集され学習されている。この時点で著作権を犯している。
著作権の制限規定では「私的使用のための複製（法第 30 条)」などの場合は著作権者の許可なく著作物を利用することが可能だが、現在は営利目的の利用や SNS などでの公開など、私的使用の目的の範疇を越えている。
（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
そもそも著作権だけでなく、他の権利についても絡めて議論すべき事柄である。
例えば人権、著作人格権、肖像権など。
以前岸田首相を AI に学習させた動画が出回った。その時はふざけた内容を連呼するに留まったが、これは国家として非常に危機的状況だったことを考えて欲しい。もし政府要人などを学習させ、それが生成 AI で偽物だとわからない位精巧に作られていた場合、一体どのような犯罪が起きてしまうのだろうかということを。
５．各論点について
（４）その他の論点について
「学習済みモデルから、学習に用いられたデータを取り除くように、学習に用い

られたデータに含まれる著作物の著作権者等が求め得るか否かについては、現状ではその実現可能性に課題があることから、将来的な技術の動向も踏まえて見極める必要がある。」技術的に出来るか怪しいならそもそも著作権を侵害している生成 AI は全て問題があるということを認識して頂きたい。

各項目とは少しずれる懸念点

生成 AI を推進していくということは、世界に誇る日本のサブカルチャーの未来を閉ざすことに繋がります。生成 AI の使用には、必ず学習元となるデータが必要です。その学習元にされているクリエイター達は、必死に技術を磨いています。それを生成 AI が規制なく使用されてしまうと、クリエイター達は頑張った分だけ搾取されやがて創作していくことを辞めていきます。また、そのような環境になると新たなクリエイターも育ちません。かくいう私もクリエイターの端くれですが、現状の生成 AI への懸念から、努力しよう、技術を磨こうという気力が奪われつつあります。頑張って努力しても行きつく先はひたすら搾取される未来だからです。

仮に生成 AI を推進してもその先に待っているのは、世界に誇る日本のコンテンツの終焉のみです。

世界では生成 AI に対してどのような規制の動きがあるかおわかりでしょうか。

文化庁には文化を守って頂けることを切に願います。

●受付番号　185001345000007663

著作物の表現は人の手で進化してきたと思っています。
例えば声優 A の表現手法を声優 B に似た声質の声優 C が行う。イラストレーターA の描き方を目指しつつ、雰囲気はイラストレーターB を目指したイラストレーターC が人気を得たという例などです。
上記の声優 C、イラストレーターC が新しく生み出した表現を AI が学習した結果、それに類似する表現が生成された場合、コストは恐らく AI が生み出した方が安くなるでしょう。そして、企業は安い方を買い、クリエイターへ割り振る仕事が減り、クリエイターとして食べることができなくなれば必然的にクリエイターは減ります。
安さを優先した結果、技術を持つ人が減る、というのは今も減りつつあるバス運転手等を初めとした人力でカバーする必要がある仕事と同じことになるのでは無いかと懸念があります。
また、現時点で特定のイラストレーターの画風を集中学習させたと思われるデータモデルが多数存在しています。それにより嫌がらせを受け、精神を病んだ方もいます。
そのようなデータモデルから出力されたものに著作権を認めるということは、表現を産んだその人に成り代わる、人間に要らないと突きつけることになります。それは倫理的にどうなのでしょうか。

●受付番号　185001345000007664

素案 27 ページの注釈 31 では「AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に～このような措置の請求は認められたにと考えられる。」とありまずが、学習済みモデルへの影響を取り除くことが時間的・費用的な負担が生じるからと言って、このような措置の請求を認めないのはおかしいのではないでしょうか。
学習データである著作物と類似性のある生成物を高頻度で生成する状態にあるならば、その状態を完全に解消するために学習済みモデルから永久的にその影響を取り除く措置を取るのが妥当だと考えます。

また。同 27 ページの（イ）学習済みモデルの廃棄請求についてでは「また、通常、AI 学習により作成された～著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」とありますが、これはどうして学習に用いられた著作物と類似しないものを生成できると断言できるのでしょうか。この部分の根拠が不明瞭なまま「AI 学習により作成された学習済みモデルについての廃棄請求は、通常認められないと考えられる。」と言われても、根拠が不明瞭なためどうしてこのような結論に至るのかがわかりません。AI 事業者の視点によりすぎた結論となっているように見えます。

次回の素案では著作権侵害を侵した学習済みモデルの廃棄請求がなぜ認められないと考えられる場合が多いのか、中立性を欠き AI 事業者や AI を事業活動に用いる企業などによりすぎた解釈となっていないかを改めて検討してほしいです。

●受付番号　185001345000007665

生成 AI が出力する絵は、全て既存の、誰かの絵を学習したものを組み合わせたものです。学習された絵を描いた人間(A とする)は、勝手に AI に学習され、自分の絵柄と同じ絵をいとも簡単に出力されてしまっています。それは A にとって自分が苦労して編み出した絵柄を奪われたということです。絵柄を勝手に奪うことは、いわば人のアイデアを奪うことであり、著作権法に違反しています。無断で、人が苦労して考え出した絵柄を奪い、あたかもそれを自分が生み出したかのように自慢し、生成 AI で出力した絵でお金を稼ぐのは、勝手に人から奪った絵でお金を稼いでいるということであり、許されることではありません。なので生成 AI が、人の絵を学習しないようにしていただきたい。

●受付番号　185001345000007666

イラストレーターをしています。
(i) AI 学習モデルによる著作物を生成するリスク
(ii) 学習データの不透明性
(iii) 犯罪にも加担しうる高度な AI 技術
(iiii) 「文化」を守るために
以上を意見として提出します。
(i)【素案 p. 26、カ、(イ)、2 項目】「通常、AI 学習により作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」とありますが、AI 技術は学習データがなければそもそも成立しないものであることから、「学習データである著作物と類似しないものを生成することができる」こと、またはこれを主張することは大変難しいと意見します。
もしこの考えがまかり通るのであれば、それは同時に『学習データである著作物と類似するものを生成するリスクがある』という考えも成立することになるのではないでしょうか。
この素案が「著作権」について本当に深い理解を示しているのでしたら、著作権を保持する著作者の被る被害及びリスクは、可能な限り回避されるべきものだと主張されるべきです。
(ii) また膨大な学習データの、現状のその不透明性、大量の著作物や肖像物などの混濁は問題視するに値します。
AI 技術にとって「学習データ」は必要不可欠であると認識していますが、それはつまり「膨大な学習データ」＝「膨大な量の著作物」と定義して差し支えないはずです。
(iii) これらが学術や私的利用の範囲を超えた悪質なビジネスへ流用される問題も目立ち、こともあろうことか著作者を攻撃し得る現状は見るに耐えません。AI 技術を扱うにあたっては、適当な法的規制や規約などの確立が急がれるべきです。
(iiii) なぜ美術や芸術は学術分野・学問として長い歴史の中確立しており、未だにそれを学びたいと意欲を示す人たちが後を絶たないのか；それは他の学問と同等の努力と技術と才能が求められる分野であるからだと確信しています。
【素案 p.35, (3), イ】AI 技術において、成果物を得るために必要なのは「プロンプト」だと理解しています。そして「プロンプトを試行錯誤する」というのは例えどれだけ回数を繰り返してたとしても「一つの行動」であることに変わりはありません。
一方、(芸術) 作品を作るには「線を引く練習」「光と影を理解する」「構図を勉強する」「色を学ぶ」「人体の構造を学ぶ」「道具の使い方を覚える」「外に出て観察する」「感性を磨く」「他人の作品を鑑賞する」など数えきれない複数の行動や練習が求められます。そ

の制作過程は個人の考え方や学び方、選び方によって千差万別であり、それは個人の生き方であり、素晴らしくユニークです。
現在もこの分野に憧れの眼差しが向けられるのは、それが「価値あるもの」だと多くの人が理解しているからではないでしょうか。
AI 技術の生成物がこれだけ擁護されるのも、“本物たち”のその一朝一夕では決して手に入れられない価値の力がよほど魅力的なのだと思います。
しかし、だからこそ「守られ尊重されるべきはまず著作者である」というその前提を無視し、蔑ろすることは甚だ愚かです。
AI 技術は先人たちの著作物や実在するもの（著名人など）無しには成り立ちません。
“現状”の AI 生成物は「『文化』という先人の血と汗と涙、そしてその積み上げられてきた歴史を侮辱し搾取するもの」です。それは「技術」になり得ることはあっても決して「文化」と呼べるものになることはありません。

●受付番号　185001345000007667

１．はじめに
無断で学習された生成 AI に対する認識の行き違いや
ディープフェイクや(人格の)盗用に対する法整備の不備を感じます。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
生成 AI の問題は多くの無断で学習された著作物が元になっている事に起因しています。
>>従って、生成 AI に学習される作品は必ず使用許可の取れているものに限ります。
（２）生成・利用段階
生成 AI の運用において不可欠な点があります。
生成 AI で作られた作品の責任所在についてです。
AI を作った会社・提供をした会社・生成者・学習物提供者へ周知徹底が必要です。(生成 AI に関わるすべての人達への周知徹底)
問題が発生した場合、誰が責任をもつのかや誰が嫌な思いをするのか、使用におけるリスクは如何なるものかを生成 AI に関わる全ての人は深く理解することが必要です。
これらは、ポルノやディープフェイク生成による個人や社会への影響を既に起きている事（例※電車で盗撮した女子高生を脱がせる／岸田首相を用いてのフェイク動画）も含めて、それに寄与する可能性への理解を深めた上での運用が望ましいからです。
リスクに対する防止策や対応を事前にしっかりと取り決めてなければいけません。 その上での運用が不可欠です。
決して AI 製作者や寄与した者が悪いわけではないですが、知らずにそれらに関わる事を防いで欲しいです。 例えば、文化の発展の為に学習提供した作品が悪用されて悲しい想いをする、提供したことが世間にさらし者にされ批判を浴びる、そのような事がないようにしてほしいのです。また、これは法律の穴やモラル等によってあやふやにしたまま放置されがちな問題ですが、その先で苦しむのは被害者と矢面に立たされる一個人です。
誰が悪いのか・何が悪いのか、責任の所在を明示する事で、二次的な被害が防げます。
>>生成 AI の運用においては責任の所在を明示する事は不可欠な取り決めです。
（３）生成物の著作物性について
生成 AI の問題は多くの無断で学習された著作物が元になっている事に起因しています。
良い絵が出力されるのは、元となる良い絵を描いた人がいるからです。
良い音楽も、よい声も、良い写真も、元となるいいものを作る人たちの積み重ねが生成されます。
つまり、生成 AI でよい作品を作ることはあらゆる人の積み重ねで叶うことです。
そもそもなぜ、生成 AI で良い作品を作りたいのか？
作品に価値を感じ、作品を欲しているからではないでしょうか。

作品というものの素晴らしさに心を震わせたから（または、だれかの琴線に触れたいから)、絵や音楽や>声や写真を用いたいと思うのではないでしょうか。
しかし、残念ながら作品というものは農業や畜産業の様な自然からの流用のように人間が知識と努力でコントロール出来るものではありません。
人間の為に植物や動物の悲鳴を無視するようなことはできないのです、相手は作品(ただの物)だと思われがちですが人間だからです。
いかなる言葉や考え方を用いようとも、人間を自分の思うようにコントロールすることはできません。
作品を作る（産み出す）ということと、作品を生成(コントロール)するということはそういった意味で大きく異なります。
>>従って、無断で学習された生成物は従来の著作物として扱う事は出来ません。
>>作品提供者との合意によってのみ、著作物として扱われるべきです。
（４）その他の論点について
著作物と著者は深く結びついている点にも注目していただきたいです。
ポルノやディープフェイクの生成との類似的な問題ですが、人の顔や声を用いたディープフェイクが個人や社会へ影響を与えるように
人の顔や声と同じ役割をも果たしている絵柄や文体などの盗用は個人の尊厳をないがしろにし、深く傷つける事が出来ます。
本人の望まないポーズで撮られた写真や声明が、尊厳や信頼に大きな混乱を招くように、絵柄の盗用で生成された作品が、原作者の尊厳や信頼に混乱を招くことが出来てしまいます。
現状、原作者になりすまして混乱を招いた場合、社会的立場を失うのは被害にあった原作者となります。
このようなことはあってはなりません。
既にインターネット上ではそれらを用いた嫌がらせ行為に心身を病まれている方もおられます。
（例※イラストレーター[redacted]氏([redacted])に対する生成 AI を用いた嫌がらせ）
>>なりすましや盗用に対し、明確な規約や法整備を求めます。
６．最後に
人を守り、人に寄り添う AI の発展を願います。

●受付番号　185001345000007668

生成 AI による学習は、時に学習したデータがそのまま出力されることがある点が、著作権保護の点から問題であると考えます。よって、学習には著作者の権利を侵害しないような措置が必要と考えます。
学習元を限定することにより特定の著作者の作品を模倣した作品を製作することが可能です。「特定の著作者の作品らしい」創作物が安価に、多量に、即座に生成されることにより、学習された著作者が経済的損失、心理的な不快感や強いショックを受ける可能性があります。無制限な学習は許すべきではないと考えます。
AI 生成物による誤情報の拡散を防ぐためにも、AI 生成物と、そうではない著作物を区別できるようにする必要があると考えます。
オリジネータープロファイルは有効ですが、AI 生成物にもそれとわかる目印があるべきと考えます。

●受付番号　185001345000007669

絵を描くイラストレーターや声を使う歌手や声優などは、その自分の持ち味である絵柄や声はその人が芸術的な分野で食べていくための命そのものと言っても過言ではありません。
そのため、下記を容認することは、その人の個性や知的財産権等の様々な権利を侵害すると考えられます。
▽
AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ、「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によって作成された物」には該当しないと考えられる。
そのため、AI 学習、もしくは AI の使用自体に法律や憲法等で整備をする必要があると思います。
また、経済面で言えば日本のポップカルチャーは大きな経済効果がある。
コミックマーケットでの経済効果は一説によれば一回につき 180 億を超えるとされています。
加えて TikTok 等の SNS を見ればわかりますが、日本でヒットしたアニメが、世界的にカバーされたり、創作に使われていることも多いです。
これらを支えているクリエイターたちを守るのは、大きな意味では日本経済、世界とのつながりのためになるのではなるのではないでしょうか。
今後、あなたたちによって AI が私たちの敵ではなく、私たちクリエイターの助けになるものになることを望みます。

●受付番号　185001345000007670

AI 生成物は、著作権法上で大きな問題があるため、現状では安心して創作物に使用できないと考えます。学習元の著作物が全て把握できず、著作権法に反する場合でも責任元が不明瞭である問題があります。生成 AI の学習には著作権法 30 条の 4 は適用されず、生成 AI は無許諾かつ違法に他人の著作権を侵害してしまう危険性があります。

●受付番号　185001345000007671

著作権法の対象にならない利用について、AI はまだまだ開発途上の技術であり、その技術の進歩を目的としたデータ収集と AI 作品の作成は、結果として「享受」の効果をもたらす作品の作成と区別がつきにくい場合もまると考えられる。データとして収集されてしまう著作物に関する権利が守られない恐れがあるため、「享受」を目的としているか如何の判断は、実態に即して厳しく行われるべきだ。但し書き（フッダー番号）１５にある、事業者の責任についても、その AI の利用者による享受目的での利用が可能な状態を事業者が放置した場合は、事業者の責任も問われるべきであり、学習や利用のルールについては厳密に定めるべきである。

●受付番号　185001345000007672

他人の描いた作品を無断で集めて無断で使用するのを合法化するのはどうかと思う。
今までのクリエイターの人権を奪うのはやめて欲しい。仕事が減るどころのレベルじゃないと思います。

●受付番号　185001345000007673

生成 AI で他人の創作物を学習させ、AI を通して作品を生成することは他人の技術、創作物を許可なく転載しているのではないだろうか。また、創作物が商業利用されているものであるものを生成 AI で学習させ生成したのであれば盗作等に繋がるのではないだろうか。今後、創作物で商売をしている人々が他人の生成 AI により商売の妨害になるならば業務妨害になるのではないだろうか。人が作るものには必ず著作権というものが発生するはずである。それが必ず保護されるかどうかはさておき、創作者が持っていて当然である著作権を、生成 AI によって侵害されたのであるならはそれは著作権侵害として成立するのではないだろうか。
生成 AI は著作権侵害に当てはまる場合があると思う。

●受付番号　185001345000007674

好きなイラストを描く方がAIで無断使用されて筆を折ることがないか心配。私自身もイラストを趣味で描くのでAI学習で無断使用されてなんらかのトラブルに巻き込まれるのではないかと不安。

●受付番号　185001345000007675

要約したらAIを合法化する話ですよね？
自身で1からというか0から創作する側としてはなんの利点もありません。
撤回して頂きたいです。
何を大切にすべきなのかもう一度精査してみては？
日本の未来を潰しかねない事案です。

●受付番号　185001345000007676

クリエイターの創作物を無断で生成 AI に収集され改悪され、我が物顔でソレ等を自らの創作物だと宣う輩がいます。
クリエイターが培った技術で作った作品を生成 AI という形で掠め取る輩のせいで、大勢のクリエイターの著作権が侵害されていると言えます。
更に、イラストに限らず写真等の実物の物でさえ生成 AI は容易に紛い物を作ることが出来てしまいます。
これにより、生成 AI で作られた紛い物の生物写真が web に拡散され、どれが正しい情報か判断し難くなっています。
生成 AI の登場により、多方面の文化が汚染され破壊されていると私は感じます。
以上より、生成 AI は規制するべきです。

●受付番号　185001345000007677

基本的に、現在の生成 AI に関しては否定的な意見を述べさせていただきます。
現状の生成 AI はインターネット上のイラストを寄せ集めてそれっぽく見せているだけであり、個々のイラストレーターのような個性を見出すことは出来ません。いわゆる劣化コピーであります。
イラストにおける個性というのは、先達の真似・模倣が完全にはできない人間だからこそその過程で生まれるものです。完璧にコピーできてしまう生成 AI では、人々を魅了する新しい個性は生まれません。
個性が消えるというのは漫画アニメの先進国である日本においてはその独自性を失うことによる大きな損失にほかなりません。
我が国を漫画アニメのガラパゴス大国とたらしめたのはその継承と個性の発展故です。
考えてみてください。
仮に空手家の動きを完全にコピーできるロボットがいたとして、ではその後の世界においては武芸を嗜む人間の必要性はなくなるでしょうか。
将棋の AI が人より強かったとして、プロ棋士同士の戦いをすべて AI で代用できるでしょうか。
人が生み出すものは、人が生み出すからこそ価値があるのです。
不完全なものしか生み出せない人間だからこそ、完全なものを生み出そうと競うことにミリョクが生まれるのです。
また、仮に生成 AI が独自の絵柄を見出したとしてもその学習過程において多数のイラストレーターの絵を無断でデータ使用していることには代わりがありません。
これは絵画から写真になったことや、紙とペンからパソコンに変わったこととは大きくわけが違います。
写真と絵画が両者ともに残っているのは、写真ではできない表現を絵画では挑戦することができたからです。
紙やペンとパソコンが未だにどちらも使われているのは、その持ちうる場面を切り替えることが可能だったからです。
これに対し生成 AI とイラストレーターは違います。生成 AI はイラストの無断使用の延長であるため、写真と絵画のように「写真にできない表現を絵画で再現」というのはできません。
イラスト分野で新しい表現を生み出したとして、それをコピーできてしまう以上「イラストにできて生成 AI にはできない」というような可能性はありえないからです。
紙やペンとパソコンのようにも行きません。イラストの発表場所は現在インターネットである為、表現される場面が切り替わることは無いからです。
お願いします。一つの文化を消し去るか、存続させるかの分かれ目です。

健康で文化的な最低限度の生活は基本的人権の要項ではないのですか。
どうか目を向けてください。
よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007678

5.各論点について

（1）学習・開発段階

AI の学習に関して、現在は一般の AI 利用者が AI に「自由に」学習をさせて、作品を出力できてしまうことに問題がある。学習に関しては AI 事業者のみにとどまらせる必要がある。

現在生成 AI により起きている被害は、某有名クリエイターに成りすまして AI で生成したものを販売や、有名絵師風の生成 AI を配布など、数多くある。それらに対しクリエイター達は明確な利益損害や、「AI 風の絵柄の絵師」と名誉棄損を受けている。

そもそも、生成 AI のデータセットなどに何千、何万と勝手に作品を利用されている、その時点で著作権侵害の可能性がある。努力して完成させた数多のクリエイターの作品達を勝手に鍋に入れられて混ぜられて出力された AI 作品。例え特定のクリエイターの作風に似ていなくても気持ちのいいものではない。

AI 作品が著作人格権侵害作品と思われているのも仕方がない。

現状、生成 AI の正しい使い方というものが確立されていない。

生成 AI の技術はよくても、実用に関しては、ほぼすべてがブラックよりのグレーである。舗装されていない道だらけの村々で急に自動車を普及させているような現状だ。なので誰でも生成 AI に学習させることができる状況を変えるべきだ。

AI 作品は著作権に違反するか否かではなく、学習できる者をまだ AI 開発事業者に留ませておくべきである。それに誰しもが「AI に自由に学習させられる」事が著作権に関する問題の火種である。これは無暗に配布していい権利ではないと考える。

●受付番号　185001345000007679

生成 AI による出力に著作権が認められた場合、AI に創作物を学習され、そのデータを用いて新たに著作者の権利の範囲外で大量に自分の作風が取り込まれた生成物が生み出されることを恐れて創作物の発表を止める動きが活発になることが懸念されます。これでは絵画やイラストが新しく生まれない為当該文化の衰退に繋がります。
AI が生成物を生み出すのに比べて、創作者が絵を作り出すのには遥かに多くの時間が費やされています。同じ時間における両者の生産量の差は一目瞭然です。その点において創作者が不利な不必要な競争を強いられることになり、創作者の利益が脅かされることが考えられます。創作者が著しく利益を損なう環境を生み出し兼ねない為 AI 生成物は生成者の表現に対する意志の有無に関わらず、あくまでも著作権の認められるものという従来のものの中に位置付けるべきでないと考えます。AI 生成物という新たな分類をして分けるべきです。
また、データの取り込みに対して創作者の意志が無視される点にも問題があると考えます。あくまでも AI が発展するためには創作者の存在が不可欠です。著作者が加工、無断転載を望まないのに、法的には問題がないため学習という大義名分を盾にその意志に反してデータベースに組み込まれてしまうことは著作者への冒涜行為です。上段のように創作が衰退すると AI の発展にも悪影響が出ます。双方に悪影響を与えかねないため改善していただきたいです。AI の学習にデータとしてイラストを用いるのならその著作者の権利を守り、敬意を持って利用する 双方が対立せずに共存する基盤が必要不可欠です。
法律に詳しいわけではないので間違った解釈などがあるかと思いますが、一意見として受け止めて頂けると幸いです。

●受付番号　185001345000007680

『３．生成 AI の技術的な背景について　（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について』の「著作権侵害の防止に資する技術的な措置を導入している事業者もいる。」
項目１から３は普及前に講じられる予防的な措置として法的規制またはガイドラインを設けるべきであったじこうであるため、直ちに項目１から３の措置を実施義務としていただきたい。
現状、国内外を問わず権利者等から学習用データセットから削除する要求に応じない事業者が横行しているように項目１から３の予防的な措置実施されていない。
『４．関係者からの様々な懸念の声について』について
＜クリエイターや実演家等の権利者の懸念＞は現在でも確認できることから懸念ではなく事案となっている。
現状、業とするもの、業としないもの問わず著作物を無断で生成 AI の DB へアップロード（学習）しており、特に業とするものによる学習行為は金銭的な果実を目的としており権利者の権利制限規定が適用されるとは考えにくい。
なお業としないものも生成物を権利者の権利制限規定による利益の範囲外での利用に使用できるため、当面は権利者の権利制限規定の適用外とする運用を行うべきである。
また、記述されていない懸念として著作者は AI 生成物を自分の著作物、逆に AI 生成者は生成物を学習元著作者の著作物として誤認されやすいというものがある。
この懸念は著作権者または AI 生成者の社会的信用を大きく損ない、特に現在では電子書籍流通や音楽流通、画像流通を見ると AI 生成物を出版社または著作者を詐称し販売するといった事例が多数見られ、これらの事案が流通プラットフォームの信用を棄損している事から早急な対策が必要となる。
この対策のひとつとして、AI 生成による生成物および生成物を加工したものには生成以外の著作物と区別できるよう生成物に明記する義務を提示する。
『【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】　カ AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に、権利者による差止請求等が認められ得る範囲について　（イ）学習済みモデルの廃棄請求について』について
出版社および著作者詐称事案が多数見受けられることから、要件の「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為によつて作成された物」に該当し、また学習元著作物そのままを出力できた事例があることから、要件「学習データである著作物と類似しないものを生成することができる」ことは担保されない。
よって現在の生成 AI の学習の機序を備えた DB すべてが公的機関または権利者の差止請求等が認められ得る範囲となる。

現状を俯瞰すると、生成 AI を使用した生成物をもって特定人物の社会的信用を棄損する事案や権利詐称による虚偽の信用とそれによって得られる金銭的な果実を目的に生成物を使用する事例が多数見受けられ、このままでは AI の健全な成長は全く期待できない。
また正しい利用目的とは思えない AI 学習のままでは生成物を二次著作物とみなした権利整理も議論できない。
速やかに健全な生成 AI 環境の構築を期待したい。

●受付番号　185001345000007681

私は現在、エンタメ企業に所属しています。
社内や社会に向けた新しいIPを検討してもらうための資料に、生成AIによるイラストを組み込んでおります。
このような使い方であれば、イラストレーター達の権利を害することなくエンタメ業界の発展に繋がるのではないかと考えております。
しかし単に生成AIを用いただけの作品を「自らの著作物である」と称して公開することには、上記のようにエンタメ業界の発達に繋がるとは全く思えません。
現在の日本は素晴らしい一次創作物に溢れており、それを世界にも大変評価されています。
生成AIが登場して以来しばらく経ちましたが、上記のようなクリエイターの権利や活躍の場が奪われ続けるばかりで、これ以上のさばらせていても中国や他の国々に遅れを取っていくばかりです。
AIによる生成物は、
・作品として公に出さず収益も得ず、個人的に使用するだけならOK
本当にこの範疇に留めておかなければならないと考えております。
何卒ご検討の程よろしくお願いします。

●受付番号　185001345000007682

「人間が自らの手で作成したものと見まがうようなコンテンツを生み出すことが可能となってきた」と在るが、人間が自らの手で美しく作ったものを、「単にいくらでも読みこませることのできるプログラム」であるとを忘れてはならない。美しく出力できるのは人の作った美しい元の著作物を「使用しており」「どこからのものかもわからず」それが全て著作者の財産物で在るにも関わらず、誰でも扱える状況を放置していることは最も問題であり、この状況に歯止めがかけられることが急がれる。
「著作権が侵害されるのではないかといった懸念の声」が在るのは、まさに侵害（著作者の絵を読み込ませている）されているからに他ならない。
「特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成物によって代替されてしまうような事態が生じる場合、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当し得ると考える余地があるとする意見が一定数みられた。 」
とあるが、
不当に害することとなる場合、というよりほとんどが不当に害すると判断できるケースの方が多い。
著作物は元の著作者の財産そのものであり、それを勝手に使用している、この時点ですでに著作権を侵害している。
「不当に害することとなる場合」はレアではありません。著作物である以上、それを無断で使用することは著作権侵害に他なりません。まずそこが前提であるべきです。
実際には「著作物を読み込ませれば人気作品と酷似した別のものと主張できるものが簡単に大量に作流ことができ、販売してもお咎めがない」と泥棒を許す国、の状態です。
利益は当然不当に害されています。
そのケースが現在問題になっており、著作者の絵を読み込まれたであろうことがわかるものを販売される被害が後を断ちません。すでに犯罪は横行しているのです。
これまでの歴史上、常に手工業は機械生産に置き換えられてきましたが、AI 生成はそれに該当もしません。「単に人の手工業より生まれたものを機械に読み込ませている」だけであり、
需要の奪い合いをするシェア争いの舞台に、この 2 件は立ち得ることはありません。
かたや盗品、かたや著作権のある守られるべきもの、です。
不当な侵害そのもので在るため、
現行の生成 AI による著作物の勝手な使用ができる状況は逸脱しています。
著作物は「著作者本人の財産」です。
「ナイフは人を刺せますが、使う人次第」とよくことばが出てくるでしょうが、
生成ＡＩを今のまま自由にすることは「刺さってるナイフ」「もう刺さっているナイフ」です。

他国のように「即ストップ」しなければ。
この日本の本来の財産をわざわざ潰してまで生成 AI を推進しようとするのは
今ある価値を下げ、潰し、飽和させ、無価値を産む愚策です。
「著作物となるための要件としては 1 思想又は感情を、2 創作的に、3 表現したものであり、かつ、4 文芸、学術、美術又は音楽の範 囲に属するものであることが求められる。」
この著作権の定義も古いままで、非常に細やかに検討されねばならないが、
これらに該当する著作物が保護されているにも関わらず、
「それを生成 AI に読み込んで使用していい」状況は、矛盾にほかならない。
準じて「無断に読み込まれない・トレーニングに『使用されない』保護」が急がれる。
英国貴族院の生成 AI に関する報告書のように
・著作権は他人の作品を許可なく使用することを禁止する
・現状の法律がこれを保証できないのであれば、法律を更新する必要がある
・権利者は自分の作品が許可なくトレーニングされていないかどうかを確認できる必要がある
・許可のないトレーニングは公正であるという AI 企業の主張に正当性はない
・貴族院は裁判所に投げるのではなく政府が行動しなければならないと言っている
・大規模で高品質な学習が完全に許可性のデータセットへの投資を奨励する
この同様の認識は迅速に日本においても更新されなければならない。
著作物をいかに AI に使えるようにできるか？の議論以前に、人の当たり前の財産権・人権を、いかにして守るか。
これを基準に考えているとは認識し難い素案に、日本のコンテンツの衰退への懸念が欠いており不信を禁じ得ない。

●受付番号　185001345000007683

AI と著作権に関する考え方について（素案）中の、AI による生成物の著作物性が認められる、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分について著作物性が認められるという考え方に反対いたします。
生成 AI というものは、学習物がなければ出力はできるようになりません。学習物がオリジナルであり、出力されたものは贋作をただ切り貼りした程度のものです。そこには創作性などありません。それに著作権を認めるというのは、著作権者の概念をあいまいにする考え方であると思います。
現に、
1.なりすましによる生成 AI 画像販売問題（著作権侵害・無断学習）
[redacted]
2.NY Times 社による OpenAI 社提訴
https://www.nytimes.com/2023/12/27/business/media/new-york-times-open-ai-microsoft-lawsuit.html
3.Deep Fake による社会的混乱の誘発
https://youtu.be/cQ54GDm1eL0
4.生成 AI 画像流入による混乱の誘発（無断転載・無断学習問題）
[redacted]
上記のようなトラブルを引き起こしています。
また、ここ数か月の状況を観察していると、生成 AI の恒常的な使用者の多くに著作権軽視の傾向があると言わざるを得ません。
生成 AI に著作権を与えることで、出力画像等が悪用され、それにより創作物を制作する人口が減り、生成 AI 自体も衰退（創作性が著しく低く、似たような物しか出力されなくなる）、結果、創作者人口が減ることで日本の創作物（漫画・イラスト・音楽等）における国際的な優位性も失われる、という未来しか想像できません。
現状ではまだ生成 AI は個人的な利用にのみに留め、また、生成 AI によって出力したいかなるものにも著作権を与えるべきではないと思います。
生成 AI に関する権利問題については、開発・学習ルールの決定と安定的な運用を確認してから決定すべきであり、現状ではまだ時期尚早だというのが現時点での私の考えです。
よろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007684

便利だから、費用削減になるから、クリエイターの権利を踏み躙って OK を出しているという印象しか見受けられない。クリエイターが丁寧に育ててきた土壌を荒らすだけの結果になるのは目に見えているのではないでしょうか？

　真摯な対応もなく、クリエイターの未来も考えていただけない、当然の権利すら奪おうとする姿勢にただただ悲しいです。

●受付番号　185001345000007685

素案の中の、以下の論点についての意見です。
（引用ここから）
５．各論点について
（４）その他の論点について
○　他方、コンテンツ創作の好循環の実現を考えた場合に、著作権法の枠内にとどまらない議論として、技術面や考え方の整理等を通じて、市場における対価還元を促進することについても検討が必要であると考えられる。
（引用ここまで）
・AI 開発における市場への対価還元策としては、「特許権の考え方」を取り入れる形が良いのではないかと思います。具体的には「AI 開発者・事業者に対して、開発した学習済モデルの独占権に期限を設定し、期限後は一般に公開するよう義務付ける」という形です。
　現状では開発した学習済モデルを市場に公開するか否かは開発者に一任されており、高性能なモデルが作られても、それが市場に公開されなければその利益の大部分は開発者が独占することとなります。
　公開を義務付けることは、学習に用いられたデータの著作者への還元という面もありますが、「開発の成果を他の開発者と共有し、市場全体としての進歩に貢献する」という面において、大きいメリットがあると思います。開発者からの視点としても、AI の開発においては追加的な学習が一般ユーザーでも可能なほど広まっているということもあり、他者の成果の共有を受けられるようになれば、「自らの成果も市場に共有しよう」という動機になりうるというのは十分に考えられると思います。
　またこれは、市場の独占・寡占を防ぎ、健全な競争を促すという面においても利点があると思います。潤沢なリソースを持つ企業等が高性能なモデルを作った場合、それに永続的な独占権を認めてしまうとリソース量で負ける他の開発者は参入が難しくなってしまい、結果として富の集中が起こってしまう可能性があります。その富の集中は更なる参入障壁となるため、やがては開発者の減少・市場の縮小にも繋がるのではないか、ということを危惧しています。
　ただしこの案では、開発者の視点としては当然ながら「開発しても利益が少ないのならやる意味が無い」という意識になる可能性は十分に考えられるため、それを緩和するため「期限付きで独占権を認める」等の措置が必要になるとは思われます。もしくは「開発の規模に応じて制限を調整する」という考え方等もあるかと思います。
・この案が「技術的に実現可能か」という点については、「対象を限定すれば可能である」と言えると思います。

「あらゆる開発の成果を公開しなければならない」というのは確かにその捕捉可能性に難があると思いますが、「大規模な事業として営む場合」等に限れば、個別にコンタクトを取ることができるため実現可能性は高いと思われます。

・以上より、「学習済モデルを特許的に扱い、将来的に公開を義務付ける」ことは、市場への還元とコンテンツ創作の好循環の面から好影響があるのではないか、と思います。

・ただし、当然ながらAI開発は世界中で行われているため、もし日本だけがこれを取り入れたら、開発者からは「日本だけが不利になる」とみなされるということは十分に考えられます。実現させる場合は、他国と連携して同じ姿勢を取ることが必要になってくると思われます。

（他国と連携する場合の考え方の一例：米国等におけるフェアユースの「1. 利用の目的と特性（その利用が、商用か非営利の教育目的かなど）」や「4. 著作権のある著作物の潜在的市場または価値に対する利用の影響」から考えると、学習済モデルを独占することは「商業的な使用」かつ「市場への影響が大きい」と思われるため、現行法でも解釈次第で永続的な独占権は否定できる可能性はあるのではないか、と私は考えています）

●受付番号　185001345000007686

生成 AI について私なりの意見を
・生成 AI へのコマンドやプロンプトの指示は、仮に創作的寄与に値する努力や労力が払われたとしても、最終的に出力されたものは全面的に AI による判断と見做し、如何なる場合においても著作権は発生しえない。
・生成 AI はその技術の特性上、学習ソースの詳細な開示は殆ど不可能であり、故意か過失かに関わらず利用者は創作者から著作権の侵害に関する申し立てを受けた際には第三者の裁判員(この場合は主に創作関係の業種にある者とする)による十分な検証・裁判を経たのち、相応の刑罰を強いるものとする。
(AI 開発元による学習データの開示は殆ど不可能なため、作風等の創作的意図の最終的な判断は民主主義に基づいて公共の意見を参考にする)
・生成 AI を用いた著作物による既存の著作権侵害の責任は、当該著作物を創出する直接的要因となった著作者が全面的に負うものとする。
本音：生成 AI(特に外国籍の企業によって開発されたものや、海賊版を学習したもの)による著作物は、原則として AI を使用した旨及び使用した AI の開発元を明記することを義務付け、違反した際には相応の刑罰を科すことを要求する。

●受付番号　185001345000007687

生成 AI は現在あらゆる分野で野放図に海賊版並みに盗用され作者の仕事を踏みにじっているのが現状です。
イラスト界隈では元々の作家さんから盗用するだけでなくそのイラストを使ってなりすましや作家さんの絵を抽出した上で首をくくる絵のようなものを生成する等の悪質な行為を行う人もいます。
人気のある絵を抽出する利用者が多すぎて元の作家さんが埋もれ、目新しさが無いと仕事が減った作家さんもいるかと思います。
まず AI 利用の制限、学習元の許可制、他者へのなりすましへの厳罰、金銭に関わる行為の制限、作家の著作権を守るという事を第一に法整備が無ければせっかくのアニメジャパンと言われたら文化が盗用まみれになり衰退してしまいます。
既に盗用や嫌がらせで筆を折った、休止した作家さんもいます。
学習元とのコラージュで作家本人が描いていないのにポルノコラージュを作られ、更にそれを作家の物と誤認させるようなコメントをつけて投稿する悪質な行為を許してはならないと思います。
また三次元でも簡単に女性の写真でポルノのコラージュができてしまう等現実の人間にも被害がでています。
一刻も早く生成 AI についての法整備求めます。

●受付番号　185001345000007688

自分が作った作品を改変され、我が物顔で世の中に公開されてしまったことがきっかけで亡くなってしまった方が出てしまいました。
脚本家の中には、「原作者がうるさい」と言わんばかりのコメントを発している人もいましたね。(今はアカウントに鍵をかけているみたいですが)
これと同じようなことが、生成 AI 周りでも起こるのではないかと思います。
より醜悪なのは、件の脚本家は原作ありかではあるが話作りはしていたんですよね。
ただ、生成 AI ユーザーは、原作者の作品だけ読ませて後は自動でポチっ。原作者の話に合わせて言うのであれば、”話作り”は全くしていないですよね。”話集め”、もっとはっきり言うと”話盗み”をしているのが生成 AI ユーザーです。実際は話じゃなくて画像データですが。
これを許可すると決定する側に、クリエイターはいるのでしょうか？
作品を作るための勉強や努力をしたこともない人が、「楽だから」「コスパ良いから」め言う理由でルールをつくろうとしているようにしか思えません。

●受付番号　185001345000007689

簡素ではありますが、作成された創作物を甘受する消費者の視点から、
生成 AI の作成・使用については何よりも著作者の権利が守られるべきである、と考え、無秩序・法的根拠の無い学習のために、無許可で個人及び団体の作品の収集・活用するのは禁止すべきであると考えます。
　既に個人クリエイターの作品をなかば強奪するような形で学習データとして収集、作風を完全に模倣し、作者になりかわり、その利益と創作性を簒奪しようとする例が見られています。これは著しい著作権及び著作者人格権の否定であると思われます。
また、悪意をもって実在の人物の写真・映像・音声データを基にフェイク動画を作成、詐欺行為を行っている例も見られます。岸田総理のフェイク動画が作成されていた事件が代表的だと思われます。これが今後、より詳細かつ精度の高いものになり、悪用される可能性は大いに考えられます。実在する個人の名誉を棄損し、仕事と収入を奪い、無実にも拘らず犯罪に巻き込まれる可能性も考えられます。
そのため、学習するデータ元は著作権者に許可をとったもの・一定以上の基準をクリアしたもののみに限るべきだと考えます。
もし無許可で収集したデータ元が他国の管理・規制下にあったものの場合、個人で対応できる範囲を超えるであろうことは容易に想像できます。加えてそれを無辜の他人に擦り付ける詐欺が横行するであろうことも起こりえるでしょう。一般の、ごく普通のクリエイターに長期の裁判やそれにかかる時間と費用を捻出することはほぼ不可能です。日本という自由な創作ができるからこそ発展してきた文化のある国にとって草の根のクリエイターを根絶やしにし、新たな文化の芽を摘む行為にしかならないと考えます。
AI という技術自体は大変すばらしいものであり、適切な法律と倫理観の元で活用されるならば人類の発展に寄与するものとして大いに発展すると思います。
ですが、無秩序・無制御のままに放置して良い方向に発展するとは思えません。悪意をもって利用しようとする人を規制しなければ、どんな技術も悪用され腐るばかりです。
私は多種多様な文化を享受している側の人間として、悪意をもって他社から盗用された技法・作風・権利を有する作品は断固として拒否します。
盗品がはびこり、あらゆるクリエイターが虐げられ、新たな文化と自由な言論が生まれなくなることを何より忌避します。
日本のあらゆる創作者・文化人・芸能人・数多の作品への敬意をもって、我が国のより良き発展に寄与するような法制度の整備を求めます。

●受付番号　185001345000007690

イラストレーターです。生成 AI はゲーム会社のイラストチーム内でも、権利に問題がありとても使用できたものではないです。使用すれば毎回 SNS で炎上している現状です。おまけに犯罪に簡単に使えるような代物です。AI 作品に著作権を与えるなんて言語道断です。芸術文化が確実に終わります。

●受付番号　185001345000007691

４．関係者からの様々な懸念の声について
＜クリエイターや実演家等の権利者の懸念＞
○4 及び
５．各論点について
（３）生成物の著作物性について　イ
・著作物性を判断する要素として、作品の発表数を考慮してはどうか。
生成 AI を利用することで大量の生成物を出力することができるが、それらの生成物を漫然と発表・投稿している場合には、創作的寄与の判断においてマイナスに評価する。これにより、保護される作品数が従来の創作と比べて極端にならず、新規の創作の幅が保たれる。
４．関係者からの様々な懸念の声について
＜AI 利用者の懸念＞
○2
・生成 AI に限らず、炎上を引き起こして意見を通そうとする手段は誤りだと考える。炎上による制裁は公平性を欠き、法律を無視したものである。生成 AI の適切な利用があることを更に周知する必要があると考える。
５．各論点について
（４） その他の論点について
・著作物に当たらないものについて著作物であると称して流通させる行為は民法上・刑法上問題であるとされているが、当該行為を立証することは現実的に困難ではないか。問題であるとしつつも取り締まれない状態は、順法意識を低下させないだろうか。

●受付番号　185001345000007692

３．生成 AI の技術的な背景について

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について

現在、AI 利用者が如何なる行いをしようと AI 開発事業者・AI サービス提供者が責任を問われる事がありません、そこで

・AI 開発事業者が学習に用いた作品を保有している必要がある

・保有している作品は誰もが自由に閲覧可能な状態になっている

・閲覧可能な作品は『著作権法第２１条』をクリアしている必要がある

上記の条件があれば著作権が意図せず学習される事を防止し、無断で学習されている事を法的に訴える事ができる。

また、現実の児童ポルノ等が生成 AI よりロンダリングされ世に拡散される事を防止する。

●受付番号　185001345000007693

他国が規制する方向の中で出し抜くチャンスと捉えての事なのでしょうがもう少し様子見や歩調を合わせるべきかと思います。
AI 推進派のとにかく儲かればいいという倫理観を欠いたやり方を進めるのであれば日本の文化とそれらに関わる産業はこの先衰退しか待っていないと思います。

●受付番号　185001345000007694

現在漫画家をしております。
昨今の AI の目覚ましい技術発展自体は開発者の皆様の追力の賜物だと歓迎しているのですが、
他者の著作物を無断で大量に学習し、それを無断で他者が活用することは学習元となった著作者の成果物を無断で使用していることになり、権利が守られていないと感じます。
また、絵柄自体には著札権な無いことは存じ上げておりますが、生身の人間が絵を真似て描くことは人間のリソースの限界があって許されているのであって、AI が絵を完全にトレースした上で出力することは、著作物を無断でコピーして配布しているのと何ら変わらないと思います。
そういった観点から、AI による学習元を厳格に規定するように訂正していただきたいです。

●受付番号　185001345000007695

AI による画像、文章などの生成に関して、作者の許しなく作品を読み込ませるている、という点にそもそもの疑問を感じています。AI を使用して生成する側が「使用します」と許しを求めること、またオリジナルの作者側がこれを「読み込ませてもよい」と承諾することが、妥当ではないかと感じます。

●受付番号　185001345000007696

１．はじめに

まず、文化審議会著作権分科会法制度小委員会の委員構成には重大な問題がある。議事録を読む限り、同小委員会の委員は大多数が生成 AI に対して推進的な立場を取っているものと評価すべきであり、最大の利害関係者である著作権者の利益を適切に代弁できる委員が存在していないとすら言わざるを得ない。則ち、本素案は、利害関係者である著作権者を排除した不公正な小委員会によって提示されたお手盛りの解釈指針である。これは、行政法上の行政指導に過ぎないとはいえ、現実に生成 AI による著作権侵害を行っている者たちに対して、自らの侵害行為が適法であるかの如き誤解を生ぜしめる危険性を有する行為であり、実際の生成 AI 被害者の救済を妨げ、ないしは被害を助長するという意味で、文化庁による背信行為ですらある。断固抗議するとともに、同小委員会の委員構成を改め、十全の情報収集の後に、AI と著作権に関する考え方について再考することを強く求める。その際には、例えば日本音楽著作権協会や日本イラストレーター協会のように、適切に著作権者の利益を代弁することのできる委員が過半数になるように構成すべきである。制定当時に生成 AI への適用が想定されていなかった著作権法 30 条の 4 の解釈を変更して、著作権者に対する補償することなく、私有財産たる著作権の行使を制限する以上、著作権者の利益を適切に代弁し得る者が半数に満たない会議において、その考え方を議論することは著作権者の利益を不当に害することに繋がりかねないからである。このことは、図らずも本素案が自ら証明している通りである。

５．（１）学習・開発段階

先に挙げた著作権者の利益を代弁する団体の声明（参照：「画像生成 AI の適正使用及びそれに伴う著作権制度の整備等に関する提言（第 2 版）」（https://support-creators.com/archives/87）及び「生成 AI と著作権の問題に関する基本的な考え方」（https://www.jasrac.or.jp/smt/release/23/07_3.html））にも示されている通り、多くの著作権者は自らの著作物を生成 AI の学習のために許諾なく利用されることを拒絶している。これは SNS のプロフィールにおける意思表示や、生成 AI による学習に対して優柔不断な態度を取ったイラスト掲載サイトにおける大規模なイラスト非表示化といった、個人クリエイターの言動からも推認される。著作権者の総意であるとまでは言わないものの、現に学習禁止の意思を表示する著作権者が多数存在しているにもかかわらず、「著作権者が反対の意思を示していることそれ自体をもって、権利制限規定の対象から除外されると解釈することは困難」と切り捨て、著作権者の反対の意思を反映させる 30 条の 4 の解釈論を検討すらしない態度は、著作権者に対して極めて不誠実であるといえる。

もっとも、同条柱書ただし書の適用判断が個別の著作権に対して行われるべきことは、著作権法の建付け上致し方ない帰結ではある。しかしながら、著作権法の趣旨は「文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与

すること」であるところ、多くの著作権者が拒絶している権利制限を強行する解釈を提示することは、著作権者の創作意欲を損ない文化の発展を阻害する結果を生むことは想像に難くない。文化を守るべき責務を負う文化庁としては、生成 AI の学習のための無許諾複製から著作権者を守る解釈を提示すべきであり、現行法の解釈上著作権者の保護を図ることが困難であると判断した場合には、新法の制定を含む他の手段による著作権者の保護の道筋を模索し、提案を行くことが強く求められるはずである。少なくとも、我々創作者が文化庁に期待する役割は文化とそれを支える知的財産権の保護であるところ、本素案は完全にその期待に背いているものと言わざるを得ない。失望である。

同様の文脈で、本素案が 30 条の 4 の検討の中で著作者人格権が権利制限を受けない旨の言及をしていないことが、ミスリードを誘う不誠実な書き振りである。生成 AI の学習の際にはデータタセットへの搭載に伴って必然的に同一性保持権を侵害する他、生成の際には同一性保持権と著作者氏名表示権が侵害される場合があるにもかかわらず、本素案の書き振りでは 30 条の 4 による権利制限がこれらの権利にも及ぶかの誤解を生ぜしめる蓋然性が高く、１．で述べた通り、生成 AI 利用者による権利侵害を助長する虞が大きい。文化庁に期待されるのは、権利制限規定の適用範囲を明確化し、無用の権利侵害が生じないように周知を徹底することであり、本素案のような権利制限規定の脱法的悪用を可能とする解釈論の提示ではない。著作権者の保護に主眼を置いた形で修正することを強く求めたい。

●受付番号　185001345000007697

一消費者としての意見にはなりますが、現在の世に出回っている生成 AI なるものは世間が考えるような「AI」とは全く別の技術であり「学習」とは名ばかりの大量のデータを無断に収集して切り貼りした著作権を侵害しているというのが現状です。
真に「AI によるイラストの作成」が可能なクリーンな技術であればこうも反対する声は上がっていません。
このような生成 AI が今後もまかり通ってしまうようであれば、そもそものデータを収集する元のイラストレーターが今後この日本で成長することが出来ない環境が出来上がってしまう恐れがあります。
イラスト以外にも音声や個人の写真なども生成 AI の「学習」による無断収集をされているので肖像権の侵害などにも該当するだけではなく、ディープフェイクにより偽の情報が広まることで様々な人々に悪影響を及ぼしてしまいます。(政治的扇動や個人を攻撃して自殺に追いやったり等…)
以上から著作権への侵害だけではなく、現状多くの問題を抱えている生成 AI に対しては規制をしていくのが妥当かと思われます。

●受付番号　185001345000007698

イラストレーターさんやディークフェイク被害者の嫌と言う意見が揉み潰されている現状を変えねばいけません
作成 AI という名前は立派ですが本質は人のイラストや写真等の作品をお借りしないと何も生み出せない物です
そして現状人様の作品を無断で持ち逃げしそれを使って画像を作る人がクリエイターを名乗っています、まるで犯罪者応援ツールです
イラストや写真の 1 枚や 2 枚持ち逃げされた程度で何を大袈裟なと思う方も沢山いらっしゃいますが本来人様の物を勝手に盗むのは犯罪です、小さな窃盗なら許されるべきという法律は有りませんし小さな犯罪でも許してしまえば感覚がおかしくなり被害はエスカレートしてしまいます、不満の声が増えている原因としても何をしても裁かれないと調子付いた加害者達や少しぐらいの犯罪は許すべきだという事なかれを押し付ける人々の影響は少なからずあります
更に残念ながら作成 AI の一般ユーザーはエロ画像、ポルノ画像や事件画像等センシティブな画像ばかり作成公開していてより悪印象に拍車をかけています…拘って撮った写真や思い入れのある画像がセンシティブな画像の素材に使われているのは嫌がられても仕方ないでしょう、未成年の画像を取り込み作成されたポルノ画像がとても多い事を知ると AI やイラストに興味を持たない知人ですら酷い嫌悪感を示していました
では如何するべきかという問題ですが政府目線全面規制はしたくない、何かで役立てたいという意識は伝わってきます
ただ犯罪促進に貢献しているツールを少しでもマシにしようという気があるのなら一般人が作成 AI に無断で写真や絵を取り込ませる事を続けさせていてはいけません、無断学習を刑罰の対象とし学習しても良い画像を投稿出来るサイトを作れば大方の問題が解決します
本当に社会から求められている推進されるべきツールであれば学習して良い画像が沢山集まりますからね！
他にも実在の人物を使ったポルノ画像は流石に度を越した嫌がらせが出来てしまっているので作れない様にするべきですが…人様の作品を持ち逃げする事すら許してきた日本にそれが出来る技術者がまだ残って居る事を願いますよ

●受付番号　185001345000007699

現在ある著作物の権利を守らないのであれば、創作する人は居なくなります。この素案のままではエンタメ産業は衰退するだけではないでしょうか？
安易な生成 AI の推進に反対します。

●受付番号　185001345000007700

生成 AI の発展に伴い、著作権やエンタメ産業の将来に関することなど、様々な問題が懸念される状況にある。生成 AI に関して様々な問題が未解決の状態であり、生成 AI を用いた産業の推進には慎重であるべきだと考える。

●受付番号　185001345000007701

「AI 開発事 業者や AI サービス提供者側においては、このような著作権侵害が起きないよう、防止措置 を講じているものもある。」とあるが、この防止措置は前提の取り決めを国がすべきであると考える。犯罪に直結するためであります。被害が拡大していることを受け、各サービスは対応に追われているが、自由に扱うものとの差が生まれている。自由に扱うことを許可する企業からソフトを入手すれば、いくらでも著作権侵害したものを作り販売できる状況にしているからである。
高品質な学習においては、「研究機関に限り」「完全に許可制」のデータ内にとどめねばならないが、それであっても厳密な「許可元の著作物であるか」を確認する必要がある。
生成 AI を誰でも扱えるものにすることは「著作者の財産への被害・犠牲」そのものである。
「仕事が生成 AI に奪われるか」について。生成 AI というより、生成 AI ソフトを使用し「流行を作った人間の作品を飽和状態に貶める」など、著作者から表現の自由を阻害、または奪うことになる（なっている）のは間違いない。
著作者の表現の自由の阻害はすでに何件も起きている。精神や思想を注ぎ表現したものはいわば著作者の核を表に出す作業だが、動き続ければ体力が削られるように、精神を注ぐことは疲弊するものである。その積み重ねで産んだ成果を、無断で使用ができるような状況は人権侵害そのものである懸念が強い。
ラーニングをし放題にさせないことがまず想定に入っていなければならない。
AI 生成ソフトを扱う者の出力物は、偶然性により出来上がった美しい著作物の単なる融合品であり、これに著作権は認められるものではないことを強調したい。
著作物や肖像物共に、成果の横領・財産の強奪に等しく、実害は犯罪行為に等しいと考える。横行を自由にすることはあってはならない。
著作物の無断学習による、著作権及び著作者人格権に起因する問題の多発、著者の表現の自由の阻害、同時に品質飽和による文化や利益の衰退の問題点から、
研究機関に限った、かつ許可制の学習データの選別は必要である。

●受付番号　185001345000007702

生成 AI については海外と同じようにもっと慎重になって下さい。クリエイター部門においては AI は必要ありません。むしろ、それらのせいで筆を折って絶望する人すらいるのです。海外の AI に対しての拒否反応は創作と無関係の人でも相当なものです。日本の比ではないのはありません。
そうした声を上げ続ける努力が身を結んだのではないでしょうか。
生成 AI に反対する人を反 AI と呼ぶ人もいるようですが、生成 AI がもたらす問題を知っているからこそ反対しているのであって AI そのものを否定しているわけではないのです。日本は創作文化大国として世界から認知されているのにクリエイターを守る事に対して後手に回ってどうするのでしょう。
このまま人間が創作をやめてしまえば全ての作品を AI が作るなんて未来もあり得ます。しかし人を楽しませる事が出来るのは人だけなのです。生成 AI は創作の未来を潰すだけです。個人で楽しむ分にはいいとか創作ツールとして使えばいいとか性善説に頼った段階はもう通り越しています。どうか AI 本来の人の為になる使われ方をするような法を強く望みます。お目汚し失礼致しました。

●受付番号　185001345000007703

生成 AI の中でも、イラストや漫画などの「人が描いた絵を学習元にした画像生成 AI」について、いちクリエイターとして意見します。
【３．生成 AI の技術的な背景について（１）ウ】
画像生成 AI は学習元データの切り貼りにしか見えない生成画像が多く見られます。
現在の AI 性能では、画像に介入できる AI の独自性はほぼ無く、学習元の絵柄を「パクった」ものが SNS 上で多く出回っています。
例)・顔は学習元で、洋服だけズボンからスカートになった
　　・顔は学習元 A で、身体は顔とは違う学習元 B がつなぎ合わせられた
【５．各論点について（２）ア 】
・人間の描いた絵が著作権侵害をした場合と照らし合わせて、生成 AI で作った絵が著作権侵害に当たるのかを考える、という前提が間違っていると考えます。
画像生成 AI は、そもそもが著作権を侵害した画像が生成されるツールです。
生成 AI では、学習元にする絵を用意し、様々なプロンプトを経て改変した絵を出力できます。
学習元が著作物だった場合、AI 生成・利用された時点で、学習元の著作者の意図しない改変になり、著作者人格権・同一性保持権が侵害されるものになるからです。
そして多くの場合、学習元になる絵には著作者がいます。
・では学習元が複数なら良いのではないか。学習元が特定の 1 人の絵だからダメなのではないか。と思いますが、著作権侵害を複数集めたら著作権侵害には当たらない、とどうして言えるのでしょうか。AI なら、大量の学習元を用意することで類似性・依拠性を限りなく薄めることができます。複数の著作権者を巻き込みながら、かつ被害を悟られないようにすることが容易にできてしまうツールです。
・人間も、先人の絵から学んで絵を描きます。人間も色んな学習元があると言えますが、その絵を出力するのは人間なわけで、学習元の ABCD を足した絵が出来上がるわけではありません。だから今の著作権は、人の創作物に著作権があると認めているのだと思います。
しかし AI は、AI です。ABCD を足した絵ができます。人間が意図して ABCD を読み込ませているわけですから、意図した侵害はいくらでも、瞬時に、大量に、できてしまいます。
例えばそこに、著作物ではないもの（例えば人体の骨格、風景、肌の色など）をいくら加えても、意図して AI に学習元を読み込ませたことは変わらないはずです。
・クリエイターとしては、生成 AI は、人間のように「学習」しているのではありません。人間に意図的に「盗用」されたものです。大量の学習元を仕入れる行為や著作物に当

たらないものを混ぜる行為は、著作権侵害に当たらないようにする「工夫」ではありません。「盗んだものを繋いで加工」する行為です。
・勿論生成 AI の利用全てが著作物侵害になるとは考えません。著作者が生成 AI に自身の著作物を学習させることでたくさんのアイデアを生み出すこともできます。クリエイターでなくても、自身の写真を加工して楽しむことができるでしょう。
・しかしそれも開発元が、クリーンな場合にしかできません。大量の著作物を学習元にした生成 AI では二次的に利用者が著作権侵害をすることになるからです。先にも述べましたが生成 AI が著作権を侵害した画像が生成できるツールである以上、利用者が学習元の詳細を知っているかいないかは大きな問題にならないと考えます。クリエイターとしては、生成 AI は例えばピッキングツールです。買うのは良いし、自分の家に入るのも良いです。でもそれで人の家に入ったらいけないのと同じことが、イラストレーター、アニメーター、漫画家、絵を描く人々を取り巻く環境で日々起きています。
・「従来の著作権に関する判例がこうだから」ではなく「AI だから」という視点で著作権との関係を考えるべきです。新しい技術なら、新しい法をもって制することも必要です。
【最後に】
SNS で、生成 AI 疑惑をかけられ執筆をやめた人がいました。素案を 30 枚描いて依頼者に送ったら、これを元に生成 AI に作らせるからとアイデアを盗まれ依頼料も踏み倒された人を見ました。生成 AI で自身の写真を裸体に変換され苦悩の末自殺した人を知っています。
【1．はじめに】にもあるように、生成 AI で、人間が自らの手で作成したもの、つまり本物と見まがうようなコンテンツを生み出すことが可能です。諸外国が AI を推進しても、日本は日本で考えなければなりません。日本にはクールジャパンと銘打っている「生成 AI の学習元にうってつけのデータ」が膨大にあります。諸外国が AI に染まるなら、日本はオリジナルが守られる国になってもいいのではないでしょうか。それが次に銘打つ日本のプレミアとして、日本のブランド価値を上げてくれるはずだからです。ぜひ慎重に検討していただけますようお願いいたします。

●受付番号　185001345000007704

創作物を生成したクリエイターが守られず、AI による学習が肯定されることはあってはならない。
クリエイティブな文化が他国にも評価されており、クリエイターを守る施策が 1 番重視されるべき。むしろ AI は規制を強めるべきで、簡単に素人が手を出せるものにするべきでは無い。創作物で食いつないでいる人の生活を脅かし、筆をおらせる事態にも繋がる。

●受付番号　185001345000007705

画家とイラストレーターをしていますが、どう見ても材料が盗品の料理程度にしかならず、コレからの未来に貢献できるとは思えない。
ここから何か新しいものが生まれる可能性はなく、本来生まれたはずの良いものが消えて行くだけだと思う。

●受付番号　185001345000007706

著作権がある絵等の作品を AI で学習して再作成しそれを悪用や商売目的で利用する人を見たことがありとても不快に感じた。

●受付番号　185001345000007707

生成 AI 産業に反対します。生成系 AI は我々創作者の積み重ねた人生を全て無に帰す害悪なものです。美大に数百万円かけて進んでも盗まれるのでは日本の美術関係の方々の発展を望まなくなります。イラストやゲーム、動画なども同様です。クールジャパン政策で食い物にした挙句用無しになったらお金を払わない？そんな事が一般の会社で通用しますか？しませんよね？政府の人たちも材料費と人件費がかかっているご飯をタダ飯として食べる事は出来ませんよね？タダ飯して逃げたら逮捕されますよね？今やってる生成 AI の問題って単純で、『万引きしたら逮捕』っていう法律が改定されることと同じですよ？分かりませんか？小学生でも分かりますよね？あなたがた政治家は『万引きしたら逮捕』を分からないんですか？それ、『頭のちょっといい小学生以下』ですよ。盗んだら罰を与えるのか法治国家でしょう？生成 AI 産業を認めるなら日本社会のありとあらゆるものを強奪したって罪ではないと言う事になりかねません。当然政治家の先生方ならばこれくらいの簡単な事くらい当然お分かりですよね？

●受付番号　185001345000007708

「生成 AI の利用を中心に据え、創作活動を行うクリエイター」
→勝手に他人の著作物を学習させて、AI に出力させた物を発表したり販売することは創作活動と言えるのか。また、それを行う者をクリエイターと呼べるのか甚だ疑問である。
生成 AI を開発または利用する以上どうしてもデータ学習が必要になり、著作権を侵害することは避けられないのではないか。
2. 検討の前提としての「著作権法で保護される著作物の範囲」に生成 AI の生成した物は含まれないと考える。
なぜなら、「(1)思想又は感情を(2)創造的に(3)表現したものであって、(4)文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」という定義を満たしていないからである。
・生成 AI は思想や感情に関係なく、学習データを元に出力された結果であるため要件(1)を欠いている。
・生成 AI は学習した著作物を元に出力する関係上、同じようなものが出来てしまうため要件(2)を欠いている。
(また、そうして生成 AI の学習元にされた著作物が「生成 AI のようだ」や「生成 AI を利用しているのではないか」等の謂れのない誹謗中傷を受けるケースもある。
加えて、昨今では生成 AI による創作ではないことを証明するためにクリエイター側が証拠として作成過程を動画で映す等の工夫を強いられている。しかし、心無い生成 AI 利用者がそれすらもデータ学習に利用したあげくそのクリエイターが傷つくようなコメントを残すといった悪質な行為も見受けられる)
・生成 AI で出力することは言わば「他人が手間暇かけて作った料理を盗んできてレンジで温め、さも自分が作ったかのように振る舞う厚顔無恥な行為」であり表現でもなんでもないため要件 3 を欠いている。
・上記のことから、(1)(2)(3)の要件を欠く AI 生成物は盗作に近いため、盗作が要件(4)に当てはまるとは言い難い。
もうすでに、日本のみならず世界中で生成 AI のために無断でデータ学習に利用され、創作活動や経済的もしくは精神的にも被害を受けるケースが後を絶たない。
ただでさえ生成 AI が広まる前から、他人の著作物を勝手にトレースしたり切り取って無断で利用したりする行為は著作権侵害とされてきたのに、生成 AI の開発や利用においてはどうしても著作権を侵害してしまうため良い効果は得られるはずがない。
創作活動を支援する団体や企業が AI 生成物の投稿を禁止するケースも、上記の問題がクリアにできないからではないだろうか。
0 から 1 を生み出すのが難しいのは人間も AI も同じだが、そもそもクリエイターやその創作物にリスペクトのある人間なら、生成 AI を使おうとは思わない。そのクリエイターに

近づきたい、もしくは同じように創作活動をしたいなら、よく観察してどうやってるのか考えて何かしら今自分に出来る表現で自分の手を動かすはず。
ピカソの「30 年と 30 秒」の逸話ではないが、生成 AI を利用する人は創作を軽んじていると思わざるを得ない。
クリエイターが今まで見てきたものや考え感じてきたこと、好みや得手不得手、そういうものが創作活動で表現され、それに共感したり感動したりして魅力や価値を見い出されるのであって、結局誰が創作したかが肝心になってくる。
そしてそのクリエイターが創作したものが多くの人の心に影響を与えれば、世界に誇れるような文化的価値のあるものにもなり得るし、またそこからその人のようになりたいと思う人が出てくるかもしれない。
AI 生成物に著作権が適用されてしまうと、悪用を恐れて現在進行形でクリエイターが筆を折りかねないし、AI で入力するだけで出力されるなら何も学ぶ必要もないし、クリエイターに対価を払う必要もない、と様々な創作活動を軽んじる人が出てきてもおかしくない。
生成 AI 開発者または利用者に悪意があろうがなかろうが、ウォーターマークが付けられていようが、出力したあとに手を加えようが、生成 AI が他人の著作権を侵害しており実際に被害が出ている以上 AI 生成物に著作権は適用されるべきではない。
技術革新自体には罪はないかもしれないが、残念ながら今のところ生成 AI は悪用する人間のための技術になってしまっている。

●受付番号　185001345000007709

創作物は作成者の経験や知識から生まれたものであるので、易々と他者(AI を用いた二次利用者)にどういう理由があっても渡されるべきではないと思う。

●受付番号　185001345000007710

現在主流の生成ＡＩのほとんどが原作者の無許可で学習が行われており、クリエイターの権利が守られていないと感じています。特定個人の作風を集中的に学習したものは一際悪質であり、原作者の作品と競合してしまうほか、嫌がらせを目的としてそのような学習をさせたＡＩ生成画像をプラットフォームで投稿・販売をするという場面も何度か目にしました。そのため、ＡＩ学習への使用は原作者からの許可が絶対条件であると思います。

●受付番号　185001345000007711

5. 各論点について
いわゆる生成 AI は現状本来であれば著作物として扱われる分野（文章、絵画、イラスト、写真、音楽等）においてインターネット上で既に多数の生成物が発表されており、その現状を鑑みた上でこれらは制作、創作を生業とする人間にとっては受益機会を減らす可能性が非常に高く、また成りすましやその他模倣などによって権利を侵害される機会を容易に作り出すものであることは疑いようがないと言えます。
そもそもそれらの分野における生成物は「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としない行為」とは存在自体が相反するもので、それが AI 自体の研究を目的とした特殊なものでない限りは殆どその全てが「享受」を目的にしたものであると言えるでしょう。
対価を得、あるいは自己が承認される機会を得るために作品を発表するという行為は、著作物の「すぐれたものや物質上の利益などを受け入れる」こと以外のなにものでもありません。
「思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」は上で上げた分野においては非常に多くの作品が該当し、それらを権利者の許諾なしに学習するのは「享受が目的でない」という前提条件があって初めて成立する話であって、それらのデータを元に生成物を生成する行為は、出来上がった生成物に既存の作品との類似性があろうとなかろうと許されるべきではないはずです。
人間が制作した作品においては完成した作品の類似性こそが問題となりますが、AI の生成物にはその素体として人間の成果物が必要不可欠であり、それらの成果物の一つ一つは本来著作権法で守られる著作物であるからです。
著作物は権利者のものであり、何人も他人の権利物を自由にする権利はありません。使用するには他の著作物を利用するのと同じく、権利者が定めた規約に従い、また権利者が合意する対価を払って使う必要があるのは当然のことです。
また、生成速度において AI は人間の制作速度とは比べものにならない優位性を持ちます。このまま生成 AI に何の制約もないまま利用が進めば、発表される作品の総数において人間の作品は AI の生成物を大きく下回り、真に作品に触れ、著作物の価値を享受するために対価を払う顧客との接触機会を大きく削がれることになるでしょう。多くのクリエイターは廃業せざるを得なくなり、そうなれば AI が学習するデータは質量ともに落ちていくでしょう。
人間の学習は人を介すごとに変化を生みますが、既存のデータを組み替えて指示通りのものを作り出す AI にはそれは期待できません。
このまま生成 AI を何の制限もなく野放しにすれば、文化の担い手である各分野のクリエイターの困窮は免れず、文化自体の衰退を招く呼び水となるかもしれません。事実、ネット上では既に成りすまし等、悪意ある生成 AI 使用者の被害を受け、トラブルになった例

が多数あります。今後は商業におけるクリエイターの雇用にも影響を与えていくことは想像に難くありません。
また著作権だけでなく、写真等を利用したポルノ画像の生成による肖像権侵害や、ディープフェイク画像などによるでっちあげで冤罪をかけられたり等、より心身を脅かされかねない危険性もあり、逆に犯罪の証拠としての画像などの信用性の低下なども考えられます。
よって最低でも
■無差別学習の禁止
■権利者の許諾を得たデータセットを使用する場合を除いた生成 AI サービスの規制
■データセットをサービス提供に利用する場合の、データ保持可能年数や更新に関する取り決め
■AI によって生成された画像、文章、その他生成物が AI によって生成されたことを明確にする義務をサービス提供者に課すこと
■肖像権、著作権、その他の権利侵害の訴えがあればサービス提供元が使用者に対してサービス差止めなどの対処することを定めた法規定
■生成 AI を用いた作品を発表する際の、データ提供者のクレジットに関する取り決め
等、データセットの権利元を明確にすること、生成 AI 使用者が得るのは使用権であって権利の譲渡はされないこと、またデータセットに対して通常の著作物利用と同じく使用にあたっての規約を設けること、加えて AI 生成物と人の著作物の明確化が必要であると感じます。
決して「類似性の無いものには問題がない」「当該著作物を認識していないから問題ない」「複製のための機器とはいえない」などといった表面的かつ、希望的観測に基づいた楽観論ではなく、人間の成果物なしには存在し得ない生成 AI というものの特性を踏まえた上で、本来権利者が保証されて然るべき権利を守れるように議論を進めて頂きたいです。

●受付番号　185001345000007712

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

従来、自身の創作物が不正に利用された場合は明らかに違反だと分かるものでありその件数も少数ではありました。しかし生成 AI の場合はその件数が圧倒的に多く、とてもではありませんが著作者が一人で対応できる領域を超えてしまっていると考えられます。また本当に自分の創作物が生成 AI に利用されているのか分かりにくい場合も多く、第三者から見ても明確に利用しているかと言い切れないものだと思います。

そのため、従来の方法では現在のような様々な場所で利用されているかもしれない状況を著作者にすべて委ねるのは酷なものだと考えます。著作者以外にも、著作者が認めた人が不正利用等を扱える環境を作るべきだと考えます。

５．各論点について

（１）学習・開発段階

（２）生成・利用段階

生成すること自体については良いと考えます。しかしそれを SNS 等にアップロード、又は販売することが一番の問題点だと現在議論されているでしょう。

現状、多くの生成物は学習元を明記しておらず、そのほとんどが無許可で学習した後、自身の作品としてアップロードされています。最も重大なのは無許可で学習が行われていることです。例えば芸能人の写真を学習し、AI に服を脱いだように加工してもらうなどです。この場合は芸能人の方を侮辱していると言ってもよいでしょう。イラストレーターなどの場合も同じで、性的を目的としていないイラストを第三者が勝手に性的なコンテンツに変換することができてしまい、現状 SNS でも多く散見されています。そして膨大な学習元がある場合、もはや特定ができないでしょう。

故に、学習に使用したものを明記することを義務化させることが必要だと考えます。生成、利用についても生成されたものの学習元が配布されたものである場合、配布先や学習データの明記を義務化させ、商用利用に関しては商用で使うことを学習元の著作者に許諾を貰わなければならないとルールを設けた方が良いことでしょう。

次に、生成物がＡＩによるものであることの表示を義務化させるべきです。岸田総理のフェイク動画が問題になったように、政治的にもフェイク動画が今後利用される場合が増えていくことでしょう。また意図しない形で改変された自身の画像がフェイクだと分からない形でアップロードされた場合、創作物の価値が下がる可能性があり、著作者のイメージを損なう場合が発生するのは想像に難くないでしょう。そのため誤解を生じさせないために生成物であることの明記の義務化は絶対に必要です。

最後に、どこからが商用利用になるのかですが、生成物は非常に高スパンで労力をかけることなく量産することが可能です。そのためＸ（旧 Twitter）のような場所でインプレ

ッションで金銭を受け取ろうとする人が散見されます。こういったものも明確に商用利用と断定し著作者が容易に権利を主張できるようにするべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007713

5.各論点について
（３）生成物の著作物性について
指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
おそらく、本稿はプログラマーの作成する「プログラム」に対する著作権を参考にしていると推察する。プログラムの著作権についてはその独創性を認められる場合には作成者に著作権が認められることになるが、プロンプトと同一視していいかどうかについてはやや懸念がある。
AI における生成プロンプトとは、AI がイラスト等の特徴を学習する際に紐づけられたタグ情報を羅列しているものであり、これについて独創性を主張することは難しいと考えている。
プログラミング言語は、その用途によって大きく形や政策意図を変える必要が大いにある。また、膨大な関数を用いて、それを意図的に組み合わせる必要があり、独創的なプログラムの生成には作者の創作的寄与は大いにあると考えられる。
一方でプロンプトはプログラミング言語とは異なり、すでに存在する「要素」を並べていくものである。
その要素についても、現状世間に出回っている AI では、過去・現在進行形で人類が積み上げたデータ（非パブリックドメインのものを含む）を利用したものが多数であり、出力者がたとえ創作的な意図をした出力であったとしても、過去のデータベースの組み合わせによる「形のなかったアイデアの羅列」に過ぎないとすることもできると考える。
しかし、問題であるのは「現状世間に出回っている AI」のことである。
例えば、学習元を明らかとし、かつ利用範囲を限定する（例えば、映像制作会社がその会社が権利を持つ映像リソースをクリーンな AI に学習させ、利用する）ものであれば本懸念の多くは解決できると考えている。
クリーンな環境で、用途や利用範囲を明確とした AI を利用することで、新たなビジネスモデルの検討にもつながるのではないかと考える。
結論としては、やはり現状の AI では各 AI プログラムの成立の過程からしても、「AI と著作権に関する考え方について（素案)」に示すような理想的な利用方法を行うには、いささか議論が必要であり、この先数年レベルで実現するにはやや信頼性に欠けるものであると考える。
最後に、現在多くの国民が懸念・嫌悪しているのは、学習元の権利者が「意図しない形」で学習されたデータを、第三者が無法地帯で利用し、学習元データの著作者のその作品を作り上げるためのその年月とそこに至る努力を踏みにじるような行為であるということである。

「著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする」と著作権法第一節通則にあるとおり著作者が意図しない形での権利の侵害はあってはならないと考えている。
まずは、意図しないデータ収集や学習についての規制を第一に、また、そのようなデータを利用したAIの使用については、原則パブリックドメインとするなど、元の作成者の不利益に繋がらないような早急な法整備が必要であると考えている。
我が国のコンテンツは、世界へ向けて発信されるべき誇り高き文化であり、財産である。これを創作するすべての人々の権利や利益を蝕むことは到底許されるべきではなく、またこれを容認することはこの先の日本の文化の衰退にもつながると確信している。ぜひ、関係省庁の皆様には、有意義かつ公正なAI利用の方法を国民に提示していただきたい。

●受付番号　185001345000007714

・素案 26P より、”ＡＩ学習により作成された学習済モデルについての廃棄請求は、通常、認められない”とあります。しかし、いくつもの価値ある著作物から生成されたデータが、なぜ”侵害の行為によって作成された物”に当たらないのか、というのは、理屈をわかろうとしても、感情面では納得できない点です。
・素案 27P より、”「必要と認められる限度」を超えると評価されるものではないと考えられる”の点ですが、そもそも、生成ＡＩとは何の必要性があって利用されるのでしょうか。今、生成ＡＩによって、特定のクリエイターの尊厳が踏みにじられたり、手描きだと信じてお金を払った消費者の気持ちが蔑ろにされていたりします。広告のイラストや創作物の作成のためにイラストが必要ならばしかるべきクリエイターに仕事を依頼すればいいだけです。趣味でイラストを見たいのならば、それもやはりコミッションサイトで個人的に依頼をすればよいだけです。クリエイターにお金を払えない人が、クリエイターを大事にするとは思えませんし、実際、生成ＡＩは悪用されている事例ばかりです。
法では、生成ＡＩの学習元としてインターネットで発表された作品たちを吸収するのは止められないのかもしれません。ですが、クリエイターや、クリエイターを尊重してくれている方々は、そのような成り立ちで生成されたデータ自体を嫌っています。もう、ＳＮＳで見た綺麗なイラストを、クリエイターが心を込めて描いたのか、それとも生成ＡＩを使っている人が複数のクリエイターの努力を踏みにじって出力した画像なのか疑うのは疲れました。
少しＳＮＳを見てもらえれば分かると思いますが、生成ＡＩを肯定している人は攻撃的な人が多くてクリエイターはあまり声をあげられません。怖いです。
とても感情的な意見になってしまいましたが、正直な気持ちですので、どうにか改善に動いていただきますよう、願っております

●受付番号　185001345000007715

5.各論点（4）その他の論点について
著作権の範囲にとどまるかやや疑問はあるが、AI を使って特定個人（A とする）の作品を学習させ、悪意のある生成者（B とする）が A の作風を真似た画像などを生成し、A に対して嫌がらせなどをしているとみられる事例がある。
A の作風を真似ることで A と誤認させて利益を得るケース、あるいは A の作風を真似た生成物によって攻撃的行為を行うなど、AI によって A の作風を無断で利用し不当に利益を得るなどの目的が明らかである（そうと認定できる）場合、AI による模倣を禁じる、元著作者の利益を不当に害したと推定する、などの規定が必要ではないか。
これにはおそらく次の条件をすべて満たす必要がある。
・特定の作家（作家集団を含む）を模倣する操作を AI 行っていること
　（特定の作家を学習している、特定の作家に似せるよう指示をしていることなど）
・悪意を以て特定の作家を模倣していること。あるいはそうと認定できること
・模倣者側に不当な利益があるか、原著作者側の（精神的な損害を含む）被害があること
・特定の作家（原著作者）、もしくは権利者から親告があること
・模倣は機械的、または電子的に行われ、その主たる部分が人によらないこと
　（ただし模倣された生成物を人が一部修正した場合でも機械的模倣とみなす）
著作権法の理念から「作風」の保護は本来対象とすべきでないことは分かるが、機械的・電子的模倣手段によって著作者個人に根差す「作風」の侵害を止められていない現状がある。不当利益もあるが、「作風」の悪用によって原著作者へ攻撃する手法が確立されつつあり、これらの制限は急務ではないかと思う。
特定の著作者によるものと誤認させる目的での AI（機械・電子的）模倣を定義し、それに対し一定の制限をかけるよう明文化、あるいは法運用をする必要があるのではないかと考える。

●受付番号　185001345000007716

AI 生成を用いてイラストを投稿する人間が増えていますが、その AI によるイラストのベースは他の人が自らの手で描き上げた作品の数々です。SNS で自分の描いたイラストをあげれる現在、それらは絵師にとってはかけがえのない財産です。ゆえに AI 生成による著作権を侵害し、絵師の財産を奪う AI 生成に関する規定を増やしてほしいと思います。類似性が確認されれば AI 生成が著作権侵害となるという判断とありますが、そもそも AI のベースになっているものが著作物です。それらをすり合わせ無理やり合成したとしても、大元がすべて著作物なのですから、著作権侵害にあたると考えられます。他の人の絵が大元になっているものをあれこれといじったところで、そこに創作意図があるとは考えられません。また、たとえすべてのイラストの情報を吸収しても、AI はそこから進歩できません。よって他者の絵を用いた学習的な使用という論理も破綻していると思います。是非、AI を用いた創作活動の規制を厳しくしてもらいたいです。

●受付番号　185001345000007717

クリエイターの価値が薄まる危険性があり，これによって日本の漫画、アニメの衰退に十分に繋がると考えられる。

●受付番号　185001345000007718

現在、フリーランスのイラストレーターとして活動している立場から意見提出を行います。
結論から言うと昨今の生成 AI 利用者の暴徒には大変遺憾な思いをしております。
私欲のために作品の盗用を行い著作権の侵害を行っているにも関わらず自分の都合の良い解釈で誤った認知の元に作品の略奪行為を行っています。
知り合いの作家さんも AI 利用者に作品を悪用されて酷似した作品でマウントを取って馬頭されたりと AI 利用者のモラルに掛ける行動で営業妨害を受けています。
SNS を利用していない方には知りえないかもしれませんが上記のようなことが頻繁にっ起こっているのがリアルな現状です。
このような状況下で AI に著作権を付与させるのは危険すぎるように思います…。
まずは現役クリエイターが守られるような著作権制度となっていただければと思います。
日本のコンテンツ産業が誇れるものであり続けられるよう窃盗犯ではなくクリエイターを支えていただけると幸いです。

●受付番号　185001345000007719

AI 学習に使われるイラストは描いた個人によって独自の作風（画風）があって、クリエイターにとって作風は最大の武器でありその人の作品であることを象徴するものです。また、人物や背景などの作風だけでなく、明確にその作品がその人のものだと証明するためにあるサインまで AI に複製されているものも見かけます。そうなると AI によって生成された画像がその作風・サインを持つクリエイターが描いたものだと誤認されてしまったり、生成 AI によって量産されてその作風の価値が下がってしまったりと、クリエイターの創作活動に大きく関わる悪影響ばかりです。
以上のことから、生成 AI による無断学習はクリエイティブに対する冒涜行為だといえます。クリエイターを保護するため、生成 AI による無断学習に強く反対します。

●受付番号　185001345000007720

一消費者としては現行の生成 AI 技術は大変魅力的に感じられる。
自分では作れない作品（イラストや文章）を作れ、また他人が作った作品も楽しんでいる。
しかしながら現在の SNS では生成 AI への風当たりが強くそれらを利用した作品が好きなことを公言することが憚られる。
多くの場合は創作活動をする人間が著作権を気にして反発しておりそれに同調する形で非創作者も反発している。
私も創作者の懸念（現行の著作権では問題は無いがそれでも学習されることへの反発）を感じており、同情もしている。
現行のシステムでは生成ＡＩを利用する上で権利関係などが問題視されることも多く著作権周りの法律も変化が求められていると感じている。

●受付番号　185001345000007721

AI が生成した作品に著作権を与える必要はない。人が創作したものを無断で利用し、あたかも自分の物であるかのようにするものに与えるものではない。

●受付番号　185001345000007722

（1）学習開発段階について

まず、享受目的についてですが、そもそも生成 AI を使用する目的に「非享受」の場合は存在しないと考えます。

何故ならば、個人利用にとどまっていれど、例えば「ケーキ」を出力したいと考えた時にケーキとは似つかないものまたは求めるケーキの姿でない時、出力者は出力のし直しをするはずです。この「ケーキ」が「特定作家の画風」に容易に置き変わってしまうのが生成 AI の恐ろしいところです。そして、その「特定作家の画風」が簡単に出力されるようになった場合その特定作家の受ける不利益は甚大なものになります。

その上、現段階でも AI で出力したものを販売している方も一定数居られます。自分が頑張った横から成果だけかっさらっていくようなものは紛れもなく「享受」に分類され、それどころか「搾取」へと繋がっていくものと考えます。

実際に被害が出ている中でこのまま生成 AI を推進する理由が私には無いように思えます。

（2）生成段階について

生成 AI はまず、それを出力するために参考にするデータセットがあります。このデータセットは学習段階で他人の作品から無許可でデータを集めたものです。それを利用するということは盗難品を販売することと同義と私は考えます。これは「知らなかった」で済まされる問題ではありませんし、既に問題視されているなら尚更規制が必要なことです。

また、「開発・学習段階において学習に用いられた著作物の創作的表現が、生成・利用段階において生成されることは無いと言えるような技術的な措置が講じられる等の事情から、当該生成 AI において、学習に用いられた著作物の創作的表現が、生成・利用段階において利用されてないと法的に評価できる場合には、AI 利用者がこの事情を主張・立証することで、依拠性がないと判断される場合はあり得る。」とありますが、その「技術的措置」が突破された場合の対策が全くされていません。これに関しては今でも類似的な措置はありますが、それは作品の質を若干落とす必要性があり、さらに、その措置は既に突破する方法が発見されたとの噂もあります。真偽の程が不明なのは申し訳ありませんが、実際突破された場合、その突破する方法が分からない限り被害にあった方は泣き寝入りすることになってしまいます。そのようないたちごっこは起こさないようにするのが勤めではないでしょうか？

そもそも、著作物のその後の表現については一次創作者が絶対です。その一次創作者が何故、対策をしなければならないのか、もちろん自衛は大切ですが、それを「学習される前提」で考えるのはおかしいと感じます。むしろ「学習を行わない、させない」の方が優先されるべきではないでしょうか。

また、生成 AI がある作品を学習しているという紛れもない前提に立てば、生成 AI が自身で考えていわゆる「創作」を行っているのではなく、ただの「学習データの切り貼り」であり「出力」であることは明白です。その点で文化庁、引いては国の見方としては考え直すべきかと考えます。
以上のことから、私は生成 AI は創作的領域に関しての使用は厳しく制限するべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007723

もしAIで出力した物に著作権を与えるならば、それは人力で創作している者への侮辱であり、到底許されるべきではない。故に、AIに著作権を与えてはならない。

●受付番号　185001345000007724

AI 生成による被害について考慮されている文が一切ない。
確かに最近の AI 技術によって便利になる事柄が増えたが、それと同時に自分のオリジナルが AI のせいで評価されにくくなっていることについて一切の考慮がされていないのが気に入らない。
頭硬いやつは人情ないのは知ってたけどここまで考え無しとは思わなかった。
絵柄否定された創作絵師のことなんだと思ってるわけ？
小学生でもかけるような指の本数間違ってる量産絵師が著作権保護されるとか日本終わってる。

●受付番号　185001345000007725

イラストでお金も頂いている者です。(確定申告もさせて頂いております)
現在生成 ai が多くのイラストレーターの筆を折らせる原因となっていることはご存知でしょうか。何年も培った技術が盗まれ、模造品として発表されるのは、クリエイターにとって耐え難いことです。
まずイラスト生成 AI は学習元がクリーンではありません。数多の著作物、さらには児童ポルノなども使用されています。生成 AI は新しいオリジナルの絵を生成するのではなく、過去に取り込まれたイラストとほとんど同じものを出力することも多いのです。
もともとイラストレーターの制作技術を他者に公開し見せるというのはそれ自体にも価値が見出されていましたが、いまでは AI イラストでないことの証明として出すしかないという状況になってしまっています。
攻撃的な AI 使用者に殺害予告をされ、イラストを描くのを辞めてしまう方もいらっしゃいました。私自身も制作したイラストを AI に読み込まれてしまったこともあります。
日本はすばらしい創作の土壌がある国です。それを上手く活用できるようになれば更なる発展も見込めると思います。
潤沢な創作物が生まれる国でクリエイターを追い詰めるような政策は行わないで頂きたいです。クールジャパン、そしてそれを発信していく多くの優秀なクリエイターを大切に思うなら、海外でも批判の声が大きい、権利関係がクリーンでないものを推し進めないで下さい。どうかお願いいたします。

●受付番号　185001345000007726

まず画風（一個人の絵柄、作風）に著作権はありませんが、根本的に AI に関しては著作権の定義を考え直す必要がある、もしくは著作権を除外した上で別個に規制する必要があると考えています。理由は AI がオリジナルと区別がつかない画風模倣作品を短時間で誰でも大量に生産できてしまうからです。過去にも画風模倣作品はありましたが、生産には時間や技術に多くのコストがかかるためそれほど事例がないのと、精度に差がある場合がほとんどなので問題が表面化しませんでした。AI はこれを覆します、既存の著作権を元にした考えでは現在の問題は解決できないのではないでしょうか？
現在の問題とは
素案 26p のカ（イ）「著作物の複製物とはいえない場合が多い」という考えは既存の著作権の見地からきてるのかもしれませんが、閲覧者からすれば AI で作られた作品も模倣された作家の作品も同じ物として映っています。画風はもはや表現手法に留まらず作家個人の情報と認知されています。そんな作品の流通は模倣された作家の収入減少、意図しない使用をされた際の悪評が作家に及び、X 上でも複数の被害報告を目にしています。これによりその作家が筆を折るようなことになれば、これまでの優れた作家同士による競争結果ではなく安直なコピーによる淘汰です。後に残るものに文化的な価値はほぼありません、大きな損失です。
これこそ著作権で解決できないのですが、もう一つは AI 使用よる創作界隈の環境悪化です。絵を描く技術は人の憧れとなっていますが、反面 AI は絵の技術なしで結果を出せるため、楽をしていると判断されてあまり評価されていません。その結果 AI を使用する人は使用している事を隠したがり、また閲覧者も自分の好きな作品が AI によるものだと分かると失望するため、そうでないかと疑念を持ちながら見ています。また AI を使用して模倣した作品を自身の作品と偽り、模倣元の作家とトラブルになっている事もあります。もちろん AI 使用者全員が問題を起こしている訳ではありませんが、よく目につきます。本日も 1 件 AI 使用を隠していた人が発見されて X 内では否定的なコメントが多く流れていました。
これらの問題に対して私からの提案は
（1）画風の著作権を認め、侵害した作品に対して訴える事ができるようにする。ただし、対象作品は AI を部分的、全体を問わず使用したものに限定。且つ学習データに著作権を有する作家の作品が入っている事。
（2）AI を部分的、全体問わず使用する場合は必ず作品と同時に見える位置に表記する事を義務化する。
私としては AI 作品を消したいとかはありません。学習元になった作家の権利を守り、非 AI 作品と AI 作品を完全に区別する事でギスギスした現環境が改善されるのが希望です。

また現在の AI 学習対象には学習を許可されていないデータも含まれていますが、他人の絵を見て無断で技術を盗む事は人間の作家もやっているので、それを法的・倫理的に縛るのは難しいとは思っています。ただし、出力作品が完全なオリジナルと認められず、模倣されたと思われる作家から苦情があったとして、その原因がその作家作品の無断学習にあった場合は速やかにその原因を消去すべきだと考えています。
その上で素案 27P 注 31 のように「措置の請求は認められない」という考えは文化を育む環境を管理する組織として無責任だと思います。
私が AI 作品に一個の作品としての品格を感じたのは例えば漫画の内容であったり、奇抜な表現の絵だったりしますが、現在の Al の画風自体は模倣のパターン止まりで新しいものは生み出せていないと感じています。AI 推進による金銭的な利益がいくらか知りませんが、現状を放置して非 AI 作家が離脱していくようであればこの業界全体の衰退につながると思っています。目先ではなく将来的な文化の保全、発展を見据えた行動を期待しています。

●受付番号　185001345000007727

私は漫画家、イラストレーターの卵です。特に、「生成 AI」について意見を述べます。
現在、「生成 AI」により生成されたイラストによって多くの著作権侵害が起きていると考えます。なぜなら、多くの生成 AI イラストは、その学習元が明らかにされていないまま公表されているからです。生成 AI イラストは、デフォルメの仕方、色の塗り方からして、学習元となるイラストがあったはずです。それが何か、誰のものであったかを知らないまま多くの人が生成 AI のイラストを見ることは、学習元となったイラストや創作者の評価があまりになされていないと感じます。
イラストは人の病気を治したり、お腹を満たすものではありません。生命活動に必ず必要というわけではありませんが、見る人、描く人の「生き甲斐」になり得るものです。生成 AI を用いてイラストを作ること自体はいいと思います。しかし、自らの手で線を描き、色を塗り、解釈しながら描く人の完成に至るまでの過程の苦労を蔑ろにすることは決してあってはならないと考えます。逆にその過程を大切にする考え方を推奨すれば、筆を取る人、筆を折らない人が多くなり、より素晴らしい作品が生まれていくはずです。現に生成 AI のない時代から沢山の傑作が生まれ、今後も傑作が生まれることに生成 AI が必要だとは、私は想像しにくいです。
私が生成 AI の制作者に望むことは、学習元となる著作物の明記です。つまり、著作物が蔑ろにされないことです。そのために法的な規制などして頂けるなら、安心して創作活動に従事できますし、そのことは間違いなく日本の経済活動に貢献できます。
生成 AI により、日本のイラストが多くの人にとってより身近に感じられることは喜ばしいと感じます。ですがそれにより、本来絵を描くことに沢山の過程と労力を要する、ということを忘れてしまっている人が増えているように感じます。それは、創作物に正当な対価を支払わない、という考えに繋がってしまわないでしょうか。
どうか日本の創作者の個性を活かし、生き甲斐を持ち続けられる国であるよう、考えて頂けますと幸いです。

●受付番号　185001345000007728

私はこの法案に反対します。
こんな馬鹿みたいな法案を考える前に AI に盗作されている絵師の方を守る法案を取り決めるとこの方が先なのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007729

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007730

やめて欲しいです

●受付番号　185001345000007731

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007732

5.各論点について
(1)学習・開発段階
【【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】
エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について
(イ)アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
○ 特定のクリエイター又は著作物に対する需要が、AI 生成 物によって代替されてしまうような事態が生じることは想定しうるものの、当該 生成物が学習元著作物の創作的表現と共通しない場合には、著作権法上の「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」には該当しないと考えられる。
→実際には今現在、既に不当に害していると考える。
人間は到底現状の生成 AI の出力スピードに到底太刀打ちできるものではない。現在、各種画像販売サイト、電子書籍サイトでは実際に大量の AI 生成物による「商品」が市場に投入されており、先月 1 月の Adobe Stock では一人の生成 AI ユーザーにより 6000 枚ものイラスト素材が登録販売されていた例もあった。一人の人間のイラストレーターの作品を生み出すスピードではとても太刀打ちできるものではない。各販売サイトでは AI 生成によるものを検索結果から除外するなどの方法も取られてはいるが、あまりに大量であることからチェックが十分には機能しておらず、企業側にも制御できていない可能性すらある。また、生成 AI 使用者が手描きを僭称する例も多々あり、そういったもの達と市場で競わねばならない状況に現在既に多くのイラストレーターが心理的なダメージを負って疲弊し、創作する意欲を奪われ続けている実態がある。これは既に著作権者の利益を不当に害する状況である。著作権の範囲だけで解決できることなのかとの疑問も感じる。
【侵害に対する措置について】
カ　AI 学習に際して著作権侵害が生じた際に、権利者による差止請求等が認められ得る範囲について
(イ)学習済みモデルの廃棄請求について
○ AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物と はいえない場合が多いと考えられ（中略）また、通常、AI 学習によ り作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成 することができると考えられることから、「専ら侵害の行為に供された機械若しく は器具」にも該当しないと考えられる。
→現在市場に出回っている画像生成 AI はそのどれもが追加学習をしていない状況でありながら、極めて高い確率で既存ゲームキャラ、映画と酷似した画面、アニメキャラクターなどを生成している実態がある。このような画像生成 AI はどれも提供企業側からは入力する単語を制限するなどして有名人や有名アニメキャラなどを出さないようになっていると説明をされているものの、実際は全く対応が効いておらず、固有名称すら入れない状態

でも度々有名キャラなどが出力され目撃されている。企業側も対応に当たっているが、生成 AI が短時間で大量に容易に出力できることから、故意または偶然に抜け穴が見つかり、多くの著作物に対しての侵害が止まらない状況となっている。また、最近では大手画像生成 AI のいくつかは著名な画家・イラストレーター・漫画家等クリエイターの画像を企業側・研究開発側がわざと集め事前に集中学習されており、そういった被害作家のリストの存在も明らかになり海外で報道もされている。それらの画像生成 AI は既に多くの一般ユーザーに使用されており、今現在も利用を止められていないことから、発覚していないだけで水面下では大量に利用されているのではと危惧する。この現状を見るに、現状の画像生成 AI に限って言えば、その著作権侵害頻度とあまりの侵害への容易さから「専ら侵害の行為に供された機械若しく は器具」に相当するとしか考えられないものである。

●受付番号　185001345000007733

エ 著作権者の利益を不当に害することとなる場合の具体例について
（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
　作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり、著作権侵害にならなかったとしても、作風や画風といったアイデアが類似するものがAIにより模倣されなおかつ大量に複製された結果、「マスターピースというプロンプトで生成される顔（マスピ顔)」といった言葉が生まれ、「イラストレータ◯◯の描く人物の顔」と呼ばれることは二度と無くなった。
　今後も生成物に対する法的解釈が変わらない場合、様々な作風や画風、アイデアが「◯◯というプロンプトで生成される◯◯」になり、仮にその中のいくつかが類似性において著作権侵害を認められたとしても、「◯◯というプロンプトで生成される◯◯」と定義付けられる事で、元の作風、画風、アイデアを持った著作者が自身のブランド性を主張できなくなり、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」に該当し得ると考える。
（３）生成物の著作物性について
イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
　指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
　本項において、「AI 生成物を生成するに当たって、創作的表現といえるものを具体的に示す詳細な指示は、創作的寄与があると評価される可能性を高めると考えられる。」とあるが、Stable Diffusion などの画像の生成AIは学習された画像の特徴と紐付けられたテキスト情報から出力しているため、プロンプト自体は決められたテキストの羅列以外にありえず、「創作的表現を具体的に示す詳細な指示」を行うことは不可能だと思われる。
　出力者が学習段階において創作的寄与を認められる画像やテキスト情報をAIに学習させた場合等は、著作権が認められる可能性があると思われる。
ウ 著作物性がないものに対する保護
　AIにより生成されたものについての保護は、上記に記載されているものが妥当であると考える。
　実際に生成物を活用したビジネスモデルを検討する際、AIに部分的に著作権が認められる可能性がある、という場合、むしろその確認や証明にかなりの時間や労力がかかると予想できる。
　AIにより生成されたものに著作権はないが、「ウ 著作物性がないものに対する保護」を受けるとする方が、ビジネスモデルとしての検討は容易になると考える。
（４） その他の論点について
◯上から四番目

今後生成 AI を使用し、著作物に当たらないものについて著作物であると称して流通させるという詐欺行為については、生成者が詐欺であることを認知していないというケースを含め、爆発的に増えている段階であると思われる。

それらの防止のため、また、裁判所が多くの案件を抱えすぎないためにも、生成物の著作権やそれに関係する法案については、分かりやすく明確である必要がある。

私は生成 AI という技術について否定的ではない。しかし、学習元となる著作者達に対して何の配慮もなく不特定多数の人間にサービスを提供する側、提供された生成 AI を悪用し、生成 AI の学習元である創作者達の人格を損なう行為を行う人間などが目についた。結果的に「生成 AI は良くない技術」である、というレッテルが貼られてしまったと思う。

文章、イラスト、音楽、ゲームやアニメ、その他広告であれ「生成 AI を使用した」だけで、仮に合法であっても、対象となる客層からの反応は芳しいものではなくなる。

この様な有様の生成 AI の生成物に対し、「著作権等の権利の保護」を図り、「文化の発展に寄与すること」を目的とした著作権法から著作権を与える、与えないを決めるため、先んじて解決するべき問題点があるのでは？と思ってしまう。

エの（イ）で書いたような、「○○というプロンプトで生成される○○」というアイデアが大量に生成された結果、流行りと言ったものが AI に支配され、文化そのものが AI により大量に生成されたものの支配を受けることも考えられる。

私がこの技術を最初に見た時に感じた、「生成 AI は、人間の仕事や創作活動を補助する、便利で画期的な技術である」という考えが、世間一般的な生成 AI への認識になることを望みます。

●受付番号　185001345000007734

AI による無断学習と創作文化の価値毀損に断固として反対します。
そもそも、目的がどうであれ AI 学習する際に学習データの著作権者に対して許諾が必要だと思います。なぜならば、AI 学習をした時には元データと形こそ変わりますが、さまざまな数的処理がされ、特徴量を抽出しそれを持って無限に近しい出力を行えるため著作物の価値自体を厳しく毀損します。それどころか、著作権者の著作物の特徴量を著作権者以外の人間が著作権者の意図しない欲望、感情を組み込んで AI 出力をすることが可能となり著作権者の価値すらも貶めることになります。
話は変わりますが、岸田首相のフェイクニュースも生成 AI を制限する法が備わっていれば起きなかった問題だと思います。
生成 AI を使えば、確かに経済活動におけるコストを削減できる項目ができるかもしれません。しかし、それは結果的にこれまでにコストを支払続けてきたことによって世界的に信頼されている日本のサブカル文化そのものを瓦解させてしまうことになります。
残念ながら人間は性悪であること、生成 AI が生成できるのは何も著名人の姿や声だけではなく、全ての人間がフェイクによって社会が混乱する要因になりかねません。
担当者様方が生成 AI によって、さまざまな危険を被ることがないようお祈り申し上げます。

●受付番号　185001345000007735

「イ 法第 30 条の 4 の対象となる利用行為」をざっと確認しただけでも、
あまりに機械学習に都合良く著作権法を解釈しており
現行の法律の隙間を縫った悪意ある認識であると言わざるを得ません。
このまま押し通すことは看過できません。　早急に
AI 学習に著作者の存在する素材を利用する際は
著作者からの許可とそれに対する対価の提示を必要とする
と変更してください。
それによって開発者が AI に機械学習させる際の手間や経費が膨大になるので
現実的ではないというのであれば、著作者側からすれば
「著作者にはまったく関係の無い話。　無料で技術を供与されるのが
当然であるように振舞う現状の方が異常事態である。」と一蹴する案件です。
著作者の権利を不当に害していることを認め、早期に対応して下さい。

●受付番号　185001345000007736

クリエイターは誰でも他の作品と被らないようにトレースしないように細心の注意を払って創作しているのに創作物を入力して色んなものからトレースして生成したものは著作権侵害に当たらないっておかしな話ではないですか？
“学習”という言葉で濁していますが、トレース、パクリに他ならない。
生成 AI に著作権を与えるなんて、生成 AI 推進派は著作者を下に見てるとしか思えないです。
日本の漫画は世界でも評価されていますが、日本の漫画文化を殺す気ですか？
あと、政府の有識者だけでこういうことを決めないでください。
この件であなた達が話を聴くべきは有識者ではなく日本に多数存在するクリエイターたちです。
漫画家作詞者作曲者画家や絵師と言われる方、ネットを探せば何人でも出てきます。その方たちの話を聴いてください。一番関係があって一番被害を受ける方たちです。その方たちの話を聴かずに推し進めるのはクリエイターたちに対する冒涜です。その時点で彼らの人権を侵害していると私は思います。

●受付番号　185001345000007737

5
あるイラストレーターが描いたイラストをネットで公開した際に悪質な人による生成 ai の学習によってそのイラストレーターの画風を学習され大量に公開され販売されたりそのイラストレーターの絵の方向性とは違うように改変され販売されると著作権にも引っかかり、そのイラストレーターの心身に多大な悪影響が起こると容易に考えることができる。最悪の場合イラストを描かなくなる。このようなことが起こればイラストレーターが減り、新しい観点でのイラストが見れなくなる。その結果日本での創作が萎んでしまい、イラストと密接な関係である日本が誇るアニメにも悪影響が起きる。このまま進めば日本の創作文化は消えるだろう。
だから生成 ai で学習されたイラストは公開しない、そもそもの生成 ai の学習方法を変えるなどの規制案が絶対に必要だ。

●受付番号　185001345000007738

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007739

現時点でもイラストレーターの著作物を無断で使用し、その確認や証明は簡単には取れない事を利用して利益を得るという著作物の侵害が多々起きている。
またその証明に時間がかかるというのを言い訳にして学習データの収集が十分に達した時点で夜逃げする輩も増えている。
国策として日本のアニメ・漫画文化を世界に発信していきたいと考えているのなら早急にイラストレーターの権利を保護し、AI イラストには厳しく対応するべきだと主張する。

●受付番号　185001345000007740

私は生成 AI 産業に反対します。

●受付番号　185001345000007741

前提の部分ですが、生成 AI の技術的な背景についての
「ウ」の部分、生成については〜の切り貼りではないとありますが、生成 AI で生成された生成物に元にしたと思われる著作物に入っていたと思われる著作者のサインが出てしまったものを見たことがあるので、生成サービスによっては切り貼りに近いものを生成してしまうのではと思います。
各論点について
（イ）
作風や画風といったアイデア等が類似するにとどまり〜あたりについて。
特定のクリエイター又は著作物に対する需要が〜もそうなのですが、生成 AI は作風や画風を細かく再現できるので、大量に生成されるとなりすましや、なりすます事により、一個人を簡単に攻撃する事も容易である事も入れておきたいと考えます。
生成・利用段階
【侵害に対する措置について】
カ
データセットからの除去は、弁護士や裁判所を通しての手続き的なものではなく、各生成 AI 事業者は日本国内にサービスを提供する場合は、専用フォームなどを用意し著作物の権利者が自身の著作物が使われているのではないか等の問い合わせや報告をできる事を義務化できないだろうかと考えます。
利用者に関して、差止請求をしたい場合は弁護士や裁判所を通して行うのでしょうか？
もし裁判になった場合、訴えた側の著作者の負担が大きいように思えます。
生成 AI の開発事業者に対して、著作権侵害の予防に必要な措置を請求することができる、ではなくそもそも日本国内でサービスを提供したい場合は予防措置を義務化、どのような予防措置をしているか周知する義務が欲しいと考えます。
関係者からの様々な懸念の声について
生成 AI を個人が簡単に扱えてしまうため、画風作風を故意に似せ元にしたであろう著作者を攻撃(本人になりすまし粗悪な行動をとり世間からの本人の評価を下げたり、児童向けの作品を創る人物の画風作風を学習させ、アダルト作品を生成し SNS へ投稿する等)するという行為を特に最近はよく見かけます。
仕事依頼を装い下描きを提出させ依頼をキャンセルし、手に入れた下描きを用いて
生成 AI にかけてしまう件も複数見たことがあります。
著作者をもっと守れる法がほしいです。
もしくはせめて生成物にしようした AI サービスの名前のウォーターマークを入れる事を必須にしたりなにか欲しいです。

法第 30 条の 4 については理解します。そして生成 AI の技術そのものは素晴らしいですが、やはり大元の創造物の著作者をもっと守る方向性にしてほしいと考えています。

●受付番号　185001345000007742

26p【侵害に対する措置について】のカ項（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
において、
「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えられ」
「AI 学習により作成された学習済モデルは、学習データである著作物と類似しないものを生成することができると考えられる」
とあるが、現状の生成 AI は収集した学習データによって蓄積されたデータを用いているため「複製物ではない」という事はありえない。
また、蓄積されたデータがない状態で作成されたものは絶対に何かに似る事はなく、一方的に学習に利用された数々のデータがなければ、素人にもできるような簡易なプロンプトによって現状のような出力がされる事は決してありえない。
どんなにプログラムが優秀でも、現状の９９％は蓄積されたデータによるものである。
「考えられる」というのは、この素案の制作者が現状を正しく理解できていない事の証拠であり、こちらの認識を改めてほしい。
そして、同項にある
「専ら侵害の行為に供された機械若しくは器具」にも該当しないと考えられる。
そのため、AI 学習により作成された学習済モデルについての廃棄請求は、通常、認められないものと考えられる。
に関しても、「考えられる」というばかりで現状の把握ができていない。
現状、なりすましや作風を完全に模写されて市場破壊等が横行し、被害者が明確に存在しうる現状で、できそうにないので認められないだろう、のままでいいはずがない。
このような怠慢な余白は今後必ず被害の拡大を増やし、
結果として検討の前提にある「権利者の権利の保護」「文化の発展」に
大きなダメージを残す結果となるかと思います。

●受付番号　185001345000007743

画像生成 AI で作成された物に著作権を与えてはいけません。そもそも AI 学習に使われた元の作品群があり、これらの権利が守られなくなるからです。
なんのための、誰のための著作権だったのでしょうか？これではまともに働いて商品を作っている人間が守られません。
『人間』が何らかの企業の商品をコピーした商品をだせば著作権侵害で訴えられます、ですが『ＡＩ』で噛ませれば侵害にならずあまつさえそれに著作権まで発生する。そんな馬鹿な話がありますか？
現在のＡＩの問題は使用者の責任逃れ的な側面もあると思います。これはＡＩが、機械がやったことだから自分たちには責任がないのだ、と盗人の言い訳に使われるわけです。人間がやれば明らかな侵害行為でもＡＩを挟めば侵害にはならない、これでは権利侵害などの犯罪行為が横行してしまいます。
私は AI 肯定派の人間ですが、AI をよりよく使うためにも学習元となった作品を作った人たちの権利は当然守られなければいけないと強く思います。
データの学習元となった人間の著作権が侵害されている現状はとても健全ではなく、ＡＩを使うこと自体はばかられる状態です。
ＡＩは新しい技術ゆえにこういった摩擦、問題が昨今溢れかえっていますが、一つずつ一歩ずつ問題点を改善して、正しく機能することを願います。

●受付番号　185001345000007744

好きなイラストレーターさんが無断でイラストを AI の学習に使われてしまい、イラストサイトで発表していたイラストを全て削除してしまいました。
とても悲しい思いをしたので、WEB 上で発表されているイラストを金輪際 AI の学習に使わないようにしてほしいです。

●受付番号　185001345000007745

AI 生成物を公の場に出す権利を免許制にしてください。
現状では機械学習させた AI をあまりに容易く
一般が利用できる環境にあり大変危険です。
なんの制限も無く無料で AI 生成ツールがばら撒かれている現在は、
悪戯に使う人間や犯罪に活用しようと考える人間を無為に放置している
状況であり、それでなくとも AI が機械学習した素材をそのまま
改変することなく生成してしまった上で、生成者が意図せず
著作権や肖像権を侵害するような場合も多発する事でしょう。
自動車や刀剣や拳銃と同じく、今の AI はあまりに精巧な出力が可能で
考え無しに手軽に使えるような代物ではなくなっています。
文章の生成免許、イラストの生成免許、音声の生成免許、映像の生成免許、
合成写真の生成免許など、すべてに管理が必要と考えます。

●受付番号　185001345000007746

AI による無断学習に断固反対します。文化を壊す案です。人の作品をあまりにも馬鹿にしています。今すぐに撤回してください。

●受付番号　185001345000007747

記載させていただきました各項目への意見を述べさせていただきます。
【項目名】
１．はじめに
２．検討の前提として
　上記２項に「著作権（著作財産権）を中心に検討を行った」という点と「著作者人格権や著作隣接権については検討や見解に含まれていない」という旨を記載すべきだと感じました。「６．最後に」の項目で触れられていますが全項目を誤解なく理解するという点において前置きに記載すべき情報ではないかと思います。
　AI と著作権に関する懸念は著作権法すべての条項においての懸念です。それゆえ懸念を基にした討論結果を述べるならば「著作財産権」以外の面での懸念に対する討論はなされていないことは明確にされているほうが適切だと考えます。
【項目名】
５．各論点について
（１）学習・開発段階
ア 検討の前提
　「様々な技術革新に伴う著作物の新たな利用態様が不測の悪影響を受けないよう留意しつつ」とありますが「利用される側の著作者や著作物に及ぶ悪影響への留意」については記載されていないため著作者側への考慮がされているのか不安を感じました。
併せて考慮したうえで議論されたのであれば明記されたほうがいいのではと考えます。
（イ）議論の背景
【著作権者の利益を不当に害することとなる場合について】
　この項では法第 30 条の 4 の適用範囲に当たるかどうかを中心に現行法においての見解は述べられていますが、生成 AI においては現行法の解釈だけで著作権に触れるかを述べるだけでなく特化した法の新設の必要性の有無やその見解についても述べていただきたいです。
特にこの項で「追加的な学習のうち、意図的に、学習データに含まれる著作物の創作的表現をそのまま出力させることを目的としたものを行うため、著作物の複製等を行う場合。」と記載されている著作者の許可なくの著作物の特徴が出るように学習する画像を限定して学習データを作成する行為(LoRA や過学習等)については権利制限規定に該当しないとされているますが被害がで続けています。被害が出るのは現行法とその解釈だけでは抑止できていない、ひいては著作者の保護が十分でないと考えられます。そのため著作権の有効性を明確にするためにも法令化の検討及びその見解を求めます。
　著作者の許可なくの著作物の特徴が出るように学習する画像を限定して学習データを作成する行為の規制について言及させていただいた理由を追記させていただきますと、この

ような生成 AI の使用は悪用すると被害者に経済的不利益と精神的負担を簡単に与えることができるからです。被害にあった著作者の創作活動に支障が生じることもあり、直接的に被害にあっていない作家の懸念も大きく創作意欲や創作機会が失われることもあります。このように創作活動をする人や機会が減ってしまえば結果として、第 1 条にもある「文化の発展」にも支障を及ぼすことだと考えます。
法第 30 条の 4 は「柔軟性を備えた権利制限規定」であるため曖昧で解釈に左右されやすく
、生成 AI だけでなく AI 技術全般を考慮した規定となっています。そのため権利制限規定に該当しないと見解だけがあっても著作権者も生成 AI の制作者や利用者も効力に理解や安心をすることは難しいと感じます。
　学習・開発段階の項で触れさせていただきましたがこれに関しましては生成・使用段階にも関わることであるので併せて検討を願います。

●受付番号　185001345000007748

どうか私たちの権利を守ってください。

●受付番号　185001345000007749

生成 AI は絶対ダメだと思っています
なぜなら、それがあるせいで自分が頑張って描いた作品も AI だと思われてしまうかもしれないからです。自分が頑張って描いた作品を AI だと思われるのは作った人にとってとても悲しいことだと思います
なので生成 AI は絶対にダメです

●受付番号　185001345000007750

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
AI 開発事業者が著作物の主導権を握った自主規制に過ぎず、問題のあ著作人格権の侵害は行われたままであり、かつその自主規制は容易く破られてしまうものであり、著作権の侵害にたいして非力で意味を持たない防止処置である、
　現にその様な処置を主張している AI サービスも自主規制の抜け穴を見つけられ悪用されている、
【「非享受目的」に該当する場合について】
学習された著作物と創作的表現が共通した生成物の生成が頻発したとしても、これが、生成 AI の利用者が既存の著作物の類似物の生成を意図して生成 AI に入力・指示を与えたこと等に起因するものである場合
　この内容の証明をどの様に行うのか、生成 AI の問題点の１つに著作人格権を損害した証拠であるデータセットの内容がブラックボックス化されて証明出来ない事が有る。
享受目的が併存しない事が３０条の４の適応、免罪の条件なら、
生成 AI のデータセットの強制開示、第三者機関による監査等の、享受目的が併存しない事を直ちに証明、確認できる制度が必要だと考えます、
（イ）アイデア等が類似するにとどまるものが大量に生成されることについて
保護する利益でないアイデア等が類似するにとどまるものが大量に
生成されることは不当廉売であり、　著作物の作品数のインフレーションによって著作物の価値と機会を不当に貶め、需要を代替せずとも著作権者の利益を不当に害する事に該当すると考えます、
（イ）学習済みモデルの廃棄請求について
AI 学習により作成された学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物と
はいえない場合が多いと考えられ
　完全な間違いです、学習に用いられた著作物の複製物としか考えられないような生成物が生成された事例が多数確認されています、
AI 学習により作成された学習済モデルについての廃棄請求は、データセットの開示、監査の無い限りは「侵害の行為を組成した物」又は「侵害の行為
によつて作成された物」とみなし、通常認められるべきだと考えます。
　学習に用いられた特定の著作物による学習済モデルへの影響を取り除く措置を請求することを、これに要する時間的・費用的負担の重さ等という理由で認めない事は無断に行われた学習で著作人格権を侵害されている事にたいしてあまりにも寛大にすぎる判断であり、偏りが強い制度であると考えます。
（イ）依拠性の考え方について
AI 利用者が既存の著作物を認識していなかったが、AI 学習用データに当該著

作物が含まれる場合
　技術的措置は自主的な物で、措置の強度の基準が無い物を考慮を考えて制度作りを行う事は間違いであり、そもそも無断で既存の著作物を学習させる生成 AI の存在は著作人格権、肖像権等の侵害であり、有ってはならないものだと考えます、
AI 利用者が既存の著作物を認識しておらず、かつ、AI 学習用データに当該著
作物が含まれない場合
　含まれない事の証明のためにはデータセットの学習内容の証明と開示が必用であると考えます、
（３）生成物の著作物性について
イ 生成 AI に対する指示の具体性と AI 生成物の著作物性との関係について
　AI 生成物に著作権を与える事は著作権の混乱、無効化を引き起こす物であり、生成物の一切が著作権を否定されなければならないものだと考えます、
生成 AI の無断学習によるディープフェイクや、その複製品の海賊版によって多くのクリエイターが苦しめられ、創作物を享受して楽しむ人もまた生成 AI に寄る複製品に苦しめられています、
　創作文化を安心安全に楽しめる環境が作られるよう、学習データセットの内容の開示や、生成 AI 取り扱いの免許制度化等の厳格な制度作りを求めます、

●受付番号　185001345000007751

AI が生成するものに著作権を認めるのは反対です
また、明らかに他者の著作物の権利を侵害している AI 生成物に対して著作権の侵害を認めないことにも反対です
AI には悪意はなくとも、使用する人間には悪意があります
悪意は人を殺します
現在活躍されているアーティストの皆さんから仕事を奪う法に反対します

●受付番号　185001345000007752

現状の生成 AI は研究機関はともかく一般の人間が使うにはあまりにも管理形態が確立されていない。
著名人を標的としたディープフェイクやイラストレーター特有の絵柄を真似ることによるなりすまし被害等が続出している一方で社会的な利益はあまりにも乏しく、生成 AI 使用そのものに対して法律による規制を強く求める。
また、学習元になっている写真やイラストの著作権者への還元が無い上に、生成画像を使用する企業が現れる等それらを生業にしている人々の利益を害する可能性が大きいが、大手生成 AI はデータセットの公開もほとんどされていないのが現状である。
また、そのために児童ポルノや大手版権キャラクターに著しく類似した画像が容易に生成できてしまい、故意過失を問わず使用者が違法行為に関わってしまう可能性もある。
自身もイラストレーターとして生計を立てているが、生成 AI を取り巻く現状には大きな不安があり、法規制による健全な運用に期待する。

●受付番号　185001345000007753

１．はじめに
現在普及している他人の著作物を著作者が拒否もできず機械に入れて出力するサービスを利用している時点で
他人の成果物を窃盗した者であり職業として責任のある立場
として呼んでいたクリエイターを称される事は極めて遺憾です。
創作者が著作物を第三者により機械に取り込まれる事を拒否できず
大手テック企業が画像を無差別にスクレイピングし、研究用にのみ許された筈の行為が
商用サービスとして展開してしまった事に、今まで信頼してきた企業への不信感が募るばかりです。
仕事上、PC を使わざるを得ず人質に取られているような状況が悔しいです。
また、あまりに広義すぎる AI（人工知能）という呼び方を使いまるで人間のように扱ってしまったため人間と機械の"学習"は一緒などと
まるで機械に人権が認められたかのような錯覚に陥ってしまう日本人を家族や SNS 上で数多く見てきました。
「生成 AI」を「画像圧縮機」など適切な呼称を改めて勘違いを解消して欲しいと思います。
文化審議会著作権分科会法制度小委員会等の人選には推進派の偏りが見られます。
新聞や SNS 上のアンケートではどの媒体でも法改正が必要だという立場の人間がクリエイター隔てず 9 割を叩き出しているため公平性に欠けると思います。
反対する立場のクリエイターをメンバーに立ててください。
「反 AI」「絵描きの初級者中級者の意見は聞き入れない」「著作権厨をなんとかしたい」など
既存のクリエイターを侮辱するような言動を言い放つ議員や有権者が選んでいない大学教授などがいますが
そういった人選に疑問がつくメンバーを会議に参加させた事を問題視しています。
２．検討の前提として
（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
30 条の 4 が先に整備されてから想定されいない自称 AI 技術がリリースされてしまい
ネット上に生成 AI で作られた画像がばらまかれ収益を得ている無法の状態が続いてしおり
法が受け皿として機能しておらず無法地帯になってしまっている現状です。
今一度、法の廃止か改正をお願いします。
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について

学習データの切り貼りかどうかというのは
著作物を利用して生成物を出す行為を端的に表している言葉として使われる表現であり
そういった指摘を返す詭弁としてよく用いられるのをネット上で観測します。
元の著作者の勝手に著作物を使用しないで欲しいという事に対して悪意的に煙に巻く行為と捉えます。
（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について
著作者側が第三者からの学習を拒否する為に著作物に処理を施す Glaze や
データセットに攻撃する Nightshade などの技術の項目がない事が気になりました
学習拒否についての項目の追加をお願いします。
４．関係者からの様々な懸念の声について
第三者が著作者の Lora を使いなりすまし、殺害予告をして著作者を引退させなり替わったり
著作者の名前や版権のキャラクターの名前をプロンプトに入れて
クオリティの高い絵にして出力して SNS に上げて収益化を図ったり
この柔軟な権利制限規定自体が現在の生成 AI の問題を想定できずに
耐えうることが出来なかったと考えます。
５．各論点について
（１）学習・開発段階
なぜ研究目的でのみ許された生成 AI が商用でリリースされているのか
それが許されているのか意味が分かりません。
普及した生成物はこのまま普及されたままなのか？再整理で勝手に利用された著作物を回収できるのか？
学習の元になった著作者に還元されるのか？それが合意の上か？
全くめどが立たなければ話になりません
（２）生成・利用段階
大勢の著作者の作者の著作物を混ぜて別物になっていれば
著作権侵害にならないというのは権利のロンダリングであり成果物に依拠性があるかどうか
が重要ではないです。学習段階から問題があるとすべきです。
（３）生成物の著作物性について
生成 AI の問題は手軽かつ量産できるという事にあります。
膨大に生成された画像全てに著作権が認められた場合
著作権保持した生成物に類似したクリエイターの作品を著作権侵害で訴える業者も出てくるという懸念があります。
また、個人のクリエイターは経済に負担し、時間のコストを払い
量産された著作権侵害の疑いのある画像全てに裁判を起こすというのも

現実的ではないでしょう。
いずれにしてもこの項目は悪意に脆弱であり、著作権の形骸化がなされると考えられます。

６．最後に

目先の利益にとらわれず、人権侵害と捉えてください。
著作権だけではなく、財産権と AI についても是非考えてください。
機械に無断で大切な財産を取り込まれる事は人権侵害に他なりません。
文化の破壊は豊かさの破壊。人の生きがいを奪わないで下さい。

●受付番号　185001345000007754

AI の無断学習に反対します。
現状の AI 著作権法案が可決されれば知的財産の侵害を犯してもしらばっくれる材料にしかなりません。
この案が通るようであれば、生産者としての筆を折り、限りある資源を怠惰に食いつぶす合法的な海賊行為側に回る事でしょう。

●受付番号　185001345000007755

無断学習する生成 AI に反対します。
クリエイターが作品 1 枚を完成させるためにかかるコストは、単にその作品を制作するために必要な時間だけではありません。場合によっては物心ついた時から絵を描き文章を書き、人生の少なくない年数を割いて、他の社会生活や学習機会を費やし努力した、半生にも及ぶ時間のことも指します。
今や日本文化の一端を担う漫画やアニメなどの創作物は、クリエイターたちのそんな血の滲むような努力による産物です。
生成 AI に比べて、従来の手法による創作活動は圧倒的に手間と時間がかかります。それでもクリエイターがオリジナルの創作を行うのは、自分だけにしか生み出せない何かがあるからです。
もし生成 AI の無断学習が推進され、長い年月をかけて身につけた技術(創作物)が合法的に奪われることが日常となった時、筆を折らずにいられるクリエイターは少ないのではないでしょうか。そしてそれは長期的な意味合いでの日本の創作文化の喪失につながると考えます。

●受付番号　185001345000007756

個人
私は AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007757

私は AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007758

AI の無断学習に反対します。クリエイターの権利は守られるべきです。
道具に罪はなくても使う人間には悪意や罪がないとは言えません。

●受付番号　185001345000007759

政府や文化庁の程度の低さに失望しています。パブコメの文化庁素案を読んだ多くのクリエイターや創作文化を愛する人が、その余りの酷さに怒りの声を上げています。今までにないほどの膨大なパブコメがそちらに届いているのではないでしょうか？普段は政治家や省庁への意見なんて興味を示さない人たちが、「こんなものを放置していたら創作文化が滅びる！」と尋常ではないほどの危機感に駆られて行動せざるを得なくなったのです。自分たちがどれほど異常なことを推進しているか、まだ理解できませんか？
無断学習という搾取行為を基本構造として成り立つ現状の生成 AI は経済にも文化にも貢献などしません。徒に社会を混乱させ、創作文化を食い潰すだけの盗用ツールです。今、画像生成 AI によってどれほどの絵描きが不安に苛まれ苦境に立たされているか、その実態を把握できていますか？
苦労して自分だけの絵柄を生み出しても AI によって簡単に模倣され、似たような代物が短期間で大量にばら撒かれ、公の場での価値を理不尽に奪われます。そして AI 画像が飽和して飽きられ始めた昨今では、手描きのように偽装、僭称して不当な評価を得ようとする者が後を絶たず、至る所に手描きを装った AI 画像の偽物が潜んでいるため、疑心暗鬼になって見知らぬ人の絵を気軽に評価できなくなりました。更に悪質な例としては、商用利用やビジネスの場においてもそのような偽装行為が蔓延しており、金銭的な実害も発生しています。また、特定の絵描きの作品を個別に追加学習させたモデルをばら撒いて不特定多数の AI ユーザーの玩具にしたり、本人に成りすましたりと、非常に悪質で効果的な嫌がらせや加害行為にも目覚ましく活用されています。
生成 AI は、自分で努力せず他人の努力の成果にただ乗りして利益を得ようとする悪辣な怠け者に理想的な力を与えました。彼らは「政府が推進している」ことを錦の御旗に掲げ、反対や不満の声を押し潰して私利私欲のために今日もせっせと AI を活用しています。生成 AI の登場によって創作の場は滅茶苦茶に踏み荒らされ、多くの絵描きが創作意欲を削がれ、或いは奪われ、活動休止に追い込まれたり筆を折った者も少なくありません。
「素晴らしい作品を生み出す創作意欲にあふれたクリエイターを生贄にして、他人の技術にただ乗りするだけの知識も技術も意欲もない怠け者を肥え太らせ増長させている」これがあなた方がイノベーションや勝ち筋などと吹聴している AI 推進政策の実態です。間違いなく創作文化の歴史に刻まれる愚策ですね。
自分たちがどれほど愚かで異常なことをしているのか、いい加減理解してください。これ以上クリエイターを失望させないでください。
以上をもって生成 AI への厳格な法規制を強く願います。内容の主軸としてはオプトイン方式と AI 生成物の表示義務化を徹底してください。

機械学習に対する拒否権は、著作権を守る上で絶対に必要だと思います。文化庁の方々が文化芸術の尊重、発展という本来の役割を自覚し、実行してくださることを切に願います。

●受付番号　185001345000007760

AI による作品は、自分で作った作品ではない。
今までの自分の作品が、AI に埋もれてしまう。

●受付番号　185001345000007761

AI の無断学習には反対です。きちんと「AI 学習に使っても良い」と表明している方の物のみ学習に利用してほしいです。

●受付番号　185001345000007762

芸術作品は守らなければならないと思います。
人が経験と知識と収入と将来をかけて作った作品を無断で使用されて他人の好きなように変更されて問題ないと判断されるのはおかしいです。
AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007763

職業として編集業と広報を経験したがあり、
小説やイラストで一次創作や二次創作をたしなみ、
音楽の演奏活動も行うものとして意見させていただきます。
AI の学習範囲はあくまで工業的ツールやサービス業的（案内 bot 的なもの）ツールとしてのみ活用することを提言します。
AI 学習対象は、定型的文書やマニュアルなど、はっきりと答えのあるもの、
疑問の余地の入りにくいもの、事務的なものに限るべきです。
「芸術やデザイン、創作に関わる分野」については、
「AI に学習させた創作物」から「模倣品を作成」させたり、「学習 AI による創作活動」をさせてはいけません。
技術的進歩の追求で学習させたとしても、創作に使用するのは、完全なる運用ミスです。
収蔵されている美術・工芸品の補修、古い映像作品のリマスター作業のサポートなどに使用するなど、そういった分野で使用するのがよいのではないでしょうか。
創作活動全般において、あくまで「人間が主」、「AI はサポート及び部分補助的ツール」に徹するべきです。
AI に「創作活動そのもの」をさせてはいけません。
また、クール・ジャパンなどと掲げるのであれば、
日本発の作品は「AI が主体となって作ったものは『ない』」ことを売りにすべきです。
自らの独自性を自分で破壊するようなことはあってはなりません。
（小説分野について）
文書の AI 学習に小説などを学習させたとしても、
それを出力する（小説を作らせる）ことに使うべきではありません。
短文表現のみなどにとどめるべきです（辞書的使用にとどめる）。
AI による模造作品は、創作活動を著しく減退させ、
創作する人の活躍の場そのものを奪い、価値をなくし、
創作的な芸術活動そのものを消失させます。
これは、著作権以前の大前提の問題です。
創作物を学習した AI に作品を作らせる行為は、著作権に抵触するしないの問題ではなく、著作権自体を消失・権威失墜させる行為です。
人間の創作物の価値を貶めてはいけません。
最終的に創作活動そのものが行われなくなり、芸術分野が死にます。
（絵画、イラスト、デザインについて）
AI に絵やデザインを学習させて、そこから最終的な「作品そのもの」を作らせてはいけません。

画像の学習は「現実にある物体の写真画像」や「建築物の構造」程度にとどめ、
出力は補助ツールの作成程度にとどめるべきです。
例：椅子、机、風景、草木など背景に使用するものを補助的に作画するのに使用する
　　画像ソフトのペンや筆のツール開発に利用する
構図や絵の主体となる対象そのものを AI で描かせてしまうと、
創作者の活動の場が奪われます。職業として目指す人もいなくなります。
AI は AI でしかありません。血の通わない絵に人は感動しません。
いくら AI に学習させても、名作は生まれません。
安くすむからといって、AI に創作活動をさせるのは禁じてください。
人間による創作活動自体が行われなくなり、芸術やデザイン自体が衰退します。
当然、芸術分野での国際競争力は皆無になります。
海外でも、あくまで基本的な補助ツール程度の活用にとどめ、作品そのものを AI に作らせることはさせないというのが最適解ではないかというのが主流意見となってきています。
中国のように創作分野で「AI に作画させ人間が修正する」などということをしていると、実際に絵を描く人がいなくなってしまい、画一的なものしか出てこなくなります。
あくまで「部分的補助ツール」として AI は活用するにとどめ、条件入れて一発ポンで絵を描かせるような AI の使い方は規制すべきだと思います。
(資料取得について)
また、AI に対しては野放しに学習させているのに、
人間に対しては個人的使用でさえ自由に DL やスクショができないシステムになったため、昨今、資料の取得に苦労するようになりました。
特に、動画のスクショがとれないことは、「動きの瞬間」のコマ録り資料が撮れず、非常に困っています。
過去の芸術品も資料とするのに、海外では美術館のオンライン観覧なども結構一時期ありましたが、日本はまだまだです。
「人間には学習させず、AI だけに学習させる」という本末転倒が起こっています。
学習用途、個人的資料用途において、もっと自由に画像や動画を取得させてほしいです。
これについては、「著作権の行き過ぎた適用」が行われていると昨今思います。
あくまで不当な再アップロードや海賊版販売の取り締まりにこそ、力を入れるべきです（さっぱりそちらは減っていない）
(音楽分野について)
音楽についても、編曲補助ツール程度にとどめ、「作曲・編曲・演奏そのもの」を AI にやらせるのはやめてください。
職業にする人の仕事を奪い、演奏機会や作曲・編曲の機会を奪うことになり、音楽を目指す人がいなくなります。

●受付番号　185001345000007764

AI 無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007765

1 人の絵描きとして AI の脅威性について意見する。
AI 画像生成はさまざまなイラスト、写真などを学習元として取り込み、それらをベースに画像を作り上げる。
そこで学習元とされるのが我々絵描きや写真家などが血と涙と汗をかき、時間と労力を犠牲にして作り上げた作品である。
AI 画像生成ははっきり言ってしまうと、プロンプトを入力して出力ボタンを押すだけである。確かに狙った画像を出すためにプロンプトを変えなければならないと言う点はあるが、我々が現在の画力を手にするために年単位で努力して練習し続けて得たものをこの程度の人間に奪われるのは甚だ心外で遺憾である。
“ずるい”と言う気持ちもあるかもしれないが、自分の手で描いてすらおらず、他人の褌で得た画像でふんぞり返っているのはこちら側からしても見ていて気分がいいものでは全くない。ましては我々が作り上げた作品を私利私欲のために勝手に学習元として利用され、利用されたのに金銭や権利は一つもないなどあり得ない。
また恣意的な考えではあるが、AI 画像生成を扱うものの著作権や肖像権などの尊法意識が希薄であり、人格的にも難があるのも挙げられる。かなり攻撃的であり、恐怖とどに怒りすらある。
このように我々絵描きなどの生産者にとって、AI 画像生成は畑を食い荒らすだけ荒らして消えるイナゴのような存在である。百害あって一利なし。
ぜひ国には AI 画像の生成に対し、著作権などで学習元にされる作品を保護する、罰金や使用料などの設定などを管理願いたい。
パブリックコメントの募集をしているのなら、言葉がきつい投稿もあるかもしれないが由々しき事態であるため、必ず読み AI 使用者に対する制裁やルールなどを設けて欲しい。このままでは本当に写真を撮る人や絵を描く人、文章を作る人などのアーティストの今までに費やした努力が水の泡になる。作品は自分たちにとって宝であり、自分自身を表現できる体の一部である。それを勝手に使われてはむなしい。
さもなくばこの国の芸術は死ぬ。

●受付番号　185001345000007766

創作者は努力を積み上げて、時間と命を注ぎ込むようにして作り上げています。その努力をデータとして勝手に収集し混ぜ合わせて、無断複製改変商用利用を認める koto は、オリジナルのデータもとである創作者への侮辱です。イラストやアニメーションでも楽曲でも小説や詩などの文字の連なりでも、人間が作り上げたものを無断で利用する。そしてそれが合法になる。もともとの人間である創作者へ利益の還元もなく、彼らの努力を横から掠め取るような行為によって、創作者はもう必要ないのだと虚しさに打ちのめされ、筆を折る人も出てきています。それは文化の破壊です。クールジャパンだと称して創作を利用しているのですから、それを生み出す創作者こそを保護してください。

●受付番号　185001345000007767

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007768

AI の無断学習は絵を描く人尊厳を踏みにじる行為です
AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007769

個人が努力して創作し、生み出したものを許可なくAIの学習資料にするのは全ての創作する人に対して失礼だと思います。それに加え、AIは一時的に発展するかとは思いますが、その元になる創作者がいなくなる事案が発生すると思います。
私自身絵を描く身でありますが、職業にできる水準ではなく、あくまで個人で趣味の範囲で楽しんでおります。しかし、それでも0から作品を生み出すことが出来ます。けれど、無断でAIに使用されそれに他人が手を加え改変したりするようであれば描くのをやめる＆誰でも見られるSNSでの発信はやめると思います。趣味で楽しんでいる一個人でもそう思います。
生業にしている方への影響はもっと甚大なものになるとは考えられませんか？AI使用でメリットはあると思いますが、元になる素晴らしい作品を描かれる方がいなくなってしまっては日本の創作文化の発展はもうないかと思われます。なので、是非許可なく無断で人の作品を使用する事はおやめ下さい。長々と失礼いたしました。

●受付番号　185001345000007770

生成 AI について反対いたします。
現在、無作為に現存する創作物からの無断にて学習、および自作と偽っての公開が蔓延しています。
出始めた技術ゆえに著作権違反などの法律がまだ定まっていないものとお見受けします。
上記の理由等から、クリエイターとその創作物を守るため反対いたします。

●受付番号　185001345000007771

つい先日、原作漫画とそのドラマ化によって痛ましい悲劇があった事はご存知でしょうか。
創作物というものは作者にとってそれほどセンシティブなもので魂に直結しているものです。
人と人とのやりとりですら著作権のあり方や創作物への考え方が問題になるというのに、AI によって創作界隈がかき乱され今でもパニックのような状況になっています。
利益第一の考えの人にしか生き残れないような世界のどこに文化の価値があるのでしょうか。
また、このような意見を提出しなければ危機感を抱かれない関心のなさにも失望します。
漫画を日本が誇る文化として利用したいのならまず生身の作家を守る構図を作ってください。

●受付番号　185001345000007772

この素案を読んだ時、また、素案を読んだ人の意見を読んだ時。果たしてこの素案は理解を得ようという意識と、何かを創り出す人間に対して敬意を感じられるものになっているか。この先学習先にされてしまうであろう不特定の創作者が素直に安心できる考え方なのか。という疑問が過ぎりました。というのもこの素案はAIの利用に関して希望的観測を前提にAI使用者の悪意や無知、学習元へ意識を向けて考えるか否かという、人間が使用するうえで発生しうる人間的な脆さに目を瞑っているように感じます。少なくとも今現在AI利用の法的な曖昧さに乗じて誰かが創ったものに対する敬意や配慮が欠けたものばかりが得をしている状況にあると思います。この素案が創作者の心と尊厳を守るきっかけと考えるのは難しいです。例えるなら自分の田圃に実ったお米をどこの誰とも知らぬ人が特別な道具で勝手に収穫して量を2倍にして半分返して去ってった…突飛な例えかもしれませんが心情としては気持ちのいいものではないと伝われば幸いです。ご飯を食べる前にいただきますと言うような敬意をもう少し伝わりやすく盛り込んでみてほしいです。

●受付番号　185001345000007773

AI 生成の土台は既存作品を元に作るのでそもそもおかしいのです。
(漫画家さん、イラストレーターさん、小説作家さん、まだ無名の漫画家志望、小説作家志望の方々の作品)
その作品と彼らに対して対等な等価交換もなく、AI だからで済むものでは無いという個人的意見があります。現状巷に出回ってる AI を見ていますか？あの有名な作家賞にまで AI を使った使ってないまで発展しています。創作をするものとしてはこんなこと許されないし憤りを感じております。
個人的にですが AI は反対です。即刻やめてもらいたいと思ってます。書き手、描き手は AI の学習のための消耗品じゃないです。

●受付番号　185001345000007774

AI による学習になんらかの制限をかけるべき、あるいは作家や作品を保護すべきであると考えます。作家の方々が何年も何十年も研鑽を重ねて作り出した作風を、AI に勝手に学習させ、類似したデータを作ることは、現行の法律では違法ではないかもしれません。しかし、違法でないならば何をしてもいいのでしょうか？作風とは言わば作家ならではの手法を凝らした、作品の魅力の核だと考えます。AI に無断で作風をコピーされ、廉価で大量に複製されれば、作家あるいは作品の市場価値はガタ落ちです。そうなっては、日本で作家をしようという人間は激減してしまうのではないでしょうか。
AI 技術は豊かな将来性を備えた、投資すべき分野であることは誰の目にも明らかです。しかし AI は機械であり善悪の区別は人間でつける必要があります。学習可否の線引きや、出力された画像の利用方法の線引きを行い、ルールを整備することが、違法なイメージを払拭し明るい AI の未来を築くことになると考えます。

●受付番号　185001345000007775

ＡＩの無断学習に反対します。
創作者の権利をしっかり守ってください
著作権法の隙間を突いた法案を通さないでください
クールジャパンとか言ってるなら、きちんと創作者を守ってください！！！

●受付番号　185001345000007776

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007777

企業でコンテンツ産業に関わるアートディレクションをしています。
AI は著作権、著作者人格権を侵害し、日本の最大の輸出産業であるコンテンツ産業が大いに縮小する危険を孕んでいます。
企業のアートディレクションで求められるミッションは、常に誰が何を作り、どのように使われることを法律的に望んだのかを確認しながら、作り手を尊重して最終的に人々が楽しめるコンテンツを作ることが使命です。
AI は、私たちの、少なくとも私の所属する企業で作ることはなく、禁止されています。
使用した企業が複数ありましたが、クリエイターの失望を大きく産んだ流れをすでに何回も見てきました。この著作権の侵害による企業の信用の損失については今に始まったものではありません。例えば権利的に許されてない写真をトレースした作家が自分で作ってないことを告発されたなど、この産業で守るべき最優先の権利でした。
つまり、この産業はとても小さなことでも自分たちで作る、というシステムを持つことで皆がオリジナリティを追求することが必要とされてきて、そのおかげで日本のコンテンツ産業は発展、維持してきました。
AI は許可されず学習された先人たちの知恵を法的にも権利としても踏み躙っています。紙幣価値のデフレーションのようなもので、1 人が 1 日にとあるイラストレーターが 10 日に 1 枚やっと描けるクオリティのものを、1000 枚模倣して作れるようになったような、偽札をイラストレーターの目の前にぶら下げて法律がないから私たちは捕まらない、と言っているような状況が蔓延しています。
コンテンツはクエイターに支えられ作られています。私はクリエイターが作ったものを楽しんできました。そうあり続けるべきです。
コンテンツ産業は楽しみながら、新たなクリエイターを産むためにものを作っています。ものを作る楽しみを産み、これからの未来に影響を与えるものを作るということが、私たちクリエイターの未来像でした。たった数年前まで一人一人のクリエイターが知る限り競い合い素晴らしいものがどんどん産まれていました。
AI がこの産業を盛り下げる大きなネガティブな効果は、これらのクリエイターを学習と呼び、クリエイターの筆をすでに潜在的に幾重も追ってしまったことです。
産業革命に例えられることがありますが、間違っています。これは技術の革命ではなくて著作物を作ってきた人間たちの社会と、未来のクリエイティビティを全て壊しかけています。もう壊れてきてしまいました。
コンテンツ産業はとても若い初めてコンテンツを楽しむ層にもインスピレーションを与えることも暗黙のミッションです。AI はモチベーション、芸術の分野、過去の知識を全て壊しています。

最高品質のイラストを盗作したことで、本人はいなくなった。ネットに上がるのが怖くなり、企業専属になった。など、段々学習への恐怖がインターネットを席巻しています。表面的にインターネットで派手に見えるイラストは元々作った人がもういなかったり、嫌がらせを受けて鬱になったり自殺未遂をした例があります。
[redacted]、という方の名前が[redacted]という方に嫌がらせをされ続けています。名前もなりすましにちかい同じ漢字で読み方を変えたというようなことを行なっています。希死念慮すらこの件で抱いているようです。どうかこれまで努力とキャリアを自分の手法を確立したアーティストを守り、愉快犯をして完全な盗作を行えるこのあまりに許容できない創作の状況を、法律で助けてください。
AI は人の作ったものを自分の作ったもののふりをされながら、意図されない使用意図をされつづけています。
これは制作者の精神的苦痛に繋がり、クリエイターはそれを恐れるため一時創作物が産まれなくなります。
最も海外に届き素晴らしいと認知されるようになった産業は、AI を使っているということで海外に届かなくなります。
雇用の観点から、これらを推奨することは品質を落とすサイクルにのり大量の失業者と無気力なグループを産みます。たった数人の AI を作る人間が、1 日に 500 枚の絵を描くことで、インターネットは簡単に汚染されてしまいます。
大量生産の観点から本来は開発した企業がクリエイター一人一人に話を聞き、承諾を受けた上でしか使えないものであるべきでした。
もしかしたら AI の製作者たちはこのコメントにも ChatGPT を使用して大量投下するかもしれませんが、AI の作った文章がスクリーニングできるソフトやそう言った前提を持って意見の精査をいただければ大変幸いです。このコメントですら、ひとことの重みを変えてしまう可能性があるのです。
何卒、今まで大切にしてきた産業と、クリエイターの仲間たちと、このコンテンツ産業の未来を明るいものにしてください。どうかよろしくお願いいたします。

●受付番号　185001345000007778

反対します

●受付番号　185001345000007779

AI の機械学習に反対します。
私は絵を描いて生活をしています
シンプルに、私が人生をかけて作ったものを法律で守ってください。

●受付番号　185001345000007780

AI の無断学習に反対いたします。すべての創作物には著作権があります。それを踏みにじらないでください。

●受付番号　185001345000007781

AI によって多くのクリエイターの著作権が守られないのはこの先のゲーム業界などのサブカルチャー文化に大きな悪影響を与えると思います。
私自身、絵を描くのですが自身が描いた絵を許可も取らずに AI の学習素材にされるのは大変不快です。
AI の発展自体は喜ばしいこととは思いますが、それなら既存のクリエイターを守るための法や規則をきちんと作ってください。その大前提として AI を使ったものの商用利用は不可能にしてほしいですし、許可なく特定のクリエイターの絵を素材として学習させた AI の作成・頒布も著作権違反にしていただきたいです。
後者に関しましては、すでに被害が出ております。作成された AI を使ってクリエイター本人の本意でない絵の作成だったり、誹謗中傷などからクリエイターが活動を無期限休止してしまっています。
同じようなことを二度と起こさないためにもしっかりとした対策をお願いします。

●受付番号　185001345000007782

クリエイター本人の同意なくAIによる模倣をおこない、それによってクリエイター以外の人間が利益を受け取ることには反対です。著作権保護と違反者への明確な罰則制定を望みます

●受付番号　185001345000007783

AI の無断学習に反対します。
どんな目的があっても盗作であることに変わりがないですし、仮に素敵だから真似したかったとしても、その域を明らかに超えています。クリックひとつで抽出するその行為にリスペクトはありません。
第一 AI が芸術や娯楽を楽しむことや誰かの努力の結晶を踏み躙ったもので金を稼ぐ意図をもって抽出することがないにしても、それを操作する人間にそれらがないとは限らないためです。
技術によって文化が発展する例は確かにありますが、これに関しては論外としか思えません。簡単に真似された挙句それで金銭まで稼がれてしまっては、無断で真似された作者達が筆を折ってしまうからです。どう考えても先細り、そして途絶えてしまうとしか思えません。作者達がいなくなれば真似しなければ生み出せない以上文化を殺していくのと同義です。

●受付番号　185001345000007784

AI の無断学習に反対します。
著作権者がそれまでに時間をかけて習得してきた技術を窃取し、その先に得た可能性がある利益を損なうものだと考えます。
著作権者には、自身の創作物を他人が利用するとき、相応の対価および金額で商契約を結ぶ権利が保証されているべきです。この権利を奪う法律は必要ありません。

●受付番号　185001345000007785

AI による著作権侵害に反対です。
日本のアニメ、マンガ文化が衰退します。

●受付番号　185001345000007786

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007787

AI 無断学習に反対です

●受付番号　185001345000007788

生成 AI の使用者が一方的に有利で、学習元となったコンテンツの生産者には恩恵なく不利益を被りかねないような方向性でルール整備が進むのだけは強く反対です。
生成 AI に関する技術探求自体には意義を感じますが、もしも学習元に選ばれるようなコンテンツクリエイター達の生産性を蔑ろにするようなルール整備が進んでしまうと文化芸術に対して大きな損失となりかねないと思います。

●受付番号　185001345000007789

AI と著作権に関する考え方について（素案）（概要）の生成物の著作物性についての考え方（34～36 頁）にて、「人間が、AI 生成物に、創作的表現といえる加筆・修正を加えた部分については、通
常、著作物性が認められると考えられる。」という考えを改めてほしい。

●受付番号　185001345000007790

AI の無断学習に断固反対です。創作者の作品が守られない(守られる範囲が極めて狭い)考え方だと思います。AI により発展する文化があることは喜ばしいことですが、まずは既存の作品、創作者の権利を保護または脅かされないようにすることが最優先かと思います。AI 作品だと言われたら(たとえ自分の作品を学習したもので、限りなく近いものが生成されたとしても)泣き寝入りするしかない、そんな悲しく悔しい事態を「合法」だと言ってほしくないです。繰り返しになりますが、AI の無断学習に断固反対いたします。

●受付番号　185001345000007791

自分は絵を描いているので、作家や芸術家各位は、制作時間やアイデアやインスピレーション、素材にこだわる等「描く」こと以外にも時間を費やしそこから制作に入っていることを知っている。AI でその時間が短縮されることは（ありきたりな作品を作りたいのであれば）いいと思うが、今までのアイデアやここに至るまでの制作努力、こだわりを全て踏み躙る行為だと思う。作家や芸術家にとても失礼である。
そして自分の絵や写真は自分のものである。無償有償関係なく等しく自分のものである。
それを軽率に使われたくはない。

●受付番号　185001345000007792

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007793

AI による創作権利の侵害は著しく、無許可で人の作り出したものを利用、こねくり回したあげく、本来の製作者と同じ土俵で再販売しているのが現状です。
これを法案で認めるということは、後々は創作以外でもあらゆる場面で同じことが許可されるということになります。
もちろん政治家の方々が考えそうなことを AI が導き出せるようになれば同じでしょう。
かつて AI を推進していた方々も仕事を失うこととなり、そうして創作以外の職も追われるようになることでしょう。
平気な顔で人の作ったものを手間をかけずに自分のものだと言い張る人々のモラルのなさ、そんな人々を好きにのさばらせて今後この国はどうなるのでしょうか？
そのことをよく考えていただきたいです。人の権利を平気で踏み躙るような人は厳しく処罰することを強く希望しますし、まかり通ってはいけない価値観であることは明白です。

●受付番号　185001345000007794

人はアイデアを考えることや、何かを成し遂げることにとてつもない労力を使う。それを正当に評価せず、利益だけを奪っていくことは決して許されることではない。AI は非常に優秀であるが、優秀であるからといって、AI が、AI を使える人間が他の人の利益を踏み躙っていい理由には全くならない。非常に優秀であるからこそ、それを使う側の人間に責任を伴わせる必要がある。そのため、私は AI が無許可で学習することに反対し、学習した絵、および作品から出力したものについて、著作権を認めるべきではないと考える。

●受付番号　185001345000007795

AI の学習先であるイラスト製作者の著作権や肖像権を持つ人物の権利が 1 番大事にされるべきだと考えます。
そもそも文化の発展としては、イラスト制作者が居たからこそクールジャパンなどといったものに使われるくらい誇れる文化になるクオリティに届いたはずです。
AI で生成されたものが著作物と認められてしまう場合、この誇れる文化を作ってきた人、これから作るであろう人に混乱が生じ、また、実害として AI 生成したものに限りなく近い作品を発表した元の著作者に対して逆訴訟問題をすることもあり得ます。
その場合どこまで著作物と似ているかなどを基準が曖昧なため司法判断に混乱を極める結果になり、元の著作権を守られるべき製作者が疲弊し、結果より良い作品が生まれづらい環境に置かれてしまうことも考えられます。
もし AI の著作権を認めるならば学習先のデータセットを把握して、データセットに著作物が含まれない、著作権を放棄しているもののみ認めるとすると、司法の混乱を避けることができるとは思います。
文化の発展を進めるならば著作物を使用し生成された AI に著作権は絶対に認めないようにしてください。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

●受付番号　185001345000007796

『ドラゴンボール』『ワンピース』『ナルト』『鬼滅の刃』（わかりやすいところでいうと、このあたりでしょうか）
AI にこれらを学習させその生成物に著作権を与えたらどのようなことになるのか。
クールジャパンを謳いながらその尊厳を破壊し得る行為を、なぜ推進しようとするのか、今一度よく考えて欲しいと思います。
あなたの娘、息子が、毎日毎日練習した大切な絵を、この子達の顔も日々の努力も苦悩も知らない大人が勝手に取り上げ、本人の知らないところで商業化し利益を得る。
すでに行われているこの暴虐をなぜ肯定的に捉えられるのかは、日本の未来を担う親世代、子供たちを守る立場の人間として理解に苦しみます。
これが肯定できるということは、あなた方は取り合げる強盗側の人間なのでしょう。
AI イラストは美しいです。
その細部に渡るシワの繊細な陰影も、愛らしい表情も、リアルな素材感も、到底自分では描けないから AI で出力できれば嬉しいでしょう。
AI にしか描き出せないと錯覚したことでしょうが、それは元々、誰かがその手で描き出したものを横取りした技術にすぎないのです。
自分が描くことも、そのためにどんな努力が必要なのかも、描くことの楽しみも、そしてそこへ至ることのできない自信の才能を恨んだこともないから、簡単に奪えるのです。

●受付番号　185001345000007797

AI 学習元の無断利用に強く反対します。
著作者への同意が必要です。
もし「AI の生成物は感情や思想を享受しない無作為のものであるから合法」とするのであれば、生成物の掲示、発表、公表とその天才は、感情や思想のある人間がある程度選別しているものなので禁止すべきです。
アメリカでは生成物に手を加えたものも著作性は認められないとはっきり定めているときました。その点も整備欲しいです。
すでに何人ものクリエイターが無断学習元とされ新しい表現を生み出す気力を失った例を見ました。AI 学習と生成は結局「すでにあるものの組み合わせ」でしかなく新しい表現は絶対にうまれません。人類にとって大きな損失です。

●受付番号　185001345000007798

AI イラストの無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007799

反対です。創作する全ての人が立ち行かなくなると思います。

●受付番号　185001345000007800

AI の無断学習には反対です。
生成 AI は便利なものではありますが、悪意ある利用が非常にしやすいものです。
悪意ある利用者からイラストレーターを守るためにも、厳重に、無断で絵を盗まれることが無くなるような法律を整備するべきだと思います。

●受付番号　185001345000007801

生成 AI の技術発展のために、その技術の根元の芸術作品を担っているクリエイターが、不利益を被らなければいけない構造は、我が国の経済の支柱の一つであるイラスト、漫画の文化の衰退を助長すると考える。もし、それでも生成 AI の技術発展を推進したいのであれば、生成 AI データ利用の許諾を元データである著作権者に必ず許諾をとるような法整備を推進するべきであると考える。難しいのであれば AI 技術ごと法的に禁止して、日本の財産であるクリエイターを守るべき構造を作るべきであると考える。元の著作権者の許可なく著作権者の作品を読み込んだ AI が、新しい AI 生成データとして出力されて、それを出力した者の著作物として認識されるような法律では、クリエイターの数が減り、日本の文化が衰退し、やがて日本経済にも大きな打撃を与えかねない。クリエイターに敬意を持って、適切に法整備を進めていただきたい。

●受付番号　185001345000007802

AI の無断学習に反対します。
クリエイターの権利を侵害し、創作意欲を大きく失わせることに繋がると考えます。
長期的に見て国益を損ないます。

●受付番号　185001345000007803

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007804

AI の無断学習は創作を行う全ての人の価値を毀損するものであり、反対です。

●受付番号　185001345000007805

AI を作るのに当たって使った元データの権利は、元データを作った（以降、クリエイターと記す）本人に付くと言葉で明記にしてほしい。曖昧に書くと自分の都合のいいように解釈する人が出てくるので、元データを作った人の何の権利を守るか明記してほしい。また、すでに似たような法律や権利があるのであれば、「ここで指す権利とは、法第条と同様の意味を指す」といった方法で周知してほしい。
現状ですら、AI を使用して作った人による横暴な対応に手をこまねいているのに緩くする方向で考えるなんてありえないと思います。
クリエイターは、自分の売り物を守ることすらできないこの考え方では問題しかないく、AI を使う人とクリエイター対立しか産まないと考えます。クリエイターを蔑ろにするのはやめてほしい。

●受付番号　185001345000007806

個人
応援している作家が模倣され、その絵柄が「AI の絵」として認識されてしまうのが不安
0 から生み出している絵と人の作品を元に生成されたものが同じ著作権法で守られること
に疑問を感じる
「学習済モデルは、学習に用いられた著作物の複製物とはいえない場合が多いと考えら
れ」とあるが既に特定の人物の絵柄を模倣する方法が確立されており、手書きか生成 AI
か判断できない作品も多くある　特定の個人の模倣ができてしまうのであれば「侵害の行
為を組成した物」又は「侵害の行為によって作成された物」に該当するのではないか
以上の点により生成 AI の規制を強く希望

●受付番号　185001345000007807

AL による無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007808

AI による文章、画像等の無断学習に反対します。
人の手でも所謂トレースなどの問題は起きてきましたが
生成 AI は非常に短時間で大量の画像を作り出すことが可能です
すでに特定の作家の作風を再現することができる AI が出ている現在
無闇に無断学習を認めることにより様々な分野で
作品の市場価値が暴落する可能性を懸念しています

●受付番号　185001345000007809

AI の学習機能により作風を模倣され、望まぬ作品を第三者から生成され、敬意など微塵も払われず、ただ便利な金儲けの道具として、第三者に量産される個人を知っています。
その作家はその流れを止めようと動いたところ、生成を利用している匿名の人々から誹謗中傷・殺害予告まで受け、先日、無期限の活動停止を宣言しました。
AI 技術は素晴らしいものです。
私も絵を描きますが、AI による生成を楽しむこともあります。
ですが、アーティストが心血を注いだ作品を、想いが込められた作品を、形だけをなぞり、第三者が外部の人物が用意した技術で無限に、無秩序に、アーティストが望まぬメッセージを含んで生まれてしまいます。
作品とは、自己表現であり、魂の発現です。
自己の分身であり、愛すべき存在です。
その作品には、生涯で積み上げた全てが含まれています。
そのような重大な意味を持つものを、簡単に模倣され、望まぬ作品が生まれるのは、
心を打ちのめす行為です。
AI 技術は問題ありません。
AI 学習が問題なのです。
どうかアーティストたちが作品を、己の心を守る術を持てるように、
法整備をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007810

まず大前提に、生成 AI は一次創作物では無く 他者の一次創作物を取り込んだ末の二次創作物でしかありません。ゲーム制作などの工程でキャラクターデザインや背景候補などのブラッシュアップに使われるまでは合法だと言われても仕方ありませんが
一次創作物として提出され続けた場合、本当の一次創作物は無くなり 生成 AI も生成 AI から作られた物でしか学習する事が出来なくなり、成長は著しく落ちる事と思われます。
生成 AI は現在、世間でも言われている通り 創作者では無い人間が一目見て機械が作り出した物だと区別出来ない所まで成長したと思われます。
その為、A 氏の絵を読み込み学習をしたイラストを何らかの誹謗中傷や犯罪に使われた際に A 氏へのバッシングへと繋がる恐れが大いにあります。
イラストは創作をする人間にとって命を削り作られるものです。
それを蔑ろにする人間は過去の創作者さえも侮辱しているものです。
どうかもう少しだけ、インターネットにおける意見に目を通して下さい。
それだけが私の希望です。

●受付番号　185001345000007811

すでに悪質な著作権侵害が出ています。AI 生成利用者は自作発言をし、創作元に悪意をぶつける悪質な人間ばかりです。エゴサすれば出てくる事案です。まずは調査するなど、文化庁がしっかり仕事してください。
あらゆる文化を守り発展させるなら、AI 生成はこれまで生み出した人間の努力や功績を踏み躙るものです。世に出した時点で罰する姿勢を見せてください。
許してしまえば、商業的なエンタメ業界は一気に廃れます。

●受付番号　185001345000007812

AI の無断学習に反対します。無断で学習させることにより、元となる絵の劣化コピーや海賊版が大量に発生し、それにより元絵の作者の作品の価値を貶めることになるためです。また、AI 学習や生成に無断利用されることにより、作者が作品を作ることを辞めてしまったり、AI を使わず自分で作品を作ろうとする人がいなくなる可能性も十分にあり、その結果 AI 不使用の新たな作品が作られなくなり、イラストレーションという分野そのものが死滅してしまう恐れが十二分にあります。そして、AI 自体の新たな学習さえできなくなり、AI 自体の機能も役に立たなくなっていく可能性があります。イラストレーターや漫画家といったイラストを描くことを職業になさっている方々、およびそういった職業を目指す方々、職業としなくとも趣味で楽しむ方々の全てが AI の無断学習によって潰されてしまう事態は避けねばならないと考えます。

●受付番号　185001345000007813

現在、既にAI生成を悪用する者によるイラストレーターへの悪質な嫌がらせ、脅迫、誹謗中傷もあり、トラブルの元となるものという認識です。
よってAIによる画像再生は厳しく規制されるべきであると感じます。
道徳的観点からも膨大な情報から絵を効率的に生成する事を目的にするのではなく、白紙のキャンバスから絵を完成させた“人”を、“人”は目指すべきです。
そういった人々が血の滲むような努力をして創り上げた財産をそのまま機械に読み込ませ切り貼りし改変され作られるAIイラストは、他人の家の敷地から盗んだ果物を「私が収穫した」と書いて自宅に置く事と何ら変わりありません。
これは、人が人のアイデアや作風にインスパイアされ模範するのとは全く違います。
利用すれば犯罪に当たってしかるべきと思います。

●受付番号　185001345000007814

AI を使用した無許可、無差別な学習に反対します。

●受付番号　185001345000007815

AI による無断学習は反対です。 1 から作るクリエイター側にデメリットがあまりにも大きい為です。WEB 上でも人の作品を AI による学習で作られた作品で被害に遭う事例が沢山ありました。この案だと AI を使い法の穴をくぐり抜けて同じような事が起きてしまいます。
またクリエイターは自分の手で作品を創るものです。AI 学習して作った作品をその AI に学習させた人が作ったという扱いになるのはあまりにもおかしいと思います。そのような方たちとクリエイターを同等にする、寧ろ AI 作品をつくる人を有利に働かせる案は絶対にあってはなりません。クリエイター市場の縮小に繋がってしまいます。

●受付番号　185001345000007816

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007817

（１）学習・開発段階
・現状において、学習データが著作者に無断で使用され、「学習に使用されない」権利を無視していることが問題。
・学習データにいわゆる「海賊版」がすでに混ざっており、この時点で著作者の権利を無視していることが問題
（２）生成・利用段階
・すでに現状において、学習元データと区別が困難な程度の生成物がインターネット上に拡散しており、著作者の「オリジナリティ」が損なわれていることが問題
・事実上、生成利用者にはなんら規制もなく、学習元データの著作権が損なわれる形で生成 AI が利用されていることが問題
（３）生成物の著作物性について
・学習元データの著作権を無視し、利益を損ねることが容易であるにもかかわらず、生成物に著作物性を認め、利益を得ることを可能とすべきではない。
著作物を「学習に使用されない」権利を認めること、学習に使用する際には対価を支払うこと、学習元データに著作権を無視したデータを含まないことなど、学習データが「クリーン」であることを生成 AI 開発者に求める。
まず優先されるべきは「著作者」の権利と考える。

●受付番号　185001345000007818

今のままでは既存のクリエイターが危機に瀕してしまうと思います。再考お願い致します。

●受付番号　185001345000007819

AI の無断学習に全面的に反対します。

●受付番号　185001345000007820

反対します。
こういうなんの益にもならないどうでも良い、むしろ害悪になりかねない権利侵害を国主体で、かなり早い(必要な他のことは壮絶に時間を掛けますよね)時間でまったく論議もせずに取り決めるのは、本当に最低最悪なことだと常々感じます。
簡単に決定すべきではないし、デリケートで本来守られるべき利権者への侵害になる行為は、今後一切やめてください。
本当に迷惑です。

●受付番号　185001345000007821

発表する権利と表現の自由が生成ＡＩ無許可データ収集機械学習により侵害されている。
国外との競争に有利になるという言説も見かけるが、逆にデータを取られ日本の技術の模範による国内産の衰退が多発するのではなかろうか？
また権利を侵害された場合、被害者(学習元)となった側が請け負う不利益と労力があまりに大きく一個人で対応できるものではない。
先日、ドラマになった漫画原作者が自死するという痛ましいことが起こった、
いうなれば原本があり、そこから手を加え複製された作品である。
扱っていたのは日本テレビと小学館という大企業であるが、この流れで起こった問題への原因がきちんと明示されていない時点で今の日本では扱う能力がないと感じられる。
また以前、岸田首相を模した動画が話題となったが、動画が難なく発表できた時点で何一つ対応ができていなかったことへの査証とならないだろうか？
大騒ぎをしていたが、今でも似たような岸田首相のフェイク動画は幾らでも YouTube にあがっている。対応できていないではないか。

●受付番号　185001345000007822

絵を描くことで生活している者です。
AI によって自作品と類似の作品を作られることで、生業が立ち行かなくなることを懸念しています。
現在、AI で出力した絵画、写真などの結果のみで、類似性を見積もるのは難しいです。
ただ、ミッキーマウスを学習させていない AI がミッキーの類似画像を描くのは困難であるならば、学習データから取り除くことで、類似画像の生成が抑制できるのではないでしょうか。
また、AI の有用性や、学習過程を考えますと、すべての権利者に許諾を取るのも現実的でないと思います。
これらのことから、AI にどの著作者の絵、写真を学習させたか、明示、提示する義務、または学習データを簡便に検索する機能を付与する義務を負うべきです。
そして著作者に、自分の絵、写真を学習データから取り除く法的権利、権限を与えるとともに、学習データにされた自分の著作物を検索、除去する実行力を与えることが必要だと思います。

●受付番号　185001345000007823

日本のイラスト、漫画、芸術、その他フォントや写真。そういった文化を全て盗まれ放題パクり放題にする法律ですね。機械に感情がないたということを焦点にするのは馬鹿なんですか？そんなの当たり前で、問題はそれを使用して出力を行う人がいることですよね。人のイラストなどを使用する時は著作権フリーのもの以外はしっかりと許諾を取らねばならない、こんな当たり前の事をなんで文化庁の著作権課ともあろうところが分かってないんですか？この使用というのは AI では少し改変しようがコピーして貼り付けるのと同じようなことなんですよ？2 つの画像だけから学習させてもう片方の画像を除算して A という画像そのまんまに近いものを出しました！でも混ぜて改変してるから大丈夫です！みたいなアホなこと言ってんですよあんた達は。もう少し考えろ馬鹿が

●受付番号　185001345000007824

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007825

生成 AI で絵などの作品を作るのに勝手に自分の作品を使われるのはものすごく不快感があるし、合法であると分かれば法律の抜け目を見つけて悪用する人が大勢出てくると思う。自分の作品を知らない誰かが「自分が作った」と言うのは盗用と同じではないかと考えている。

●受付番号　185001345000007826

生成 AI の利用を推進する方針に反対します。日本のクールジャパンサブカルチャーを優先するなら、AI はデザインのランダム生成によるアイデア出しなど人間のクリエイターの補助線にとどめ、許諾をとっていないイラスト類を学習して素材とするイラスト生成 AI は規制すべきです。粗製乱造は未来のクリエイターを先細りさせます。そもそもフリー素材サイト類を除いてインターネットの画像類は第三者が自由に扱っていいデータではありません。機械が学習することは違法性がないでしょうが、人間がそのデータを利用して生成 AI でなんらかを出力したならそれは著作権の侵害や享受目的になります。無差別学習をしたビッグデータは規制すべきです。

●受付番号　185001345000007827

生成 AI の無断学習に反対します。
データセットに利用する為ならイラスト等著作者の許可も必要ないという法解釈は不自然極まりないと思います。
現状での生成 AI の優遇は、クリエイターの生活や尊厳を奪う事に等しいと考えます。
生成 AI 利用に関する法整備が不十分です。クリエイターの権利を蔑ろにする技術を推し進め、クリエイターを追い詰めることは、法治国家としてあってはならないことです。

●受付番号　185001345000007828

AI 最悪です。創作意欲全て削がれます。今までやってきたこと全部ボタンひとつで他人に盗られるなんてありえません。

●受付番号　185001345000007829

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007830

生成 AI と人間の創作を、従来の同じ法律で規律することに問題を感じます。
著作権や作品、作風への侵害などで、昨今のニュースでは、TV ドラマ化の脚本の契約無視の改変により、結果として、有名作家が自殺した事件もありました。
創作をする人間は、その作品を描くまでに膨大な時間と心をつぎ込んでいます。それをボタン一つで模倣され、意図しない作品作りに利用され、大量に量産され、法的に問題がないと訴えることされ叶わなければ、創作意欲の低下どころではなく、心を病んだり、長く人生をかけてやっと見つけた自分の技術を奪われるわけですから、生きる希望をもなくしてしまうと思います。私が作品の絵柄を意図しない作品に使われたら、今後の制作や依頼に影響を受けるという外部的な実害以上に、生きがいを奪われると思います。技術の発展のためには多少の犠牲もやむを得ないと切り捨てず、見直して欲しいです。これが通れば作家を志す人も描き続ける人も減るかもしれません。感情的な意見ではありますが、損得ではなく、「人権を奪う問題」と捉えて欲しく、書かせて頂きました。生成 AI は人ではなく機械です。機械が人の生きる権利、人権を奪うことがあってはならないと思います。

●受付番号　185001345000007831

AI 学習に、作成者・著作者の同意を得ていない文章・画像・イラストレーション・写真・音楽・声　等を無断で使用することに反対です。
インターネット上に表示されているデータは、著作者に無断で利用してはならないものです。AI 学習そのものは素晴らしい技術であるのに、学ばせるデータが盗品では、日本は巨大な窃盗国家とみなされます。
当然、海外に発信し、利益を得るための作品群は「盗品をいじくって売りにきた」としかみなされなくなります。
現在、アジアでは日本をしのぐ勢いのイラストレーションやアニメーションが作成され、演出や劇伴音楽もすばらしいものばかりです。
盗んだものででっちあげられた日本製のものより、安全でクリエイティブな他国のものを採用する。そんな事になったら、もうおしまいです。二度と輸出は見込めないことでしょう。
すでに多数の画像が盗まれ、AI 学習のデータとしてラベリングされ、ストックされています。李下に冠を正さず、瓜田に履を納れず。すでに AI 学習作品は、悪いイメージとともに記憶されておりますので、日本のカルチャーは盗品の流用だと誤解をうむ行動をはじめから避けるべきです。
素晴らしい技術だったのに、残念でなりませんが、もはや手遅れです。
最初にしっかりとクリエイターを保護し、権利を守っていれば、別の未来があったかもしれませんが、すでに AI 生成物は盗作の疑いをかけられる代物となりはてました
お抱え絵師とその工房作品のように、クリエイターを守りながら、許可を得たデータを集めて学習させていれば、こんな事にはならなかったでしょう。芸術の発展にも役立ったでしょうに、残念でなりません

●受付番号　185001345000007832

AI と著作権に関し、項目に沿って懸案事項並びに容認される AI の利用について意見を述べさせて頂きます。

２．検討の前提として

（１）従来の著作権法の考え方との整合性について

著作権法につきましては、個人の使用については許容されるという点を拡大解釈し、

一定の企業、法人において内部資料への使用という名目において既に相当侵害されております。

昨今の著作権法に対する柔軟な考えとは、斯様な侵害を容認し当然の権利と誤認し続けた結果派生した誤解であると考えます。

３．生成 AI の技術的な背景について

（１）生成 AI について

生成 AI 全般を否定するつもりはありません。AI は「操作者自らが作成した絵画、写真、文章等」に限定し使用されるべきと考えます。

個人クリエイターによる所謂「差分の作成」や、正面立ち姿の絵から多様な角度、体制、表情への変換等です。

この使用方法であれば著作者の権利を損なうことなく、生産性を飛躍的に伸ばし、結果としてそれを受容する全国民の利益に繋がると判断されます。

（２）生成 AI に関する新たな技術

生成 AI は上記提案のとおり個人が自らの制作物に限り生成可能なように開発されるべきであり、

代理制作を請け負う場合に必要な共通ログイン、パスワードの管理、第三者の作品を不当に取り込む場合の警告措置、自動通報に関する技術開発が望まれます。

（３）AI 開発事業者・AI サービス提供者による技術的な措置について

開発された AI は必ず有償のソフトウェアと紐付けされ供給されるべきであり、購入者に限定した提供が行われるべきであると考えます。

前述のとおり、一次制作者はそもそも有償のソフトウェアを既に導入しております。無償ツールのみを使用しているクリエイターは「自称」クリエイター、趣味の範疇と見做し、これらについては無償ソフトウェアに極めて限定的な AI 対策機能を付与することで差別化を図ります。

クリエイターは自らが購入し使用しているソフトウェアの AI 機能を用いることで、差分制作、立体化、可動化等の恩恵を享受するとともに、これらを発表する際はソフトウェア名と AI 作であることを示す何らかのデジタルサインが自動的に含まれることとします。

４．関係者からの様々な懸念の声について

AI による制作に賛成しているのは、一次創作をしない者、出来ない者、第三者の作品を盗むことに躊躇のない遵法精神が欠如した者のみです。AI の方向性が正しく変化し、一時創作者のみが使用できる権利となれば、現在自らの作品を盗用され（収集が無断で行われている以上、作品の閲覧とは一線を画した盗用行為として差別化されることが妥当）AI を嫌悪している層が、従来あるべき AI の使用に踏み切ると考えます。

５．各論点について

（１）学習・開発段階

学習は、学習させようとしている個人の生産物に限って認められる

（２）生成・利用段階

上記を踏まえて学習したデータを第三者が生成利用する為には、一次創作者との合意及びデジタル署名による使用許可契約が必要である

（３）生成物の著作物性について

生成物の著作権は一次生産者に帰属し、第三者が合意の上生成した場合のみ、生成者としての権利を別途有するものとする

（４）その他の論点について

法人、企業において一次制作者を蔑ろにする盗用が行われた場合、部内資料であろうと高額の罰金を伴う刑罰を整備することで、著作権に対する認識を広く改善させる

以上のとおり、意見をまとめました。

端的に申し上げると、AI の使用は一次創作者のみが行い、自らの作品を糧として全体の利益に繋げる使い方こそが、クール・ジャパンの目指す正しい方向性であると考えております。

日本が生みだした優れた作品が、既に海外 AI に破壊され、モラルのない一部国民に蹂躙されている状況を放置してしまえば、既存のクリエイターのみならずこの先誕生するであろう未来のクリエイターに絶望しか遺さず、絵画、小説等の衰退を招くと懸念しております。

関係各位におかれましては、現在 AI に与えている機能を一次制作者限定にしても何の不利益も発生しないことをよく理解していただき、より制作者を敬う方向に舵切りして頂けることを切に望みます。

●受付番号　185001345000007833

AI の無断学習に反対します！著作権者には、相応の金額で商契約を結ぶ権利があって当然です。権利を奪う法律には賛成できません。人の創作品で勝手に自分の作品を利益のないものにしかねない対策です。

●受付番号　185001345000007834

AI の無断学習に反対します。
著作権を持つ人が不利益を被るだけです。

●受付番号　185001345000007835

ＡＩの学習材料について、制限を設けるべきです。
現在でも多くの創作者の制作物を勝手に使い、ＡＩに学習させて自分の作成物と言い張る人が多いためです。
他者の制作物を勝手に使用する事をさせてはいけません。
他者の制作物を無断でＡＩに学習させないこと。
ＡＩによる作品についてはそれとわかる明示を、商業・個人使用どちらにおいても必ずする事
他者の制作物を如何なるものにおいてもＡＩに学習させた場合著作権侵害・肖像権侵害に該当させるものとしてほしいです。

●受付番号　185001345000007836

AI の無断学習に反対します。
文化の盗用・文化価値の毀損につながります。

●受付番号　185001345000007837

AI の学習による既存作品と製作者の権利の毀損についての反対と
AI 生成品への制限を設けること。

●受付番号　185001345000007838

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007839

著作権者には、相応の金額で商契約を結ぶ権利があって当然です。
AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007840

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007841

AI の無断学習を合法化する法案に反対です。AI 学習はクリエイターが労力とコストをかけて制作した有価商品を無料で素材化し大量生産する、文化の創生を破壊するものです。たとえて言えば材料費とコストをかけて制作したブランド商品を、売れるからと無断で類似品を大量生産して売るようなもので、これは本来なら訴訟されうる行為です。合法化する理由がありません。

●受付番号　185001345000007842

AI の無断学習に断固反対致します。
企業とイラストレーター、個人の依頼主とイラストレーターとの金銭のやり取りが存在し、確かに作品に価値があると理解しているにも関わらず、それを一瞬で踏みにじり、お金も払わずに作り上げるという作品を無価値にする法を本気で施行するおつもりなのでしょうか？
アニメやマンガを日本の文化、1 つの産業として取り上げ持ち上げているのに、それを破壊することに何の躊躇いもないのでしょうか。
勝手に生成 AI に絵を学習され、自身の作品と相違ないものを生成され、筆を折った絵師さんを見ました。何故ただ好きなことをしている、それだけで生きがいを奪われなければいけないのでしょうか。それを発端とし、その方の成りすましまで登場しました。人の手で作風を真似ることと AI に絵柄を真似させ作風を真似することは全くの別物です。アイデンティティを奪い、価値を損失させる加害の道具に成り下がったものを人の善性に頼るのはあまりにも愚策です。
暇な人間はいくらでも他人を加害します。それが可能なのが SNS というツールです。
現状、絵師は個人でしか自分の作品を守れません。日本という国の法が守ってくれないからです。
この策を本気で施行するのなら、日本が誇るアニメや漫画の文化を廃れさせる大きな要因になることと思います。
人が生み出す作品から価値を奪わないでください。
何年も、何十年も繰り返し積み上げてきた技術と絵柄を一瞬で奪い去り、それを無価値で凡庸な作品にしないでください。お願いします。

●受付番号　185001345000007843

この世の中にある創作物は、人の努力と時間が凝縮され、やっとの思いで生み出されたものです。
あまりにも狭い著作権侵害の範囲内では、その努力の結晶である創作物はいくらでも消費、消耗されてしまいます。少しの誤差でも著作権侵害しなければいいとのことですが、一般的には盗作に見えます。　それは、作者の価値を踏みにじっているのと同じです。
そして、作者の価値が踏みにじられ、作者の仕事がなくなる。そして人は創作をしなくなる。イチから創作する人がいなくなると、進化もなくなる。日本の創作文化というものはこうして衰退していくのではないでしょうか。
アニメ、漫画がここまで人気なのも、描く人口が多いから。だからこそ、才能が切磋琢磨しあい、新しいものが生まれて世界的に評価される。　その人たちの気持ちの芽を摘まないでください。
文化庁という存在は、創作の文化を守るためにあるべきだと思っております。

●受付番号　185001345000007844

画像生成 AI が既存の著作物の著作権を侵害する場合について、実際にどの程度似ている場合、どの部分が一致している場合に著作権侵害となるか、具体的なガイドラインが欲しい。現状では漠然と似ている、輪郭の一部が一致していると言う理由での私刑が散見されるため、これを抑止する必要があるように思う。
また、画像投稿サイトなどにおいて、AI を用いて出力した画像を投稿禁止にしたり、AI 使用とわかるようタグ付けなどを強制する動きがある。これは AI 生成画像及び AI 画像生成利用者に対する私刑行為を誘発するものだと考えられる。AI 画像生成利用者は、その正当な利用及び生成物の公表を、それが AI を利用したものである事実を隠した上で行うことができるよう、法的にサポートするべきではないか。
画像生成 AI を用いた犯罪行為、AI 画像生成利用者の行った犯罪行為は増加しているが、それは個別の事例として対応するべき問題であり、画像生成 AI 自体の規制を行うことは解決策とはなっていない。新しい文化を守るためにも、画像生成 AI の利用は自由である状態のまま法整備を進めてほしい。
最近新たに画像生成 AI に学習させることで画像生成に支障をきたす特殊な画像加工技術が登場したが、これは画像生成 AI 自体を機能不全に陥らせるものであり、文化活動に対して非常に大きな負の影響を悪意を持って与えるものである。これに対抗する技術の作成をサポートすることは、画像生成 AI の完全な利用を奨励することのみにとどまらず、文化活動全体を保護することに繋がると考える。
すべての人が自由に、それを理由に差別的な扱いを受けることなく創作活動ができるよう、よろしくお願い致します。

●受付番号　185001345000007845

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007846

知らない間に自分が時間をかけて作ったものを勝手に利用されるのはこちらの著作権や財産権に抵触すると思います。
一次、二次作品等ありますが、それらはそれぞれの時間かけて作り上げたものです。
AI に学習させるためだからと、無罪ということにはなりません。
しかも AI の場合、一度学習すればすべて蓄積されていきます。
それは人の作品という財産を盗んで自分のものだと主張する泥棒行為と何に違いがあるんですか。
この国は「クールジャパン」だなんだといっていますが、資源となる力を一番軽視してませんか。
自身の写真や仕事の重要な部分、私生活の内容が AI に吸収されてもヘラヘラと笑っていられますか？
この法案はそういった深いところまで考えられないようなら通すべきではありません。
いりません、こんな法案！！

●受付番号　185001345000007847

AI の無断学習には反対です。学習元の作品を制作した人に一銭の価値もないというならば、誰も創作をしなくなり模倣のみの世界になります。製作者に正当な報酬が発生しないまま AI 学習から作り出したもので金を稼ぐなんて盗人です。

●受付番号　185001345000007848

どれだけ自分の絵が吸い取られて AI で出されて、価値を毀損されても、「知らなかった」「たまたま」で済ませられて泣き寝入りなんてあってはならないことだと思います。
AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007849

AI の無断学習に反対します。
電子データでも著作権は軽く扱っていいものではありません。

●受付番号　185001345000007850

AI 無断学習に反対します。イラストレーターや漫画家の〇〇風の画像を作りたいと泥棒まがいに勝手に利用されて生成・出力して、本来の著作権を持っている権利者の著作権が無視されるのは反対です。最近ではとあるイラストレーターが粘着質の AI 画像生成者の嫌がらせのせいで同じような画像ばかり作られ、X 上での発信をやめられました。むしろ勝手に利用するユーザーに対して取り締まりを強化してほしいです。

●受付番号　185001345000007851

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007852

AI の無断学習には反対します
人の褌で相撲を取るどころか学習もとに敬意も礼もなく、先人たちの努力を蔑ろにし排除するような愚かな行為は取るべきではありません

●受付番号　185001345000007853

AI に取り込まれるデータは元々著作権で保護されているはずです。それらのデータを吸収して合成されることは著作権侵害にあたると考えます。
AI には意思はないと言いますが、AI を使用する人間には当然意思があります。また AI によって創作した画像を学習され、類似の作品が大量に出力されてしまったら被害を被るイラストレーターが多いことは目に見えています。(当然イラストレーターに限った問題ではありません)
AI 学習可能と明示されているデータのみを学習する、そうでない場合は違法であると定めるべきだと思います。

●受付番号　185001345000007854

私は絵を描くことが趣味の一人の人間である。絵の仕事を受注しているイラストレーター、もしくはデザイン会社等に所属するクリエイターではない。世間一般的に言うと「オタク」と呼ばれる人種である。今回、生成 AI についてパブリックコメントを募集していると聞いて、声をあげることにした。まず第一に、現状の生成 AI 推進案には、創作者の声を拾っておらず大変危険なものであるために反対である。次に理由を述べる。

ア)著作権について

推進案の中に度々登場する「著作権」という言葉についてだが、著作権には財産権と人格権の二つが含まれるはずである。推進案に登場する「著作権」には、財産権としての意味合いばかり取り上げられているように感じられた。例えば、リンゴなど多くの人が同じように描くであろう絵は、財産権としての利益はないためにデータとして収集して良いといった内容の文もあったが、そもそも人間が描いたものならば、簡単なものであっても人格権は発生しており、描いた本人が許可しない以上他人が使うことや無断で転載することは許されないのである。生成 AI は、この人格権に対する意識が見受けられない。ネット上からデータを収集したとあるが、ネット上にあるイラストや写真、漫画などの創作物は総じて作者がいる。全員に許可は取ったのか？よく、「ネットから拾ってきた絵」などと言う人もいるが、多くの人間が転載しているから許される、有名な人だから許される、逆に有名な人ではないから許される、そんなことはないのである。もちろん、出版社から出版されている/いない、創作活動を仕事にしている/していないも関係ない。

イ)記憶について

著作権に「そのものを記憶すること」は著作権侵害にならないのは理解できる。しかし、それは人間の脳の記憶には限界があって、多くの人間は記憶したものをそっくりそのまま描き出すことは不可能なはずである。その一方で機械は見たまま記憶(保存)する。人間と機械の記憶には違いがある。そこに何も触れていないのはあまりに稚拙だと思う。

ウ)享受について

AI は知的欲求/精神的欲求を満たさない(そもそも欲求がない)ために、生成 AI は「享受」にあたらず問題にはならないという意見だったが、果たしてそうか？生成 AI は AI だけで完結するものではなく、「人間」が「意識的に」情報を入力して使われるものである。確かに生成 AI の技術は、与えられるデータを「享受」するわけではないだろう。しかし、生成 AI を使う側の人間には、知的欲求も精神的欲求もあるわけで、生成 AI を利用している人間はその欲求を満たすことに使っている。そうであるならば、生成 AI を利用することは「享受」であろう。現実に、女優の写真を生成 AI を利用して服を脱がせたり、健全なイラストを生成 AI を利用してエロコンテンツに変えたりしている生成 AI 利用者も見受けられる。中にはその出力したものを販売した者もいる。これは自身の欲求を満

たすために生成 AI を利用しているではないか。生成 AI を使う側の人間は、「享受」と無関係だと言えるのか？

エ)実際に起きている著作権侵害について

推進案の中には、各立場からの懸念がまとめられているだけだったが、今現在起きている生成 AI による問題はご存知なのだろうか？イラストコンテストには生成 AI によるイラストが投稿され、それが賞を受賞する(時間と労力をかけて描いた人間もいるのに？そのイラストには養分とされてしまった誰かの絵の人格が含まれるのに？)、生成 AI のプロンプトに特定のイラストレーターの名前をいれたり特徴をいれることで嫌がらせをする([redacted]さん [redacted] のアカウントを調べてほしい。悲しいことではあるが、生成 AI による嫌がらせの他、「生成 AI を否定するなんて！」といった誹謗中傷に耐えられず休業を宣言された。こんなことがあっていいのか？)。書かれていた懸念はもう現実になっている。これでも生成 AI は悪ではないと言い切れるのか？

最後になるが、ここにあげた問題点は素人の私から見てもわかる、明らかに危ない点である。提出意見の入力可能文字数に制限があったため、簡単に書いたが実際は突っ込みどころ満載だった。絵はボタン 1 つで生まれるものではない。長い間練習を続け、何度も描き、積み上げてきた結晶だ。絵は自分の子供のような存在だ。絵を描かない人間には理解できないかもしれないが、まずは私たち創作者の意見を聞いてほしい。推進案にあったように、「許諾」のもと行われるはずの行為が、今は「許諾」なしで推し進められているしか思えない。こんな進め方では何も発展しない。あなたたちの思う未来は存在しない。なんでも加速させればいいわけではないことを、今一度理解してほしい。

●受付番号　185001345000007855

生成 AI には著作権が適用されるのに、人間の製作者にはてきようされされないのはおかしいとおもいます。
元々人が描いたものを勉強素材としてる生成 AI にこそ著作権が適用されるべきではないです。
あまりにも人が蔑ろにされていると感じます。
本当に描いた人だけが著作権は持つべきです。

●受付番号　185001345000007856

AI の無断学習に反対します。作者の許諾を得るべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007857

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007858

AI の無断学習反対です。

●受付番号　185001345000007859

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007860

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007861

私は生成 AI の無断学習に【反対】します。
私は、自身の画力の上達のため、尊敬している先生方の絵を見て、時に真似ながら無断で学習してきました。
しかしそれによって身につけた知識や技術は、先生方の絵とは全く異なるものとして現れ「オリジナリティ」を確立しています。
一方で、AI による学習は「機械による学習」であり、画像を解析し、データとして保存しています。私はそれ自体に問題を感じていません。
しかし、人間の学習とは似て非なるもので、全く異なります。
人間による知識の蓄積と、生成 AI によるデータの集積とでは全く異なります。
人間も AI も学びますが、人間には限界があり、AI には際限がありません。
そんな AI により生み出された生成物を世に出すことは、あらゆる権利を侵害する危険な行為だと考えますし、誰でも簡単に扱えていいものではありません。
現生成 AI ツールを合法とし、扱っていくのであれば、中に入っている絵のデータの持ち主すべてに利用料金を定期的に支払うべきで、それが出来ないならそもそもやるべきではありません。
ましてや、出来ないからと法を変えたり追加するのはあまりに不誠実であり、勝手が過ぎます。
反感を買うのは当然であり、私たちの主張が至極真っ当であることは火を見るより明らかです。
絵に限った話ではなく、この「AI による無断学習」が合法とされる社会では、まず人々のプライバシーが無くなります。
自身の顔が勝手にデータ化され、他のデータと合成させられても、それにより何らかの被害、損害を受けても文句を言えない社会です。
児童の猥褻な画像が入っていても、良しとする社会です。
そして、私たち絵描きが職を失います。
絵を描く人が減っていきます。
漫画やアニメを描く人が減っていきます。
それで、日本が誇る文化は崩壊し、無事にクールジャパンは終了です。
そんなこと誰が望みますか？
技術の発展より先に、現行の問題を解決するべきではないでしょうか？
こうもあらゆる問題を抱えていて、あれほど批判されているものを「はい出します」で出してよいのだろうかと、私はつくづく疑問に思います。
AI 生成に出遅れることで、日本が世界から遅れをとる事は無いです。
世界から「日本は生成 AI を良しとする国だ」と、私は言われたくありません。

私は生成 AI の無断学習、またはそれの使用に断固【反対】です。

●受付番号　185001345000007862

AI による生成物は著作権者の権利を侵害するものです。
正しくクリエイターを守る規制が必要であり、芸術の文化において作品の権利やそれに関わる利益等が保証されるべきであると考えます。

●受付番号　185001345000007863

AI の無断学習に反対します。創作者に利益還元がなければ創作の文化が衰退します。

●受付番号　185001345000007864

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007865

AI の無断学習に反対です

●受付番号　185001345000007866

AI の無断学習について、断固反対致します。

●受付番号　185001345000007867

「A 氏風イラスト生成 AI」とする場合、A 氏への著作権侵害とならないのかについて考えていただきたい。
加えて、権利者や表現者を守るため、AI 開発者の「健全な学習である」ということを証明するための証明方法についても考えていただきたい。
特定の人物の作風や創作的表現を強く出力させることができるとして、「A 氏風生成 AI」などとして AI を販売している場合がある。
この場合、画風としてというよりもその人物の創作的表現を享受する目的が強く出る（＝著作権侵害となりうる）のではないか。
ただし、被害者側である A 氏からすれば、学習元に自分の作品が使用されていることを証明する手立てはなく、AI の販売を行っている側が実際は A 氏の作品を学習元に使用しているにもかかわらず開発側が「A 氏のイラストは使用していない」と発言すればどうしようもできなくなっている。
そのため、データセットの引用元や学習に使用したデータ自体の証明についてどのように考えているのか。

●受付番号　185001345000007868

個人
５（２）および５（１）について
　商用フォントが使われたイラストを学習した結果、最近の文字の再現性が高い画像生成AIではそのフォントそのものの文字が含まれる画像が生成されることがあります。
　広く周知され検索も容易なアニメのキャラクター等と違い、出力された文字のフォントが有料の商用フォントの海賊版的なものになってしまっているかどうかは、画像を生成した人が判断することは困難な場合のほうが多いと思われます。
　一方、学習段階で画像中の文字が商用フォントかどうか判別するのも、同様の理由で現実的ではありません。
　商用フォント業界の保護及び、生成側の回避し難い法的リスクからの保護策の必要性を感じます。

●受付番号　185001345000007869

イラストを生成する AI による学習を無断で行うことを肯定するような内容に反対します。
私自身も絵を描きますが、絵柄や作品のスタイルは絵描きの財産にも等しいものです。
無断で消費されることなどあってはいけないと思い意見提出させていただきます。
無断で AI に学習させ、生成したイラストでお金が発生してしまうシステムがまかり通るということは、
たとえて言うなら「人の財布から勝手にお金を抜き取ってパチンコに行く行為が褒められる」
といったことのように倫理観に欠けた状態に感じられます。
考え直していただきたいです。

●受付番号　185001345000007870

AI による無制限、無秩序なイラスト等の生成は、イラスト文化を破壊しかねないものと考えます。
絵を描くという技術は、途方もない修練の果てに得られている技術です。それを許可なく AI に使用し、再生成する、という行いは、人間が絵を描く意欲を削ぐ行いとしか思えません。
筆を折るアーティストが増えるということは、結果的に文化を損なっていくものと思います。それは、このまま AI を推進して得られる利益より、不利益の方が大きいと考えています。
AI にイラストの盗用目的でイラストのデータを差し込むことを、著作権で違反として欲しいです。今は利用自体著作権を認められていないと存じますが、AI に呑ませること自体を許諾制にしていただけるなら、己の描いた絵がすぐに奪われるわけではないと、絵を描いている人々も安堵できるのではないでしょうか。
このままだと、日本から絵を描けるアーティストを失う結果になります。それは誰も望む結果ではないのではないでしょうか。

●受付番号　185001345000007871

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007872

人が努力して積み上げたものを勝手に学習し、新しいものに生み変える AI 生成というものに怒りがおさまりません。そしてそこで生成したものを自分のモノにする人間にも怒りが収まりません。
なぜ今まで努力してきた人が悲しい思いをしなければならないのでしょうか？
なぜ AI 生成したモノを堂々と sns に上げ、自分がさも描いたかのように見せびらかす人間が増えてしまったのでしょうか？
なぜそんな人間が、今まで必死にコツコツと活動してきたイラストレーターの皆さんに攻撃して【AI は正しい】と間違った熱弁をしてくるのでしょうか？
AI 生成という無からは何も生み出せない、こんな最低なものは早く無くなるべきです。

●受付番号　185001345000007873

現在の素案では、AI 学習の元になった著作権保持者の保護が全くできていないと思います。
AI 作品による著作権者の不利益はいくらでも想定できますが(AI 作品による収益減、AI 作の類似物を当人作品と間違われた場合の風評被害 等)、それに対して AI 製作者に何の罰則がない(と思わせる)素案には、反対します。
AI 学習は元になる物があってこその技術にも関わらず、元になった物への配慮、つまりは著作権のおよぶ範囲が狭すぎます。

●受付番号　185001345000007874

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007875

イラストや漫画などの創作物で生活をしている方々にとっては死活問題です。AI しようが世界レベルになって、私たちの仕事が奪われると言う危険があるので、使うなとは言いませんが、資料にした利用した絵に対して、製作者に賃金が主られるシステムにするべきですでないと、日本のようなコンテンツ文化で国を担ってるような国は、国家の衰退に直接的な影響があるでしょう。もう少し自分たちが何で国を振るわしているのかを真剣に考えるべきです。
言ってしまえば、文化的背乗り、今まで日本が培ってきたものを楽して盗んで利用してしまおうと言う悪意のある人たちに簡単に利用され、乗っ取られてしまう可能性もあるからです。

●受付番号　185001345000007876

AI の無断学習、無料使用に反対します。日本の文化を著しく損ない日本のコンテンツは国際力を失います。

●受付番号　185001345000007877

生成 AI の学習に対し今現在著作権が適用される画像、文書等諸々の使用を禁ずるべきである。
人間が描けば著作権が反映されて違法になるが AI ならば合法は筋が通ってない上に著作者が不利益を被る。
作品を出すまでの技術の研鑽やそれに至る年月を丸々盗む事になるので、言ってしまえば日本固有の農産物を正規のルートを通って海外に販売しているのに日本でどなたかが盗んで大量に海外で安く販売しているのと同義である。
今現在著作権が有効と認められるものを使って学習させること自体を違法とし
生成された AI の著作物が既にある作品と酷似する場合は人間が創作したものを優先する法律も合わせて作って頂きたい。
AI の技術の進歩や研究には既に著作権の切れた創作物を使う場合は合法と線引きしていただければと思う。

●受付番号　185001345000007878

AI の無断学習に反対します。クリエイターの著作物は、その創作的表現や作風を含め、クリエイターの努力や独自の発想で生まれている。それを無断で使用し、AI 生成に利用している時点で、故意であろうとなかろううと著作権を侵害しているということになると思う。このような考えを許してしまえば、クリエイターが培った技術等が安易に消費されてしまい、クリエイターの価値を下げ、こうした分野を衰退させることにつながることは目に見えている。許可がなければ著作物を使用できないというのは、AI 生成に限らず、著作物の利用にあたって当然のことと認識している。AI 利用にあたり、クリエイター本人が契約等を結び利用を許可した場合にのみ AI 生成に利用できる、といった法律こそ必要と思う。

●受付番号　185001345000007879

AI 学習について反対です。実際、現在 SNS 上での AI 画像には既に以下のような問題が発生しています。
【一】　明らかに著作物を元に作られた作品がある
【二】　1 人の絵柄を学習させてそれらを利用して作品を作ることが出来るデータセットが商用的に販売されている
【三】　【二】を利用してデータ元となった人が意図していない作品(エロ、グロ画像)が作られ、悪質な嫌がらせを受ける羽目になっている
【四】　イラストだけでなく実際の写真も使われ、その写真の被写体を使ったポルノ写真のような画像が作成されている
【五】　AI 画像生成をメインに活動しているアカウントのあまりにも低いモラルとそれらによる悪質な嫌がらせ行為の横行
私は法律に詳しくはありませんが、抵触する部分はあるかと思います。
【一】【二】は著作権保護、【三】【四】は名誉毀損、【五】は誹謗中傷の観点で見た時違法とならないでしょうか。
AI 産業を発展させたい気持ちも分かりますが、それ以上に受ける被害の方がクリエイターにとっては酷で、日本のクールジャパン文化の発展を止めてしまう可能性の方が高いです。事実、AI 画像生成を行っている人から悪質な嫌がらせを受け、筆を折ってしまった方がいます。
AI による生成物に著作権を与えない、無断の AI 学習は禁止。クリエイターを守るためにはそれがまず第一です。どうかお考え下さい。

●受付番号　185001345000007880

生成 AI に学習させる場合、学習元の画像、イラストの制作者に対して明確に許可を取ることを義務付けるべきである。これは、生成 AI によって学習されることにより創作の幅が狭くなること、人間にはとても真似できない数の絵を無数に生み出すことが可能となることによって絵を鑑賞する人がイラスト制作者の絵に飽きがきてしまう可能性が高まるからである。

　生成 AI の利用についてはなんらかの免許制にするべきではないかと考えている。AI を使用した個人の名を表記する必要がある、免許の番号を明記する必要があるなど生成 AI を利用する側にもなにかしらの制限をかけないとイラスト制作者の権利を守ることは難しいと思う。

●受付番号　185001345000007881

私的な理由になりますが、今後好きなイラストレーター様が筆を折られる可能性が高いと思います。
そうなっていくと悲しいですし、日本が誇る漫画やアニメという文化もそのうち衰退していってしまうのではと危惧しています。

●受付番号　185001345000007882

AI の無断学習に断固反対します。

●受付番号　185001345000007883

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007884

AI による画像出力そのものはいいことだと思っております。
しかしその中で特定の個人の絵柄を模したものが出力できることはよくないと思います。
意図して絵柄を同じくすることは違法となればいいと思っております。
また、学習への還元も必要と思います。

●受付番号　185001345000007885

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007886

AI の自動学習に反対します
学習先が特定困難なことと、学習先の書き手が培った個性や技術等に正当な対価が支払われず著作権の侵害に当たるからです。
また、AI 作品が乱立する結果になると実際に芸術等の面で仕事を得ているアーティストの仕事を減らす結果に繋がると思います。私もイラストレーターをしているため非常に恐ろしいです。

●受付番号　185001345000007887

AI で出力されるものは切り貼りではないと記載されておりますが
現状 AI が無からものを生み出すことは決してありません
全てのデータは既存の創造物の集合体です
どう取り繕うとそれはクリエイターが自身の技術で生み出したものです
AI に文字を入力して指示をする技術は守ろうとしているのに
どうして自分の脳や腕に指示を出して創造をする技術は守られないのでしょうか
AI での自由出力を認可してしまうと
今後少しでも売れ始めたクリエイターは
人力では到底追いつかない速度の AI 出力に淘汰され
伸びる前に飽きられ捨てられます
そうなると今後 2 度と大作家が生まれる事はありません
現行のクリエイターが衰退したが最後
それ以降大きく成功するクリエイターは生まれません
小さく成功した時点で AI に絞り尽くされるからです
クリエイターには自身の技術で少しだけお金が入り
無数の AI 出力者にも小金が入り
そこで飽きられて終わります
日本の経済を支えてきたのはクリエイターのはずですが
このままでは必ず日本経済とクリエイター
そしてもう大きな餌が手に入らない AI 出力者
全てが枯渇して死に絶えます
AI 出力での盗用を必ず辞めてください
もうこれからクリエイターになろうとする人間が死滅する段階が近付いています

●受付番号　185001345000007888

AI の無断学習に反対します。盗人が得するようにさせないでください。日本の大事な創作文化を殺さないでください。

●受付番号　185001345000007889

AI による無断学習は反対だ。著作権侵害である。人の努力の結晶を無断で利用できるなどあってはならないことである。また、AI による無断学習で犯罪が起こる可能性も非常に高い。写真や音声などの無断学習により成り代わりが出来てしまう。事実他者の絵や音声で金儲けをしている者が既にいる。これらの素案を考えた者は自分の顔写真や音声などを無断学習され、犯罪に使用される可能性を理解していない。

●受付番号　185001345000007890

AI の無断学習に反対します。
絶対にあってはならないことです。

●受付番号　185001345000007891

いかなる場合においても生成 AI で造られたものに著作権を与えるのは辞めてください。
加筆、修正された場合においても著作権はありません。

●受付番号　185001345000007892

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007893

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007894

AI の無断学習に反対します。そんなこと、おこってはならない。法律で定めてよいはずがない。創作する人間を軽んじないでいただきたい。

●受付番号　185001345000007895

AI の無断学習には同意できません。

●受付番号　185001345000007896

今インターネット等で投稿されている AI による生成物は、既存の作品を無断で収集し学習することによって生まれています。
既存作品の制作者に使用料が支払われることはありません。一度インターネット上に作品を投稿してしまえば、誰もがその作品をダウンロードし、AI の学習素材として利用できてしまえるのが現状です。
日本はアニメなどの文化で世界的な地位を確立していますが、それは企業個人問わず様々なクリエイターの力のおかげです。にも関わらず、そのクリエイター達をずさんに扱うような法律は施行されてはならないと思います。
既に、第三者に無断で AI の学習元にされ、長年積み上げてきた自分の持ち味を一瞬にして AI に奪われ筆を折ってしまったイラストレーターも存在します。
このまま AI 生成物が無秩序に蔓延るようになれば、近年推し進められている「クールジャパン」としての日本の魅力はどんどん衰退していくに違いありません。
確かに AI は低コストで高クオリティのものを生み出すことができます。
しかし、その元になっているのは我々人間の思考、アイデア、発想であることは決して否定できません。このまま AI に市場を奪われていけば、クリエイターのモチベーションは著しく低下するでしょう。
この法案は適用されるべきではありません。

●受付番号　185001345000007897

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007898

生成 AI 技術は興味深いものではあるものの、データ元であるイラストレーターの著作権や著作者人格権、写真のモデルになった人物の肖像権などが軽視されているため、その点に関してもっとデータ元の創造者を尊重した法整備をするべきである
生成 AI を利用した犯罪行為(ディープフェイクやイラストレーターのなりすまし等)や生成 AI 利用者による被害(データ元のイラストレーターに対する脅迫等)が甚大であるため、生成 AI の利用に関して何らかの制限をかけるべきだと考える

●受付番号　185001345000007899

イラストや写真界隈の知識しないので、この画像生成 AIni 限ってのコメントになりますが、現在生成 AI 物による個人への嫌がらせ、ほぼ同じデザインのものなど、多くの被害が散見されています。
現時点で法律に触れるような使い方をされている生成 AI はこれから先、更に新たな問題を多く起こしかねません。
技術は進歩しても文化は衰退し、やがてその文化を糧に生み出す AI も成長を止めるものと思います。
奪うのは仕事だけではありません。お金にならずとも趣味や娯楽で人は多くのものを生み出し、世に作品を発表します。それは努力を評価して欲しい人や何を認めてもらいたいためです。
人は一生をかけて学び成長しています。その人たちからやる気を奪わないでください。そういう社会を作り出さないためにも慎重に考えていただけるよう切に願います。

●受付番号　185001345000007900

人間の創作を根本的に否定する AI の無断学習に反対します。
悪用する者を裁くための法律が必要であり、創作する「人間」とその創作物を守るたむの法律が必要なのです。
間違っても AI 盗用を認可するような法律を作ってはならないのです。
AI の無断学習の認可及び黙認は、文化の破壊そのものであることを認識すべきです。

●受付番号　185001345000007901

結論から言うと粗が多いと感じる。
著作権を保護する法の目的を達成するとは思えない。
1
全体を通して無断学習に関する規制が緩すぎる。
また他人の著作物を無断で学習させてそのキメラを出力したものを「著作物」（操作者をクリエイターと呼ぶのも疑問である）といいさらにはそれにより利益を得たとしても元データの原作者に対する１円の支払い義務もない。
2
各論点（1）イ（イ）「……他方で、学習データの著作物の創作的表現を直接感得できる生成物を出力することが目的であるとは評価されない場合は、享受目的が併存しないと考えられる。 」
これは要するにたまたま出たら合法ってことになる。明らかに元のデータが分かるようなものでも AI は享受を目的としているとは言えないからである。作風が同じ大量のデータを生産し市場に放出することによって原作者の作品の市場価値に打撃を与えることも可能。引用した段落の次の〇にて一見これは否定されているようで否定されていない。少量のデータで追加学習を行わずにたまたま出たと主張すればそれでおじゃんである。
この懸念はエ（イ）「……既存の著作物との関係で著作権侵害とはならない。 」により補強される。

●受付番号　185001345000007902

AI の無断学習に断固反対します。

●受付番号　185001345000007903

春から新卒の Web デザイナーとして働く専門学生です。
私はデザインのほかに絵を描くことも大好きなので、業界にニーズのある「絵を描けるデザイナー」を目指していくつもりでいました。
ですが今回、著作権が認められる可能性があると聞き、とても不安になりました。「ここにイラストがほしいけど、時間も予算もないから AI を使おう。プロンプトをたくさん練って大変だったし、著作権的にも OK だよね！」なんてことになったらどうでしょうか？学習元のイラストレーターさん達に十分な金銭の支払いはあるのでしょうか？プロンプトを実際 WEB デザイナーはエンジニアなど技術者寄りの人間と仕事をしていくことが多いので、AI に肯定的な意見も結構目にします。そのため、上記のような事例が起こる可能性も 0 ではなく、むしろすぐにやってくるのではと感じています。
SNS ではクリエイター業界の未来に絶望し、声を上げる人たちを何人も見ました。諦めて筆を折りそうな人も。その声を無視してまで推し進める政策なのでしょうか。どうかもう一度、「1 から絵を描く人間」の意見を取り入れた慎重な話し合いをお願い致します。
私は、絵を描くことを諦めたくはありません。

●受付番号　185001345000007904

AI による無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007905

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007906

AI の無断学習に反対します。
無断学習は、これまで人が時間をかけて努力して磨いてきた技術や、その人の生きる手段（収入源）を一瞬で奪い去ってしまいます。
窃盗となんら変わりありません。
そんなものを認めるわけには参りません。
このような法は絶対に作るべきではありません。
作るなら、もっと創作に関わる人を守る法を作ってください。
人の人生を左右することです。どうかもっと真摯に考えてください。

●受付番号　185001345000007907

なぜ日本人の創作したものを「外国人」にわざわざ無条件で盗ませるのですか？
官僚の皆さんは日本人の生命と財産を制限することばかりに夢中で
最終的に消滅させたいのでしょうか？
あなた方のやり様は一体全体誰のためになるのですか？異常が過ぎます

●受付番号　185001345000007908

すでにアメリカや EU で生成 AI に対しての規制が進んでいくなか日本だけが推進しているのは時代に逆行していると思います。
諸外国に比べて日本が生成 AI で利益をあげられるわけでもなく、本質的には本来支払うべきコストをかすめとっているに過ぎません。
AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007909

イラストレーターさんなど、絵に関わる方々の筆を折らせるという、日本文化を破壊するには充分すぎる劣悪な内容でした。
撤回してください。取りやめてください。

●受付番号　185001345000007910

AI を使った他者の創作物の学習について全面的に反対します。したがって、今回出された素案についても AI の著作権についてもっと厳しくすべきです。
クリエイターが苦労して作った作品を、ただお手軽にネットから拾ってきて学習して使用するなんて、クリエイターの今までの努力をなんだと思ってるんですか。それまでかかった時間、これから仕事で稼ぐだろう金銭、その全てを AI に横取りされることになる。その補償を AI を使う人か、この素案を提出する文化庁が補償してくれるんですか？絶対しないでしょう。そんな責任感があればこんな素案は出せません。
クリエイターの意見をしっかり聞いて一から考え直して欲しい。

●受付番号　185001345000007911

主に 5.各論点について　学習・開発段階
AI 生成物に著作権を与えることには反対である。また、AI 生成物を公開する際、原則として学習元も明示するようにしてほしい。また、AI 学習利用の許可不許可を選択できるような仕組みを整えてほしい。
現状として既に無許諾でのデータ学習が行われており、これにより学習に使用されたデータの権利者が盗作疑いをかけられるなどの被害を受けている。現時点で元の著作物が害されているのに、素案にあるように AI 生成物に著作権を与えてしまえば、今以上に他人の著作物を悪用することが容易となる。絵を例に挙げるが、例えば予め AI を用いて大量のイラストを用意し、似たような絵柄のものが公開されたら公開した相手を訴える、といったことが可能になってしまう。
これは創作活動を萎縮させる原因になる上、市場価値・及び市場そのものへの信頼の低下を招くものとして考えられる。使用されたくないのに勝手に学習データに使用されるかもしれない、という強烈な、しかし作品を発表する以上避け難い問題となってしまっているのが現状だ。
生成 AI には学習元データが必要である以上、その学習元データは AI 生成物以上に柔軟に、けれど手厚く保護されるべきだと考える。トラブルを防ぐためにも、元データの開示も必要であるべきだし、AI 生成における学習データとしての利用を許可するかしないかを選ぶ権利が創作者には与えられて然るべきだと考える。

●受付番号　185001345000007912

生成 AI は規制されるべきだ。
AI 生成の画像が法整備が十分になされないまま沢山流通した結果、昨今のインターネットでは何が AI 生成画像で何が AI 生成画像でないかが分からなくなってしまっている。判別方法も指の本数や直線が繋がっているかなどを調べれば予想がつくとはいえ、加筆修正されたり、今後の進化によって高いクオリティの画像が生成できたりするのであれば、見分けがつかない。今や適当なワードを検索エンジンに打ち込んで画像欄を見ると、検索汚染とも言える AI 生成画像が沢山溢れている。
困るのは、手描きの創作者だ。絵を SNS にアップしたところ、AI と疑われて突然糾弾されるというケースをいくつも見た。自分の看板が傷つくので頑張って手描きということを証明して見せたとしても、その苦労した時間で別の作品が今までなら作れていた。
また、AI を利用して 1 人の絵柄を学習させ、まるでその人の作った作品かのような画像を生成し販売する人も居た。創作者における絵柄はブランドだ。何年も何年も積み重ねて至った自身の絵柄を模倣した作品が易々と作られていく様は耐え難く、そういった AI 利用者のインモラルさに心も筆も折られる人も少なくない。また、そうしてある意味踏み台として利用された人たちには 1 円も入らない。このようなことがまかり通る世の中では創作者は安心して世に作品を送り出すことはできない。
学習されない権利、というものが必要に思う。世の中には沢山の著作権切れの作品があるのだからそういった作品群から学習させればいいだけで、今現在絵などで商売をしている人々の商品からエッセンスを盗みとることは日本のアート市場の縮小の一助となる行為に等しいと考える。

●受付番号　185001345000007913

AI の無断学習に反対します。
そもそも人の手で 1 から作り出された大切な作品を無断で使用し AI に学習させ、その上で AI が学習したものなので罪には問われないとは AI に学習させた側だけの利益だけを守る法なんておかしいです。たった 1 枚の作品はその作品を作り出した日数プラスその作者がこの作品を完成させるまでに沢山の努力と試行錯誤年数が乗っているというのに、AI に学習させ、学習させた本人は努力もせず利益を得て、その AI 作品で名を馳せるなど意味が分かりません。人の努力を何だと思っているのでしょうか？
確かに今 AI が発達していますが、AI を法で守るほど発達しているとは思いませんし、無断転載や無断使用がただでさえ禁止されるような中で AI 学習が良い訳は無いですし、AI を推奨したりしていくより、今ある人間自身が作り出している作品の文化を守る事の方がよっぽど有意義だと思います。日本ならではの作品をきちんと法によって守り裁いて欲しいです。
よって、AI 無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007914

ai の画像盗用に反対します

●受付番号　185001345000007915

AI による著作物の無断学習と生成物の利用に断固反対します。
クリエイターの権利侵害や搾取が当たり前になれば、日本の産業は衰退し世界に遅れを取るのは目に見えて明らかです。
日本の産業が今以上に発展するためにも、クリエイターの人権が尊重されるためにも、AI による著作物の無断学習と生成物の利用に反対します。

●受付番号　185001345000007916

絶対に反対です、何故こういう考えに至ったのか
創作という文化をあまりにも軽視した、中抜き業者のための案としか思えないです

●受付番号　185001345000007917

AI による無断学習のせいで、苦しんでいる創作者たちがすでに大勢います。AI に罪はないですが、悪意を持って AI を使っている人々がたくさんいます。なので、AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007918

著作権者が作成した著作物の要素を AI 使用により無断に学習し、それらの AI 生成により作成されたものによって、著作権者の作品価値をを不当に害する可能性があり、著作権者の名誉毀損を招くのではないかと考えます。素体となった膨大な作品群が全てフリー素材として提供されたものでない限り、上記の著作権者への不利益は拭いきれないものだと考えます。著作権者の権利を不当に害する、AI の無断な学習・生成およびそれを助長する法整備に反対します。

●受付番号　185001345000007919

項目 3　生成 AI の技術的な背景について
（1）生成 AI について
ウ　生成 AI が生成物を生成する機序の概略
生成 AI では、入力された指示を情報解析し得られた結果と、その生成 AI が学習したパターンやルール、傾向等に基づき、生成物を生成することとなる。この際の生成については、通常、学習データの切り貼りではないとされる。
まずこの前提が現時点では崩れてしまっています。ニューヨークタイムズの AI 訴訟によっても示されましたが、生成 AI は既存データの切り貼りで生成されていることが明らかです。
画像 AI についても、いわゆる画像コラージュを精密に実施するだけのものであり、これは既存著作権者の権利を完全に無視し、不利益を与えるものとしかなりません。
世界的に見ても日本以外の先進国では生成 AI は規制へと向かっており、このまま生成 AI を推進するようでは日本は著作権を軽視する後進国となりはてるでしょう。日本の強みであるアニメ、漫画は原作者が壊滅し、では AI がそれにとって替われるかと言うと、諸外国は当然 AI 生成物を購入するようなことはありません。
今こそ、日本は他国に先立って著作権者の保護を第一とし、日本文化の発展に尽力するべきだと考えます。

●受付番号　185001345000007920

AI の無断学習利用に反対する。

●受付番号　185001345000007921

「AI が生成したものに著作権与えたいから人間の描いた作品の著作権はまぁ無視しますwwww」
これがまかり通るなら文化庁は潰れた方がいい。
新しい文化のために元からあるデカい文化潰すのやめませんか。
本文では「人間の持つ著作権に侵害をする懸念がある」と書いてあるけどもう既に侵害されてる事例があるんですよ。AI が作った規約違反の絵を元の素材としたであろう人が作った物と勘違いされて炎上したのがあるんですよ。

●受付番号　185001345000007922

AI によって生成されるイラストはそれぞれの要素が複雑に重なっているため、一見するとオリジナリティがあるように見えるがその実は既存の著作権を無視したイメージコラージュに過ぎないものである。人の手によって作られたイメージコラージュなどはどこから引用してきたのかを理解しているが、AI を利用している人はどこからの引用なのかを理解していない人がほとんどだ。また利用者は生成文を入力し気に入ったものが出てくるまで AI に注文し続けているだけであり、自らの手で最終的なアウトプットを制作していないのである。そのため、技法やニュアンス、彩色などが一貫性を持っていないアウトプットとなり作者のオリジナリティが存在せずほとんどが偶然の産物である。生成文に短歌や詩などと同じような著作権が着くとしたらまだ理解はできるが、AI の生成物に著作権を付与するのは理解ができない。

●受付番号　185001345000007923

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007924

AI による無断学習に反対します。
素案は文化、及び全ての創作の価値を失わせることを助長する内容です。

●受付番号　185001345000007925

AI 生成物に著作権を認め、人の手で描いた絵はいくらでもその下敷きにしていいという認識は間違っています。また AI によって実在の人物のヌード、児童ポルノ、また R-18 二次創作の禁止されているゲームの R-18 イラストなどが生成されている事実は許せません。AI による犯罪行為は厳しく取り締まるべきです。また AI 生成により虚偽の写真がニュース、写真素材サイトなどに蔓延し、正しい情報が埋もれることもあってはならないことですが、事実すでにそれらの汚染は始まっています。AI を利用すること自体に対して、禁止行為などを法で厳しく規定するべきです。今あるものを蔑ろにしないでください。もしこのまま AI 生成行為を推進すれば、その先にあるのは文化の衰退です。

●受付番号　185001345000007926

現状創作を自らの手でされている方たちに対してAIにより模倣、成り代わり、アカウントの乗っ取り等が日常茶飯事になっている現状が変わるのか全く見えません。
創作者の筆を折ることを良しとしてしまうとこの先日本の自由なアイディアや独自性を無くしていくと思います。何故なら既に作られた物を模倣してそれを更に模倣するのでそれ以上新しいものは出てこない(出て来るかもしれませんが本当にそれが新しいものかは誰にも判断がつかなくなる所謂脳死の未来)ことに慣れてしまうからです。
是非人間の感情や感受性の部分も加味して厳しく検討していただきたいです。
ただ、AIは使い方によってとても高い能力を発揮することは理解しています。使う人やその倫理観に左右されると思っています。

●受付番号　185001345000007927

生成 AI は膨大なデータの窃盗に上に成り立っている
・元データ所有者の知的財産が保護されていない
・児童ポルノの情報が組み込まれてしまっている
・なりすましや捏造のツールとして最高
・既に生成 AI による誹謗中傷などで被害者も出ており、アニメを始めとした日本の資産が食い荒らされる未来しかない生成 AI の現状に反対します

●受付番号　185001345000007928

AI は正しく使うべきです。
何も生み出してない人がクリックひとつで簡単に生成でき
0 から生み出した人には何も利益がないなんてありえません。
「動画を無断でアップロード、捕まるよマジで」
この CM を思い出しました。これと同じ事です。全く同じです。
様々な文化を継続出来なくなります。
やめてください。

●受付番号　185001345000007929

AI によって生成されるイラストはそれぞれの要素が複雑に重なっているため、一見するとオリジナリティがあるように見えるがその実は既存の著作権を無視したイメージコラージュに過ぎないものである。人の手によって作られたイメージコラージュなどはどこから引用してきたのかを理解しているが、AI を利用している人はどこからの引用なのかを理解していない人がほとんどだ。また利用者は生成文を入力し気に入ったものが出てくるまで AI に注文し続けているだけであり、自らの手で最終的なアウトプットを制作していないのである。そのため、技法やニュアンス、彩色などが一貫性を持っていないアウトプットとなり作者のオリジナリティが存在せずほとんどが偶然の産物である。生成文に短歌や詩などと同じような著作権が着くとしたらまだ理解はできるが、AI の生成物に著作権を付与するのは理解ができない。

●受付番号　185001345000007930

AI の無断学習に反対します。
すでに無断学習をされて創作物を搾取されてしまった人たちがたくさんいらっしゃいます。

●受付番号　185001345000007931

反対です

●受付番号　185001345000007932

絵や文だけでなく、個人の写真等にまで及ばんとしているので、Ai の著作権を認めてしまうと意図しない形で法に触れてしまったりする可能性もあり、著者本人と生成者とで混乱を招きかねない。大変ナイーブな事なのでもっと要検討すべきだと思います。

●受付番号　185001345000007933

AI の無断学習に反対します。
既に多くのイラストレーター、アーティストの方々が無断で作品を AI 学習に使われ、『この作家の絵が出力できるデータセット』のような、その作家の仕事を奪うものがインターネットで公開されています。
また、こういった 1 人の作風に寄せた画像生成 AI により政治的な内容だったり児童ポルノ的な画像が生成されると『この作家はこんなものを描いたのか』と扱われてしまいイメージダウンに繋がり、更に仕事を失ってしまいます。
実際、作家への嫌がらせ目的で生成した画像をインターネットに公開している人もいます。
AI の無断学習は、アーティストの方々の仕事を不当に奪ってしまう酷い行為だと考えます。どうか厳しい規制をお願いいたします。

●受付番号　185001345000007934

AI の無断学習に反対します。こんなことあってはいけない。

●受付番号　185001345000007935

（２）AI と著作権の関係に関する従来の整理
において、
「ある著作物等を「情報解析の用に供する場合」については、同条第２号でこの典型的な例として示されており、「当該著作物に表現された思想又は 感情を自ら享受し又は他人に享受させることを目的としない場合」に該当すると考えられる。」
「なお、「享受」の目的がある場合については、法第 47 条の５が適用される場合もあると考えられる。」
といった
「情報解析の用に供する場合は非享受目的の利用にあたること」
「仮に「享受」の目的があったとしても、法第 47 条の５が適用される場合もあること」
をより広く周知していただきたいと思っております。
３．生成 AI の技術的な背景について
（１）生成 AI について
「ウ 生成 AI が生成物を生成する機序の概略」の「通常、学習データの切り貼りではないとされる。」をより広く周知していただきたいと考えます。
(生成 AI が「合成をしている」といった正しいと言えない情報がネット上に流布してしまっているため。)
４．関係者からの様々な懸念の声について
「生成 AI を利用していることにより、法的に著作権侵害とはならない場合についてまで、著作権侵害であるとして非難を受けてしまう炎上リスク」
とあるように、ネット上ではごく問題のない利用を行っただけで批判を受けたり、ひどいケースでは誹謗中傷を受けることがあります。
これらについて、誹謗中傷は名誉毀損罪などにあたる可能性があることを周知していただきたいと思います。
６．最後に
「AI と著作権の関係については、今後、著作権侵害等に関する判例・裁判例をはじめとした具体的な事例の蓄積、AI やこれに関連する技術の発展、諸外国における検討状況の進展等が予想され、これらを踏まえて引き続き検討を行っていく必要がある。」
とあるように、基本的には AI の技術進歩とのバランスと、極論や各著作物の不公平な扱いが出ないように検討を進めていただきたいです。
極論で言うのであれば「著作権を守るため、すべての著作物の AI 学習を制限する」(様々な生成 AI の開発に著しい悪影響が予想される)
不公平な扱いで言うのであれば「一部の著作物の AI 学習のみを制限し、他の著作物の AI 学習を制限しない」(著作物によって扱いを変えると不公平が生じてしまう)

こういった、著作権の本来の目的である「文化の発展に寄与すること」という趣旨が損なわれるような考え方が出ないようにしていただきたいです。

●受付番号　185001345000007936

[redacted]さんというイラストレーターさんがいます。その方は悪意のある第三者に絵柄を AI 学習に使用され、さらにその AI で本人の望まない性的なイラストを生成される被害に遭っています。AI により雇用機会を減らされるばかりではなく、性的なハラスメントも受け、[redacted]さんは非常にショックを受けていらっしゃいました。このような問題のあるイラスト生成 AI の販売および配布は規制されるべきだと思います。

●受付番号　185001345000007937

AI の無断学習に反対します。
現に特定のイラストレーターに対する無断学習によるいやがらせ、なりすまし行為が散見されています。
嫌がらせに関しては特定のイラストレーターの絵柄で（今はイラストレーターの名前を入れるとその絵柄で生成されるそうですね）イラストを生成し、フリーで誰でも使っていい、と無断で配布を行っています。これは業務妨害に当たるのではないでしょうか。
これを踏まえて、AI 生成物に著作権を与えるとどうなるでしょうか。
前述、後者のなりすまし行為（もはや成り代わりになるでしょう)、及び学習元イラストレーターへの業務妨害を助長するのではないでしょうか。
悲しきかな、日本はアニメ・漫画文化で世界に羽ばたけたといっても過言ではありません。だのに、どうして日本、その国自身が、その文化を大切にできないのでしょうか。
海外でも AI を規制する動きは強まっています。いったいこの国は何を目指しているのでしょうか。
”アニメ・漫画文化はヲタクで弱者だから搾取して切り捨てていい”そう思われているようで苦しくてたまりません。
私はしがない一端の絵かきでしかありませんが、その私ですら不安です。
どうか、イラストレーターたちを、守ってください。これ以上表現者たちが、この先を悲観して、筆を折ったり、命を失ったりすることのないように。

●受付番号　185001345000007938

5.(1)エ
AI 技術により一絵師の絵柄に酷似したイラストが生成されたり、特定できるほど一個人に似たポルノ画像が生成されたりすることにより、絵師や個人の生活への影響や精神的な負担が懸念される。無断使用・転載や海賊版を学習している AI の規制を強化し、簡単に AI の使用ができないように法整備を進めていく必要があると考える。

●受付番号　185001345000007939

現段階の社会のモラルで生成 AI を使用する事は危険だと感じています。今日までの時点で精神的に追い詰められているクリエイターを見てきました、AI と創作物の類似性は誰が判断するのでしょうか？既に無断で学習されてきたものとして信用もありませんし、私はこの生成 AI が創作活動の幅を狭めるであろうと懸念しています。

●受付番号　185001345000007940

絵も文章も発する言葉もその人の人生の積み重ねからそこに出力される、表に出るものであって、その最終的な結果の部分だけを勝手に搾取され他人の物同然に扱われるのが AI 学習かと思います。
また AI 学習産の著作権を明らかな学習元と無関係とした場合、現実の人物の絵を写真のごとく生成して出力されたものも肖像権の侵害に当たらないという延長も考えられます。
この二月の頭に米国有名歌手の肖像権が AI 生成により脅かされた騒ぎが米国であったそうですが、そういった肖像権も「絵である」等逃げる道がいくらでも思い浮かびます。
AI 学習は絵や文章だけでもなく、そろそろ映像にも及ぶでしょう。
岸田首相の雑コラ動画が出回ったこともあるそうですが、そういったものが簡単に作れるようになります。
その動画の学習元（音声その他）が「自分だ」と発しても法的には権利が無いことになります。
絵も文章もその他すべてその人の人生なのです。
人生を勝手に他人に奪われて権利も主張できない世の中など、表現の自由の度を越えたものだと思われます。

●受付番号　185001345000007941

AI の無断学習には反対です。
AI のイラストだらけになり、絵師はトラブルに巻き込まれることも多くなり、嫌になってイラストを書かなくなってしまえば、新しい文化、芸術など生まれなくなってしまうと考えます。
AI 同士で学習し、新しいものを生み出せばいいというなら、もう人間はいらなくなってしまうのではないでしょうか？単純作業を人がやり、考えることを AI がやるような世の中になってしまうのにも繋がると思います。これは極端ではあると思いますが、過去の芸術作品に価値があるのは人が生み出してるからだと思っています。機械が出力しただけのものに高い価値をつけるでしょうか？自分でもできるからと価値は生まれないとおもっています。
AI を使用したり、トラブルに巻き込まれたりは自分自身したことはありませんが、ネット上でトラブルになっているのを見かけるので反対意見を提出させていただきました。

●受付番号　185001345000007942

AI の無断学習に反対です。イラストなど、創作物を制作している人たちが守られていないと思います。無断で創作物を使い放題にすれば、この産業は衰退していってしまいます。

●受付番号　185001345000007943

クリエイティブ業界への政府的介入は悪手です。創作者や無から有を生み出す人を蔑ろにしないでください。

●受付番号　185001345000007944

生成 AI の学習元は歴としたクリエイターが創作した作品であり、その生成は作品を元に模倣し福笑いのように出力しているに過ぎません
模倣元があるからには、その元となったクリエイターの権利は保護されるべきでありますが、AI という性質上その学習元の明確な証明や特定はほぼ不可能です。
故に、クリエイターの保護されるべきである権利を守る為には、根本的に現在行われている学習及び利用を見直す必要があり、ましてやそれを助長する様な案はあってはならないと考えます。
万が一それが許されるのであれば、確実にクリエイターの創作意欲は削られ、本来、将来的に生産される筈だった作品や、その作品を通して発生する筈だった利益が消失されることになります。
現時点でも既に生成 AI を通して作品の模倣を繰り返され、それによって生計を立てていた、利益を産んでいたクリエイターが活動を辞めてしまったという事例は散見されます。
自分が何年もかけて作り上げてきた作品を簡単に模倣され、そればかりかそれによって AI を利用した側に利益を産み出されるというのは、クリエイターにとっては筆を折るには十分な理由になります。
これは日本が世界に誇るアニメ・漫画文化の衰退を助長すること他なりません
故に、生成 AI による著作権に関する案を見直していただき、クリエイター本位で改めて考え直して頂きたいです。
どうか一人でも多くクリエイターが筆を折る動機をなくして頂きたく存じます。

●受付番号　185001345000007945

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007946

生成 AI の無断学習に反対します。
すでに活躍されているイラストレーターさんのスタイルを無断で学習し、自分の作品かのように発表する、SNS ではそのイラストレーターさんになりすましご本人を活動休止に追いやる、その後も名誉毀損を続けています。
その方の作品のオリジナリティは失われてしまい、その点だけを見ても生成 AI イラストによる実害が出ています。
使用者の人格の問題かと思われがちですが、一般的に生成 AI を使いイラストを発表している層は、AI であることを明記せず人気者になりたい、楽していいものを作りたいというところばかり見られるように思います。
この点の何が問題かといわれれば、その生成された物の元となったデータには数々のイラストレーターさんがいちから手描きでかいたもの、そこへ至るまでの努力や経験などを無断で使用することで、その技術の成果物を盗むことにあります。
そして、稀有なものであった本当のイラスト作品は、AI に取り込まれ何万枚も出力される中で「AI 生成絵によくある絵柄」になってしまいます。 その方の作品の唯一無ニであったものが、一瞬で陳腐に成り果ててしまうのです。
イラストを無断でそのまま転用する事は著作権法違反となるのに、AI だけが許されるのはおかしいと思います。「無断で」「AI でそのイラストを再現するため学習に使う」ことが法に触れないのは、飲食店などでお金を払わずに料理を持ち逃げし、皿だけ替えて自分が作ったと言い張る人を罪に問えないのと同じ事になります。飲食店の例では泥棒、法に触れることをしているとわかるのに、生成 AI のイラストにおいてそれが許されることはおかしいです。イラストを描く者にしてみれば、むしろ何らかの作品をいちから作り上げるものからしてみれば、どちらも泥棒です。
一刻も早く規制していただかないと、若い才能の芽を摘むことにもなります。
AI の素晴らしいもの(しかもプロから成果物を無断で盗ったもの)があるから、あなたの未熟な作品はいらない、となれば余程好きでも食べていけないので作品作りを辞めてしまうと思います。少しずつ技術を得て上手くなってきたところを AI 学習に使われ、こっちのほうがいいとなり、それが世間に認められてしまえばその方はもう続けられませんね。
いまプロで活躍されている方も、これからプロになり得る方にも現状の生成 AI、とくにイラストについては害しかないです。
オリジナリティを侵されることはやはり著作権法に触れるよう改正していただかなければいけません。本物のいちから描かれたイラストを「素材」と呼び無断学習、生成する人たちに権利を与えないでください。
学習元を公開するようにして、無断学習されてしまった被害者が、AI を使う人を訴えられるようにしてください。

このままでは著作権もないです。

●受付番号　185001345000007947

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007948

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007949

AI ならばなんでも OK はおかしい。
クールジャパンといって、漫画やアニメなどの創作作品を推しているのに、それを保護しない、毀損するような事を許可するのはおかしい。
内容は違うかもしれないけど、「フェイクニュース」「芸能人の顔と裸を合成するして販売」「芸能人、アニメキャラ、Vtuber と似ているアダルト作品」の許容とも受け取れる。
それぞれ著作者や本人が訴えることはできるかもしれないけど、全てを本人が訴えるのはできないと思う。
すでにそういったものが出回っていて、被害を訴えている人がいる。
世界では AI を規制するながれもあるのに、「なぜ規制しようとしているのか」「日本特有の問題はないのか」「規制して困るのは誰なのか」「規制して守られるのは誰なのか」この事を検討して、日本の国益を守る法律を作ってほしいです。

●受付番号　185001345000007950

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007951

AI の無断学習に断固反対します。
クリエイターにとって被害が甚大になります。AI よりも、生身の人間である原作者を保護して下さい。

●受付番号　185001345000007952

AI の無断学習に反対します。
児童ポルノ犯罪絵の量産を許るすな。

●受付番号　185001345000007953

趣味で写真や文章をネットで公開しています。
今回の AI と著作権に関しての素案で、自身の撮影した画像や文章までが同意なく使われることを後押しするこの案に、強く反対します。
また、自分以外にも絵画や音楽などの創作をされる方々の成果を、一方的に剽窃し、AI 運用者のみが利益を享受する構造は、将来的にその文化の発展・繁栄を妨げることになるのではないのでしょうか？
ネット上に個人が（大半が利益を度外視した、情熱によって）公開した創作物は、一種の自然資源と似たものであり、一部の効率的な収穫者が取り尽くしてしまうことに拍車を掛けることは、そのような生産者の情熱を著しく損なうものです。
どうか、このような素案は通さないで下さい。そして、著作権をより尊重できる案をお願いしたく思います。

●受付番号　185001345000007954

AI の無断学習に反対します。
現段階までで国内外で起きている陰湿かつ害意を持つ人間による AI 生成画像による被害にもっと目を向け、正しく本質を理解し、真摯に向き合うべきです。
金銭のやり取りの発生の有無に関わらず真面目に絵に向き合っている方々が悪意ある人間が出力した AI 生成物によって筆を置いてしまったり、精神病にまで追いやられています。そうして絵を描く人間が淘汰された後には何が残るのでしょうか。
古くからある絵という一つの文化が、AI の悪用によって消されてしまうのではないかと危惧しています。
素案にある通りの筋の通らない考え方を押し通した結果が、どれほど人々に負の影響を与えてしまうのか、私には計り知れません。

●受付番号　185001345000007955

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007956

AI の無断学習に反対します。創作者の尊厳を侵してはなりません。

●受付番号　185001345000007957

本文書の生成 AI による学習及び生成物の著作権帰属先について、再考をお願いします。
1.学習について
学習させるということは、著作者が許可及び認可している必要があるといえる。
理由として、本人を謳い商業利用や詐欺に使われる可能性があるということになる。
これは複製権、頒布権、貸与権、二次的著作物利用権の侵害にあたると言える。
詐欺に使われた場合は、威力業務妨害、名誉毀損、詐欺、横領にあたると言える。
まず複製権以下三権について、生成 AI は個人のものではなく、大衆のものという認識が必要であると言える。不特定多数のユーザーが一つの生成 AI に学習物を投じるという行為そのものがその示唆を示している。また、生成 AI は課金等によりユーザーより金銭を受け取っている可能性が極めて高く、著作者へ認可と報酬が必要であると考えている。
2.著作権の帰属先について
ほぼ上記の通りではあるが、出力者に著作権が帰属した場合、商標権や特許権等、原作者より先にでき、逆に訴訟される可能性が高いと言える。
上記のことから生成 AI の権利について再考していただだければと思っております

●受付番号　185001345000007958

無断学習の合法化に反対です

●受付番号　185001345000007959

AI の無断学習に断固反対します。
せっかく日本のイラストレーター、漫画家をはじめとしたクリエイターが築き上げた文化的・市場的価値を破壊します。
それにより日本が世界で抜きん出る事は無くなり、才のある人材は海外に流出します。
0 から生み出すことの出来る人々が自分たちの権利を軽視する文化圏に所属したがらない事は当然であり、また、自分たちの権利を大切にする文化圏に行く事は当然です。

●受付番号　185001345000007960

生成 AI で生成された絵や写真は"創作物"ではありません。あれらは盗作物だと言っていいと思います。著作権で守られるべきものは、生成 AI で生成された絵ではなく、その生成に使用されてしまった学習元のイラストや写真のはずです。
私自身は絵描きなので、絵描きとしての視点で意見を書かせていただきます。
私達が何年も何年も悩んでは描き、悩んでは描き、試行錯誤を繰り返して育ててきた画力や絵柄、発想力などを、何の努力も無しにただ「こういう絵が出てきてほしいなぁ」と文字列を並べて出力しただけの人達に奪われたくはありません。
何かの研究のために絵や写真を学習されるのはいいのです。ただ、承認欲求のために AI で生成した絵を「自分で描いた」と騙り公開する人がいて、しかもそれを使ってお金を稼ごうとする人がいるのは、むしろ創作文化の衰退を示しているのは想像に難くないはずです。
創作というものを甘く見ないでほしいのです。いえ、甘く見ているつもりはないのかもしれませんが、実際に創作活動を続けてきた我々からすれば、このような文書を発表されては「創作文化を壊そうとしているのか」と思ってしまいます。
今まで数々の著作物を守ってきてくださった著作権法が敵になる未来は見たくありません。

●受付番号　185001345000007961

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007962

AI の無断学習に反対します。
AI が取り込んでいるすべてのデータには元のデータを作成した著作権を持つ人物が存在します。彼らに一切の報酬を支払わず、AI の学習のためと言って彼らの努力と時間をかけた結晶を気軽に安易な気持ちで使用して AI 生成による別物を生み出すことは、AI 利用をする中で最も悪だと思います。
一事業者や一般企業が広告などに使用した作品が実は AI 作品で、元の作品を描いた人が二次配布や AI 利用を禁じている方だった場合、企業は AI 作品を提出・提供した個人または企業に対して事情の公開・返金を申し立てるべきですし、著作元の本来の作家に対して謝罪と、彼らが本来描いた AI 生成前の作品を広告に起用するべきです。残念ながら、すでにこの事例はいくつもの企業・団体で起きてしまっています。世界規模のゲーム会社が定期的に行っているイラスト作品展では、優勝者と準優勝者のうち、前者が後者の AI 生成で、本来の絵の著作権を持つ作家は本来の自分の絵より AI 生成した偽物の方が評価されるのはおかしいと申告しています。ゲーム会社に申し立てを行ったようですが、その後彼らの件がどう処理されたのかはわかりませんが、少なくとも良い結果でないのは現時点において公開されていないことからも簡単に推測できます。
このような事態は騒がれますが、素人がレオナルドダヴィンチやフェルメール、ゴッホなどの既に死した画家などの絵を読み込んで作品を発表した場合、それらはインスピレーションを受けたものとして扱われます。これは本人が AI 生成を行わずに作品作りを行なった場合は、正当な評価だと言えます。ですが、それが AI 生成を使って行われたとしたら、それがインスピレーションを受けて作成したものだとは到底思えません。なぜなら、本人が AI を用いて作成したものは本人が描いたものではなく、ありとあらゆる画家が命を削り、その一生涯の中で書き上げたものを横取りしているにすぎないからです。これはれっきとした偽物を作る行為に他なりません。
それをこの法案は全く理解してないように感じられます。
あなた方は創作者や作家、画家など、すべての作品を生み出し続ける人たちに対しての敬意や尊重する心というものが欠けています。
ただの絵、ただの紙、ただのデータを読み込んでより良いものができたらそれでいいのでしょうか。
著作権に関する法律がしっかり定まっている割に、こういった他人の著作権を軽々しく侵害する手段・手法を正当化するような法案を作成しないでください。
AI 作成が真実かのように罷り通るようになれば、既に前述した通りの細々とした諍いが正当化されてしまいます。何日も何時間も何ヶ月も時間をかけて生み出した作品を、絵の具すら、イラストコンテンツにすら、美術にすら触れていない金儲けのことだけを考えた悪質な人間たちに奪われてしまうのです。これは著作権侵害の何物でもありません。彼らが

作品を描く対価として支払われるはずの巨額の報酬も、すべて詐欺グループの手に渡ってしまうのです。それがどんなに辛く、重く、不快なことであるかは深く考えずともわかるようなことです。この法案は、わざわざ悪質な手口を使って金儲けや作品作りをする人達を嘲笑うような内容ばかりが陳列されています。
AI 生成が便利だというのは間違いないでしょう。
ですが、それを作品作りの一部やアシスタントとして使用するならともかく、0 を 1 にする、しかも既に 1 になっているものに無理やり小数点以下をつけるようなものです。余計なものなのです。完成していたはずのものにいくつもの不要なものをかき集めて足しているに過ぎません。AI 生成が全面的に悪いわけではありませんが、この法案ではここまでに書いた通り、悪質な手口・悪質な考えを持つ人・団体・その他 AI 出力された作品に対して軽視している人間に対してあまりにも有利な内容が書かれており、一創作者としても、一国民としても認めることはできません。
様々な意見が噴出していることとは思いますが、著作権に関して詳しい法律や罰則を作成するのであれば、AI の無断学習やデータの盗用についても 1 項目ずつに例を挙げて述べるほどの厳しさ・正確さをもって対応していただきたいです。このままでは全ての作品を作成し生み出す事が不可能になり、この世に溢れる全てのメディアが誰かの偽物で溢れてしまうことでしょう。

●受付番号　185001345000007963

6. AI の無断学習に反対します。人の著作権を侵害するものです。

●受付番号　185001345000007964

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007965

クリエイターの権利を大きく侵害する、AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007966

AI 学習の際にて著作者に断りもなく学習に用いる行為又は、AI 生成物に対し AI 利用者が著作権を有することに反対します。

●受付番号　185001345000007967

AI 技術の発展は歓迎ですが、
著作物を素材として学習してる現状には NO と考えています。
人生をかけて、社運をかけて人が創作してきた著作物を AI 介したら利用し放題というのどうなんでしょうか。
「介する」というのも厄介で、「AI が勝手にやったから」という逃げ口が用意できるのも良くないです。「AI を介したからセーフ」みたいな使い方をされかねない。
「画像生成 AI が AI 画像ばっかり学習していくと破綻を始める」という結果からも
人の絵が無いと成り立たない技術です。
それなのに、自分で描いて撮って創作してる側が不利すぎます。
AI 学習と人間の学習は規模感が違います。
ポン出しと呼ばれるように計算結果を出すように学習できてしまします。
区別すべきです。
また、AI 推進会議のメンバーもいい加減にしていただきたい。
当事者を呼んで欲しいです。
ここで言う当事者とは、
civitai などで無断で LORA モデル等を配布されてる絵描き、タレント、モデル、写真家。
最近あった集中学習された絵描きリスト 7000 人等
無断で学習されてる側が当事者です。
技術開発や、AI の専門家は当事者ではありません。
推進に作為的なメンバーでクソみたいな結果を押し付けないでいただきたい。
よろしくおねがいします。

●受付番号　185001345000007968

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007969

「「AI で出力したものがどれだけ人の描いたものと似ていても、それこそ全く同じだったとしても AI が出したものだから著作権が発生しない」と言う意味の素案だよ」とわかりやすく解説している方がいてそれはおかしいと思い意見させていただきます。
私の中で著作権とは「その作品を一番最初に作った人がもつ権利」だと思っているのですが、その作品を作った人物が作りし漫画、アニメ、小説、日々X で見かけるイラストなどなどあらゆる作品を AI が取り込み出力し同じもの酷く類似しているものが作った人物の預かり知らぬ所で、別人物のものとして出されたり商用利用されても相手が「AI が出したものだから知らないわからない著作権なんて存在しない」なんてされてしまったら、これから先今作品を作り続けているクリエイター、未来のクリエイターの衰退及び大切な日本文化の消滅が予測できます。自分が生み出した大切な作品、キャラクターなのに自分が携われないどころか別の人が勝手に自分のものだって言っても何もできないなんて悲しすぎませんか…

●受付番号　185001345000007970

AI の無断学習に反対します

●受付番号　185001345000007971

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007972

クリエイター側です。AI の無断学習に断固として反対します。
AI により人の努力と知識を踏み躙る行為は、結果として創作文化の衰退を招くと考えています。

●受付番号　185001345000007973

AI の無断学習に反対します。
創作に関係する人々にとって、絵柄は長年身を削って獲得してきた商売道具です。
それを盗むのは許されてはなりません。

●受付番号　185001345000007974

創作物の AI 学習には反対します。

●受付番号　185001345000007975

Ai を利用した犯罪は海外で大きな問題となっておりイラストだけでなく写真から他者の権利を侵害し金銭トラブルに発展した事例も多発しています。
それを受け海外では大規模な規制へと舵を切っています。
日本においても文化を支えるイラストレーターや漫画家への嫌がらせ目的での使用が多発しており、それを原因とする生産者の減少、すなわち文化破壊が発生している現状です。
人権を否定し他者を容易に攻撃できる危険なシステムに法律で加害者に後押しをすれば日本の誇るべき文化が破壊され、より大きな犯罪へとつながると考えます。
AI への強い規制と著作権保護をお願いします

●受付番号　185001345000007976

創作活動を全て AI に取って代わられる将来が目に見えます。
創作活動とは現在も娯楽である部分がかなり大きいはずなのに、創作者の権利が尊重されず、創作活動という娯楽が「どうせ AI に負ける」と創作者の筆を折ってしまったり、「AI に描かせました！」と明言した上で自分の手で描いた創作者と同じように権利を主張するような世界になってしまうと考えました。創作活動は人間が行うからこそ楽しいものであり、また著作権や肖像権などの権利とも密接に関わっている娯楽です。人と人では権利の主張しあいが発生するのに、対 AI では権利の主張も出来ず勝手に利用されるのは嫌です。

●受付番号　185001345000007977

「1.はじめに」の部分で、「AI を使用したクリエイター」という趣旨の記述の撤回を求める。AI を使用したクリエイターには、他者の作品を盗用し自作品を名乗る場合も多く、また、その作品を生成しているのはクリエイターではなく AI である。そもそもクリエイターではないと指摘する。

●受付番号　185001345000007978

AI の無断学習を許すことに反対します。ダメでしょう、それによってどれだけの人が権利を奪われるのかよく考えて欲しいです。

●受付番号　185001345000007979

項目４についてです。大きく三つの層に分けられると記載してありますが、個人的にはもう一つ層があるのではないかと考えております。
「クリエイターでも AI 関係者でもない一般人」です。
彼らが作成した写真も大量のデータの中に取り込まれ、意図しない利用をされています。
『遊園地で撮影したであろう女子高生達の自撮りを、第三者が AI で妊婦姿に加工する』
『友人に嫌がらせ目的でポルノ加工された少女が自殺した』
これらの事例のように、クリエイター以外の人々が被害を被ったケースも散見されます。
被害を被るのはクリエイターだけではありません。そしてこれらの事案は、個々のモラルで制御するには無理があろうと思われます。よく言われている『技術の進歩にモラルが追い付いていない』というものです。
このままの緩い規制で続けていくと、泣き寝入りするクリエイターならびに一般人は増加していくと考えられます。

●受付番号　185001345000007980

AI で作られたものは
「誰が作ったものかも判らず」
「公式・企業でも許諾していない「偽物」の商品が流通し」
「詐欺にも繋がり公式の製作者や企業に言いがかりに近いクレームなども増える」
というものが近年増大しており、多くの企業や個人事業主などが被害を受けている
また、虚偽のニュース製作も作成することが可能にもなり、実質昨年首相や大統領のフェイクニュースの画像なども作成され、世界に発信され情報混乱を招いた事件もある。
愉快犯がフェイクニュースを連日発信し世界を混乱させることも可能となった時代でもあるので、警戒や処罰が必要である。

●受付番号　185001345000007981

創作者の著作権、作品の価値を守るためにも AI の無断学習には断固反対します。
AI による作品はどれだけの数学習させようが他者の作品の切り貼りでしかなく創作者の権利、作品の価値を著しく損害するものと考えます。
日本の創作文化破壊につながるものとし AI の無断学習、公開に反対します。

●受付番号　185001345000007982

AI の無断学習に反対します。
理由は既に多くの方からも出ているはずです。
耳を傾けてください。目を通してください。

●受付番号　185001345000007983

絵や文章に限らず、他の人の作った創作物の切り貼りだけで作られた作品をオリジナルの作品として自分の作った素材だと主張するのは認められないはずです。
現在の AI は「生成」と自分であたかも作ったかのような言い方をされていますが、他の人が作った作品を取り込んでコピー品を作るだけのようなものだと思います。
またその作品は本来著作権という権利で守られているはずの作者の分身ともいえるものであるはずです。
日本は柔軟な創作文化の元で発展し世界にも「クールジャパン」として喧伝しようとしている以上は、ただのコピー品をつくるだけのシステムを創作するもののひとつであると認めようとしている動きはおかしいです。
また現在の AI は WEB にある数多の個人写真・個人情報・ダークウェブから収集されたような児童ポルノ・残虐な画像も取り込まれています。
他の人が作ったオリジナルの作品を無断で取り込んでいるだけでなく、非人道的な画像を取り込んだ現在の AI を認知し広めようという試みは現在の AI の危険性に気づいて否定している国際社会と逆行した恥ずべき行いです。
新しい方法で現在の権利が侵害されるのであれば、侵害された人を守る何かしらの決まり事を作るべきであり、認知される AI は AI 素材として供出されたクリーンなものであるべきです。

●受付番号　185001345000007984

詳しいこと分かんないんですけどこれって他人の作品を AI 生成に学習させて産まれた作品は商用して OK ってことですよね？データを圧縮して使ってんなら著作権侵害じゃないですか。あと AI 生成作品に慣れてしまうと人間の作る味のある、人間味のある作品を美しいと思う感性を持つものが将来失われていく可能性が十分あるのでやめてほしいです。だって AI 生成のイラストは線の強弱や粗さを表現するのが難しく皆同じようなイラストのため、絵柄の範囲が狭まって文化が失われていきます。
とりま個人で特定の作品を学習させて生成するのは良いけど、第三者の目に入るようにした状態や商用するのは駄目だとと思います。

●受付番号　185001345000007985

AI の無断学習に反対します。人間が資料として使う場合、許可や使用料が発生するのに、機械学習であれば必要ないとは思えません。日本の誇る創作文化を生み出す土壌が、AI によって失われることがないよう、適切な法整備をお願いします。(ご存知とは思いますが、海外では規制の動きが盛んであることも申し添えます。調べていただければすぐ分かると思います。参考にしてはいかがでしょうか)

●受付番号　185001345000007986

AI における無断学習に著作権が適応されないということでしょうか。
法律に詳しくないために上手く読み解けませんでしたが、AI の無断学習は、使用者がそのように設定しなければ学習しない＝使用者の意志が反映された結果だと思います。
つまり、人間が使っている。
作品の権利を著作権で護って貰えないのなら、芸術を生み出す者すべてに尋常ではない被害を及ぼします。
AI で合成される生成物に自分の作品が使われ、AI 作品を先に見た第三者からパクりだ何だと罵られる作家が現われてもおかしくありません。
こちらの方が先だと証明しても、AI 使用者を罰することが出来ないなら、法律なんて意味が無いでしょう。
著作権があるから、多くの芸術家は世に作品を安心して出します。
私も趣味ではありますが創作をする人間です。どうか、安心して作品を出せるように、AI の無断学習を許さないでください。

●受付番号　185001345000007987

AI に創作物の情報を飲ませるというのは、著作権に引っかかると思います。
元来、トレースやパクリにも厳しい業界です。

●受付番号　185001345000007988

AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007989

著作権、著作者人格権、肖像権の侵害及びポルノへの利用を危惧しています。
AI の無断学習に反対します。

●受付番号　185001345000007990

著作権のあるものを AI によって盗用されるのは創作意欲を大きく削ぐ行為であり、また創作物の新たな誕生を明らかに阻害するものだ。AI 利用の著作権については著作権者や原作者に有利な施策を行うべきだ

●受付番号　185001345000007991

まず、如何に理論で保護しようとしても現状の AI 生成機能が著作権法違反の行為の元に成り立っているのが明白であること。
そして、著作権法に違反している・いないに関わらず、AI による画像生成とその拡散は、既存の絵画・イラスト等やその作成者の立場を脅かすものであり、当該文化の衰退を後押しするものであるのは明白であること（すでにその兆しは複数観測されている）。
主に以上二点から、AI による画像などの自動生成に公的に強い規制を加えることは絶対必要な措置であると考えます。

●受付番号　185001345000007992

漫画家をしております。
現在の生成 AI は著作権侵害として規制するべきと考えています。
いろいろな作家の写真や絵、音声などを無断で学習して繋ぎ合わせているのが生成 AI だと聞きます。許可されたものだけを使うシステムなら誰も反対しないのではないでしょうか。
漫画家も絵を描くときに素材を使いますが、それは素材の作者が「商業作品に使ってもいいですよ」と有料（もしくは無料）で配布されているのを購入しているからです。同じように、作者の許可が得られるものだけを学習元として使用するべきだと思います。それが出来ない（しない）理由はなぜなのか、疑問でなりません。
また、女優さんや実在する人物（子供など）の写真から猥褻画像を作られてしまうのも問題だと思います。その画像がネットに上がれば一生消えないものになります。
技術自体は凄いものだと思うので、法律できちんと権利が守られるまでは一旦全面禁止にして頂いて、それからシステムや正しい使い方の道を探ってほしいです。

●受付番号　185001345000007993

ai 画像とは元々他者の描いた絵を取り込むものであり著作権を著しくしんがいしています。

●受付番号　185001345000007994

AI の無断学習に反対します。データの盗用や著作権の侵害はけして合法にしてはならないと思います。

●受付番号　185001345000007995

AI 学習元の創作者の権利が守られていないように感じる。反対する。

●受付番号　185001345000007996

あまりにも恣意的にすぎる内容でとても賛同できない。
著作権法が実質的に形骸化する危険性を感じている。

●受付番号　185001345000007997

国の方針としては未だプロに至っていない創作者などを大事にしないことがよく解りました。創作物の制作途中過程を音楽ならリスナー、立体造形物やイラストならその作り手・描き手のファンなどにサービスでアップロードすることがありますが、それも出来なくなるという事ですよね？してしまったら著作物未満ということで学習素材にされてしまう。出来上がったものすらただの学習素材にされてしまう。
日本が作り手側を大事にしない事では既知の事実ですが、古くからの職人さんが居なくなっている様にインターネットで楽しまれている様々な創作のコンテンツは淘汰され、権利を守ってくれる海外への人材流出は止まらないでしょう。
私としましても海外移住を考えている者ですが、母国の日本がこの様に様々な点から衰退していくのは悲しい事だと思います。要約すれば創作者を大切にしろということです。

●受付番号　185001345000007998

つまりうっかりミッキーが出力されても法に触れないということでよろしいですか…？

●受付番号　185001345000007999

AI の無断学習に反対します。こんな法案あり得ないです。絶対にやめてください。

●受付番号　185001345000008000

この素案には同意しかねます。
私も趣味で創作をしていますが、日本の優秀なイラストレーターやクリエイターに対する権利がまるで保証されていないように感じました。
何年もかけて腕を磨き、生み出してきた作品を AI の無断学習に使われ、類似した作品が出来上がっても「元々は自分の作品である」と声を上げて訴えることのできない状態ではこの国の文化が衰退していきます。
また、AI による盗作被害は現在進行形で多発していることであり、既に懸念されている事柄では無いです。
技術発展の為では無く、日本のクリエイターを守るために今一度考え直していただきたいです。